

山居遺跡 ほか  
(縄文時代編)

—三陸縦貫自動車道建設関連遺跡調査報告書IX—

平成19年12月

宮城県教育委員会  
国土交通省東北地方整備局

# 山居遺跡ほか

(縄文時代編)

—三陸縦貫自動車道建設関連遺跡調査報告書IX—



1-1 山居遺跡全景（南から）



1-2 SX06環状遺構 カゴとトチノキ種子の出土状況（西から）



2-1 SX01②南側遺物包含層C4西ベルト包含層2b①層上面検出状況（西から）



2-2 SX01②南側遺物包含層調査状況（北から）

## 序

宮城県北東部を縦貫する三陸縦貫自動車道は、現在桃生津山インターチェンジまでの区間が開通し、さらに北に向かって工事が進められています。

この三陸縦貫自動車道建設用地内には、先人が残した貴重な文化財が埋蔵されている遺跡があります。埋蔵文化財は、わたしたちの郷土の歴史と文化を根底から支える歴史遺産のひとつであると同時に、将来における文化向上の礎の一部をなすものです。宮城県教育委員会では、これらの遺跡を保護するために、関係機関と協議を積み重ねた結果、路線の一部変更も含め、万全を期してまいりました。

本報告書は、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所との保存協議に基づき、三陸縦貫自動車道の建設に先立って実施した石巻市山居遺跡・登米市小山遺跡に関する発掘調査報告書です。遺跡の調査を通して、この地域の歴史を解明していく上でも貴重な成果を得ることができました。今後、この報告書を多くの方々に活用していただければ幸いに存じます。

最後に、遺跡の保存に理解を示され、発掘調査に際しては多大なる御協力をいただいた関係機関の方々、さらに実際の調査にあたられた皆様に対し、厚く御礼申し上げる次第です。

平成19年12月

宮城県教育委員会  
教育長 佐々木 義昭

## 例　言

1. 本書は、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所との協議に基づき実施した、三陸縦貫自動車道建設に伴う山居遺跡（縄文時代編）と小山遺跡の発掘調査報告書である。なお、山居遺跡の古代編は宮城県文化財調査報告書第206集として報告済である。
2. 調査は宮城県教育委員会が主体となり、宮城県教育庁文化財保護課が担当した。
3. 発掘調査および資料整理・報告書の作成に際しては、以下の方々および機関から御指導・御助言、御協力を賜った（所属機関名は当時の名称・敬称略）。

安達尊伸（田野畠村教育委員会）新井達哉（飯野町教育委員会）石井 寛（財団法人横浜市ふるさと歴史財团埋蔵文化財センター）樋村晃嗣（川崎市立橋高等学校）大場亜弥（栗原市教育委員会）小野岩男（郷土史家）加納由美（宮古市教育委員会）北田 燥（岩手県文化振興事業団）小井川和夫（多賀城跡調査研究所）後藤勝彦（日本考古学協会）小林圭一（山形県埋蔵文化財調査センター）小林正史（北陸学院短期大学）菅原哲文（山形県埋蔵文化財調査センター）菅原弘樹（奥松島縄文村）須藤 隆（東北大学）閔根達人（弘前大学）中村 直（田野畠村教育委員会）名久井文明（物質文化研究所）成田滋彦（青森県埋蔵文化財調査センター）丹羽 茂（東北歴史博物館）藤沼邦彦（弘前大学）本間 宏（福島県文化センター）柳田裕三（宮崎県埋蔵文化財センター）渡辺 誠（名古屋大学）石巻市桃生町公民館 十貫東部部落会 東北歴史博物館
4. 本書の第2図（3頁）は国土地理院発行の「登米」「飯野川」（1/25,000）の地形図を複製して使用した。
5. 測量原点の座標値は、日本測地系に基づく平面直角座標第X系による。
6. 本書で使用した遺構略号は以下のとおりである。遺構番号は、遺構の種別に関わらず、調査の際に付した通し番号を用いている。

S X：遺物包含層・壙状遺構・杭跡・旧河道
7. 平面図にはそれぞれスケールを付しているが、縮尺は原則として以下のとおりである。

全体図 1:200 部分図 1:120
8. 土色の記載にあたっては、「新版 標準土色帖 1994年度版」（小山・竹原 1994）を使用した。
9. 遺物図版にはそれぞれスケールを付しているが、縮尺は原則として以下のとおりである。

土器・土製品・礫石器：1/3 剥片石器：1/2
10. 本書の執筆は、調査担当者との協議の後に山居遺跡を相原淳一、小山遺跡を柳澤和明が行い、全体を相原が編集した。なお、山居遺跡の動物遺存体については西村力、剥片石器については村上裕次、礫石器については柳澤和明からの協力を得た。植物遺体については古代の森研究室の同定・分析結果を基礎に、相原と共同執筆とした。
11. 本遺跡の調査成果については、その内容の一部を公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合は、本書がこれらに優先する。
12. 発掘調査の記録や出土遺物は、宮城県教育委員会が保管している。

## 目 次

巻頭写真

序

例言

目次

はじめに

山居遺跡（縄文時代編） ----- 1

小山遺跡 ----- 417

報告書抄録

## はじめに

仙台市から岩手県宮古市に至る自動車専用道路が、三陸縦貫自動車道として計画され、そのうち「矢本石巻道路」については平成8年度から工事に着手する事業計画が決定された。この「矢本石巻道路」は、石巻河南ICを起点に旧北上川を渡り、桃生農里ICに至るものである。さらに北に接続する「桃生登米道路」についても、平成17年度に工事に着手する事業計画が決定され、計画では幅23.5mの4車線を整備するにあたり、地形の起伏に沿って大規模な切土や盛土を行うものであった。そのため、宮城県教育委員会と国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所は遺跡保存のための協議を重ね、分布調査を実施して新たな遺跡の有無を確認するとともに、周知の遺跡については確認調査を行い、遺跡の保存と道路整備事業との調整を図ってきた。

こうした中で、平成12年度から予定路線内の遺跡の発掘調査に順次着手した。平成17年度には、角山遺跡・太田窓跡・山居遺跡の調査を実施した。ここに報告する山居遺跡は自動車道の函渠工事の際に多量の土器が出土しているとの地域住民からの知らせを受け、急速国土交通省ほか関係機関との協議の上、事前調査を行ったものである。なお、この山居沢に関わる調査区（Ⅰ区）とともに、事前調査が行われた山居遺跡の丘陵部（Ⅱ区）に関しては、山居遺跡古代編として宮城県文化財調査報告書第206集としてすでに報告書が刊行されている。平成18・19年には登米市布目遺跡・小山遺跡の調査を行った。

### 三陸縦貫自動車道建設計画に伴う発掘調査

調査年度	遺跡名	所在地	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	報告書
平成13（2001）	沢田山西遺跡	河北町	2,080	4.09~4.20 10.01~10.13	宮城県教育委員会 2002
	新田東遺跡	河北町	8,500	4.23~12.10	宮城県教育委員会 2003
平成14（2002）	角山遺跡	桃生町	2,900	4.08~6.17 10.15~12.10	宮城県教育委員会 2005
	崎山B遺跡	河北町	6,000	6.03~7.23	宮城県教育委員会 2004
	沢田山西遺跡	河北町	1,000	6.03~10.22	宮城県教育委員会 2004
平成15（2003）	万歳山C遺跡	河北町	700	4.07~5.16	宮城県教育委員会 2004
	桃生城跡	河北町	1,500	4.30~6.06	宮城県教育委員会 2006a
	沢田山西遺跡	河北町	1,200	5.18~7.18	宮城県教育委員会 2004
	太田窓跡	桃生町	2,000	6.17~8.01	宮城県教育委員会 2007a
	角山遺跡	桃生町	7,400	7.02~12.02	宮城県教育委員会 2005
	八幡遺跡	桃生町	2,540	7.17~8.07 9.01~10.08	宮城県教育委員会 2004
平成16（2004）	福谷B遺跡	桃生町	900	11.12~12.11	宮城県教育委員会 2006a
	角山遺跡	桃生町	95	8.02~8.03	宮城県教育委員会 2005
平成17（2005）	角山遺跡	石巻市	1,400	4.23~5.11	宮城県教育委員会 2006b
	太田窓跡	石巻市	2,900	5.09~6.13 10.12~11.30	宮城県教育委員会 2007a
平成18（2006）	山居遺跡（Ⅰ区）	石巻市	200	6.07~8.05	（本報告書）
	山居遺跡（Ⅱ区）	石巻市	1,300	7.11~10.20	宮城県教育委員会 2006b
平成19（2007）	布目遺跡	登米市	2,500	4.24~6.16 11.6~11.17	宮城県教育委員会 2007b
	小山遺跡	登米市	3,260	4.23~4.25	（本報告書）

宮城県教育委員会 2002 「沢田山西遺跡・三陸縦貫自動車道建設開通道路調査報告書Ⅰ」・宮城県文化財調査報告書第189集  
2003 「新田東遺跡・三陸縦貫自動車道建設開通道路調査報告書Ⅱ」・宮城県文化財調査報告書第191集  
2004 「沢田山西遺跡ほか・三陸縦貫自動車道建設開通道路調査報告書Ⅲ」・宮城県文化財調査報告書第196集  
2005 「角山遺跡・三陸縦貫自動車道建設開通道路調査報告書Ⅳ」・宮城県文化財調査報告書第200集  
2006a 「桃生城跡・福谷D遺跡・三陸縦貫自動車道開通道路調査報告書V」・宮城県文化財調査報告書第205集  
2006b 「角山遺跡・山居遺跡・三陸縦貫自動車道開通道路調査報告書VI」・宮城県文化財調査報告書第206集  
2007a 「太田窓跡・三陸縦貫自動車道開通道路調査報告書VII」・宮城県文化財調査報告書第210集  
2007b 「布目遺跡・三陸縦貫自動車道開通道路調査報告書VIII」・宮城県文化財調査報告書第211集所収

# 山居遺跡

## (縄文時代編)

### 調査要項

遺跡名：山居遺跡（さんきょいせき）（宮城県遺跡地名表登載番号70033）

遺跡記号：R F

所在地：宮城県石巻市桃生町倉坪字山居

調査要因：三陸縦貫自動車道桃生登米道路建設

調査主体：宮城県教育委員会

調査担当：宮城県教育庁文化財保護課

調査期間：I区 事前調査 平成17年6月7日～8月5日

II区 確認調査 平成17年6月16日～6月20日

事前調査 平成17年7月11日～10月20日

調査対象面積：2,000m<sup>2</sup>

調査面積：1,500m<sup>2</sup> (I区：200m<sup>2</sup> II区1,300m<sup>2</sup>)

調査員 I区 真山悟 後藤秀一 相原淳一 保原恒雄 田中政幸

II区 後藤秀一 相原淳一 保原恒雄 豊村幸宏 佐藤憲幸 田中政幸

## 目 次

第Ⅰ章 遺跡の概要	2
1. 遺跡の位置と地理的環境	2
2. 周辺の遺跡	2
第Ⅱ章 調査経過と方法	4
1. 調査に至る経過	4
2. 調査の経過	4
3. 調査の方法	4
4. 報告に際して	7
第Ⅲ章 発掘調査の成果	8
1. 山居遺跡I区の遺物包含層・遺構・旧河道堆積層の新旧関係について	8
2. 山居遺跡I区の遺物包含層について	13
3. 山居遺跡I区の遺構について	13
4. 山居遺跡I区の旧河道堆積層について	16
5. 出土遺物	16
A. 土器	17
(1) 工事回収土器	17
(2) 遺構確認時出土土器	17
(3) SX01①北東側遺物包含層A7区包含層出土土器	20
(4) SX01①北東側遺物包含層A6北ベルト包含層出土土器	20
(5) SX01①北東側遺物包含層A6区出土土器	22
(6) B6区出土土器	26
(7) A5～B5北ベルト出土土器	32
(8) A5区出土土器	34
(9) B5西ベルト出土土器	36
(10) SX01②南側遺物包含層B5区出土土器	39
(11) SX01②南側遺物包含層C5西ベルト出土土器	45
(12) SX01②南側遺物包含層C5区出土土器	54
(13) A4北ベルト出土土器	60
(14) A4区出土土器	60
(15) B4北ベルト出土土器	62
(16) SX01②南側遺物包含層C4北ベルト出土土器	68
(17) B4西ベルト出土土器	74
(18) B3～5包含層1層（上部砂礫層）中出土土器	76

(19) SX01②南側遺物包含層B4区出土土器	78
(20) SX01②南側遺物包含層C4西ベルト出土土器	91
(21) SX01②南側遺物包含層C4区出土土器	110
(22) A3～B3北ベルト旧河道堆積層中出土土器	122
(23) SX01②南側遺物包含層B3北ベルト出土土器	124
(24) SX01②南側遺物包含層C3北ベルト出土土器	133
(25) SX01③北西側遺物包含層A3区出土土器	136
(26) B3西ベルト出土土器	137
(27) SX01②南側遺物包含層B3区出土土器	139
(28) SX01②南側遺物包含層C3西ベルト出土土器	146
(29) SX01②南側遺物包含層C3区出土土器	160
(30) SX01②南側遺物包含層A2～C2北ベルト出土土器	170
(31) SX01③北西側遺物包含層A2区出土土器	180
(32) SX01③北西側遺物包含層B2西ベルト出土土器	187
(33) SX01②南側遺物包含層B2区・C2西ベルト出土土器	189
(34) SX01③北西側遺物包含層Z1北ベルト出土土器	192
(35) SX01③北西側遺物包含層Z1区出土土器	198
(36) SX01③北西側遺物包含層A1西ベルト出土土器	216
(37) SX01③北西側遺物包含層A1区出土土器	220
B. 土製品	228
C. 石器	229
(1) 刃片石器	229
(2) 磬石器	231
D. 木製品	233
E. 自然遺物	233
(1) 動物遺存体	233
(2) 植物遺体	235
I. 土器付着炭化物の放射性炭素年代測定	235
II. 花粉化石群と大型植物化石群	237
III. 土器圧痕について	250
第IV章 総括	253
第V章 まとめ	300
引用文献・参考文献	301
附編 繩文晩期の火山灰層	305
写真図版	307

第Ⅰ章 遺跡の概要

## 1. 遺跡の位置と地理的環境（第1図）

山居遺跡は宮城県石巻市桃生町倉沢字山居に所在する。石巻市は宮城県の北東部に位置し、地形的には北上川下流域の石巻平野に属する沖積地と北上山地の南端にあたる丘陵地帯からなっている。

遺跡は旧北上川沿いにある石巻市桃生町総合支所の北東約4kmに位置している。遺跡の立地する丘陵は、茶臼山（標高154m）から西南に延びる低平な丘陵の一部である。遺跡の周辺では、丘陵部と沖積層が厚く堆積した平野部が直に接しており、河岸段丘面はほとんど発達していない。遺跡の西側の沖積地には、昆布沼があり、遺跡を西に流れる山居沢が注いでいる。

## 2. 周辺の遺跡（第2図）

今回、調査した山居遺跡の周辺には、多くの遺跡が分布している。最も古い時代の遺跡は、縄文海進期にあたる縄文時代早期後葉の櫻崎貝塚（20・<sup>とこざき</sup>十所貝塚（15）・長根貝塚（45）などである。特に、1951年・1953年に発掘調査が行われた櫻崎貝塚では、縄文早期でシジミ（主）・カキ・ハマグリ、前期でハマグリ・カキ、中期でカキ・ハマグリ層が確認されるとともに、土器や石器、骨角器などの人工遺物、屈葬人骨が発見されている（植田 1954）。山居遺跡の昆布沼を挟んで反対側の独立丘陵上には、深山貝塚がある。戦後まもなく、宮城県登米高等学校によって調査され、土器や土偶、石器、石製品、骨角器などが多数発掘されている。1995年には桃生町教育委員会が調査主体となって貝塚全体の分布調査（桃生町史編纂委員会 1996）も行われている。こうした調査所見によれば、深山貝塚の存続時期は縄文時代中期後半から晩期で、今回調査した山居遺跡の存続期間とほぼ重複している。また、三陸縦貫自動車道関連の細谷B遺跡（4）においても、山居遺跡の存続期間と一部重複する縄文時代前期前葉から後期前葉に及ぶ遺物が発掘調査によって得られている。

このほか、遺跡の周辺には埴輪を伴う中期古墳の袖沢古墳群(9)や古代の城柵として著名な桃生城跡(3)など多くの遺跡が分布することが知られている。



第1図 遺跡の位置



番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代
1	山鹿遺跡	縄文末~後・後半・古代	16	沢山城跡	中世	31	太田船跡	中世
2	角山城跡	縄文早・後半・古墳・古代・中世・苔封	17	猪ノ山船跡	中世	32	方澤山丘陵跡	古代
3	桃生城跡	縄文・弥生・古墳・古代・近鉄以降	18	貴重品船跡	中世	33	方澤山丘陵跡	縄文
4	細谷分道跡	縄文末~後・古代・中古後以前	19	陣・終船跡	中世	34	岡井山通路	古代
5	太田城跡	古代	20	横崎行塚	縄文早・前・中	35	赤羽船跡	中世
6	新田城跡	縄文・弥生・古墳・古代・近鉄以降	21	横崎船跡	中世	36	神代山船跡	中世
7	八幡城跡	古代・近鉄	22	山田船跡	古代・中世	37	神坂新砦山通路	近世
8	万歳山丘陵	縄文早~後・古代	23	山田内古墳	古墳	38	高瀬新砦跡	古代
9	福沢山古墳群	古墳	24	中澤山城跡	中世・近世	39	施原船跡	古代・中世
10	日高城跡	縄文早~中期	25	貴重品船跡	古墳	40	下ノ行舟跡	古代
11	石垣遺跡	縄文・古墳	26	安佐船跡	古墳	41	山林船跡	古墳
12	高台山城跡	近畿跡	27	日高外洋社遺跡	縄文・古墳	42	猪ノ森船跡	中世
13	如意山船跡	中世	28	十兵衛遺跡	古代・近世	43	市子山船跡	古代・中世
14	水井船跡	中世	29	細谷船跡	縄文晚・古墳	44	梅津野山船跡	古代・中世
15	十所山城	縄文早・中・古代	30	完全山遺跡	縄文・古墳	45	長根通目塚	縄文早・古代

第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡

## 第Ⅱ章 調査経過と方法

### 1. 調査に至る経過

今回報告する山居遺跡は三陸自動車道建設に伴う平成12年2月の分布調査の結果、新規に登録された縄文時代の遺跡である。当初、遺跡として登録されたのは、昆布沼の東側の旧水井分校周辺の南から西にかけての緩斜面部分のみの範囲であった。平成14年5月23日には、遺跡と昆布沼の間の県道拡幅工事に連関して、遺跡の西側の確認調査を実施したが、遺構・遺物とともに発見することはできなかつた。平成14年10月3日から11日にかけて、三陸縦貫自動車道に関わる壇ノ森館跡・八幡遺跡・山居遺跡の試掘調査を実施した。山居遺跡の調査は、同月8日に8本の試掘トレーニングにより行った。試掘トレーニングは丘陵部から沖積地までを含む遺跡の南東側路線地内に配した。調査の結果、摩滅した縄文土器1片を確認したのみで、遺構を検出することはできなかつた。また、大規模な地形改変を受けていることも明らかとなり、山居遺跡は慎重工事により対応することになった。

平成17年4月には、角山遺跡及び太田窯跡の残余地の事前調査に着手した。太田窯跡の調査中の6月2日に、山居遺跡の北側の山居沢の両渠建設工事現場から大量の縄文土器が出土しているとの知らせを受け、当日、調査員が現地に赴き、縄文時代中期から後期の遺物が大量出土していること、出土層は泥炭質でトチの実や木質を含んでいることを確認した。直ちに、工事を中止させ、翌3日に当課は国土交通省・石巻市教育委員会・施工業者とともに現地で協議し、事前調査を行うこととした。また、山居沢南の丘陵西側斜面地の工事用仮設道路の法面においても遺構の断面や灰白色火山灰が確認され、これらについても確認調査を実施することになった。これらの遺跡の取り扱いについては、從来知られていた山居遺跡の範囲を北側に大きく拡大し、山居沢部分を発掘調査のI区、丘陵部分をII区とすることを決めた（第3・4図）。

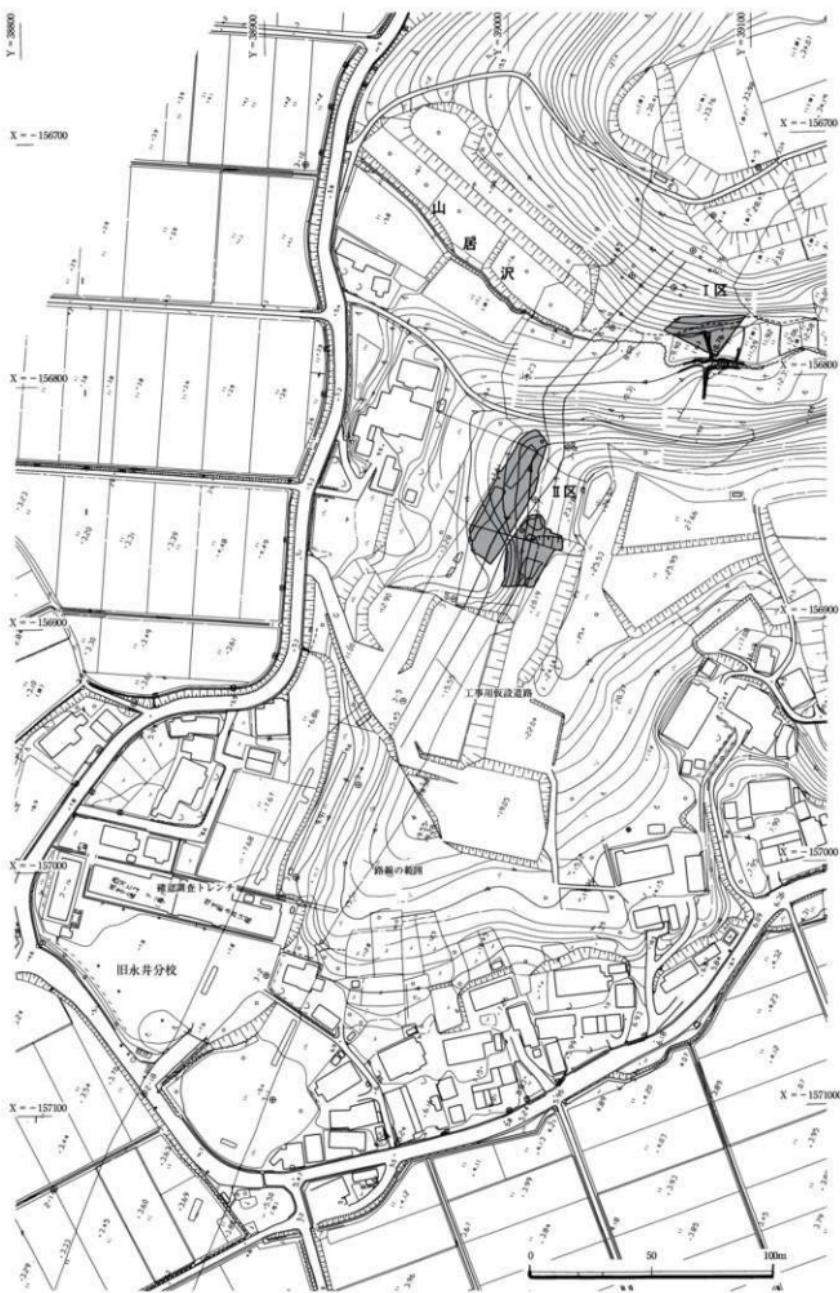
### 2. 調査の経過

I区の発掘調査は6月7日から8月5日まで行った。I区の調査と平行して、II区の確認調査を6月16日から20日まで、事前調査を7月11日から10月20日まで行った。調査期間中の7月27日には、台風7号による大雨のために調査区すべてが水没し、終日排水作業を行った。梅雨季の調査となつたために、野外調査は中止せざるを得ない日も多く、そうした日は遺物の水洗作業に切り替えた。平成17年度の野外調査がすべて終了する11月30日までは、人工遺物に関してはすべて現場にて水洗作業を終えた。遺物は土器を中心とする人工遺物で平箱100箱であり、自然遺物を含むサンプリング土壤が20箱である。

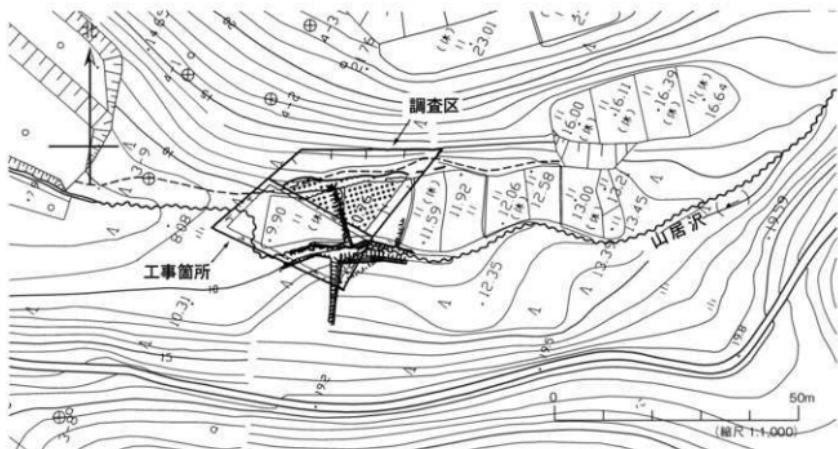
### 3. 調査の方法

#### ①調査区の設定

I区の調査区は山居沢の谷底であるために、現状の流路の方向を勘案した任意の方向に、 $3 \times 3\text{m}$ のグリッドを設定して行った（第5図）。谷頭に向かって $3\text{m}$ おきに1, 2, 3…、その直交方向を $3\text{m}$ おきにZ, A, B…とし、グリッド名とした。調査区全体の位置は、日本測地系の国家座標第X系の任意の点X3 ( $X = -156,782.000, Y = 39,088.000$ ) 及びX4 ( $X = -156,782.000, Y = 39,073.000$ ) を調査区内に落とし、任意で設定したグリッド交点A2及びB7との距離を実測して、国家座標第X系の中での調査区の位置関係を決めた。



第3図 山居遺跡調査区の位置 (1/2,000)



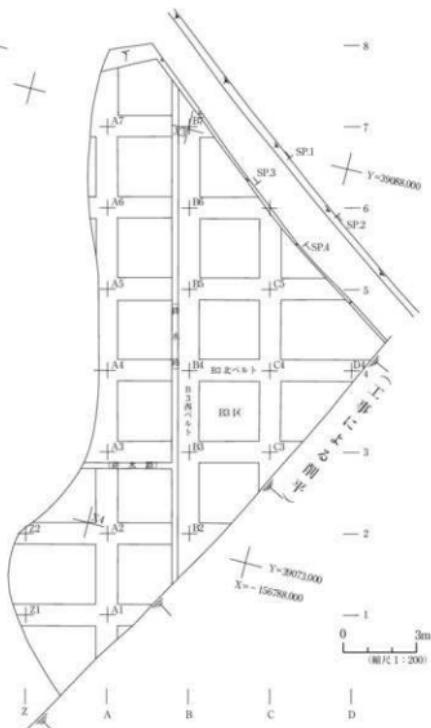
第4図 山居遺跡I区要図

## ②調査の記録

層単位で調査を進めるにあたり、下位の層の上面を検出した時点で、写真撮影によって記録するようにした。検出した遺構については、グリッドを基準に、縮尺1/20の平面図、断面図の作成と写真撮影を行った。全体図は平板測量によって1/200平面図を作成した。写真撮影には800万画素のデジタルカメラを用いた。

## ③発掘及び遺物の取り上げ

現状でも流路がある埋没谷の調査となるために、最初に約200mある調査区全体の水対策として、幅約25cmの排水路を確保した。また、グリッド間のベルトは崩壊の可能性とともに土層観察用になるべく大きく残すこととし、通常よりも幅の広い上幅80cm(基底部で1m弱)とした。最初にベルト部分を除く $2.2 \times 2.2$ mのグリッド区にさらに下層を観察するための任意のサブト



第5図 山居遺跡I区グリッド配置図

レンチを設けながら、慎重に1層ずつ調査を進めた。現場の調査員が3名だったので、3グリッド区ごとに調査を進め、作業員（1日あたり10～14人）だけが掘り進めることがないようにした。遺物に関する限り、基本的には調査員が出土状況を確かめながら取り上げるようにした。

層の枚数や堆積状況は各グリッド区において違っており、各層には堆積順序に即した任意の名称を各グリッド区ごとにつけた。グリッド区の調査は無遺物層まで到達した時点で終了とし、「北ベルト」（実際の方位は東北東）と「西ベルト」（実際の方位は北北西）の断面図を作成し、ベルト部分の調査を進めた。ベルト部分の調査では各グリッド区の層序の対応関係の確認と、直接層位を観察しながら調査を進めるができる利点を生かし、より精度の高い分層発掘となるようにした。

#### ④ 遺物整理の方法

遺物整理は平成18年4月から開始した。地区・層位ごとに接合作業を進め、資料化する土器の抽出作業を行った。拓本は口縁部資料を中心に選別した。自然遺物を含む平箱20箱分の土壌は、最も良好な部分を分析に委託し、残りの全量を微小遺物の採取を目的に2mmメッシュによって洗浄した。土製品・石器は全点図示した。土器・石器の実測及び観察表の作成はすべて調査員が行い、拓本とトレースの一部、遺物の登録作業、写真図版の作成に関しては作業員が行った。

#### 4. 報告に際して

報告にあたり、遺物の図示は次の基準に則って行った。

- ① グリッド区とベルト部分、さらには先行するサブレンチ部分において層の名称や精度において一致するものではない。ベルト部分の精査において、大別層位においては齟齬が生じないようにその対応関係を把握したが、あるグリッド区においてのみ認められる層やベルト部分の精査においてのみ認識された層あるいは不整合面も多数確認され、細別層位のすべてにわたって堆積順位を明らかにすることはできなかった。そのために、ここでは、発掘調査を進めた手順に即して、グリッド区とベルト部分を取り上げ層位の順に図示していく。
- ② グリッド区とベルト部分において層が異なる場合があり、原則として層の堆積を直接確認しながら取り上げたベルト部分の方がより精度の高い調査を行っており、ベルト部分の層を優先層位として図示した。
- ③ 異地点接合や異層位接合についても、観察表には出土地区・層位のデータをすべて書き出すようにした。異層位接合の場合、原則として下位の層を帰属層位として図示している。ただし、一括遺物として取り上げている場合は、一括遺物として現場で認定した層（上面）を最優先層位として図示した。
- ④ 報告書掲載にあたっては本遺跡の場合、土器組成が重要な意味を持つ可能性が考えられ、全体の傾向を損なわない形で抽出作業を行った。

## 第Ⅲ章 発掘調査の成果

山居遺跡Ⅰ区の調査において、人為的な廃棄層からなる3ヶ所の遺物包含層と堰状遺構3ヶ所・杭跡1ヶ所、土壤1基・ピット1個および旧河道の堆積層群が検出された（第6図）。

なお、Ⅰ区で検出された3ヶ所の遺物包含層は混同を避けるために、次のようにローマ数字・アラビア数字を用いて区別する。

- ・SX01①北東側遺物包含層 = 包含層ⅰ層、ⅱ層、…
- ・SX01②南側遺物包含層 = 包含層1層、2層、…
- ・SX01③北西側遺物包含層 = 包含層Ⅰ層、Ⅱ層、…

その基本層序および各地点における土層断面柱状模式図は、第7図に示したとおりである。

### 1. 山居遺跡Ⅰ区の遺物包含層・遺構・旧河道堆積層の新旧関係について

山居遺跡Ⅰ区全体における遺物包含層・遺構・旧河道堆積層各層の新旧関係は11頁のように捉えられる。

以下に、上層から順に層の概要と新旧関係を示す。

#### （1）灰白色火山灰層

SP.1・3～SP.2・4間の基本層序（第7図①）において、表土下約1.2mで灰白色火山灰の2次堆積層が認められた。この灰白色火山灰層はAD10世紀前葉に降下した十和田a火山灰層〈To-a〉に相当するものと考えられる。山居遺跡Ⅱ区ではこの火山灰層の前後の時期の遺構が検出されている。

この灰白色火山灰層は谷の出口側ほど厚く堆積しており、工事によって削り出された法面では約5cmの1次堆積層が確認された（写真図版1-2）。灰白色火山灰層はいずれもラミナ状をなす水成堆積層上に、ほぼ水平に堆積しており、灰白色火山灰（To-a）が降下した10世紀前葉ころには山居沢の本流部分はほぼ現在の流路（第6図）の位置となり、調査区付近は谷底の旧河道路に残された沼沢地ないしは湿地となっていたものと考えられる。その沼沢地ないしは湿地も灰白色火山灰及びその2次堆積層によってほぼ埋め尽くされ、以後、丘陵上部の表土を供給源とする陸成のシルト層が形成され、現在の地形となっているものと考えられた。

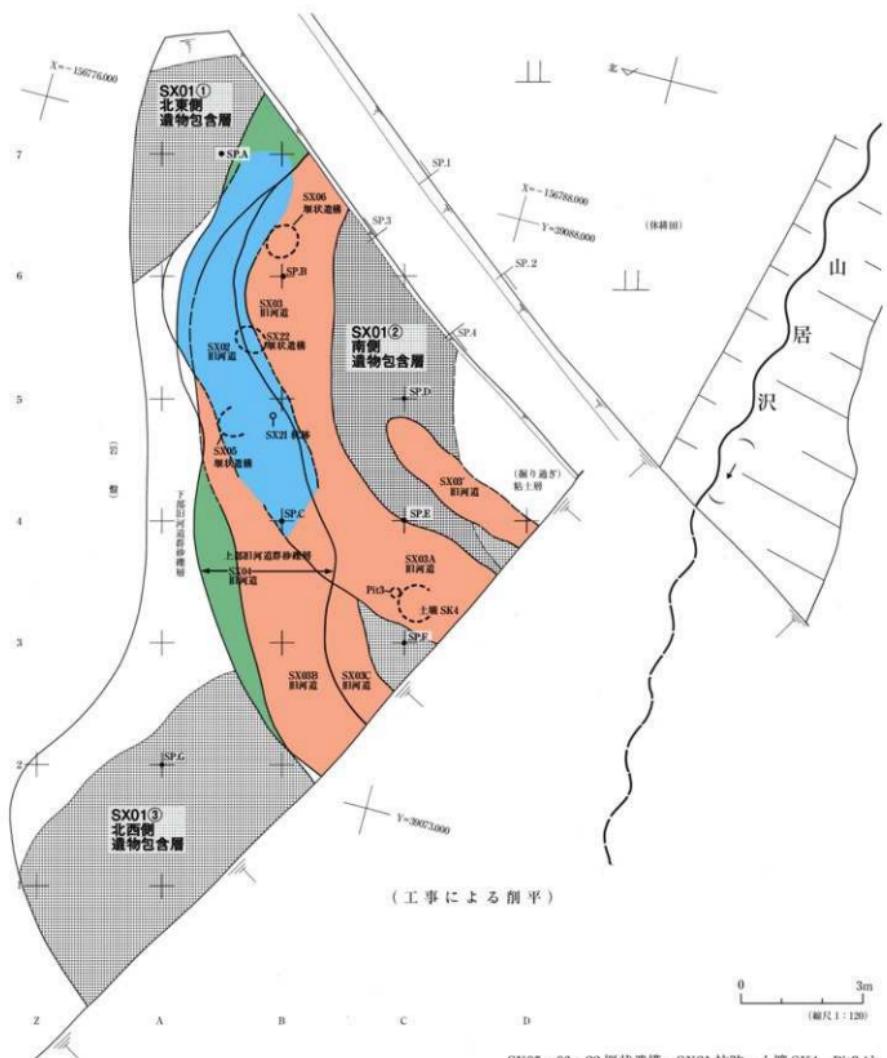
#### （2）上部旧河道層群

灰白色火山灰降下以前の砂礫層からなる旧河道堆積層群である。調査では基本的にこの層までを、重機で取り除いた。Ⅰ区の中でも主体となるSX01②南側遺物包含層を覆う旧河道SX02・03・04までがこの上部旧河道層群に相当する。上部旧河道層群の砂礫層中の遺物は包含層1層として取り上げたが、いずれも断片的でまとまるものではない。一方、SX01①北東側遺物包含層では、旧河道SX03・04堆積層と新旧関係を持ちながら、遺物包含層が形成されていた。

SX06堰状遺構（巻頭写真1-2）・SX05堰状遺構は旧河道SX03・SX04の底面において検出された。

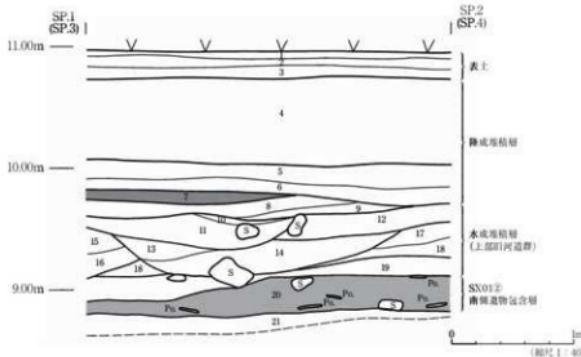
#### （3）SX01①北東側遺物包含層

沢筋の上部旧河道層群と関係しながら、沢べりの山側斜面には主に黒色粘土層からなるSX01①北



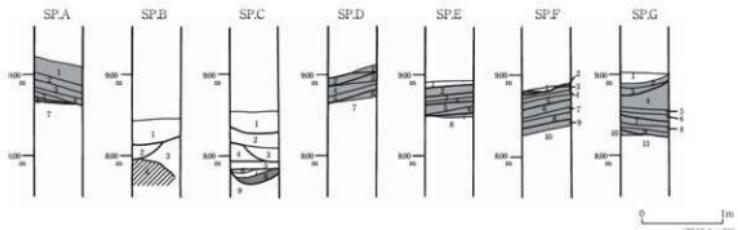
SX05・06・22塚状遺構、SX21杭跡、土器SK4、Pit3は上部旧河道群砂礫層下の位置を示している。

第6図 山居遺跡I区の確認面と遺構の位置



土色	土性	備考
1-3	褐色	新しい土壌・未耕種土
4	褐色 (7.5YR4/2)	シルト 地山小礫を含む
5	黒褐色 (5Y3/2)	シルト ダライ化した小礫を含む
6	黒褐色 (10Y2/1)	砂質シルト ダライ化した小礫を含む
7	暗褐色 (7.5Y3/3)	砂質シルト 原白山火山灰 (To-1の2次堆積層)
8	オーラーブ褐色 (5Y3/1)	砂礫 礫の一部が、ラメ状をなす水成堆積
9	黄褐色 (7Y3/2)	砂質シルト 上層から漸移的に変化
10	黄褐色 (7Y2/2)	シルト 未分類岩塊を多く含む
11	黄褐色 (7Y3/3)	砂礫 ダライ化した小礫を多く含む
12	暗褐色 (7.5Y3/2)	砂礫 5-10cmの礫を含む
13	黄褐色 (7Y3/2)	シルト質砂礫 未分類岩塊に富む
14	黄褐色 (7Y3/4)	円礫を含む
15	黄褐色 (7Y3/2)	シルト質砂礫 未分類岩塊に富む
16	黄褐色 (7Y3/6)	円礫を含む
17	黄褐色 (7Y2/2)	砂質シルト 未分類岩塊を多く含む
18	黄褐色 (7Y3/5)	砂礫 円礫を含む
19	オーラーブ褐色 (7.5Y3/2)	砂礫 ダライ化した砂礫層。南側遺物包含層1層 (旧河道X03堆積層)
20	黒褐色 (10Y1/7)	シルト 泥化物を多く含む。南側遺物包含層2層
21	オーラーブ褐色 (7.5Y3/1)	シルト質粘土 上層に泥化物を含む。南側遺物包含層3層

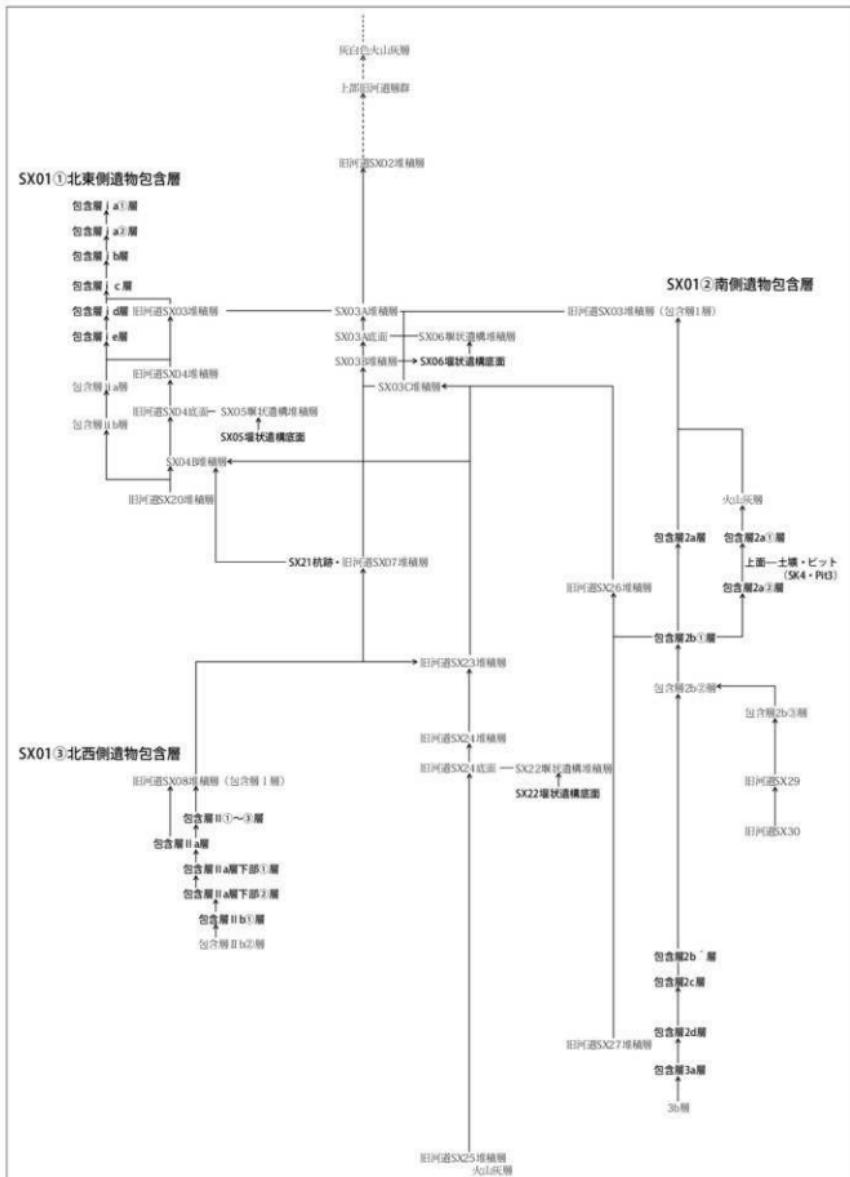
① 基本層序 (第6図のSP.1・3~SP.2・4)



番号	SP.A	番号	SP.B	番号	SP.C	番号	SP.D	番号	SP.E	番号	SP.F	番号	SP.G	番号	SFG
1	混合層1a層	1	SX03B河谷堆積層	1	SX03B河谷堆積層	1	混合層2a層	1	混合層1層	1	混合層1層	1	混合層1a層		
2	混合層1a層	2	SX03A河谷堆積層	2	SX03A河谷堆積層	2	混合層2b層	2	混合層1層	2	混合層1層	2	混合層1b層		
3	混合層1a層	3	粘土層 (無遺物)	3	SX03B河谷堆積層	3	混合層2b'層	3	混合層1層	3	混合層1層	3	混合層1c層		
4	混合層1a層	4	岩盤	4	SX24B河谷堆積層	4	混合層2b'層	4	混合層1層	4	混合層1層	4	混合層1a層		
5	混合層1a層	5	SX24B河谷堆積層	5	混合層2b'層	5	混合層2b'層	5	混合層1層	5	混合層1層	5	混合層1a層		
6	混合層1a層	6	SX25B河谷堆積層	6	混合層2b'層	6	混合層2b'層	6	混合層1層	6	混合層1層	6	混合層1a層		
7	砂礫層 (無遺物)	7	(無遺物)	7	2b層 (無遺物)	6	混合層2b'層	6	混合層1層	7	混合層2b'層	7	混合層1a層		
	(8-火成岩層)				7	混合層2b'層	7	混合層1層	7	混合層2b'層	8	混合層2b'層	8	混合層1a層下部土層	
	砂礫層 (無遺物)				8	3b層 (無遺物)	8	混合層2b'層	9	混合層2b'層	9	混合層2b'層	10	混合層1b層	
													11	2b'層 (無遺物)	

② 土層断面柱状模式図 (第6図のSP. A~G)

第7図 基本層序と土層断面柱状模式図



山居遺跡I区の新旧関係

東側遺物包含層が形成されていた。遺物包含層は炭化物や動物の骨片を含む廃棄層で、下部旧河道のSX20堆積層上面に、SX01①包含層 ii a・b層→(旧河道SX04堆積層)→SX01①包含層 i d・e層→(旧河道SX03堆積層)→SX01①包含層 i a①～i c層の順に堆積していた。

#### (4) SX01②南側遺物包含層2a層～2b①層上面

上部旧河道層群の旧河道SX03堆積層に覆われた黒色土層である。夥しい炭化物等を含む廃棄層で、包含層2a①～②層に細別された。包含層2a層は旧河道SX03の堆積作用ばかりではなく、浸食作用も受けているために、包含層2a層上面の状態は必ずしも安定的ではない。下流側の包含層2a層上面では斑状に分布する火山灰(写真図版1-3)が検出された。包含層2a②層上面～2b①層上面に安定面が確認され、土壤1基・ピット1個が検出され、土器は安定面に押しつぶされたような状態(巻頭写真2-1)で出土している。

#### (5) SX01②南側遺物包含層2b層

包含層2b層は2b①～2b③層に細別された。2b①層は砂質シルトの包含層で、2b②・③層は水成堆積の砂礫層である。

#### (6) 下部旧河道層群

上部旧河道群の下で確認された下部旧河道群にはSX07・08・23・24・26・27・29・30がある。個々の新旧関係は11頁のとおりである。いずれもより上位の河道による浸食を受けており、流路の全体は必ずしも明らかではない。同一河道で地点の離れている場合は、別名を付している可能性もある。

SX22堰状構造は旧河道SX24の底面において検出されている。

#### (7) SX01③北西側遺物包含層

旧河道SX08堆積層(包含層I層)の下で確認された。間層に薄い砂礫層・砂質シルト層がはいる黒褐色～黒色土層である。多くの炭化物等を含む廃棄層で、包含層II①～II b②層まで細別された。

#### (8) SX01②南側遺物包含層2b'～3a層上面

SX01②南側遺物包含層2b層の砂礫層下の黒褐色～黒色土層である(巻頭写真2-2)。夥しい炭化物等を含む廃棄層で、包含層2b'層・2c層・2d層に細別された。このうち、包含層2b'層はこぶし大の角礫を多く含む黒褐色土層で沢筋より山側のやや高い位置に広がり、包含層2c層は礫をあまり含まない黒色土層で沢寄りのやや低い位置を中心広がっている。層相の違いはあるものの、包含層2b'層と包含層2c層は本来同一の層である可能性が強い。これらの層の下位に、より黒色でやや粘土質を帯びる包含層2d層が広がっている。

#### (9) SX01②南側遺物包含層3a層～3b層上面

SX01②南側遺物包含層3a層は2d層下のややグライ化した灰黄褐色粘土層である。土器片とともに炭化物や焼骨が混じっており、水の影響を受けた遺物包含層と考えられた。無遺物層の3b層上面には炭化物の広がる箇所が認められた。

#### (10) 旧河道SX25堆積層

やや砂質の火山灰層(写真図版19-3)の堆積が認められた。遺物は出土していない。SX01②南側遺物包含層3b層と直接、新旧関係を確かめることのできる箇所はなかった。

## 2. 山居遺跡 I 区の遺物包含層について

3ヶ所の遺物包含層は多くの土器とともに、トチノキ炭化種皮碎片などの多量の炭化物や、焼けた獸骨・鳥骨片を含む黒色土層である。遺物包含層の花粉分析を行った地点においても、ほとんどの花粉がすでに分解されて残っておらず、陸成堆積によるものと考えられた。

### (1) SX01①北東側遺物包含層

SX01①北東側遺物包含層は南西側の斜面に形成され、調査面積は約15m<sup>2</sup>である。包含層 i a①～ii 層まで、最大6層に分層された。沢筋側は旧河道によって浸食されていた。出土遺物の分析により、SX01①北東側遺物包含層は縄文時代晩期中葉に形成されたものであることが明らかとなった。

### (2) SX01②南側遺物包含層

SX01②南側遺物包含層は調査区の中では最大の遺物包含層で、調査面積は約50m<sup>2</sup>である。遺物包含層全体は水成堆積の砂礫層（上部旧河道群SX02～04堆積層）で覆われている。主たる遺物包含層となる黒色土層は大きく上下2枚認められ、間層に砂質シルト・砂礫層が入っている。包含層 2a②層上面 - 2b①層上面に安定した層理面があり、土壤1基・ピット1個が確認された。出土遺物の分析により、SX01②南側遺物包含層の継続時期は縄文時代中期後葉から晩期中葉であることが明らかとなった。

### (3) SX01③北東側遺物包含層

SX01③北東側遺物包含層は面積約30m<sup>2</sup>で、南側は工事によって大きく削平されている。主体となる下部の遺物包含層の時期は縄文時代後期後頭から後期前葉である。

## 3. 山居遺跡 I 区の遺構について

旧河道部分の調査では、堰状遺構3ヶ所と川べりの杭跡1ヶ所が確認された。SX01②南側遺物包含層では、土壤1基・ピット1個が検出された。出土遺物の詳細に関しては後述する。

### (1) SX06堰状遺構（第8図①）

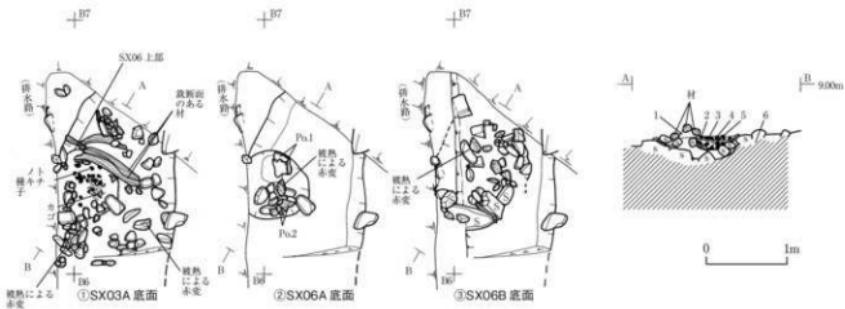
【位置】 B6区～B6西ベルト〔確認面〕 旧河道SX03A底面

【重複】 同位置でSX06A・SX06B堰状遺構が重複している。SX06B堰状遺構が作り直されて、SX06A堰状遺構が作られたと考えられる。

【平面形・規模】 旧河道の上流側、流路と直交方向に裁断面のある材3本と、下流側には被熱による赤変のある礫2点を含む拳大の礫がややまとまって認められた（第8図①-a）。材の長さは約90cm、材と礫群の距離は約100cmである。材と礫の間の粗砂層（第8図①右断面図）を除くと、直径約90cmの有機質に富む黒褐色土が検出され、深さ約20cmの浅い皿状をなすピットが確認（第8図①-b）された。SX06A堰状遺構は、これらの上流側の材と皿状のピット、下流側の本来は堰状をなしていたと見られる礫群から成り立つ。

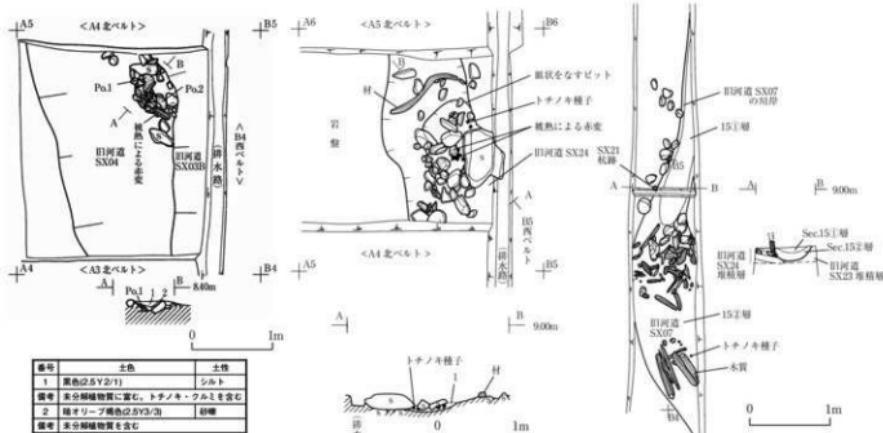
【堆積土】 水成堆積の黒褐色～黒色の砂礫～砂質シルトが3層認められた。

【下部遺構】 SX06Aの下部には、長軸130cm・短軸110cm・深さ30cmほどのSX06Aのピットよりも一回り大きな皿状をなすピットが検出された。旧河道SX03Aの下流側には、流路を堰止めるような形で長軸60cmほどの大きな礫や擦石（第240図3）、被熱の痕跡ある礫が検出（第8図①-c）された。ピッ



番号	土色	土性	適生と上げ育て	参考
1	灰オリーブ色 (7.5Y4/2)	稍粘	水成潤解。旧河川SX03A地盤解離。	
2	黒褐色 (2.5Y3/1)	砂礫	(分用サンプル)	完形の糞土トノキ種子をやわらかに含む。有機質に富む。
3	茶褐色 (2.5Y2/1)	砂砾		水成潤解。
4	黒褐色 (2.5Y3/1)	砂質シルト	(分用サンプル)	完形のトノキ種子を含む。有機質に富む。
5	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土		トナリキ種子片・有機質に富む。SX06B地盤解離。
6	黒褐色 (2.5Y3/2)	砂砾		盛土 (原)

① 旧河道SX03A-SX06環状構造平面図・断面図



### ② SX05樹林遺構平面圖・斷面圖

番号	土色	土性	適物取上げ履歴
1	黒色 (10YR 1/7-1)	粘土質シルト	粗根固

④ SX21航跡平面圖・斷面圖

	備考
P13	底径24cm、深さ20cm、堆積土：黒褐色土
土壤4	基盤の0cm以上、粗粒24cm、深さ36cm。堆積土：下部を黒

番号	土色	土性	適耕期・耕作履歴	備考
1 黄褐色(10YR4/6)	砂砾	砂質土	暖を含む 砂河底SX03堆積層	
2 褐黒色(10VR2/2)	シルト	土質4種類 粘土堆積		
3 黒色(10YR7/7)	シルト質粘土	土質4種類 粘土堆積		
4 黄褐色(10YR7/7)	シルト	粘土質2種 暖を含む		
5 黄オーライプ(2.5Y3/3)	砂質シルト	粘土質2種 暖化過程を含む		
6 オリーブグリーン(2.5Y4/2)	砂砾	粘土質2種 其の物質から、水成堆積		
7 暗緑灰青(2.5Y5/2)	砂砾	粘土質2種 水成堆積		
8 黄褐色(10YR7/1)	シルト	粘土質2種 こじらし物を多く含む		
9 青灰褐色(10YR4/2)	粘土	粘土質3種 ややクランク		

第8図 発見された遺構

トの堆積土は黒褐色の粘土で、SX06Aとは異なっていた。SX06Bが旧河道SX03Aの流路上で半ば自然に埋没した時点で、作り直されたものと考えられた。

【出土遺物】 堆積層中からはトチノキの種子（242頁参照）及びカゴの断片（233頁参照）が出土（巻頭写真1-2・第22図①）した。土器は堆積層中・底面から出土（30頁第23図参照）している。

#### （2） SX05壠状遺構（第8図②）

【位置】 A4区〔確認面〕旧河道SX04堆積層中（写真図版15-1）〔重複〕旧河道SX03Bが東側を浸食する。

【平面形・規模】長軸約75cm、短軸約50cm・深さ約20cmの浅い皿状のピットと下流側には、深鉢形土器の大破片や礫が皿状に並んで検出（写真図版15-3）された。被熱による赤変のある礫も1点認められた。

【堆積土】水成堆積の未分解植物質に富む黒色シルト層と暗オリーブ褐色砂礫層が認められた。上部堆積層上面には浮遊物と見られる木の枝等に混じって、トチノキやクルミが確認（写真図版15-2）された。

【出土遺物】 植物遺体のほかに、堆積層中・底面から土器（61頁第65図）が出土している。

#### （3） SX22壠状遺構（第8図③）

【位置】 A5区〔確認面〕旧河道SX24堆積層中〔重複〕なし。

【平面形・規模】 長軸約120cm・短軸約80cm・深さ約15cmの浅い皿状をなす梢円形状のピットと下流側には被熱による赤変のある礫2点を含む拳大の礫がややまとまって認められた。東側にはほぼ平坦な70×45cmの自然石が見られた。旧河道の上流側には流路と直交方向の材1本が認められた。材は全体に腐朽が進んでおり、裁断面の有無は確認できなかった。材の長さは約120cm、材と礫群の距離は約100cmである。礫群は全体的に崩落が進んでいる。

【堆積土】水成堆積の有機質に富む黒色粘土質シルトが認められた。崩落したと見られる拳大の礫も若干認められる。

【出土遺物】 堆積層中からトチノキ種子とともに深鉢形土器小片が出土している。トチノキ種子は散漫ながら有機質に富む黒色粘土質シルトに包含されていたために、多くが完形のものであった。幼果や果実片などをほとんど含まないことから、人為的に集積されたものと判断された。

#### （4） SX21杭跡（第8図④）

【位置】 B4西ベルト〔確認面〕旧河道SX04堆積層中

〔重複〕 旧河道SX04の砂礫層で杭の頭の部分が確認され、砂礫層を掘り下げていったところ旧河道SX07の川べり位置していることが判明し、旧河道SX07に伴う施設の可能性が考えられた。また、残痕も含め、杭列をなすかどうか確認したが、1本しか確認することはできなかった。

【出土遺物】 SX21杭跡の断面図作成の折に、旧河道SX07から土器が出土している。木杭の詳細は木製品の項（233頁第241図1）参照。

#### （5） 土壙SK4（第8図⑤）

【位置】 C3西ベルト〔確認面〕包含層2b①層上面〔重複〕ピット3と重複。新旧関係は不明。

【平面形・規模】 長軸80cm以上、短軸74cmの梢円形状を呈している。深さ36cm。

【堆積土】 堆積土は黒褐色・黒色土で、自然堆積である。

【出土遺物】 堆積層中から土器（151頁第157図）が出土している。

#### (6) ピットPit3（第8図⑤）

【位置】C3西ベルト【確認面】包含層2b①層上面【重複】土壤SK4と重複。新旧関係は不明。

【平面形・規模】直径24cm、深さ20cm【堆積土】黒褐色土【出土遺物】なし。

#### 4. 山居遺跡I区の旧河道堆積層について

旧河道堆積層群は、概ね短期間のうちに堆積したと見られる小角礫を主体とする砂礫層と、緩慢な堆積によると見られる多量の大型植物遺体や花粉、有機質に富む黒色土（粘土）層の互層となってている。遺物の出土状況はいずれも散漫で、土器はほとんど接合せず、割れ口まで摩滅するものも見られた。調査区の確認面においてはSX04旧河道→SX03旧河道→SX02旧河道の3つの上部旧河道群が検出され、これらの旧河道は堆積層の違いによってさらに細別された。これらの旧河道群の下位にはさらに、SX07・08・20・23・24・25・26・27・29・30の下部旧河道群が検出された。下部旧河道群は、より上位の旧河道によって浸食されており、流路の全体を明らかにすることはできなかった。

#### 5. 出土遺物

出土遺物は土器を中心とする人工遺物が平箱で100箱ある。調査期間中に、剥片石器が極端に少ないことを認識し、微小遺物採取を目的に土嚢袋約200袋分の2mmメッシュによる土壤洗浄も合わせて行っている。最終的には微小剥片も含めて12点の剥片石器類が出土したのみであった。木製品にはカゴ、木杭、截断面のある材がある。SX06壇状造構から出土したカゴの断片は東北歴史博物館と協議の上、取り上げた。

自然遺物は植物遺体と動物遺存体がある。自然遺物においても、自然堆積の旧河道堆積層と人為的な廃棄層からなる遺物包含層とでは、出土の態様に違いが認められた。花粉を含む植物遺体については、古代の森研究室に分析を依頼した。

以下に、出土遺物を土器・土製品・石器・木製品・自然遺物の順に記述していく。

## A. 土器

最初に、工事排土から回収した土器、重機による砂礫層除去後の遺構確認時に出土した土器について述べ、次に発掘調査手順により、細別層位の上位から順に記述していく。調査の全体を通して、調査区ごとの大別層位の対応関係は明らかとなったものの、細別層位については各グリッド区・ベルトにおいて多様な堆積状況を示しており、部分的にしか認められない層も多数確認された。こうした層の堆積状況となっているために、ここでは各グリッド区・ベルトの細別層位に基づいて、谷奥部側（A7区）から谷の出口側（A1区）へと、記述を進めていく。

### （1）工事排土回収土器（第9図）

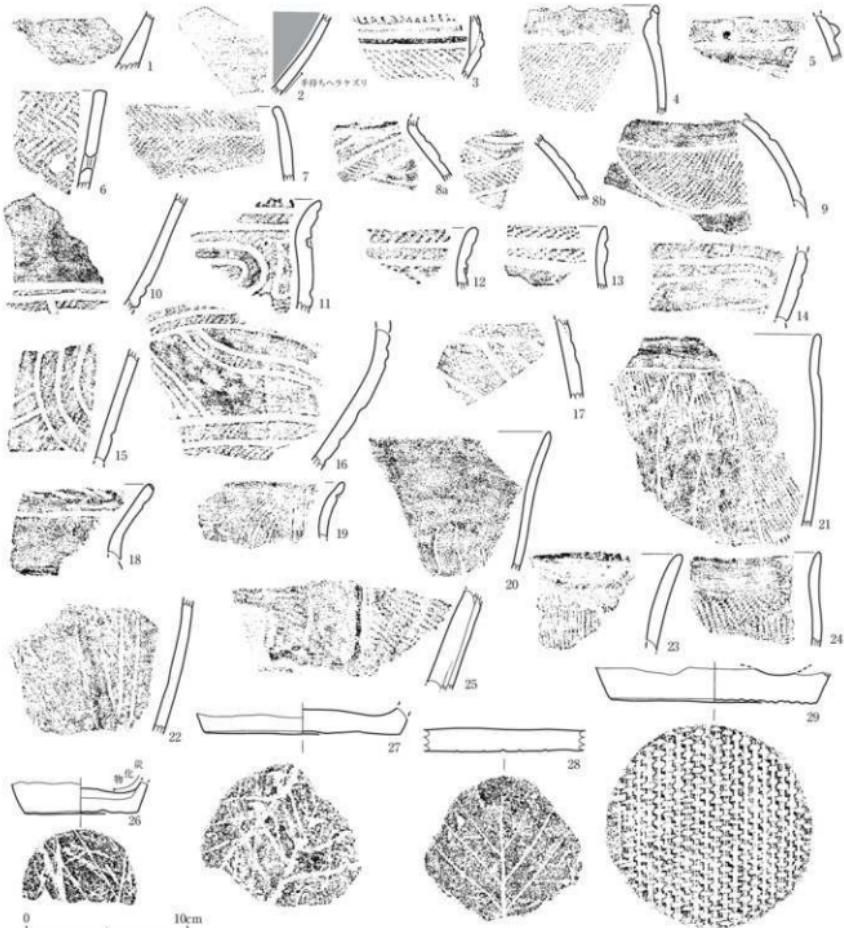
調査区の南西側に接する工事箇所約250m<sup>2</sup> の排土から、平箱で2箱分の土器を回収した。調査区の土器と接合したものもあり、それらは調査区の土器の中に示す。

1・2が古代の須恵器・土師器である。3~29が縄文時代晚期中葉から後期初頭の土器である。調査区のSX01②南側遺物包含層の最下層で検出された縄文中期後葉の土器は発見されなかった。また、調査区では発見されなかった丸棒状の工具による太描沈線文を特色とする土器（11~17）が比較的目につき、調査区とはやや異なる様相を呈している。

### （2）遺構確認時出土土器（第10図）

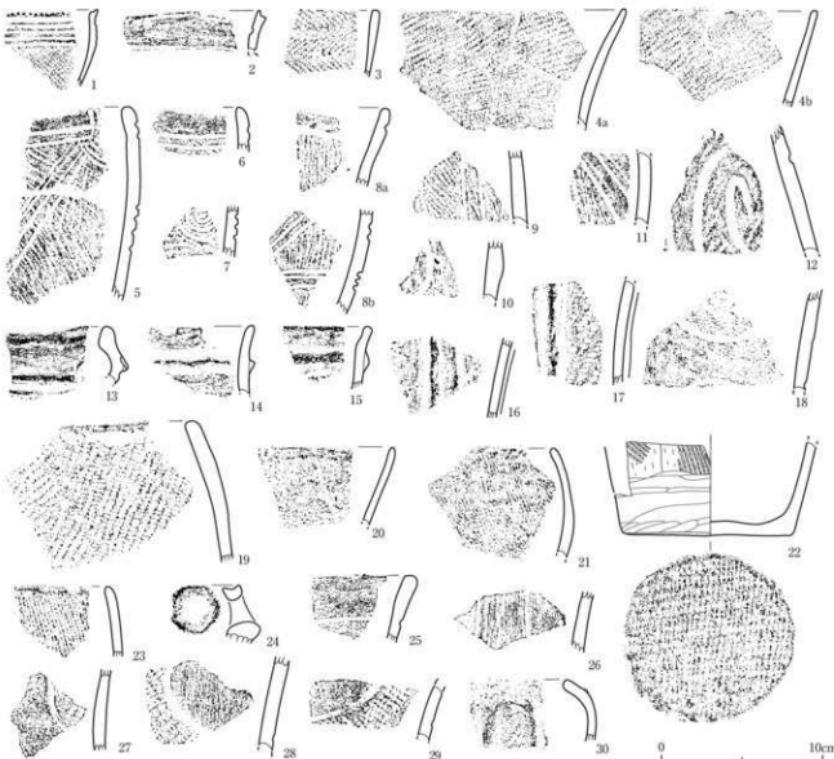
古代の灰白色火山灰層下に広がる水成堆積の砂礫層は、重機を使って可能な限り除去した。その後、調査グリッドを設けて、グリッド区から調査を開始した。第10図に示した土器は、重機によって砂礫層の大半を除去した後の遺構の確認作業時に出土した土器である。平箱で1箱分ほどの土器が出土した。

1・2が縄文時代晚期、3~30が後期～中期の土器である。中期土器を包含するSX01②南側遺物包含層の南隅の一部（約10m<sup>2</sup>）を、重機の出入口としたために傷付けてしまった（第6図）。このため、確認段階から下層部の土器の一部が散見される。



番号	出土地区	断面・分類	特徴	写真図版	番号	出土地区	断面・分類	特徴	写真図版
1	工事跡土	断面直・素	外側：タキ	20-1-1	12	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、沈継文	20-1-16
2	工事跡土	土鉢鉤・刃	外側：ロクロナダ→手鉢をヘラカズリ、内側：葉色鉢縁	20-1-2	13	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、沈継文	20-1-17
3	工事跡土	鉢鉤・Ta	曲文 (HR)、平行浅継文、耐歯文、海綿状骨針	20-1-3	14	工事跡土	深鉢・Vb1	口唇部：鉢鉤沈継文	20-1-18
4	工事跡土	深鉢・1D	曲文 (LR)、曲継文、外側：炭化物付裏、海綿状骨針	20-1-4	15	工事跡土	深鉢・Vb1	耐歯文 (HR)→曲継文 (HR)→内形刻削文 (先端の尖った工具)	20-1-19
5	工事跡土	深鉢・3a	曲文 (HR)→槽鉢、沈継文、内側：炭化物付裏	20-1-5	16	工事跡土	深鉢・Vc1	耐歯文 (HR+鉛錆跡)	20-1-20
6	工事跡土	深鉢・3d	羽状継文 (RL/HR-QR多文)、沈継文、耐歯孔	20-1-6	17	工事跡土	深鉢・Vb1	耐歯文 (HR)→曲継文 (HR)→内形刻削文	20-1-21
7	工事跡土	深鉢・Ed	羽状継文 (RL/HR)、外側：炭化物付裏	20-1-7	18	工事跡土	深鉢・Vb1	耐歯文 (HR)→曲継文 (HR)→内形刻削文 (先端の尖った工具)	20-1-22
8a	工事跡土	深鉢・Ea	羽状継文 (RL/HR-QR多文)、沈継文、内側：炭化物付裏	20-1-8	19	工事跡土	深鉢・Vc1	耐歯文 (HR)	20-1-24
9	工事跡土	深鉢・Eb	羽状継文 (RL/HR-QR多文)、曲文 (LR)	20-1-9	20	工事跡土	深鉢・Vc1	耐歯文 (HR)	20-1-25
10	工事跡土	深鉢・Ea	横刃平行浅継文、耐歯孔沈継文、曲文 (LR)	20-1-10	21	工事跡土	深鉢・Vc1	耐歯孔沈継文、曲文 (HR-QR多文)	20-1-26
11	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、内形竹管文、沈継文	20-1-11	22	工事跡土	深鉢・Vc1	木葉面、内側：網状に炭化物付裏	20-1-27
12	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、円形竹管文、沈継文	20-1-12	23	工事跡土	深鉢・Vc1	木葉 (カシワ) 面、外側：網状炭化物付裏	20-1-28
13	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、沈継文	20-1-13	24	工事跡土	深鉢・Vc1	木葉面	20-1-29
14	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、沈継文	20-1-14	25	工事跡土	深鉢・Vc1	耐歯 (1本越2本通) 面	20-1-29
15	工事跡土	深鉢・	曲文 (LR)、沈継文	20-1-15					

第9図 工事排土回収土器



番号	出土地区	縁形・分類	特徴	可算個数	番号	出土地区	縁形・分類	特徴	可算個数
1	I 区遺跡建設	縁H・1a	高文 (R), 平行波線文、利呂文、海綿状斜封	20-2-1	16	I 区遺跡建設	深鉢・Vb	標準海綿文、高文 (R), 波綫文	20-2-16
2	I 区遺跡建設	縁H・1b	波綫文、海綿状斜封	20-2-2	17	I 区遺跡建設	深鉢・Vc	標準海綿文、高文 (R), 波綫文	20-2-17
3	I 区遺跡建設	縁H・1d	波狀文 (R/L/R)	20-2-3	18	I 区遺跡建設	深鉢・Vtb	高文 (L/R), 波綫文	20-2-18
4a,b	I 区遺跡建設	縁H・1c	高文 (R), 外面：炭化物付箇 (高こぼれ状)	20-2-4	19	I 区遺跡建設	深鉢・Vtc1	高文 (R)	20-2-19
5	I 区遺跡建設	縁H・1f1	高文 (R) → 一条条波綫文、外面：保状変化物付箇	20-2-5	20	I 区遺跡建設	深鉢・Vtc2	高文 (L/R)	20-2-20
6	I 区遺跡建設	縁H・1f2	海綿文→横位平行波綫文	20-2-6	21	I 区遺跡建設	深鉢・Vtc1	高文 (R)	20-2-21
7	I 区遺跡建設	縁H・N	高文 (R) → 同心円状文/多条波綫文	20-2-7	22	I 区遺跡建設	深鉢・Vt?	高文 (R), 底面：網代 (1本越1本掛) 網	20-2-22
Bab	I 区遺跡建設	縁H・Vb1	高文 (R), 波綫文	20-2-8	23	I 区遺跡建設	深鉢・Vtc1	高文 (R)	20-2-23
9	I 区遺跡建設	縁H・Vb	高文 (R) → 一層文/波綫文	20-2-9	24	I 区遺跡建設	深鉢・Vba	環状把手2箇	20-2-23
10	I 区遺跡建設	縁H・Vb	高文 (R), 波綫文	20-2-10	25	I 区遺跡建設	深鉢・Vbc1	高文 (L/R), 波綫文	20-2-24
11	I 区遺跡建設	縁H・Vd	高文 (R) → 一層文/波綫文	20-2-11	26	I 区遺跡建設	深鉢・Vbd?	波状波綫文	20-2-25
12	I 区遺跡建設	縁H・Vb	高文 (R), 满春文/波綫文、斜対文、外面：炭化物付箇	20-2-12	27	I 区遺跡建設	深鉢・Vd	高文 (R), 波綫文	20-2-26
13	I 区遺跡建設	縁H・Vca	波綫文、横位斜田文 (2箇1対?)、高文 (L/R), 波綫文	20-2-13	28	I 区遺跡建設	深鉢・Ve	高文 (L/R), 波綫文	20-2-27
14	I 区遺跡建設	縁H・Vd	海綿文	20-2-14	29	I 区遺跡建設	深鉢・Vf	高文 (L/R), 波綫文	20-2-28
15	I 区遺跡建設	縁H・Vg	海綿文	20-2-15	30	I 区遺跡建設	深鉢・Vca1	高文 (R), 海綿文	20-2-29

第10図 遺構確認時出土土器

### (3) SX01①北東側遺物包含層A7区包含層出土土器（第12図）

A7区では、包含層 i b 層中から i d 層上面において、土器が出土した。包含層 i b 層中では接合する個体(3)が検出された。いずれも深鉢形土器で器形は口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。また、口頭部に数条の平行沈線文や刻目文をめぐらすものがある。口縁部が内湾するものでは沈線文・刻目文を施すもの(2・3・6)と地文のみのもの(4・7・8)とがある。胴部は幅の広い羽状繩文と斜行繩文がある。土器胎土中に海綿状骨針を含むものが目立つ。

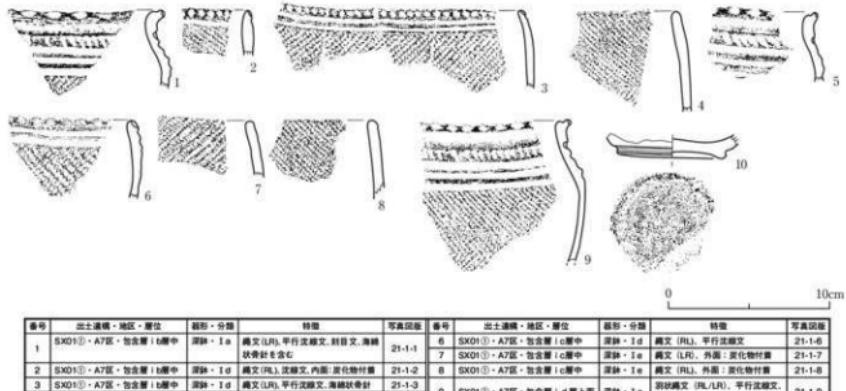
### (4) SX01①北東側遺物包含層A6北ベルト包含層出土土器（第13図）

A6北ベルトの堆積状況は第11図に示したとおりである。1~5が包含層Ia①層～i d層である。概ね黒色のシルト～粘土層で、下部のi c～i d層には被熱の痕跡を残す動物の骨片が含まれていた。包含層 i d層下には、SX04旧河道堆積層(砂礫層)と7・8の包含層 ii a・ii b層が検出された。SX04旧河道が包含層 ii a層を浸食している。包含層 ii b層下の最下層では砂礫層が確認された。A5北ベルトの旧河道SX20堆積層に相当するものと考えられる。A6北ベルトでは、國化できる遺物は出土しなかった。

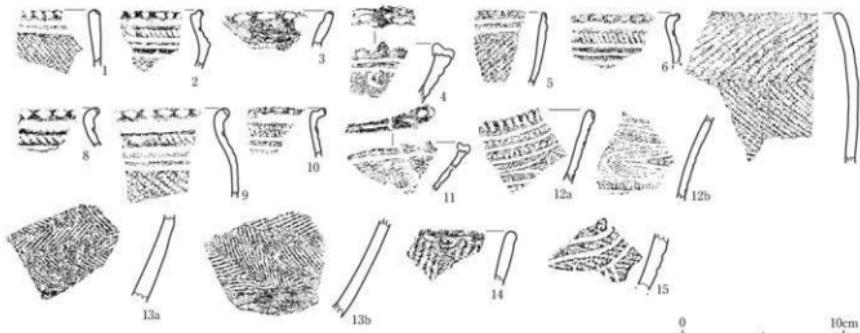
第13図1~11が包含層 i a①層中～i d層中の出土土器である。深鉢形土器のほかに、皿形土器(4・11)が出土している。深鉢形土器は口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。口頭部に数条の平行沈線文・刻目文をめぐらすものや地文のみのもの(7)とがある。胴部はいずれも幅の広い羽状繩文や斜行繩文である。土器胎土中に海綿状骨針を含むものが目立つ。12~15が包含層 ii a層～ii b層中出土土器である。いずれも深鉢形土器で入組帶状文、幅の狭い羽状繩文、節の粗い繩文を施したもののが出土している。



第13図 SX01①北東側遺物包含層A6区北ベルト断面



第12図 SX01①北東側遺物包含層・A7区・包含層 i b層中～i d層上面出土土器



第13図 SX01①北東側遺物包含層・A6北ベルト・包含層 i a層中～ii b層中出土土器

## (5) SX01①北東側遺物包含層A6区出土土器（第14～18図）

A6区では、SX01①北東側遺物包含層は包含層 i a層～i e層が認められた。下部の包含層 i d～i e層は旧河道SX03によって東側の沢筋部分が浸食されていた。これらの下に旧河道SX04堆積層が認められ、以下は無遺物層となっている。

### ①包含層 i a②層上面～i b層中出土土器（第14図）

包含層 i b層中（5～13）から比較的接合する土器が出土している。いずれも深鉢形土器で、口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。また、口頭部に数条の平行沈線文や刻目文をめぐらすものと地文のみのもの（2・4・10）がある。胴部は幅の広い羽状縄文と斜行縄文（4）がある。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがやや目立つ。

### ②包含層 i c層上面出土土器（第15図）

包含層 i c層上面出土の土器である。包含層 i c層上面はA6区の中では最も出土状態が良好（写真図版2-2）であった。深鉢形土器と皿形土器が1点（12）出土している。深鉢形土器は口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。また、口頭部に数条の平行沈線文や刻目文をめぐらすものと地文のみのものがある。胴部は幅の広い羽状縄文と斜行縄文（10）がある。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがやや目立つ。11は底面近くを沈線文が1条めぐっている。皿形土器の内外面には黒漆が塗られている。

### ③包含層 i c層中出土土器（第16図）

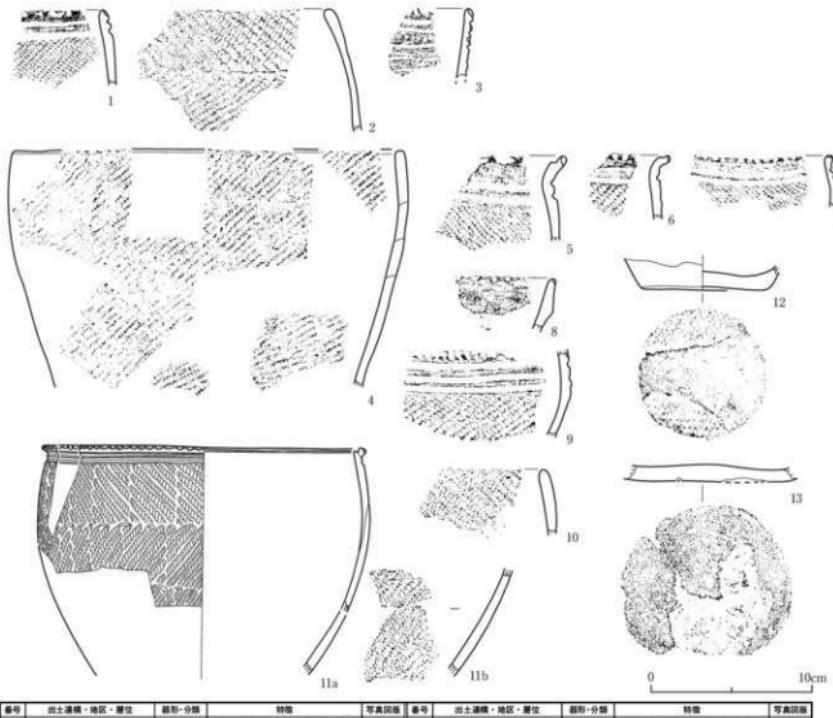
包含層 i c層中からも比較的接合する土器が出土した。いずれも深鉢形土器で、口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。また、口頭部に数条の平行沈線文や刻目文をめぐらすものと地文のみのものがある。胴部には幅の広い羽状縄文と斜行縄文がある。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがやや目立つ。1の底面の縁部分はごく低い台状となっている。

### ④包含層 i c層下旧河道堆積層～i e層中出土土器（第17図）

包含層 i c層から下は包含層 i d層～i e層中と、それを浸食する旧河道SX03堆積層とに分けられる。1・2が旧河道SX03堆積層中から出土した深鉢形土器である。口頭部が短く外反し、平行沈線文と刻目文が施されている。3～8が包含層 i d層～i e層中から出土した深鉢形土器である。口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。また、口頭部に数条の平行沈線文や刻目文をめぐらすものと地文のみのものがある。胴部は幅の広い羽状縄文と斜行縄文とがある。底面及び底面近くの胴部はミガキ調整が施されている。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがやや目立つ。

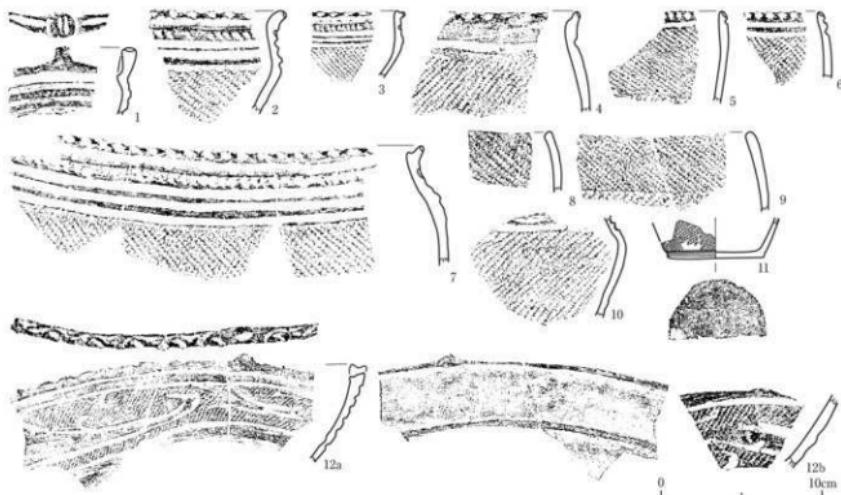
### ⑤旧河道SX04堆積層中出土土器（第18図）

1～10が旧河道SX04堆積層中から出土した土器である。いずれも破片資料である。このうち、1～8は深鉢形土器で、口頭部が短く外反するものと、内湾するものがある。また、口頭部に1ないしは2条の沈線文をめぐらすものとめぐらさないものがある。胴部は幅の広い羽状縊文と斜行縊文とがある。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがある。



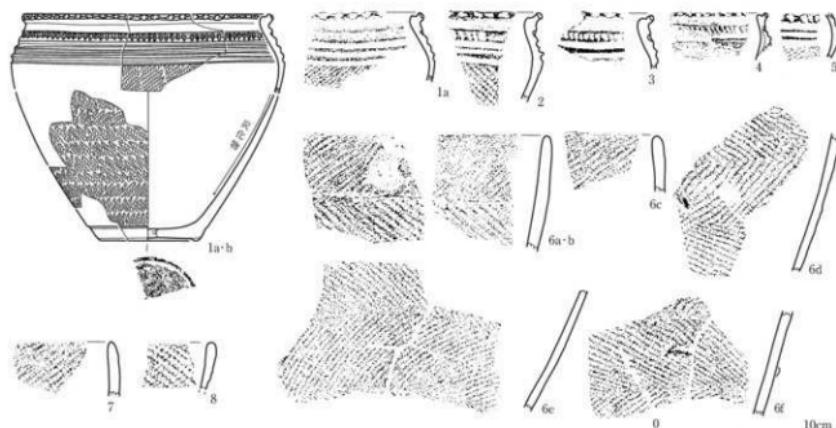
番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版
1	SX01①・A6区・包含層確認	深鉢・1d	商文 (LR)、平行沈線文。内面：変化物付茎。海綿状骨針	21-3-1	7	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1d	商文 (RL)、平行沈線文。外面：変化物付茎	21-3-7
2	SX01①・A6区・包含層確認	深鉢・1e	羽状模様文 (RL/LR)。外側：変化物付茎	21-3-2	8	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1d	商文	21-3-8
3	SX01①・A6区・包含層確認	深鉢	入組葉文/商文。刻闊斜目文。商文 (LR)。内面：変化物付茎	21-3-3	9	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1a	商文 (RL)、平行沈線文。外側：変化物付茎。海綿状骨針	21-3-9
4	SX01②・A6区・包含層 (a2層上・同層中)	深鉢・1e	商文 (LR)。外側：変化物付茎	21-3-4	10	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1e	商文 (RL)。海綿状骨針	21-3-10
5	SX01②・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1b	商文 (RL)、平行沈線文	21-3-5	11a	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1c	羽状模様文 (RL/LR)、平行沈線文	21-3-11
6	SX01②・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・1b	商文 (LR)。底面文	21-3-6	12	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・I	底面：網目 (「本輪目」)。底一辺土粘付 (片側が削り落とし)。一方刃	21-3-12
					13	SX01①・A6区・包含層 (b層中)	深鉢・I	底面：1方刃。内面：変化物付茎	21-3-13

第14図 SX01①北東側遺物包含層・A6区・包含層確認～包含層 I・b層中出土土器



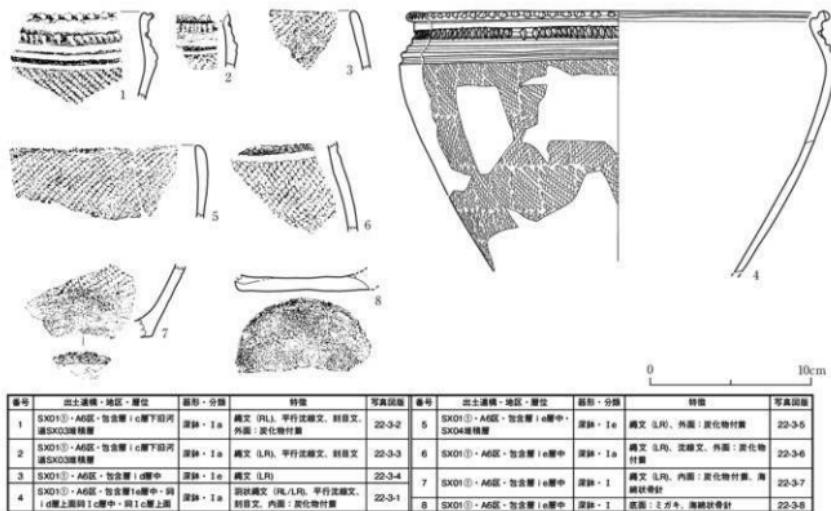
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版番号	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ia	突起・沈縁文、平行波線文。縄文(LR)。内面: 泥化物付帯	22-1-1	7	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ia	縄文(LR+L)。平行波線文。斜目文。海綿状骨針	22-1-2
2	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ia	縄文(LR)。平行波線文。斜目文。海綿状骨針	22-1-2	8	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ie	縄文(LR)。海綿状骨針	22-1-8
3	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ia	縄文(LR+L)。平行波線文。斜目文。内面: 泥化物付帯	22-1-3	9	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ie	波線文(LR/LR)。内外面 泥化物付帯	22-1-9
4	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ib	縄文(LR)。波線文。内面: 泥化物付帯	22-1-4	10	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Ia	縄文(LR)。平行波線文。内面: 泥化物付帯	22-1-10
5	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Id	波紋状文(LR/LR)。波線文。内外面: 泥化物付帯	22-1-5	11	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・I	縄文(LR)。波紋状文。底面: Lカキ	22-1-11
6	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Id	縄文(LR)。平行波線文。内外面: 泥化物付帯	22-1-6	12a	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層上面	A6北ベルト・包含層Ⅰc層中	縄文(LR)。波紋状文。底面: 泥化物付帯。海綿状骨針	22-1-12

第15図 SX01①北東側遺物包含層・A6区・包含層Ⅰc層上面出土土器

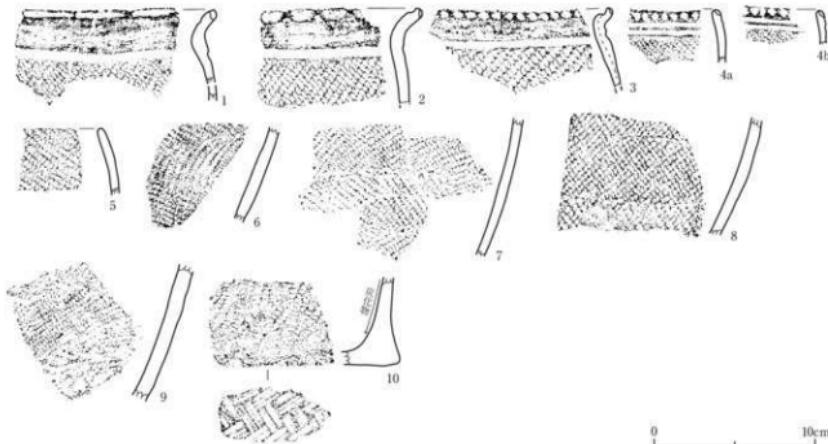


番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版番号	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a,b	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ia	波紋状文(LR/LR)。平行波線文。斜目文。内面: 泥化物付帯。海綿状骨針	22-2-1	5	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ia	縄文(LR)。平行波線文。斜目文。内面: 泥化物付帯	22-2-5
2	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ia	縄文(LR)。平行波線文。斜目文。内面: 泥化物付帯	22-2-2	6a-f	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ie	波紋状文(LR/LR)。内面: 泥化物付帯。海綿状骨針	22-2-4
3	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ia	平行波線文。斜目文。内面: 泥化物付帯	22-2-3	7	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ie	縄文(LR)。平行波線文。斜目文	22-2-7
4	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ia	平行波線文。斜目文	22-2-4	8	SX01①・A6区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ia	縄文(LR)	22-2-8

第16図 SX01①北東側遺物包含層・A6区・包含層Ⅰc層中出土土器



第17図 SX01①北東側遺物包含層・A6区・包含層 i c層下旧河道～包含層 i e層中出土土器



第18図 SX01①北東側遺物包含層・A6区・包含層下旧河道SX04堆積層中出土土器

## (6) B6区出土土器（第19～25図）

B6区では、旧河道SX03・SX24が検出された。SX01①北東側遺物包含層の延びは認められなかつた。旧河道SX03の調査では、SX03Aの底面においてSX06壙状造構が検出された。最下層の旧河道SX24堆積層中からも若干の土器が出土している。A6区とB6区間のベルト（B6西ベルト）部分は、「A-B6区」として遺物を取り上げており、ここで扱う。

### ①旧河道堆積層中出土土器（第19図）

排水路を掘削した時に出土した土器である。細かな分層は行っていない。いずれも砂礫層中からの出土であり、旧河道堆積層に比定される。すべて深鉢形土器で、口頭部が短く外反するものがある。口頭部に数条の平行沈線文や刻目文がめぐる。胴部は幅の広い羽状縄文と斜行縄文とがある。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがやや目立つ。

### ②旧河道SX03A堆積層中出土土器（第20図）

1～14は旧河道SX03Aの堆積層中から出土した土器である。すべて破片資料でほとんど接合もしない。深鉢形土器のほかに、鉢形土器（1）、皿形土器（11）がある。鉢形土器の内外面上部には炭化物が付着しており、煮沸に用いられたものである。平行線化した雲形文が胴部には施されている。深鉢形土器は炭化物の付着が著しいものがある。口頭部は短く外反し、沈線文をめぐらすものがある。胴部は幅の広い斜行縄文となっている。縄文は通常の2本撚りの単節斜行縄文のほかに、附加条の施された縄文（7）も見られる。土器胎土中に海綿状骨針を含むものがある。底面はミガキによって平滑に整えられている。ごくわずかながら台状を呈するもの（14）がある。

### ③旧河道SX03A底面出土土器（第21図）

旧河道SX03A底面から出土した土器（1～14）である。すべて破片資料でほとんど接合もしない。深鉢形土器のほかに、皿形土器（14）がある。皿形土器の内外面には黒漆が塗られており、A6区のSX01①北東側遺物包含層 i c層上面から出土した個体（第15図12）と同一個体の可能性も考えられるが、旧河道SX03A底面出土の破片は全体に摩滅している。深鉢形土器には口頭部は短く外反し、口頭部に沈線文をめぐらすものがある。胴部は幅の広い羽状縄文ないしは斜行縄文となっている。縄文は通常の2本撚りの単節斜行縄文のほかに、附加条の施された縄文（8）も見られる。土器胎土中に海綿状骨針を含むものや炭化物の付着が著しいものがある。

### ④SX06壙状造構出土土器（第23図）

1～4はトチノキ種子を多く含むSX06壙状造構（第22図）の上部堆積層から出土した土器である。いずれも深鉢形土器の小片である。

SX06Aのビット底面に張り付くような形でPo. 1、Po. 2の土器の大破片が出土（第22図b）した。第23図5・6がPo. 1・Po. 2である。ともに、深鉢形土器で、Po. 2の内面には厚く炭化物が付着しており、年代測定の資料（ISK-5）とした。口頭部が短く外反し、平行沈線文・刻目文が施されている。

第23図7～13がSX06B壙状造構底面から出土した土器である。深鉢形土器のほかに、鉢形土器が1点ある。胴部には平行線化した雲形文が施されている。

いずれも炭化物の付着が著しい。

#### ⑤旧河道SX03B堆積層中出土土器（第24図）

1~14は旧河道SX03Bの堆積層上層中から出土した土器である。このうち1~8が上部の粗砂層中から出土したもので、すべて破片資料で接合しない。深鉢形土器のほかに、壺形土器（3）、鉢形土器（4・5）がある。鉢形土器には平行沈線文が施されている。鉢形土器の外面には炭化物が付着しており、煮沸に用いられたものである。深鉢形土器の口頸部は短く外反するものである。底面はミガキによって平滑に整えられている。ごくわずかながら台状を呈するもの（8）がある。

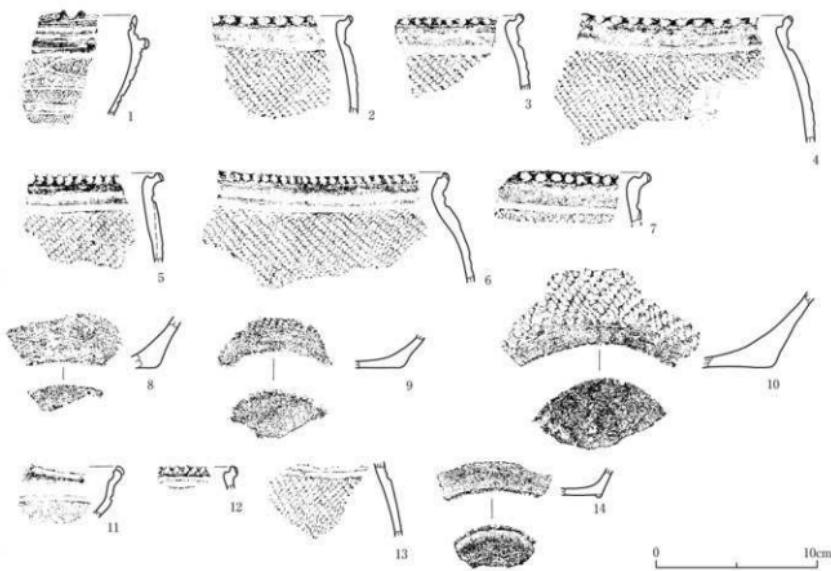
9~10が旧河道SX03Bの堆積層下層の有機質層から出土したものである。比較的接合した深鉢形土器（9）が出土している。口頸部はすべて短く外反するもので1~3条の沈線文がめぐっている。底面はミガキ調整が施されている。このほかに、やや細かな縄文が施文される鉢形土器（13）、幅の狭い羽状縄文土器（14）が出土している。鉢形土器の胴部には雲形文が施されている。

#### ⑥旧河道SX24堆積層中出土土器（第25図）

B6区の最下層の旧河道堆積層出土の土器である。この旧河道はA5~B5北ベルト（第26図）の最下層で確認されたSX24旧河道に相当する。すべて深鉢形土器の小片である。1は口縁部がやや幅のある横位斜行縄文、2は縦位斜行縄文、3・4は撚糸文、5・6は縄文に沈線文の施されたものがある。

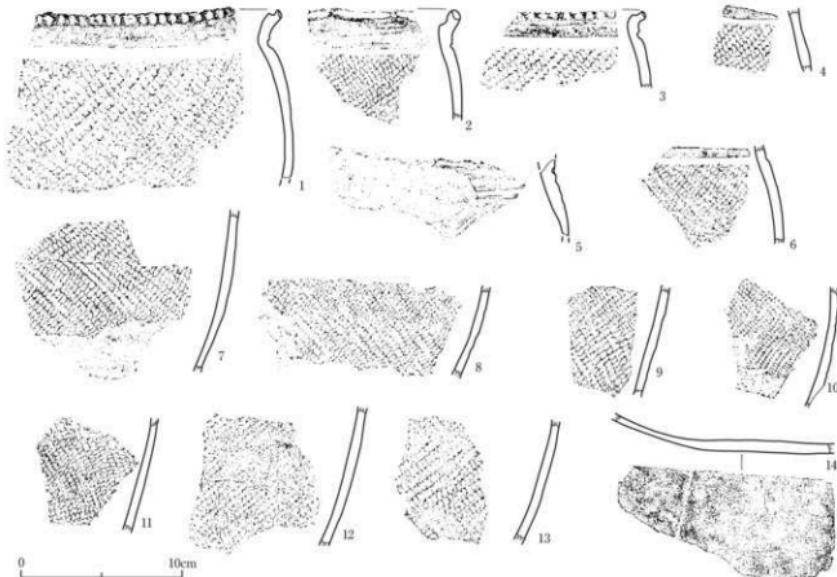
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・I	平行沈殿文、縫目文、外側：炭化物付箇	23-1	5	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・Ia	沿状範文(LR/LR)、沈殿文、外側：	23-2
2	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・Ia	縫文(RL)、平行沈殿文、縫目文、 外側：炭化物付箇	23-2	6	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・Ia	縫文(RL)、沈殿文、海綿状骨針	23-2
3	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・Ib	縫文(RL)、沈殿文、内側：炭化物付箇、海綿状骨針、厚跡	23-2	7	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・I	縫文(RL)、内面下端に最大厚5mmの 炭化物付箇	23-2
4	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・Ia	縫文(RL)、沈殿文、外側：炭化物付箇、海綿状骨針	23-2	8	旧河道・B6区・堆積層(排水路部 同時に出土)中	縫跡・I	縫文(RL)、内面下端に最大厚5mmの 炭化物付箇	23-2

第19図 旧河道・B6区・堆積層中出土土器



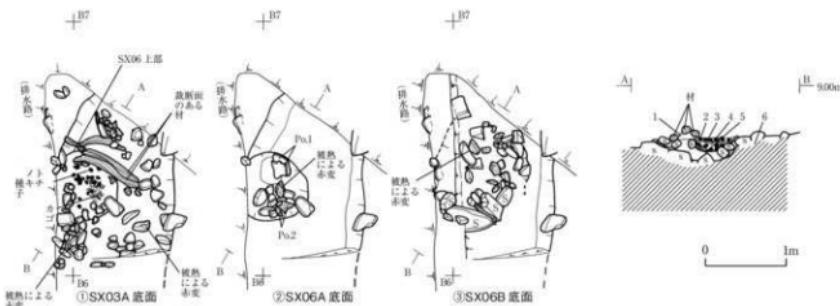
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX03A・B6区・堆積層中 上部：炭化物付箇	縫跡・I	縫文(LR)、沈殿文、縫目文、内側：	23-3	7	旧河道SX03A・B6区・堆積層中 縫跡・Ib	縫文(LR+縫目付箇)、沈殿文、外 側：炭化物付箇	23-3	6
2	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ib	縫文(RL)、外側：炭化物付箇、 海綿状骨針	23-3	8	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I?	縫文	23-3
3	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ib	縫文(RL)、沈殿文	23-3	9	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I	縫文(LRL)、底面：土方牛	23-3
4	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ib	縫文(RL)、沈殿文、外側：炭化物付箇、 海綿状骨針	23-3	10	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I	縫文(LRL)、底面：土方牛、縫状に 炭化物付箇	23-3
5	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ib	縫文(LRL)、沈殿文、外側：炭化物付箇	23-3	11	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I	沈殿文	23-3
6	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ib	縫文(RL)、沈殿文、海綿状骨針	23-3	12	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ia	平行沈殿文、外側：炭化物付箇	23-3
7	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・Ia	縫文(RL)、沈殿文、外側：炭化物付箇	23-3	13	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I?	縫文(RL)、平行沈殿文	23-3
8	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I	縫文、底面	23-3	14	旧河道SX03A・B6区・堆積層中	縫跡・I	縫文、底面：土方牛	23-3

第20図 旧河道SX03A・B6区・堆積層中出土土器



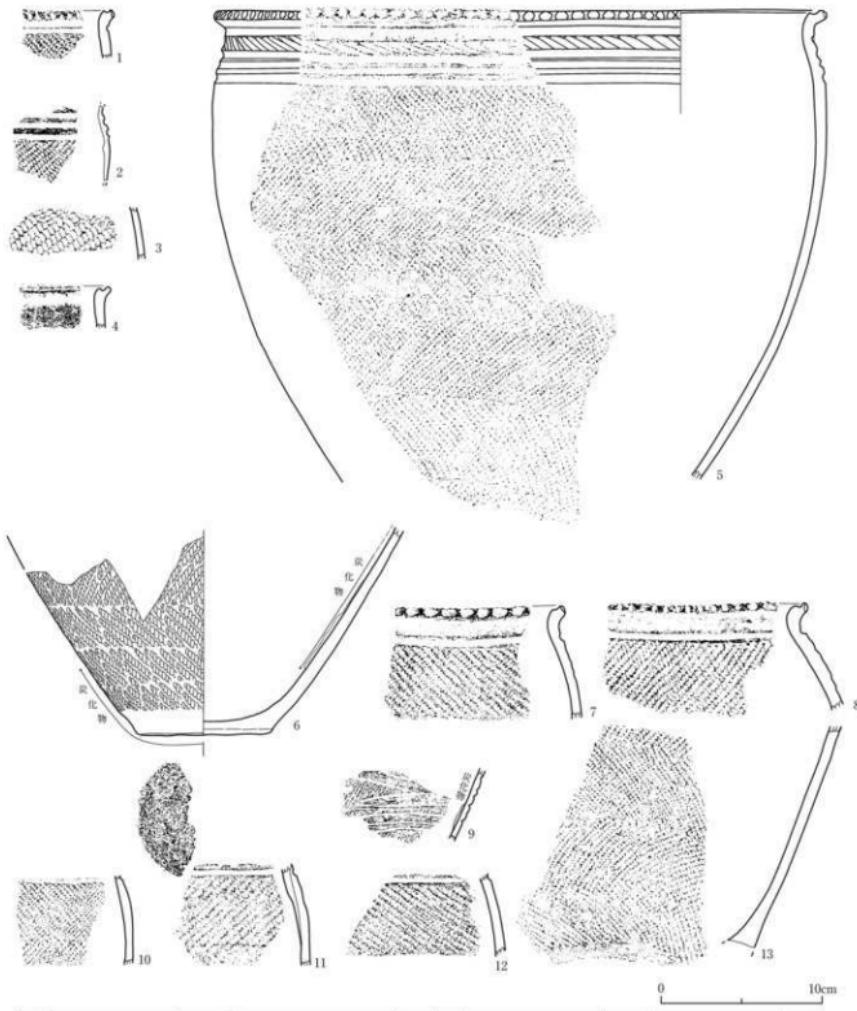
番号	出土遺構・地区・部位	類別・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・部位	類別・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・1b	羽状縫文(L/R/L)、沈殿文。外面：炭化物付、海綿状骨針	23-4-1	7	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	羽状縫文(L/R/L)、内外面：炭化物付、海綿状骨針	23-4-7
2	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・1b	縫文(L/R)、沈殿文。外面：炭化物付、海綿状骨針	23-4-2	8	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	縫文(R/L+L側加厚/R/L)、外面：炭化物付骨針	23-4-8
3	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・1b	縫文(L/R)、沈殿文。外面：炭化物付	23-4-3	9	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	羽状縫文(L/R/L)、内外面：炭化物付骨針	23-4-9
4	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・1b	縫文(L/R)、沈殿文。外面：炭化物付骨針	23-4-4	10	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	羽状縫文(L/R/L)、外面：炭化物付骨針	23-4-10
5	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・1a	縫文(R/L)、平行沈殿文。内外面：炭化物付骨針	23-4-5	11	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	羽状縫文(R/L/R)、内外面：炭化物付骨針	23-4-11
6	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・1a	縫文(R/L)、平行沈殿文。外側：炭化物付骨針、海綿状骨針	23-4-6	12	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	縫文(L向)、外側：炭化物付骨針、海綿状骨針	23-4-12
					13	旧河道SX03A・A-B6区・底面	深鉢・I	羽状縫文(L/R/L)、外側：炭化物付骨針	23-4-13
					14	旧河道SX03A・A-B6区・底面	底・I	縫文、内外面：底面、底面：スレ	23-4-14

第21図 旧河道SX03A・A-B6区・底面出土土器



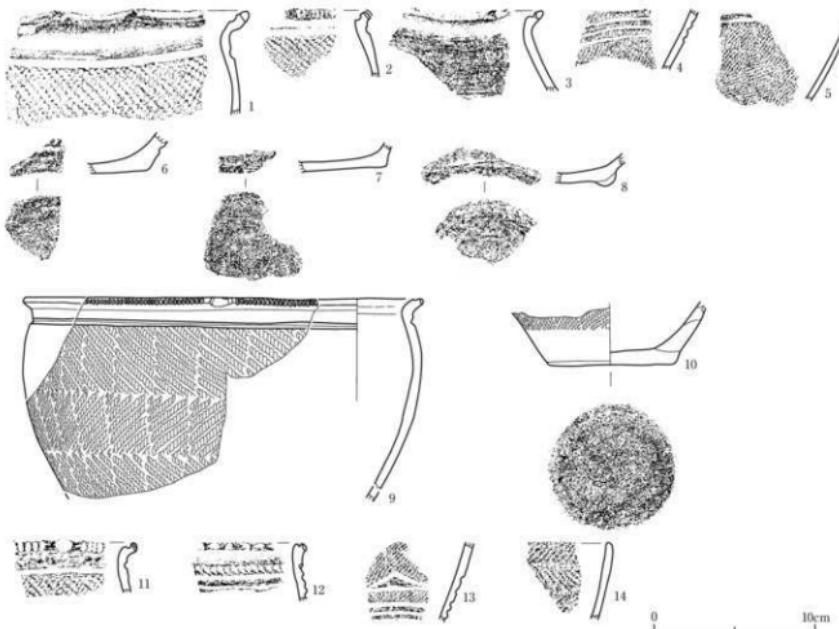
番号	土色	土性	遺物取上げ位置	備考
1	赤モリーフ色(7.5Y4/2)	砂質	水成堆積。旧河道SX03A堆積。	
2	黒褐色(2.5Y3/1)	砂質	(分析用サンプル)	完形のトドケノコ子をやや密に含む。有機質に富む。
3	黒色	砂質		水成堆積。
4	黒褐色(2.5Y3/1)	砂質シルト	(分析用サンプル)	完形のトドケノコ子を含む。有機質に富む。
5	黒褐色(2.5Y3/1)	粘土		トドケノコ子、有機質に富む。SX06堆積層。
6	黒褐色(2.5Y3/2)	砂質		粘土(重)

第22図 旧河道SX03A・SX06堆積平面図・断面図



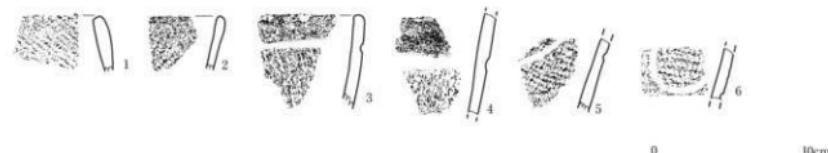
番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX06A 墓状遺物-B6区・堆積層中	深鉢・Ic	商文 (RL)、平行波線文、内外面：炭化物付箋、磨滅	24-1-2	8	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	深鉢・Ib	商文 (LR)、波線文、外側：炭化物付箋、高錐状骨針、磨滅	24-1-7
2	SX06A 墓状遺物-B6区・堆積層中	深鉢・Ia?	商文 (LR)、平行波線文、外側：炭化物付箋	24-1-3	9	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	鉢・I	雲形文/波線文、商文(LR)、内側：炭化物付箋	24-1-8
3	SX06A 墓状遺物-B6区・堆積層中	深鉢・I	羽状文 (RL/LR)、外側：炭化物付箋	24-1-4	10	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	深鉢・Ia?	羽狀圖文 (RL/LR)、波線文、外側：炭化物付箋	24-1-9
4	SX06A 墓状遺物-B6区・堆積層中	盤・Ia	商文 (RL)、平行波線文、斜口目、外側：炭化物付箋	24-1-5	11	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	深鉢・Ia?	羽狀圖文 (LR/RL)、波線文、外側：炭化物付箋	24-1-10
5	SX06A 墓状遺物-B6区・底面Po.1	深鉢・Ia	商文 (RL)、平行波線文、斜口目、外側：炭化物付箋	24-1-1	12	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	深鉢・Ia?	商文 (RL)、波線文、内外面：炭化物付箋、海綿状骨針	24-1-11
6	SX06A 墓状遺物-B6区・底面Po.2	深鉢・I	商文 (RL)、平行波線文、内側に最大2mmの炭化物付箋、外側に「丁字」形の刻痕	24-1-13	13	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	深鉢・I	羽狀圖文 (RL/LR)、外側：炭化物付箋	24-1-12
7	SX06B 墓状遺物-A - B6区-底面	深鉢・Ib	商文 (RL)、波線文、外側：炭化物付箋、海綿状骨針、磨滅	24-1-6					

第23図 SX06B 墓状遺物・B6区・堆積層中～底面出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)、沈縫文、外面: 極化 物付箋	深鉢・1b	24-1	8	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	深鉢・E7	底面: 肩減	24-2-8
2	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)、沈縫文、外面: 極化 物付箋	深鉢・1c	24-2-2	9	旧河道SX03B-B6区・堆積層下層 (有機質層) 中	深鉢・Ic	沉縫文 (LJ/LR)、沈縫文、外 面: 極化物付箋	24-2-9
3	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)	沈縫文	24-2-3	10	旧河道SX03B-B6区・堆積層下層 (有機質層) 中	深鉢・I	鬲文 (LJ)、三方足	24-2-10
4	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)、沈縫文、外面: 極化 物付箋、海綿状骨針	鉢・I	24-2-4	11	旧河道SX03B-B6区・堆積層下層 (有機質層) 中	深鉢・Ic	鬲文 (LJ)、沈縫文、海綿状骨針	24-2-11
5	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)、沈縫文、外面: 極化 物付箋	鉢・I	24-2-5	12	旧河道SX03B-B6区・堆積層下層 (有機質層) 中	深鉢・Ia	沈縫文、刻目文、肩減	24-2-12
6	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)	底面: 三方足	24-2-6	13	旧河道SX03B-B6区・堆積層下層 (有機質層) 中	鉢・I	圓形文/沈縫文、鬲文 (LR)	24-2-13
7	旧河道SX03B-B6区・堆積層上層 (樹林) 中	鬲 (LJ)	底面: 三方足	24-2-7	14	旧河道SX03B-B6区・堆積層下層 (有機質層) 中	深鉢・Ed	羽狀縫文 (LR/LR)	24-2-14

第24図 旧河道SX03B・B6区・堆積層中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX24-B6区・堆積層中	深鉢・Ec2	鬲文 (LR)	24-3-1	4	旧河道SX24-B6区・堆積層中	深鉢・F7	捺点文(LR)、沈縫文	24-3-4
2	旧河道SX24-B6区・堆積層中	深鉢・F9/2	鬲文 (LR)	24-3-2	5	旧河道SX24-B6区・堆積層中	深鉢・F8	鬲文 (LR)、沈縫文	24-3-5
3	旧河道SX24-B6区・堆積層中	深鉢・F9	鬲文 (LR)、沈縫文	24-3-3	6	旧河道SX24-B6区・堆積層中	深鉢・F8?	鬲文 (LR)、沈縫文	24-3-6

第25図 旧河道SX24・B6区・堆積層中出土土器

## (7) A5～B5北ベルト出土土器（第27～28図）

A5～B5北ベルト（第26図）は、旧河道SX02・03・04・21・23堆積層からなり、SX01①北東側遺物包含層の延びは認められなかった。いずれの旧河道も小角礫や粗砂に富む砂礫層と本質や有機質に富む黒色～黒褐色の粘土層との互層状となっている。若干の土器が出土しているが、いずれも断片的な資料ではほとんど接合しない。

### ①A5北ベルト旧河道SX02・03・04・20堆積層中出土土器（第27図）

1は旧河道SX02堆積層中から出土した深鉢形土器である。口頭部が短く外反するもので、3条の平行沈線文が施されている。胴部は横位斜行縄文となっている。

2～5は旧河道SX03堆積層中から出土した深鉢形土器である。胎土に海綿状骨針を含むものが目立っている。このうち、2は旧河道SX03A堆積層上層から出土したもので、口縁部が緩やかに内湾するものである。口縁部には3条の平行沈線文が施され、胴部には横位斜行縄文が施されている。3は旧河道SX03堆積層下層から出土したもので、口頭部が短く外反し、口唇部には小突起が付されている。

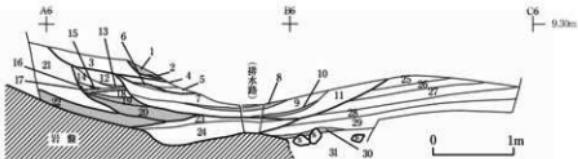
4～5は旧河道SX03B堆積層下層から出土したものである。口頭部が短く外反するものとわずかに内湾するものとがある。口頭部が短く外反するものには平行沈線文、刻目文が施されている。

6～9は旧河道SX04堆積層中から出土した深鉢形土器である。Sec. 13～19層としてまとめて取り上げている。6～8がやや内湾する器形となっている。6は幅の広い羽状縄文が施され、胎土に海綿状骨針が含まれている。7・8は斜行縄文が施され、8はさらに平行沈線文・刻目文が施されている。9は口縁部がわずかに肥厚し、幅の狭い羽状縄文が施されている。

10～13が旧河道SX20堆積層中から出土した深鉢形土器である。このうち、10～13が幅の狭い羽状縄文が横位に施されている。13がSX20堆積層下層から出土した深鉢形土器である。入組帶状文と貼瘤によって器面が装飾されている。

### ②B5北ベルト旧河道SX03B堆積層中出土土器（第28図）

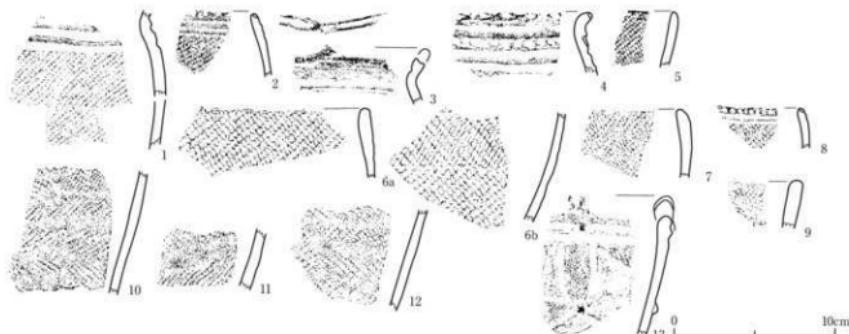
1～8が旧河道SX03B堆積層中から出土した深鉢形土器である。このうち、1～4が堆積層上層、5～8が堆積層下層から出土したものである。口頭部が短く外反するものがある。1の口唇部には突起が付されている。口頭部には1ないしは2条の平行沈線文が施され、胴部は幅の広い斜行縄文となっている。堆積層下層にはごく細かい斜行縄文（7）や幅の狭い横位羽状縄文（8）がある。



第26図 A5～B5北ベルト断面図

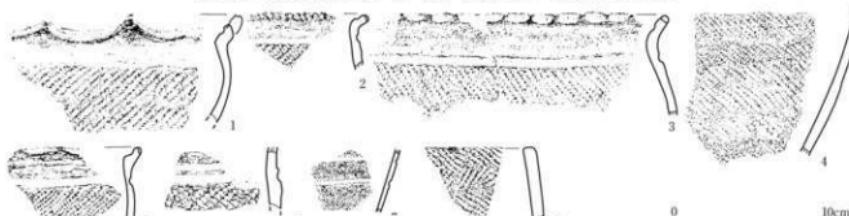
番号	土色	土性	遺物取上げ層位	備考	番号	土色	土性	遺物取上げ層位	備考
1	黒色 (SY2/1)	砂糖	旧河道SX02A	小角槽を含む	17	黒色 (2, SY2/1)	砂質シルト	旧河道SX04	木質・有機質を含む
2	灰オーリーブ色 (SY6/2)	砂糖	旧河道SX02B	水成の角槽	18	灰オーリーブ色 (2, SY3/2)	砂糖	旧河道SX04	木質を含む
3	オリーブ風呂 (SY3/2)	粘土シルト	旧河道SX02B	角槽を多く含む。河床	19	黒色 (2, SY2/1)	砂質シルト	旧河道SX04	木質・未分離有機質を多く含む
4	にじる米穀色 (10YR4/3)	砂糖	旧河道SX02B	5~10cmの角槽を含む。脚化状付帯	20	黒色 (2, SY2/1)	砂糖	旧河道SX04	川面層
5	透きる米穀色 (2, SY3/3)	砂糖	旧河道SX02B	オリーブ色を含む角槽	21	オリーブ黒色 (SY3/1)	小角槽	旧河道SX20	15~20cmの角槽を含む
6	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	旧河道SX03A	木質・有機質を多く含む	22	黒色 (SY2/1)	粘土質シルト	旧河道SX20	木質・有機質を多く含む
7	にじる米穀色 (10YR4/3)	砂糖	旧河道SX03A下層	5~10cmの角槽を含む。脚化状付帯	23	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	旧河道SX24	木質・有機質を多く含む
8	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	旧河道SX03B上層	木質・有機質に富む	24	オリーブ黒色 (SY3/1)	砂糖	旧河道SX24	15~20cmの角槽を含む。木質を含む
9	にじる米穀色 (10YR4/3)	砂糖	旧河道SX03B下層	5~10cmの角槽を含む。脚化状付帯	25	透きる米穀色 (2, SY3/2)	粘土	(無遺物)	
10	黒色 (10YR1.7/1)	粘土質シルト	旧河道SX03C上層	木質・有機質に富む	26	灰色 (7, SY4/1)	粘土	(無遺物)	葉状根相付
11	にじる米穀色 (10YR4/3)	砂糖	旧河道SX03C下層	5~10cmの角槽を含む。脚化状付帯	27	透きる米穀色 (2, SY4/2)	砂糖	(無遺物)	樹木層
12	オリーブ黒色 (SY3/2)	砂糖	旧河道SX04	小角槽を含む	28	灰色 (7, SY4/1)	粘土	(無遺物)	葉状根相付
13	黒色 (SY2/1)	粘土シルト	旧河道SX04	木質・有機質に富む	29	透きる米穀色 (2, SY3/2)	砂糖	(無遺物)	角槽に付く木底層
14	オリーブ黒色 (SY2/1)	砂糖	旧河道SX04	小角槽を含む	30	黒色 (10YR1.7/1)	砂糖	(無遺物)	木質に富む高土層
15	黒色 (SY2/1)	粘土シルト	旧河道SX04	木質・有機質に富む	31	オリーブ黒色 (SY3/1)	砂糖	(無遺物)	20~30cmの角槽を含む。木質を含む
16	オリーブ黒色 (SY2/2)	砂糖	旧河道SX04	小角槽を含む					

第26図付表 A5~B5北ベルト断面



番号	出土場所・地区・層位	範形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	範形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX02A・AS北ベルト・堆積層 (Sec.5層) 中	縫合 (Ia)	平行弦縫文、外側: 茶化物付帯	25-1-1	8	旧河道X04・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.13~19層) 中	縫合 (Id)	縫合 (LR)、平行弦縫文	25-1-8
2	旧河道SX03A・AS5北ベルト・堆積層上層 (Sec.6層) 中	縫合 (Id)	縫合 (LR)、浅縫文	25-1-2	9	旧河道X04・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.13~19層) 中	縫合 (Id)	羽状縫文 (LR/LR)	25-1-9
3	旧河道SX03A・AS5北ベルト・堆積層上層 (Sec.7層) 中	縫合 (Ib)	縫合 (LR)、海綿状骨針	25-1-3	10	旧河道X02・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.21層) 中	縫合 (Id)	羽状縫文 (RL/RL)	25-1-10
4	旧河道SX03B・AS5北ベルト・堆積層上層 (Sec.7層) 中	縫合 (Ia)	縫合 (LR)、平行弦縫文、斜縫文、海綿状骨針	25-1-4	11	旧河道X02・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.21層) 中	縫合 (Id)	羽状縫文 (LR/RL)、外側: 海化物付帯	25-1-11
5	旧河道SX03B・AS5北ベルト・堆積層上層 (Sec.8層) 中	縫合 (Ie)	縫合 (LR)、外側: 海化物付帯	25-1-5	12	旧河道X02・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.21層) 中	縫合 (Id)	羽状縫文 (RL/RL)	25-1-12
6ab	旧河道SX04・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.13~19層) 中	縫合 (Ie)	縫合 (LR)、外側: 海化物付帯、海綿状骨針	25-1-6	13	旧河道X02・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.21層) 中	縫合 (II)	入縫 (LR)、外側: 斜縫文、羽状縫文 (LR/LR)、藤村	25-1-13
7	旧河道X04・AS5北ベルト・堆積層 (Sec.13~19層) 中	縫合 (Ia)	縫合 (LR)	25-1-7					

第27図 旧河道SX02・03・04・20・A5北ベルト・堆積層中出土土器



番号	出土場所・地区・層位	範形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	範形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層上層 (Sec.5層) 中	縫合 (Ib)	縫合 (LR)、内側: 海化物付帯、海綿状骨針	25-2-1	5	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層下層 (Sec.21層) 中	縫合 (Ib)	縫合 (LR)、弦縫文	25-2-6
2	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層上層 (Sec.6層) 中	縫合 (Ib)	縫合 (LR)、弦縫文、底層	25-2-2	6	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層下層 (Sec.21層) 中	縫合 (Ia)	縫合 (LR)、平行弦縫文、外側: 壁化物付帯	25-2-3
3	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層上層 (Sec.7層) 中	縫合 (Ib)	縫合 (LR)、弦縫文、外側: 海化物付帯	25-2-4	7	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層下層 (Sec.21層) 中	縫合 (I)	縫合 (LR)、底層平行弦縫文	25-2-7
4	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層上層 (Sec.8層) 中	縫合 (I)	縫合 (LR)、内・外側: 海化物付帯	25-2-5	8	旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層下層 (Sec.21層) 中	縫合 (Id)	羽状縫文 (LR/RL)	25-2-8

第28図 旧河道SX03B・B5北ベルト・堆積層中出土土器

## (8) A5区出土土器（第29～30図）

A5区では、旧河道SX02・03・23・24が検出された。旧河道SX24中からはSX22壠状遺構が検出された。

### ①旧河道SX02・03・23・24堆積層中～底面出土土器（第29図）

1～6が旧河道SX02堆積層中から出土した深鉢形土器である。このうち、1～4が堆積層上層、5・6が堆積層下層上面の確認時に出土したものである。1・2は口頸部が短く外反するもので、3・4が緩やかに内湾するものである。2の口唇部には叉状の小突起が付されている。口頸部には平行沈線文・刻目文が施されるものがある。胴部には幅広の羽状縄文（4）や斜行縄文が施されている。5は口縁部がやや肥厚し、幅の狭い羽状縄文が施されている。6は短い沈線文が弧状沈線文間に充填されている。口縁部の土器胎土中に海綿状骨針を含むものがやや目立つ。

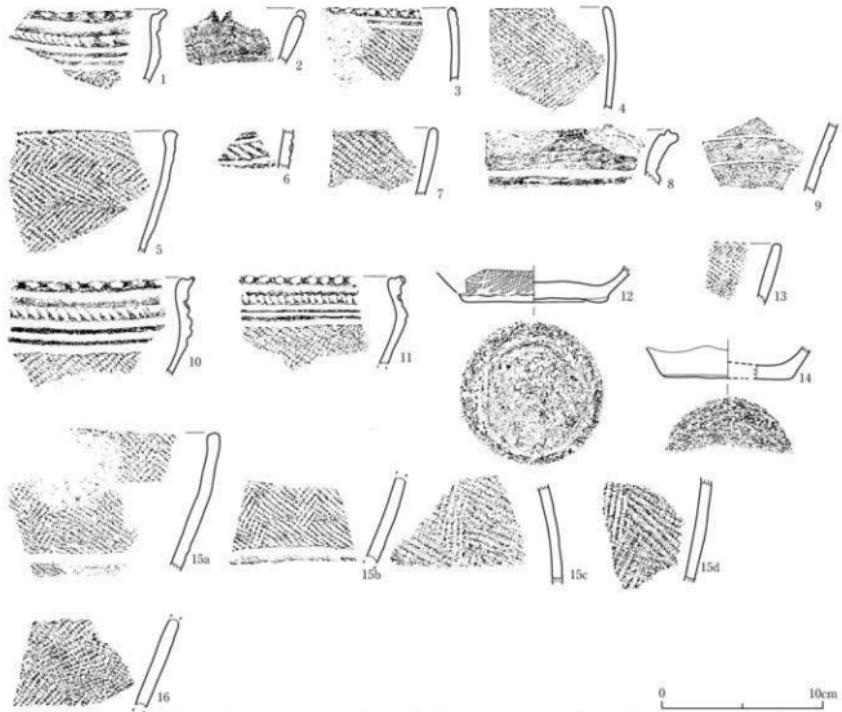
7～12が旧河道SX03堆積層中から出土した深鉢形土器と鉢形土器（9）である。上部のSX03A・Bと下部のSX03Cで細別して遺物を取り上げている箇所もあるが、ここではまとめて扱う。鉢形土器には平行沈線文が施されている。地文には筋の細かい縄文が施されている。深鉢形土器では口頸部が短く外反するもの（8・10・11）と緩やかに内湾するもの（7）とがある。口頸部に平行沈線文・刻目文が施されるものがある。胴部には幅の広い斜行縄文が施されている。

12～14が旧河道SX23堆積層中から出土した深鉢形土器である。いずれもやや厚手で、12・13は幅の狭い羽状縄文が施されている。12の底面は低いながら台状に作られている。

15・16がB5区では最下層の旧河道SX24の底面（岩盤上面）から出土した深鉢形土器である。ともに単節縄文の異方向施文が見られ、15は縦位羽状に整えられている。15の同一個体はB3区のSX01②南側遺物包含層1d層中からも得られている。

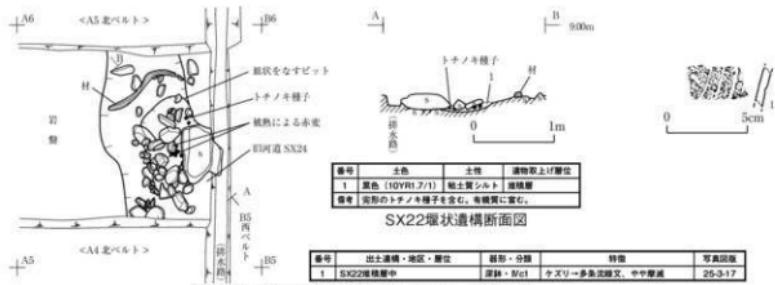
### ②SX22壠状遺構出土土器（第30図）

SX22壠状遺構堆積層中からトチノキ種子とともに深鉢形土器小片（第30図1）が出土している。器面のケズリ地に多条沈線文が施された土器である。



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数
1	旧河床SX02-A5区・堆積層上層	深鉢・I-a	縦文(LR)、平行沈線文、斜め文、海綿状骨針	25-3-1	9	旧河床SX03-A5区・堆積層(黄色砂礫)	鉢・I?	縦文(横か?LR)、沈線文、外側: 斜化物付茎	25-3-9
2	旧河床SX02-A5区・堆積層上層	深鉢・I-b	吹灰起・II	25-3-2	10	旧河床SX03A,B-A5区・堆積層中	深鉢・I-a	縦文(LR)、平行沈線文、斜め文、外側: 斜化物付茎、海綿状骨針	25-3-10
3	旧河床SX02-A5区・堆積層上層	深鉢・I-d	縦文(LR)、平行沈線文	25-3-3	11	旧河床SX03C-A5区・堆積層上層	深鉢・I-a	縦文(LR)、平行沈線文、斜め文	25-3-11
4	旧河床SX02-A5区・堆積層上層	深鉢・I-e	羽状縦文(RL/LR)、海綿状骨針	25-3-4	12	旧河床SX03D-A5区・堆積層中	深鉢・I-a	縦文(LR)、底面: 合併	25-3-12
5	旧河床SX02-A5区・堆積層下層上面イカワ	深鉢・I-d	羽状縦文(RL/LR)	25-3-5	13	旧河床SX23-A5区・堆積層中	深鉢・I-d	羽状縦文(RL/FN)	25-3-13
6	旧河床SX02-A5区・堆積層下層上面イカワ	深鉢・I?	沈線文	25-3-6	14	旧河床SX23-A5区・堆積層中	深鉢・I?	底面: イズリ	25-3-14
7	旧河床SX03-A5区・堆積層(黄色砂礫)中	深鉢・I-e	縦文(RL)、外側: 斜化物付茎	25-3-7	15a+	旧河床SX24-A5区・底面(岩盤上)	底面: 多型(沈線文)、斜状縦文(RL-GR)	底面: 多型(沈線文)、斜状縦文(RL-GR)	25-3-15
8	旧河床SX03-A5区・堆積層(黄色砂礫)中	深鉢・I-b	平行沈線文	25-3-8	16	旧河床SX24-A5区・底面(岩盤上)	深鉢・II	縦文(LR)、下方刃細目柄、外側: 斜化物付茎	25-3-16

第29図 旧河道SX02・03・23・24・A5区・堆積層～底面出土土器



第30図 SX22 堆積構造平面図・断面図・出土土器

## (9) B5西ペルト出土土器（第32～33図）

B5西ペルトでは、旧河道SX02・03・04・07・23・24が検出され、SX01①北東側遺物包含層及びSX01②南側遺物包含層の延びは認められなかった。いずれの旧河道も小角礫や粗砂に富む砂礫層と木質や有機質に富む黒色土層との互層状となっている。若干の土器が出土しているが、いずれも断片的な資料ではほとんど接合しない。

### ①旧河道SX02・03B堆積層中出土土器（第32図）

1～3は旧河道SX02堆積層中から出土した深鉢形土器である。1は頸部に2条の平行沈線文が施されている。胴部は横位斜行繩文となっている。2・3はやや摩滅している。

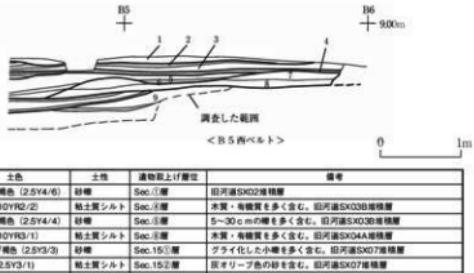
4～12はSX03Bから出土した深鉢形土器と皿形土器（11）である。皿形土器の内外面には赤漆が残されている。深鉢形土器は口頸部が短く外反し、口頸部に平行沈線文や刻目文が施されるものである。胴部には幅の広い斜行繩文が施されている。概して炭化物が付着しているものが多い。また、胎土には海綿状骨針が含まれるものがある。12は摩滅しており、再堆積によるものと見られる。

### ②旧河道SX04A・07・23堆積層中出土土器（第33図）

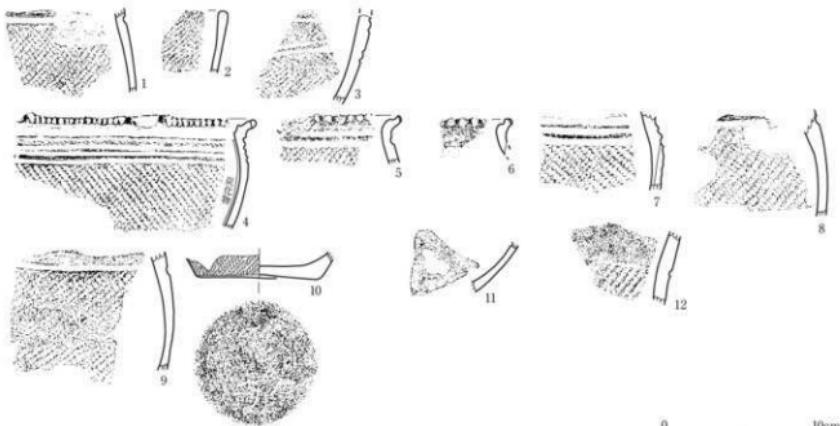
1～10が旧河道SX04A堆積層中から出土した深鉢形土器・皿形土器（6）である。1～2は口頸部が短く外反するもので、頸部には沈線文、口唇部には刻目文を施している。3～5は口縁部が緩く内湾し、地文のみが施されている。地文は幅の広い羽状繩文と斜行繩文である。6は雲文の施された皿形土器で、内外面に黒漆が塗られている。7・8は幅の狭い羽状繩文が施されている。9は刻目文を伴う貼瘤が付されている。10は摩滅している。

11～18が旧河道SX07堆積層中から出土した深鉢形土器である。12はSX21杭跡の土層断面作成時に出土した破片と接合している。11・12は口縁部がやや肥厚するもので、幅の狭い羽状繩文が施されている。13・14は磨消繩文によって幾何学的な意匠が構成されている。15は多条沈線による懸垂文が描かれている。16は口縁部をめぐる沈線文が配されている。17は地文の横走繩文に懸垂文が描かれ、磨消しが施されている。18は摩滅している。

19・20は旧河道SX23堆積層中から出土した土器である。19は15と同一個体である。20は隆線文・沈線文によって区画が作られている。

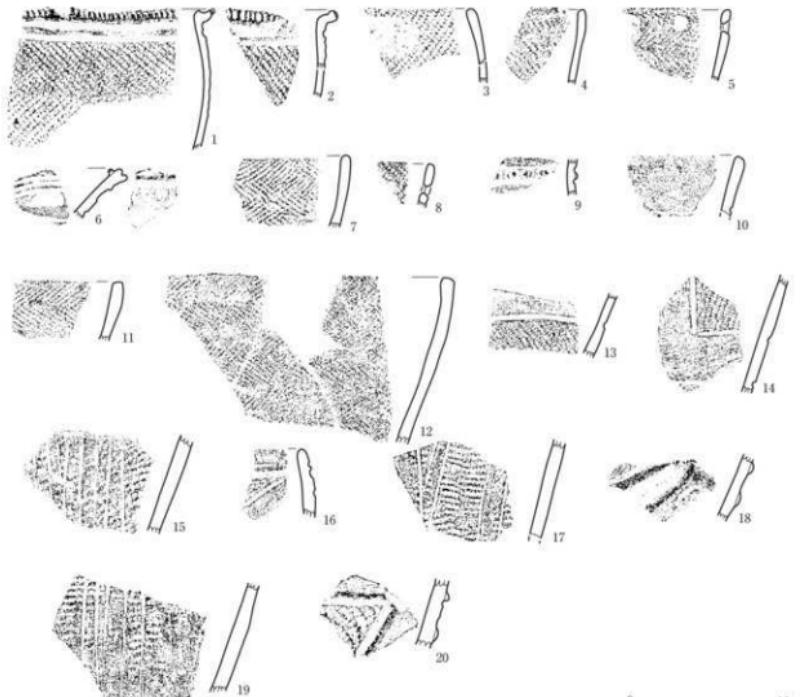


第31図 旧河道B5西ベルト断面



番号	出土場所・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX02-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ia	縄文 (LR), 平行弦線文, 内外縁: 化物付箇	25-4-1	7	旧河道SX03B-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ia	縄文 (RL), 平行弦線文, 内外縁: 化物付箇	25-4-7
2	旧河道SX02-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・II d	縄文 (LR), 厚底	25-4-2	8	旧河道SX03B-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ia	縄文 (LR), 平行弦線文, 外縁: 化物付箇, 海綿合骨針	25-4-8
3	旧河道SX02-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・II	羽状縄文 (LR/LR), 厚底, 厚底	25-4-3	9	旧河道SX03B-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ia	縄文 (LR), 厚底, 外縁: 化物付箇	25-4-9
4	旧河道SX02-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ia	縄文 (LR), 平行弦線文, 斜目文, 内外縁: 化物付箇	25-4-4	10	旧河道SX03B-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・I	縄文 (LR), 外縁: 化物付箇, 素面 (ケツイ) - 無いとき	25-4-10
5	旧河道SX02-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ib	縄文 (LR), 平行弦線文, 外縁: 化物付箇	25-4-5	11	旧河道SX03B-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	皿・I	内外縁: 孔造	25-4-11
6	旧河道SX02-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ib	外縁: 化物付箇	25-4-6	12	旧河道SX03B-05西ベルト・堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ia	縄文 (RL), 斜縄文, 厚底	25-4-12

第32図 旧河道SX02・03B・B5西ベルト・堆積層中出土土器



番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX04A-05西ベルト・堆積 (Sec.15層) 中	深鉢・Ic	羽状縞文 (LR), 平行弦線文, 内外面: 変化物付裏	26-1-1	旧河道SX07-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中, 田河 跡文 (RL), 方形文, 内外面: 変化物付	深鉢・IIc	羽状縞文 (RL/RL), 内外面: 変化物付 裏	26-1-12	
2	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Ic	跡文 (RL), 内外面: 変化物付裏	26-1-2	旧河道SX07-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・IIb	跡文 (RL- 同一層体により一部羽状) 裏	26-1-13	
3	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Ie	跡文 (RL), 内外面: 変化物付裏	26-1-3	旧河道SX07-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・IIb	跡文 (RL- 同一層体により一部羽状) 裏	26-1-13	
4	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Ie	跡文 (RL), 内外面: 変化物付裏	26-1-4	旧河道SX07-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・IIb	方形文/波線文・跡文 (RL), 内外面: 変 化物付裏	26-1-14	
5	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Ie	羽状縞文 (RL/RL), 内外面: 変化物付裏	26-1-5	旧河道SX07-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Vc1	跡文 (LR)- 疋文/多条弦線文, No.19と同一個体	26-1-17	
6	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	皿・I	跡文 (LR), 波線文, 内外面: 黒漆	26-1-6	旧河道SX07-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Vb2	波線文	26-1-16	
7	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Id	羽状縞文 (LR/RL)	26-1-7	旧河道SX07-05西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Vb	跡文 (LR) - 疋文	26-1-15	
8	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Id	羽状縞文 (RL/RL), 内外面: 変化物付裏, 修理孔	26-1-8	旧河道SX07-05西ベルト・堆積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Vba	跡文 (RL), 波線文	26-1-18	
9	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Ia	平行弦線文, 藩文 (LR), 蕩文	26-1-9	旧河道SX03-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.10層) 中	深鉢・Vc1	跡文 (LR) - 疋文/多条弦線文, 内 外面: 変化物付裏, No.15と同一個体	26-1-19	
10	旧河道SX04A-05西ベルト・堆 積層 (Sec.15層) 中	深鉢・Vb1?	波線文, 蕡文	26-1-10	旧河道SX03-04-5西ベルト・堆積層 (Sec.10層) 中	深鉢・Vba	跡文 (LR), 波線文+ 刻目文 (D線1 対?), 波線文	26-1-20	
11	旧河道SX07-05西ベルト・堆積 層 (Sec.15層) 中	深鉢・Id	羽状縞文 (LR/RL), 内外面: 変化物付裏	26-1-11					

第334図 旧河道SX04A-07-23-B5西ベルト・堆積層中出土土器

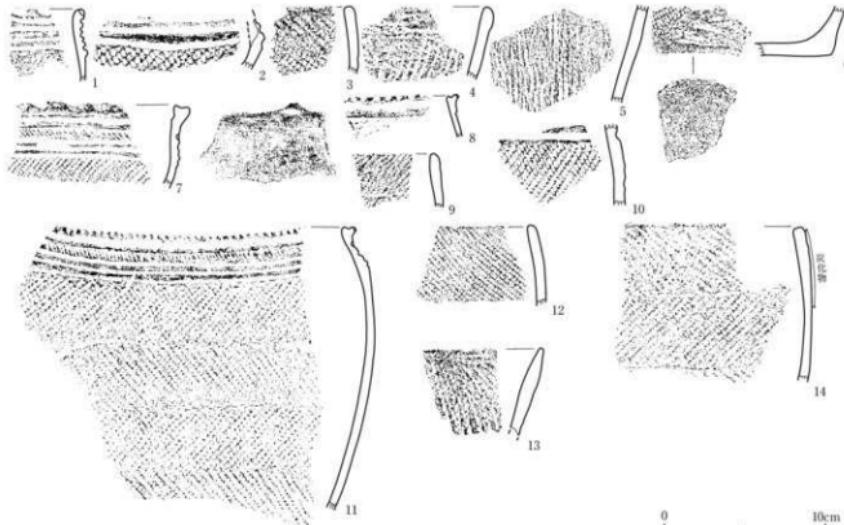
### (10) SX01②南側遺物包含層B5区出土土器 (第34~41図)

B5区では、主たる遺物包含層であるSX01②南側遺物包含層が検出された。最初に調査したグリッド区であり、遺物包含層を覆う砂礫層は包含層1層として調査している。サブトレンチでは包含層2層を「包含層2層中」と「包含層2層下部」に分けて調査しており、他とは一部異なる分層を行っている。包含層2層上面ではグライ化した小角礫を含む旧河道SX26堆積層が検出された。

#### ①包含層1層中・2層上面出土土器 (第34図)

1~6が包含層1層、7~10が包含層1a層、11~13が包含層1b層から出土した深鉢形土器である。包含層1層は砂礫層で旧河道SX03堆積層に相当する。包含層1a層・1b層の土器に違いが認められないもので、ここではまとめて記す。1は口頭部がわずかに外反し、平行沈線文と列点文が施されている。2・7・8・10・11は口頭部が短く外反する深鉢形土器で、口頭部には平行沈線文や刻目文が施されている。胴部地文は幅の広い羽状繩文や斜行繩文である。3・9・12は口縁部が緩やかに内湾するもので地文のみとなっている。概して炭化物の付着が著しく、胎土に海綿状骨針を含むものがある。4・5・13は厚手の土器で、太い撚糸文が縱走している。6も厚手の底部破片である。

14は包含層2層上面から出土した深鉢形土器である。口縁部が緩やかに内湾し、幅の広い羽状繩文が施されている。



番号	出土遺構・地区・層位	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層1層 (旧河道SX03) 中	深鉢・I?	平行沈線文、列点文、縦文 (LR)	26-2-1	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ic	北端文、外面: 炭化物付着、海綿状骨針
2	SX01②・B5区・包含層1層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia	平行沈線文、縦文 (LR)、外面: 炭化物付着	26-2-2	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ie	縦文 (LR)
3	SX01②・B5区・包含層1層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ie	縦文 (LR)、外面: 炭化物付着	26-2-3	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia	平行沈線文、縦文 (LR)、外面: 炭化物付着
4	SX01②・B5区・包含層1層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia?	平行沈線文、外面: 炭化物付着	26-2-4	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia	平行沈線文、列点文、羽状縦文 (LR/LR)、外面: 炭化物付着
5	SX01②・B5区・包含層1層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia?	縦文 (LR)、外面: 炭化物付着	26-2-5	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia	縦文 (LR)、外面: 炭化物付着
6	SX01②・B5区・包含層1層 (旧河道SX03) 中	深鉢・V?	縦文 (LR)	26-2-6	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・V?	羽状縦文 (LR/LR)、外面: 炭化物付着
7	SX01②・B5区・包含層1a層 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ia	平行沈線文、斜行文、縦文 (LR)、外面: 炭化物付着	26-2-7	SX01②・B5区・包含層2層上面 (旧河道SX03) 中	深鉢・Ie	羽状縦文 (LR/LR)、外面: 炭化物付着

第34図 SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層1層中・2層上面出土土器

## ②包含層2層中出土土器（第35図）

1～11が包含層2層中から出土した深鉢形土器である。1はボタン状貼付文が施され、円形竹管文が付されている。2は隆線による区画文と口縁部に沿う刺突文、3は懸垂隆線文が施されている。4・5は山形状の波状口縁、6・7は平縁で、いずれも口縁部にやや幅のある無文帯が設けられている。8～11は底部破片で、11は木葉底となっている。

## ③包含層2層下部出土土器（第36～38図）

包含層2層下部は概ね包含層2c～2d層の下部黒色土層に相当する。押しつぶされた状態で出土した土器もある。すべて深鉢形土器である。

第36図1・2は多条沈線による懸垂文の施される土器である。3は縄文が施された後に渦巻文、4～6はごく細い撚糸文が施された後に懸垂状の沈線文が描かれ、磨消の加えられたものである。7は隆線による方形区画文に2個1対の横位刻目文が施されている。8は大型の環状把手の一部である。9～12は隆線と沈線によって区画文が構成されている。13～16は地文のみのものである。結節のある縄文やごく細い撚糸文がある。

第37図1～3は山形状をなす波状口縁である。1はやや渦巻状を呈する波濤文、2は梢円形区画文が配されている。4～12は平縁である。4はヒレ状隆線文と刺突文、5は波濤文、6・7は梢円形区画文、8～12は口縁部にやや幅広の無文帯が設けられている。13～17は縄文・撚糸文を地としてヒレ状隆線・沈線文によって文様意匠が構成されるものである。18は胴下部、19・20は底部である。20の底面には網代の圧痕が残されている。

第38図1・4は真上から押しつぶされたような状態（写真図版9-1）で出土した土器である。包含層2d層上面に相当するものと考えられる。底面はともにミガキが施されている。2は縱長の梢円形区画文が施されている。3は口縁部に幅の広い無文帯が設けられている。

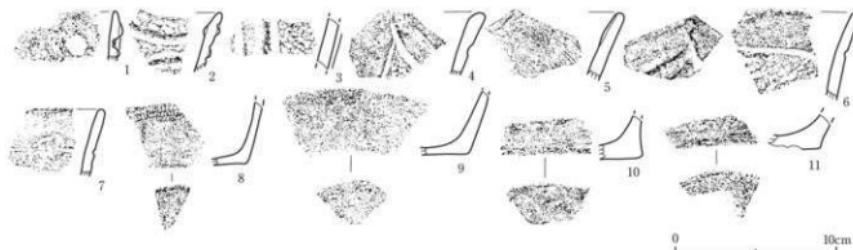
## ④包含層2③層上面～2④層上面（旧河道SX26堆積層）出土土器（第39図）

包含層2c層を攪乱する旧河道SX26堆積層から出土した土器である。いずれも出土状況は断片的である。包含層2①～2②層には國化できる資料はない。1・2は包含層2③層上面から出土したものである。1は懸垂文、2は方形区画文が施されている。3～7は包含層2③層中から出土したもので、5は口縁下に沈線文、6は隆線文に2個1対の刻目文、7は梢円形区画文が配されている。8～11は包含層2④層上面から出土したものである。8は懸垂文、9は口縁下に沈線文、10は横位鎖状隆線文が施されている。

## ⑤包含層2c層上面・木の根攪乱ビット堆積層出土土器（第40図）

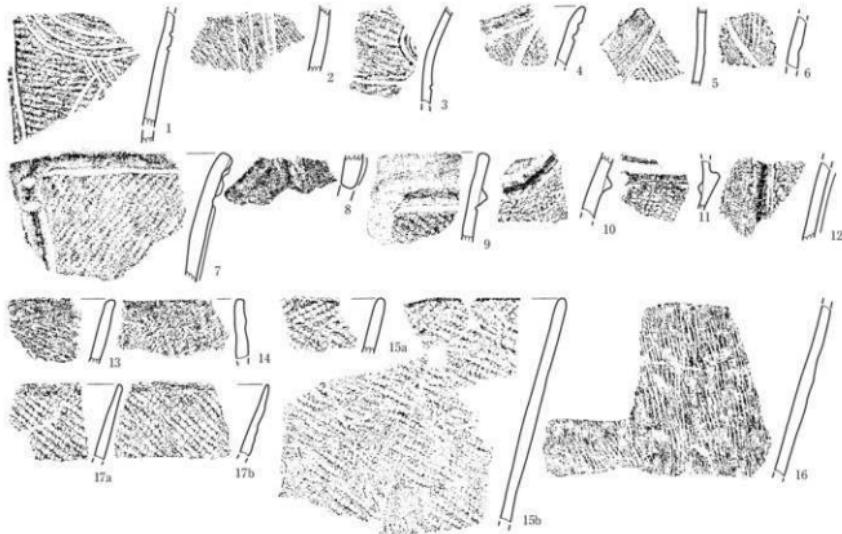
1～3は包含層2c層上面から出土した土器である。包含層2c層は前述のように、旧河道SX26によって攪乱を受けており、散漫な出土状況である。1は1本越2本潜の網代の圧痕が残された底部である。2・3は縄文のみである。3の底面には木葉の圧痕が残されている。

B5区では2個のビットが検出されたが、うち1個には先細になる木の根が入り込んでいた。ともに木の根による攪乱と見られ、堆積土中には4～6の土器小片が流れ込んでいた。



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd	ギザ跡付片文、円形の穿文。外縁：炭化物付裏	26-3-1	6	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd1	圓文（IR）、沈縫文	26-3-6
2	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd	圓文（IR）、圓文（IR）、沈縫文	26-3-2	7	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd2	圓文（IR）、沈縫文	26-3-7
3	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd	圓文（IR）、圓縫文、沈縫文	26-3-3	8	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd3	圓文（IR）、沈縫文	26-3-8
4	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd	圓形切削痕？（圓文・IR）、沈縫文	26-3-4	9	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd4	圓文（IR）、底面：V字形	26-3-9
5	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd	圓形切削痕？（圓文・IR）、沈縫文	26-3-5	10	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd5	圓文（IR）、底面：V字形	26-3-10
				11	SX01②・B5区・包含層2層中	深鉢・Vd6	底面：V字形		26-3-11

第335図 SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2層中出土土器

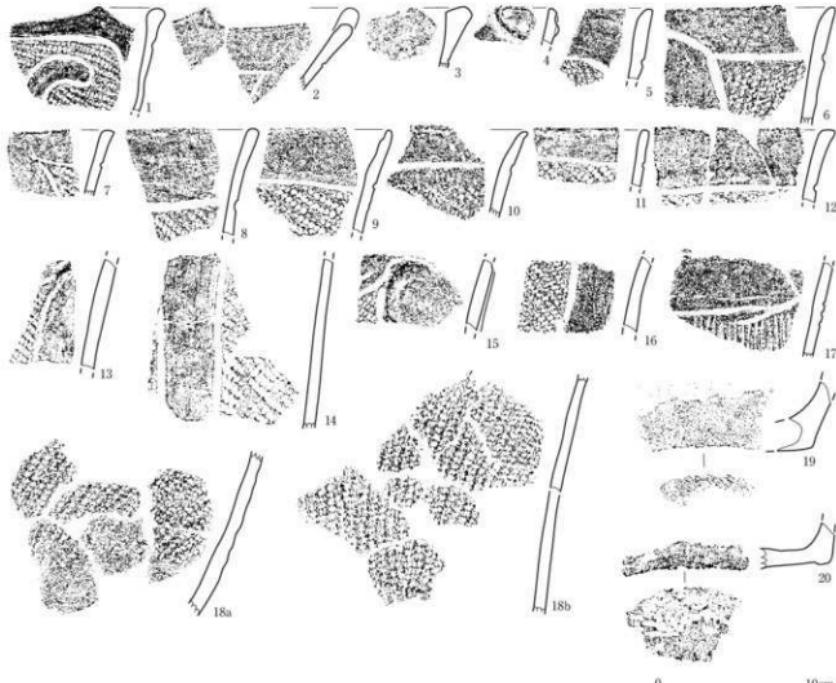


番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vc1	圓文（IR）+多条沈縫による圓縫文	27-1-1	10	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb1	圓文（IR）、圓縫文	27-1-10
2	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vc1	圓文（IR）+多条沈縫による圓縫文	27-1-2	11	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb2	圓文（IR）	27-1-11
3	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb	圓文（IR）+圓縫文（沈縫文）	27-1-3	12	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb3	圓文（IR）、圓縫文（沈縫文）	27-1-12
4	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb1	圓文（IR）+圓縫文（沈縫文）	27-1-4	13	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb4	圓縫文（沈縫文）	27-1-13
5	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb	圓文（IR）+圓縫文（沈縫文）	27-1-5	14	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb5	圓文（IR）、底面：V字形	27-1-14
6	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb	圓文（IR）+圓縫文（沈縫文）	27-1-6	15a,b	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vc1	圓文（IR）、底面：V字形	27-1-7
7	SX01②・B5区・包含層2層下部	方形容扁平（圓文）・IR、沈縫文、薄財文	+2対引けの割れ目。底面：炭化物付裏	27-1-13	16	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vd	圓文（IR）、外縁：炭化物付裏	27-1-14
8	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb	圓形底孔。底面文	27-1-8	17a,b	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb2	圓文（IR）	27-1-15
9	SX01②・B5区・包含層2層下部	方形容扁平（圓文）・IR、沈縫文		27-1-9					27-1-16

第36図 SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2層下部出土土器（1）

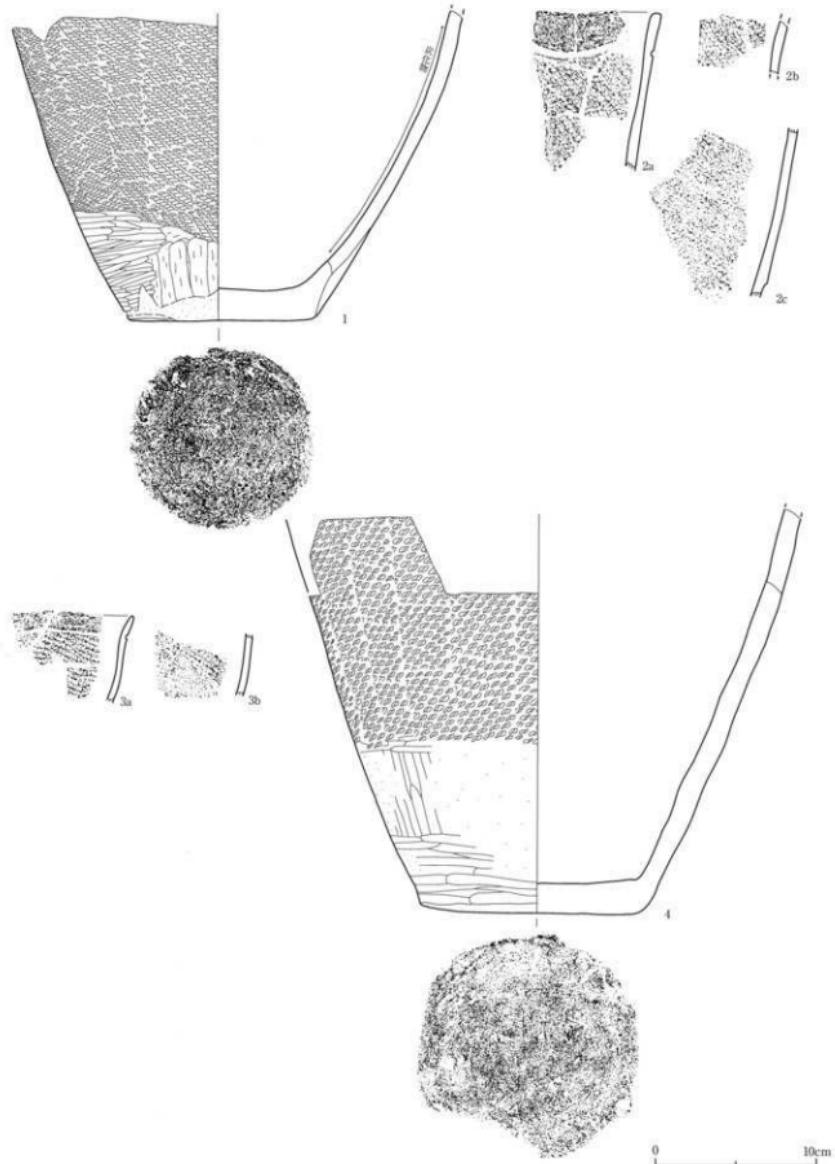
## ⑥包含層3層上面出土土器（第41図）

B5区では包含層3a層上面と3a層中の土器を一括して、「3層上面」として取り上げている。4・5は器面の状態が良好で、土器の色調も暗黒褐色～黄褐色をしている。これに対し、1～3・6～7は器面が荒れ、全体的に土器の色調は退色して白っぽくなっている。これらは本来、下部の3a層（灰オリーブ色粘土層）中に含まれていた土器と見られる。1は山形状の波状線で波頂部にはヒレ状隆線文が配されている。2～3は平縁である。3は隆線によって文様意匠が構成されている。4はやや歪んだ形状をしており、注口部か環状把手の基部に相当する。連続して刺突文が施されている。5は梢円形区画が施される波状線の土器である。6・7は肩部片である。



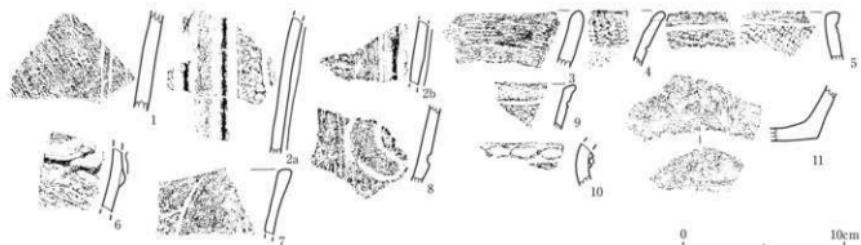
番号	出土場所・地区・部位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・部位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁d	波溝文・縁文 (LR), 沈突文	27-1-18	11	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-28
2	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁b	横筋附弦文・縁文 (LR), 沈突文	27-1-19	12	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-29
3	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁b	外縁: 異化物付箇	27-1-20	13	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁c	縁文 (LR), 沈突文	27-1-30
4	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁b	ヒレ状隆線文・刺突文	27-1-21	14	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁c	縁文 (LR), 沈突文, 外縁: 異化物付箇	27-1-31
5	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁d	波溝文・縁文 (LR), 沈突文	27-1-22	15	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁c	ヒレ状隆線文・縁文 (LR), 沈突文	27-1-32
6	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁b	横筋附弦文・縁文 (LR), 沈突文	27-1-23	16	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁c	縁文 (LR), 沈突文	27-1-33
7	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁b	横筋附弦文・縁文 (LR), 沈突文	27-1-24	17	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁c	縁文文 (LR), 沈突文	27-1-34
8	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-25	18a	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁	縁文 (LR)	27-1-35
9	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-26	19	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-36
10	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-27	20	SX01②-B5E5・包含層3a層下部	深鉢・縁e1	縁文 (LR), 沈突文	27-1-37

第37図 SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2層下部出土土器（2）



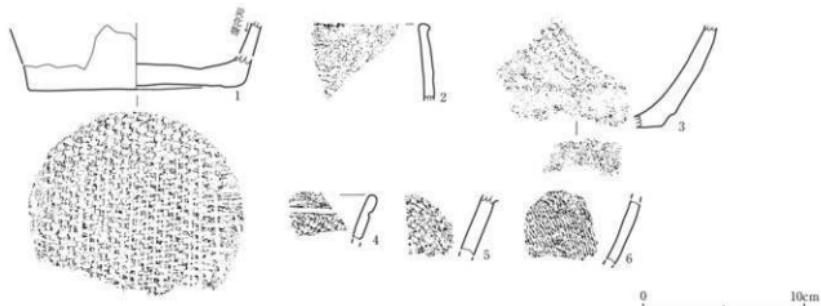
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb	商文 (LR), 内外面: 磁化物付着、底面: 2.方牛	27-1-38	3ab	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb+1	商文 (LR), 底面: 磁化物付着	27-1-40
2a~c	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb b	梯円形区商文/商文 (LR), 底面文	27-1-39	4	SX01②・B5区・包含層2層下部	深鉢・Vb	商文 (LR), 外面: 磁化物付着, 内面: 磁鉢、底面: 破片底-2.方牛	28-1-1

第38図 SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2層下部出土土器 (3)



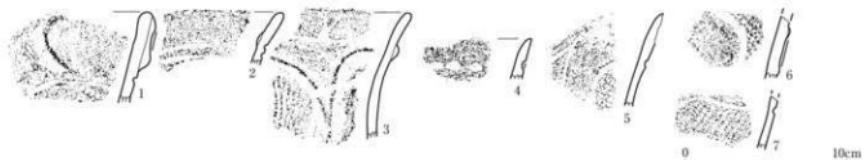
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 上部	深鉢・Vb	縦条文 (R) → 垂条文/沈条文	28-2-1	7	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 中	深鉢・Vb	格子柄区面文/縦文 (LR), 沈条文	28-2-7
2a,b	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 上部	深鉢・Vb	方形區面文/横文 (LR), 沈条文	28-2-2	8	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 上部	深鉢・Vb	垂条文/沈条文/縦条文 (R)	28-2-8
3	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 中	深鉢・Vc2	縦条文 (R)	28-2-3	9	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 上部	深鉢・Vf1	縦文 (LR), 沈条文	28-2-9
4	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 中	深鉢・Vb2	口凹部: 縦文 (LR)	28-2-4	10	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 上部	深鉢・Vfa	縦状葉紋文/沈条文, 沈条文	28-2-10
5	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 中	深鉢・Vb2	縦文 (LR), 沈条文	28-2-5	11	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 上部	深鉢・Vg	底面: ミガキ	28-2-11
6	SX01②・B5区・包含層2(層旧河床SX26堆積層) 中	深鉢・Vb2	縦文 (LR), 沈条文+2対の斜目文	28-2-6					

第39図 SX01②南側遺物包含層・B5区、包含層2(層上面～2④層上面(旧河道SX26堆積層))出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層2c層上面	深鉢・Vg	表面: 紋代 (1本越2本瘤) 底: 緑泥岩状に炭化物付着	28-3-1	4	SX01②・B5区・木の根擾乱ビット堆積層	深鉢・Vg	縦文 (LR), 沈条文	28-3-4
2	SX01②・B5区・包含層2c層上面	深鉢・Vc1	縦文 (LR)	28-3-2	5	SX01②・B5区・木の根擾乱ビット堆積層	深鉢・Vg	縦文 (LR)	28-3-5
3	SX01②・B5区・包含層2c層上面	深鉢・Vg	縦文 (LR), 底面: 木茎底	28-3-3	6	SX01②・B5区・木の根擾乱ビット堆積層	深鉢・Vg	縦条文 (R), 内面: 炭化物付着	28-3-6

第40図 SX01②南側遺物包含層・B5区、包含層2c層上面・木の根擾乱ビット堆積層出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・E7	ヒレ状條紋文, 縦文 (LR), 沈条文	29-1-1	5	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・Vb	格子柄区面文/縦文 (LR), 沈条文	29-1-5
2	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・E47	沈条文	29-1-2	6	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・E7	垂条文/縦文 (LR), 沈条文	29-1-6
3	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・E7	縦条文, 縦文 (LR), 沈条文	29-1-3	7	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・E47	縦文 (LR), 沈条文	29-1-7
4	SX01②・B5区・包含層3層上面	深鉢・Vg	斜条文	29-1-4					

第41図 SX01②南側遺物包含層・B5区、包含層3層上面出土土器

### (11) SX01②南側遺物包含層C5西ベルト出土土器（第43～53図）

C5西ベルトはSX01②南側遺物包含層の中でも比較的高い位置にあり、層の枚数こそ少ないながらも水の影響を余り受けない安定した堆積状況（第42図）であった。包含層は2a・2b'・2c・2d・3a層に分層された。最下の包含層3a層は灰黄褐色粘土層で水の影響を受けている。出土土器はすべて深鉢形土器である。

#### ①包含層2a層中出土土器（第43図）

1は口縁部が緩やかに内湾する。幅の狭い羽状縄文が施されている。2～4は入組帶状文の一部と見られる文様が施され、幅の狭い羽状縄文が充填されている。4には貼瘤も付されている。5は櫛描による入組帶状文である。6は撚糸文地に多条沈線文が施されている。7・9～11は隆線文や沈線文によって文様が構成されている。8は縱走縄文が施されている。12・13は口縁部に無文帯が設けられ、12には刺突文が施されている。

#### ②包含層2b'層中出土土器（第44図）

1～11は隆線文や沈線文によって文様が構成されるやや厚手の土器である。1は把手の基部にあたる。3は口縁部に無文帯が設けられている。6・9は方形区画文の一部である。8・10も断片的ながら方形区画文の一部と見られる。4・5は地文のみで構成され、縄文が施されている。11は口縁付近の破片である。

#### ③包含層2c層上面出土土器（第45図）

1～8は隆線文や沈線文によって文様が構成されるやや厚手の土器である。1は口縁が緩やかに外反し、口唇には6単位の山形状突起が付されている。隆線によって方形区画文が配され、隆線上には2個1対の横位刻目文が施されている。胴上部の方形区画文内は縄文地と無文地の面積比が概ね1:1になるように文様が描かれ、單節縄文の縱回転・横回転により、一部羽状となるように縄文が充填されている。2・3・5は胴上部が内湾し、口縁部が短く外傾するものである。5は大型の把手の基部に相当する。5の隆線上には2個1対の縦位刻目文が施されている。4は平縁で、口縁部にはやや幅の狭い無文帯が設けられている。6・7は胴部破片である。8は隆線文によって方形状の文様が構成され、隆線に沿って刺突文が連続して施されている。

#### ④包含層2c層中出土土器（第46～47図）

第46図1・2ともに口縁部が緩やかに外反する器形である。1は隆線によって4単位の方形区画文が構成され、隆線上には2個1対の横位刻目文が配されている。区画内には方形状の文様が描かれ、縄文(LRr)が施されている。底面は片側に粘土が積み増され、2種の網代の痕跡を残している。内面には著しい炭化物の付着が認められ、年代測定の資料(ISK-4)とした。2はやや粗い撚糸文が器面全体に施されている。

第47図1～21が包含層2c層中出土の破片資料である。1～5は隆線・沈線によって文様意匠が構成されている。1は方形区画文内に単節縄文の異方向施文によって一部羽状をなす縄文が施文されている。6～9が沈線によって方形状の文様意匠が施されるものである。9は横走～斜行縄文が施されている。10は網代の痕跡を残す底部である。11は波状縁で梢円形区画文が施されている。12～14

は口縁下に連続して刺突文が施されるもの、15~18は口縁部にやや幅のある無文帯が設けられるものである。19~20は隆線に沿って刺突文が施されるもの、21はヒレ状隆線文の付されるものである。

#### ⑤包含層2c~d層（黒色土層）中出土土器（第48図）

1~13は包含層2c~d層に相当する下部黒色土層から出土した土器である。1~4は隆線と沈線によって文様意匠が構成されるものである。5は撚糸文の継回転・横回転が施されている。6~13が口縁部に無文帯が設けられる沈線によって文様意匠が構成される土器である。

#### ⑥包含層2d層上面出土土器（第49図）

1は口縁部に幅の広い無文帯が設けられる土器である。2・3は口縁部に隆線文の用いられるものである。3はヒレ状隆線文となっている。4~7は波濤文の一部と見られる。8~10は胴下部~底部にかけての土器である。8・9は木葉の圧痕を残している。

#### ⑦包含層2d層中出土土器（第50図）

1は口縁部が緩やかに外反する器形である。口縁下に沈線文が1条施されている。2・3は口縁部に連続して刺突文が施されるものである。4は環状把手が付されている。5は波頂部下に楕円形区画文が配されている。6~8は口縁部に無文帯が設けられるもの、9は地文のみのもの、10~14は沈線によって文様意匠が描かれるものである。13は波濤文の一部と見られる。

#### ⑧包含層3a層上面出土土器（第51・52図）

第51図1・2は口縁部が緩やかに外反する器形で、口縁部に幅の広い無文帯が設けられるものである。3は山形状をなす波状口縁で、波底部に楕円形区画文が配されている。4~13はいずれも口縁部に無文帯が設けられている。14~21は沈線によって文様意匠が描かれている。無文帯が入組むように展開し、ヒレ状突起（14）の施されるものもある。

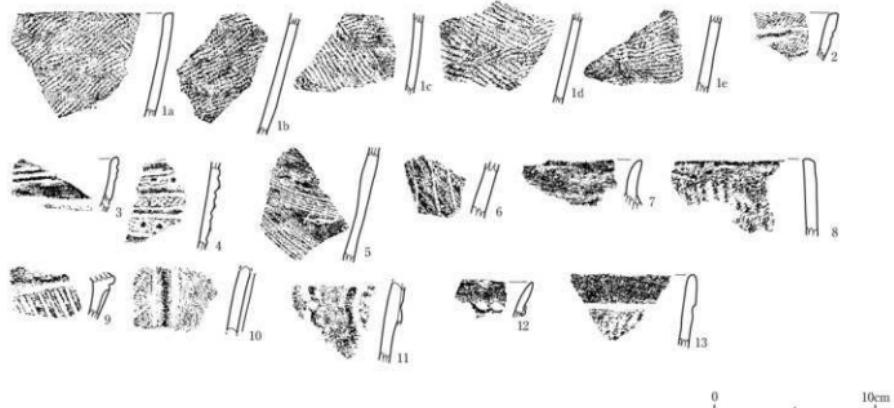
第52図1は無文部が満巻状に展開する。2は胴中位に横位沈線文が配されている。

#### ⑨包含層3a層中出土土器（第53図）

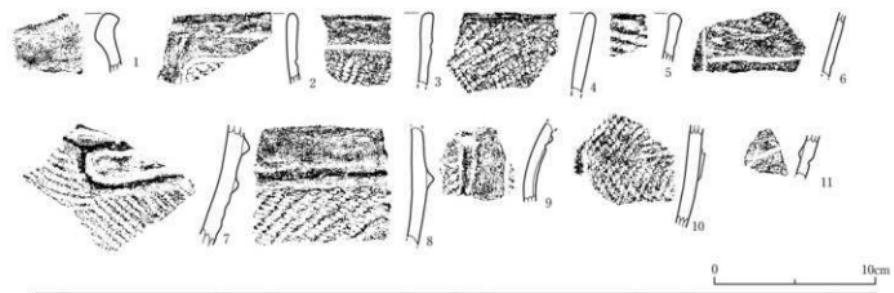
1は環状把手で刺突文が環状部をめぐる。沈線によって文様意匠が構成されている。2は波頂部に環状把手の配された小型の土器で、波頂部下には楕円形区画文が配されている。3は把手の基部にあたる土器である。横位の沈線文が施されている。4は波濤文の一部と見られる。



第42図 SX01②南側遺物包含層C5西ベルト断面

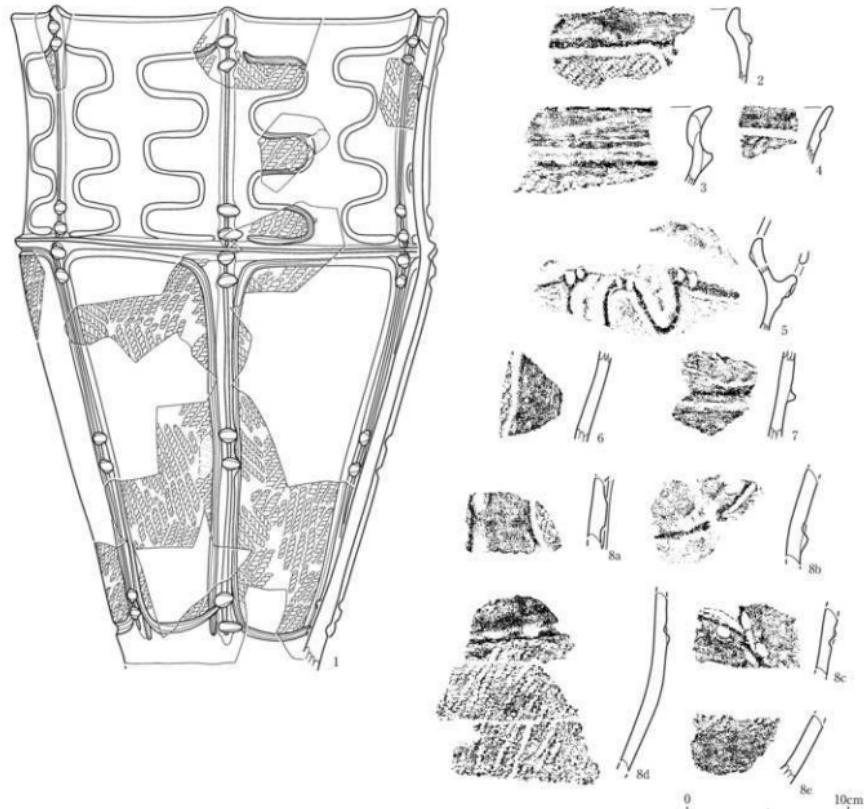


第43図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2a層中出土土器



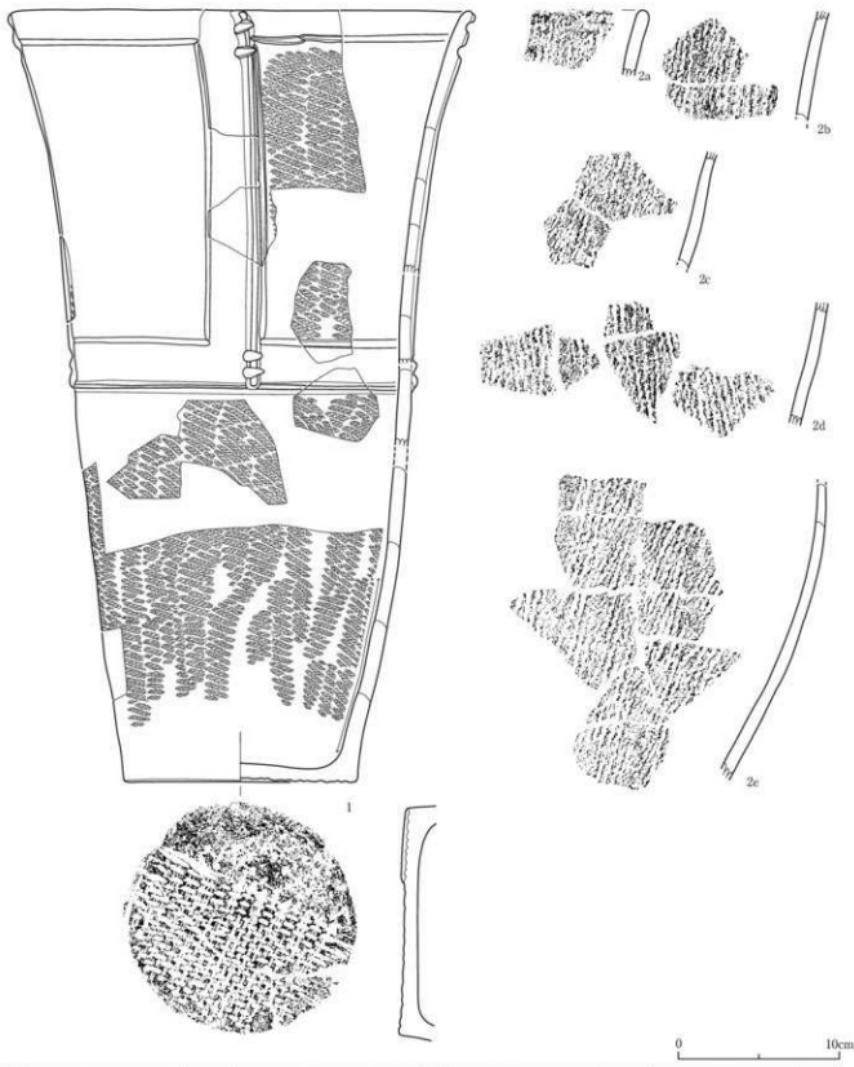
第44図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2b層中出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状縞文 (RL/R)	29-2-1	8	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	織文 (RL/R)	29-2-6
2	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Ed	人面像紋文/羽状縞文 (RL/R)	29-2-2	9	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	集会場織文	29-2-9
3	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Ed	人面像紋文/羽状縞文 (RL/R)	29-2-3	10	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	標印施加織文	29-2-10
4	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Ed	人面像紋文/羽状縞文 (RL/R)	29-2-4	11	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	羽根文+羽目目文 (2個1組)、織文 (裏)	29-2-11
5	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Ed	人面像紋文/羽状縞文	29-2-7	12	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	織文、網文	29-2-12
6	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	織文 (R)	29-2-6	13	SX01②・C5西ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vd1	織文 (RL)、織文文、外表面: 夏化物付	29-2-13



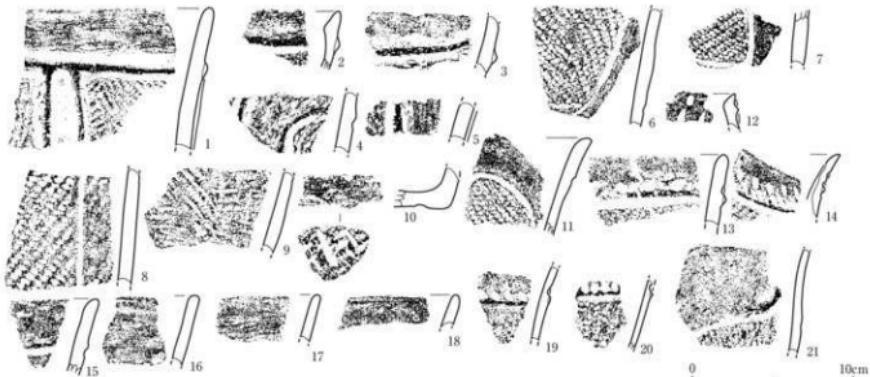
番号	出土場所・地区・層位	形・分類	特徴	写真回数	番号	出土場所・地区・層位	形・分類	特徴	写真回数
1	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面、C5西ベルト・包含層2c・層中、B4ベルト・包含層2c・層中、C5区・包含層2b層、B5層・包含層2層下部、C4区・包含層2c・層上面、C4ベルト・包含層2c・層上面、C5西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vt6	6基柱山形状小突起、方形区画文+2面文(内-一部羽状)、施錆文+2側1対の羽目文、沈錆文	30-1-1	5	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vt8a	櫛状把手、済文文(横文LH)、施錆文+2側対の羽目文、沈錆文	29-4-4
					6	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vt8b	方形区画文(横文LH)、沈錆文、内-外型:変化文による模様地	29-4-5
					7	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vt8d	方形区画文(横文LH)、施錆文、沈錆文	29-4-6
2	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vt8	櫛状把手基部、施文(LH)、施錆文、沈錆文	29-4-1	5a-e	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面、C5区・包含層2c・層中・包含層2b~2c・層上面	深鉢・Vt8c17	施文(FLH-多集)、施錆文、刺突文、沈錆文	29-4-7
3	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vt7	施文(LH)、施錆文、刺突文	29-4-2					
4	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vt	施文(LH)、沈錆文	29-4-3					

第45図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2c層上面出土土器



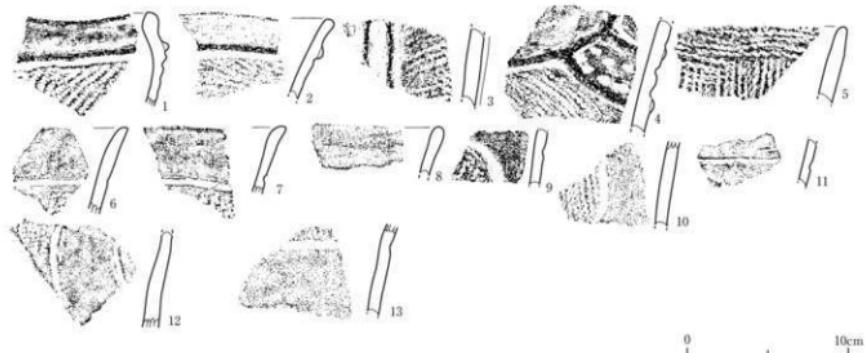
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層中・包含層2c・層中、C4西北ベルト・包含層2c・層中、C4西北ベルト・包含層2c・層中・包含層2c・層中・包含層2c・層上、B4西北ベルト・包含層2c・層中・包含層2c・層中・包含層2c・層中、C5区・包含層2c・層中	方形容圓文/圓文(ルリ)、縦縞文+2 横1対斜1対目文、北朝文、内面：変 化物文、外面：織紋に変化物付属、 時代：1本輪2本道、2本輪2本道(底、 1596-4)	30-3-1	SX01②-C5西ベルト・包含層2c層中・ 包含層2c・層上	30-3-2	深鉢・V字2 継承文(ルリ)、内外面：変化物付属	30-3-4		

第46図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2c層中出土器（1）



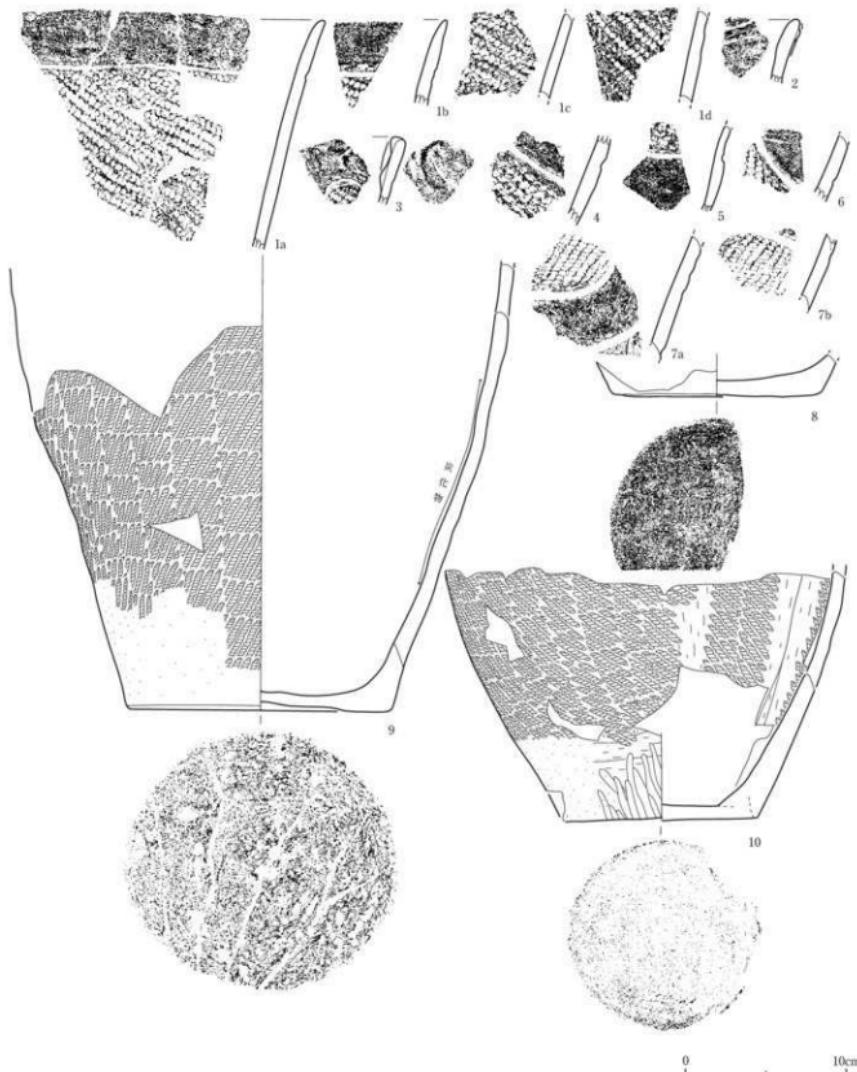
番号	出土遺構・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	方形区画文・縞文 (LR)、一跡羽状・縞文 (LR)、北緯文	31-1-1	11	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文、内斜面: 黄化物付	31-1-12
2	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文	31-1-2	12	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	刻文文	31-1-8
3	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	方形区画文・縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文、北緯文	31-1-3	13	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	刻文文、縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文	31-1-13
4	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	渦巻文・縞文 (LR)、縞文 (LR)、北緯文	31-1-6	14	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	刻文文、縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文	31-1-14
5	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、繩文 (LR)	31-1-7	15	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-1-15
6	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	方形区画文・縞文 (LR)、北緯文	31-1-8	16	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-1-17
7	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	方形区画文・縞文 (LR)、北緯文	31-1-5	17	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-1-18
8	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	方形区画文・縞文 (LR)、北緯文	31-1-9	18	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-1-16
9	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR) (多量)、内斜面: 黄化物付	31-1-10	19	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vc	刻文文、縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文	31-1-19
10	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR) (多量)、内斜面: 黄化物付	31-1-11	20	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vc	刻文文、縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文	31-1-20
					21	SX01②-C5西ベルト・包含層2層中	深鉢・Vb	縞文 (LR)、ヒレ状縞文、北緯文	31-1-21

第47図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2c層中出土土器（2）



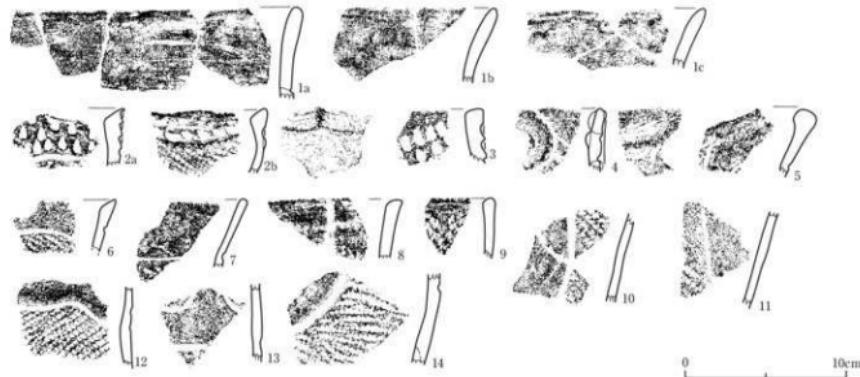
番号	出土遺構・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、繩文 (LR)、北緯文、外斜面: 黄化物付	31-2-1	8	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	無文	31-2-8
2	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、繩文 (LR)	31-2-2	9	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-2-9
3	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR) (約4mm)、繩文 (LR)、北緯文	31-2-3	10	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-2-10
4	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、繩文 (LR)、刻文文	31-2-4	11	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-2-11
5	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR) 構造軸・縫合軸	31-2-5	12	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	構造軸画面文/縞文 (LR)、北緯文	31-2-12
6	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-2-6	13	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-2-13
7	SX01②-C5-6ベルト・包含層2c	深鉢・Vb	縞文 (LR)、北緯文	31-2-7					

第48図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2c~d層（黒色土層）中出土土器



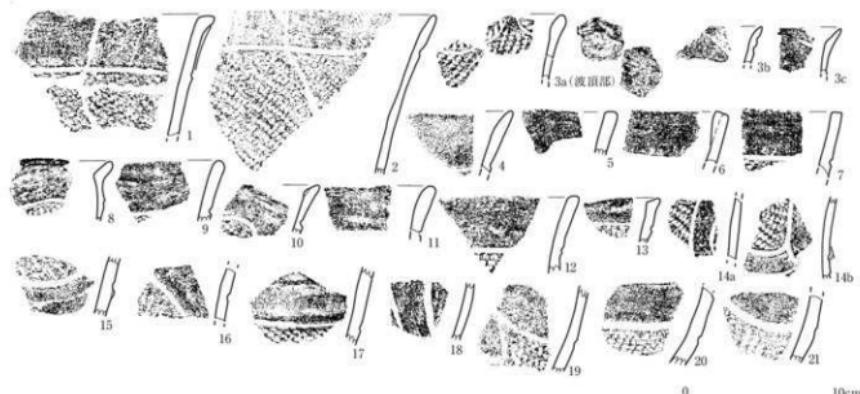
番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	可変回数
1a-c	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vb1	横文(内)→深縞文	31-2-2	8	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vb	横文(外)	31-3-8
2	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vb	縦縞文	31-3-3					
3	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vb b	横円形文(内)・横文(外)、沈縞文、ヒ・状横縞文	31-3-4	9	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vb	横文(内)、内面・炭化物痕跡、底面・木底板→カズリ	31-3-1
4	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vc	横文(内)、沈縞文	31-3-5					
5	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vc	横文(内)、沈縞文	31-3-6					
6	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vc	横文(内)、沈縞文	31-3-7	10	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vb	横文(内)、外側・炭化物痕跡、底面・木底板→カズリ	31-3-10
7ab	SX01②・C5西ベルト・包含層2d層上面	深鉢・Vc2	横文(内)、沈縞文	31-3-8					

第49図 SX012南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2d層上面出土土器



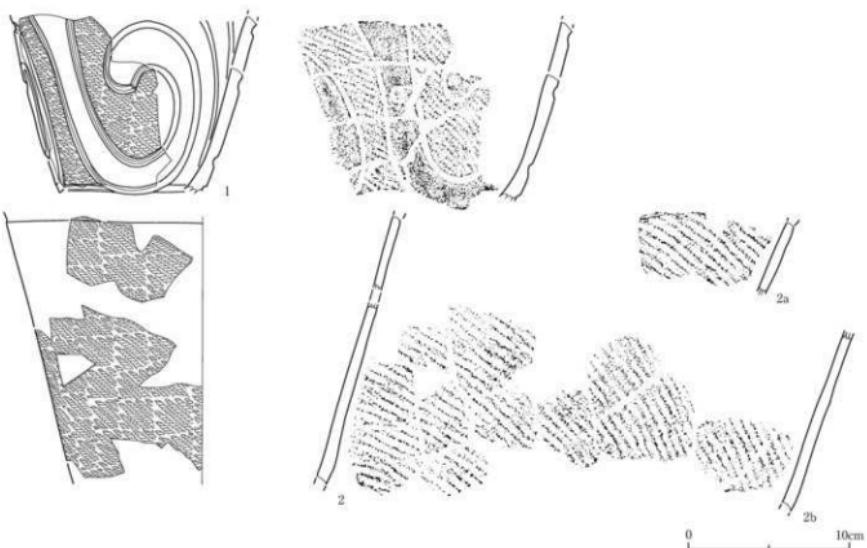
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1a-c	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1	北縫文	32-1-1	8	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1	北縫文	32-1-8
2a-b	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	北縫文、刺突文、縄文(RL)	32-1-2	9	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-1-9
3	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1	北縫文	32-1-3	10	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、波縫文	32-1-10
4	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	波縫文	32-1-4	11	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-1-11
5	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1	横円形区画文、波縫文	32-1-5	12	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、文内面・変化付付帯	32-1-12
6	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、波縫文	32-1-6	13	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-1-14
7	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1	縄文(RL)、波縫文	32-1-7	14	SX01②-CS西ベルト・包含層2d中	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、波縫文	32-1-13

第50図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2d中出土土器

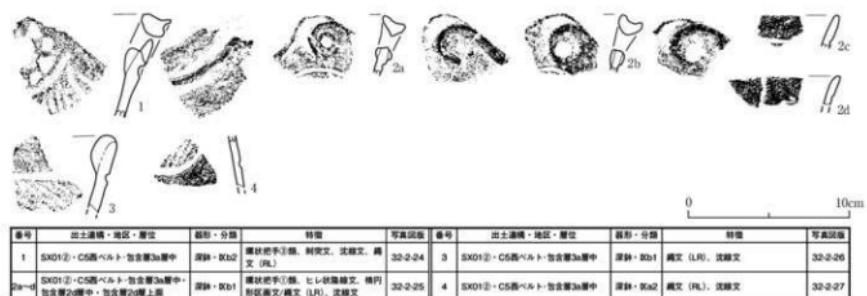


番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	縄文(RL)、波縫文	32-2-1	12	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	縄文(RL)、波縫文	32-2-12
2	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	縄文(RL)、波縫文	32-2-2	13	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-2-13
3a-c	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	横円形区画文、刺突文、縄文(RL)	32-2-3	14a-b	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	方形区画文・縄文(RL)、波縫文	32-2-14
4	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	波縫文	32-2-4	15	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	縄文(RL)	32-2-15
5	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	波縫文	32-2-5	16	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、波縫文	32-2-16
6	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	波縫文	32-2-6	17	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-2-17
7	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	縄文(RL)、波縫文	32-2-7	18	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-2-18
8	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-2-8	19	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)	32-2-19
9	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	波縫文	32-2-9	20	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、波縫文	32-2-20
10	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	波縫文?	32-2-10	21	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1?	縄文(RL)、文内面・変化付付帯	32-2-21
11	SX01②-CS西ベルト・包含層3a上層	深鉢・Vb1	波縫文	32-2-11					

第51図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層3a上面出土土器 (1)



第52図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層3a層上面（2）



第53図 SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層3a層中出土土器

## (12) SX01②南側遺物包含層C5区出土土器（第54～61図）

C5区は調査区の関係で、他のグリッド区の半分ほどの面積しか調査していない。包含層は2a・2b・2b'・2c～d・3a層に分層された。このうち、2b層と3a層は水の影響を受けている。2b層は2b'層・2c層の不整合面上に堆積している。出土土器には壺形土器が1点（包含層2b～2c層上面）あるほかはすべて深鉢形土器である。

### ①包含層2a層中出土土器（第54図）

1～4は口縁部がやや肥厚し、幅の狭い羽状縄文が施されている。

### ②包含層2b層上面出土土器（第55図1～19）

1～19が包含層2b層上面出土の土器である。沈線・隆線によって文様が施されている。

### ③包含層2b層中出土土器（第55図20～29）

20～29が包含層2b層中出土の土器である。水の影響を受けおり、出土状況は散漫である。

### ④包含層2b～c層上面出土土器（第56図）

包含層2b層中から2c層上面にかけての土器である。水の影響を受けており、余り接合しない。

### ⑤包含層2b'層中・2b'層下部出土土器（第57・58・59図）

第57・58図は包含層2b'層中から出土した土器である。第57図1は口縁部が緩やかに外反し、平縁に小突起が付されている。方形区画文が構成され、隆線・沈線によって文様が構成され、隆線上には2個1対の斜位刻目文・ボタン状貼付文が付されている。2は底面に木葉の痕跡を残す土器である。3は胴上部が緩やかに内湾する4単位の大波状口縁土器で、波頂部には大形の環状把手が作られている。環状把手にはさらに橋状部が設けられている。文様は全体に大きな渦巻文と懸垂文が隆線と沈線によって構成され、隆線上には2個1対の刻目文が配され、ボタン状貼付文が付されている。第58図1は山形状をなす波頂部が環状把手に整えられている。口縁部をめぐる隆線上には継位2個1対の刻目文が付されている。2は大型の環状把手破片である。橋状部を持ち、全体を隆線によって装飾され、2個1対の刻目文が付されている。3は横走～斜行縄文が施される土器である。

第59図は包含層2b'層下部から出土した土器である。1は口縁部が緩やかに内湾し、縄文が施されている。2は方形区画文の胴部破片で隆線上には2個1対の刻目文が付されている。3は横走～斜行縄文が施されている。4は横位沈線文以下に斜行縄文、5は縄文・沈線文が施されている。

### ⑥包含層2c～d層（黒色土層）中出土土器（第60図）

1・2は半円状の区画内に刺突文を充填したものである。3～17は隆線や沈線によって文様が構成されている。底面に18は網代、19は木葉の圧痕を残している。

### ⑦包含層3a層上面出土土器（第61図1～3）

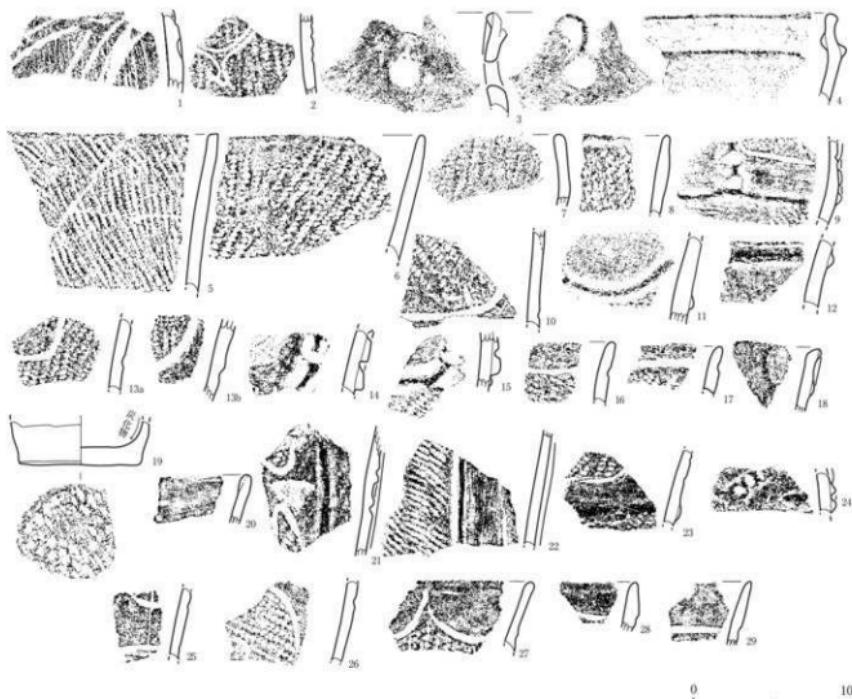
1～3が包含層3a層上面出土土器である。1は楕円形区画文が施されている。3の底面には網代の痕跡が残されている。

### ⑧包含層3a層中出土土器（第61図4～9）

4～9が包含層3a層中出土土器である。4～9の口縁部には無文帯が設けられ、隆線や沈線によって文様が構成されている。



第54図 SX01②南側遺物包含層・C5区・包含層2a層中出土土器



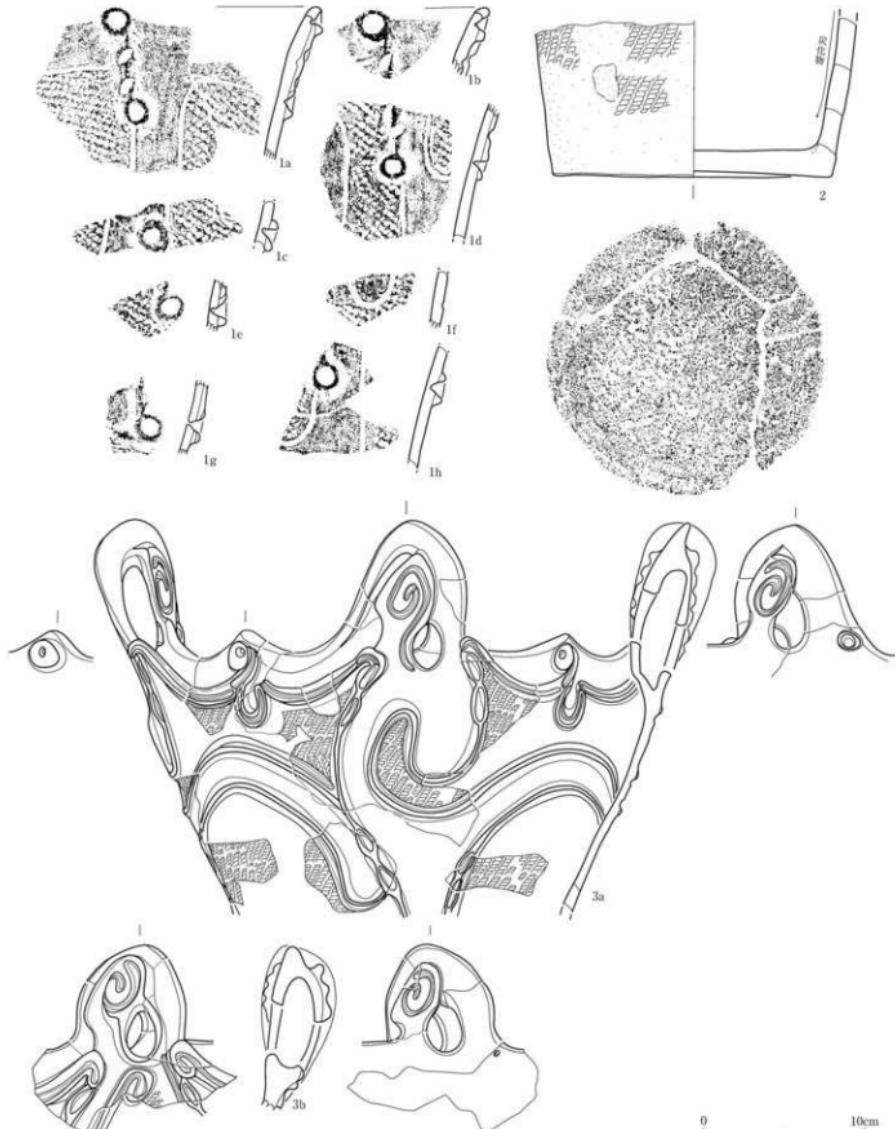
第55図 SX01②南側遺物包含層・C5区・包含層2b層上面・2b層中出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・M1	縦斜文(内)→多角式縫に沿る縦斜文	32-3-5	15	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR), 縱斜文+2縫1列の斜目目	32-3-19
2	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫文(PLR), 小渦文, 滲透文	32-3-6	16	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫文(PLR), 滲透文	32-3-20
3	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vta	複合把手・縫透文	32-3-7	17	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫文(PLR), 滲透文	32-3-21
4	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vta	縫文(PLR), 縫透文背面: 混化物付裏	32-3-8	18	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	ヒレ状複合縫	32-3-22
5	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb2	縫文(PLR)	32-3-9	19	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫文(PLR) 1本針2本埋(?)底: 植生痕	32-3-23
6	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb2	縫文(PLR)	32-3-10	20	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫文	32-3-24
7	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb1	縫文(PLR)	32-3-11	21	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR), 滲透文, 汚泥文	32-3-25
8	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb2	縫文(PLR)	32-3-12	22	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR), 滲透文, 汚泥文	32-3-26
9	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR)2段多, 縫縫2列+縫の内側斜目, 滲透文	32-3-13	23	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR), 縫透文, 斜縫文	32-3-27
10	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR)2段多, 斜縫文	32-3-14	24	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	縫透文+連續する斜目縫	32-3-28
11	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫文(PLR), 縫透文, 滲透文	32-3-15	25	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	縫文, 滲透文	32-3-29
12	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	方形底縫文/縫透文	32-3-16	26	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	縫文(PLR), 滲透文	32-3-30
13b	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR), 滲透文	32-3-17	27	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb	縫文(PLR), 滲透文	32-3-31
14	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	方形底縫文/縫文(PLR)2列+縫の内側斜目	32-3-18	28	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb1	縫文(PLR), 滲透文	32-3-32
15	SX01②・C5区・包含層2b層上面	深鉢・Vb	縫透文	32-3-19	29	SX01②・C5区・包含層2b層中	深鉢・Vb1	縫文(PLR), 滲透文	32-3-33



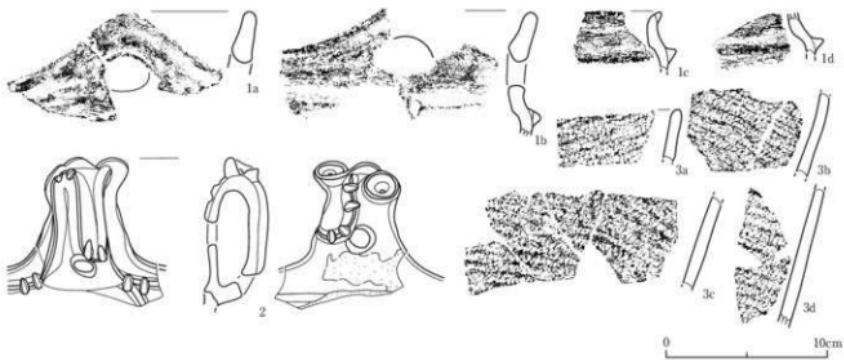
番号	出土遺物名	種類	形態	特徴	可写箇数	番号	出土遺物名	種類	形態	特徴	可写箇数
1-a	SX01-②-C5区・包含層a-上層	深鉢	U	底面状況・被覆土	33-1-1	19	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底面(文+2倍)の折伏目	33-1-19
2	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Nf1	底面(UR)・側面(波立)	33-1-2	20	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底面(文+2倍)の折伏目・底盤文	33-1-20
3	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Nf1	底面(UR)・側面(波立)・多角形	33-1-3	21	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底面(文+2倍)の折伏目・底盤文	33-1-21
4	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Nf1	底面(UR)・側面(波立)・多角形	33-1-4	22	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底面(文+2倍)の折伏目・底盤文	33-1-22
5	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Nf1	底面(UR)・側面(波立)・多角形	33-1-5	23	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底面(文+2倍)の折伏目・底盤文	33-1-23
6	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、被覆土	33-1-6	24a	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文+2倍の折伏目	33-1-24
7	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vt	底面(UR)・側面(波立)・一時突起	33-1-7	25	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文+2倍の折伏目	33-1-25
8	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-8	26	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、底盤文	33-1-26
9	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-9	27	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、外輪付・底盤文	33-1-27
10	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文	33-1-10						
11	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-11						
12	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-12						
13	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-13						
14	SX01-②-C5区・包含層a-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-14	28	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、底盤文	33-1-28
15	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-15	29	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、底盤文	33-1-29
16	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-16	30	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、底盤文	33-1-30
17	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-17	31	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、底盤文	33-1-31
18	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文	33-1-18	32	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	方削鉢(裏面)・文(UR)、底盤文、底盤文	33-1-32
19	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文+2倍の折伏目	33-1-19	33	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	底面(UR)・底盤文+2倍の折伏目	33-1-33
20	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	Vb	底面(UR)・側面(波立)・底盤文+2倍の折伏目	33-1-20	34	SX01-②-C5区・包含層b-中層	深鉢	深鉢・Vb	底面(UR)・底盤文	33-1-34

第56図 SX01②南側遺物包含層・C5区・包含層2b～c層上面出土土器



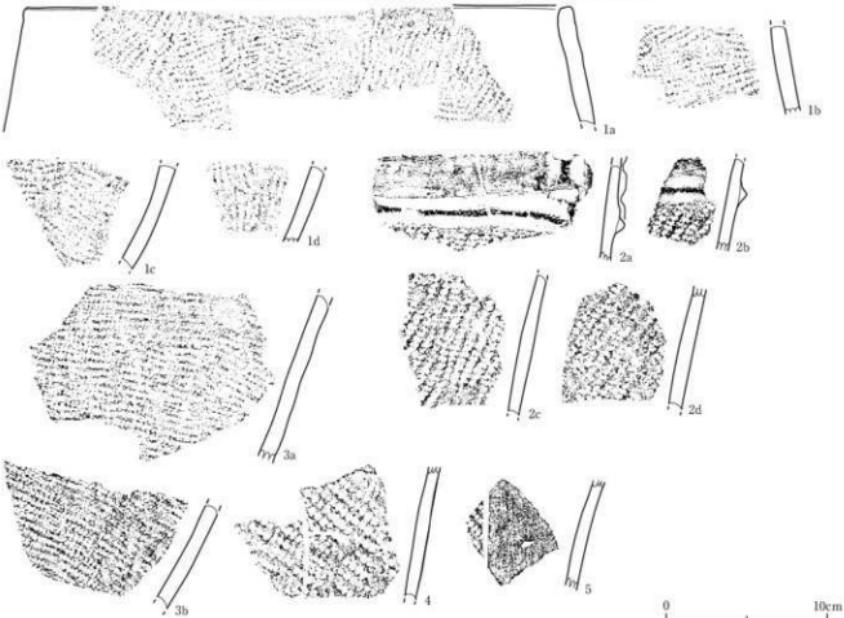
番号	出土場所・地区・層位	形別・分類	特徴	可有回数	番号	出土場所・地区・層位	形別・分類	特徴	可有回数
1a-h	SX01②-C5区・包含層2b・層中・包含層 2b・層上部・包含層2b・底・C4帶 ベルト・包含層2b・底・C45・包含層2 層中・C45ベルト・2x1層中	方形容圓文/織文 (LR), ボタン状貼 付文, 織縫文2個1対の斜目文, 文様 文	深鉢・Vb	33-2-1	SX01②・C5区・包含層2b・層中・C4 層・包含層2b・層上部・包含層2層中 -2b・層上部・包含層2b・底・B42 ・包含層2層イカ?	深鉢・Vb	33-2-3	環狀把手・済文/織文 (RL), ホリ ン状貼付文, 織縫文+2個1対の斜目 文, 文様文	
2	SX01②-C5区・包含層2b・層中・2b ・層上部	深鉢・Vb	織文 (RL), 内外面: 磨化物付文, 底面: 木底面	33-2-2					

第57図 SX01②南側遺物包含層・C5区・包含層2b・層中出土土器 (1)



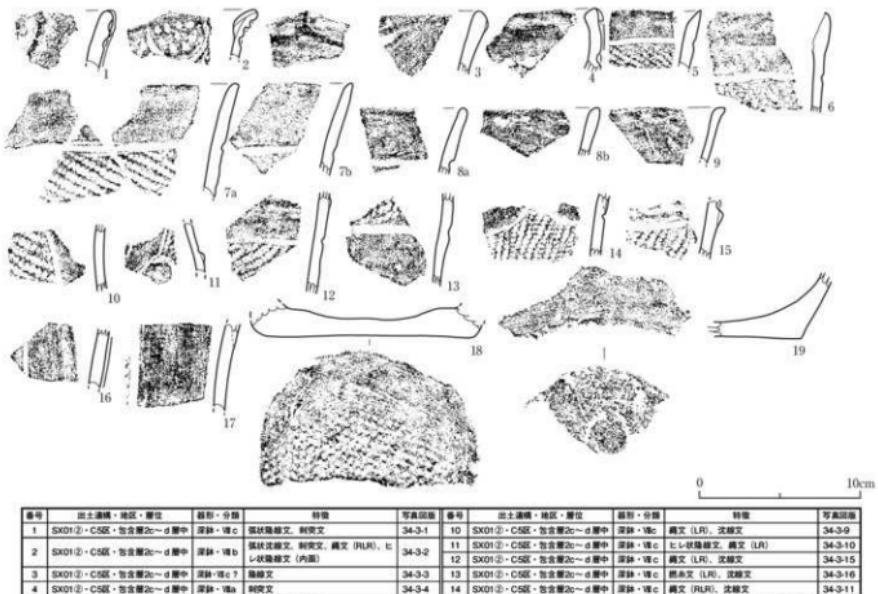
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a-d	SX01②-C5区-包含層2b 層上部・包含層2b 層中	縫状把手、錐形文+2條1対の刻文、双線文	34-1-1	3a-d	SX01②-C5西ベルト-包含層2b 層中、C5区-包含層2b 層中・包含層2b 層上部	縫状把手、ボタン状點文付、錐形文+2條1対の刻文、双線文	34-1-2	高文 (LR) 且多条	34-1-3
2	SX01②-C5区-包含層2b 層中、C4B-包含層2b 層上部-2b 層上部	深鉢・Vba	34-1-2						

第58図 SX01②南側遺物包含層、C5区、包含層2b 層中出土土器 (2)

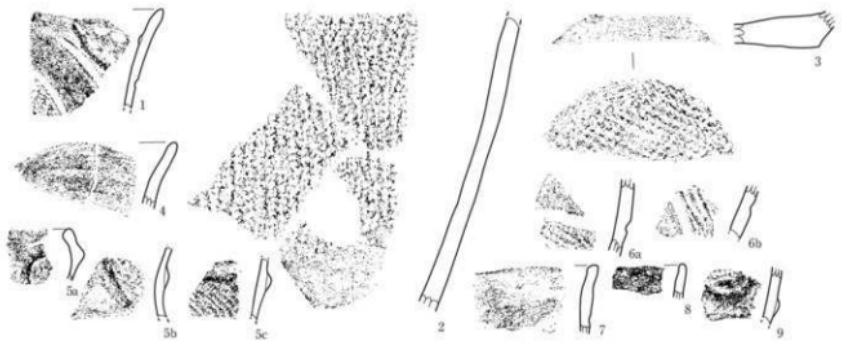


番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a-d	SX01②-C5区-包含層2b 層下部-2b 層中、C4Bベルト-包含層2b 層中	深鉢・Vbc1	高文 (LR)	34-2-1	4	SX01②-C5区-包含層2b 層下部	深鉢・Vc	横文沈線文、高文 (RL)、外周:炭化物付裏	34-2-4
2a-d	SX01②-C5区-包含層2b 層下部	深鉢・Vbd	方形区画文(高文 (RL)、錐線文+2條1対の刻文)、沈線文	34-2-2	5	SX01②-C5区-包含層2b 層下部	深鉢・Vd?	高文 (RL)、沈線文、外周:炭化物付裏	34-2-5
3ab	SX01②-C5区-包含層2b 層下部-包含層2b 上部	深鉢・Vbf	高文 (RL)	34-2-3					

第59図 SX01②南側遺物包含層、C5区、包含層2b 層下部出土土器



第60図 SX01②南側遺物包含層・C5区・包含層2c～d層中出土土器



第61図 SX01②南側遺物包含層・C5区・包含層3a層上面・3a層中出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	深状錐形。刺突文。圓文 (RL)。亂状錐形文。	34-3-1	10	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)、沈錐文	34-3-9
2	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直b	深状錐形。刺突文。圓文 (RL)。ヒレ状錐形文 (内面)	34-3-2	11	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	ヒレ状錐形。純 (RL)	34-3-10
3	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	深状錐形。刺突文。圓文 (RL)。沈錐文	34-3-3	12	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)、沈錐文	34-3-15
4	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	刺突文	34-3-4	13	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)、沈錐文	34-3-16
5	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-5	14	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)、沈錐文	34-3-11
6	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-6	15	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)、沈錐文、亂状文	34-3-13
7a	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-8	16	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	沈錐文	34-3-14
7ab	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-7	17	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-17
8	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-12	18	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。沈錐文	34-3-18
9	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文	34-3-19	19	SX01②・C5区・包含層2c～d層中	深鉢・直c	圓文 (RL)。木造	34-3-19

### (13) A4北ベルト出土土器 (第63図)

A4北ベルトでは旧河道SX03B・04が検出された。ともに砂礫層を主とし、旧河道SX04堆積層は砂礫層と未分解植物質を含む黒褐色土層とが互層状となっている。若干の土器が出土している。

#### ①旧河道SX03B堆積層中出土土器 (第63図1~3)

すべて深鉢形土器である。1は斜行縄文、2は細かで幅の狭い羽状縄文が施されている。3は摩滅している。

#### ②旧河道SX04堆積層中出土土器 (第63図4~6)

すべて深鉢形土器である。4・5は斜行縄文・羽状縄文が施されている。6は幅の狭い羽状縄文が施されている。



第62図 A4北ベルト断面

### (14) A4区出土土器 (第64・65図)

A4区では旧河道SX03B・04が検出された。旧河道SX04中からはSX05壠状遺構が検出された。

#### ①旧河道SX03B堆積層中出土土器 (第64図1~6)

深鉢形土器のほかに皿形土器（5）がある。1・2は口頭部が短く外反するもので頭部に沈線文が施されている。3は口縁部が緩やかに内湾する。1・3は斜行縄文・羽状縄文、4はやや細かい斜行縄文が施されている。4は平行沈線化した雲形文が施されている。6は内面に炭化物が付着している。

#### ②旧河道SX04堆積層中出土土器 (第64図7・8)

すべて深鉢形土器である。7は口縁部が内湾するもの、8は口頭部が短く外反するものである。

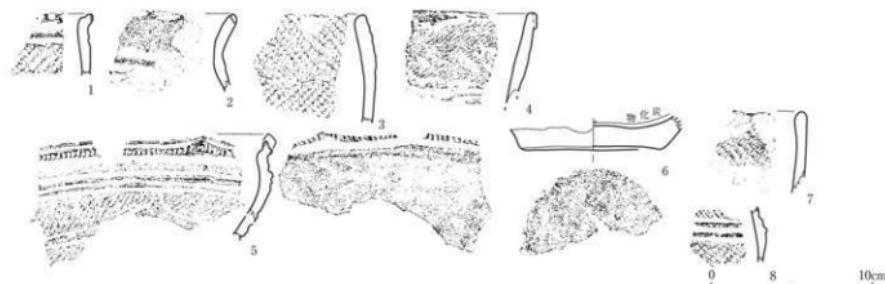
#### ③SX05壠状遺構出土土器 (第65図)

第65図1~4が堆積層中、5が底面（Po. 1・2）から出土した深鉢形土器である。1・2は口頭部が短く外反するもので、頭部には沈線文や刻目文がめぐっている。3は沈線文・刻目文が施されている。4は底部で、底面にはミガキが施されている。

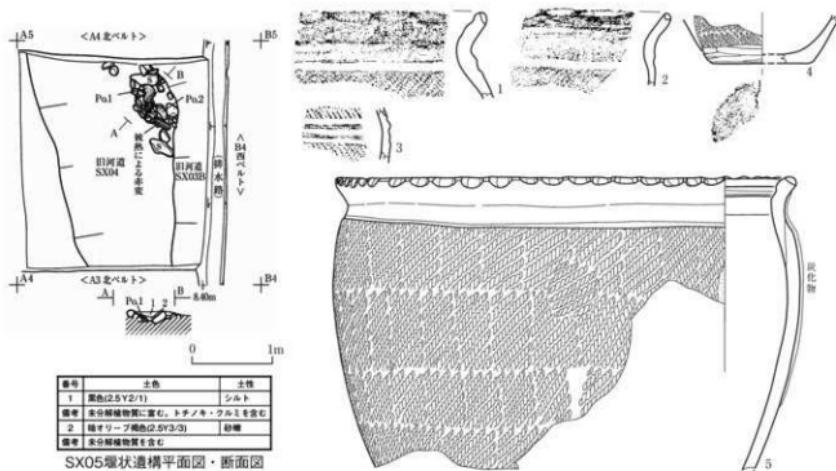
5は口頭部が短く外反する深鉢形土器で、胴部には幅の広い斜行縄文が施されている。胴上部には厚さ約3mmの炭化物が付着しており、年代測定の資料（ISK-6）とした。



第63図 旧河道SX03B・A4北ベルト・堆積層中出土土器



第64図 旧河道SX03B・A4区・堆積層中出土土器



第65図 SX05壠状遺構・A4区・堆積層中・底面出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数
1	旧河道SX03B・A4北ベルト・堆積層 (Sec.1带) 中	深鉢・I	縞文 (RL)、内面：変化物付箇	35-1-1	4	旧河道SX04A・A4北ベルト・堆積層 (Sec.2-6带) 中	深鉢・Ia	縞文 (LR)、沈縞文	35-1-4
2	旧河道SX03B・A4北ベルト・堆積層 (Sec.1带) 中	深鉢・II	羽状縞文 (RL/LR)、外面：変化物付箇	35-1-2	5	旧河道SX04A・A4北ベルト・堆積層 (Sec.2-6带) 中	深鉢・I	羽状縞文 (RL/LR)、外面：変化物付箇	35-1-5
3	旧河道SX03B・A4北ベルト・堆積層 (Sec.1带) 中	深鉢・Vb	チャタード縞文、円刻印管文、燕文 (RL)、縞文/沈縞文	35-1-3	6	旧河道SX04A・A4北ベルト・堆積層 (Sec.2-6带) 中	深鉢・IIa	入組階状文？/羽状縞文 (RL/LR)	35-1-6

## (15) B4北ベルト出土土器（第67～70図）

B4北ベルトでは概ね西側が旧河道SX03・26・27堆積層、東側がSX01②南側遺物包含層からなる（第66図）。旧河道堆積層は砂礫層を主とする。若干の土器が出土しているが、いずれも断片的な資料である。SX01②南側遺物包含層は包含層1層・2a層・2b①層・2b②層・2b'層・2c層・2d層に分層された。このうち、包含層1層は旧河道SX03堆積層と同じである。2b①層と2b②層は水の影響を受けた層で、特に2b②層の水成堆積の砂礫層である。2b'層から2d層にかけては安定した陸成の遺物包含層で、多くの土器や炭化物を含んでいる。土器はすべて深鉢形土器である。

### ①旧河道SX03C堆積層中出土土器（第67図1～4）

1は横位の磨消繩文、3は2個1対の刻目文が施された隆線文が付されている。

### ②旧河道SX26堆積層中出土土器（第67図5～21）

すべて断片的な資料であるが、11はC4西ベルト包含層2b②層上面に同一個体が認められた。5は幅の短い羽状繩文や斜め向きに施されている。7は単節と複節繩文が縱位羽状に施文されている。6・8・10は繩文が施されている。11は山形状の突起の下に丸長方形を基調とする文様意匠が隆線文によって構成され、ボタン状貼付文、縱位の2個1対の刻目文が施されている。繩文の種類はLRrである。他の土器は隆線や沈線によって、文様が構成されている。

### ③旧河道SX27堆積層中出土土器（第67図22～23）

2点出土している。22は口縁部に幅の広い無文帯を設けたものである。23は波濤文の一部を見られる。ともに深鉢形土器である。

### ④包含層1層（旧河道SX03堆積層）中出土土器（第68図1～4）

1～3は幅の広い羽状繩文土器が施されている。4は口縁部に幅の狭い無文帯が設けられている。

### ⑤包含層2a層中出土土器（第68図5）

やや幅の狭い羽状繩文が施されている。

### ⑥包含層2b層中出土土器（第68図6～8）

6～8は隆線や沈線によって文様意匠が構成されている。6の地文にはごく細い撲糸文が用いられている。7の隆線上には2個1対の刻目文が施されている。

### ⑦包含層2b'層中出土土器（第68図9～22）

9～18は隆線や沈線によって文様意匠が構成されている。9～11の隆線上には2個1対の刻目文が施されている。19・20の口縁部には幅の広い無文帯が設けられている。21・22の底面には網代の痕跡が残されている。

### ⑧包含層2c層上面出土土器（第69図1・2）

1は異地区異層位間で接合している。胴部に縱位の櫛描文が施されている。底面は粘土が積み増されており、二重に網代の痕跡を残している。2は口縁部が横回転、胴部が縱回転による繩文が施文されている。

### ⑨包含層2c層中出土土器（第69図3～6）

3～6は隆線や沈線によって文様意匠が構成されている。3は山形状の突起である。

#### ⑩包含層2d層上面出土土器（第69図7～10）

7～10は隆線や沈線によって文様意匠が構成されている。9は口縁部の無文帶に刺突文が施されている。

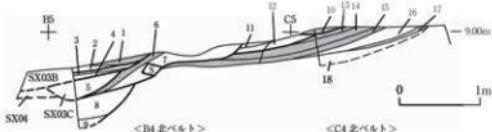
#### ⑪包含層2d層中出土土器（第69図11～27）

11～27は隆線や沈線によって文様意匠が構成されている。11は4単位の大波状口縁部を持つ小型の深鉢形土器である。波頂部には器内外にヒレ状隆線文が付され、口縁下には刺突文がめぐっている。内溝する口縁部にはヒレ状隆線文と組む大きな渦巻文が配されている。このほか、19・20にヒレ状隆線文が施されている。23は橋状把手の一部である。26・27の底面は丁寧にミガキが施されている。

#### ⑫包含層3a層上面出土土器（第70図1～7）

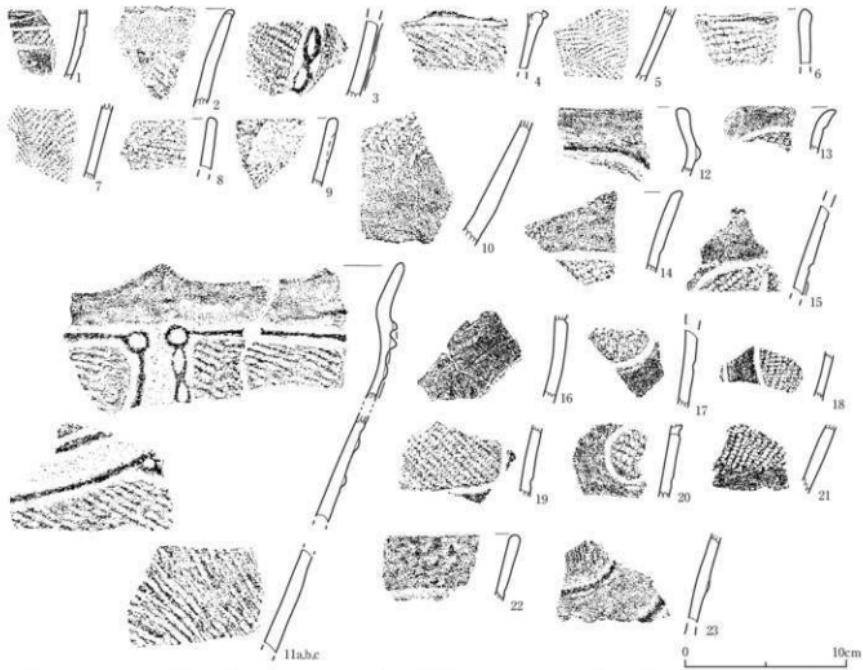
1は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。口縁部には幅の広い無文帶が設けられている。2単位の半円形文が配されている。下描沈線文の痕跡を残しており、下描沈線文→充填繩文→沈線文の引き直しとミガキ調整の手順となっている。繩文は細いものと太いものが2種使われている。器内外に顯著な炭化物の付着は認められないものの、器内面口縁下22cmに土器の色変わりの箇所があり、使用時の「喫水線」（小林 2003）に相当するものと考えられる。

2は無文帶が緩い曲線状に展開し、繩文帯は口縁部では横位波瀬状となっている。3・4も無文帯が緩い曲線状に展開し、繩文帯は横位波瀬文の一部となっている。5も同様の文様を隆線と沈線によって作り出している。6は0段多条の複節繩文が施された胴部、7は丁寧なミガキの施された底部である。器形はいずれも口縁部が緩やかに外反するものと考えられる。



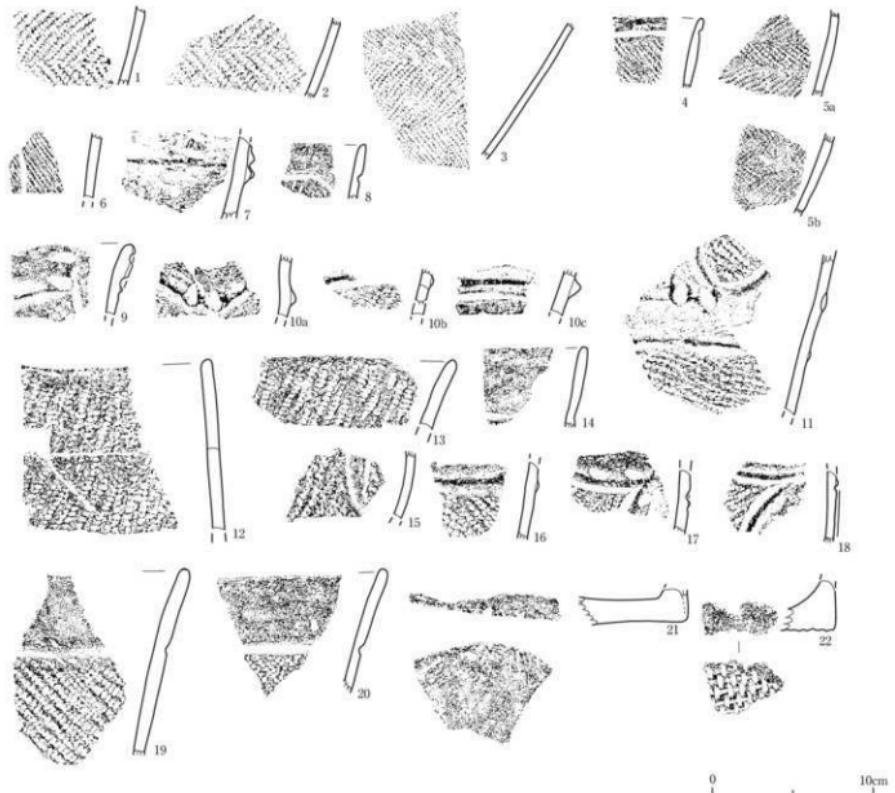
番号	土色	土性	遺物帯上位位置	備考
1	黒色(SV2/1)	砂質シルト	Sec.1層	細砂一微砂を含む。旧河床SX03B堆積層
2	暗オーリーブ色(SV4/4)	砂質	Sec.2層	砂一極細砂を含む。旧河床SX03B堆積層
3	黒色(SV2/1)	砂質シルト	Sec.3層	砂一極細砂を含む。旧河床SX03B堆積層
4	暗オーリーブ色(SV4/3)	砂質	Sec.4層	砂一極細砂を含む。旧河床SX03B堆積層
5	オーリーブ色(SV3/2)	砂質	Sec.5層	小角礫を含む。旧河床SX03B堆積層
6	黒色(SV2/1)	砂質粘土	Sec.6層	プライマリシルトを含む。旧河床SX03B堆積層
7	オーリーブ色(SV3/2)	砂質シルト	Sec.7層	黄褐色を含む。旧河床SX03B堆積層
8	灰オーリーブ色(SV4/2)	砂質	Sec.8層	角礫を含む。旧河床SX27堆積層
9	オーリーブ色(SV3/2)	砂質	Sec.9層	角礫を含む。旧河床SX27堆積層
10	黒色(10YR1.7/1)	シルト	包含層2b層	炭化物・骨片を含む
11	暗オーリーブ色(SV2.5Y3/3)	砂質シルト	包含層2b.1層	炭化物を含む
12	オーリーブ色(SV2.5Y4/3)	砂質	包含層2b.2層	炭化物を含む
13	黒色(10YR3/2)	シルト	包含層2c層	炭化物・こぶし大角礫を含む
14	黒色(10YR2/1)	シルト	包含層2d層	炭化物多く含む
15	黒色(10YR1.7/1)	シルト質粘土	包含層2d層	炭化物多く含む
16	灰褐色(SV4/2)	粘土	包含層3a層	炭化物を含む。ややグライ化
17	褐色(黄褐色SV4/2)	粘土	3b層	無遺物層
18	灰オーリーブ色(SV4/2)	粘土		角礫を多く含む。無遺物層

第66図 B4～C4北ベルト断面



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX03C・B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・V?	直文 (LR), 沈縫文	35-31	12	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vc1	直文 (LR), 沈縫文	35-312
2	旧河道SX03C・B4北ベルト・堆積層 (Sec.5層) 中	直鉗・Vd?	直文 (LR)	35-32	13	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd?	直文 (LR), 沈縫文	35-3-13
3	旧河道SX03C・B4北ベルト・堆積層 (Sec.5層) 中	直鉗・Vd	直文 (LR), 薙鉗文+2個1対の斜目文	35-3-3	14	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd	直文 (LR), 沈縫文	35-3-14
4	旧河道SX03C・B4北ベルト・堆積層 (Sec.5層) 中	直鉗・Vd?	直文 (LR-Q段多条), 薙鉗文, 沈縫文	35-3-4	15	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd c	直文 (LR), ヒレ状斜縫文, 沈縫文	35-3-15
5	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) イカワ	直鉗・Vd	直縫縫文 (LR/RL)	35-3-5	16	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd c2	波瀬文/沈縫文	35-3-16
6	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) イカワ	直鉗・Vd?	直文 (LR)	35-3-6	17	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd c	直文 (LR), 沈縫文	35-3-17
7	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) 中	直鉗・Vd	羽状縫文 (LR-Q段多条/RLR)	35-3-7	18	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd c	直文 (LR), 沈縫文	35-3-18
8	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) 中	直鉗・Vd?	直文 (LR)	35-3-8	19	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd c?	直文 (LR-Q段多条), 沈縫文	35-3-19
9	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) 中	直鉗・Vd?	直文 (RLR)	35-3-9	20	旧河道SX06-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd c	直文 (LR), 沈縫文	35-3-20
10	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) 中	直鉗・Vd?	直文 (RL)	35-3-10	21	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.7層) 中	直鉗・Vd	直文 (RL), 沈縫文	35-3-21
11a-c	旧河道SX26-B4北ベルト・堆積層 (Sec.5層・Sec.6層) 中, C4西ベルト ト・笠置26層上部	直鉗・Vd a	直文 (LR), ボタン状點付文, 薙縫文 +2個1対の斜目文, 沈縫文	35-3-11	22	旧河道SX27-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) 中	直鉗・Vd c1	沈縫文	35-3-22
					23	旧河道SX27-B4北ベルト・堆積層 (Sec.6層) 中	直鉗・Vd c?	波瀬文? / 沈縫文, 極縫文	35-3-23

第67図 旧河道SX03C・26・27・B4北ベルト・堆積層中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形・分類	特徴	可収図版
1	SX01②・B4北ベルト・包含層1層 (旧河床SX03堆積層) 中	深鉢・I	羽状織文 (RL-RL)、内外面：炭化物付帯	35-4-2	10a-c	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Ia	織文 (LR)、縦縞文+2個1対の斜目文	35-4-10
2	SX01②・B4北ベルト・包含層1層 (旧河床SX03堆積層) 中	深鉢・I	羽状織文 (RL-RL)、内外面：炭化物付帯	35-4-3	11	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Ia	織文 (LR)、縦縞文+2個1対の斜目文	35-4-11
3	SX01②・B4北ベルト・包含層1層 (旧河床SX03堆積層) 中	深鉢・I	羽状織文 (RL-RL)、内外面：炭化物付帯	35-4-1	12	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb-1	斜目文 (RLR)、内面：炭化物付帯	35-4-14
4	SX01②・B4北ベルト・包含層1層 (旧河床SX03堆積層) 中	深鉢・Vb?	織文 (R)、旋織文	35-4-4	13	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb-2	斜目文 (RL)	35-4-12
5a	SX01②・B4北ベルト・包含層1層 2a層中	深鉢・E-d?	羽状織文 (RL-RL)、内外面：炭化物付帯	35-4-5	14	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb?	織文、旋織文	35-4-13
6	SX01②・B4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vb	織文 (R)、一斜目文	35-4-6	15	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb?	織文 (RL-R)、斜目文	35-4-15
7	SX01②・B4北ベルト・包含層1層 2a層中	深鉢・Vb	織文 (LR)、縦縞文+2個1対の斜目文	35-4-7	16	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb?	織文 (LR)、縦縞文	35-4-16
8	SX01②・B4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vb?	織文 (R)、旋織文	35-4-8	17	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb?	織文 (LR)、斜目文、織文文、旋織文	35-4-18
9	SX01②・B4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vb	織文 (LR)、縦縞文+2個1対の斜目文	35-4-9	18	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb?	織文 (R)、縦縞文、斜目文	35-4-17
					19	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb-1	織文 (LR)、旋織文	35-4-20
					20	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・Vb-1	織文 (R)、旋織文	35-4-21
					21	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・V-1	織文、代代窓→ミガキ	35-4-22
					22	SX01②・B4北ベルト・包含層2層 中	深鉢・V-1	織文、網代 (1本編2本縫) 縞	35-4-19

第68図 SX01②南側遺物包含層・B4北ベルト・包含層1層～2b 層中出土土器



番号	出土場所・地区・層位	類別・分類	特徴	写真回数	番号	出土場所・地区・層位	類別・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層上面 裏・包含層2c層中・C5c2・北ベルト・帶 含層2d層中、C5c2・北ベルト・帶 層上面	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付・2枚 A、B	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付・2枚	36-1-1	12	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	36-1-12
2	SX01②・B4-C4北ベルト・包含層2c 層上面	深鉗・Vc2	複文 (LR) - 構造複・複回軸・ 複回軸	36-1-2	13	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	36-1-13
3	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中	深鉗・Vc2	山形状突起	36-1-3	14	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複文 (LR) - 複文	36-1-15
4	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中	深鉗・Vc2	複文 (LR) - 複文	36-1-4	15	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複文 (LR) - 複文	36-1-14
5	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中	深鉗・Vc2	複文 (LR) - 複文	36-1-5	16	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複文 (LR) - 複文	36-1-16
6	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中	深鉗・Vc2	複文 (LR) - ヒレ状斜面文・複文	36-1-6	17	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複文 (LR) - 複文	36-1-17
7	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層上面	深鉗・Vc2	外側・複文・複物付葉	36-1-7	18	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複文 (LR) - 複文	36-1-18
8	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層上面	深鉗・Vc2	複文 (LR) - 複文	36-1-8	19	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	ヒレ状斜面文	36-1-19
9	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層上面	深鉗・Vc2	複文 (LR) - 刻文、内面・複文・ 複物付葉	36-1-9	20	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複文 (LR) - 複文	36-1-20
10	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層上面	深鉗・Vc2	複形凹凸面文 (複文) - 複 文 (LR) - 外側・複物付葉	36-1-10	21a-c	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘土付	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘土付	複形凹凸面文 (複文) (LR) - 複文, 複物付葉	36-1-21
11	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層上面 C5c2・北ベルト・帶 層上面	深鉗・Vc2	複形凹凸面文 (複文) - 複文 質・底面・鉄化・粘物付葉	36-1-11	22	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘物付葉	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘物付葉	複形凹凸面文 (複文) - 外側・ 複物付葉	36-1-22
					23	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘物付葉	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘物付葉	複形凹凸面文 (複文) - 鉄化手	36-1-23
					24	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘物付葉	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘物付葉	複形凹凸面文 (複文) (LR) - 複文	36-1-24
					25	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘物付葉	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘物付葉	複文 (LR) - 複文	36-1-25
					26	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘物付葉	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘物付葉	複文 (LR) - 2.5万、底面 : ギガ 2.0万	36-1-26
					27	SX01②・B4北ベルト・包含層2c層中 底・鉄化・粘物付葉	複合工具 (11件) にこる鉱物組合 質・底面・鉄化・粘物付葉	外側・複化斜面文、2.5万	36-1-27

第69図 SX01②南側遺物包含層・B4北ベルト・包含層2c層上面～2d層中出土土器



番号	出土遺物・地図・層位	基形・分類	特徴	可島田層	番号	出土遺物・地図・層位	基形・分類	特徴	可島田層
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部、C4区・包含層3a層上部	C4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-太幅凸彫)	3 SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH)、沈織文	36-2-2					
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部	B4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-太幅凸彫)	4 SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH-O段多条)、沈織文	36-2-3					
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部	B4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-太幅凸彫)	5a SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH-O段多条)、沈織文	36-2-4					
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部	B4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-太幅凸彫)	5b SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH-O段多条)、沈織文	36-2-5					
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部	B4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-太幅凸彫)	5c SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH-O段多条)、沈織文	36-2-6					
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部	B4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-R)	6 SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH-O段多条)	36-2-7					
SX01②-B4北ベルト・包含層3a層上部	B4ベルト・内面	半円形文/商文(LH-R)	7 SX01②-B4-C4北ベルト・包含層3a層上部 深鉢・縦c 商文(LH)	36-2-8					

第70図 SX01②南側遺物包含層・B4北ベルト・包含層3a層上面出土土器

## (16) SX01②南側遺物包含層C4北ベルト出土土器（第71～77図）

C4北ベルトはSX01②南側遺物包含層からなる（第66図）。SX01②南側遺物包含層は包含層2a層・2b①層・2b②層・2b'層・2c層・2d層に分層された。このうち、2b①層は水の影響を受けた砂質シルト層で、2b②層は水成堆積の砂疊層である。2b②層は以下の層と不整合となっており、2b'層・2c層を浸食して堆積している。2b'層から2d層にかけては安定した陸成の遺物包含層である。土器は壺1点（第72図1）のほかは、すべて深鉢形土器である。

### ①包含層2a層中出土土器（第71図1～4）

1は口縁部が内湾し、地文に細かい縄文が施され、平行沈線文が配されている。2は幅の狭い羽状縄文、3は貼瘤が付されている。4は摩滅している。

### ②包含層2b①層上面出土土器（第71図5～8）

5・6の口縁部はわずかながら肥厚する。ともに幅の狭い羽状縄文が施されている。8は胴部に継位斜行縄文が施されている。7は摩滅している。

### ③包含層2b①層中出土土器（第71図9～27）

水の影響を受けた砂質シルト層出土土器で、あまり接合しない。9は横走縄文地に多条沈線文が弧状に施されている。10・11は口縁部に隆線文がめぐっている。21～23は隆線上に2個1対の刻目文が施されたものである。

### ④包含層2b②層中出土土器（第71図28～31）

包含層2b②層は水成堆積の砂疊層で、いずれも断片的な出土状況である。隆線や沈線の施される土器が出土している。

### ⑤包含層2b層中出土土器（第71図32～42）

最初にサブトレンチにおいて、2b①・②層の分層を行わないで、取り上げた土器である。いずれも断片的な出土状況である。隆線や沈線の施される土器が出土している。

### ⑥包含層2b'層中出土土器（第72図1～7）

1は胴上部に渦巻文が描かれる壺形土器である。2は口縁部が緩やかに内湾する波状口縁の深鉢形土器で、方形区画文が配されている。隆線上には継位2個1対の刻目文が施されている。方形区画内は縄文部と無文部の面積比が1:1になるように文様が構成されている。3の口縁部には幅の広い無文帯が設けられている。4は方形区画内に縄文が施されている。5・6は地文のみの土器である。7の底面には木葉の圧痕が残されている。

### ⑦包含層2b②層上面～2c層上面出土土器（第72図8～19）

包含層2b②層によって攪乱された包含層2c層上面の土器である。いずれも断片的な出土状況であるが、隆線上に刺突を施したもののがやや目立っている。

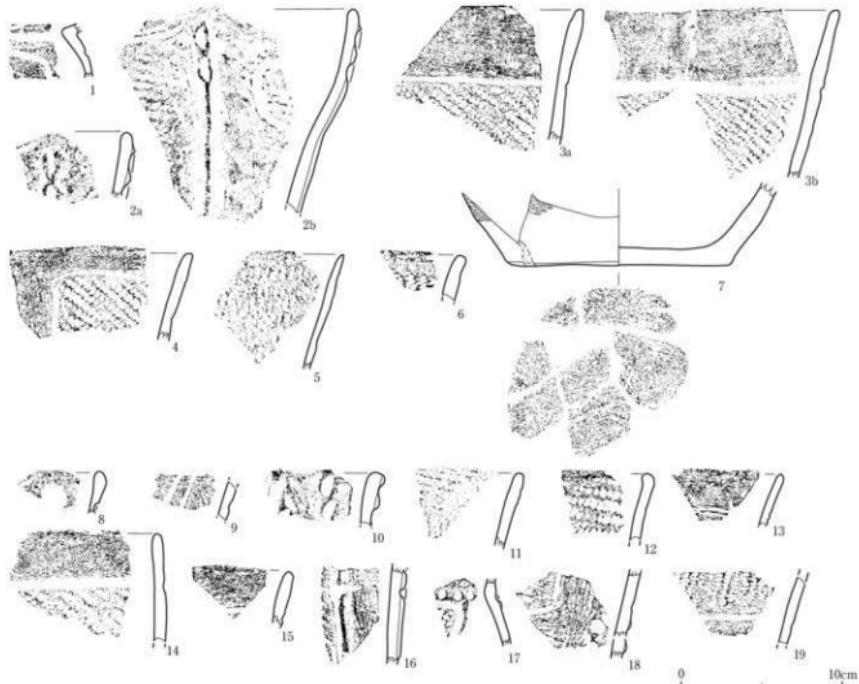
### ⑧包含層2c層中出土土器（第73・74図）

すべて深鉢形土器で隆線や沈線によって文様が施されている。12～13の隆線上には2個1対の刻目文が加えられている。14～16は隆線上に沿って刺突文が施されている。底面には網代と木葉の痕跡を残すものの双方が認められる。第74図4は胴下部の粘土剥落下に縄文が認められるもので、縄



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・E?	鉄文 (LR), 平行弦線文	36-1-1	23	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vla	ボタン状貼付文, 鉄文 (LR), 薙織文 + 手の跡付文	36-1-23
2	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・E?	鉄文 (LR), 表面弦線文	36-1-2					
3	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・E?	平行弦線文, 破片	36-1-3	24	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 慶垂織縫文, 内面: 花化物付文	36-1-24
4	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR), 慶垂織縫文, 縞模	36-1-4	25	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 弦文	36-1-25
5	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・E?	鉄文 (LR), V字	36-1-5	26	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 表面: 花化物付文, 同一側	36-1-26
6	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・E?	鉄文 (LR), 内面: 花化物付文	36-1-6	27a,b	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 内外面: 花化物付文, 同一側	36-1-27
7	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR), 慶垂織縫文+目皿文, 深文	36-1-7	28	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 多角形深鉢による鉄文	36-1-28
8	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR), 内面: 花化物付文	36-1-8	29	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 表面: 花化物付文	36-1-29
9	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc?	鉄文 (LR), 表面: 花化物付文	36-1-9	30	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 表文, 花化物付文	36-1-30
10	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR), 表文, 内面: 花化物付文	36-1-10	31	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 陰織文+2倍1の刻目	36-1-31
11	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vla	鉄文 (LR), 極端に2倍1の刻目	36-1-11	32	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vla	鉄文 (LR), 陰織文+2倍1の刻目	36-1-32
12	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文	36-1-12	33	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vla	鉄文 (LR), 表文	36-1-33
13	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR), 深文	36-1-13					
14	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc?	鉄文 (LR)	36-1-14					
15	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc?	鉄文 (LR)	36-1-15	34	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 手の跡付文	36-1-34
16	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc?	鉄文 (LR)	36-1-16	35	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 表文	36-1-35
17	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc?	鉄文 (LR), O-降4段	36-1-17	36	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V	鉄文 (LR), 慶垂織縫文, 深文	36-1-36
18	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc?	鉄文 (LR)	36-1-18	37	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 慶垂織縫文, 深文	36-1-37
19	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR)	36-1-19	38	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 深文	36-1-38
20	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 (LR)	36-1-20	39	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 深文	36-1-39
21	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V?	鉄文 + 2倍1の刻目文, 深文	36-1-21	40	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 深文	36-1-40
				36-1-22	41	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 深文	36-1-41
				36-1-23	42	SX01②・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・Vc	鉄文 (LR), 深文	36-1-42

第71図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層2a層中～2b層中出土土器



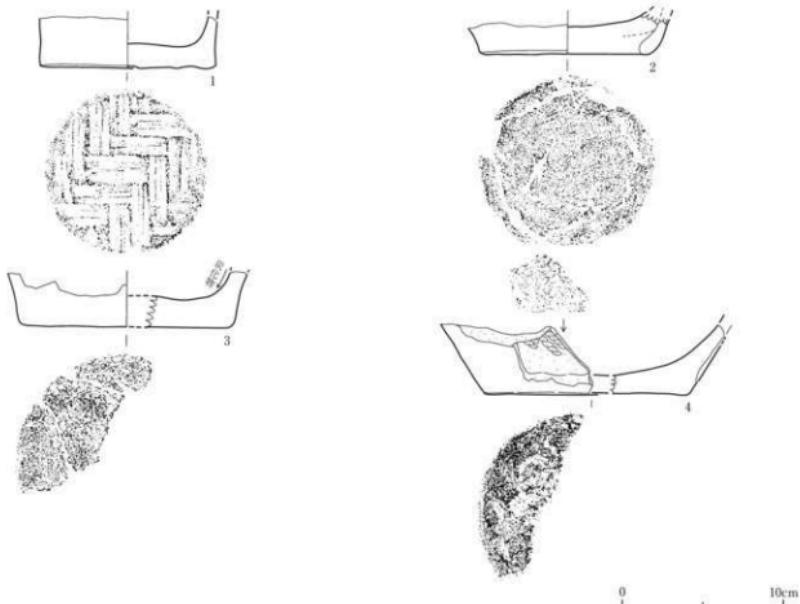
番号	出土場所・地区・層位	種別・分類	特徴	写真回数	番号	出土場所・地区・層位	種別・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中	石斧・V?	両刃 (LR), 滑面文	38-2-1	11	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vc2	圓形文 (LR) 横凹版・底面鉗	38-2-11
2a,b	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中・包含層2c層上面	滑鉗・Vb	方形凹面文・溝文 (LR+), 離縫文+2 側1列の刻痕文、沈縫文	38-2-2	12	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vc2	溝文 (LR)	38-2-12
3a,b	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中・包含層2c層上面	滑鉗・Vb?	溝文 (LR), 沈縫文	38-2-3	13	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb?	溝文 (LR), 沈縫文	38-2-13
4	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中	滑鉗・Vb	方形凹面文・溝文 (LR), 沈縫文	38-2-5	14	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb?	溝文 (LR), 沈縫文	38-2-14
5	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中	滑鉗・Vb2	圓底文 (LR)	38-2-4	15	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb?	溝文 (LR), 圆底文, 内面: 蚀化物付着	38-2-15
6	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中	滑鉗・Vb2	溝文 (LR), Q段多角	38-2-6	16	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb	溝文 (LR) (Q段多角), 離縫文+2列1列の 刻痕文、沈縫文	38-2-16
7	SX01②・C4北ベルト・包含層2b 層中	滑鉗・V?	溝文 (LR), 直面: 未調直→ミガキ	38-2-7	17	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・V?	溝文 (LR), 離縫文+刻痕文、沈縫文	38-2-17
8	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・V?	円形の盲孔	38-2-8	18	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb	方形凹面文・溝文 (LR+), 離縫文+2 側1列の刻痕文、沈縫文	38-2-18
9	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・V?	無い・無系文 (R) 一端の長い平行平行 沈縫文→ミガキ	38-2-9	19	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb?	溝文 (LR), 沈縫文	38-2-19
10	SX01②・C4北ベルト・包含層2b② 層～包含層2c層上面	滑鉗・Vb	離縫文+斜面の刻痕文	38-2-10					

第72図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層2b・層中～2c層上面出土土器

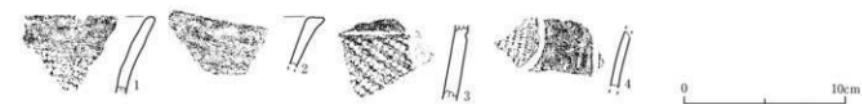


番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	可収集版
1	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb2	両文 (LR)	39-1-1	16	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既承文 (LR)、既縫文、既削文、既磨文	39-1-16
2	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb2	両文 (LR)	39-1-2	17	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	ヒレ状縫文、既縫文	39-1-17
3	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc2	両文 (RL)	39-1-3	18	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	縫縫文	39-1-18
4	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	方形区画文 (両文) (LR)、既縫文	39-1-4	19	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (RL)、既縫文、既縫文	39-1-19
5	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (LR)	39-1-5	20	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (LR)、既縫文、既縫文	39-1-20
6	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (LR)	39-1-6	21a,b	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅d?	既文 (LR)、既縫文	39-1-21
7	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (RL)	39-1-7	22	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (RL)、既縫文	39-1-22
8	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (RL)	39-1-8	23	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (RL)、既縫文	39-1-23
9	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (RL)	39-1-9	24	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (RL)、既縫文	39-1-24
10	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既文 (RL)	39-1-10	25	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (RL)、既縫文	39-1-25
11	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (RL)、既縫文、既縫文	39-1-11	26	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅d?	既文 (RL)、既縫文	39-1-25
12	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文+Vb1の刻文	39-1-12	27	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既文 (RL)	39-1-27
13a	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文 (RL)、既縫文+2011封の刻文	39-1-13	28	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既縫文 (RL)	39-1-28
b	C4ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文						
c	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文、既縫文	39-1-14	29	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既縫文 (RL)	39-1-29
15	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb3	既縫文+既縫文	39-1-15	30	SX01②・C4北ベルト・包含層2c層中	深鉢・浅c	既縫文 (RL)	39-1-30

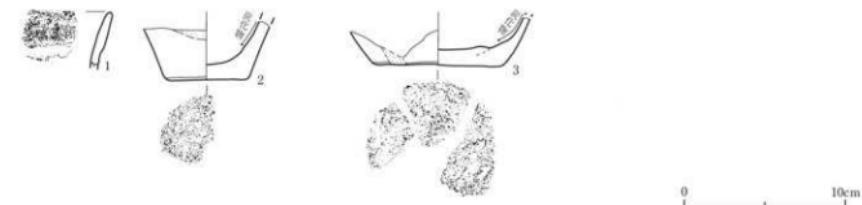
第73図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層2c層中出土土器 (1)



第74図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層2c層中出土土器（2）



第75図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層2c~d層中出土土器



第76図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層2d層中出土土器

文施文後に粘土を足していることがわかる資料である。

#### ⑨包含層2c~d層(黒色土層)中出土土器(第75図)

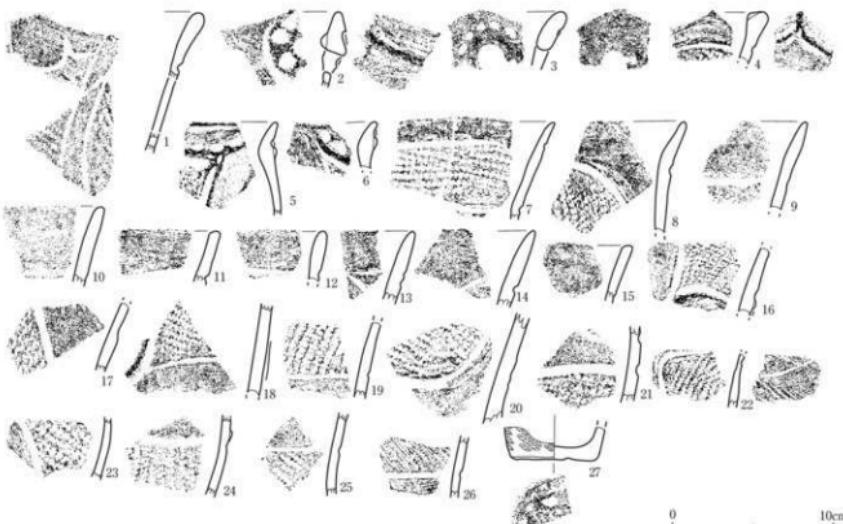
2c・d層に分層しないで取り上げた土器である。1・2の口縁部には無文帯が設けられている。

#### ⑩包含層2d層中出土土器(第76図)

1は口縁部に無文帯が設けられている。2・3の底面はミガキ調整が施されている。

#### ⑪包含層3a層上面出土土器(第77図)

1~27は3a層上面から出土した土器である。2・3は波頂部に環状把手が配されている。把手の環状部には刺突文が施されている。1は山形状をなす波状口縁土器である。波底部に楕円形区画文が配され、波頂部には連弧状文が充てられている。4は山形状の小突起がある土器である。5・6は楕円形区画文の一部である。横位波説文の一部も散見される。27は小型品で底面には木葉の圧痕が残されている。



番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数
1	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文・施文(LR), 施文(LR), 施文	39-3-1	14	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文	39-3-14
2	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形底手V字型・施文(LR), 施文(LR), ?	39-3-2	15	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文	39-3-15
3	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形底手V字型・施文	39-3-3	16	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 離離文	39-3-16
4	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	山形状底・施文(LR), 施文	39-3-4	17	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文	39-3-17
5	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文・施文(LR), 施文	39-3-5	18	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文文, 外面: 施化物付箇	39-3-18
6	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文・施文(LR), 施文	39-3-6	19	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文	39-3-19
7	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文・施文(LR), 施文	39-3-7	20	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	T字形底文→施文(LR)→施文文+施文	39-3-20
8	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文・施文(LR), 施文	39-3-8	21	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文	39-3-21
9	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文・施文(LR), 施文	39-3-9	22	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文, 施文(LR), 施文文, 内面: にも文	39-3-22
10	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文	39-3-10	23	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文文	39-3-23
11	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文	39-3-11	24	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 離離文, 施文文	39-3-24
12	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文, 内面: 施化物付箇	39-3-12	25	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文文	39-3-25
13	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯形内波説文, ?(施文)	39-3-13	26	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	梯文(LR), 施文	39-3-26
					27	SX01②-C4北ベルト・包含3a層上面	深鉢・V字	木葉文, 外面: 施化物付箇	39-3-27

第77図 SX01②南側遺物包含層・C4北ベルト・包含層3a層上面出土土器

## (17) B4西ベルト出土土器（第80図）

B4西ベルトでは、旧河道SX02・03・04・07・22・23・24・25が検出された。いずれの旧河道も小角礫や粗砂に富む砂礫層と未分解植物質を含む有機質の黒色土層との互層状となっている。若干の土器が出土しているが、このうち、旧河道SX07の川べりでSX21杭跡が確認された。また、最下層の旧河道SX25の堆積層には火山灰が堆積していた。この火山灰はやや灰色味を帯びた灰白色をしており、全体に砂質を帯びるものである。

### ①旧河道SX02堆積層中出土土器（第80図1～3）

1は口縁部がやや内湾する広口壺で、円形竹管による交互刺突文が施されている。2は口頭部が短く外反するもので、1条の沈線文が施されている。3の胴部は幅の広い羽状繩文が施され、底部下端に1条の沈線文がめぐっている。

### ②旧河道SX03A堆積層中出土土器（第80図4～6）

4・6は口頭部が短く外反するもので、1条の沈線文が施されている。5は口縁部が緩やかに内湾する。補修孔が穿たれている。6の胴部には幅の広い羽状繩文が施されている。

### ③旧河道SX02・03A堆積層中出土土器（第80図7～9）

包含層1層（上部砂礫層）として、まとめて取り上げられた土器である。7・8は口頭部が短く外反し、1条の沈線文が施されている。9には幅の広い羽状繩文が施されている。

### ④旧河道SX04堆積層中出土土器（第80図10～15）

10～12が旧河道SX04A堆積層中、13～15が旧河道SX04B堆積層中出土土器である。10は口頭部が短く外反し、1条の沈線文が施されている。11・12は底面にミガキ調整の施された土器である。14は平行沈線間に鎖状刺突文が施され、ボタン状貼付文が付されている。

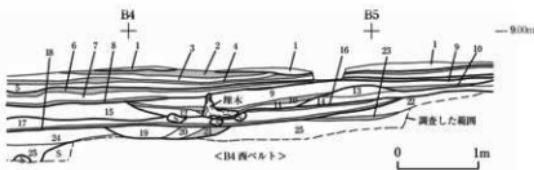
### ⑤旧河道SX07堆積層中出土土器（第80図16・17）

16・17ともに小片である。17は平行沈線間に鎖状刺突文が施されている。

### ⑥SX21杭跡断面確認時出土土器（第80図18・19）

18・19はSX21杭跡の断面図作成の折に、旧河道SX07から出土した土器である。18は口縁部がわずかに肥厚する土器で、幅の狭い羽状繩文が施されている。19は入組帶状文と三叉文が施されている。ごく細かい繩文と通常の節の大きさの繩文によって、羽状繩文が構成されている。

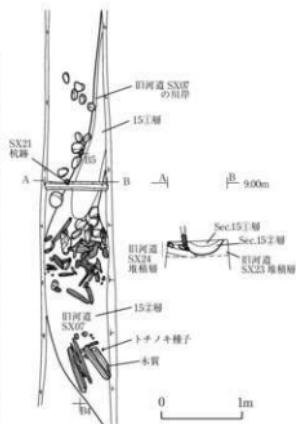
木杭の詳細は木製品の項（第241図1）参照。



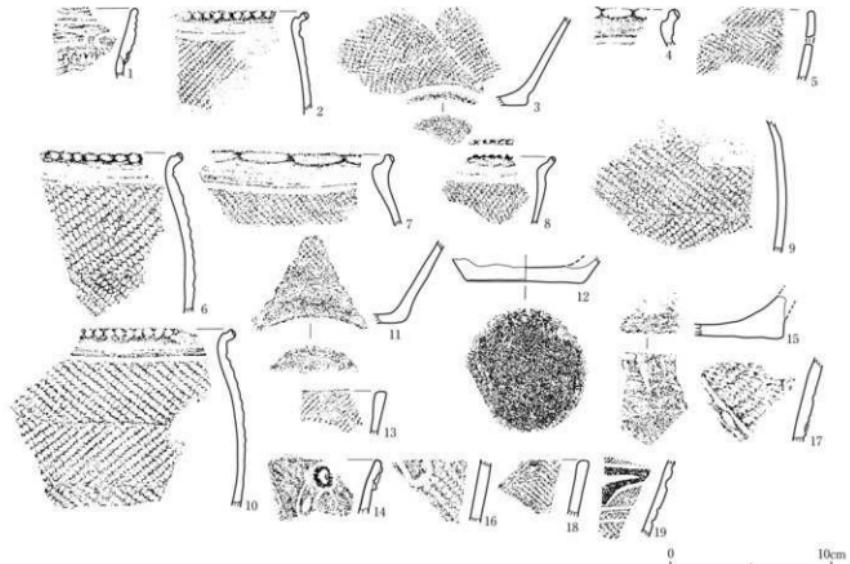
第78図 B4西ベルト断面

番号	土色	土性	遺物取上げ部位	備考
1	オリーブ褐色 (2.5Y4/6)	砂層	Sec.2層	旧河道SX02堆積層
2	黒褐色 (10YR2/2)	粘土質シルト	Sec.2層	木質・骨質多く含む。田河道SX03A堆積層
3	オリーブ褐色 (2.5Y4/4)	砂層	Sec.3層	木質・骨質多く含む。田河道SX03A堆積層
4	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	Sec.3層	木質・骨質多く含む。田河道SX03B堆積層
5	暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3)	砂層	Sec.3層	グラウジ化した小骨多く含む。田河道SX03B堆積層
6	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.3層	グラウジ化した小骨多く含む。田河道SX03A堆積層
7	暗オリーブ褐色 (2.5Y3/1)	砂層	Sec.7層	グラウジ化した種子多く含む。田河道SX03A堆積層
8	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.7層	木質・骨質多く含む。田河道SX03B堆積層
9	黒褐色 (10YR3/2)	粘土質シルト	Sec.15層	木質・骨質多く含む。田河道SX07堆積層
10	黒色 (10YR2/2)	粘土質シルト	Sec.152層	木質・骨質多く含む。田河道SX07堆積層
11	黒褐色 (10YR3/2)	粘土質シルト	Sec.153層	木質・骨質多く含む。田河道SX07堆積層
12	暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3)	砂層	Sec.154層	田河道SX07堆積層
13	黒褐色 (10YR3/3)	粘土質シルト	Sec.16層	グラウジ化した小骨多く含む。田河道SX23堆積層
14	オリーブ褐色 (7.5Y3/1)	砂層	Sec.17層	グラウジ化した小骨多く含む。田河道SX23堆積層
15	黒褐色 (2.5Y3/1)	砂層	Sec.19層	大きな角骨多く含む。田河道SX23堆積層
16	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.20層	田河道SX24堆積層
17	暗オリーブ褐色 (7.5Y4/2)	砂層	Sec.21層	20cm程の角骨多く含む。田河道SX24堆積層
18	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.22層	田河道SX24堆積層
19	暗オリーブ褐色 (5Y4/3)	砂層	Sec.23層	田河道SX25堆積層
20	暗オリーブ褐色 (7.5Y4/2)	(火山灰)	Sec.24層	火山灰の一次堆積層。田河道SX25堆積層
21	白灰色 (5Y7/1)	(火山灰)	Sec.25層	やや角骨多く含む。田河道SX25堆積層
22	暗オリーブ褐色 (2.5G9/3)	砂層	Sec.26層	5~20cm程の角骨多く含む
23	黒褐色 (10YR1.7/1)	粘土質シルト	Sec.27層	木質・骨質多く含む
24	オリーブ褐色 (2.5Y4/4)	砂層	Sec.28層	小骨多く含む
25	オリーブ褐色 (7.5Y3/1)	無機物質		

第78図付表 B4西ベルト断面



第79図 SX21杭跡平面図・断面図



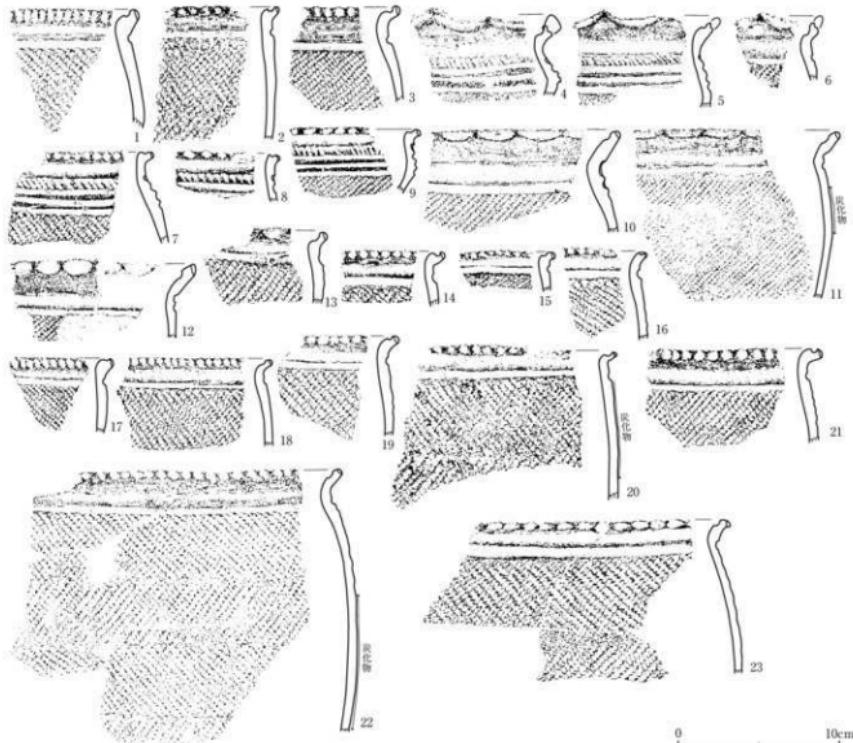
番号	出土場所・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX02-B4西ベルト・堆積層 (Sec.1) 中	広口型 筒文 (LR), 円形竹管による互交穿突	40-1-1	11 旧河道XA4-B4-58ベルト・堆積層 Sec.1 中	溝跡・I 筒文 (LR), 底面:ミカキ	40-1-8			
2	旧河道SX02-B4西ベルト・堆積層 (Sec.1) 中	筒文 (LR), 織縫文	40-1-2	12 旧河道XA4-B4-58ベルト・堆積層 Sec.1 中	溝跡・I 底面:ミカキ	40-1-9			
3	旧河道SX02-B4西ベルト・堆積層 (Sec.1) 中	筒文 (LR/LR), 織縫文, 底面:ミカキ	40-1-3	13 旧河道XA4-B4西ベルト・堆積層 (Sec.14) 中	溝跡・Ed 筒文 (LR)	40-1-11			
4	旧河道XA4-B4西ベルト・堆積層 (Sec.1) 中	筒文 (LR)	40-1-4	14 旧河道XA4-B4西ベルト・堆積層 (Sec.14) 中	オラン状貼付文、筒文 (LR), 織縫文	40-1-10			
5	旧河道XA4-B4西ベルト・堆積層 (Sec.1) 中	筒文 (LR), 円形竹管 (Q多孔), 植株孔	40-1-5	15 旧河道XA4-B4西ベルト・堆積層 (Sec.14) 中	溝跡・Ed? 底面:木葉紋→アズリ	40-1-12			
6	旧河道XA4-B4西ベルト・堆積層 (Sec.1) 中	筒文 (LR), 圓筒状穿突	40-1-6	16 旧河道XO7-948ベルト・堆積層 Sec.15(1) 中	溝跡・Vd 筒文 (LR), 汎縫文	40-1-13			
7	旧河道O2-03A-B4西ベルト・堆積層 (底面:上部は焼成層) 中	筒文 (LR), 織縫文	40-1-7	17 旧河道XO7-948ベルト・堆積層 Sec.15(1) 中	溝跡・Vd 筒文 (LR), 縫状剥離文	40-1-14			
8	旧河道O2-03A-B4西ベルト・堆積層 (底面:上部は焼成層) 中	筒文 (LR), 織縫文	40-1-8	18 旧河道XO7-948ベルト・SK218 Sec.15(1) 中	溝跡・Ed 筒縫文 (LR用), 内外壁:炭化物付着	40-1-15			
9	旧河道O2-03A-B4西ベルト・堆積層 (底面:上部は焼成層) 中	筒文 (LR/LR), 内外壁:炭化物付着	40-1-9	19 旧河道XO7-948ベルト・SK226 筒縫面過渡層	溝跡・Ed 筒縫文 (LR用), 内外壁:炭化物付着	40-1-16			
10	旧河道SX04A-B4-58ベルト・堆積層 (Sec.7) 中	筒文 (LR/LR), 織縫文, 伸筋	40-1-10						

第80図 旧河道SX02・03・04・07・B4西ベルト・堆積層中・SX21杭跡断面確認時出土土器

(18) B3~5区包含層1層（上部砂礫層）中出土土器（第81・82図）

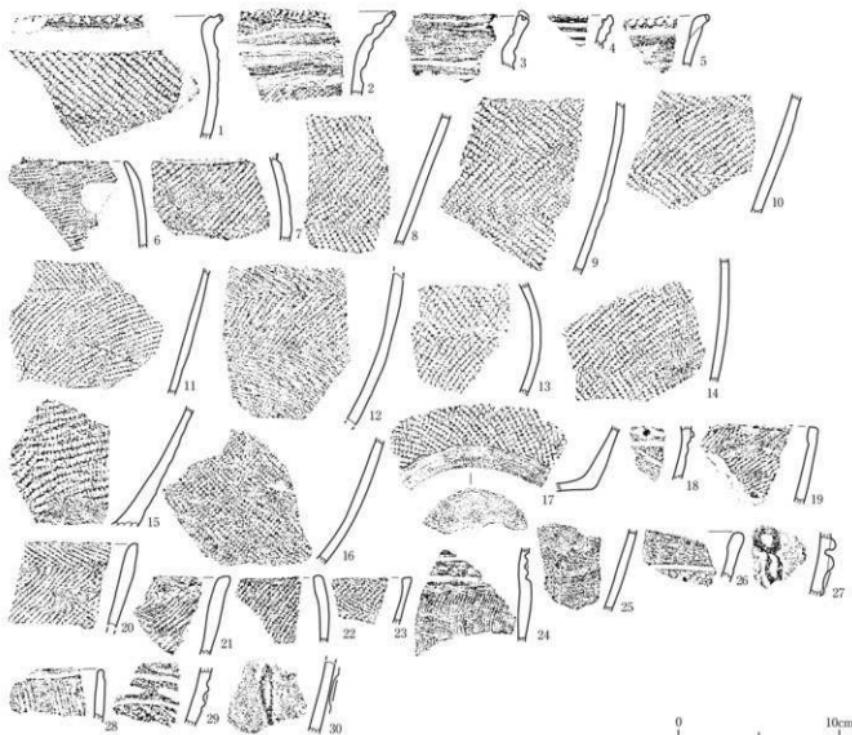
B3~B5区の包含層1層（上部砂礫層）中から出土した土器である。層の細別は行わずに、まとめて取り上げている。B3~5区の上部砂礫層は旧河道SX02・03堆積層に相当する。いずれも断片的な出土状況で、ほとんど接合もしない。第81図1~第82図17までは、全体に炭化物の付着が顕著である。

胎土中に海綿状骨針の含まれるものも見られる。18~30はさらに小片で、摩滅したものも見られる。



番号	出土場所・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（LR）、外面：炭化物付着	40-2-1	13	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（LR）、深縄文	40-2-13
2	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	深縄文（LR/LR）、沈縄文、内外面：炭化物付着	40-2-2	14	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（LR）、深縄文	40-2-14
3	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（LR）、深縄文外縁：炭化物付着	40-2-3	15	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（LR）、底縄文内縁：炭化物付着、 海綿状骨針	40-2-15
4	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1a	縄文（LR）、沈縄文、斜目文、内外面：炭化物付着	40-2-4	16	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（LR）、深縄文	40-2-16
5	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1a	縄文（LR）、沈縄文、斜目文、内外面：炭化物付着	40-2-5	17	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（RL）、沈縄文、外縁：炭化物付着	40-2-17
6	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（LR）、深縄文	40-2-6	18	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（RL）、沈縄文、内外面：炭化物付着	40-2-18
7	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1a	縄文（RL）、深縄文、斜目文、外縁：炭化物付着	40-2-7	19	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（RL）、沈縄文、内外面：炭化物付着	40-2-19
8	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1a	縄文、斜目文	40-2-8	20	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（RL）、沈縄文、内外面：炭化物付着、 海綿状骨針	40-2-21
9	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1a	縄文（LR）、沈縄文、斜目文、内外面：炭化物付着	40-2-9	21	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（LR）、沈縄文	40-2-22
10	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（LR）、沈縄文、外縁：炭化物付着	40-2-10	22	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（RL）、沈縄文、内外面：炭化物付着	40-2-20
11	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（LR）、沈縄文、外縁：炭化物付着	40-2-11	23	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1c	縄文（RL/RL）、沈縄文、外縁：炭化物付着	40-2-23
12	旧河道SX02・03-B3~5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深鉢・1b	縄文（LR）、沈縄文	40-2-12					

第81図 旧河道SX02・03・B3~5区・包含層1層（上部砂礫層）中出土土器（1）



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可真回数	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可真回数
1	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I c	圓文（RL）	40-2-24	16	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I	圓文（RL）	40-2-39
2	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I b	平行弦縱文、圓文（LR）	40-2-25	17	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I	圓文（RL），外側：炭化物付箋	40-2-40
3	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I b	平行弦縱文	40-2-26	18	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I a	圓文、弦縱文	40-2-41
4	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	平行弦縱文	40-2-27	19	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I d	圓文（LR），外側：炭化物付箋	40-2-42
5	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	斜目文	40-2-28	20	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I d	羽狀縞文（RL/LR）	40-2-43
6	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I e?	圓文（LR）、火ハジケ	40-2-29	21	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I d	羽狀縞文（LR/RL）	40-2-44
7	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I e?	圓文（LR）	40-2-30	22	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I d	圓文（LR），外側：炭化物付箋	40-2-47
8	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	羽狀縞文（RL/LR）	40-2-31	23	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・I d	羽狀縞文（LR/RL）	40-2-46
9	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	羽狀縞文（RL/LR），外側：炭化物付箋	40-2-32	24	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・E 9	斜目文、斜文（工具不明）	40-2-45	
10	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	羽狀縞文（LR/RL），外側：炭化物付箋	40-2-33	25	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・E b	輪縞による互換基状文	40-2-49
11	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	羽狀縞文（RL/LR），海綿状骨針	40-2-34	26	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・V 7	圓文（RL）、弦縱文	40-2-48
12	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	羽狀縞文（LL/LR/L+附加部）	40-2-35	27	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・V 7	ガラン状粘付文、輪縞文+斜目文、雲 氣	40-2-50
13	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	羽狀縞文（LR/RL），外側：炭化物付箋	40-2-36	28	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・V 8a	圓文（RL）、弦縱文	40-2-51
14	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	羽狀縞文（LR/RL）	40-2-37	29	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・V 8c	圓文（LR）、圓狀刻突文	40-2-52
15	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	深狀・I	圓文（LR）	40-2-38	30	旧河床SX02・03-B3～5区・包含層 1層（上部砂礫層）中	圓狀・V 8d	輪縞文+斜目文、雲氣	40-2-53

第82図 旧河床SX02・03・B3～5区・包含層1層（上部砂礫層）中出土土器（2）

### (19) SX01②遺物包含層B4区出土土器（第83～95図）

B4区ではSX01②遺物包含層は包含層1層、2a層、2青縞層、2①層、2②層、2③層、2b層、2c層、2d層に分層された。このうち、包含層1層は旧河道SX03堆積層、包含層2青縞層は旧河道SX26堆積層に相当する。B4区は他に先行して調査したグリッド区であり、包含層2b層は分層しないで、まとめて調査している。

#### ①包含層1層（旧河道SX03堆積層）中出土土器（第83図1～9）

1・2が包含層1層中、3～9が包含層1a層中出土土器である。包含層1b層中出土土器は小片のみで図化できなかった。すべて深鉢形土器である。

1～4は口頭部が短く外反するもので、口頭部には沈線文や刻目文が施されている。5は摩滅している。6～9は地文のみの土器である。

#### ②包含層1層～2層上面出土土器（第83図10～28）

包含層1層は旧河道SX03の堆積層であるため、包含層2層（黒色土層）を浸食して堆積しており、包含層2層上面は不整合面となっている。10～28は包含層2層上面検出時に出土した土器である。

10は平行線化した雲形文が施された鉢形土器である。他はすべて深鉢形土器である。11～14は口頭部が短く外反するもの、15・16は口縁部が内湾するものである。地文には幅の広い羽状縄文や斜行縄文が用いられている。17・18はごく低い台を付けた底部である。19～24はやや厚手で幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施されたものである。20には補修孔が穿たれている。25～28は隆線や沈線文によって文様の施された土器である。

#### ③包含層2層中出土土器（第84図）

第84図はサブトレントにおいて、包含層2層をまとめて調査した際に出土した土器である。すべて、深鉢形土器である。1～9・11～13は口縁部が緩く内湾するものである。10・14・15がさらに沈線文や貼瘤が付されている。16・17は櫛描による沈線文が描かれている。19・21～26・32～35・38～39・41は沈線文によって文様が描かれている。27・28・30・40は隆線文が施されている。底面には木葉の圧痕を残すもの（42）がある。

#### ④包含層2a層中出土土器（第85図）

壺形土器1点（15）のはかはすべて深鉢形土器である。1は口頭部が短く折れる器形で、口唇部には刻目文が施されている。2～18は地文のみの施される土器である。地文には羽状縄文や斜行縄文が用いられ、いずれも横回転を基調としている。口縁部は緩やかに内湾するもののはかに、緩やかに外反するものも見られる。20には格子状沈線文、21には入組帶状文、22には櫛描文が施されている。23・24は弧状文が沈線によって描かれ、25は縦回転による斜行縄文が施されている。

#### ⑤包含層2青縞層（旧河道SX26堆積層）～2③層中出土土器（第86図）

包含層2a層の下では、包含層2b層を切る旧河道SX26が確認された（第66図参照）。グライ化した小縞を多く含むことから、「青縞層」と名づけ、遺物を取り上げた。出土土器はいずれも断片的でまとまるものはない。1は幅の広い羽状縄文土器で、胎土には海绵状骨針を含んでいる。7は口縁部に無文帯を設け、横位の押圧縄文が施されている。そのほか多くは隆線文や沈線文で文様が構成され

ている。

旧河道SX26の下には、さらに下部の黒色土層（包含層2c～d層）を擾乱する形で、グライ化した小礫を含む黒色土層が認められた。これらを2①層～2③層として、擾乱を受けていない包含層2c～d層と区別した。層中からは28～45の土器が出土した。いずれも断片的でほとんど接合しない。

#### ⑥包含層2b層上面出土土器（第87図）

1はやや幅の短い横位斜行縄文が施されている。2・3は多条沈線文によって文様が描かれている。4は平行する弧線文内に鎖状刺突文が施されている。5は2個1対の刻目文を伴う隆線文が付されている。すべて深鉢形土器である。

#### ⑦包含層2b層中出土土器（第88・89図）

出土した土器はすべて深鉢形土器である。1は幅の広い横位斜行縄文で、胎土に海綿状骨針を含んでいる。ベルトの包含層2b層中には見られない土器であり、擾乱部の除去が不十分であった可能性が考えられる。2は平行沈線文に貼垢が付され、3は入組帶状文が描かれている。4・5は幅の狭い羽状縄文が施されている。6は山形状に櫛描文が配されている。8～14は沈線文や刺突文によって文様が形作られている。15は異地区異層位から出土した破片とも接合している。山形状の小突起にはボタン状貼付文が付され、2条の沈線によって弧線文が描かれ、その間に鎖状刺突文が充填されている。16～20は地文の土器である。21は口縁部に幅の広い無文帯を設け、頭部に隆線文を配している。22・23は弧状の沈線文が描かれている。第89図1～3は地文のみのものである。4・5は口縁部に無文帯、6はヒレ状隆線文を持つものである。8～16は包含層2b層から出土した底部資料で、網代の圧痕を残すものが多い。

#### ⑧包含層2c層上面出土土器（第90図）

出土した土器はすべて深鉢形土器である。1～3は沈線文や鎖状刺突文が施されるものである。4～10は地文のみの施された土器で4・7・9は口縁部がほぼ直線的に外傾する。5・6は緩やかに内傾している。11は縄文施文後に弧状に隆線文を配し、縦位2個1対の刻目文を施している。

#### ⑨包含層2c層中出土土器（第91図）

1は平行沈線文に細かな刻目文が施され、胴部には櫛描文が配されている。2は幅の狭い羽状縄文土器である。これらはベルトの包含層2c層中には見られない土器であり、擾乱部の除去が不十分であった可能性が考えられる。3～17は隆線や沈線によって文様意匠が構成される土器である。地文のみのものも見られ、縄文・撲糸文のほかに櫛描文（3）がある。すべて深鉢形土器である。

#### ⑩包含層2d層上面出土土器（第92図）

出土した土器はすべて深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに外反する器形で5単位の山形状突起が付されている。口縁下には列点状に刺突文が施されている。やや片側に流れる方形区画文が沈線文によって構成されている。器面には下描沈線文が認められ、下描沈線文・充填縄文・沈線文の引き直しとミガキ調整の手順で文様は形作られている。

2は山形状をなす4単位の大波状口縁で、波頂部下には縦位の楕円形区画文が配されている。無文部が全体を入組み状に展開し、交点部分ではヒレ状隆線となっている。

3・4は口縁部がやや内湾する地文のみの施される土器である。5～10は胴部で、ヒレ状隆線や沈線によって文様が構成されている。

⑪包含層2d層中出土土器（第93図）

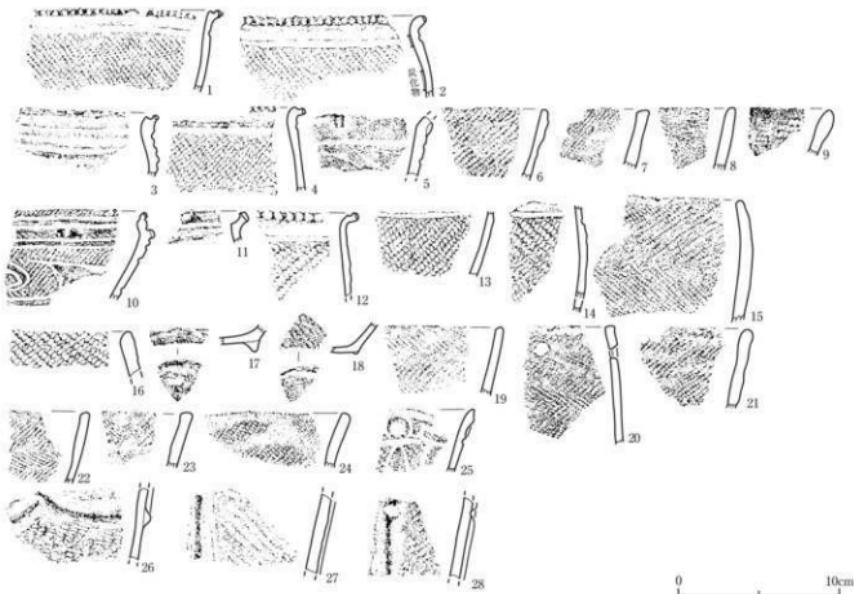
出土した土器はすべて深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに外反する器形で平縁である。口縁部には無文帯が設けられ、やや片側に流れる方形区画文が沈線文によって描かれている。

2～8は隆線文や沈線文によって文様が構成されている。6はヒレ状隆線文、7は梢円形区画文の一部と見られる。9はやや太い撚糸文（R）が縱走する胴部資料である。

⑫包含層3層上面出土土器（第94・95図）

出土した土器はすべて深鉢形土器である。第94図1は胴上部がやや内湾して立ち上がり緩いS字状に口縁部はわずかに外反する。口縁下には列点状に刺突文が施されている。2～5は口縁部に無文帯が設けられたものである。3は波状縁、他は平縁である。6は胴部に横位波濤文が沈線文によって描かれたものである。

第95図1～8は胴上部が緩やかに外反するものである。ヒレ状隆線や沈線によって文様意匠が構成されている。9～11は胴下部資料である。いずれも縱位斜行縄文が施されている12～15は胴下部から底面にかけての資料である。胴下部はいずれもやや膨らみながら外傾して立ち上がる。底面はミガキやケズリが施されているものの、木葉や網代の圧痕をとどめている。



番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I c	縄文 (LR-L)、沈縫文、内外削	41-1-1	15	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・I e	縄文 (LR/PL+L)、附加条状削付	41-1-15
2	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I c	縄文 (LR)、沈縫文、内削: 物質付	41-1-2	16	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・I e	縄文 (RL)	41-1-16
3	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I a	縄文 (LR)、平行沈縫文、斜削文	41-1-3	17	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E	台付	41-1-17
4	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I c	羽状沈縫文 (RL/LR)、武隈文、海綿状剥片	41-1-4	18	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E	縄文 (RL)、台付	41-1-18
5	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I a	羽状沈縫文 (LR/PL)、直削文、斜削文	41-1-5	19	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E d	羽状剥文 (RL/LR)	41-1-19
6	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I d	縄文 (LR)、縦縫文、斜削文	41-1-6	20	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E d	羽状剥文 (LR/PL)、修復孔	41-1-20
7	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I d	羽状縄文 (LR/RL)	41-1-7	21	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E d	縄文 (LR)	41-1-21
8	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・I d	羽状縄文 (LR/RL)	41-1-8	22	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E d	羽状剥文 (LR/PL)	41-1-22
9	SX01②・B4区・包含層1層中	深鉢・Ie?27	縄文 (LR)	41-1-9	23	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E d	縄文 (LR)	41-1-23
10	SX01②・B4区・包含層1層～2層上面	鉢・I	斜削文、縄文 (LR)、2対×対の小突起、比較文	41-1-10	24	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・E d	縄文 (RL)	41-1-24
11	SX01②・B4区・包含層1層～2層上面	深鉢・I c	沈縫文	41-1-11	25	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・Vb?	#タマ状粘付文、縄文 (LR)、垂露文	41-1-25
12	SX01②・B4区・包含層1層～2層上面	鉢・I c	縄文 (LR)、沈縫文	41-1-12	26	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・Vb?	縄文 (RL)、施縫文、沈縫文	41-1-26
13	SX01②・B4区・包含層1層～2層上面	深鉢・I a?	縄文 (LR)、沈縫文	41-1-13	27	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・Vb?	縄文 (LR)、施縫文、沈縫文	41-1-27
14	SX01②・B4区・包含層1層～2層上面	深鉢・I a?	羽状沈縫文 (LR/RL)、沈縫文	41-1-14	28	SX01②・B4E5・包含層1層～2層上面	深鉢・Vb?	縄文 (LR)、施縫文、沈縫文	41-1-28

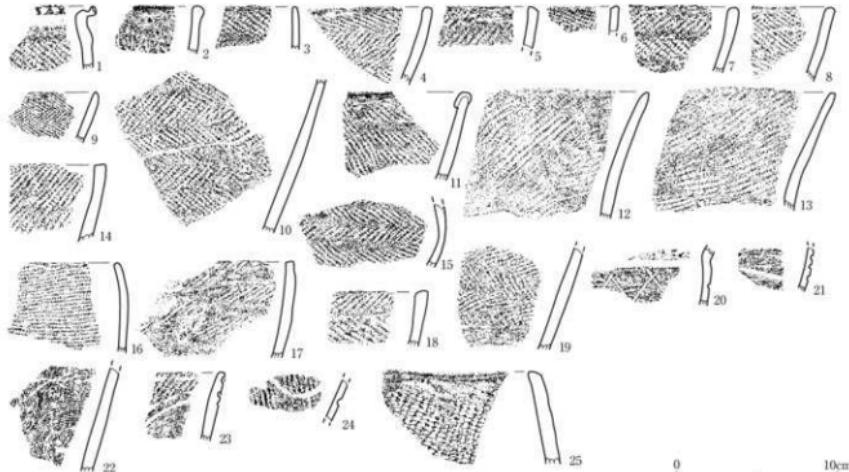
第83図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層1層中～2層上面出土器



0 10cm

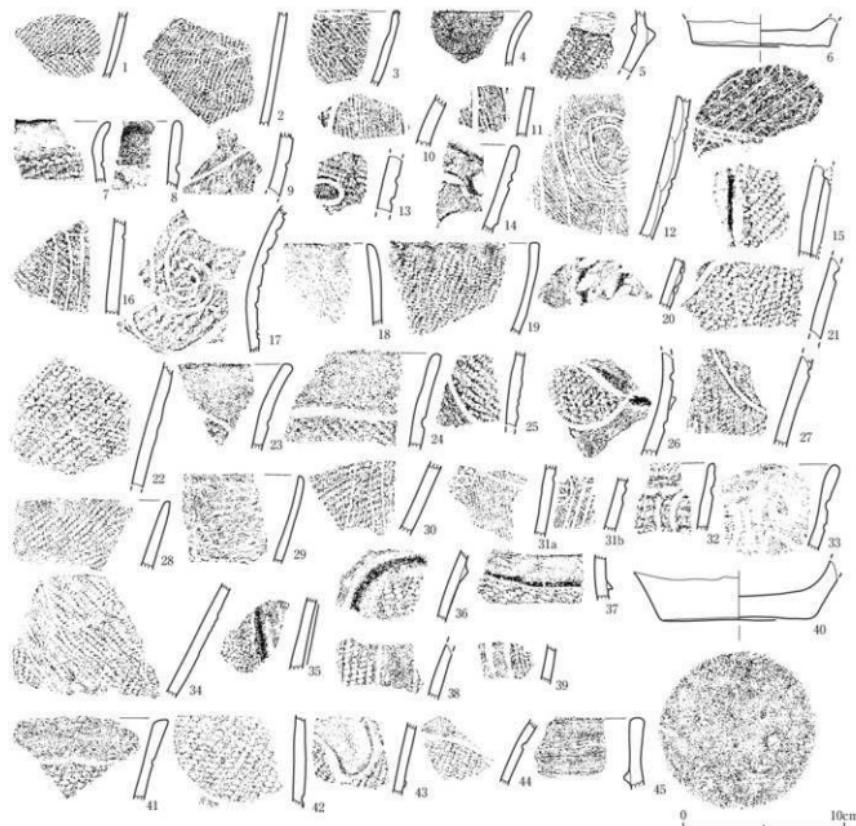
番号	出土遺物・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版		番号	出土遺物・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版
				番号	写真					
1	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR)	41-0-1	23	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) → 條帶文 (LR)	41-2-03			
2	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR)	41-0-2	24	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) → 條帶文 ?	41-2-04			
3	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR/RL)	41-0-3	25	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) → 條帶文 (LR)	41-2-05			
4	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (RL)	41-0-4	26	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R)	41-2-06			
5	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR)	41-0-5	27	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) → 條帶文 + 2倍1対の刻目文	41-2-07			
6	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (RL/LR)	41-0-6	28	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 → 方形凹面文 (R) / 條帶文 (LR)	41-2-08			
7	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (RL/多点・RL)	41-0-7	29	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 ?	41-2-09			
8	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR)	41-0-8	30	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 → 條帶點線文	41-2-30			
9	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR/RL)	41-0-9	31	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文	41-2-31			
10	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR/RL)	41-0-10	32	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 7 寸 畫文 (R) / 條帶文	41-2-32			
11	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 條狀繪文 (LR/RL)	41-0-11	33	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 方形凹面文 / 畫文 (PLR) / 條帶文	41-0-03			
12	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文 (LR)	41-0-12	34	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) / 出刃文	41-2-34			
13	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 畫文	41-0-13	35	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) / 條帶文	41-2-35			
14	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.a 人頭像状文 / 條狀繪文 (LR/RL)、舊竹	41-0-14	36	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 1 畫文 (R)	41-2-36			
15	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 條狀繪文	41-0-15	37	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 2 畫文 (R)	41-2-37			
16	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 條狀繪文	41-0-16	38	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 條形凹面文 / 畫文 (R) / 條帶文	41-2-38			
17	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・E.d 入頭像状文 / 畫文	41-0-17	39	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) / 條帶文	41-2-39			
18	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・N.F 畫文 (LR)	41-0-18	40	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b ヒレ状陰線文	41-2-40			
19ab	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (LR) / 條狀遮繪文	41-0-19	41ab	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (RL) / 條帶文	41-2-41			
20	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (LR)	41-0-20	42	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・N.F 亂面文 / 木葉底	41-2-42			
21	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.c 畫文 (LR) / 多条遮繪文	41-0-21	43	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (R) / 面底 / 摩滅	41-2-43			
22	SX01②・B4区・包含層2層中	深鋸・V.b 畫文 (LR) → 條帶文 / 條帶文	41-0-22							

第84図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2層中出土土器



番号	出土遺構・地層・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地層・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ea	織文 (RL)	41-3-1	14	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	織文 (LR)	41-3-14
2	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ea	織文	41-3-2	15	SX01②・B4区・包含層2a層中	盤・E	羽状織文 (LR/RL)	41-3-15
3	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文	41-3-3	16	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (LR)	41-3-16
4	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (LR/RL)	41-3-4	17	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	織文 (LR)、外面：炭化物付箇	41-3-17
5	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	織文 (RL)、外面：炭化物付箇	41-3-5	18	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (LR/RL)	41-3-18
6	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	織文 (RL)	41-3-6	19	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (LR/RL)	41-3-19
7	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (LR/RL)	41-3-7	20	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ec	格子状文織文、外面：炭化物付箇	41-3-20
8	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (RL/LR)	41-3-8	21	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ef	入船形紋文・織文 (LR)	41-3-21
9	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (RL/LR)	41-3-10	22	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	入船形紋文・織文、外面：炭化物付箇	41-3-22
10	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	羽状織文 (LR/RL)	41-3-9	23	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Eb	弧状文・織文 (LR)、波文織文	41-3-23
11	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed	織文 (RL)	41-3-11	24	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Eb	織文 (RL) → 羽状文、浅縫文	41-3-24
12	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ec?	織文 (LR)	41-3-12	25	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ec1	織文 (RL)	41-3-25
13	SX01②・B4区・包含層2a層中	深鉢・Ed?	織文 (RL)	41-3-13					

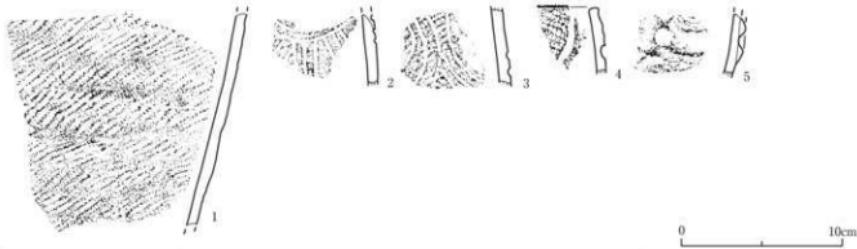
第85図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2a層中出土土器



0 10cm

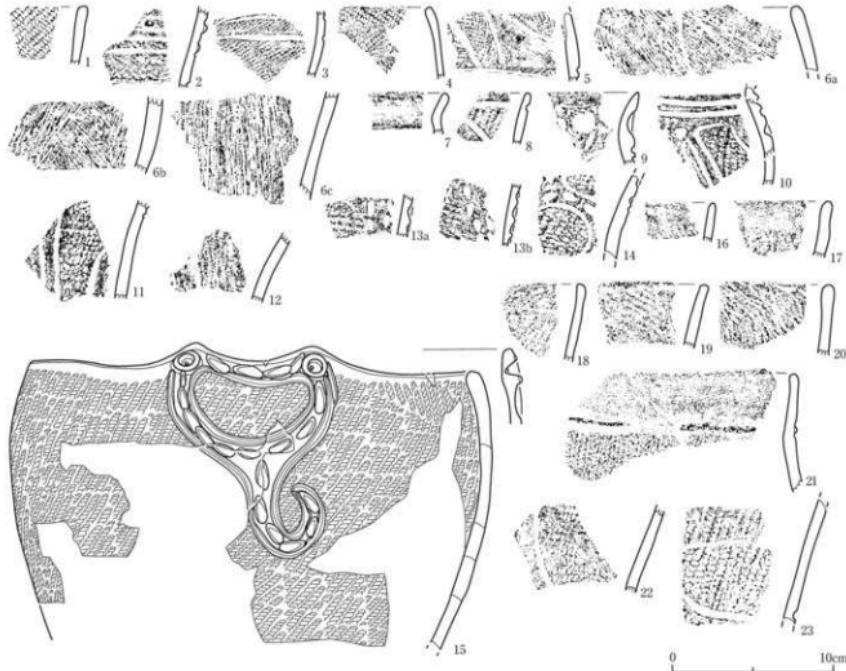
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・I	羽状縞文 (LR)。内面：炭化物付着 無縫合部計	42-1-1	23	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)	42-1-23	
2	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・II	織文 (LR)	42-1-2	24	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-24	
3	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・IId	織文 (LR)	42-1-3	25	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-25	
4	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・Vcf	織文、外面：炭化物付着	42-1-4	26	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、ヒジ状縞文、沈縞文	42-1-26	
5	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・Vcf	織文 (LR)、墨縞文	42-1-5	27	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-27	
6	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・Vf	外面：炭化物付着、木柾底 (大字面)	42-1-6	28	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf 織文 (LR)、外面：炭化物付着	42-1-28	
7	SX012・B4区・包含層2背面裏上面	深鉗・Vf2	織文 (LR)、仰唇式織文 (LR)	42-1-7	29	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf 織文 (LR)、外面：炭化物付着	42-1-29	
8	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg1	沈縞文、外面：炭化物付着	42-1-8	30	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf1 織文 (LR) → 多角沈縞文	42-1-31	
9	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg2	織文 (LR)、一筋縞文 (沈縞文)	42-1-9	31a	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf1 織文 (LR) → 一筋縞文	42-1-32	
10	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 (LR)、一筋縞文 (沈縞文)	42-1-11	33	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vb1 織文 (LR) → 沈縞文、沈縞文	42-1-34	
11	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 → 一筋縞文 (沈縞文)	42-1-12	34	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR) → 一筋縞文 / 沈縞文	42-1-35	
12	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 (LR) → 一筋縞文、沈縞文	42-1-10	35	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、織痕織文	42-1-36	
13	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 (LR) → 一筋縞文、沈縞文	42-1-13	36	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)	42-1-37	
14	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg2	円形の麻目、織文 (LR)、沈縞文	42-1-14	37	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-38	
15	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 (LR)、織痕織文	42-1-15	38	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-39	
16	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf	織文 (LR) → 一筋縞文	42-1-16	39	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-40	
17	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 (LR) → 一筋縞文、沈縞文	42-1-17	40	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-29	
18	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf	織文 (LR)、外面：炭化物付着、ケツアリ	42-1-18	41	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)	42-1-41	
19	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf	織文 (LR) → 一筋縞文、外面：炭化物付着	42-1-19	42	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、外面：炭化物付着	42-1-42	
20	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織痕織 + 2筋縞 (対)の捺縞文	42-1-20	43	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、ヒジ状縞文	42-1-43	
21	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vcf	織文 (LR)、沈縞文	42-1-21	44	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR)、沈縞文	42-1-44	
22	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vg	織文 (LR)	42-1-22	45	SX012・B4区・包含層2背面裏中	深鉗・Vc1 織文 (LR) → 2筋縞		

第86図 SX012・南側遺物包含層・B4区・包含層2背面裏 (旧河道SX26堆積層) 上面～包含層2③層中出土土器



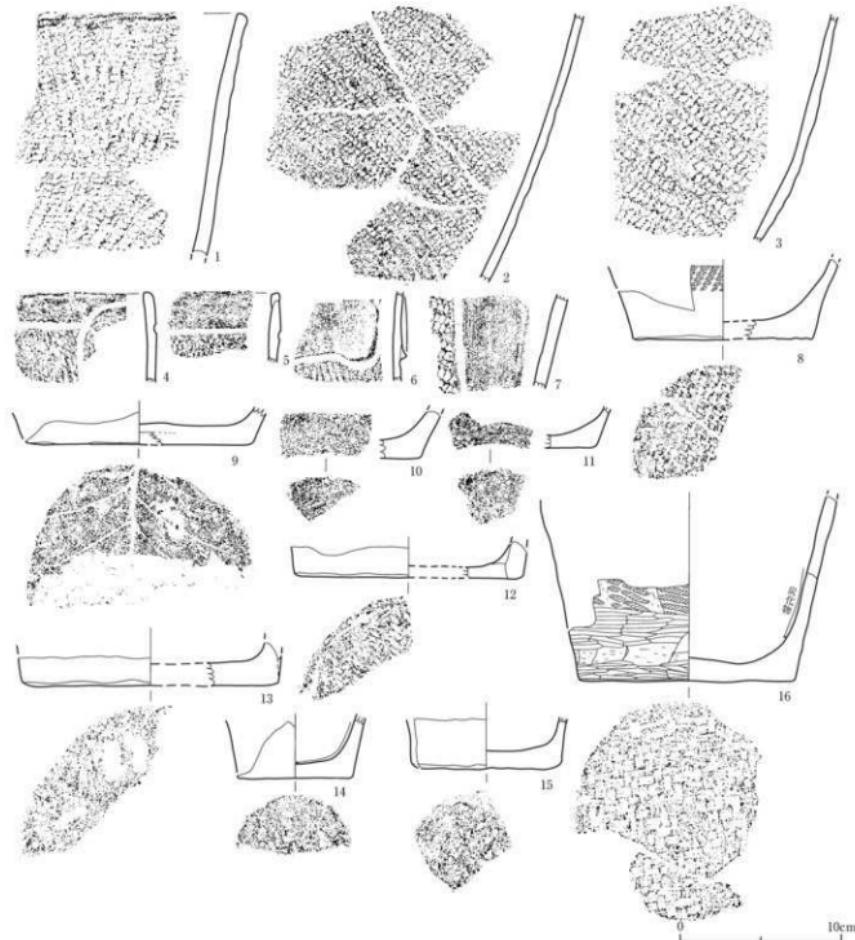
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変個数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変個数
1	SX01②・B4区・包含層2b層上面	深鉢・E d?	縦文(LR), 斧形, 木製小片(薄石物)混入	42-1-1	4	SX01②・B4区・包含層2b層上面	深鉢・Vc?	縦文(LR), 縱状刻文	42-2-4
2	SX01②・B4区・包含層2b層上面	深鉢・Mc1	縦文(LR), 多条波綱文	42-2-2	5	SX01②・B4区・包含層2b層上面	深鉢・Vb?	縦文(RLR), 縱條文+2箇1列の斜目文	42-2-5
3	SX01②・B4区・包含層2b層上面	深鉢・Mc1	縦文(LR), 多条波綱文	42-2-3					

第87図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2b層上面出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変個数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変個数
1	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・I e	縦文(LR), 海貝面番章針	43-1-1	13a,b	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc	縦文(RL-Q多点), 縱状刻文	43-1-3
2	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・I a	縦文(RL), 帯形, 波綱文	43-1-2	14	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc	縦文(LR), 縱状刻文	43-1-4
3	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・I e?	人形面状文, 縦文(LR), 沈綱文	43-1-3	15	SX01②・B4区・包含層2b層中, C48ベルト・包含層2b層中, B48・包含層2b層中, C48ベルト・包含層2b層中, B48・包含層2b層中, B48ベルト・包含層2b層中	骨・貝・生糸・骨繩文, 波綱文(RL), 異化状刻文, 縱文(LR), 外縁: 異化骨材	43-1-15	
4	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・E d	縦状刻文/波綱文(RL/LR), 波綱文	43-1-4	16	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc	縦状刻文, 縦綱文(R)	43-1-16
5	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・D?	張状文/波綱文(RL/RH), 波綱文	43-1-5	17	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦条文(LR)	43-1-17
6a	SX01②・B4区・包含層2b層上面	山形文/横縫文	縦文(LR), 波綱文	43-1-6	18	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦条文(LR)	43-1-18
					19	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦文(LR)+横刻文	43-1-19
7	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Mc1	縦文	43-1-7	20	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦条文(R), 内縁: 灰化物付	43-1-20
8	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・V b?	縦条文(R), 縱条文	43-1-8	21	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦条文(R), 縱綱文	43-1-21
9	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・V c?	円錐の音符, 縱状刻文	43-1-9	22	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦条文(R), 橫文	43-1-22
10	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Mc1?	貝殻, 縦文(R), 多条波綱文	43-1-10	23	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	縦条文(R), 橫文	43-1-23
11	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・V b	縦文(LR), 波綱文/波綱文	43-1-11					
12	SX01②・B4区・包含層2b層中	深鉢・V c?	縦条文(R), 波綱文	43-1-12					

第88図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2b層中出土土器 (1)

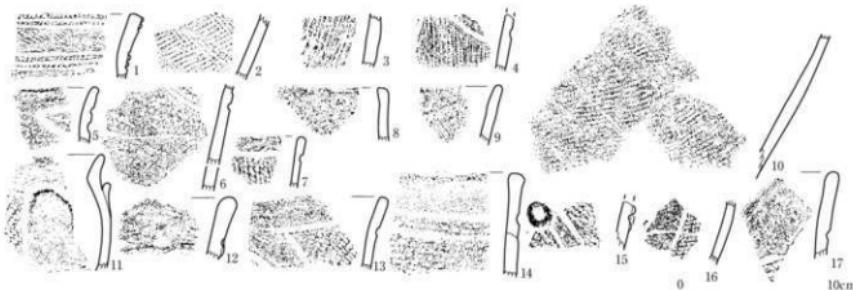


番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	縄文 (RLR)	43-1-24	11	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	底面: 3方角	43-1-34
2	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	縄文 (LR)	43-1-25	12	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W	外縁: 壓状炭化物痕。底面: 納代 (2本組立本組) 底	43-1-35
3	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	縄文 (LR)	43-1-26	13	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W	外縁: 壓状炭化物痕。底面: 木草底	43-1-36
4	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・Wb	鶴円形内面文(縄文)、沈縁文	43-1-27	14	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W	内面: 炭化物痕。底面: 納代 (1本組立2本組立) 底 - 3方角。底面: 壓状炭化物痕	43-1-37
5	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	鶴糞形内面文(縄文)、沈縁文	43-1-28	15	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W	底面: 壓状炭化物痕。底面: ケズリ - 3方角	43-1-38
6	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	縄文 (RL-Q段多角)、ヒレ状縦線文、沈縁文	43-1-29	16	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W	縄文 (RL-Q段多角)、内面: 炭化物痕。底面: 壓状(木)炭化物痕。底面: 納代 (2本組立2本組立) 底	43-1-39
7	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・Wc	縄文 (LR)、沈縁文	43-1-30					
8	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	縄文 (RL-Q段多角)、底面: 納代 (1本組立本組) 底	43-1-31					
9	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	内面: 2方角、底面: 木葉文+鉛質正角	43-1-32					
10	SX01②・B4区・包含層改築中	深鉢・W?	底面: 2方角	43-1-33					

第89図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2b層中出土土器 (2)

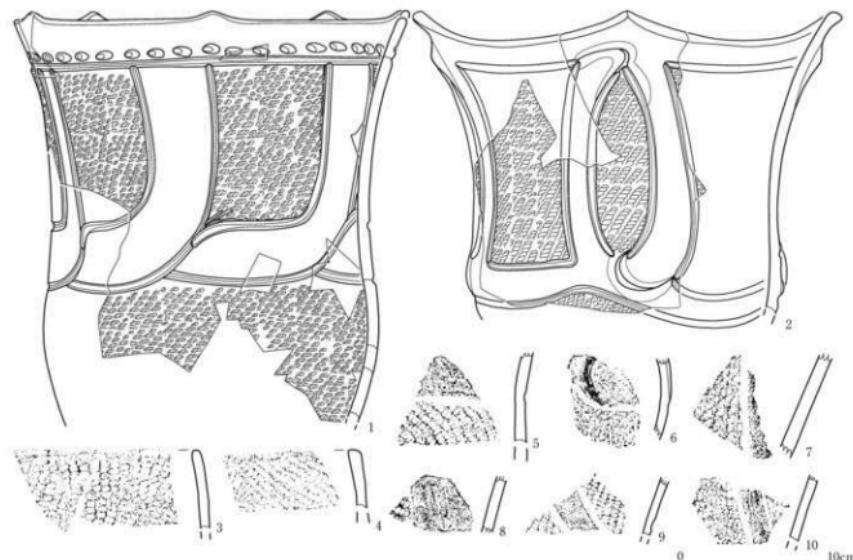


第90図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2c層上面出土土器



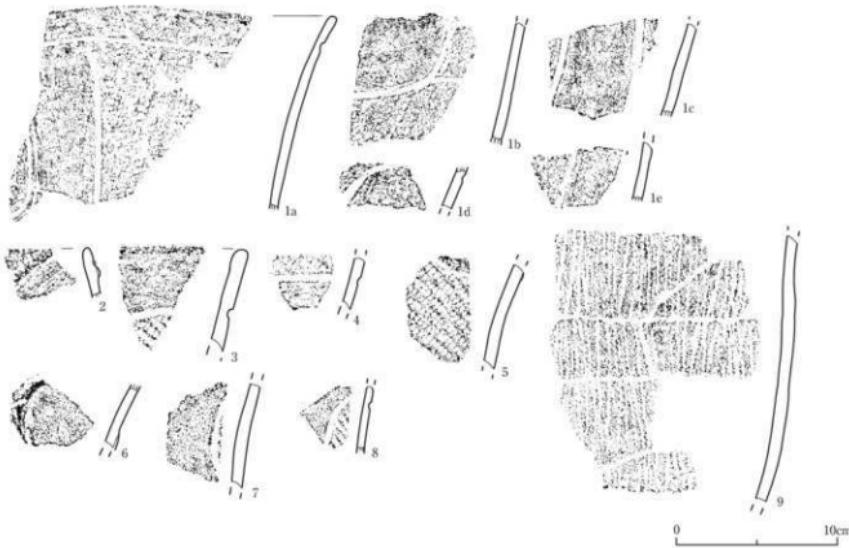
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vb	波文 (LR), 波状文, 斜線文 (斜面)	44-2-1	10	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・V7	波文 (LR)	44-2-10
2	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vb	波状斜文 (LR/VLR)	44-2-2	11	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・V6?	波文 (LR)	44-2-11
3	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vb?	無波文	44-2-3	12	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・V6?	無波文+斜波文	44-2-12
4	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vb	無波文 (R) → 斜波文 (S) / 波状文	44-2-4	13	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・V6?	横内斜波文 (R/LR), 波状文	44-2-13
5	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vb	波文 (LR) → 波狀文	44-2-5	14	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・V6?	波文 (R/LR), 波状文	44-2-14
6	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vb	波文 (LR) → 垂状文	44-2-6	15	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・V6?	ダシ状粘波文, 波文 (LR), X字状波文	44-2-15
7	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vc?	波文 (LR), 波狀文	44-2-7	16	SX01②・B4区・包含層2c~2d層中	深鉗・V6?	波文 (LR), 波状文	44-2-16
8	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vcl	無波文 (R)	44-2-8	17	SX01②・B4区・包含層2c~2d層中	深鉗・V6?	波状斜, 波狀文	44-2-17
9	SX01②・B4区・包含層2c層中	深鉗・Vcl	無波文 (LR)	44-2-9					
				44-2-10					

第91図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2c層、2c~d層中出土土器

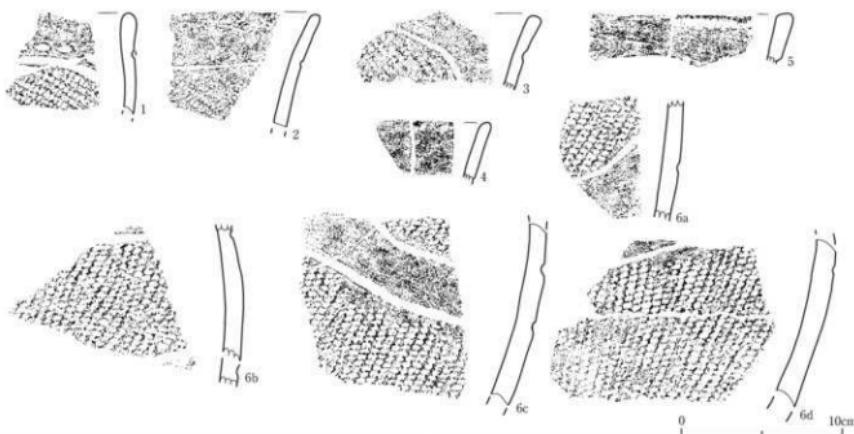


番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B4区・包含層2c層上面-2d層中・2c層中・2c層上面-C4層へ ムト・包含層2c層上面-2d層中	深鉗・Vc?	5重位の山形状突起, 刺突起, 下端8 ルート・包含層2c層上面-2d層中	45-1-1	5	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・Vc	波条文 (LR), ヒレ状縦線文, 波状文	45-1-6
2	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・Vb?	横内斜波文 (R/LR), ヒレ状縦線 文, 波狀文	45-1-2	6	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・Vc	波文 (LR), 波狀文	45-1-7
3	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・Vc?	波文 (LR)	45-1-4	7	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・V6?	波文 (LR), 波狀文	45-1-8
4	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・Vc?	波文 (LR)	45-1-5	8	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・V6?	波文 (LR), 波狀文	45-1-9
					9	SX01②・B4区・包含層2c層上面	深鉗・V6?	波文 (LR), 波狀文	45-1-10

第92図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2d層上面出土土器

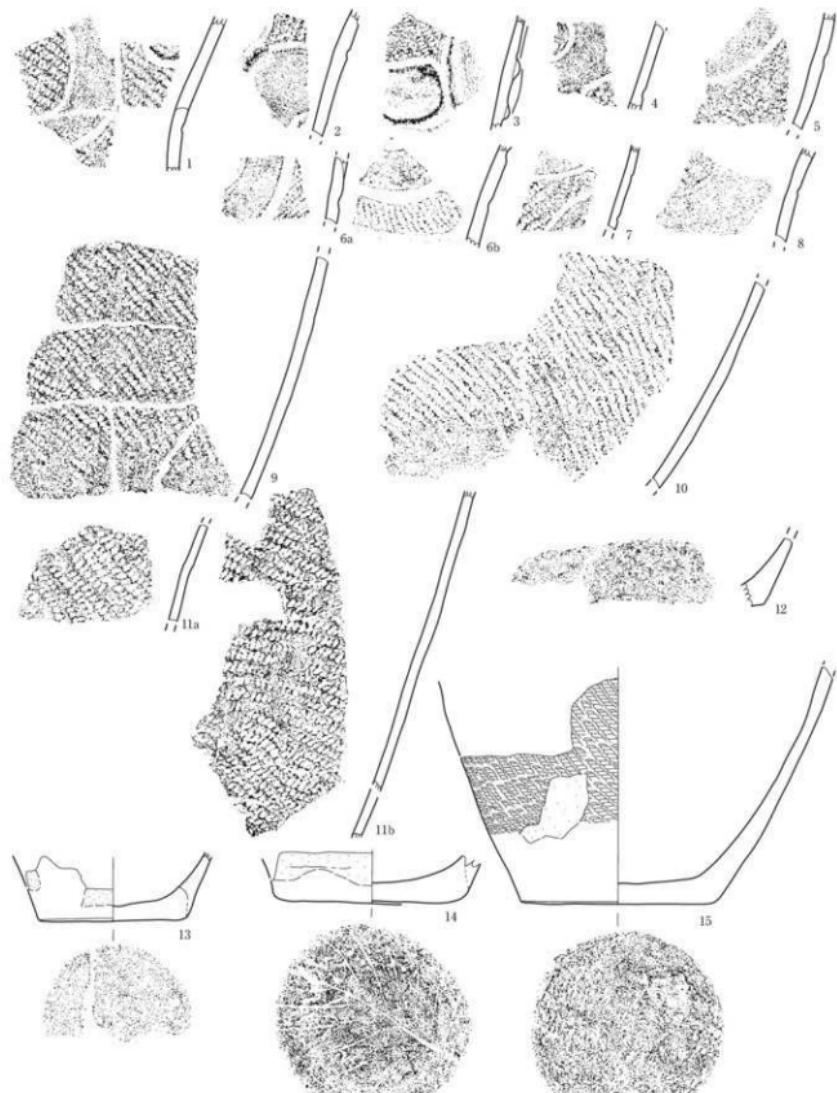


第93図 SX01②南側遺物包含層・B4区、包含層2d層中出土土器



第94図 SX01②南側遺物包含層・B4区、包含層3層上面出土土器 (1)

番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・縁C1	方折口直腹文(縫文)(LRF)、沈縫文	46-1-1	4	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・縁	ヒレ状彫縫文、沈縫文	46-1-4
2	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・縁D1	横内折直腹文(縫文)+斜縫文	46-1-2	5	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・縁	横内折直腹文、沈縫文	46-1-5
3	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・縁D2	縫文(LRF)、沈縫文	46-1-3	6a-d	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・縁	波文(縫文)(LRF)、沈縫文	46-1-6



番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真記載	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真記載
1	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・直壁	縫文 (LR)、ヒレ状陰線文、沈底文	46-1-7	10	SX01②・B4区・包含層3層上面	G4	深鉢・V面	縫文 (LJW) (縫目複数)
2	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・直壁	縫文 (LR)、ヒレ状陰線文、沈底文	46-1-8					
3	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・直壁	縫文 (LJW) (縫目複数)、ヒレ状陰線文、沈底文	46-1-9	11ab	SX01②・B4区・包含層3層上面	G4	深鉢・V面	縫文 (LJW)
4	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・浅底2つ 波浪文/縫文 (HLW)、沈底文、沈底文	46-1-10						
5	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・直壁	縫文 (LR)、沈底文	46-1-11	12	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・V面	底面:マツツ	46-1-16
6ab	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・斜壁	縫文 (LR)、沈底文	46-1-12	13	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・V面	底面:木葉底 (?) →ミガキ	46-1-17
7	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・直壁	縫文 (LR)、沈底文	46-1-13	14	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・V面	底面:木葉底→ケズリ	46-1-18
8	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・V底2つ	波浪文/縫文 (LR)、沈底文	46-1-14	15	SX01②・B4区・包含層3層上面	C4	底面:縫文 (LR)、継代底→ケズリ→ミガキ	46-1-19
9	SX01②・B4区・包含層3層上面	深鉢・V面	縫文 (LR)、沈底文	46-1-15					

第95図 SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層3層上面出土土器 (2)

## (20) SX01②南側遺物包含層C4西ベルト出土土器（第97～116図）

C4西ベルトはSX01②遺物包含層の中では最も遺物量が多く、概ね良好な状態で出土した。遺物包含層は包含層1層、2a層、2b①層、2b②層、2b'層、2c層、2d層、3a層に分層された（第96図）。このうち、包含層1層は旧河道SX03堆積層に相当する砂礫層である。C4西ベルトではわずかに認められたのみで、図示できる土器はない。この水成堆積の砂礫層が包含層2a層と包含層2b'層の上面の一部に直接堆積しており、これらの層の若干の擾乱要因となっている。包含層2b①層上面では土器が押しつぶされた状態（巻頭写真2-1）で並んで検出された。この面は南の斜面下側で不整合面となっており、B3区・B2西ベルトでは包含層2a②層上面が同一面であることが確認されている。包含層2b①層と2b②層は水の影響を受けた層で、特に2b②層の水成堆積の砂礫層である。包含層2b'層から2d層にかけては、多量の炭化物とともに多くの土器が折り重なるように出土している。包含層3a層上面から繰り返し廃棄された人為的な陸成の遺物包含層と見られる。包含層3a層は水の影響を受けた灰黄褐色粘土層である。若干の土器が出土している。

出土した土器は第99図2の浅鉢形土器のほかは、すべて深鉢形土器である。

### ①包含層2a層中出土土器（第97図）

1～10は口縁部が緩やかに内湾する。いずれも幅の狭い羽状縄文ないしは斜行縄文が施されている。11・12は貼瘤が付されている。13は櫛描による入組帶状文が施されている。2は頸部が緩やかにくびれ、口唇部には刻目文が施されている。頸部には平行沈線文が配されている。15は口縁部が緩やかに外反する。幅の広い無文帯が口縁部には設けられている。16・17は地文のみの土器である。18は隆線によって文様が施されている。

### ②包含層2b①層上面出土土器（第98・99図）

第98図1・2、第99図1・3は口縁部が緩やかに内湾する器形である。幅の狭い羽状縄文ないしは斜行縄文が施されている。第98図3～6は櫛描文、7は格子状沈線文が施されている。8は底面に低い台が付されている。第99図2は小型の浅鉢形土器である。底面はやや揚底風に調整が施されている。

### ③包含層2b①層中出土土器（第100図）

水の影響を受けた砂質シルト層からの出土土器である。1は口縁部が緩やかに内湾する器形である。幅の狭い斜行縄文が施されている。2は貼瘤が付されている。3～21は沈線や隆線によって文様が構成される土器である。22・23は地文のみの土器である。24には補修孔が穿たれている。25～27が底部で、すべて網代の痕跡を残している。

### ④包含層2b②層上面出土土器（第101図）

包含層2b②層は水成堆積の砂礫層で、C4西ベルトの南側にのみ分布（第66図）している。北側では包含層2b'層上面に連続している。1・2は口縁部がわずかに内湾する器形である。縦位斜行を基調とする縄文が施されている。3・4は緩やかに外反する器形で、縄文はやや横走気味の縦位斜行縄文が施されている。5～14は隆線や沈線によって文様が構成されている。このうち、5は環状把手の基部である。15は小型の土器の底部で、底面にはミガキ調整が施されている。16は大型の土器

の底部で、底面にはカシワの葉の痕跡を複数残している。17はやや環状把手の一部で、環状部には刺突文がめぐらされている。

#### ⑤包含層2b②層中出土土器（第102図）

1は口縁部がわずかに内湾する器形である。縄文はやや横走気味の縦位斜行縄文が施されている。縄文下には、ケズリの痕跡が明瞭に残されており、器面にケズリ調整を施した後、直接縄文を転がしている。2~4も地文のみの施される土器である。6は山形状の環状把手が付されている。7~14は隆線や沈線によって文様が構成されている。15は胴下部に粗いケズリを施した後に、直接縄文を転がし、底面及びその周縁に丁寧なミガキ調整を施したものである。

#### ⑥包含層2b'層中出土土器（第103~106図）

包含層2b'層の南の低い側は水成堆積の砂礫層包含層2b②層によって浸食を受け、さらに包含層1層の砂礫層にも浸食を受けている。第103図1は縄文地に多条沈線による弧状文が描かれている。2は緩く内湾する口縁部の土器で、胴部には横走縄文が施され、口縁部の無文帯との境には押圧縄文が施されている。3・4は隆線と沈線によって文様が構成されている。隆線上には2個1対の刻目文が施されている。5・6は口縁部に列点状の刺突文が施される土器である。7~10は口縁部が緩やかに内湾する地文のみの土器である。

第104図1は他地区の包含層1層と接合関係にある。頸部が緩やかに外反する器形である。幅の狭い無文帯（磨消部）が懸垂文を構成し、その中及びその間に、大小の渦巻文を配するものである。2・3は注口部と把手を組み合わせた土器である。口縁部は注口の位置で屈曲し、内傾している。ともに隆線と沈線によって渦巻状の文様が構成され、隆線上には2個1対の刻目文が施されている。

第105図1は口縁部が緩やかに外反する器形である。4単位の山形状突起が付され、隆線によって方形区画文が施されている。隆線上には2個1対の刻目文が加えられている。方形区画内には、縄文部と無文部の面積が概ね1:1になるように、沈線によって文様が描かれている。2は口縁の無文帯と胴部の境に、隆線をめぐらせたものである。3は口縁部が緩やかに内湾する器形である。胎土にはほぼ大きさの揃ったマメ科の種実痕が多数残されている。5はほぼ直線的に外傾する器形である。縦位の櫛描文が施されている。

第106図1は櫛描文、2~11は隆線文や沈線文によって文様が施される土器である。隆線上に2個1対の刻目文が施されるものもある。13はLRR縄文、14はごく細いR撫糸文が施されたものである。13~16の底面はすべて網代底で、1本越2本潜によって編まれたものが最も多い。

#### ⑦包含層2c層上面出土土器（第107図）

1は口縁部が緩やかに外反する器形である。口縁部に幅の狭い無文帯を設け、胴部には弧状文を配している。2は横位の鎖状隆線、3は鉗様の隆線がめぐらされている。4は口縁部が緩やかに内湾し、横走縄文が施されている。5~11は隆線や沈線によって文様が構成される土器である。5~7は捻りのはいった環状把手である。列点状に刺突文が施されている。12~16は口縁部にやや幅の広い無文帯を設け、沈線文をめぐらした土器である。17・18は沈線文が配されていない。21~24は隆線や沈線の施された胴部である。

#### ⑧包含層2c層中出土土器（第108図）

1は鎖状隆線による方形区画文が施された土器である。2は胴部にケズリをかけた後に直接縄文を転がしたものである。3は口縁部に幅の広い無文帯を設け、沈線文をめぐらせたもの、4は沈線文がめぐらされないものである。5・6は隆線や沈線の施された胴部である。7の底面には木葉の圧痕が残されている。

#### ⑨包含層2d層上面出土土器（第109図）

1~4は隆線や沈線によって文様が施された口縁部の土器である。1は鍔状の隆帯がめぐり、鍔部には円窓が作られている。5~9は平縁の土器で口縁部にはやや幅の広い無文帯が設けられている。10~15は隆線や沈線によって文様が構成される胴部の土器である。11にはヒレ状隆線文が付されている。16の底面は丁寧にミガキ調整が施されている。

#### ⑩包含層2d層中出土土器（第110図）

1・2は波状縁の土器である。1は口縁部が強く内湾し、口縁部の無文帯下には隆線文と列点状の刺突文がめぐらされている。3~5は平縁の土器である。口縁部には幅の広い無文帯が設けられている。6~10は隆線や沈線によって文様が構成される胴部の土器である。6にはヒレ状隆線文が付されている。

#### ⑪包含層2d層中~3a層上面出土土器（第111図）

包含層3a層上面を検出する際に出土した土器である。1~5は波状縁、6~8は平縁の土器である。すべて口縁部には無文帯がめぐっている。9~12は隆線や沈線によって文様が構成される胴部の土器である。11にはヒレ状隆線文が付されている。

#### ⑫包含層3a層上面出土土器（第112~115図）

第112図1は口縁部が内湾する4単位の波状縁土器である。波頂部には捻りの施された環状把手が配されている。波底部には山形状の小突起が付されている。内湾部には隆線と沈線によって楕円形区画文が施されている。波底部の口縁には先丸円錐の棒状工具によって2段にわたり、列点状に刺突を加えている。

同図2は口縁部が外反する4単位の波状縁土器である。波頂部は肥厚する山形状の突起とし、波底部にもやや小振りな山形状の突起を付している。波頂部下には円文を配し、全体に弧状文をめぐらせている。

同図3は口縁部が緩やかに外反する平縁の土器である。下描沈線文がミガキ残されており、最初に方形様の下描の後に、文様を沈線と隆線によって描出している。横横波濤文の無文帯と無文帯の接する部位にはヒレ状隆線文が付されている。

第113図1は口縁部が緩やかに外反する平縁の土器である。口縁部にはやや幅の広い無文帯が設けられている。この土器も下描沈線文がミガキ残されており、下描の後に縄文が施文され、沈線文が引き直されている。縄文には纏維束による多条結縛の結節文が施されている。

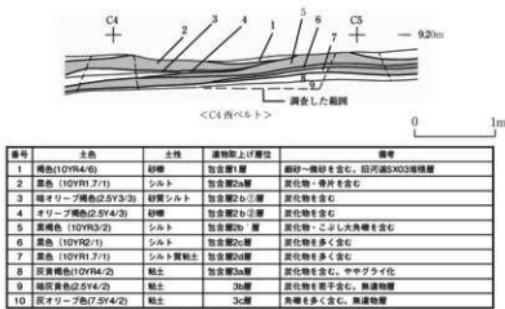
同図2はやや胴張りした器形の土器である。胴上部には大きな円文が配されている。土器内面に膜状に張り付く炭化物が残されており、年代測定の資料（ISK-1）とした。

第114図1は口縁部がやや内傾する土器である。口縁部には幅の広い沈線文をめぐらせている。2～4は波状線、6～17は平線の土器である。2は波頂部下に楕円形区画文を配している。4は口縁部下に隆線文と列点状の刺突文がめぐっている。概ね口縁部には幅の広い無文帯がめぐっているが、17は幅の狭い無文帯となっている。

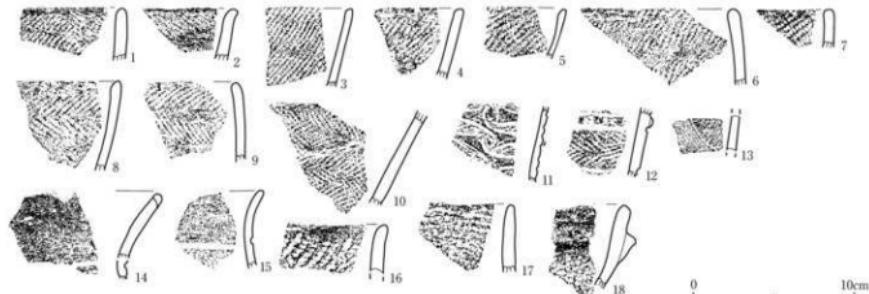
第115図1～11は隆線や沈線によって文様が構成される胴部の土器である。1にはヒレ状隆線文が付されている。2は胴上部に大きな円文を配している。3は波濤文の一部である。12は底部近くの土器である。

### ⑬包含層3a層中出土土器（第116図）

1・2は平縁の土器である。1は口唇部が肥厚している。楕円形区画文の一部が施されている。3・4は胴部で、3にはヒレ状隆線が付されている。水の影響を受けた粘土層からの出土で、いずれも器面は荒れ、土器の色調は白っぽくなっている。

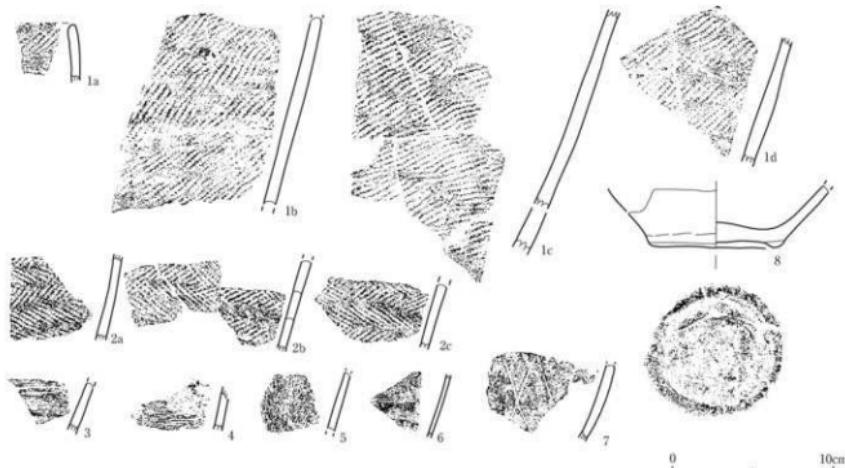


第96図 SX01②南側遺物包含層C4西ベルト断面



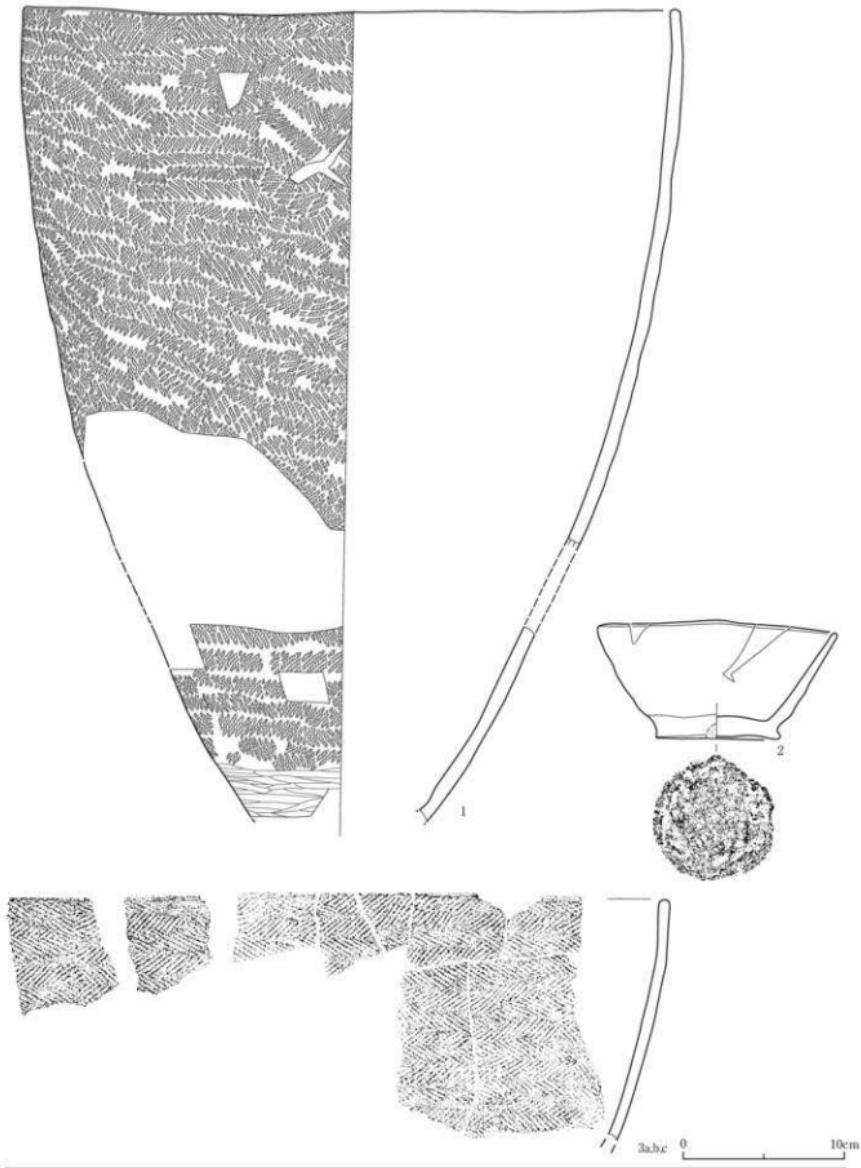
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	羽状縞文 (LR/LR)	47-1-1	10	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	羽状縞文 (RL/LR)	47-1-10
2	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	縞文 (RL)	47-1-2	11	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E g	入船状紋 (縞文) (RL)	47-1-11
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	縞文 (LR)	47-1-3	12	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E g	羽状縞文 (LR/LR)	47-1-12
4	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	縞文 (LR)	47-1-4	13	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	入船状紋 (縞文) (RL)	47-1-13
5	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	縞文 (LR)	47-1-5	14	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	複合状行波縞文	47-1-14
6	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	縞文 (LR)	47-1-6	15	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・V-17	羽状 (LR), 縞文	47-1-15
7	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	縞文 (LR)	47-1-7	16	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・V-1	縞文 (LR)	47-1-16
8	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	羽状縞文 (RL/LR)	47-1-8	17	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・V-1	縞文 (LR)	47-1-17
9	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・E d	羽状縞文 (RL/LR)	47-1-9	18	SX01②・C4西ベルト・包含層2a層中	深鉗・V-1	縞文 (LR)	47-1-18

第97図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2a層中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1a-d	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E d	羽状縞文 (RL/UR), 外面・裏面付材	48-1-3	5	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E d	入船状紋/縞文	48-1-7
2a-d	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E d	羽状縞文 (RL/UR)	48-1-4	6	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E d	入船状紋/縞文	48-1-8
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E d	複合縞文	48-1-5	7	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E c	格子状縞文	48-1-9
4	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E d	入船状紋/縞文	48-1-6	8	SX01②・C4西ベルト・包含層2b①層上面	深鉗・E	ケズリ・リードガラス, 外面・ケズリ・リードガラス	48-1-10

第98図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b①層上面出土土器 (1)



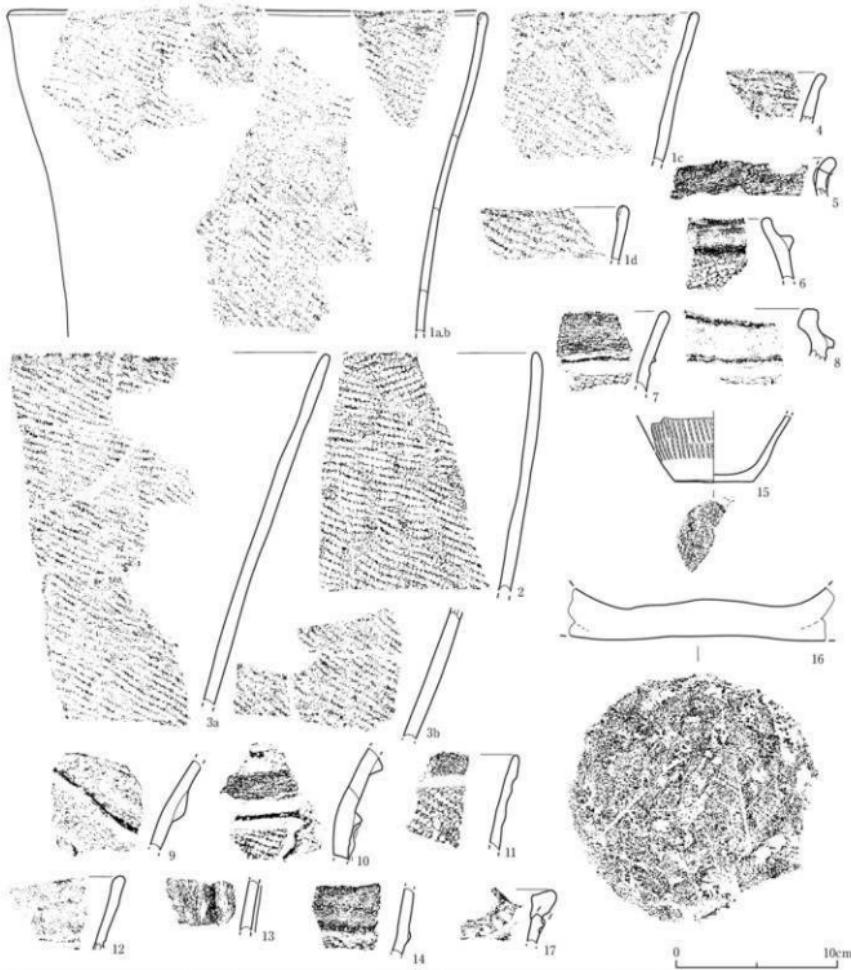
番号	出土遺構・地区・層位	断面・分層	特徴	可変回数	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分層	特徴	可変回数
1	SX01②・C4西ベルト・包含層2b① 層上面、2a層中、B4段・包含層2b 層上面、C3段包含層2b①層中		羽状織文 (R.L.R), 直縁近くに係枝の 変化物付量	47-3-1	2	SXD12・C4西ベルト・2b②層上面 2b③層中・2b層中	直縁・IIa	内面：ナテ、外面：ケズリ一筋いえ方 キ、直縁：やや幅底	46-1-1
					3	SXD1・C4西ベルト・包含層2b①層 上面、B4段包含層2b①層上面	直縁・II d	羽状織文 (R.L.R)	46-1-2

第99図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b①層上面出土器（2）



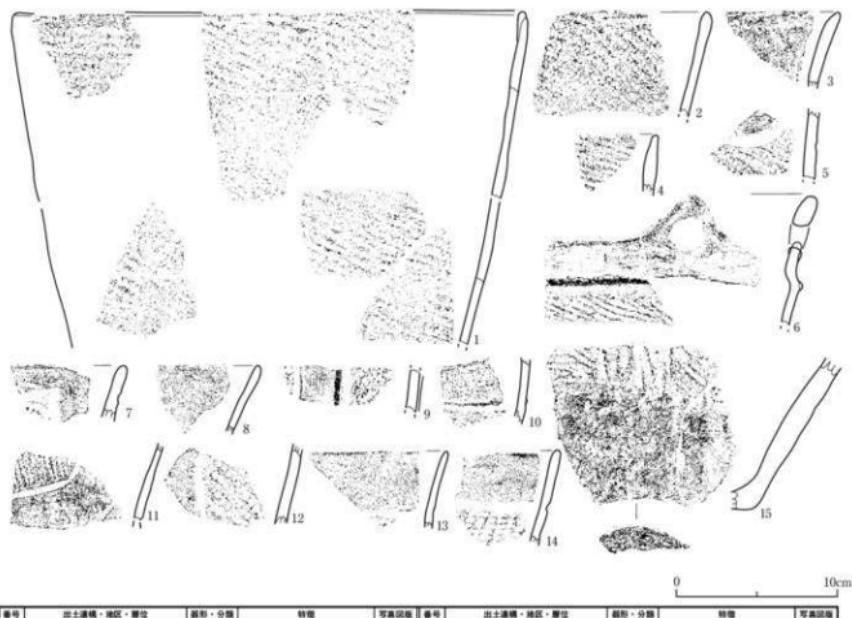
番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	可写図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	可写図版
1a-	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 中、B3S2包含層2b中、B3S2ペルト羽 河BEDX03A地盤構造中、B3S3C北側壁	縄文 (LR)、施土、埴輪、茎片等の 植根痕多数。表面・裏・こぼれ部	深鉢・E-d	4b-2-1	14	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・V-t	縄文 (LR)、武縄文、横縞丸	4b-2-14	
2	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文、沈縞文	深鉢・E-a	4b-2-2	16	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・V?	縦条文 (LR)、横縞丸	4b-2-16	
3	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文、沈縞文	深鉢・N?	4b-2-3	17	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vb	縄文 (LR), 沈縞文	4b-2-17	
4	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)・1多条沈縞文	深鉢・N-c1	4b-2-4	18	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vb	縄文 (LR)・0多条	4b-2-18	
5	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)	深鉢・Vb1	4b-2-5	19	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vb	縄文 (LR)、施縞文	4b-2-19	
6	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)、沈縞文 (織かい半截竹 管状工具)	深鉢・Vb2	4b-2-6	20	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・V	縦条文 (LR)、横縞丸+刻印文、 沈縞文	4b-2-20	
7	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)	深鉢・Vb	4b-2-7	21	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vb	横縞文 (LR)、刻印文+沈縞文	4b-2-21	
8	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)、沈縞文	深鉢・Vb	4b-2-8	22	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vc2	横縞文 (LR)・0多条多色)	4b-2-22	
9	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)、武縄文 (織かい半截竹 管状工具)	深鉢・Vb	4b-2-9	23	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vc2	横縞文 (LR)・0多条多色)	4b-2-23	
10	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)	深鉢・Vb	4b-2-10	24	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・Vc2	横縞文 (LR)・0多条多色)	4b-2-24	
11a-	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)・1根筋文、沈縞文	深鉢・Vb1	4b-2-11	25	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・V	先端、カズリ、横縞丸	4b-2-25	
11b	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)・1根筋文、沈縞文	深鉢・Vb3	4b-2-12	26	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・V	先端、カズリ、横縞丸	4b-2-26	
13ab	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中	縄文 (LR)、施縞文 + 斜縞文、沈縞文	深鉢・Vb	4b-2-13	27	SX01②・C4西ペルト・包含層2b①層中 深鉢・V	内面・施化粧付箋、外側・ケツリー 三方角、強化の施化粧付箋、底面・ 斜縫式	4b-2-27	

第100図 SX01②南側遺物包含層・C4西ペルト・包含層2b①層中出土土器

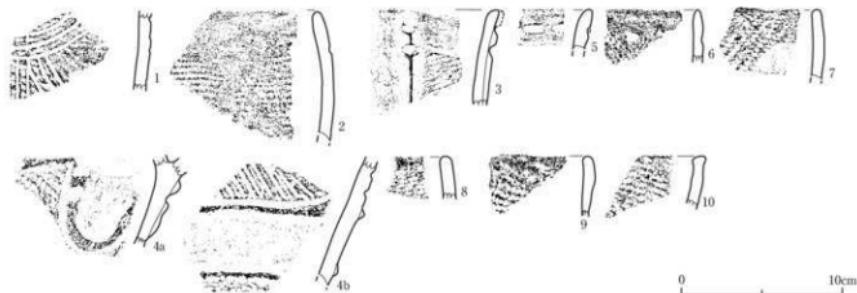


番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	可変因数	番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	可変因数
1a~d	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層 C38ベルト・包含層2b中層・C38ベルト 包含層2b中層	深鉗・Vc2	織文 (LR), 口縫内縫や把手	49-1-1	10	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層 上部・深鉗・C4西ベルト・包含層2b上層・ C38ベルト・包含層2b中層	深鉗・Vc2	織文 (LR), 織縫文+2個の斜目 文, 沈縫文	49-1-12
2	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vc1	織文 (LR)	49-1-4	11	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vc2	織文 (LR+結節付), 沈縫文	49-1-10
3a,b	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vc2	織文 (LR)	49-1-3	12	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vc2	織文	49-1-14
4	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vc2	織文 (LR)	49-1-9	13	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vc2	織縫織文	49-1-15
5	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織縫把手手縫	49-1-5	14	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織文 (LR), 織縫文	49-1-16
6	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織文 (HR), 織縫文	49-1-6	15	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織縫文 (HR), 底面: ミガキ, 織 縫把手 (HR), 手縫多角形, 織縫文	49-1-2
7	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織文 (HR), 織縫文	49-1-7					
8	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織文 (HR), 織縫文	49-1-8	16	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	底面: 木葉底 (カシワ庄底)	49-1-13
9	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織文 (HR), 織縫文, 手縫文	49-1-11	17	S X01②・C4西ベルト・包含層2b上層	深鉗・Vta	織縫把手三脚, 手縫文, 織縫文	49-1-17

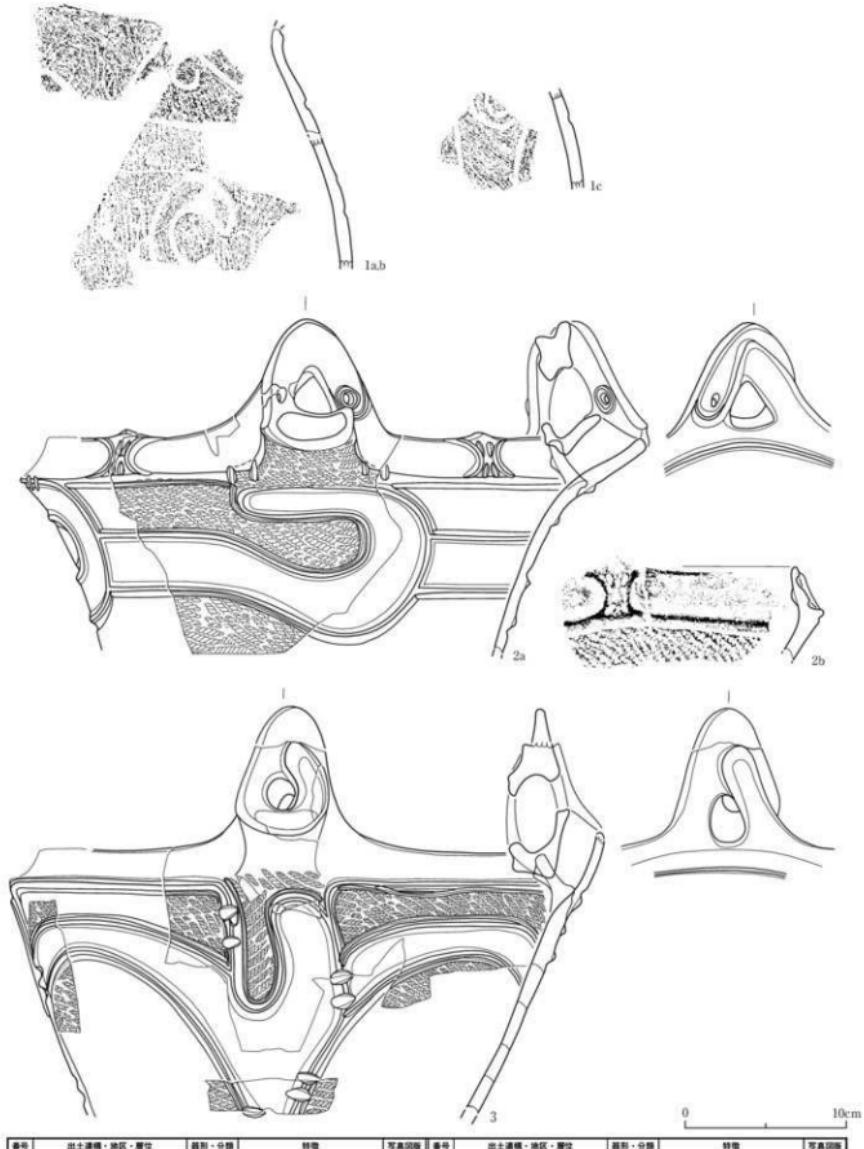
第101図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b②層上面出土器



第102図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b②層中出土土器

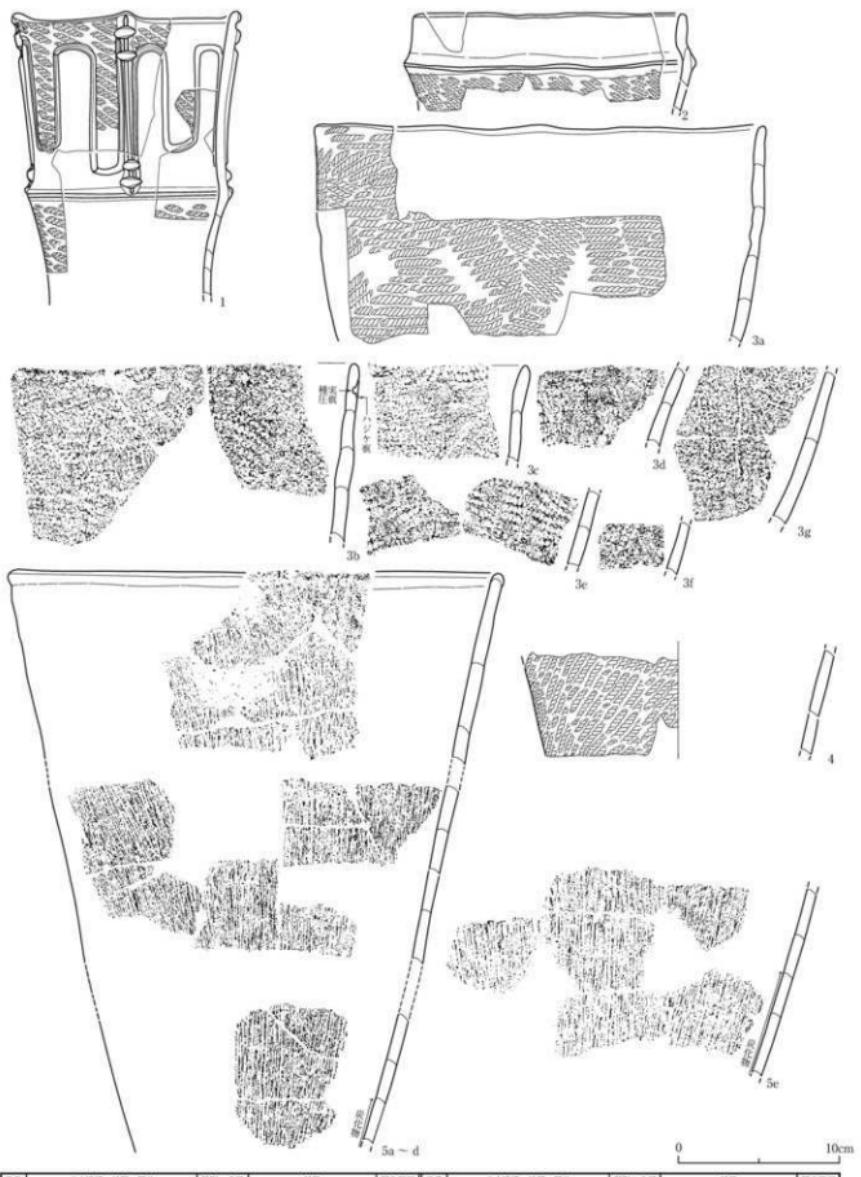


第103図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b 層中出土土器（1）



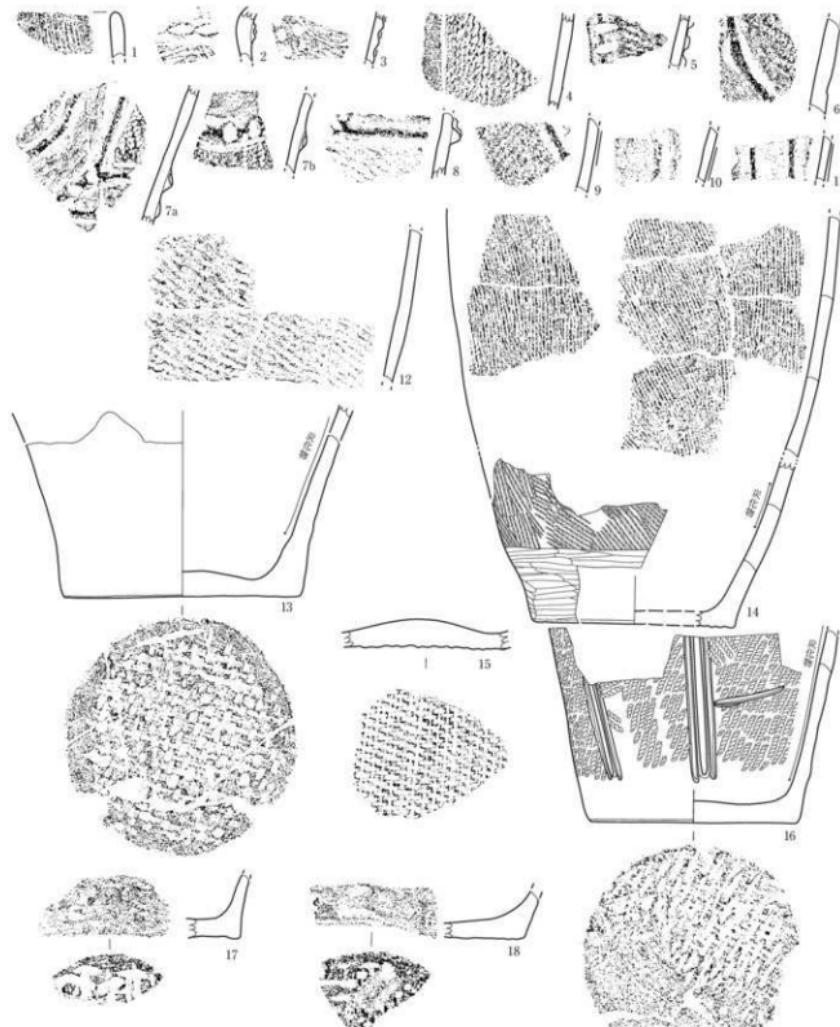
番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版
1a-c SX01②・C4西ベルト・包含層2b層中・2層・1c-e層中		皮帶・Vla	馬糞文 (R)→織目文・溝目文、沈継文		50-1-11 3	SX01②・C4西ベルト・包含層2b層中・2c層上部、B3北ベルト・包含層2b層中、C4区・B2北層上面、C4区・包含層2b層中、B3北・包含層2b層中	皮帶・Vla	織目把手・注口付、溝文 (LR)、織目文+2側封の斜目文、手タン状粘目文、溝目文、沈継文	
2a,b SX01②・C4西ベルト・包含層2b層中・2b2層上面		皮帶・Vla	織目把手・注口付、溝文 (LR)、織目文+2側封の斜目文、手タン状粘目文、溝目文、沈継文	50-1-12				織目把手・注口付、溝文 (LR)、 織継文+2側封の斜目文	50-1-13

第104図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b 層中出土土器 (2)



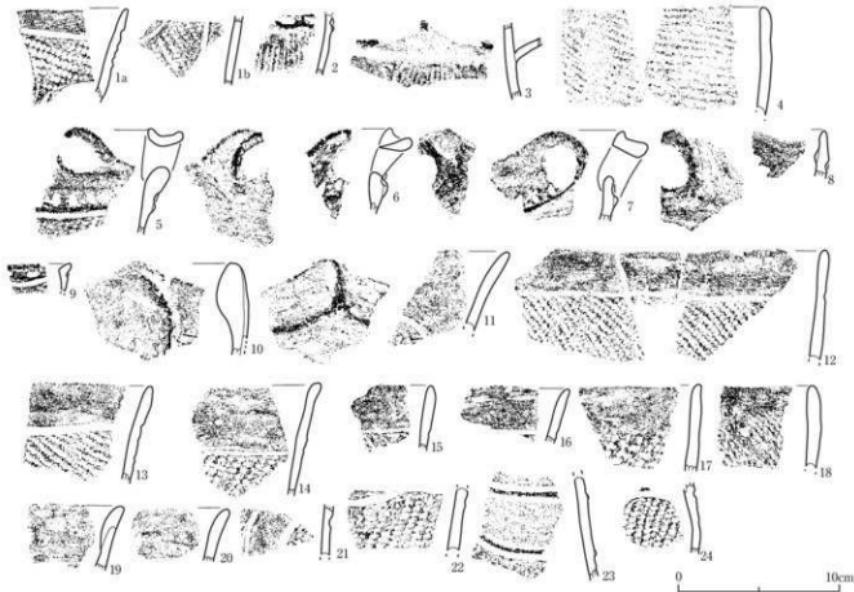
番号	出土遺物・地区・層位	造形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	造形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4西ベルト・包含層2b・層中・D4区・包含層2b層上部・2a層中・C4区・包含層2b・層上部・2b層上・C4西ベルト・包含層2b・層中	深鉢・Vb	方形区画文、萬文（LR）、輪縫文+2枚1対の筋目文、束縛文	51-1-14	4	SX01②・C4西ベルト・包含層2b・層中・2a層中	深鉢・Vd	ケズリ・萬文（RL）、内面：炭化物痕	51-1-17
2	SX01②・C4西ベルト・包含層2b・層中・C4西ベルト・包含層2b・層中	深鉢・Vb	萬文（LR）、輪縫文	51-1-15	5a~e	SX01②・C4西ベルト・包含層2b・層中・C4区・包含層2b・層上部・C3・包含層2b層中・C3西ベルト・包含層2b・層上部・C3西ベルト・包含層2b・層上部	深鉢・Vc2	輪縫縞文、内面：炭化物付着	51-1-1
3a~g	SX01②・C4西ベルト・包含層2b・層中・2b層上部・C4区・包含層2b・層中	深鉢・Vb1	萬文（LR）、輪縫文多款、ハジタ、被焼による変色・黒斑	51-1-16					

第105図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b・層中出土土器（3）



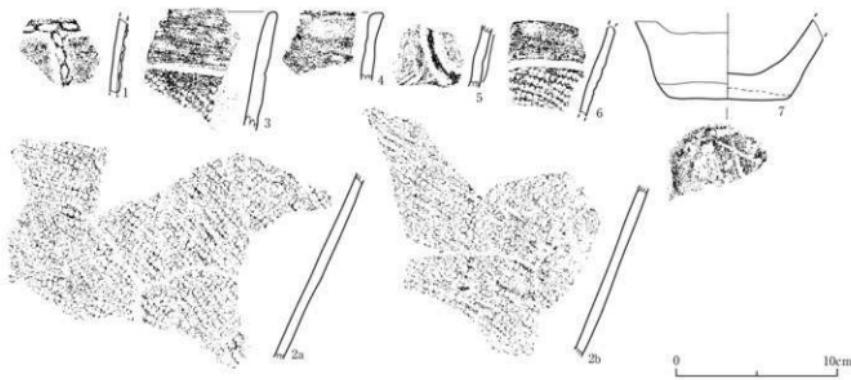
番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	底付盤鉢文	51-1-2	12	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中、 B4E2・包含層2b層、C4E2・包含層2b層中	深鉢・Vb	鉢文 (L R r)	51-1-13
2	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Ma1	鉢文 (L R), 織目繩縫文	51-1-3					
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vc1	鉢文 (L R), 織目文, 沈縫文	51-1-4					
4	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb	鉢文 (L R), 織目文	51-1-5					
5	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	鉢文 (L R), 織目文+2対の斜目文	51-1-6	13	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中、 2b層上部, 2b層	深鉢・Vb	鉢文 (L R), 直面: 細代 (1本越2本層) 斜 面: 細代 (1本越2本層) 斜	51-1-15
6	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb	鉢文 (L R), 織目文	51-1-7					
7a,b	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	鉢文 (L R), 織目文+2対の斜目文	51-1-8	14	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中, C4E2・包含層2b層上部, B4E2・包含層2b層上部, C4E2・包含層2b層中	深鉢・Vb	鉢文 (L R), 直面: 細代, 内面: 織目文, 斜面: 細代, 内面外縁に様状 変化有り, 斜面: 細代直面, 斜面外縁に様状 変化有り	51-1-14
8	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	鉢文 (L R), 織目文+2対の斜目文	51-1-9	15	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb	鉢文 (L R), 直面: 細代 (1本越2本層) 斜	51-1-16
9	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	鉢文 (L R), 織目文	51-1-10	16	S X01②・C4西ベルト・包含層2b 層中・ 2b層上部・2b層上部	深鉢・Vb2	鉢文 (L R), 直面: 細代直・ケズ リーヒガキ	51-1-17
10	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	鉢文 (L R), 織目縫文, 沈縫文	51-1-11	17	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb	鉢文 (2本越1本層) 斜	51-1-18
11	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb1	鉢文 (L R)	51-1-12	18	SX01②・C4西ベルト・包含層2b 層中	深鉢・Vb	鉢文 (1本越2本層) 斜	51-1-19

第106図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b 層中出土器 (4)



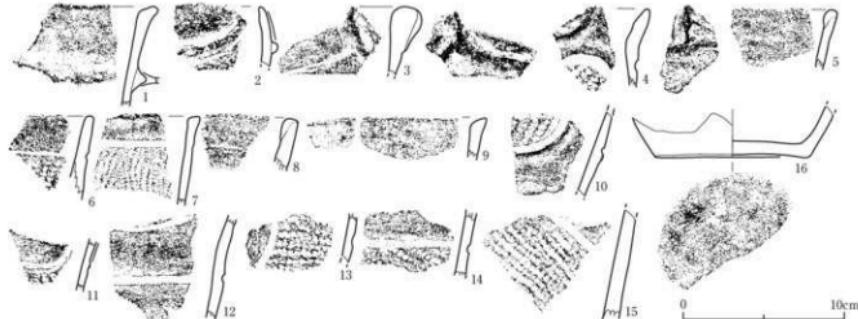
番号	出土遺構・地層・位置	器形・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地層・位置	器形・分類	特徴	写真回数		
1ab	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状式縄文、内面：側缺の割化物付箇	51-2-1	12	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-12	13	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状式	51-2-13
2	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状縄文	51-2-2	14	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-14	15	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-15
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-3	16	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-16	17	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-17
4	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-4	18	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-18	19	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-19
5	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-5	20	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-20	21	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-21
6	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-6	22	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-22	23	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-23
7	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-7	24	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-24				
8	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-8								
9	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-9								
10	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文・V字	51-2-10								
11	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層上面	縄文 (LR)、茎状文	51-2-11								

第107図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2c層上面出土土器



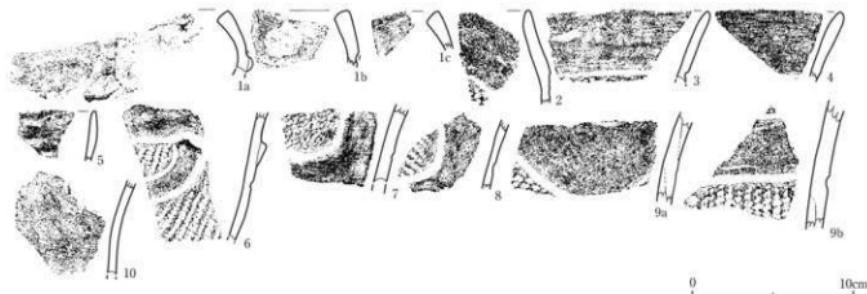
番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V字	方刃区画文(両文)(RL)、絞状磨擦面、沈線文	52-1-1	4	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V字?	両文(RL)	52-1-4
2a,b	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中、B3など	ケズリ・縫文(LR)、内面: 縫痕	52-1-2	5	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V字	縫合文、沈線文	52-1-5	
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V字1	縫合文(LR)、沈線文	52-1-3	6	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V字	両文(LR)、沈線文	52-1-6
				7	SX01②・C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V字	底面: 木葉→カキ→不明な様		52-1-7

第108図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2c層中出土土器

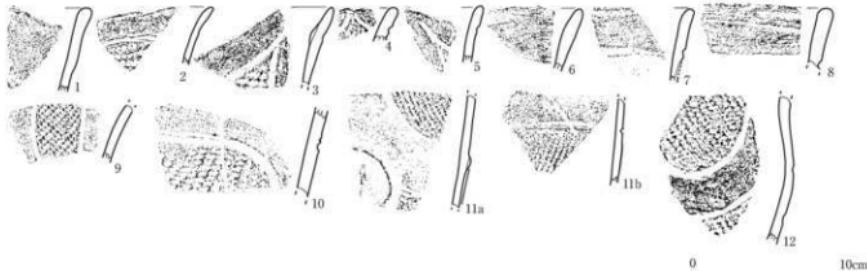


番号	出土遺物・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字?	縫目・斜面に円窓	52-2-1	9	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面、2c層上面	深鉗・V字	無定	52-2-8
2	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	縫文(LR)、縫合文、沈線文	52-2-2	10	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	縫文(RL)、縫合文、沈線文	52-2-10
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	縫合文	52-2-3	11	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字c	両文(LR)、ヒレ状縫合文、沈線文	52-2-11
4	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	円形区画文(両文)(RL)、花模様、縫合文+刻文	52-2-4	12	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	両文(LR)、沈線文	52-2-12
5	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字1	両文(RL)	52-2-5	13	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	縫文(RL)、沈線文	52-2-13
6	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字1	両文(LR)、沈線文	52-2-6	14	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字c	両文(LR)、沈線文	52-2-14
7	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字1	縫合文(LR)、沈線文、外側: 縫痕	52-2-7	15	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	両文(LR)、沈線文	52-2-15
8	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	縫合文(LR)	52-2-8	16	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層上面	深鉗・V字	外側: ヒガキ、底面: ヒガキ	52-2-16

第109図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2d層上面出土土器

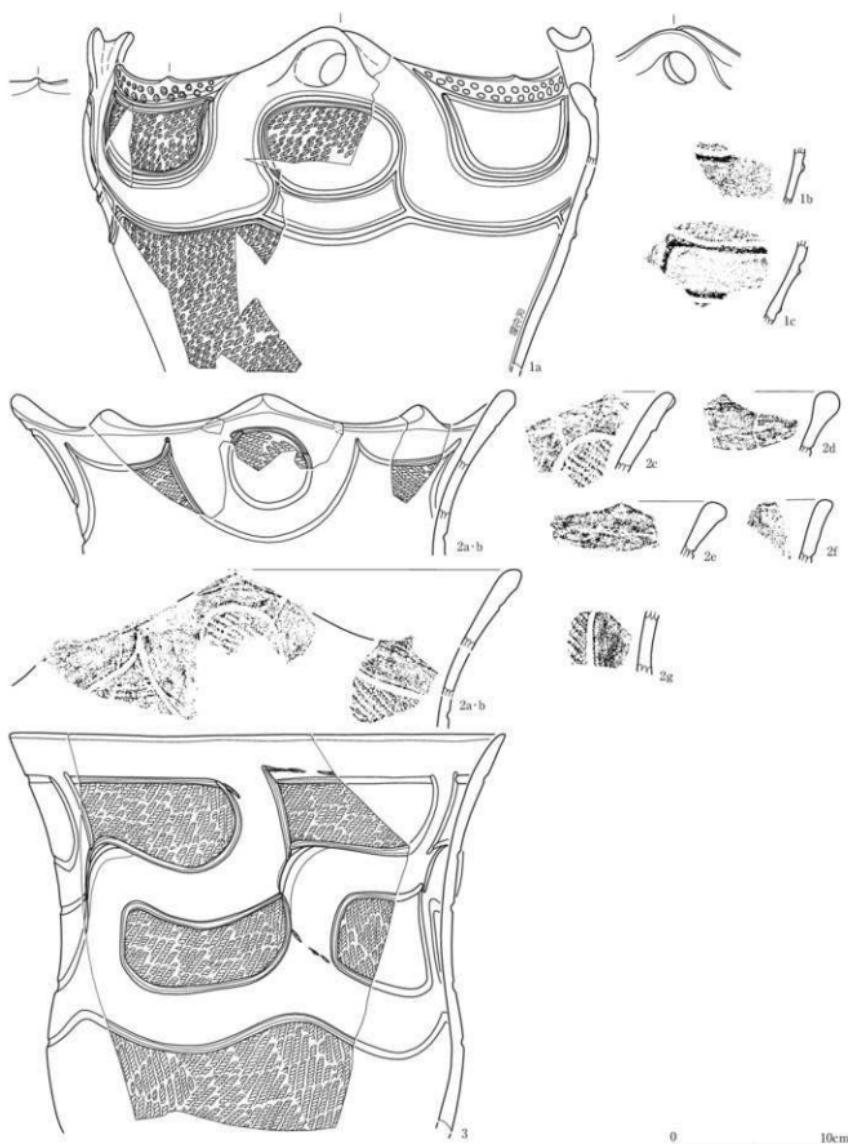


第110図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2d層中出土土器



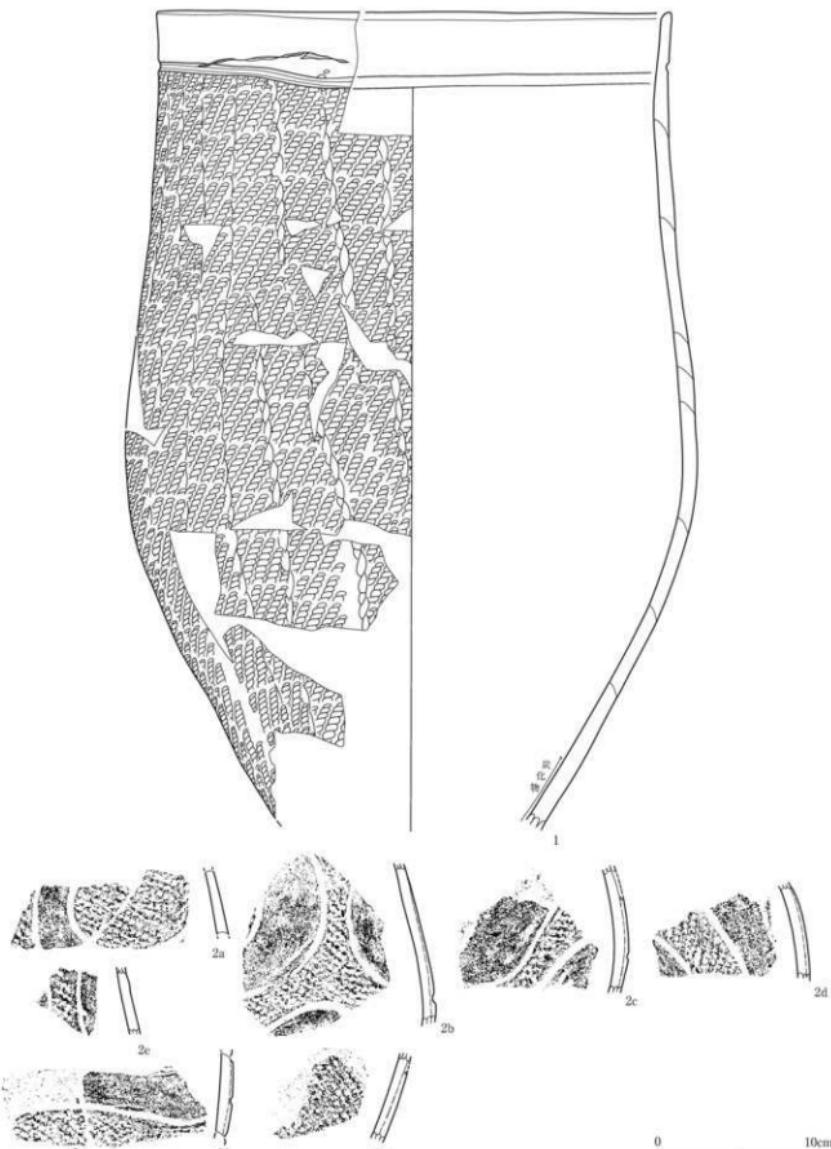
第111図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2d層中～3a層上面出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a-	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中～3a層上部	深鉢・Vba	縦筋文+斜交文	52-3-1	5	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	無文	52-3-5
c	ベルト・包含層2d層中				6	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	横筋文	52-3-6
2	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	横円形区画文？/縦文 (LR), 沈縫文	52-3-2	7	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	縦縫文 (LR), 沈縫文	52-3-7
3	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	縦文 (LR), 沈縫文	52-3-3	8	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	縦文 (LR), 沈縫文	52-3-8
4	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	沈縫文	52-3-4	9a	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	縦縫文 (LR), 沈縫文	52-3-9
					10	SX01②・C4西ベルト・包含層2d層中	深鉢・Vba	縦縫文	52-3-10



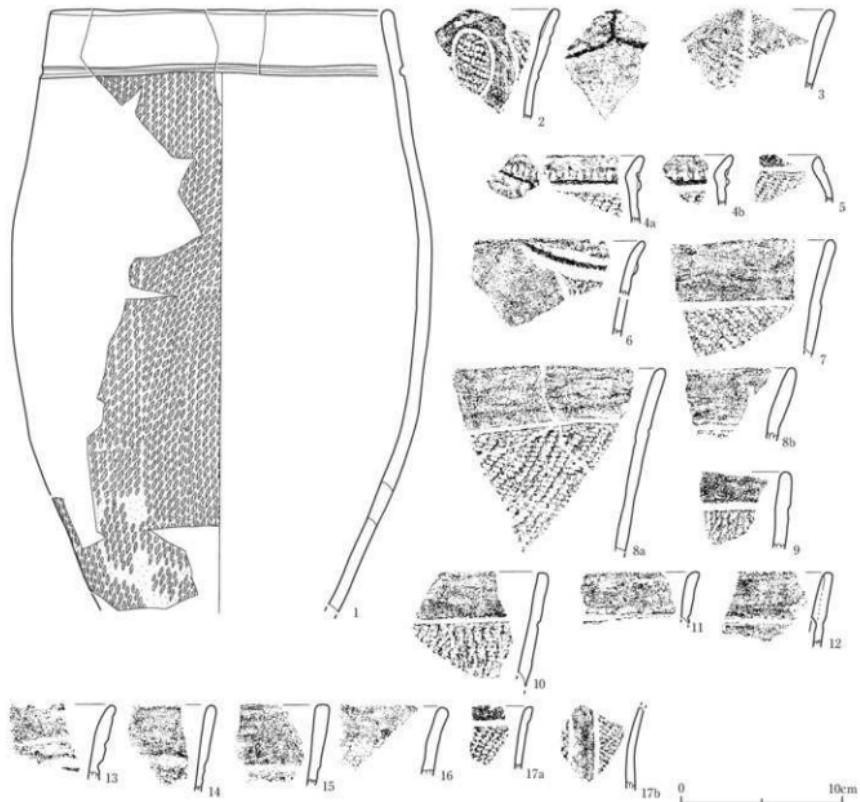
第112図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層3a層上面出土器（1）

番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	寄主回復	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	寄主回復
1	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vb	複数把手(1箇)、横円形底面文(縦文)(Rb)、縦縞文、沈縞文、斜縞文、内側：保証の炭化物沈縞	53-1-1	3	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc2	複数底文(縦文(Rb)、下端横縞文(一文字)、内側：保証の炭化物沈縞)	53-1-3
2	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面、C5西ベルト・包含層3a層上面、B4北ベルト・包含層3a層上面、B1C4北ベルト・包含層3a層上面、D5S・包含層3a層下面	深鉢・Vb	円文・葉状文/縞文(LR)、沈縞文	53-1-2					



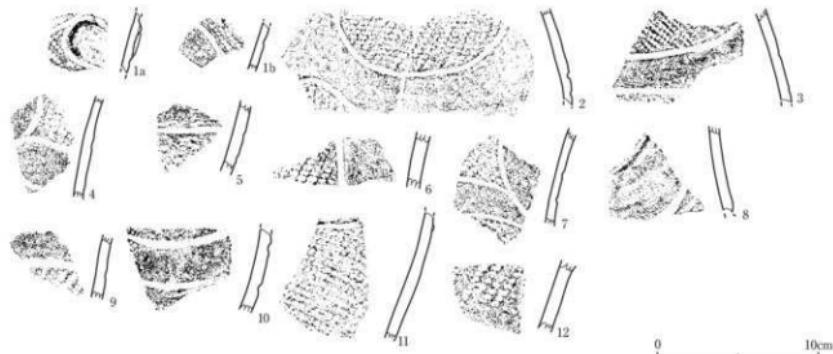
第113図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層3a層上面出土土器（2）

番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面・2a層中・2c層上面	深鉢・Vessel	両文(内文)十絆刷(縦刷文による)他 条状縫隙、下端沈線一両文一縦引字 直し・ミガキ一縦引き直し	53-1-4	2a~ 6	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面・2a層上面・C5西ベルト・包含層 6 2a層中	深鉢・Vessel	円文/両文(LRU)、沈線文、内面: 縦状炭化物付箇、外面: 保状炭化物 付箇。(SK-1)	54-1-1



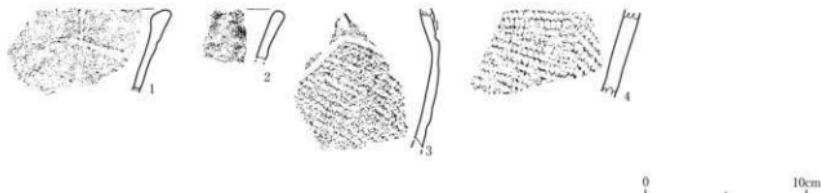
番号	出土場所・地区・層位	形状・分類	特徴	可寫図版	番号	出土場所・地区・層位	形状・分類	特徴	可寫図版
1	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 2b・層中・2段中、C4b・A2・3・包含 層3a層上面	直文(ル)、沈織文、網目状中性外 縫：複数の炭化物付着	54-1-2	Bab SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-9				
2	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面	直文(ル)	54-1-3	9 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-10				
3	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面	直文(ル)	54-1-4	10 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-11				
4b	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 C4bベルト・包含層2b層中	直円形斜面文？(直文)(ル)、直 縫文+斜面文	54-1-5	11 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-12				
5	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面	直文(ル)、沈織文	54-1-6	12 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-13				
6	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面	直円形斜面文？(直文)(ル)、直 縫文、沈織文	54-1-7	13 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-14				
7	SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面	直文(ル)、沈織文	54-1-8	14 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文(ル)、沈織文	54-1-15				
				15 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-16				
				16 SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-17				
				17ab SX01②-C4西ベルト・包含層3a層上面 直文(ル)、沈織文	54-1-18				

第114図 SX1②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層3a層上面出土土器(3)



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直壁 (LR), ヒレ状強微文, 文様文	54-1-19	7	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc b	横円形強微文, 文様文 (RL)	54-1-25
2	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vd	円内・直文 (RL), 文様文	54-1-20	8	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直線文, 文様文	54-1-26
3	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直邊文/強微文 (LR)	54-1-21	9	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc c	直文 (RL), 文様文	54-1-27
4	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直壁 (LR), 文様文	54-1-22	10	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直線文, 文様文	54-1-28
5	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直壁 (LR), 文様文	54-1-23	11	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直文 (LR), 文様文	54-1-29
6	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直壁 (LR), 文様文	54-1-24	12	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・Vc	直文 (RL), 文様文	54-1-30

第115図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層3a層上面出土土器 (4)



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層中	深鉢・Ddb3	弧状強微文	54-2-1	3	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層中	深鉢・E①	直文 (LR), ヒレ状強微文, 隆線文	54-2-3
2	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層中	深鉢・Ddb4	直線文	54-2-2	4	SX01②・C4西ベルト・包含層3a層中	深鉢・E	直文 (RL)	54-2-4

第116図 SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層3a層中出土土器

## (21) SX01②南側遺物包含層C4区出土土器（第117～128図）

C4区は砂礫層除去のための重機の出入口にあたっており、実際の調査面積は他のグリッド区のおよそ半分であった。SX01②南側遺物包含層は包含層1層、2a層、2b層、2b'層、2c層、2d、3a層に分層された。このうち、包含層1層は旧河道SX03堆積層に相当する。包含層2b層はC4区の南の低い側にのみ認められ、包含層2b①（砂質シルト）層・2b②（砂礫）層の細別は行っていない。包含層2b'層から2d層にかけては、非常に多くの土器が折り重なるように出土（写真図版6-2）している。包含層3a層は水成堆積の灰黄褐色粘土層である。若干の土器が出土している。

出土土器はすべて深鉢形土器である。

### ①包含層1層（旧河道SX03堆積層）中出土土器（第117図1～3）

1には沈線文が1条めぐっている。幅の広い横位斜行繩文が施されている。2・3は幅の狭い羽状繩文や、斜行繩文が施されている。

### ②包含層2層中出土土器（第117図4～6）

サブトレンチにおいて、細別を行わずにまとめて取り上げた土器である。4は横走する繩文が施されている。5・6ともにやや太描きの沈線文が描かれ、地文の繩文が磨り消されている。

### ③包含層2a層中出土土器（第117図7～42）

7はごく細かい斜行繩文に平行沈線文が施されている。8～11は口縁部が緩やかに内湾する。幅の狭い羽状繩文や斜行繩文が施されている。12は口縁部が緩やかに外反する。補修孔が穿たれている。13～39は沈線文や隆線文で文様が施されるものや、地文のみのもの、無文の土器である。40～42は底部である。40は低い台が付されている。41・42は網代の圧痕を残している。

### ④包含層2b層上面出土土器（第118図1～5）

1は深鉢形土器の胴下部でミガキ調整が施されている。2はごく細い撲糸文地に磨消によって懸垂文が施されている。3は波状縁土器で、口縁部には無文帯をめぐらし、波頂部下に平行する2本の沈線により大きな弧状文を配している。沈線間には鎖状刺突文が充填され、交点部分にはボタン状貼付文が付されている。4・5は胴下部～底部の土器で、5には木葉の圧痕が残されている。

### ⑤包含層2b層中出土土器（第118図6～12）

6は注口部と環状把手の組み合う部位の土器である。隆線と沈線によって文様が施されている。7～11は口縁部に無文帯を設ける土器である。胴部繩文との境に7～9は沈線文、11は隆線文をめぐらせている。12の底面には網代の痕跡が残されている。

### ⑥包含層2b'層上面出土土器（第119図1～7）

1は口縁部に沈線文と鎖状刺突文とがめぐっている。2の口縁部は幅の狭い無文帯となっている。3～5は隆線や沈線によって文様が施されている。6はやや幅の広い無文帯が口縁部をめぐっている。7の底面には木葉の圧痕が残されている。

### ⑦包含層2b'層上面～上部出土土器（第119図8～第121図）

包含層2b'層の一部は水成堆積の砂礫層に覆われていたために、一応包含層2b'層上部と下部に分けて、遺物は取り上げた。

第119図8は胴下部に懸垂隆線文が施されている。9は縦位の櫛描文を地文とし、口縁部に沈線文が1条めぐらされている。10は口縁部が緩く外反する器形である。6単位の方形区画文が配され、隆線上には斜位の刻目文が施されている。方形区画内には縄文部と無文部の面積比が概ね1:1になるように鍵形状の文様が描出されている。11は口縁部がわずかに内湾する器形で、横走縄文が施されている。12の底面には木葉の圧痕が残されている。

第120図1~20は口縁部で、隆線や沈線によって文様が施されるものや、地文のみのもの、無文のものである。2は環状把手となっている。3は方形区画文、4は弧状文が配されている。同図21~第121図14は胴部で、隆線や沈線によって文様が施されるものや地文のみのものである。隆線上には2個1対の刻目文が施されるものやボタン状貼付文が付されるものがある。同図15~19は底部で、底面には網代や木葉の圧痕が残されている。

#### ⑥包含層2b'層下部出土土器（第122図）

1~3は口縁部が短く外傾する器形となっている。1は2個1対の刻目文の施される隆線がめぐっている。2は把手の基部である。4~6は口縁部が緩やかに外反し、7は緩やかに内湾している。8~21は隆線文や沈線文によって文様が施される土器で、8~10は鎖状隆線文となっている。2個1対の刻目文が隆線上に施されるものもある。23は捻りのはいった環状把手である。24・25は幅の広い無文帯が口縁部に設けられている。26~35が胴部で、沈線文やヒレ状隆線によって文様が施されるもの、地文のみのものがある。底面には、同心円状のミガキを施しやや揚げ底風にしたもの、網代の痕跡を残すものがある。

#### ⑨包含層2c層上面出土土器（第123図）

1~3はいずれも隆線や沈線によって文様が施されている。1は環状把手の基部~胴上部の土器で、隆線と沈線によって緩い渦巻状の文様が描出されている。口縁部は屈曲して内傾する。屈曲部の隆線上に縦位2個1対の刻目文が付されている。2は大型の環状把手の橋状部の破片である。隆線によって装飾されている。3は口縁部が緩く外反する方形区画文の施される土器である。

#### ⑩包含層2c層中出土土器（第124図1~4）

1は口縁部が緩やかに外反する器形で胴部には稜線がめぐらされている。ごく細い燃糸文が縦走し、口縁部には幅の狭い無文帯が設けられている。2~4は隆線や沈線によって文様が施される土器である。2・4は方形区画文の一部である。

#### ⑪包含層2d層上面出土土器（第124図5~17）

5~17は隆線や沈線によって文様が施される土器である。口縁部にはやや幅の広い無文帯が設けられ、5・6・9は列点状に刺突文がめぐっている。7は方形区画文となっている。17は胴部をめぐる隆線に沿って刺突文が施されている。

#### ⑫包含層2d層中出土土器（第125図）

1~20は隆線や沈線によって文様が施される土器である。1は環状把手である。2は方形区画文、3は梢円形区画文の一部となっている。口縁部には幅の広い無文帯が設けられるものと、9・10のように設けられないものがある。11~20の胴部も幅の広い無文帯が入組状に展開する。12・15の隆

線文の剥落下には、下描沈線文がともに残されている。

⑬包含層3a層上面出土土器（第126図・第127図）

第126図・第127図1～4は口縁部で、隆線や沈線によって文様が施される土器である。口縁部は緩やかに外反するものほかに、第127図4のように内湾するものがある。第126図1～3は波状縁で、1は波頂部下に楕円形区画文、2・3は波頂部にヒレ状隆線文が付されている。同図2～5には列点状に刺突文が施されている。

第127図5～19は胴部で、隆線や沈線によって文様が施される土器である。やや幅の広い無文帯が入組状に展開する文様の一部である。

同図20～26が底部で、底面には木葉の圧痕をとどめているものがある。

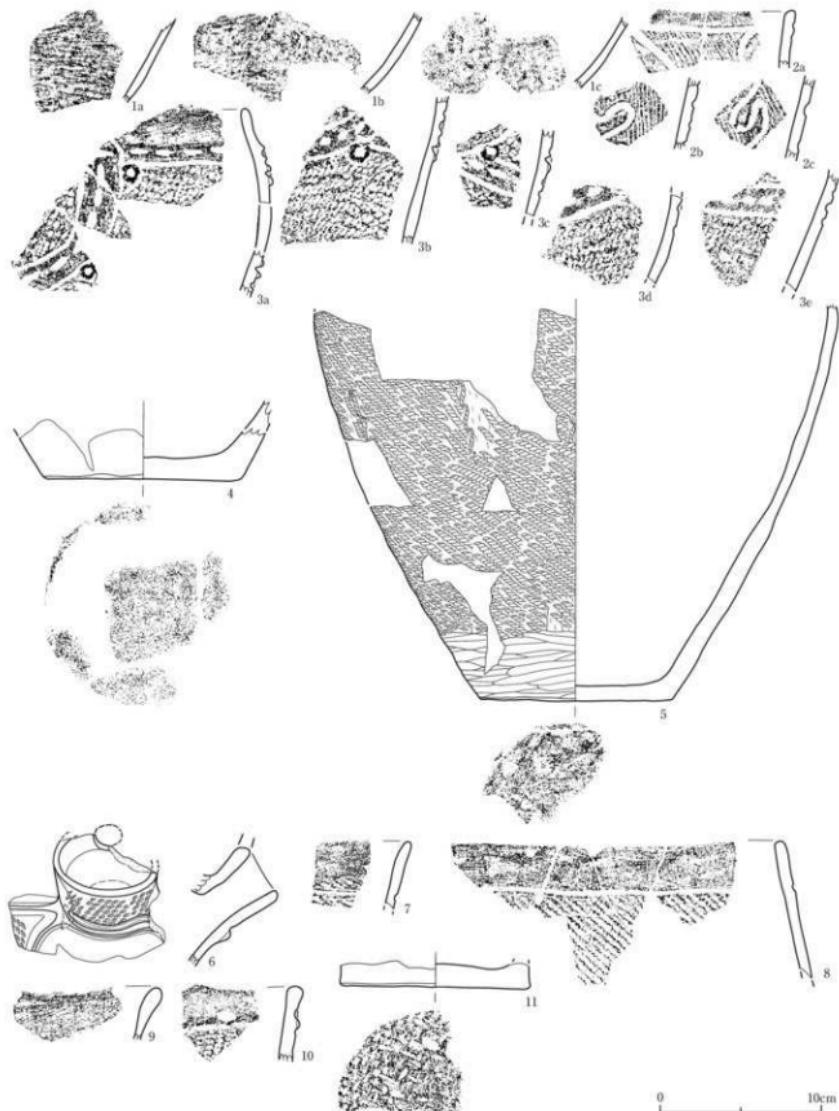
⑭包含層3a層中出土土器（第128図）

1～5は平縁の土器である。1は隆線と刺突によって文様が構成されている。2・3は口縁直下から縄文が施されている。4は器面にケズリが掛けられ、無文部をおいて縄文が施されている。6・7は胴中位をめぐる沈線文が施されている。



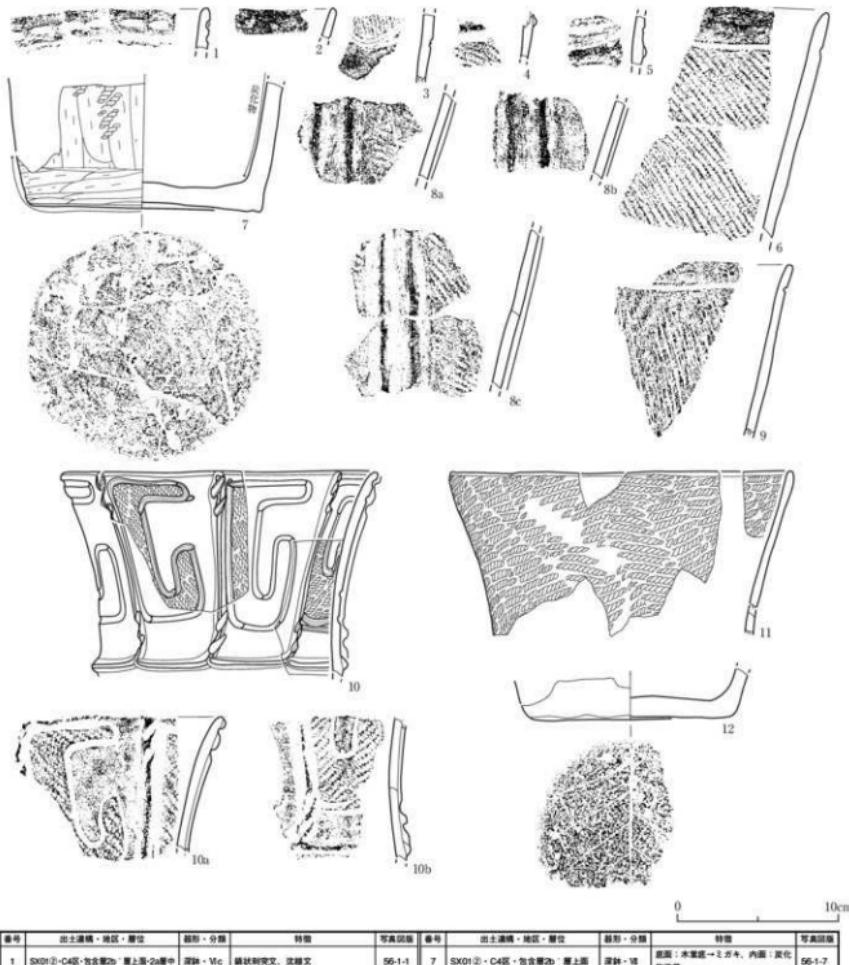
番号	出土遺構・地区・層位	器物・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器物・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4区・包含層1層(田河溝X03堆積層)中	深鉢・I a?	圓文(LR), 沈綫文	55-1-1	22	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2?	圓文(LR)	55-1-22
2	SX01②・C4区・包含層1層(田河溝X03堆積層)中	深鉢・I d	羽状綱文(LR?/RL)	55-1-2	23	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	圓文(ケツリ)	55-1-23
3	SX01②・C4区・包含層1層(田河溝X03堆積層)中	深鉢・I d	圓文(LR+結節付)	55-1-3	24	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2?	圓文(LR)	55-1-24
4	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vc1	織文(LR+LR多角)	55-1-4	25	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2?	圓文(RL)	55-1-25
5	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1?	圓文(RL), 沈綫文	55-1-5	26	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2?	圓文(LR)	55-1-26
6	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(LR?), 沈綫文	55-1-6	27	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2?	圓文(ケツリ)	55-1-27
7	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I a	圓文(LR?), 沈綫文	55-1-7	28	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	圓文(KE)	55-1-28
8	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I d	羽状綱文(LR/RL)	55-1-8	29	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	圓文(RL), 沈綫文	55-1-29
9	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I d	羽狀綱文(LR/RL)	55-1-9	30	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	方折口綱文+圓綫文+斜綫文, 沈綫文	55-1-30
10	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I d	羽狀綱文(LR/RL)	55-1-10	31	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	圓綫文, 沈綫文	55-1-31
11	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I d	圓文(LR)	55-1-11	32	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	方折口綱文+圓文(LR), 圓綫文+2倍1対の斜綫文	55-1-32
12	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I d	圓文(LR), 線條孔	55-1-12	33	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(RL), 線條文+沈綫文	55-1-33
13	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I a?	圓文(LR), 沈綫文	55-1-13	34	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(LR), 線條文+2倍1対の斜綫文+沈綫文	55-1-34
14	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	羽狀綱文	55-1-14	35	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(LR)	55-1-35
15	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓綫文+斜綫文	55-1-15	36	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(LR), ヒレ状施錆文, 沈綫文	55-1-36
16	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・I b?	圓文	55-1-16	37	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	熱然文(RL), 沈綫文	55-1-37
17	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2	圓文(LR), 沈綫文	55-1-17	38	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb c	圓文(LR), 沈綫文	55-1-38
18	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1?	圓文(RL), 沈綫文	55-1-18	39	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb d	熱然文(RL), 沈綫文	55-1-39
19	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	圓文(LR)	55-1-19	40	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(KE), 方折	55-1-40
20	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb2	圓文(LR/R)	55-1-20	41	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(KE), 方折	55-1-41
21	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb1	圓文(LR/R)	55-1-21	42	SX01②・C4区・包含層2a層中	深鉢・Vb	圓文(KE), 方折(1本脚2足底)	55-1-42

第117図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層1層中～包含層2a層中出土土器



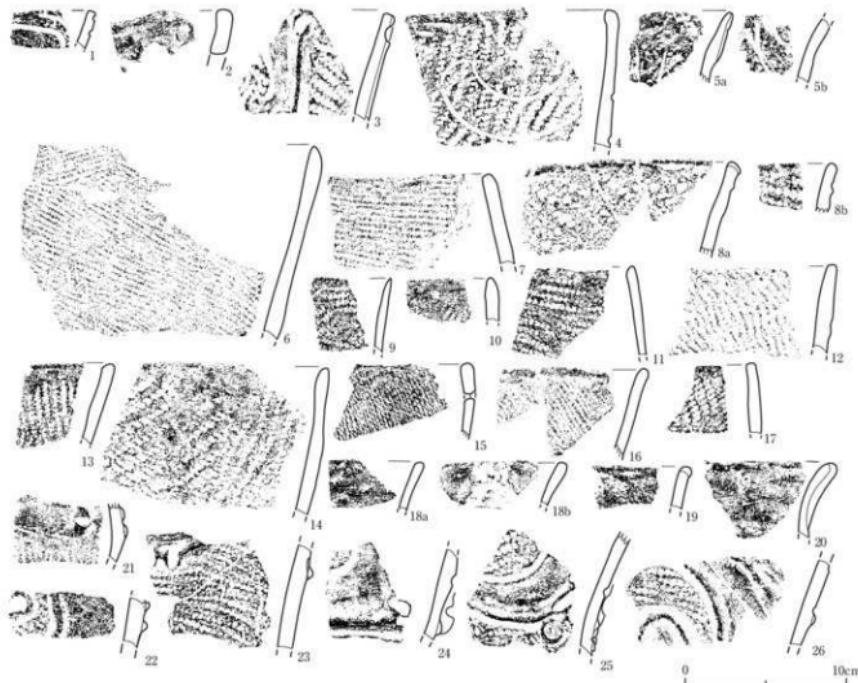
番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1a-c	SX01②・C4区・包含層2b層上面、B3北側ト・SX03A堆積物	深鉢・Ed	斜文(ケズリ→ミガキ)	55-2-1	6	SX01②・C4区・包含層2b層中	深鉢・Vba	複状把手・注口付、斜文(RLR)、施錫文	55-2-6
2a-c	SX01②・C4区・包含層2b層上面、B2中、C5E・包含層2b層中	深鉢・Vb1	斜文(R)→磨手文、斜文文/沈錫文	55-2-2	7	SX01②・C4区・包含層2b層中	深鉢・V1?	磨文(LR)、沈錫文	55-2-7
3a-e	SX01②・C4区・包含層2b層上面-2b層中	深鉢・Vc	波状縁、波状文/波状斜文文(LR)、ホターン状斜文文	55-2-3	8	SX01②・C4区・包含層2b層中	深鉢・V1	磨文(LR)、波錫文	55-2-8
4	SX01②・C4区・包含層2b層上面	深鉢・Vd?	底面:ミガキ	55-2-5	9	SX01②・C4区・包含層2b層中	深鉢・Vd	波状縁、無文	55-2-9
5	SX01②・C4区・包含層2b層上面	深鉢・Vd?	底面:ミガキ→ミガキ 外縁:ケズリ→磨文、注口+側斜柱脚付	55-2-6	10	SX01②・C4区・包含層2b層中	深鉢・Vd	磨文(RLR)、施錫文+斜突文、波錫文	55-2-10
				55-2-4	11	SX01②・C4区・包含層2b層中	深鉢・V1	底面:磨文(RLR)、木製、2本足、一ノ足 1.2万年	55-2-11

第118図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層2b層上面・2b層中出土土器



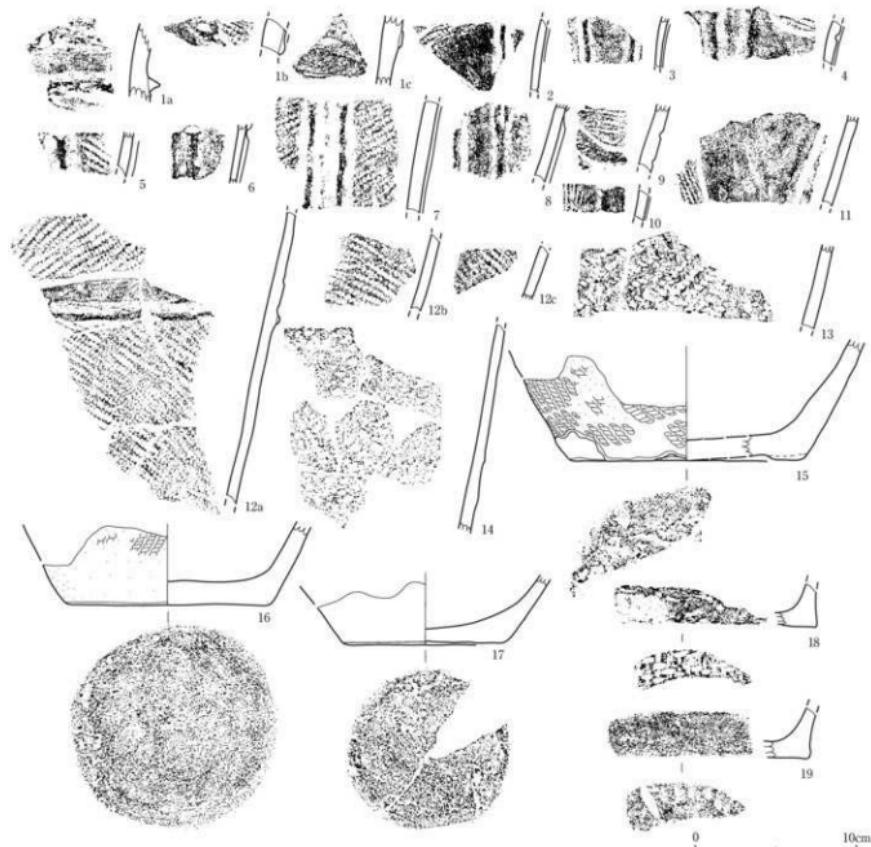
第119図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層2b・層上面～上部出土土器（1）

番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可算個数	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可算個数
1	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～2a層中	深鉢・Vc	横状刻文、波線文	56-1-1	7	SX01②・C4区・包含層2b・層上面	深鉢・Vd	波面：木葉底→エガキ、内面：黄化 波紋文	56-1-7
2	SX01②・C4区・包含層2b・層上面	深鉢・Vd	波紋文	56-1-2	8a-c	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vd	波文（LR）、簡単陰線文	56-1-8
3	SX01②・C4区・包含層2b・層上面	深鉢・Vd	前い(波線文)（R）、波線文	56-1-3	9	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vd?	横線文、波線文	56-1-9
4	SX01②・C4区・包含層2b・層上面	深鉢・Vd	夷文（LR）、陰線文、波線文	56-1-4	10a~e	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vd	方形区画文/夷文（RL）、陰線文+2 印1対の刻文、波線文	56-1-11
5	SX01②・C4区・包含層2b・層上面	深鉢・Vd	夷文（LR）、陰線文、波線文	56-1-5	11	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～ 上部・2b層上面・2a層中	深鉢・Vd?2	夷文（LR）	56-1-10
6	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～2a層中	深鉢・Vd	夷文（LR）、波線文	56-1-6	12	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vd	夷面：木葉底、底面：横線に波状凹凸	56-1-12



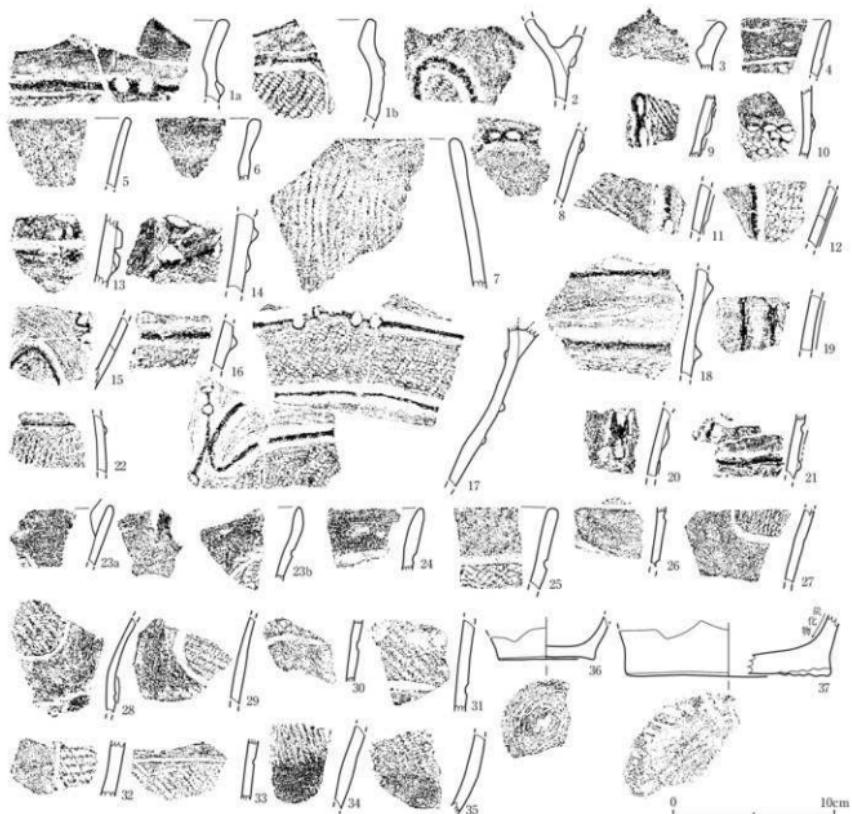
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可算回数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可算回数
1	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・N	縫合文、沈縫文	56-1-12	16	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫合文、(R)	56-1-28
2	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫合狀手、縫合文	56-1-14	17	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫合文、(R)(R)	56-1-29
3	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	方形孔面文、縫文 (LR)	縫合文+	56-1-15	18a,b	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vd	縫合文	56-1-30
4	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫文、(R)R、縫状文、沈縫文	56-1-16	19	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vd	縫文	56-1-31
5a,b	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫合文、(R)	56-1-17	20	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vd	縫文	56-1-32
6	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (R) + 縫合狀文	56-1-18	21	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫合文 (L)、縫縫文+2箇1側の斜直文	56-1-33
7	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫合縫文 (L-R)C多集)	56-1-19	22	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫文 (L,R)、縫縫文、沈縫文	56-1-34
8a,b	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (LR)	56-1-20	23	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫文 (LR) + 縫合狀文、縫縫文+2箇1側の斜直文	56-1-35
9	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (LR)	56-1-21	24	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	方形孔面文 (縫文 (LR)C多集)、縫合文+2箇1側の斜直文	56-1-36
10	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (LR)	56-1-22	25	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	方形孔面文 (縫文 (LR)C多集)、縫合文+2箇1側の斜直文	56-1-37
11	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (LR)	56-1-23	26	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	縫文 (LR)、縫縫文、チタン状粘付文	56-1-38
12	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (LR)	56-1-24					
13	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (R)	56-1-25					
14	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (R)	56-1-26					
15	SX01②-C4区・岱合層2b・層上面～上部	深鉢・Vc2	縫文 (R)、縫縫凡	56-1-27					

第120図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層2b・層上面～上部出土土器 (2)



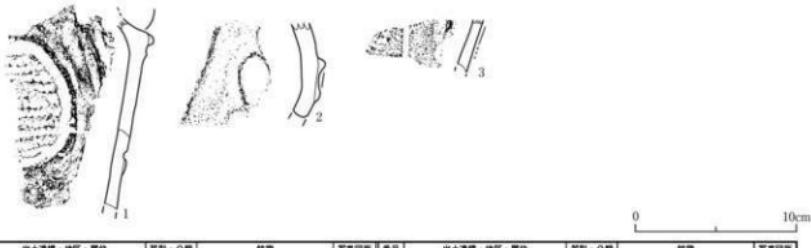
番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a~c	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb?	禹文 (LR)、輪縁文+2対1対の斜線文、波綱文	57-1-1	11	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文系 (R)、波綱文	57-1-11
2	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	方形区割文・禹文 (RL)、輪縁文、波綱文	57-1-2	12a~c	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	方形区割文・禹文 (RL)、波綱文	57-1-12
3	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	方形区割文・禹文 (RL)、輪縁文、波綱文	57-1-3	13	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (RL)R	57-1-13
4	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	方形区割文・禹文 (LR)、輪縁文、波綱文	57-1-4	14	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (LR)	57-1-14
5	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (LR)、唇邊縦織文	57-1-5	15	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (LR)、直面：縄代底→粘土貼付	57-1-15
6	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文+斜目文	57-1-6	16	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (RL)、底面：木葉底→2方牛	57-1-16
7	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (HL)、唇邊縦織文	57-1-7	17	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	直面：2方牛	57-1-17
8	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (RL)、唇邊縦織文+斜目文	57-1-8	18	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	直面：縄代 (1本継2本継) 底	57-1-18
9	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文 (RL)、波綱文	57-1-9	19	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	直面：縄代底	57-1-19
10	SX01②・C4区・包含層2b・層上面～上部	深鉢・Vb	禹文系 (R)、唇邊縦織文	57-1-10					

第121図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層2b・層上面～上部出土器 (3)

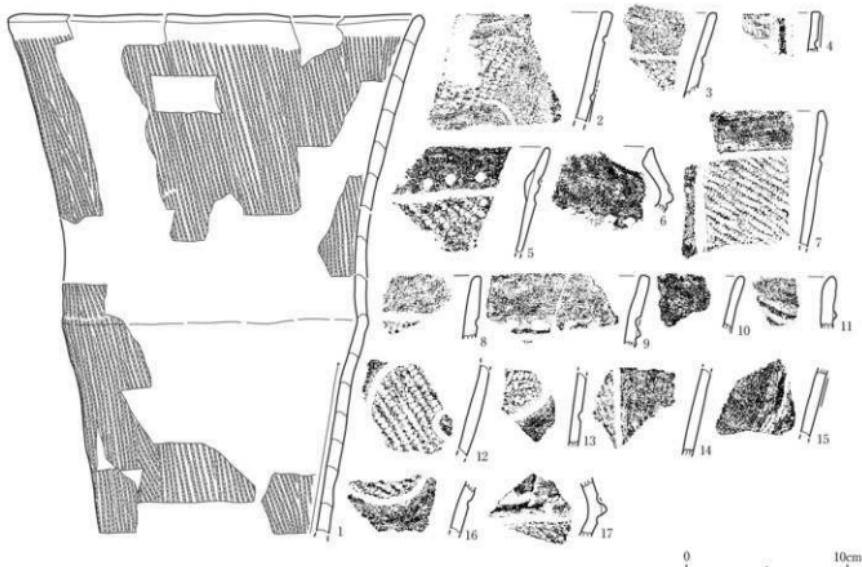


番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1a,b	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文+2個1対の斜面文, 沈縫文	57-2-1	19	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 横糸文 (L), 番縫隙文	57-2-19
2	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文, 直線文	57-2-2	20	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 横糸文+2個1対の斜面文	57-2-20
3	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文	57-2-3	21	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 方形区画文, 直線文 (HL-O很多), 陰縫文	57-2-21
4	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文	57-2-4	22	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 横糸文 (L), 波状文	57-2-22
5	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR)	57-2-5	23a,b	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 複数枚手丁彫, 魚円形区画文, 繩文 (HL), 波状文	57-2-23
6	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文	57-2-6	24	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文	57-2-24
7	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR)	57-2-7	25	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文 (L), 波状文	57-2-25
8	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文	57-2-8	26	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文 (HL), 波状文	57-2-26
9	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (L), 番縫隙文	57-2-9	27	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文 (L), 波状文	57-2-27
10	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (L), 番縫隙文	57-2-10	28	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文 (L), ヒレ状縫隙文, 波状文	57-2-28
11	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (L), 番縫隙文+2個1対の斜面文	57-2-11	29	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文 (L), 波状文	57-2-29
12	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 方形区画文 (HL), 直線文	57-2-12	30	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 波状文, 繩文 (HL), 波状文	57-2-30
13	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文	57-2-13	31	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 繩文 (L), 波状文	57-2-31
14	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文+2個1対の斜面文	57-2-14	32	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 繩文 (L), 波状文	57-2-32
15	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文+2個1対の斜面文	57-2-15	33	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 繩文 (L), 波状文	57-2-33
16	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文	57-2-16	34	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 繩文 (L), 波状文	57-2-34
SX01②・C4区・包含層2b	層上部	C4ベルト	直線把手基盤, 直線文 (LR), 波状文+2個1対の斜面文, 波状文	57-2-17	35	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線文 (L)	57-2-35
C5区・包含層2b	層中		直線把手基盤	57-2-18	36	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線把手基盤 (L), 波状文	57-2-36
18	SX01②・C4区・包含層2b	層中	深鉗・Vba 直線文 (LR), 波状文	57-2-19	37	SX01②・C4区・包含層2b	層下部	深鉗・Vb 直線把手基盤 (L), 波状文+斜面付→網代底→ヒガキ	57-2-37

第122図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層2b・層下部出土土器

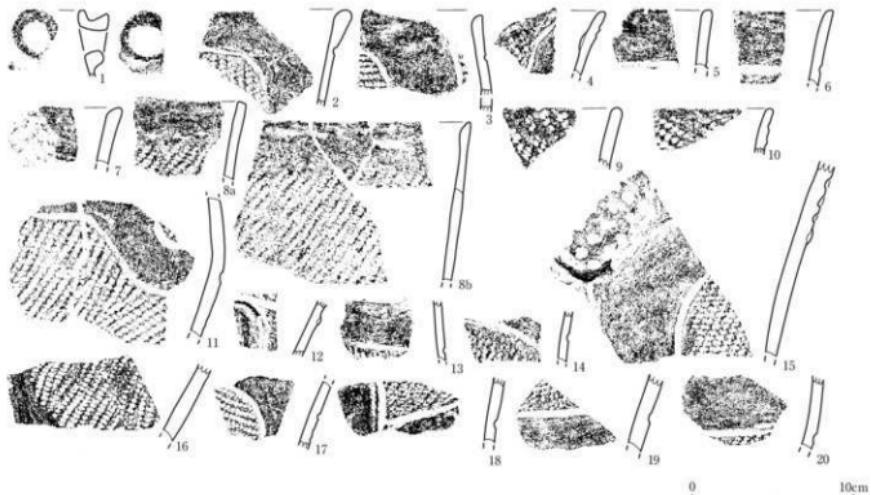


第123図 SX012南側遺物包含層・C4区・包含層2c層上面出土土器



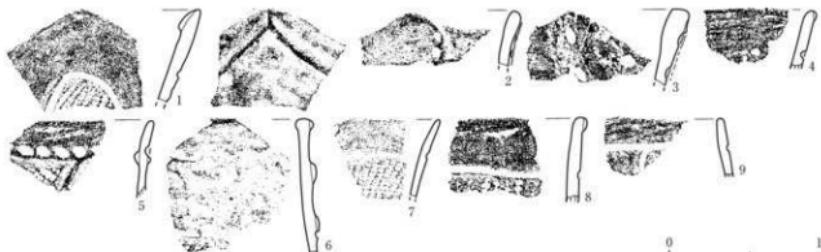
第124図 SX012南側遺物包含層・C4区・包含層2c層中・2d層上面出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4区・包含層2c層上面・C4区・西ペルト・層上面	深鉢・Vb	横縞把手基底・縦文 (HL)、輪轍文 + 2本1対の折目文、沈縫文	58-1-1	3	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	方別区割文+縦文 (HL)、輪轍文、沈縫文	58-1-3
2	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	輪轍把手・縦文	58-1-2					
3	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文	58-1-4	6	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文 (L), 沈縫文	58-1-11
4	SX01②・C4区・包含層2c層中	深鉢・Vb	縦文	58-1-5	9	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	横文、輪轍文、沈縫文	58-1-12
5	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	横文、縦文 (L)	58-1-6	10	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文 (L)	58-1-13
6	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	横文	58-1-7	11	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文	58-1-14
7	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	方別区割文・縦文 (L)	58-1-8	12	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	横文 (L), 沈縫文	58-1-15
					13	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文 (L)	58-1-16
					14	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文 (L), 沈縫文	58-1-17
					15	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	下端沈縫文+輪轍文	58-1-18
					16	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文 (L), 沈縫文	58-1-19
					17	SX01②・C4区・包含層2c層上面	深鉢・Vb	縦文 (L), 輪轍文+斜縫文	58-1-20



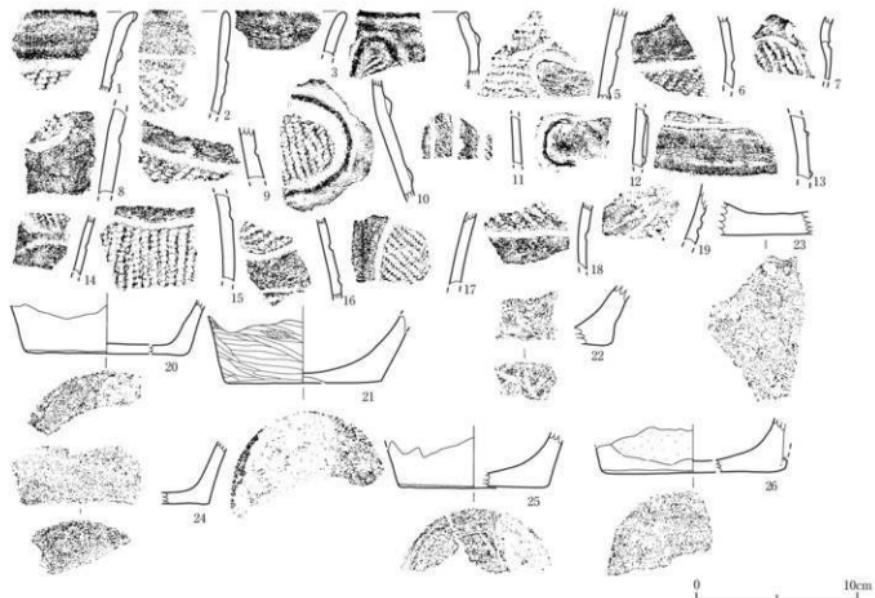
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b?	圓状把手の鉢	58-2-1	12	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	圓文(RL)、下唇北端文→ヒレ状隆起文、沈縫文	58-2-12
2	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	方形区画文(縦文)(RL)	58-2-2	13	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	横条文(RL)、沈縫文	58-2-13
3	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	側内方形区画文(縦文)(RL)	58-2-3	14	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	横条文(RL)、沈縫文	58-2-14
4	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文(RL)、沈縫文	58-2-4	15	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	圓文(RL)、下唇北端文→隆縫文、時突文	58-2-15
5	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	沈縫文	58-2-5	16	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	圓文(RL)、時突文	58-2-16
6	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文(RL)、沈縫文	58-2-6	17	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c?	圓文(RL)	58-2-17
7	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文	58-2-7	18	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文(RL)、沈縫文	58-2-18
Bub.	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文(RL)	58-2-8	19	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c?	圓文(RL)、沈縫文	58-2-19
9	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文(RL)	58-2-9	20	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	圓文(RL)、沈縫文	58-2-20
10	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢b	圓文(RL)	58-2-10					
11	SX01②・C4区・包含層2d層中	深鉢・鉢c	圓文(RL)、沈縫文	58-2-11					
				58-2-12					

第125図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層2d層中出土土器



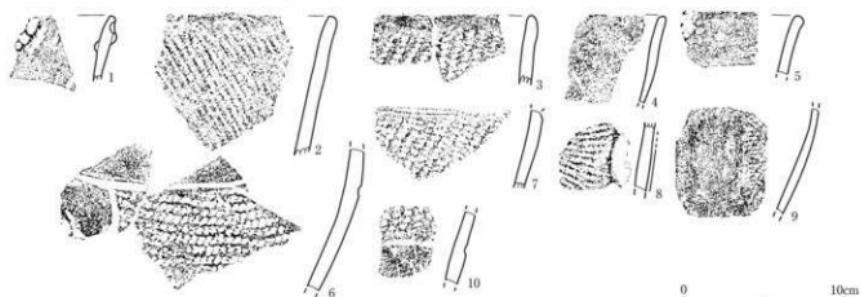
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢b	側内方形区画文(縦文)(RL)	58-3-1	6	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c?	圓文(RL)、沈縫文	58-3-6
2	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c	ヒレ状隆起文、時突文	58-3-2	7	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c?	圓文(RL)、沈縫文	58-3-7
3	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c	ヒレ状隆起文、時突文	58-3-3	8	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c?	圓文(RL)、沈縫文	58-3-8
4	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c	時突文	58-3-4	9	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c	横円形区画文(縦文)(RL)、沈縫文	58-3-9
5	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢b	側内方形区画文(縦文)(RL)、沈縫文	58-3-5					

第126図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層3a層上面出土土器 (1)



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢	縫文 (LRL)、縦縞文、直縞文	59-1-1	14	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢b	縦縞文 (LRL)、直縞文	59-1-14
2	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢	縫文 (LRL)、沈縞文	59-1-2	15	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢c	縫文 (LRL)、沈縞文	59-1-15
3	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢	縫文	59-1-3	16	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢d	縫文 (LRL)、沈縞文	59-1-16
4	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢e	X?	59-1-4	17	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢f	縫文 (LRL)、縦縞文	59-1-17
5	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢g	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-5	18	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢g	縫文 (LRL)、沈縞文	59-1-18
6	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢h	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-6	19	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢i	縫文 (LRL)、沈縞文	59-1-19
7	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢j	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-7	20	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢k	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-20
8	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢l	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-8	21	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢m	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-21
9	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢n	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-9	22	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢o	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-22
10	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢p	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-10	23	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢q	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-23
11	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢r	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-11	24	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢s	縫文; 上方き線状压痕	59-1-24
12	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢t	縫文 (LRL)、直縞文	59-1-12	25	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢u	縫文; 上方き線状压痕	59-1-25
13	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢v	縫文 (LRL)、直縞文、直縞文	59-1-13	26	SX01②・C4区・包含層3a層上面	深鉢・鉢w	外観: 二字、底面: 二方弓	59-1-26

第127図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層3a層上面出土土器(2)



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢	縫文 (LRL)、縦縞文・斜縞文	59-1-30	6	SX01②・C4区・包含層3a層中、C4 ベルト・包含層3a層中	深鉢・鉢x	縦縞文・縫文 (LRL)、沈縞文	59-1-31
2	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢	縫文 (LRL)	59-1-32	7	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢y	縫文 (LRL)	59-1-27
3	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢	縫文 (LRL)	59-1-33	8	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢z	縫文 (LRL)、縦縞文	59-1-36
4	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢	ケズリ・縫文 (LRL)	59-1-29	9	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢aa	縫文 (LRL)	59-1-34
5	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢	縫文	59-1-33	10	SX01②・C4区・包含層3a層中	深鉢・鉢bb	縫文 (LRL)、縦縞文	59-1-35

第128図 SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層3a層中出土土器

## (22) A3～B3北ベルト旧河道堆積層中出土土器 (第130図)

A3～B3北ベルトでは、A3北ベルトのすべてとB3北ベルトの西側約半分が、旧河道群の堆積層（第129図）であった。ここでは、A3～B3北ベルトの旧河道分をまとめて上から順に記述する。

### ①旧河道SX03堆積層中出土土器 (第130図1～8)

このうち1・2は上部堆積層、3～8が下部堆積層からの出土である。すべて深鉢形土器の小片である。3は口縁部が緩やかに内湾し、口縁部には平行沈線文が施されている。4は口頭部が短く外反する土器の頸胴部破片で、頸部には工字文と刺突文が施されている。5は口頭部が緩やかなS字状をなすもので平行沈線文が施されている。6は口縁部が緩やかに内湾している。7は幅の狭い羽状繩文が施されている。8は摩滅している。

### ②旧河道SX04堆積層上面・堆積層中出土土器 (第130図9～15)

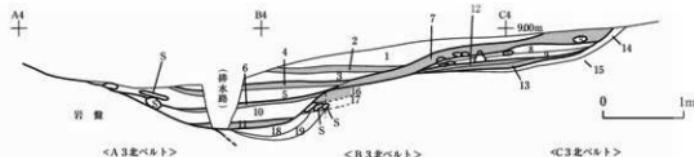
9は堆積層上面から出土した皿形土器である。内外面に赤漆が塗られている。10～15は堆積層中から出土した深鉢形土器である。10～13は口頭部が短く外反する器形である。10～12の頸部には1条の沈線文がめぐっている。胴部には幅の広い羽状繩文や斜行繩文が施されている。14は口縁部が緩やかに内湾するものである。幅の広い羽状繩文が施されている。15は口縁部がやや肥厚し、幅の狭い羽状繩文が施されている。

### ③旧河道SX23堆積層中出土土器 (第130図16～22)

16～22はすべて深鉢形土器の小片である。16は横走繩文が施されている。17は多条沈線文、18は継長の渦巻文、19は懸垂文が施されている。20は平行する2条の沈線による弧状文間に鎖状刺突文、21・22は隆線文によって文様が施され、21には集合沈線による弧状文が描かれている。

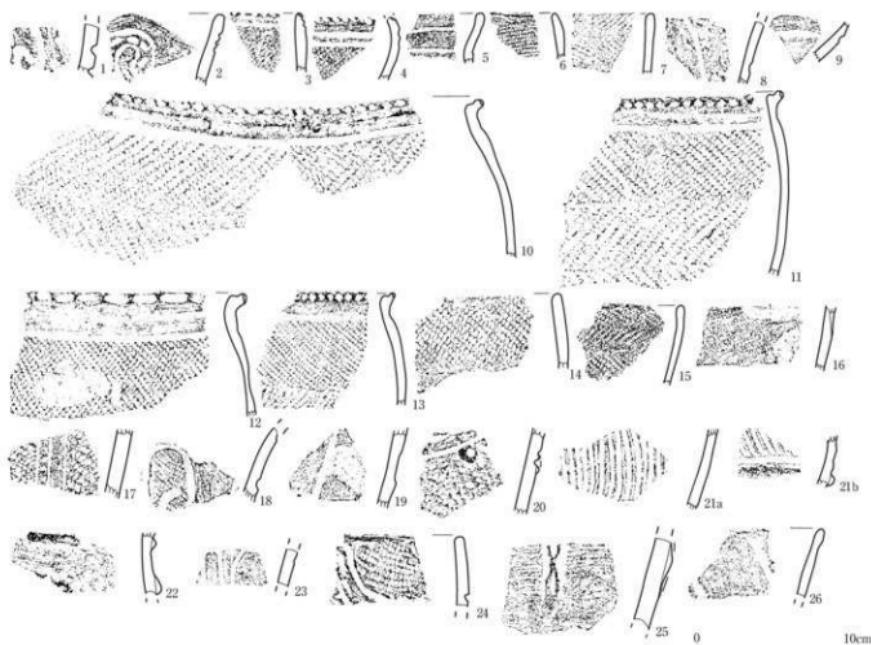
### ④旧河道SX24堆積層中出土土器 (第130図23～26)

23～26はすべて深鉢形土器の小片である。23は懸垂文、24は平行する2条の沈線による弧状文間に鎖状刺突文、25は鎖状隆線文が施されている。26は沈線文によって無文部が入組み状に展開する文様の一部が描出されている。



番号	土色	土性	遺物取上げ部位	標号	土色	土性	遺物取上げ部位	標号
1 オリーブ褐色(2.5Y4/6)	砂糖	田川道SX03A	5～10cmの層を多く含む。	11 黄褐色(2.5Y3/1)	粘土質シルト	旧河道SX24	灰化物を含む。	
2 黒褐色(10YR2/2)	粘土質シルト	田川道SX03A	木質・有機質を多く含む。	12 黄褐色(10YR2/1)	シルト	古土壤2層	灰化物を多く含む。	
3 オリーブ褐色(2.5Y4/4)	砂糖	田川道SX03B	5～30cmの層を多く含む。	13 黄褐色(10YR1.7/1)	シルト	古土壤2層	灰化物を多く含む。	
4 黑褐色(10YR1/1)	粘土質シルト	田川道SX03B	木質・有機質を多く含む。	14 青黄褐色(10YR4/2)	粘土	古土壤3層	灰化物を含む。ヤマフライ化	
5 緩オーピー褐色(2.5Y3/3)	砂糖	田川道SX04	グリーンした層を多く含む。	15 暗灰褐色(2.5Y4/2)	粘土	36層	灰化物を含む。	
6 黑褐色(10YR2/2)	粘土質シルト	田川道SX04	木質・有機質を多く含む。	16 黄褐色(10YR1.7/1)	粘土質シルト	(無遺物層)	木質・腐葉質に富む。	
7 黒色(10YR1.7/1)	シルト	古土壤2層	灰化物を多く含む。	17 オリーブ褐色(2.5Y4/4)	砂糖	(無遺物層)	小塊を多く含む。	
8 缓オーピー褐色(2.5Y3/3)	砂質シルト	古土壤2b層	灰化物を含む。	18 オリーブ褐色(2.5Y4/4)	砂糖	(無遺物層)	小塊を多く含む。	
9 オリーブ褐色(2.5Y4/3)	砂質シルト	古土壤2b-2層	灰化物を含む。	19 暗オーピー褐色(2.5Y4/2)	粘土	(無遺物層)	角礫を多く含む。	
10 黄褐色(2.5Y5/6)	砂糖	田川道SX23	大きな角礫を多く含む。					

第129図 A3～C3北ベルト断面



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河床SX03・B3北ベルト・上部堆積層中	深鉢・Vb	既存文 (R) → 堆積縫合文。沈継文	59-2-1	14	旧河床SX04・B3北ベルト・堆積層中	深鉢・I-d	既存縫合文 (RL/LR)。外側：黄化物付	59-2-14
2	旧河床SX03・B3北ベルト・上部堆積層中	深鉢・Vc	既存文 (R) → 既存文・縫合縫合文	59-2-2	15	旧河床SX04・B3北ベルト・堆積層中	深鉢・II-d	既存縫合文 (LR/RL)	59-2-15
3	旧河床SX03・A3北ベルト・下部堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・Ic	既存文 (LR)、沈継文、廢棄	59-2-3	16	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・II-d	既存文 (LR)、外側：黄化物堆積	59-2-16
4	旧河床SX03・A3北ベルト・下部堆積層 (Sec.1層) 中	工字文+斜突文、縫文 (LR)、沈 継文、廢棄	59-2-4	17	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Nc1	既存文 (LR)、多条沈継文、外側： 既存縫合縫合文	59-2-17	
5	旧河床SX03・A3北ベルト・下部堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・I-f	平行沈継文	59-2-5	18	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vb	既存文 (LR)、沈継文、外側：黃化 物堆積	59-2-18
6	旧河床SX03・A3北ベルト・下部堆積層 (Sec.1層) 中	深鉢・I-d	既存文 (LR)	59-2-6	19	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vb	既存文 (LR) → 堆積文/沈継文	59-2-19
7	旧河床SX03・A3北ベルト・下部堆積層中	深鉢・I-d	既存縫文 (RL/LR)	59-2-7	20	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vc	既存文・既文 (LR)、既存文、廢棄 縫合文、ガターン状粘付文	59-2-20
8	旧河床SX03・A3北ベルト・下部堆積層中	深鉢・Vb	既存文 (LR) → 堆積文/既存文	59-2-8	21a,b	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vba	集合既存文	59-2-21
9	旧河床SX04・B3北ベルト・堆積層上部 図-I	内凹面・底邊、沈継文	59-2-9	22	旧河床SX23・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vba	既存縫合+斜突文	59-2-22	
10	旧河床SX04・B3Eベルト・堆積層中、旧河 床SX03・86E-2・下部堆積層 (沿砂面) 中	深鉢・Ib	既存縫文 (LR-PL)、沈継文、外側： 既化物付	59-2-10	23	旧河床SX24・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Nc1	既存文 (R) → 堆積文/沈継文	59-2-23
11	旧河床SX04・B3北ベルト・堆積層中	深鉢・Ib	既存縫文 (RL/LR)、沈継文、外側： 既化物付	59-2-11	24	旧河床SX24・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vc	既存文 (LR) → 堆積文/沈継文、廢 棄縫合文	59-2-24
12	旧河床SX04・B3北ベルト・堆積層中	深鉢・Ib	既存縫文 (RL/LR)、外側：黃化 物付	59-2-12	25	旧河床SX24・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vla	既存文 (R) → 堆積縫合文+既存 縫合文	59-2-25
13	旧河床SX04・B3北ベルト・堆積層中	深鉢・Ib	既存縫文 (RL/LR)、外側：黃化 物付	59-2-13	26	旧河床SX24・B3Eベルト・堆積層中	深鉢・Vlc	沈継文	59-2-26

第130図 旧河道SX03・04・23・24・A3~B3北ベルト・堆積層中出土土器

### (23) SX01②南側遺物包含層B3北ベルト出土土器（第131～138図）

B3北ベルトの東側では、SX01②南側遺物包含層が堆積しており、包含層1層（旧河道SX03堆積層）、2a層、2b①層、2b②層、2c層、2d層、3a層に分層（第129図）された。このうち、包含層1層は旧河道SX03堆積層である。このうち、2b①層は水の影響を受けた砂質シルト層であり、2b②層は水成堆積の砂疊層である。

#### ①包含層1層（旧河道SX03堆積層）中出土土器（第131図1）

1は球胴状を呈する壺形土器である。胴部は無文である。

#### ②包含層2a層上面出土土器（第131図2～4）

2～4は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。2は口縁部がやや肥厚している。2・4は幅の狭い羽状繩文、3は横位斜行繩文が施されている。

#### ③包含層2a層中出土土器（第131図5～9）

5～9はすべて深鉢形土器である。5は入組帶状文が描出されている。6～8は地文のみが施されている。9は弧状をなす沈線文と鎖状刺突文が施されている。

#### ④包含層2a層中～b層上面確認時出土土器（第131図10～16）

B3～C3北ベルトでまとめて取り上げられている。包含層2b層上面確認作業時に出土した土器である。10～12は口縁部がやや内湾する器形で、10・11は斜行繩文、12は細い撚糸文が施されている。16は入組帶状文が描出され、貼瘤が付されている。

#### ⑤包含層2b①層上面出土土器（第131図17～23）

いずれも深鉢形土器である。17～20は幅の狭い羽状繩文が施されている。21は撚糸文が縱走し、22は櫛描文が縦位に施されている。23は弧状の沈線文と繩文が施されている。

#### ⑥包含層2b①層中～②層上面確認時出土土器（第131図24～30）

B3～C3北ベルトでまとめて取り上げられている。包含層2b②層上面確認作業時に出土した土器である。すべて深鉢形土器である。24は口縁部がゆるやかに外反する器形で、同心円状の文様が描出されている。25は口縁部に横回転、胴部に縱回転の繩文が施されている。26～30は隆線や沈線によって文様が施される土器である。30は大型の環状把手に橋状部が設けられ、隆線文によって装飾が施されている。隆線文の交点部分にはボタン状貼付文が付されている。

#### ⑦包含層2b②層中出土土器（第132図）

すべて深鉢形土器である。1はやや肥厚する口縁部は緩やかに内湾する。幅の狭い斜行繩文が施されている。2は口縁部が内湾し、横走繩文が施されている。3・4は底部である。3の底面には、籠目編みの網代の圧痕が残されている。片側にのみ粘土が積み増され、積み増した部分にも網代の痕跡が残されている。4は2本越2本潜の網代底である。5は大型の環状把手に橋状部が設けられ、隆線によって装飾が施されている。把手の下には緩やかな渦巻状の文様が隆線によって描出されている。隆線上には2個1対の刻目文が隆線の方向に付されている。6～9は隆線や沈線によって文様が描かれる土器である。6には鎖状刺突文が施されている。

⑧包含層2c層上面出土土器（第133図）

すべて深鉢形土器である。1・2は方形区画文の一部である。1は山形状の小突起から懸垂する隆線を区画としている。隆線上には斜位の刻目文が連続して施されている。2は鎖状隆線文がやや斜め方向に展開している。3の鎖状隆線文は横位に付されている。4～8は口縁部に地文のみが施される土器である。9・10は胴部の方形区画文である。13～19が隆線や沈線によって文様が施される土器である。13は隆線の区画内に刺突文が充填されている。19は横位波濤文の一部である。11・12は地文のみの土器である。12は網代底、20は木葉底となっている。

⑨包含層2c層中出土土器（第134図）

すべて深鉢形土器である。1～6は隆線や沈線によって文様が施される土器である。5・6には隆線に沿って、列点状に刺突文が施されている。

⑩包含層2d層上面出土土器（第135図）

すべて深鉢形土器である。1・2は口縁部がわずかに内湾する器形である。2は横走縄文が施されている。3～6が胴下部の土器である。底面にはすべて1本越2本潜の網代の痕跡が残されている。

⑪包含層2d層中出土土器（第136図）

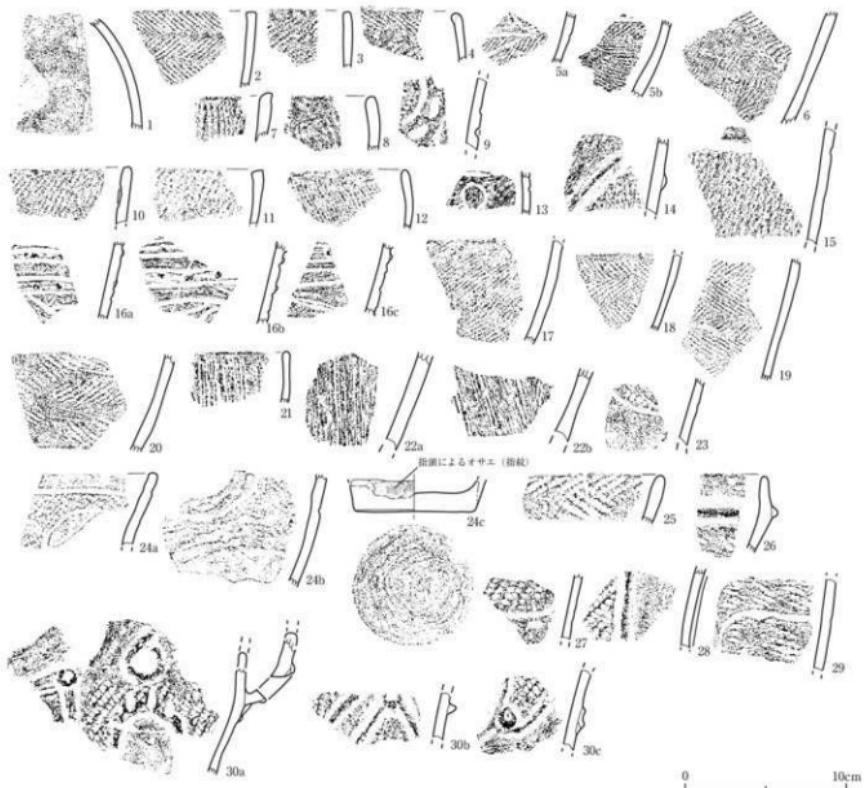
すべて深鉢形土器である。1～10は隆線や沈線によって文様が施される土器である。1は環状把手の波頂部にヒレ状隆線文を付している。口縁部には隆線に沿って列点状に刺突文がめぐっている。2・3は方形区画文の一部で、2の口縁部には隆線に沿って列点状の刺突文、3はヒレ状隆線文が施されている。4～8はいずれも幅の広い無文帯が口縁部に設けられている。9・10は胴部で、9はヒレ状隆線文、10は隆線に沿って列点状の刺突文が施されている。11～14は底部で、11・12の底面には木葉の圧痕が残されている。13・14の底面はミガキやナデ調整が施されている。

⑫包含層3a上面出土土器（第137図・第138図1～6）

すべて口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。第137図1は口縁部に無文帯が設けられ、以下太い撚糸文（LR）が縦位に施文されている。2は方形区画文が沈線文によって描出されている。3～5は口縁部の無文帯を画する横位沈線文がめぐっている。6は無文帯と縄文のみとなっている。第137図7～9・第138図3～5が沈線、第137図10・第138図6が隆線によって文様が施されている。第138図1・2は口縁部に無文帯が設けられ、無文帯を画する横位沈線文がめぐっている。地文には1が細い撚糸文（R）、2が太い撚糸文（R）が縦位に施文されている。

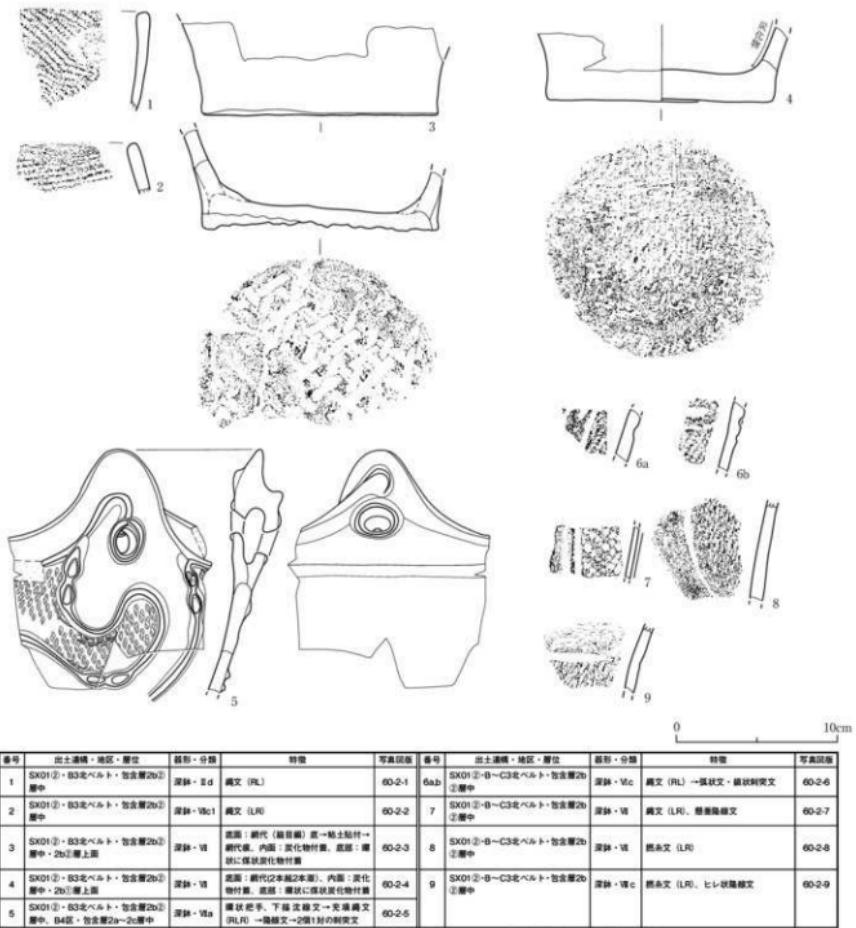
⑬包含層3a層中出土土器（第138図7・8）

すべて深鉢形土器である。7は口縁部が緩やかに内湾する。弧状をなす沈線文が描かれている。8は隆線、沈線によって文様が施されている。



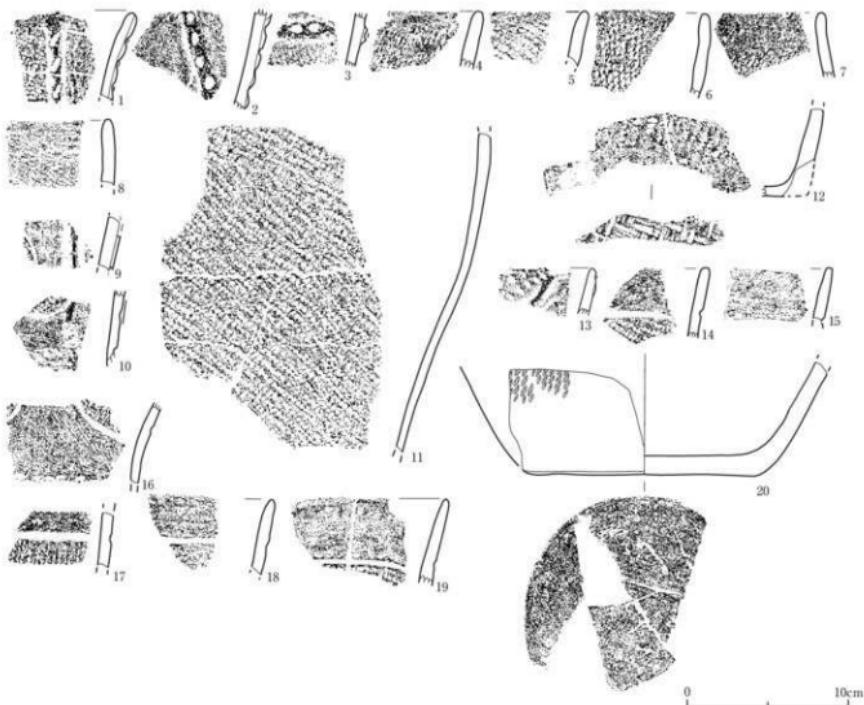
番号	出土場所・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版		出土場所・地区・層位	基形・分類	特徴	可視回数
				番号	説明				
1	河底(SX01②) 中	基形・I	縦文	60-1-1	SX01②・B3北ベルト・包含層1層(①) C4K・包含層2b①層上 c	60-1-16	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	入母屋状文(縦文)(LR)、縦付、沈 縦文	60-1-16
2	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層上	基形・I	縦状横文(LR/LR)	60-1-2	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-17	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)、外面:質化物付書	60-1-17
3	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層上	基形・I	縦文(LR)	60-1-3	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-18	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR/LR)	60-1-18
4	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層上	基形・I	縦状横文(LR/LR)	60-1-4	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-19	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR/LR)	60-1-19
5ab	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層中	基形・I	縦状横文(LR)	60-1-5	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-20	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR/LR)	60-1-20
6	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層中	基形・I	縦文(LR)、外面:質化物付書	60-1-6	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-21	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)	60-1-21
7	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層中	基形・I	縦文(LR)	60-1-7	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-22	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)	60-1-22
8	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層中	基形・I	縦文(LR)	60-1-8	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-23	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)→鉛文	60-1-23
9	SX01②・B3北ベルト・包含層2a層中	基形・Vc	縦文(LR)→弧状文・縦状横文、 沈縦文	60-1-9	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-24	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)→弓状文(沈縦文、 縦付)、V字形、粘土の積み上げ部 に埋没	60-1-24
10	層中-1層上層イカク	基形・I	縦文(LR)、外面:質化物付書	60-1-10	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-25	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)→縦縫付、横縫板、縫 縫文	60-1-25
11	層中-1層上層イカク	基形・I	縦文(LR)	60-1-11	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-26	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)、鰐縫文、沈縦文	60-1-26
12	層中-1層上層イカク	基形・I	縦文(LR)	60-1-12	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-27	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)→C3段多溝、沈縦文、斜 縫文	60-1-27
13	層中-1層上層イカク	基形・I	縦文(LR)、沈縦文	60-1-13	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-28	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦縫縫文(縦縫文)→縫縫縫文、 縫縫縫文、沈縦文	60-1-28
14	層中-1層上層イカク	基形・Vb	縦文(LR)、縫縫縫文、沈縦文	60-1-14	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-29	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縦文(LR)→一定縫縫文	60-1-29
15	層中-1層上層イカク	基形・Vb	縦文(LR)、沈縦文	60-1-15	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	60-1-30a	SX01②・B3北ベルト・包含層2b①層上 c	縫縫把手、ボタン状縫縫文、縫縫 縫縫文+斜縫文、沈縦文	60-1-30

第131図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層1層中～2b②層上面出土土器



第132図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2b層中出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	可収容版
1	SX01②・B3北ベルト・包含層2b② 層中	深鉢・Ed	織文 (LR)	60-2-1	6ab	SX01②-B-C3北ベルト・包含層2b ②層中	深鉢・Vdc	織文 (PL) →弧状文・織紋刺織文	60-2-6
2	SX01②・B3北ベルト・包含層2b② 層中	深鉢・Vdc1	織文 (LR)	60-2-2	7	SX01②-B-C3北ベルト・包含層2b ②層中	深鉢・Vd	織文 (LR)、織目縞織文	60-2-7
3	SX01②・B3北ベルト・包含層2b② 層中・2b①層上部	深鉢・Vd	織文・網代 (最目縞) 織→粘土粘付→網代文。内面:変化物竹刷、底面:織目縞に保証質化竹刷	60-2-3	8	SX01②-B-C3北ベルト・包含層2b ②層中	深鉢・Vd	織文 (LR)	60-2-8
4	SX01②・B3北ベルト・包含層2b② 層中・2b①層上部	深鉢・Vd	織文・網代 (最目縞)、内面:変化物竹刷、底面:織目縞に保証質化竹刷	60-2-4	9	SX01②-B-C3北ベルト・包含層2b ②層中	深鉢・Vdc	織文 (LR)、ヒレ状隆起文	60-2-9
5	SX01②・B3北ベルト・包含層2b② 層中、B4区・包含層2a-2c層中	織目縞手、下部:改織文→充満織文 (LR) →複織文→2倍1対の斜め文	60-2-5						



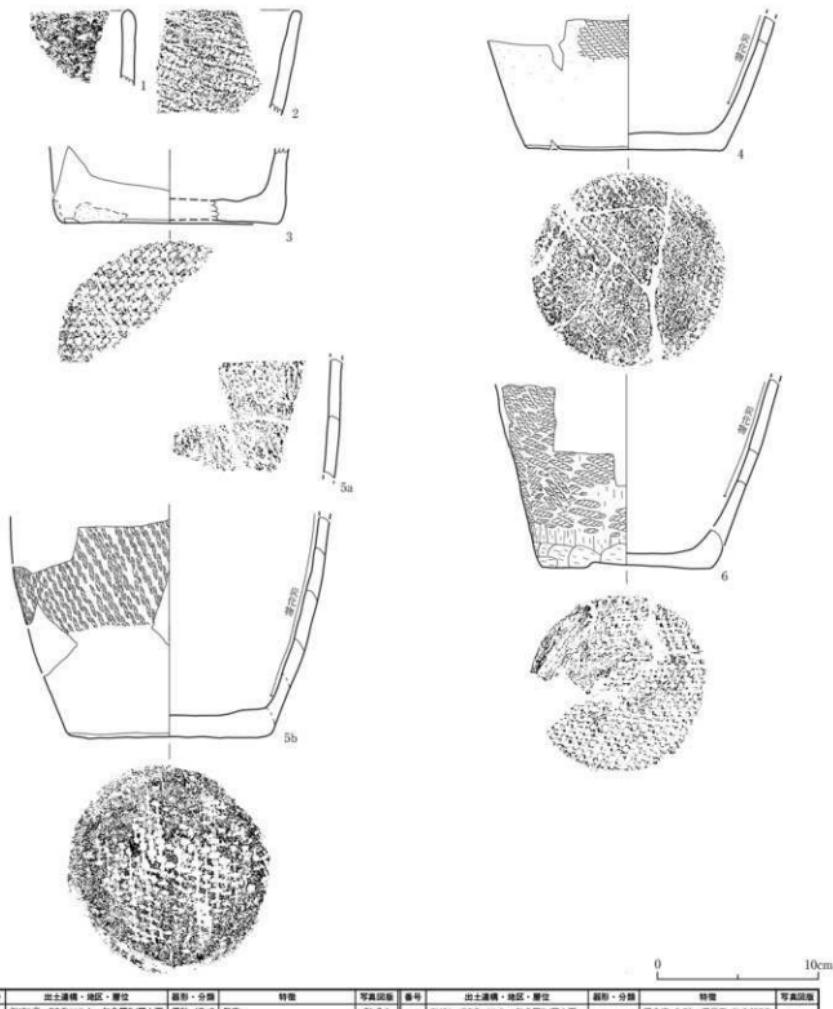
番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	寄主回数	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	寄主回数
1	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	方形区画文(縦文)(R), 縞縫文+斜目文、沈縫文	60-3-1	11	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)	60-3-11
2	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞縫文、斜目文、沈縫文	60-3-2	12	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(R), 内面: 変化型竹苞文、斜目文(4段目4半道)	60-3-12
3	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	斜目文(R), 縞縫文、斜目文	60-3-3	13	SX01②・B-C3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文、斜目文、斜縫文	60-3-13
4	SX01②・B-C3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)	60-3-4	14	SX01②・B-C3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)、沈縫文	60-3-14
5	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)	60-3-5	15	SX01②・B-C3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)	60-3-15
6	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)	60-3-6	16	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文、斜目文、斜縫文	60-3-16
7	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)	60-3-7	17	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)、沈縫文	60-3-17
8	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)-Q段多集	60-3-8	18	SX01②・B-C3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)、沈縫文	60-3-18
9	SX01②・B-C3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	方形区画文(縦文)(LR)、縞縫文、沈縫文	60-3-9	19	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(縦文)(LR)、沈縫文	60-3-19
10	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(LR)、縞縫文、沈縫文	60-3-10	20	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vb7	縞文(R)、木葉文→2号火	60-3-20

第133図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2c層上面出土土器



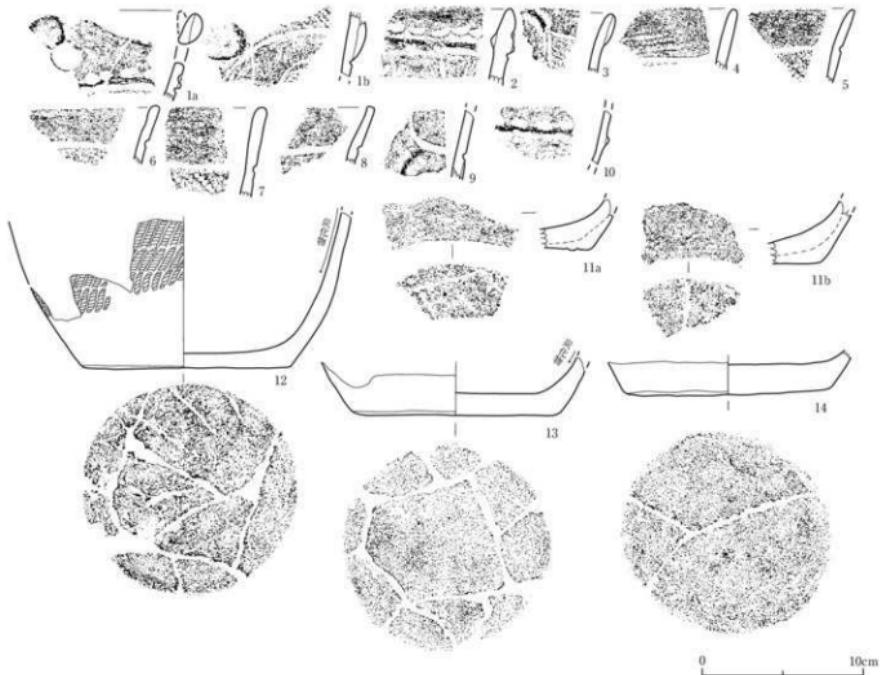
番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	寄主回数	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	寄主回数
1	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb7	縞文(R), 沈縫文	61-1-1	4	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb7	沈縫文	61-1-4
2	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb7	縞文(R), 縞縫文、沈縫文	61-1-2	5	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb7	縞文(R), 縞縫文、斜目文	61-1-5
3	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb7	縞文(R), 縞縫文、沈縫文	61-1-3	6a	SX01②・B3北ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vb7	方形区画文(縦文)(LR)、縞縫文、斜目文、沈縫文	61-1-6

第134図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2c層中出土土器



第135図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2d層上面出土土器

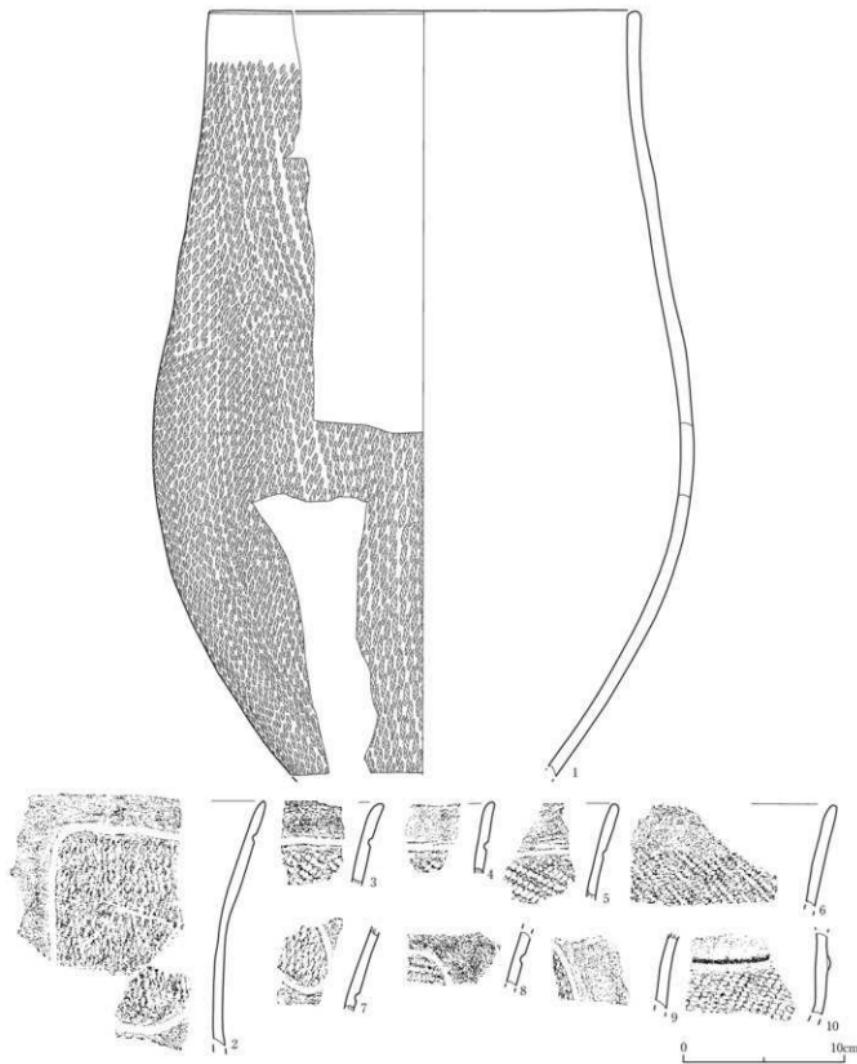
番号	出土場所・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数	番号	出土場所・地区・層位	断面・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層上面	深鉢・浅中	斬突	61-2-1	5a	SX01・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層上面	深鉢・浅	斬突 (L.R.)	61-2-5
2	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層上面	深鉢・浅中	斬突	61-2-2	5b	SX01・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層上面	深鉢・浅	斬突 (L.R.)	61-2-6
3	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層上面	深鉢・浅中	底面：時代窓(1本縫2本縫)	61-2-3	6	SX01・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層上面	深鉢・浅	時代窓(1本縫2本縫)・内面：質化物付裏、底部：織状に様	61-2-4
4	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層中	深鉢・浅	底面：時代窓(1本縫2本縫)・内面：質化物付裏、底部：織状に様	61-2-4	7	SX01・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層上面	深鉢・浅	時代窓(1本縫2本縫)・内面：質化物付裏、底部：織状に様	61-2-5
5	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層中	深鉢・浅	底面：時代窓(1本縫2本縫)・内面：質化物付裏、底部：織状に様	61-2-6	8	SX01・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層中	深鉢・浅	時代窓(1本縫2本縫)・内面：質化物付裏、底部：織状に様	61-2-7
9	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層上面・2d層中	深鉢・浅	底面：時代窓(1本縫2本縫)・内面：質化物付裏、底部：織状に様	61-2-8					



0 10cm

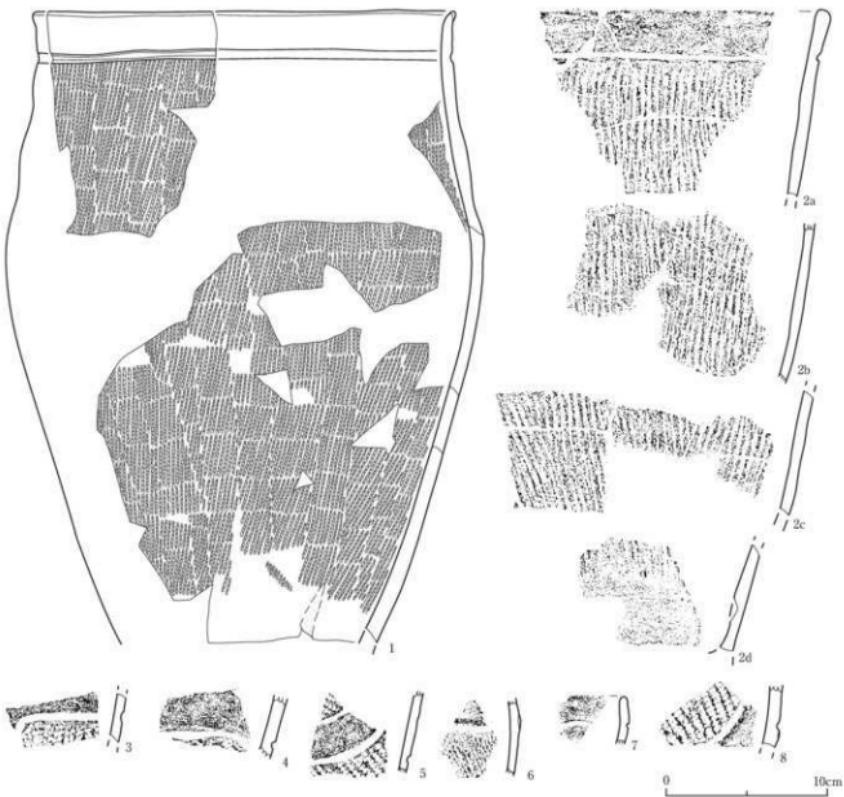
番号	出土場所・地区・層位	断面・分類	特徴	可食回復	番号	出土場所・地区・層位	断面・分類	特徴	可食回復
1a,b	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複d	環状把手・横縫、縄文(LR)、施錆文、斜削文、ヒレ状錆縫、沈錆文	61-3-1	9	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複c	ヒレ状錆縫文、沈錆文	61-3-9
2	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複c	方形凹溝文(横糸文)(LR)、施錆文、斜削文、沈錆文	61-3-2	10	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複c	横文(汎用)、施錆文、沈錆文、斜削文	61-3-10
3	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複c	方形凹溝文(横文)(LR)、ヒレ状錆縫文、沈錆文	61-3-3	11a,b	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複	底面:木葉模	61-3-11
4	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複a1	沈錆文	61-3-4	12	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複	底面:木葉底→ミガキ、内面:漆化物付属、底部:漆状施化物付属	61-3-12
5	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複a1	縄文(LR)、沈錆文	61-3-5					
6	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複a1	縄文(LR)、沈錆文	61-3-6	13	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中・2d層上部	深鉢・複	底面:ケズリ→ミガキ、内面:漆化物付属、底部:全体に漆状施化物付属	61-3-13
7	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複a1	縄文(LR)、沈錆文	61-3-7	14	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中・2d層上部	深鉢・複	底面:ナラ、底部:全体に漆状施化物付属	61-3-14
8	SX01②・B3北ベルト・包含層2d層中	深鉢・複a1	縄文(LR)、沈錆文	61-3-8					

第136図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2d層中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可収回数
1	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面、C3北ベルト・包含層3a層上面、B4区・包含層2a層中・2a層上面、B3区・包含層2a層中・C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V形2	底面文 (LR)	62-1-1	4	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文 (LR), 沈底文	62-1-4
					5	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文 (LR), 沈底文	62-1-5
					6	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文 (LR)	62-1-6
2	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面、C4北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V形2	方形区画文 (底面文 (LR), 沈底文)	62-1-2	7	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文? / 異系文 (LR), 沈底文	62-1-7
					8	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文? / 沈底文 (LR)	62-1-8
3	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文 (LR), 沈底文	62-1-3	9	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文? / 異系文 (LR), 沈底文	62-1-9
					10	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	底面文 (HLR-GIR多見), 沈底文	62-1-10

第137図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層3a層上面出土土器（1）



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可真回復	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可真回復
1	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面・2d層中、BS区・包含層2c層上面、C4西ベルト・包含層2c層上面・2d層中、BA区・包含層2c層中	深鉢・V形1	撲示文 (R)、沈継文、縦条目押彫文	63-1-1	5	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形	撲示文 (LR)、沈継文	63-1-5
2a-b	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面、C3北ベルト・包含層3a層上面・包含層2c層中	深鉢・V形1	撲示文 (R)、沈継文	63-1-2	6	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形	撲示文 (LR)、縦条文	63-1-6
3	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	波浪文、横文 (PLR)、沈継文	63-1-3	7	SX01②・B-C3ベルト・包含層3a層中	深鉢・K形2	沈継文、内面・包含層3a層中	63-1-7
4	SX01②・B3北ベルト・包含層3a層上面	深鉢・V形2	波浪文 (R)、LRL ?, 沈継文	63-1-4	8	SX01②・B-C3ベルト・包含層3a層中	深鉢・K形2	撲示文、沈継文	63-1-8

第138図 SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層3a層上面（2）・3a層中出土土器

#### (24) SX01②南側遺物包含層C3北ベルト出土土器 (第139~143図)

C3北ベルトでは、SX01②南側遺物包含層は包含層1層（旧河道SX03堆積層）、2a層、2b①層、2b②層、2c~2d層、3a層に分層（第129図）された。下部の黒色土層は薄くなっている。

##### ①包含層2a層上面出土土器 (第139図1)

1は口縁部が内湾する深鉢形土器である。幅の広い羽状繩文が施されている。

##### ②包含層2a層中出土土器 (第139図2~9)

すべて深鉢形土器である。2は胴部に植物茎による擬繩文が施されている。胎土には海綿状骨針が含まれている。3~5は口縁部が緩やかに内湾する器形である。幅の狭い羽状繩文が施されている。6・8は沈線文が施され、磨消繩文となっている。7は口縁部に幅の狭い無文帯があり、以下にごく細い撚糸文が縱位に施されている。9は環状把手の基部にあたり隆線と沈線によって文様が施されている。隆線に直交する2個1対の刻目文が施されている。

##### ③包含層2b①層上面出土土器 (第140図)

すべて深鉢形土器である。1は胴中位に緩やかなくびれ部があり、口縁部が外傾する器形である。口縁部には突起が付されている。胴上部には平行沈線文と凸レンズ状文が描出され、間隔を置いて交互にミガキが加えられている。貼瘤が2帯にわたって付されている。胴下部には梢円形状の文様が描かれ、胴上部と同じく間隔を置いてミガキが加えられている。交点部分に貼瘤が付されている。2は口縁部が緩やかに内湾する無文土器である。3は底面に低い台部が付いている。4は幅の狭い斜行繩文がやや横位に施されている。

##### ④包含層2b①層中出土土器 (第141図1~6)

1・2は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い斜行繩文が施されている。3は低い台の付く底部である。4は口縁部が内湾する鉢形土器である。平行沈線文が施され、交互にミガキが加えられている。5・6は隆線や沈線によって文様が構成される土器である。

##### ⑤包含層2b②層上面出土土器 (第141図7~10)

すべて深鉢形土器である。7は口縁部が緩やかに内湾する器形である。口縁部には横回転、以下縱回転の斜行繩文が施されている。2は口縁部が外傾する方形区画文が施された土器である。

##### ⑥包含層2c~d層中出土土器 (第142図)

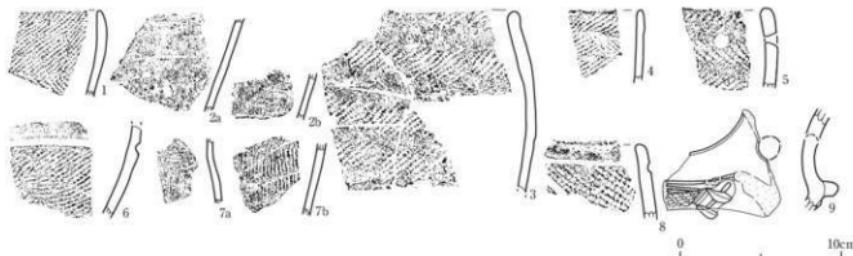
すべて深鉢形土器である。1・2は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。1は口縁部に幅の広い無文帯が設けられ、横位沈線文がめぐっている。2はヒレ状隆線文が付されている。3は口縁部が緩やかに内湾する器形である。斜行繩文が施されている。

##### ⑦包含層3a層上面出土土器 (第143図1~5)

すべて深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに内湾する。沈線文と刺突文が連続して施されている。2~5は隆線や沈線によって文様が施される土器である。

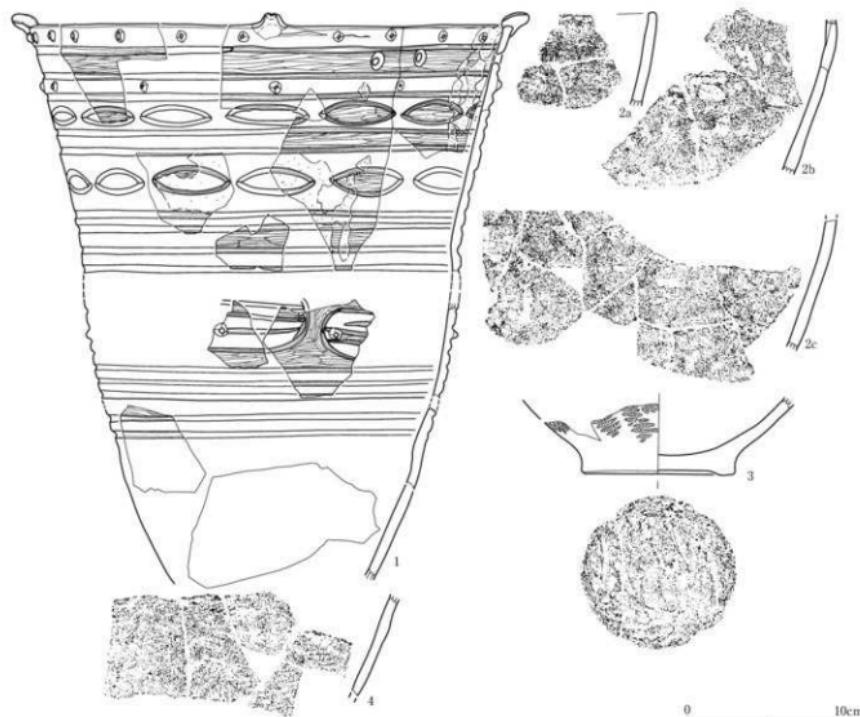
##### ⑧包含層3a層中出土土器 (第143図6~8)

すべて深鉢形土器である。1は斜行繩文が施されている。2・3は無文帯が隆線で浮線状に作られている。2は2列の刺突文が施されている。



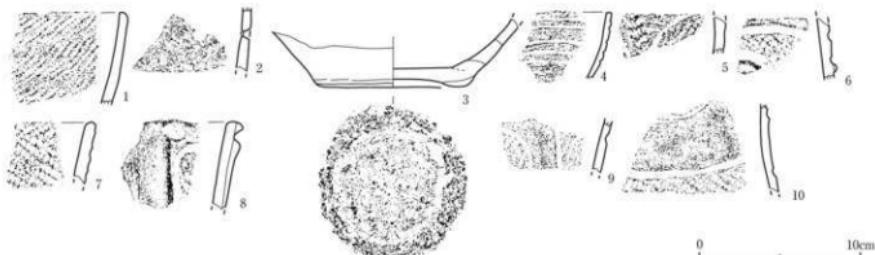
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層上面	深鉢・1d	波状縞文 (LR/LR), 海綿状骨針	63-2-1	6	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中	深鉢・3a?	縞文 (LR), 海綿文	63-2-6
2a,b	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中・2a層上面	深鉢・1	縞文, 海綿状骨針	63-2-2	7a,b	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中	深鉢・5c4	縞文 (内)	63-2-7
3	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中・2a層上面	深鉢・1d	縞文 (LR)	63-2-3	8	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中	深鉢・V12	縞文 (LR), 海綿文	63-2-8
4	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中	波状縞文 (R/L)	63-2-4	9	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中	深鉢・1a2	縞状把手, 縞文 (LR), 海綿文 + 2a層の刻目文, 海綿文	63-2-9	
5	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層中	深鉢・1d	波状縞文 (R/L), 植物孔	63-2-5					

第139図 SX01②南側遺物包含層・C3北ベルト・包含層2a層上面・2a層中出土土器



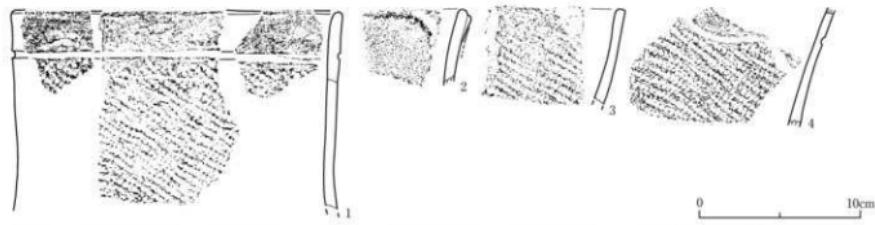
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層上面	深鉢・1d	凸レンズ状文/波状縞文・ミガキ, 異材, 植物孔, ハバシケ	64-1-1	3	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層上面, C3北ベルト・包含層2a層中	深鉢・3	縞状縞文 (LR/LR), 斜面・台付, ミガキ	64-1-3
2a-c	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層上面, C3北ベルト・包含層2a層上面	深鉢・1d	縞文	64-1-2	4	SX01②・C3北ベルト・包含層2a層上面	深鉢・3	縞文 (LR・一部擦りほげ)	64-1-4

第140図 SX01②南側遺物包含層・C3北ベルト・包含層2b①層上面出土土器



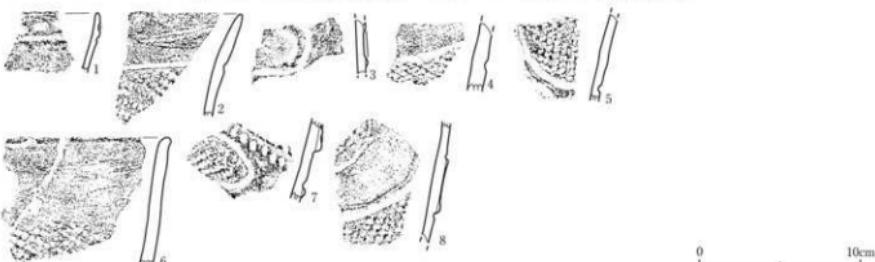
番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C3北ベルト・包含層2b①層中	深鉗・E-d	両刃文 (LR)	64-2-1	6	SX01②・C3北ベルト・包含層2b①層中	深鉗・V-b	両刃文、双刃文	64-2-6
2	SX01②・C3北ベルト・包含層2b①層中	深鉗・E-d	両刃文 (LR)、螺旋孔	64-2-2	7	SX01②・C3北ベルト・包含層2b②層上面	深鉗・V-c	両刃文 (LR)、螺旋孔、螺旋柄	64-2-7
3	SX01②・C3北ベルト・包含層2b②層中	深鉗・E	底面・合背・ミガキ、内面・菱形格子状	64-2-3	8	SX01②・C3北ベルト・包含層2b②層上面	深鉗・V-b	方形区画文/両刃文 (LR)、螺旋文	64-2-8
4	SX01②・C3北ベルト・包含層2b①層中	鉈・E	両刃文 (LR)、平行玄関文、交叉ミガキ	64-2-4	9	SX01②・C3北ベルト・包含層2b②層上面	深鉗・V-b	両刃文 + 刻目文、双刃文	64-2-9
5	SX01②・C3北ベルト・包含層2b①層中	深鉗・V-b	両刃文 (LR)、O字多角形 - 槌打文	64-2-5	10	SX01②・C3北ベルト・包含層2b②層上面	深鉗・V-b	両刃文 (LR)、双刃文	64-2-10

第141図 SX01②南側遺物包含層・C3北ベルト・包含層2b①層中・2b②層上面出土土器



番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C3北ベルト・包含層2c~d層中 C4西ベルト・包含層2c層中	深鉗・V-b	両刃文 (LR)、双刃文	64-3-1	3	SX01②・C3北ベルト・包含層2c~d層中	深鉗・V-b	両刃文 (LR)	64-3-3
2	SX01②・C3北ベルト・包含層2c~d層中	深鉗・V-c	ヒレ状陰線文、双刃文	64-3-2	4	SX01②・C3北ベルト・包含層2c~d層中	深鉗・V-b	両刃文 (LR)、双刃文	64-3-4

第142図 SX01②南側遺物包含層・C3北ベルト・包含層2c~d層中出土土器



番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層上面	深鉗・V-c	双刃文、刻目文	64-4-1	5	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層上面	深鉗・V-c	両刃文 (LR)のO字多角形、双刃文	64-4-5
2	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層上面	深鉗・V-b	両刃文 (LR)、双刃文	64-4-2	6	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層中	深鉗・V-b	両刃文 (LR)	64-4-6
3	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層上面	深鉗・V-c	ヒレ状陰線文、双刃文	64-4-3	7	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層中	深鉗・V-c	両刃文 + 刻目文、双刃文	64-4-7
4	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層上面	深鉗・V-c	両刃文 (LR)、O字多角形、双刃文	64-4-4	8	SX01②・C3北ベルト・包含層3a層中	深鉗・V-c	両刃文 ? / 両刃文 (LR)、双刃文、双刃文	64-4-8

第143図 SX01②南側遺物包含層・C3北ベルト・包含層3a層上面・3a層中出土土器

(25) SX01③北西側遺物包含層A3区出土土器 (第144図)

A3区は、岩盤がせり出し、旧河道群が大きく流路を変える部分にあたっており、薄い包含層が確認されたに過ぎない。

①包含層1層（旧河道堆積層）中出土土器（第144図1～3）

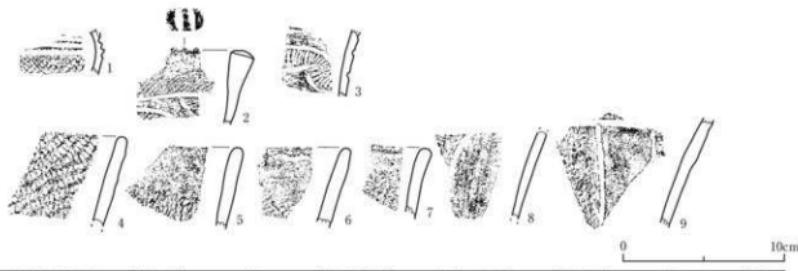
包含層1層は砂礫層で細別は行っていない。1は口頸部が短く外反する深鉢形土器の頸部である。

内湾部分に平行沈線文が施されている。2・3は入組帶状文が施された深鉢形土器である。

②SX01③北西側遺物包含層Ⅱ層中出土土器（第144図4～9）

A3区の南側、包含層1層の砂礫層下で、黒色土層が検出された。SX01③北西側遺物包含層Ⅱ層の延びの一部で、細別は行わずにまとめて取り上げている。

4～9はすべて深鉢形土器である。4は口縁部が緩やかに内湾する器形で、口縁部分の縄文の回転方向を若干変えたものである。5～9は口縁部が緩やかに外反する器形である。口縁部には無文帯が設けられている。8・9は方形区画文の一部が施されている。



番号	出土場所・地層・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地層・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	旧河道・A3E・包含層I層（堆積層）中	深鉢・1a 縄文（LR）、沈線文		65-1-1	6	SX01③・A3E・包含層Ⅱ層中	深鉢・1b&2 縄文（LR）		65-1-6
2	旧河道・A3E・包含層I層（堆積層）中	深鉢・1a 人面帯状文/縄文（LR）、沈線文		65-1-2	7	SX01③・A3E・包含層Ⅱ層中	深鉢・1b&2 縄文（LR-O段多集）		65-1-7
3	旧河道・A3E・包含層I層（堆積層）中	深鉢・1?・人面帯状文/縄線刻文（刻痕不規則）、沈線文		65-1-3	8	SX01③・A3E・包含層Ⅱ層中	深鉢・1c・1 方形区画文/縄文（LR-O段多集）		65-1-8
4	SX01③・A3E・包含層Ⅱ層中	深鉢・Vc・2 縄文（LR）		65-1-4	9	SX01③・A3E・包含層Ⅱ層中	深鉢・1c・1 方形区画文/縄文（LR-R-O段多集）		65-1-9
5	SX01③・A3E・包含層Ⅱ層中	深鉢・Vc・2 縄文（LR）		65-1-5					

第144図 SX01③北西側遺物包含層・A3区・包含層I～II層中出土土器

## (26) B3西ベルト出土土器 (第146図)

B3西ベルトでは、旧河道SX03・04・23・24が検出された（第145図）。いずれの旧河道も小角縛を含む砂礫層と未分解植物質を含む有機質の黒色土層との互層状になっている。

### ①旧河道SX03B堆積層中出土土器 (第146図1~15)

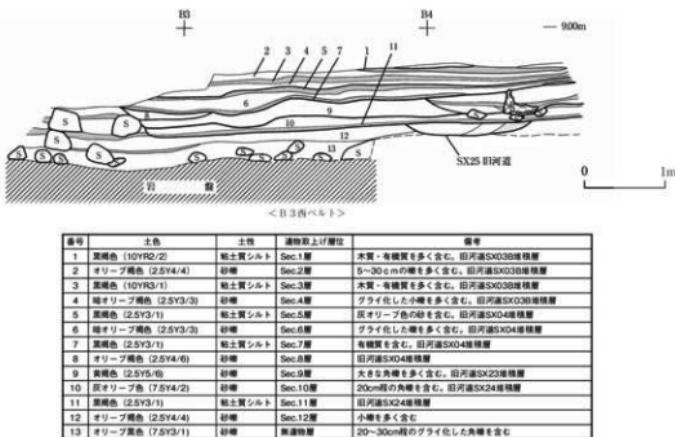
1~15は旧河道SX03B堆積層中から出土した。このうち1は第145図2層上面、2~15は2~4層中から出土している。2~7は口頭部が短く外反する深鉢形土器である。口頭部には1ないし数条の沈線文や刻目文が施されている。8・9は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。8の口縁部には平行沈線文と刻目文が施されている。10は平行線化した雲形文が施された鉢形土器である。11は口縁部に平行沈線文が施され、貼瘤が付されている。12は幅の狭い横位斜行縄文が施されている。13は太描きの沈線によって小渦巻文が描かれる壺形土器である。14・15は口縁部に幅の狭い無文帶を設けている。

### ②旧河道SX04堆積層中出土土器 (第146図16~21)

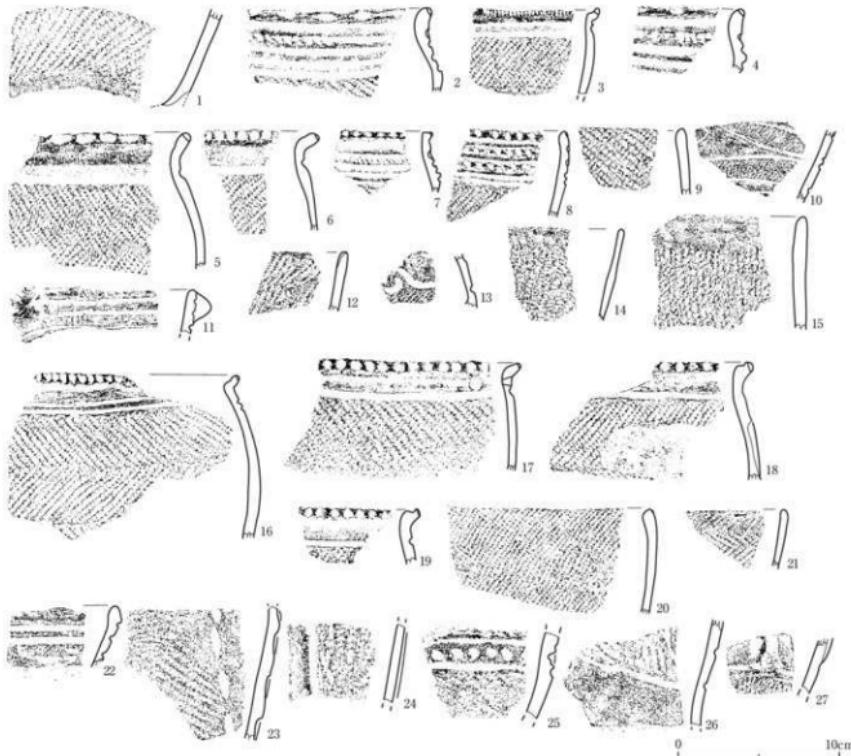
16~21は旧河道SX04堆積層（第145図5~8）中から出土した。すべて深鉢形土器である。16~19は口頭部が短く外反する器形である。口頭部には1ないし2条の沈線文が施されている。20・21は口縁部が緩やかに内湾する器形である。20は幅の広い斜行縄文、21は幅の狭い斜行縄文が施されている。

### ③旧河道SX23堆積層中出土土器 (第146図22~27)

22~27は旧河道SX23堆積層（第145図9）中から出土した。22は雲形文の施された壺形土器である。23~27は深鉢形土器で、隆線や沈線によって文様が施されている。



第145図 B3西ベルト断面



番号	出土場所・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	参考番号	出土場所・地区・層位	形態・分類	特徴	可典回数
1	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) 層上部	深鉢・I	縦文(LR)	65-2-1	15	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Vct	縦条文(LR)	65-2-15
2	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ia	縦文(RL)、平行沈線文、斜目文	65-2-2	16	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.5) ~8cm	深鉢・Ic	羽状縞文(RL/LR)、沈線文、内 外面・炭化物付箇、海綿状骨針	65-2-16
3	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ic	羽状縞文(LR/RL)、平行沈線文	65-2-3	17	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.5) ~8cm	深鉢・Ib	縦文(RH)、沈線文、内外面・ 炭化物付箇	65-2-17
4	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ia	平行沈線文、斜目文	65-2-4	18	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.5) ~8cm	深鉢・Ib	縦文(LR)、沈線文、海綿状骨針	65-2-18
5	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ib	羽状縞文(RL/RL)、沈線文	65-2-5	19	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.5) ~8cm	深鉢・Ib	縦文(LR)、沈線文	65-2-19
6	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ib	縦文(LR)、沈線文	65-2-6	20	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.5) ~8cm	深鉢・Ie	縦文(LR)、外側・炭化物付箇	65-2-20
7	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ia	縦文(RL)、平行沈線文、斜目文	65-2-7	21	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.5) ~8cm	深鉢・Id	羽状縞文(LR/RL)	65-2-21
8	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Id	縦文(LU)、平行沈線文、斜目文	65-2-8	22	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.9) 層中	皿・I	圓形文・縦文(LU)、沈線文	65-2-22
9	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Ie	縦文(RL)	65-2-9	23	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.9) 層中	深鉢・VI?	縦文(LR)、縦状刻文	65-2-23
10	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	盤・I	菱形文・縦文(LR)、沈線文	65-2-10	24	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.9) 層中	深鉢・VI	縦文(PLU)、横縞縞文、沈線文	65-2-24
11	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	盤・IIa	縦目・平行沈線文	65-2-11	25	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.9) 層中	深鉢・VI?	縦文(LR)、沈線文、円形竹管 による通透斜対穿	65-2-25
12	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Id	縦文(LR)	65-2-12	26	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.9) 層中	深鉢・Vb?	縦文(LR)、沈線文	65-2-26
13	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	盤・V?	縦文(LR)・一溝済文、沈線文	65-2-13	27	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.9) 層中	深鉢・VIg	縦条文(LR)、ヒレ状縞縞文、 沈線文	65-2-27
14	旧河道SX03-B3西ベルト・堆積層(Sec.2) ~4cm	深鉢・Vc2	縦文(LR-Q波多系)	65-2-14					

第146図 旧河道SX03-04-23-B3西ベルト・堆積層中出土土器

## (27) SX01②南側遺物包含層B3区出土土器 (第147~151図)

B3区では、SX01②南側遺物包含層は包含層1a~e層、2a①層、2a②層、2b①層、2b②層、2c層、3a層に分層された。このうち包含層1a~e層は旧河道SX03・04の堆積層である。包含層2a層は2枚の層に細分され、包含層2a②層上面がC4西ベルトの包含層2b①層上面と同一の面である。

また、B3区北西側旧河道川べりでは、沢筋側に倒れ込んだ木が確認（写真図版11-2）された。木の根元部分はピットとなっており、流れ込んだ黒色土中から土器が出土している。旧河道の北東湾曲部においては、SX03・04より古い旧河道SX28が確認されている。

### ①包含層1a~e層中出土土器 (第147~148図)

小角縦を含む砂礫層と未分解植物質を含む有機質の黒色土層との互層状になっており、包含層1a~e層に分層して遺物を取り上げている。これらは旧河道SX03・04堆積層に相当する。ここではまとめて扱う。

主体となる土器は、口頭部が短く外反する深鉢形土器や口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器で、胴部には幅の広い羽状縄文や斜行縄文が施されるものである。若干の鉢・壺・皿形土器も出土している。このほかに、隆線や沈線によって文様が施される土器も見られる。

### ②木の根攢乱ピット堆積層中出土土器 (第149図1~12)

ピットに流れ込んだ土器が出土している。1~11は口頭部が短く外反する深鉢形土器で、口頭部には沈線文や刻目文が施されている。12はわずかに口縁部が内湾する。縦位斜行縄文が施されている。いずれの土器も全く接合しなかった。

### ③包含層2a層中出土土器 (第149図13~27)

13~14は磨消縄文によって弧状文が描出されている。13は斜行縄文、14は羽状縄文が施され、無文部はミガキによって若干低く、彫去風に整えられている。15は口縁部が肥厚して内湾する深鉢形土器である。16~24は隆線や沈線によって文様が施される土器である。25・26には口縁部に無文帯が設けられ、以下地文としている。27は底面に木葉の痕跡を残す小型の深鉢形土器である。

### ④包含層2a①層中出土土器 (第150図1~13)

1~4は口頭部が短く外反する深鉢形土器である。頭部には沈線文がめぐらされている。5は頭部に沈線文が1条めぐっている。やや横走気味の縄文が施されている。6~8は口縁部がわずかに内湾する深鉢形土器である。6・7はやや幅の狭い羽状縄文が施されている。8は斜行~横走する縄文を小単位で施している。9は無文の浅鉢形土器、10は隆線文・平行沈線文の施された壺形土器である。11~13は隆線や沈線の施される深鉢形土器である。

### ⑤包含層2a②層上面出土土器 (第150図14~25)

14は口頭部が短く外反する深鉢形土器である。頭部には沈線文がめぐらされている。15~19は口縁部がわずかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施されている。20・21は貼瘤の付される深鉢形土器である。幾何学的な文様が描かれている。23~25は深鉢形土器の底部である。25は低い台状に底面が作られている。

⑥包含層2a②層中出土土器（第150図26～31）

26は平行沈線文間に交互にミガキを施した鉢形土器である。27は緩やかに内湾する器形で幅の狭い羽状縄文が施されている。28は入組帶状文の一部が描出されている。29・30は沈線文によって文様が施されている。31は縦位斜行縄文が施されている。

⑦包含層2b①層上面出土土器（第151図1～4）

1は貼瘤の付される土器である。2～4は底部で、2は底面に低い台が付けられている。3は木葉の圧痕をわずかに残し、丁寧に磨かれている。4はごく低い台状の高まりが縁辺に認められる。

⑧包含層2b①層中出土土器（第151図5～8）

5～7は隆線や沈線によって文様が施される深鉢形土器である。8の底面には網代の痕跡が残されている。

⑨包含層2c層中出土土器（第151図15～20）

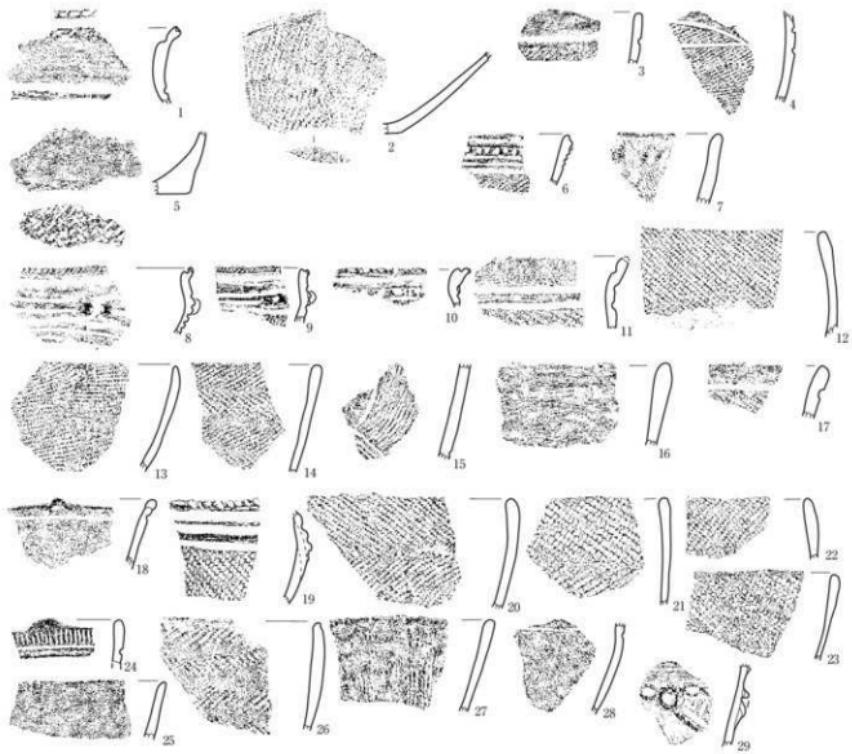
15～20は隆線や沈線によって文様が施される深鉢形土器である。17・18の口縁部には隆線文がめぐり、19・20にはやや幅の狭い無文帯が設けられている。

⑩包含層3a層上面出土土器（第151図21～24）

21は口縁部がわずかに外反する。口縁部の無文帯以下、縦位斜行縄文が施されている。22・23の底面には、木葉の圧痕をわずかに残している。

⑪包含層3a層中出土土器（第151図25）

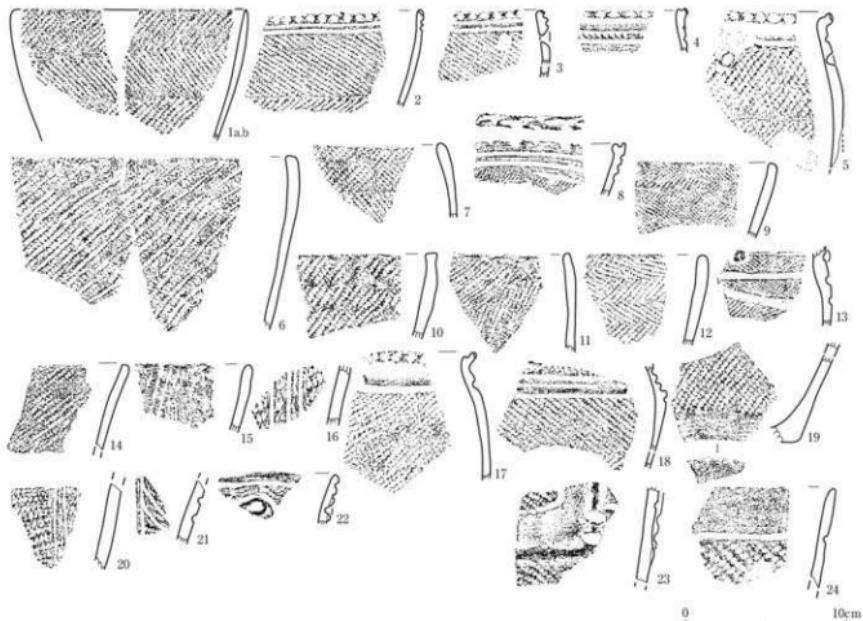
25は波状縁の深鉢形土器で、楕円形区画文の一部が施されている。



0 10cm

番号	出土施設・地区・層位	形状・分類	特徴	可算面積	番号	出土施設・地区・層位	形状・分類	特徴	可算面積
1	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・1-b?	口唇部：＜絞形突起。底部：平行波線文	65-3-1	16	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・5-d	縦文	65-3-16
2	SX01②-B3区・包含層1層中	浅鉢・I	縦文(RU)、沈縫文、外側：炭化物付着、裏面：土ガラ	65-3-2	17	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・V-b?	縦文 (RU)、沈縫文	65-3-17
3	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・E-a?	縦文 (RU)、沈縫文	65-3-3	18	SX01②-B3区・包含層1層中	重・I	A型鉢、沈縫文	65-3-18
4	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・E-a?	入組波状文(縦文) (RU)、沈縫文	65-3-4	19	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-a	縦文 (RU)、平行波線文、対目文	65-3-19
5	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・V-V?	底面：（束縛）痕	65-3-5	20	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-e	羽状縫文 (RU(RL))、外側：炭化物付着	65-3-20
6	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-d	縦文 (RU)、平行波線文、対目文、外側：炭化物付着	65-3-6	21	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-e	羽状縫文 (RU(RL))、外側：炭化物付着、底面：織状骨紋	65-3-21
7	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・V-c?	拵手 (RU)	65-3-7	22	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-e	羽状縫文 (RU(RL))、外側：炭化物付着	65-3-22
8	SX01②-B3区・包含層1層中	鉢・I	縦文 (RU)、工字文、2列1対の船縫、沈縫文	65-3-8	23	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-e	縦文 (RU)、外側：炭化物付着	65-3-23
9	SX01②-B3区・包含層1層中	鉢・I	縦文 (RU)、工字文、2列1対の船縫、沈縫文	65-3-9	24	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢	平行波線文、対目文、外側：炭化物付着	65-3-24
10	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-a	沈縫文、目字文、海綿状骨針	65-3-10	25	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・II-d?	縦文	65-3-25
11	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-b	縦文 (RU)、平行波線文	65-3-11	26	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-d	羽状縫文 (RU(RL))	65-3-26
12	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-c	外側：炭化物付着	65-3-12	27	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-d	縦文 (カギリ痕)	65-3-27
13	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-d	縦文 (RU)、外側：炭化物付着	65-3-13	28	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・II-c	格子状波線文	65-3-28
14	SX01②-B3区・包含層1層中	羽状縫文 (RU(RL))	65-3-14	29	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・III-c	ボタン状波縫文、縦縫文+羽状突文件、波縫文	65-3-29	
15	SX01②-B3区・包含層1層中	深鉢・I-b	入組波状文/縦縫文	65-3-15					

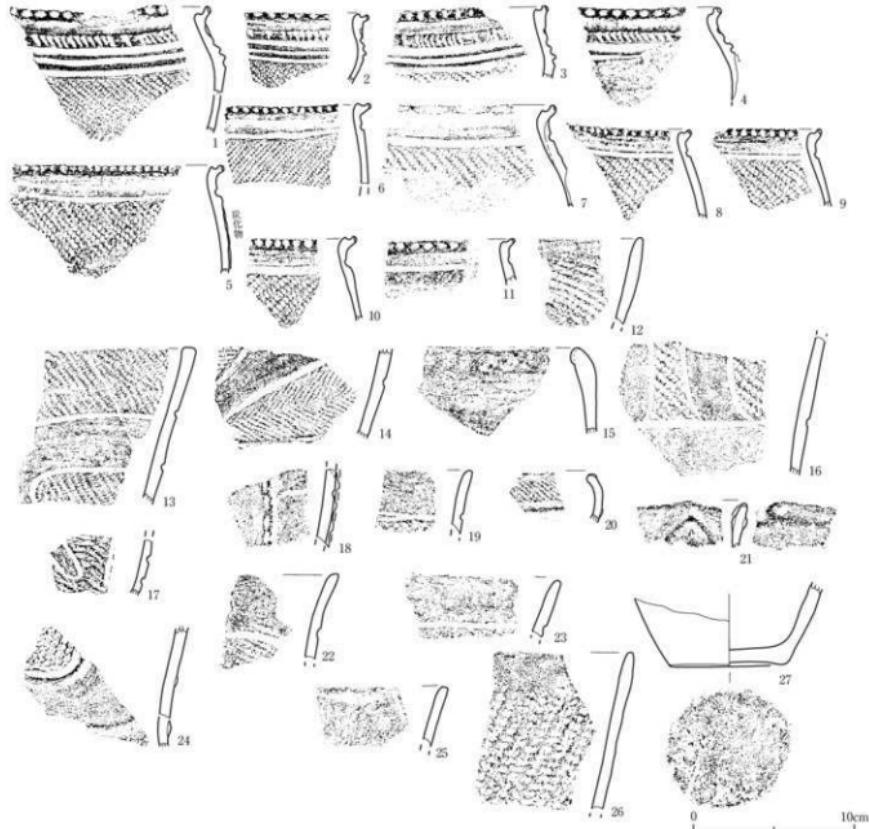
第147図 SX01②南側遺物包含層・B3区・包含層1a~1c層中出土土器



0 10cm

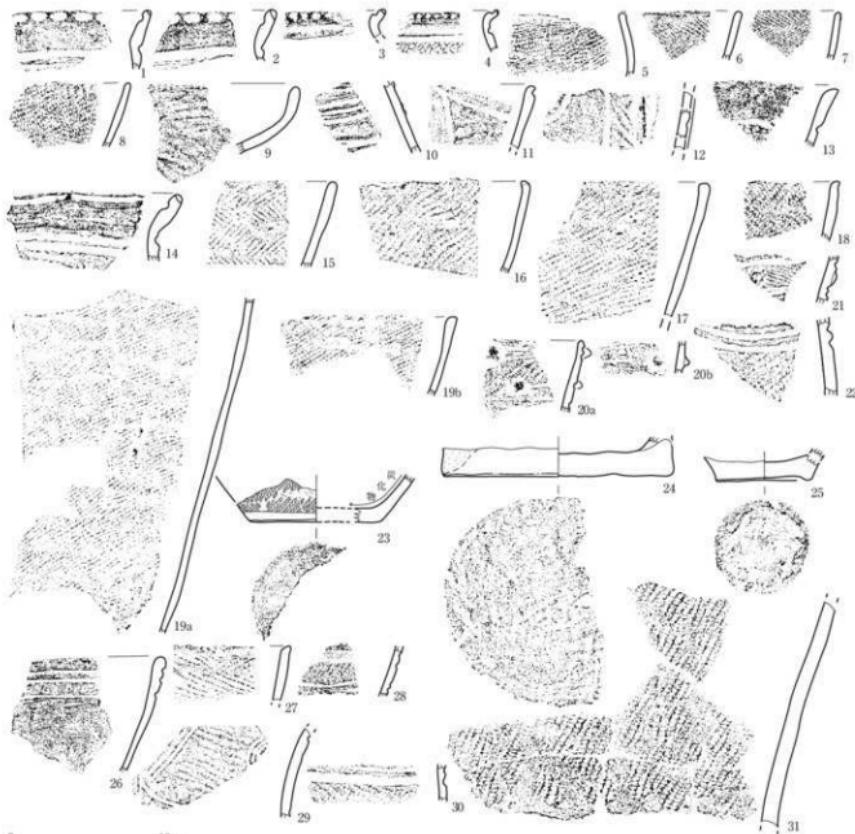
番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	可真回復	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	可真回復
1ab	SX012-B3区・包含層1d層上面	深鉗・I e	羽状溝文 (LR/LR), 外面: 范化物付箇	66-1	13	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・II a	入船型狀文/羽状溝文 (LR/LR), 異材, 范材, 花紋文	66-1-13
2	SX012-B3区・包含層1d層上面	深鉗・I d	平行溝文, 羽状溝文 (RL/RL), 外面: 范化物付箇	66-1-2	14	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・Ⅲ?	溝文 (LR), 外面: 范化物付箇	66-1-14
3	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I d	平行溝文, 溝文 (RL), 植物孔	66-1-3	15	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・III2	溝文文 (RL)	66-1-15
4	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I a	平行溝文, 畫眉文	66-1-4	16	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・III1	溝文 (LR) + 植物文/花紋文	66-1-16
5	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I c	沈鉗文, 羽状溝文 (LR/RL), 外面: 范化物付箇, 植物孔, (未磨孔)	66-1-5	17	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I b	溝文 (LR), 沈鉗文, 外面: 范化物付箇	66-1-17
6	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I e	溝文 (LR), 外面: 范化物付箇	66-1-6	18	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I a	羽状溝文 (LR/RL), 内面: 范化物付箇	66-1-18
7	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I e	羽状溝文 (LR/RL), 外面: 范化物付箇	66-1-7	19	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I	溝文 (LR), 内面: 范化物付箇	66-1-19
8	SX012-B3区・包含層1d層中	Ⅲ - I a	羽形文, 溝文 (LR)	66-1-8	20	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・V b	溝文 (LR) - 一様文/花紋文	66-1-20
9	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・I d	羽状溝文 (LR/RL)	66-1-9	21	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・V b	溝文 (RL) - 一様文/花紋文	66-1-21
10	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・II a	溝文 (LR), 外面: 范化物付箇	66-1-10	22	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・V d	溝文 (LR), 沈鉗文, メラン状點文	66-1-22
11	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・II d	溝文 (LR), 外面: 范化物付箇	66-1-11	23	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・Vb1	方形凹溝文/溝文 (LR), 植株文+2個1対の斜目文, 沈鉗文	66-1-23
12	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・II d	羽状溝文 (RL/RL)	66-1-12	24	SX012-B3区・包含層1d層中	深鉗・Vb1	溝文 (LR), 花紋文	66-1-24

第14B図 SX012南側遺物包含層・B3区・包含層1d層上面～1e層中出土土器



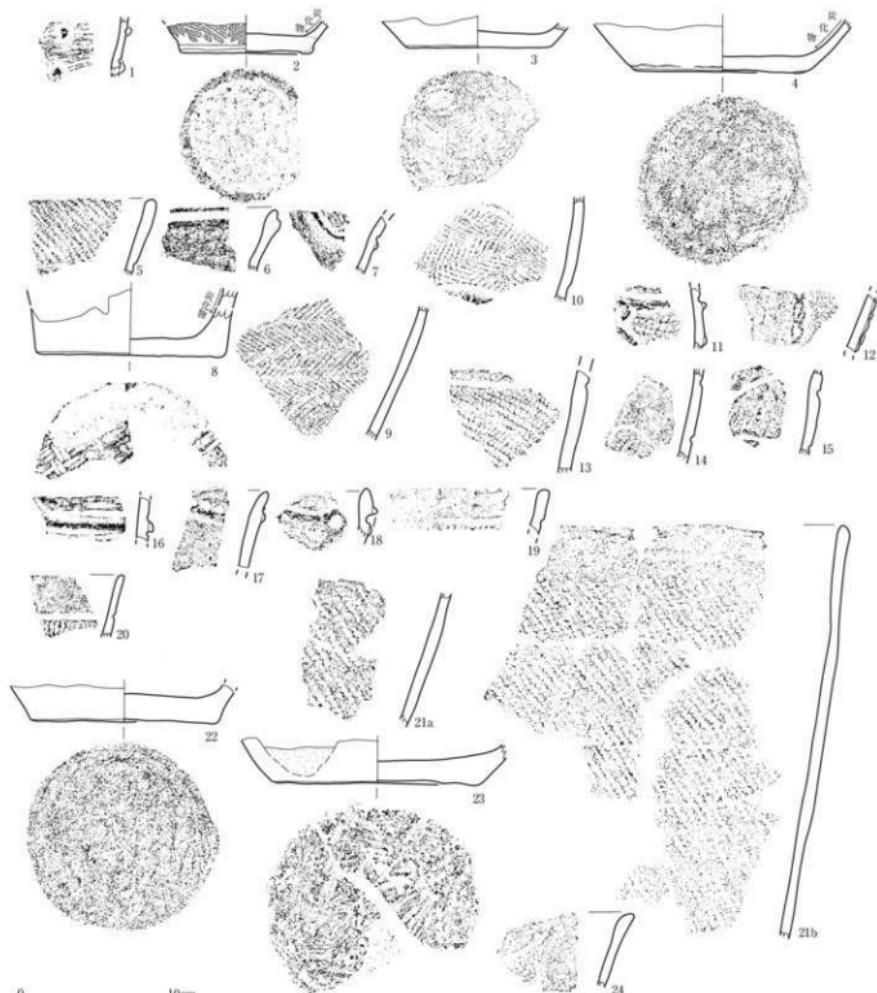
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変回数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変回数
1	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ia	高文 (RL)、平行波線文、斜目文、外縁・突出物付箇、海綿状付箇	66-2-1	15	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・II	高文、外縁・突出物付箇	66-2-15
2	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ia	高文 (RL)、平行波線文、斜目文、外縁・突出物付箇	66-2-2	16	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・II/c	高文 (LR)、波継文	66-2-16
3	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ia	高文 (RL)、平行波線文、斜目文、外縁・突出物付箇	66-2-3	17	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb	高文 (LR)・一帯垂条文・波継文	66-2-17
4	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ia	平行波継文、斜目文	66-2-4	18	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb	方形区段文 (高文・HLR)、波継文、連続刻文、波継文	66-2-18
5	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ic	高文 (RL)、沈継文、外縁・突出物付箇	66-2-5	19	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/e1	高文 (LR)、沈継文	66-2-19
6	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ic	高文 (RL)、沈継文、外縁・突出物付箇	66-2-6	20	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/e1?	高文 (LR)、沈継文、波継文	66-2-20
7	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ib	高文 (RL)、沈継文	66-2-7	21	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb?	高文 (RL)、内面・ヒレ状陶縫文	66-2-21
8	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ic	高文 (RL)、沈継文、外縁・突出物付箇	66-2-8	22	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/c	透溝文 (?)・高文 (LR)、波継文	66-2-22
9	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ic	高文 (RL)、沈継文	66-2-9	23	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/c	透溝文 (LR)、波継文	66-2-23
10	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ic	高文 (RL)、波継文・突出物付箇	66-2-10	24	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/c	透溝文 (RL)、波継文、波継文	66-2-26
11	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ic	外縁・突出物付箇	66-2-11	25	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/e2	透溝文 (LR)	66-2-25
12	SX01-2・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中	深鉢・Ia	高文 (RL)	66-2-12	26	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb/e2	高文 (RL)	66-2-24
13	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・IIb	弧状文・波継文 (LR)、沈継文	66-2-13	27	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・Vb?	木葉底・ミガキ・棒状圧痕	66-2-27
14	SX01-2・B3区・包含層2a層中	深鉢・IIb	弧状文・波継文 (LR)、波継文、外縁・突出物付箇	66-2-14					

第149図 SX01-2南側遺物包含層・B3区・木の根攢乱ビット堆積層中、包含層2a層中出土土器



番号	出土遺構・地区・部位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・部位	形態・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ib 平行沈縮文	67-1-1	17 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・Ed 滲文 (LR)	67-1-17			
2	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ib 平行沈縮文	67-1-2	18 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・Ed 滲縮文 (LR/LR)	67-1-18			
3	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ic 滲文	67-1-3	19a,b SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・Ed 滲文 (LR)	67-1-19			
4	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ic 滲文 (RL)、沈縮文	67-1-4	20a,b SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・Ed 滲文 (LR)、滲村、沈縮文	67-1-20			
5	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ia 滲文 (RL)、沈縮文、内外面：変化	67-1-5	21 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・Ia 滲文 (RL)、滲村、沈縮文	67-1-21			
6	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ed 滲縮文 (RL/RL)	67-1-6	22 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・Vs-7 滲文 (LR)、沈縮文	67-1-22			
7	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ed 滲縮文 (RL/RL)	67-1-7	23 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・II 滲縮文 (RL/RL)、内外面：変化物 吸着、底面：エラギ	67-1-23			
8	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Ed 滲文 (RL)	67-1-8	24 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・V 7 滲痕、木葉痕一个ペア入り、底部：暗状 に化粧地被着	67-1-24			
9	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・II 滲文	67-1-9	25 SX01②-B3区-包含層2②層上面	深鉢・II L-滲村 (タケリ出し)	67-1-25			
10	SX01②-B3区-包含層2①層中	筆・I 平行沈縮文	67-1-10	26 SX01②-B3区-包含層2②層中	筆・II 平行沈縮間に：交叉とカキ	67-1-26			
11	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・V b 滲文 (RL)、滲村文/沈縮文	67-1-11	27 SX01②-B3区-包含層2②層中	深鉢・Ed 滲縮文 (LR/LR)	67-1-27			
12	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Vb 方形切妻面：滲文 (RL)、滲縮文	67-1-12	28 SX01②-B3区-包含層2②層中	深鉢・Ed 入相間状況：滲文 (LR)、沈縮文	67-1-28			
13	SX01②-B3区-包含層2①層中	深鉢・Vc 滲文 (RL)、沈縮文、滲漏	67-1-13	29 SX01②-B3区-包含層2②層中	深鉢・Vb 滲文 (LR)、滲漏文、滲漏文	67-1-29			
14	SX01②-B3区-包含層2①層上面	深鉢・Ib 滲文 (RL)、平行沈縮文、海綿状骨針	67-1-14	30 SX01②-B3区-包含層2②層中	深鉢・Vb-7 滲文 (RL)、沈縮文	67-1-30			
15	SX01②-B3区-包含層2①層上面	深鉢・Ed 滲縮文 (LR/RL)	67-1-15	31 SX01②-B3区-包含層2②層中	深鉢・Vs-7 滲文 (RL)、沈縮文	67-1-31			
16	SX01②-B3区-包含層2①層上面	深鉢・Ed 滲文 (RL)	67-1-16						

第150図 SX01②南側遺物包含層・B3区・包含層2a①層中・2a②層上面・2a③層中出土土器



第151図 SX01②南側遺物包含層・B3区・包含層2b①層上面～3a層中出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-B3区・包含層2b①層上面	深鉢・E型	縫合 (LR)、縫合、沈縫文	67-1-32	13	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸?	縫文 (LR)、沈縫文	67-1-44
2	SX01②-B3区・包含層2b①層上面	深鉢・E	羽状縫文 (RL/LR)、底面・縫合	67-1-33	14	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸C	底面文 (縫文 (RL)、沈縫文)	67-1-45
3	SX01②-B3区・包含層2b①層上面	深鉢・E?	底面・木葉文→E形?	67-1-34	15	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸?	底面文 (RL)→沈縫文	67-1-46
4	SX01②-B3区・包含層2b①層上面	深鉢・E	内底底面・縫合底面物候観、底面・ わずかに縫合、E形?	67-1-35	16	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・VbD	方形底面文/縫合文、沈縫文	67-1-47
5	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・目口	縫合 (RL)、沈縫文	67-1-36	17	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸	縫縫文、沈縫文	67-1-48
6	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・Vb1	口縫文・肥厚・縫縫文	67-1-37	18	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸	カタノ状縫縫文、縫縫文	67-1-49
7	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・Vb2	縫縫 (LR)、縫縫文、沈縫文	67-1-38	19	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸b1	縫合文 (RL)、沈縫文	67-1-50
8	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・諸?	底面・(4本縫合縫縫文)	67-1-39	20	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸b1	縫合文 (RL)、沈縫文	67-1-51
9	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・E?	底面・羽状縫文 (RL/LR)	67-1-40	21a	SX01②-B3区・包含層2b②層上面	深鉢・諸b2	縫文 (RL)	67-1-52
10	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・E	底面・羽状縫文 (RL/LR)	67-1-41	22	SX01②-B3区・包含層2b②層上面	深鉢・諸	底面・木葉文→E形?	67-1-53
11	SX01②-B3区・包含層2b①層中	深鉢・E?	縫縫文、沈縫文	67-1-42	23	SX01②-B3区・包含層2b②層上面	深鉢・諸	底面・木葉文→カゼリ	67-1-54
12	SX01②-B3区・包含層2b①層中	縫縫状縫縫文	縫縫 (RL)	67-1-43	24	SX01②-B3区・包含層2b②層中	深鉢・諸b3	縫合底面文 (縫文 (RL)、沈縫文)	67-1-55

## (28) SX01②南側遺物包含層C3西ベルト出土土器（第153～168図）

C3西ベルトでは、SX01②南側遺物包含層は包含層1層、2a層、2b①層、2b②層、2c層、2d層、3a層に分層された。包含層2b①層上面で土壌SK4とピット3が確認された。

### ①包含層2a層上面出土土器（第153図1）

口頸部が短く外傾する深鉢形土器である。胴部の縄文は横走している。器内面には、ハケメ様の痕跡が残されている。

### ②包含層2a層中出土土器（第153図2～154図）

第153図2・3はほぼ同じ法量の壺形土器である。2は幅の短い横位斜行縄文が、3は幅の短い横位羽状縄文が施文されている。第154図1～6は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い横位斜行縄文が施文されている。

### ③包含層2b①層上面出土土器（第155・156図）

第155図1、第156図1・2は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い横位羽状縄文や横位斜行縄文が施文されている。第155図2は頸部で緩やかにくびれ口縁部はわずかに内湾しながら外傾する。口縁部から胴中位にかけて、入組帶状文が描出されている。地文には幅の狭い羽状縄文が用いられている。

### ④土壌SK4出土土器（第157図）

第157図1～9の深鉢形土器破片が土壌SK4堆積層中から出土した。1・2は口縁部が緩やかに内湾する土器である。幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施文されている。3～4、6～9は沈線や隆線によって文様が施されるものである。5は口縁部に無文帯を設け、ごく細い撲糸文が縱走している。

### ⑤包含層2b①層中出土土器（第158図）

水の影響を受けた砂質シルト層出土土器である。1～5は貼瘤の付された深鉢形土器である。6～16は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施文されている。17～19は無文の浅鉢形土器である。20は壺形土器である。幅の狭い斜行縄文が施文されている。21～45は沈線や隆線、あるいは地文のみの深鉢形土器である。21・22は直線的な文様が施され、23は弧状文が配されている。

### ⑥包含層2b②層上面出土土器（第159図）

1は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い斜行縄文が施文されている。2は無文の浅鉢形土器である。器外面はケズリ、内面はケズリの後に粗いミガキが施文されている。

### ⑦包含層2b②層中出土土器（第160図）

水成堆積の砂礫層出土土器である。1は帶状文の中に幅の狭い羽状縄文が施文されている。2・3は懸垂文が描かれている。4～26は隆線や沈線の施される土器である。橋状把手や、隆線上に刻目文を施すもの、鎖状隆線文となるものがある。27・28は底部で、網代や木葉の圧痕が残されている。

### ⑧包含層2c層上面出土土器（第161図）

1～8は口縁部がほぼ外傾する地文のみの深鉢形土器である。口縁部に無文帯を設けるものや、口縁部にのみ横回転により撲糸文を施すものがある。9は環状把手の基部に相当する深鉢形土器であ

る。緩い渦巻文が隆線によって描出されている。隆線上には2個1対の刻目文が施されている。11～16は隆線や沈線によって文様が施される深鉢形土器である。10には網代の痕跡が残されている。

#### ⑨包含層2c層中出土土器（第162～163図）

すべて深鉢形土器で、口縁部がほぼ外傾するものと緩やかに外反するもの、内湾するものがある。文様は隆線や沈線によって構成され、方形区画文や梢円形区画文の一部や懸垂隆線文などがある。口縁部には無文帯が設けられるものと設けられないものとがあり、さらに沈線文で画されるものと画されないものとがある。

#### ⑩包含層2d層中出土土器（第164図）

1～3は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。口縁部の無文帯下には沈線文が1条めぐっている。4は縱走する撚糸文である。

#### ⑪包含層3a層上面出土土器（第165～167図）

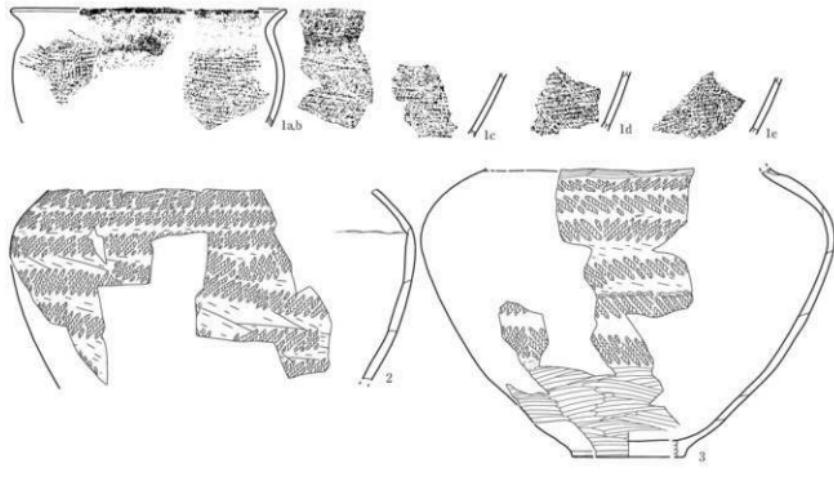
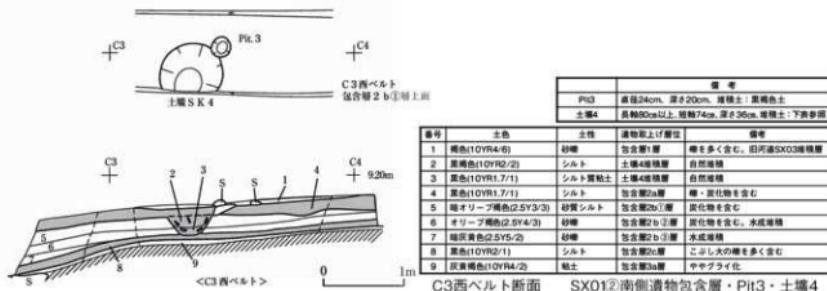
第165図1は口縁部が緩やかなS字状をなす深鉢形土器である。口縁部には環状把手と山形状突起が配されている。山形状突起の内外にはヒレ状隆線文が付されている。把手と突起の下には、梢円形区画文が描出され、無文帯の交点部分には、ヒレ状隆線文が付されている。2は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。方形区画文を基調とし、小さな隅丸方形状文や円形文を上下に配している。全体に無文部が入組み状に展開し、胴中位の交点部分にはヒレ状隆線文が付されている。3は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。山形状の突起の内外にはヒレ状隆線文が付され、器外面の隆線には連続して刺突が施され、鎖状隆線文としている。胴部には方形区画文が配されている。4も鎖状隆線と方形区画文の一部が施されている。5は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。口縁部に幅の広い無文帯が設けられ、沈線文がめぐっている。

第166図1は環状把手である。2～15は口縁部で、無文帯下に沈線文をめぐらせるものや沈線文の施されないものがある。5は口縁部が内湾している。10～15は隆線や沈線の施される口縁部である。16～21は隆線や沈線の施される胴部である。第167図1は地文のみの胴部である。

第167図1～5は底部でいずれもミガキ調整が施されている。4には木葉の圧痕がミガキ残されている。

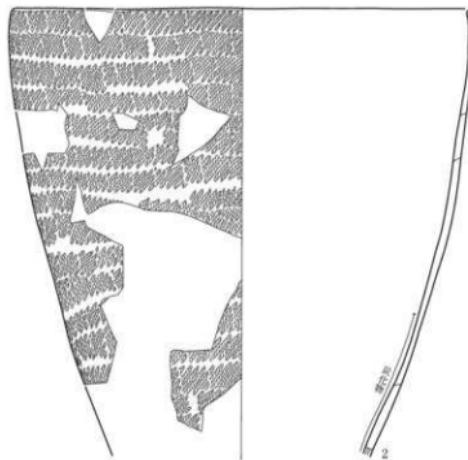
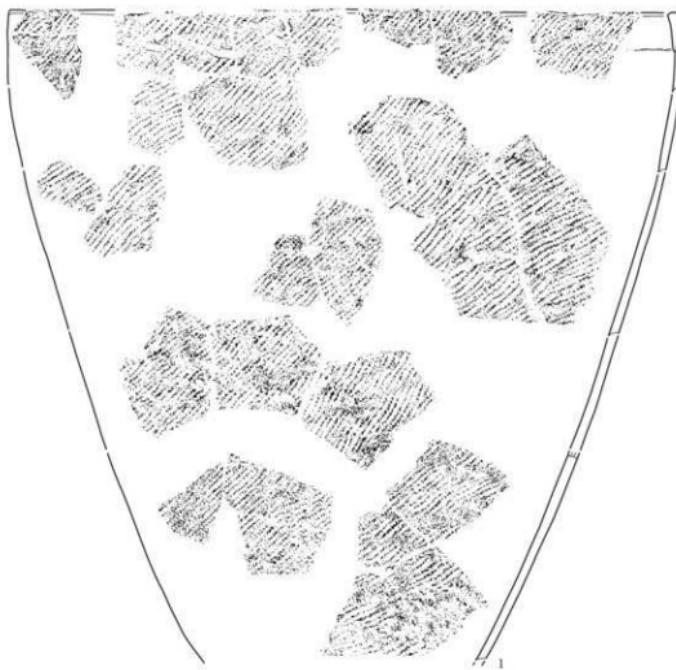
#### ⑫包含層3a層中出土土器（第168図）

1・2は口縁部が緩やかに外反するもので口縁部には無文帯が設けられている。3・4は口縁部が内湾する深鉢形土器である。隆線によって区画文が作られている。5～9は隆線や沈線によって文様が施される深鉢形土器の胴部である。



番号	出土場所・地区・層位	图形・分類	特徴	可変因数	番号	出土場所・地区・層位	图形・分類	特徴	可変因数
1a~e	SX01②・C3西ベルト・包含層2a層上面・2a層中(付)	直鉢・E 直鉢・E 直鉢・E 直鉢・E 直鉢・E	直鉢(口R+斜面加厚)、斜面(直 斜面)、内面: ハラナギ(ハカ メ様の痕跡) → ミガキ(口R), 外面: 炭化物付着	68-3-1	3	SX01②・C3西ベルト・包含層2a層中・C3 区・包含層2b層中・C4区・包含層2a層中	直・E 直・E 直・E 直・E 直・E	ケヌリ→圓周磨文(FL/LR) → ミガキ	68-2-3
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2a層中・C3 区・包含層2b層中・C4区・包含層2a層中	直・E 直・E 直・E 直・E 直・E	ケヌリ→輪文(LR→太鉢2種), 内面: ケヌリ→ミガキ	68-2-2					

第153図 SX01②南側遺物包含層C3西ベルト包含層2a層上面・2a層中出土土器 (1)



0 10cm

番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数									
1a-1	SX01②-C3西ベルト・包含層2a層中、C3区・包含層2b①層中、C4区・包含層2c層中、C5区・包含層2d①層中	深鉢・E.d	高文 (LR)	68-2-4	3	SX01②-C3西ベルト・包含層2a層中	深鉢・E.d	高文 (LR)	68-2-6									
2	SX01②-C3西ベルト・包含層2a層中、C3区・包含層2b①層中、C4区・包含層2c層中、C5区・包含層2d①層中	深鉢・E.d	高文 (LR)、内面：炭化物付箇 68-2-5	4	SX01②-C3西ベルト・包含層2a層中	深鉢・E.d	高文 (LR)	68-2-7	5	SX01②-C3西ベルト・包含層2a層中	深鉢・E.d	高文 (LR)	68-2-8	6	SX01②-C3西ベルト・包含層2a層中	深鉢・E.d	高文 (LR)	68-2-9

第154図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2a層中出土土器 (2)

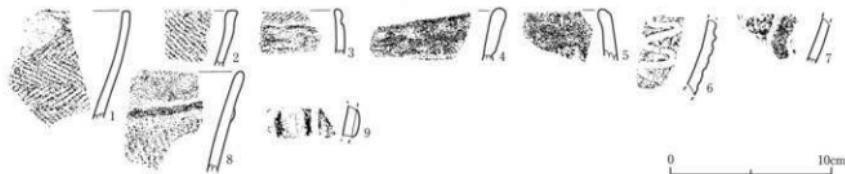


番号	出土遺構・地区・層位	経形・分類	特徴	可真回復	番号	出土遺構・地区・層位	経形・分類	特徴	可真回復
1a~c	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上面、C3区・包含層2a層中、B-C2ベルト・包含層2b①層中、B3区・包含層2a2層中、2a2層上面、1d層中	縦縫、E4 横縫、E4 縫合、E4	縫合文 (LR/LL)		70-1-1	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上面、2b2層中、2b2層上面、B-C2ベルト・包含層2a層中、C3西ベルト・包含層2a2層中	縦縫、E4 縫合、E4	縫合文 (RL/LR) 縫合、E4	
					70-1-2				縫合文 (RL/LR) 縫合、E4

第155図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2b①層上面出土器 (1)

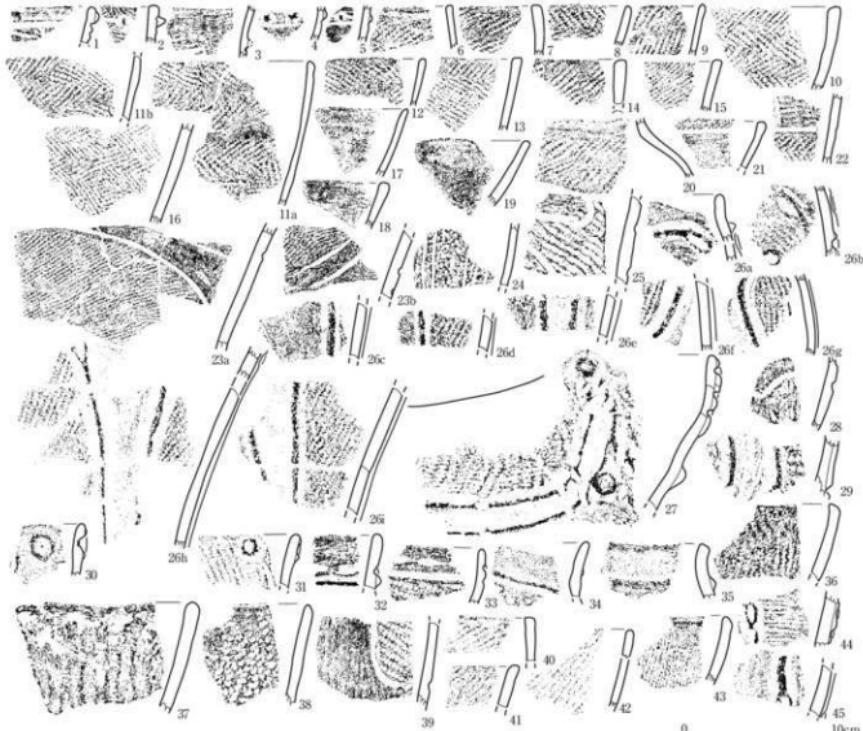


第156図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・土壤層2b①層上面出土土器(2)



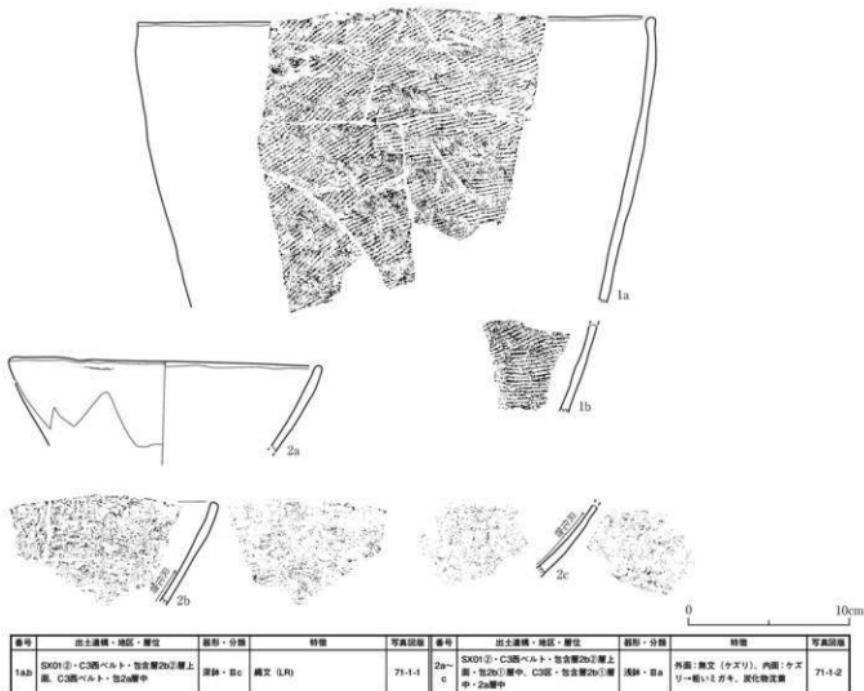
番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3西ベルト・土壤層2b①層上面・2b ②層中・C3西・包含層2b①層上面	直文(RU/LR)、粘土様上げ痕著 者、底面：ケズリ		69-1-1	6	SX01②・C3西ベルト・土壤層2b①層上面	直文(RL)、底面アラカルテ		69-1-6
2		直文(RL)、粘土様上げ痕著 者、底面：ケズリ		69-1-2	7	SX01②・C3西ベルト・土壤層2b①層上面	直文(VL)、底面アラカルテ		69-1-7
3		直文(LR)、底面文		69-1-3	8	SX01②・C3西ベルト・土壤層2b①層上面	直文(VL)、底面文		69-1-8
4		直文(LR)、底面文		69-1-4	9	SX01②・C3西ベルト・土壤層2b①層上面	直文(VL)、底面アラカルテ		69-1-9
5		直文(LR)、底面文		69-1-5					

第157図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・土壤4堆積層中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	縦目付、沈透文	70-2-1 25a	1	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	透文 (RL)、捺透文+2倍1封の筋目文、沈透文	70-2-2b
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	捺透文 (RL/RL)、縦目付、沈透文	70-2-2	27	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	サラン状捺目付、透文 (RL)、捺透文+2倍1封の筋目文、沈透文	70-2-27
3	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	捺透文 (RL)、縦目付、沈透文	70-2-3	28	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-a	捺透文 (RL) →定透文	70-2-28
4	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	透文 (RL)、縦目付	70-2-4	29	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-a	透文 (RL)、捺透文+斜目文	70-2-29
5	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	透文 (RL)、捺透文	70-2-5	30	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-a	サラン状捺目付、円筒竹節文	70-2-30
6	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-a	透文 (RL)	70-2-6	31	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-a	サラン状捺目付、継状透文、爽透文 (RL)、捺透文	70-2-31
7	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	透文 (LR)	70-2-7	32	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	斜透文、捺透文、透文	70-2-32
8	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (RL/RL)	70-2-8	33	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-b?	斜透文、透文 (LR)、捺透文	70-2-33
9	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	透文 (LR)	70-2-9	34	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)、捺透文	70-2-34
10	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (RL/RL)	70-2-10	35	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-b?	捺透文	70-2-35
11ab	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (RL/RL)	70-2-11	36	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-b?	透文 (RL/R) (複数)	70-2-36
12	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (RL/RL)	70-2-12	37	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-b?	透文 (ナデフカ)	70-2-37
13	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (RL/RL)	70-2-13	38	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-b?	透文 (RL/RL)	70-2-38
14	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (LR)、複繊孔	70-2-14	39	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)、捺透文	70-2-39
15	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	透文 (LR)	70-2-15	40	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)、捺透文	70-2-40
16	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-d	捺透文 (RL/RL)	70-2-16	41	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)	70-2-41
17	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	浅鉢・D-a	透文 (ケズリーミガキ)	70-2-17	42	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)	70-2-42
18	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	浅鉢・D-a	透文	70-2-18	43	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)	70-2-43
19	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	浅鉢・D-a	透文	70-2-19	44	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)、捺透文	70-2-44
20	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	兼・D?	透文 (LR)	70-2-21	45	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・E-b?	透文 (RL)、捺透文+斜目文	70-2-45
21	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・D-b	透文 (LR)、捺透文	70-2-20					
22	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・D-b	捺透文 (RL/RL)、捺透文	70-2-22					
23ab	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層中	深鉢・D-b	捺透文 (RL/RL)	70-2-23					
24	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-c?	透文 (LR) →多条透文	70-2-24					
25	SX01②・C3西ベルト・包含層2b①層上	深鉢・E-b	透文 (RL) →捺透文	70-2-25					

第158図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2b①層中出土土器



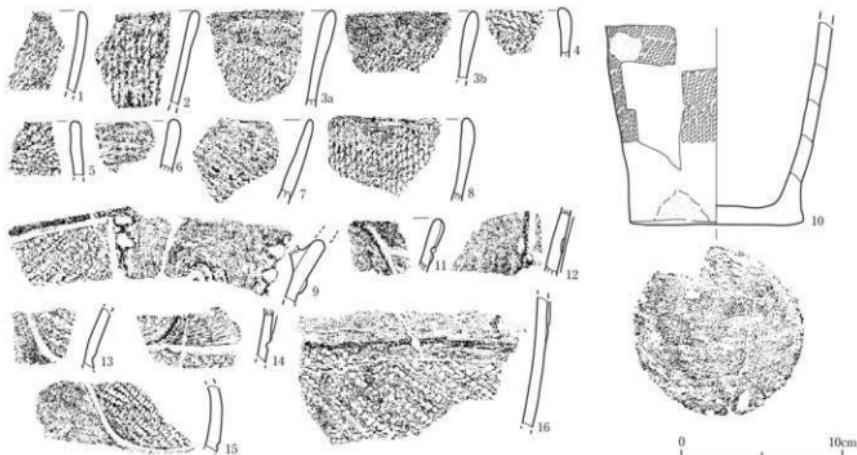
第159図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2b②層上面出土土器



0 10cm

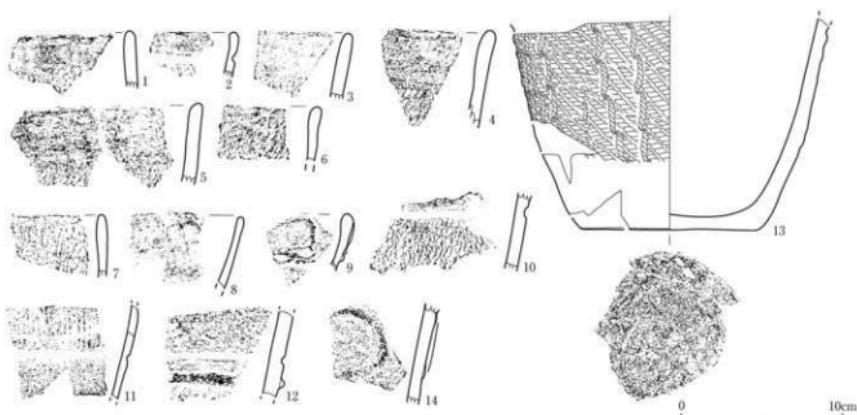
番号	出土場所・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	
1	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直状文(円形の裏)	71-3-1	14	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直状文(ルリ)	71-2-14	
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直状文(波形)	71-2-2	15	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	方折状直文(波文)	71-2-15	
3a,b	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vb	直状文(波形)	71-3-3	16	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直状文	71-2-16	
4	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Va	横状把手、ダンジ状點付文、直文	71-3-4	17	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直状文+斜目文	71-2-17
5	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vca	横状把手、直文	71-3-5	18	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直状文	71-2-18
6	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vd	直文(LPC段多条)	71-3-6	19	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	横状直文	71-2-19
7	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vc	直文	71-3-7	20	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直文	71-2-20
8	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vc	方折状直文(直文(ル)), 内形の直文	71-3-8	21	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直状直文	71-2-21
9a,b	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vb	方折状直文(直文(ル)), 直文(ル), 斜線文 +2-3行の斜目文	71-3-9	22	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直状文	71-2-22
10	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vc	直文(ル)	71-3-10	23	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vb	直文(ル)	直状文	71-2-24
11	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vb	直文(ル)	71-3-11	24	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vb	直文(ル)	直状文	71-2-25
12	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vc	直文(ル)	71-3-12	25	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直状文	71-2-26
13	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・Vc	直文(ル)	71-3-13	26	SX01②・C3西ベルト・包含層2b②層中	深鉢・V字	直文(ル)	直状文	71-2-27

第160図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2b②層中出土器



番号	出土遺構・地区・部位	断面・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・部位	断面・分類	特徴	可収回版
1	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc1	燕文(文)R	72-1-1	5	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc1	燕文(文)R	72-1-10
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc2	燕文(文)R	72-1-2	6	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc2	燕文(文)R	
3ab	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc3	燕文(文)R	72-1-3	7	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc3	燕文(文)R	
4	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc4	燕文(文)R	72-1-4	8	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc4	燕文(文)R	
5	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc5	燕文(文)R	72-1-5	9	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc5	燕文(文)R	
6	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc6	燕文(文)R	72-1-6	10	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc6	燕文(文)R	
7	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc7	燕文(文)R	72-1-7	11	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc7	燕文(文)R	
8	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc8	燕文(文)R	72-1-8	12	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc8	燕文(文)R	
9	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc9	燕文(文)R	72-1-9	13	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc9	燕文(文)R	
10	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc10	燕文(文)R	72-1-10	14	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc10	燕文(文)R	
11	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc11	燕文(文)R	72-1-11	15	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc11	燕文(文)R	
16	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc12	燕文(文)R	72-1-12	17	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc12	燕文(文)R	
18	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc13	燕文(文)R	72-1-13	19	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc13	燕文(文)R	
20	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc14	燕文(文)R	72-1-14	21	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc14	燕文(文)R	
22	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc15	燕文(文)R	72-1-15	23	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc15	燕文(文)R	
24	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層上面	深鉢・Vc16	燕文(文)R	72-1-16					

第161図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2c層上面出土土器



番号	出土遺構・地区・部位	断面・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・部位	断面・分類	特徴	可収回版
1	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc1	燕文(文)R	72-2-1	9	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc1	燕文(文)R	72-2-9
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc2	燕文(文)R	72-2-2	10	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc2	燕文(文)R	72-2-10
3	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc3	燕文(文)R	72-2-3	11	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc3	燕文(文)R	72-2-11
4	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc4	燕文(文)R	72-2-4	12	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc4	燕文(文)R	72-2-12
5	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc5	燕文(文)R	72-2-5	13	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc5	燕文(文)R	72-2-13
6	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc6	燕文(文)R	72-2-6	14	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc6	燕文(文)R	72-2-14
7	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc7	燕文(文)R	72-2-7					
8	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc8	燕文(文)R	72-2-8					
9	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc9	燕文(文)R	72-2-9					
10	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc10	燕文(文)R	72-2-10					
11	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc11	燕文(文)R	72-2-11					
12	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc12	燕文(文)R	72-2-12					
13	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc13	燕文(文)R	72-2-13					
14	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・Vc14	燕文(文)R	72-2-14					

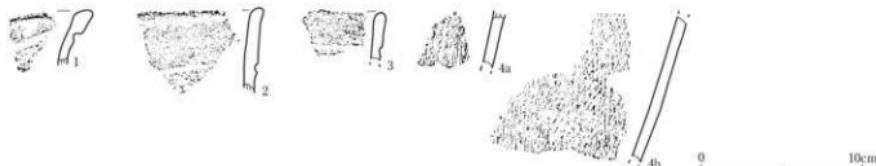
第162図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2c層中出土土器 (1)



0 10cm

番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	片流れ状突起、陰織文	72-2-15	13a,b	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-28
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	舟形区段突起文、陰織文(LR)、沈織文	72-2-16	14	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-29
3	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文	72-2-17	15	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-21
4	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文	72-2-18	16	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-22
5	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文	72-2-19	17	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織網目文	72-2-24
6	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)、北織文	72-2-20	18a,b	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	方形凹溝文(横文)LR+, 陰織文+2倍の斜刻文、内形斜刻文	72-2-30
7	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)、沈織文	72-2-33	19	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-31
8	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文	72-2-23	20	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(横文)、北織文	72-2-32
9	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-24	21	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(横文)、ヒレ状飾織文、北織文	72-2-35
10	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-25	22	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)、ヒレ状飾織文、北織文	72-2-36
11	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-26	23	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-37
12	SX01②・C3西ベルト・包含層2c層中	深鉢・直縁	陰織文(LR)	72-2-27					

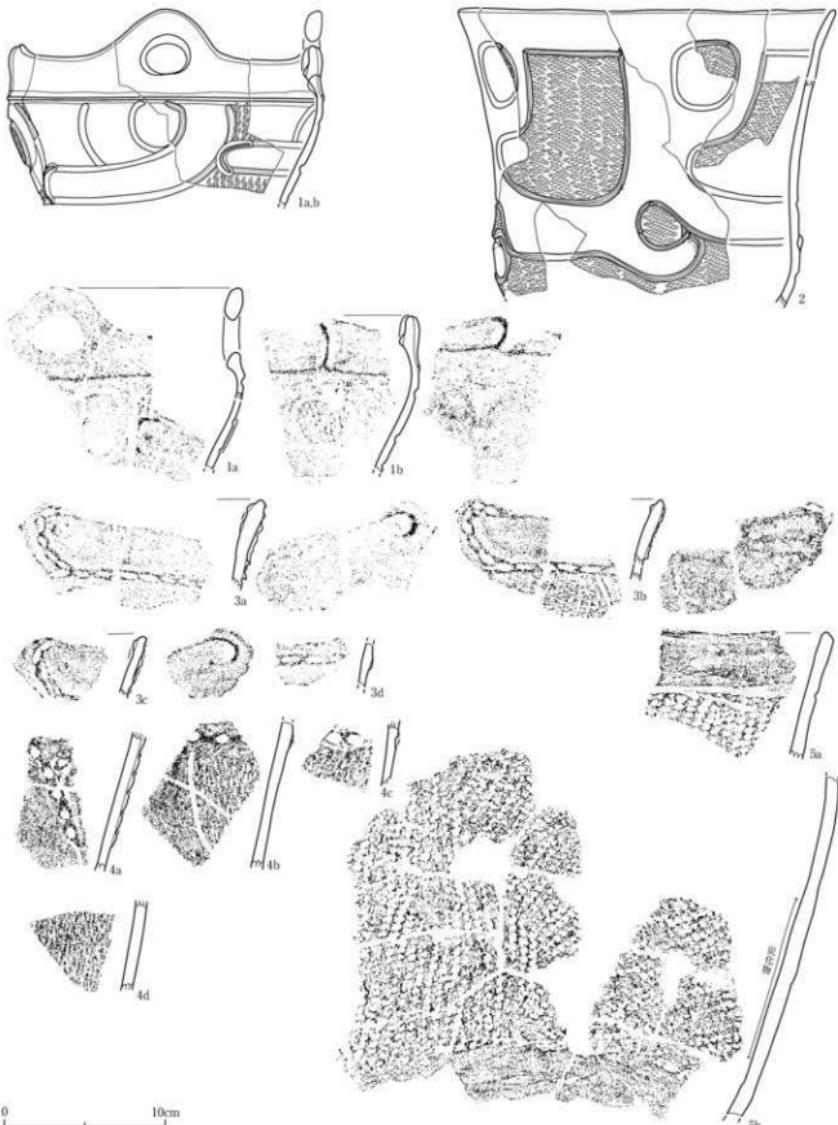
第163図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2c層中出土土器（2）



0 10cm

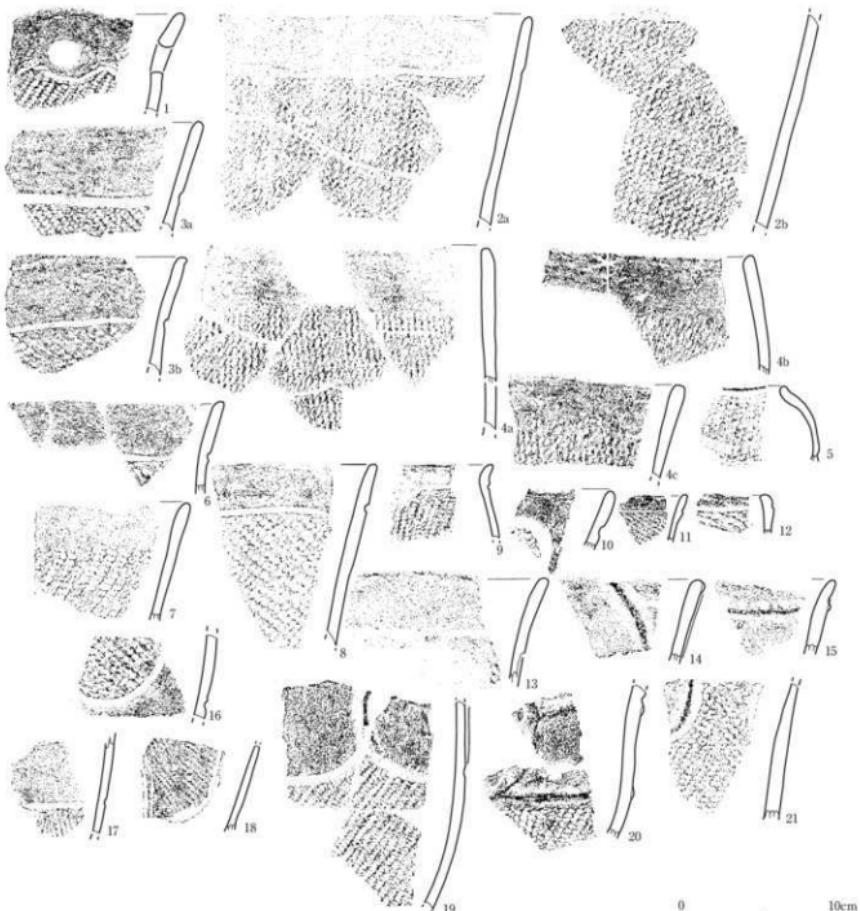
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3西ベルト・包含層2d層中	深鉢・直縁	網文(LR)、北織文	73-1-1	3	SX01②・C3西ベルト・包含層2d層中	深鉢・直縁	沈織文	73-1-3
2	SX01②・C3西ベルト・包含層2d層中	深鉢・直縁	網文(LR)、沈織文	73-1-2	4a,b	SX01②・C3西ベルト・包含層2d層中	深鉢・直縁	網文(LR) + 残りがほとんどとけてしまつた網文	73-1-4

第164図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2d層中出土土器



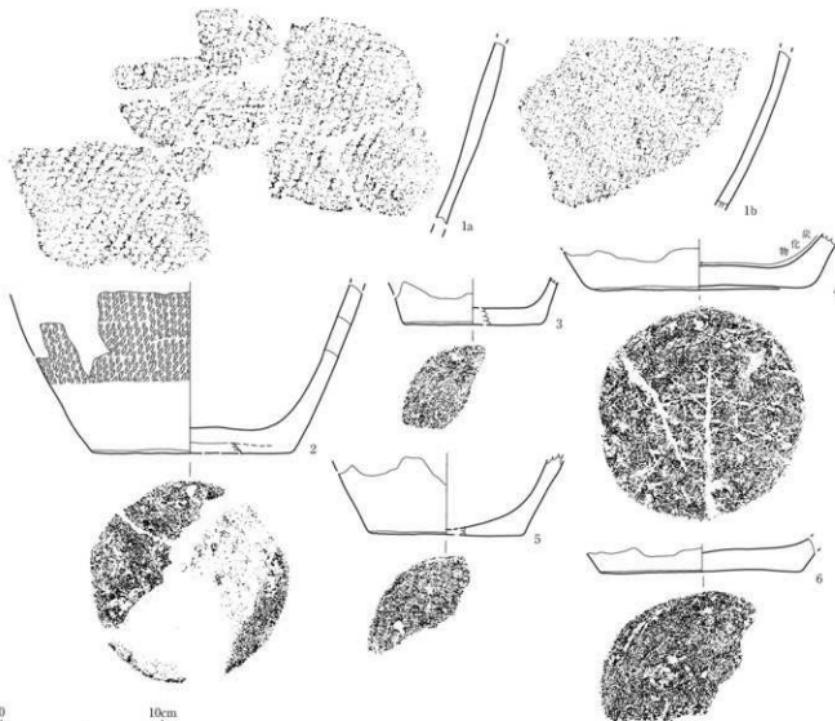
番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	可否回数
1a,b	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面 面・2c層中・2c層中	深鉢・V形	圓錐把手、椎円形反曲文、深鉢文 (LR)、沈鉢文、ヒレ状縦模文	73-2-1	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面 面・2c層中・C3西ベルト・包含層2c 層上面、2c層中	深鉢・V形c 3	方形容文(直系文) (LR)、輪鉢下に 下弦文(横)、沈鉢文、沈鉢文	73-2-4	
2	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面 面、B4北ベルト・包含層2c層中、C4 西ベルト・包含層2c層上面・2d層中	深鉢・V形c1	方形容文(直系文)、ヒレ状縦模文、外 面・変化物による直・S字状縫合文	73-2-2	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面 面・2d層中・2d層中	深鉢・V形1	直文 (PLR)、沈鉢文、内面下部・及 び付裏面	73-2-5	
3a-b	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面 面・2c層中、B4区・包含層2c層中・2b 層上面、B3区・包含層1d層中	深鉢・V形c3	方形容文(直系文) (PLR) (段多), 錐状縦模文、沈鉢文	73-2-3					

第165図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層3a層上面出土土器 (1)

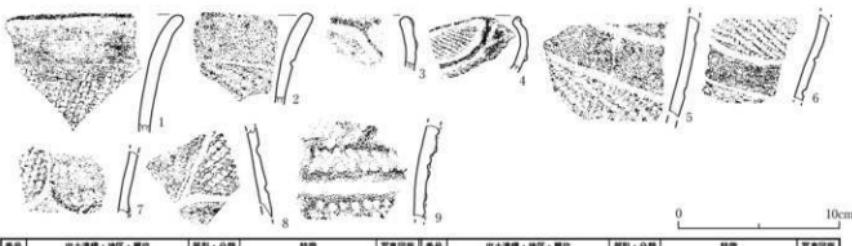


番号	出土遺物・地区・層位	基形・分類	特徴	可算個数	番号	出土遺物・地区・層位	基形・分類	特徴	可算個数
1	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	錐状把手形、直交、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-6	12	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交 (IR), 深鉢文	73-2-17		
2a,b	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 C3区・包含層2b層中	深鉢・V字	黒系文 (IR), 深鉢文	73-2-7	13	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交 (IR), 深鉢文	73-2-18	
3a,b	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-8	14	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-19		
4a-c	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-9	15	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-20		
5	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR-QM多量), 深鉢文	73-2-10	16	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-21		
6	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-11	17	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-22		
7	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR)	73-2-12	18	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-23		
8	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-13	19	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), ヒレ状器 深鉢文	73-2-24		
9	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-14	20	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-25		
10	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-15	21	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-26		
11	SX01②・C3西ペルト・包含層3a層上面 深鉢・V字	直交把手形、刃文 (IR), 深鉢文	73-2-16						

第166図 SX01②南側遺物包含層・C3西ペルト・包含層3a層上面出土土器（2）



第167図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層3a層上面出土土器（3）



第168図 SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層3a層中出土土器

番号	出土遺構・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	断形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・複	縫文 (RL)	74-1-1	4	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・複	底面：木葉痕——縫文 (L)	74-1-3
2	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面・ C3区・包含層3a層上面・複	深鉢・複	縫文 (LR), 底面：ミガキ	74-1-2	5	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・複	底面：ミガキ、全体に変化物混在	74-1-4
3	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・複	底面：ミガキ、全体に変化物混在	74-1-3	6	SX01②・C3西ベルト・包含層3a層上面	深鉢・複	底面：ケズリミガキ、外観：轍 並に縫合硬化物	

#### (29) SX01②南側遺物包含層C3区出土土器（第169～178図）

C3区では、SX01②南側遺物包含層は包含層2a層、2b層、2c層に分層された。このうち砂質シルト・砂礫層からなる包含層2b層は厚い堆積が認められた。

##### ①包含層2a層上面出土土器（第169図）

1・2は包含層2a層上面確認作業時に出土した深鉢形土器である。1は幅の短い縄文が横走している。底面には木葉の圧痕がミガキ残されている。2は縄文が横走～斜行している。

3～29は包含層2a層上面出土の土器である。いずれも深鉢形土器である。3は平行沈線文間に連続して縦位の刺突文を施したものである。4・5は口縁部に平行沈線文を配したものである。6は入組帶状文の一部が施されている。7～16は口縁部が緩やかに内湾する器形のものである。口縁部がやや肥厚するものも見られる。幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施されている。17～19は胴部である。17は植物茎を回転施文している。18～19は羽状縄文や斜行縄文が施されている。20・21は底部とともに木葉の痕跡を残している。22は口縁部が強く内湾する深鉢形土器である。23は口頭部が短く外反する深鉢形土器である。頭部には平行沈線文がめぐっている。24・25は懸垂文が描かれている。26～28は地文のみが施されている。29は網代底である。

##### ②包含層2a層中出土土器（第170・171図）

第170図1～21は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。口縁部が肥厚するものも見られる。1は入組帶状文に貼縫が付されたものである。2～20は幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施文されている。21は無文となっている。22～23は羽状縄文や斜行縄文が施される胴部である。24は描绘文が施されている。25は横位平行沈線文が施される壺形土器である。26は頭部が緩やかにくびれる深鉢形土器である。頭部には平行沈線文がめぐっている。口唇部と胴部には植物茎回転文が施文されている。27は口縁部が強く内湾する深鉢形土器である。内湾部には壺の肩部と同様の調整が施されている。28は小型の土器の底部である。底面には同心円状のミガキが施されている。29・30は縄文の施される壺形土器肩部である。

第171図1～17はすべて深鉢形土器である。1～7・17は沈線や隆線によって文様が構成される土器である。隆線状に刻目文が施されたものや方形区画文がある。8～14は地文のみの施されるものである。幅の狭い無文帯が設けられるものがある。15・16は縄文や撚糸文が施された胴部である。

##### ③包含層2b層上面出土土器（第172・173図）

すべて深鉢形土器である。1は帶状文内に細かな羽状縄文が施されている。2はやや厚手の口縁部が緩やかに内湾するものである。口縁部には縦位のナデツケの痕がある。3～9・13～15は沈線や隆線によって文様が施される土器である。懸垂文や、隆線上の2個1対の刻目文、列点状の刺突文が見られる。10～12は地文のみの施される土器である。

第173図1は胴部に4単位の懸垂降線文が施されている。隆線上には2個1対の刻目文が縦位に加えられている。2・3は口縁部が緩やかに内湾するものである。2は縦位斜行縄文、3は斜行～縦走縄文が施文されている。5は内外面ともにケズリを施した後に、外面には縄文、内面には粗いミガキを施したものである。

#### ④包含層2b層中出土土器（第174～177図）

第174図1は口頸部が短く外反する深鉢形土器である。頸部には沈線文が1条めぐらされている。2は皿形土器である。口唇部には彫去が施されている。3は壺形土器である。横位の沈線文が施されている。4は貼瘤が付されている。5～10は口縁部が緩やかに内湾する器形である。幅の短い斜行・綴走繩文が施されている。11は厚手の無文土器である。粘土帯の積み上げ痕跡が残り、作りが全体に雑で、口唇部の形状も一定しない。12は櫛描文が施されている。13～42は沈線や隆線によって文様が施されるものである。反転平行沈線文、多条沈線文、懸垂文、2個1対の刻目文が施される隆線文、方形区画文などがある。43・44は繩文が施されている。

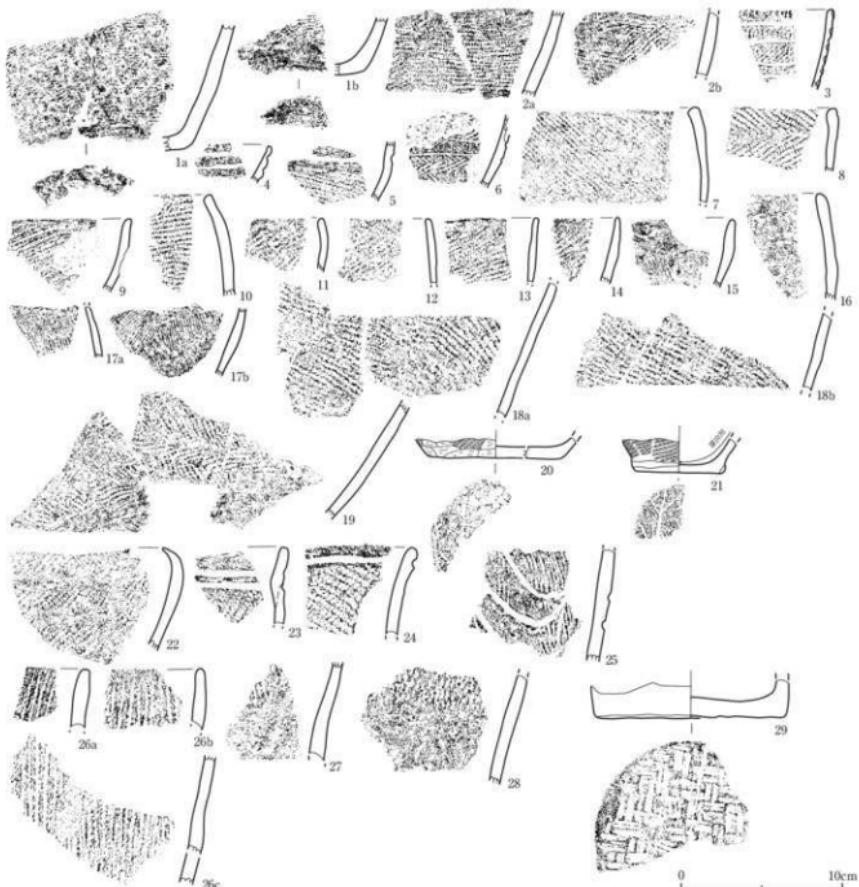
第175図1～3は口縁部に幅の広い無文帯が設けられ、1は沈線文が1条めぐり、以下を撫糸文とし、2・3は沈線文がめぐらない。4は無文帯が設けられていない。5～16は沈線や隆線によって文様が施される土器の胴部である。ボタン状貼付文や2個1対の刻目文が施される隆線文、渦巻文がある。17～19は地文のみの胴部で、17は撫糸文、18・19は綴位斜行繩文が施されている。

第176図1～7は隆線や沈線によって文様が施される土器である。1～4は口縁下の隆線にそって列点状に刺突文が施されている。5はヒレ状隆線文が付されている。6は楕円形状の文様、7は方形区画文が配されている。

第176図8～第177図6は底部である。低い台付としたもの、網代の痕跡を残すもの、木葉の圧痕を残すもの、丁寧に磨かれているものがある。

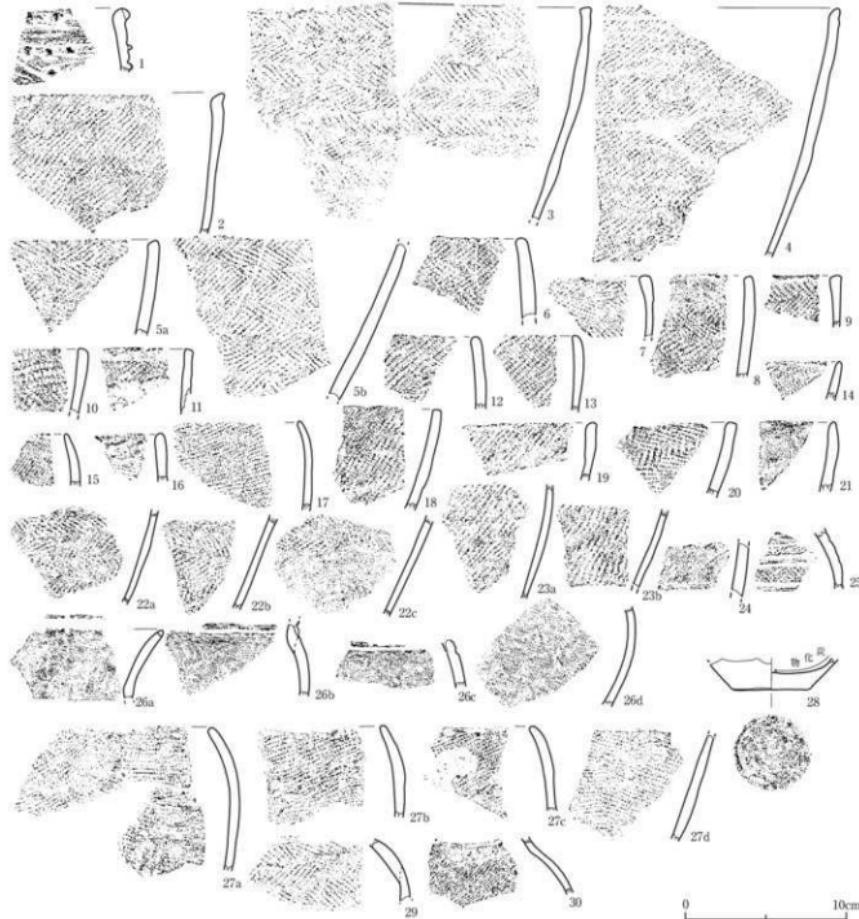
#### ⑤包含層2c層中出土土器（第178図）

1・2は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。1は口唇部がやや内削ぎ状に整えられ、方形状の文様が施されている。2は口縁部に無文帯が設けられ、以下を撫糸文としている。3は無文帯と無文帯が接する部分になっている。



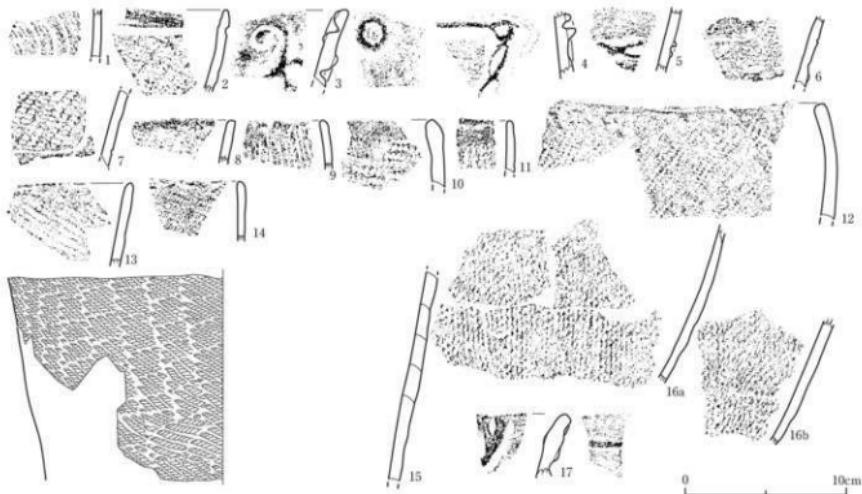
番号	出土場所・地区・層位	種類・分類	特徴	写真200倍	番号	出土場所・地区・層位	種類・分類	特徴	写真200倍	
1a,b	SX01②・C3区・包含層2a層上面イカ骨	深鉢・E?	細かい横縞溝文 (LR), 范圍: 本層底-ヒガキ	74-2-1	15	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E,d	範文 (ナメ), 外面: 優美的花化け模様	74-2-15	
2a,b	SX01②・C3区・包含層2a層上面イカ骨	深鉢・E?	羽状溝文 (LR/RL), 條条結構にEと組合付	74-2-2	16	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E,d	範文 (ナメ)	74-2-16	
3	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	範文 (LR), 斜線文, 斜竪文	74-2-3	19	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E	羽状溝文 (LR/RL)	74-2-19	
4	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E?	E? ヒガキ-地位位平行斜線文	74-2-4	20	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E	底面: 木葉底, 外面: 範文+ケズリ	74-2-20	
5	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	E?, 斜竪文	74-2-5	21	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E	底面: 木葉底, 内面: 優美的花化け模様	74-2-21	
6	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E?	入矢溝文+羽状溝文 (LR/RL), 四方文	74-2-6	22	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E	範文 (LR)	74-2-22	
7	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	範文 (RL)	74-2-7	23	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・E?	範文 (LR), 條条平行斜線文	74-2-23	
8	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	羽状溝文 (LR/RL)	74-2-8	24	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・V,b	範文 (LR), 緩急文, 斜線文	74-2-24	
9	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	範文 (LR)	74-2-9	25	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・V,b	緩急文+V,b	74-2-25	
10	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	範文 (LR)	74-2-10	26-29	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・V,c	範文文+V,c	74-2-26	
11	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	E?	74-2-11	27	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・V,d	範文文	74-2-27	
12	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	E?	羽状溝文 (LR/RL)	74-2-12	28	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・V,d	範文文	74-2-28
13	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	E?	範文 (LR)	74-2-13	29	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢・V,d	範面: 痕代底 (4本鉢2本面一筋, 4本鉢4本面)	74-2-29
14	SX01②・C3区・包含層2a層上面	深鉢	範文 (LR)	74-2-14						

第169図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2a層上面出土土器



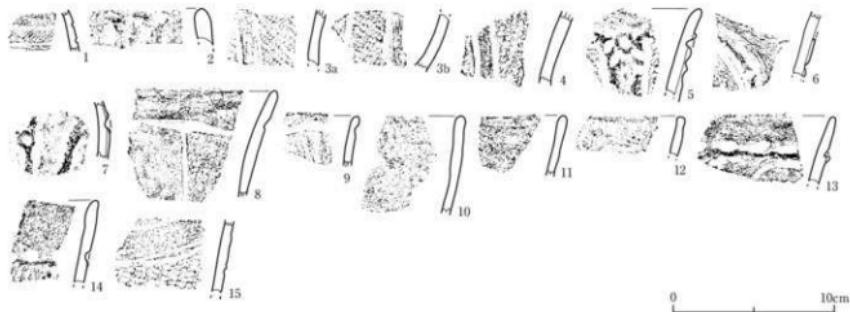
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2a	人面形紋文(横文) (LR), 直村、浅縫文	75-1-1	18	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-18
2	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-2	19	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-19
3	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-3	20	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状縫文 (LR/LR)	75-1-20
4	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-4	21	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文, 外面: 傘状の変化物付箇	75-1-21
Sub	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-5	22a	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR/波段多)	75-1-22
5	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-6	22b	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-23
6	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (HL/LR)	75-1-7	22c	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	人面形紋文(横文) (HL/LR)	75-1-24
7	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (HL/LR)	75-1-8	22d	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-25
8	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-9	23a	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-26
9	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-10	23b	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-27
10	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-11	24	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR/LR)	75-1-28
11	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-12	25	SX01②・C3区・包含層2a層中	直・II	羽状縫文 (LR/LR), 沈線文, 無文部2 刃矢	75-1-29
12	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	羽状紋文 (LR/LR)	75-1-13	27a	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・II	直縫文, 頂部: 平行波線文, 口部: 直 縫文	75-1-30
13	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-14	27b	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・II	直文 (LR), 外面: 傘状の変化物付箇	75-1-31
14	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-15	28	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・II	直文 (LR/LR)	75-1-32
15	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-16	29	SX01②・C3区・包含層2a層中	直・II	羽状縫文 (RL/LR)	75-1-33
16	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR)	75-1-17	30	SX01②・C3区・包含層2a層中	直・II	直文 (LR)	75-1-34
17	SX01②・C3区・包含層2a層中	深鉗・2d	直文 (LR+PL附加箇)						

第170図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2a層中出土土器（1）



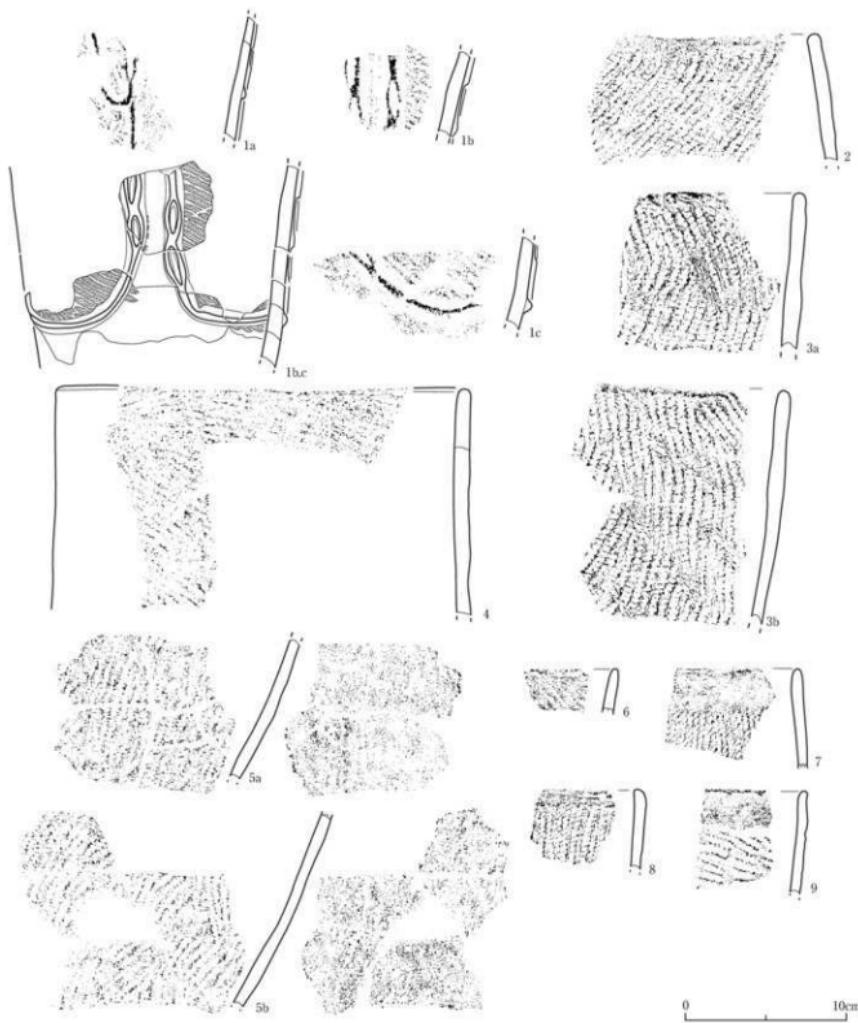
番号	出土遺物・地区・部位	形態・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・部位	形態・分類	特徴	可典回数
1	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc1	縫合文 (RL) → 多孔孔縫文	75-1-31	9	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc1	縫合文 (RL)	75-1-30
2	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc2	縫合文 (RL) → 縫合文・波縫文	75-1-32	10	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc1	縫合文 (RL)	75-1-40
3	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Va	ボタン状粘付文、縫合文、縫縫文、波縫文	75-1-33	11	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc1	縫合文 (RL)	75-1-41
4	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Va	ボタン状粘付文、縫文 (LR)、縫縫文 + 2枚1封の斜目文、波縫文	75-1-34	12	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc1	縫文 (RL)	75-1-42
5	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vd	縫縫文+2枚1封の斜目文?	75-1-35	13	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc2	縫文 (LR)	75-1-43
6	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vb	方型縫合文・縫文 (RL)、縫縫文、波縫文	75-1-36	15	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc1	縫合文 (RL) (波縫文が逆走)	75-1-44
7	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vb	方型縫合文・縫文 (RL)、縫縫文	75-1-37	16a,b	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・VII	内縫文・縫合文が逆走なし、全体に丁寧な立方文	75-1-45
8	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・Vc2	縫文 (RL)	75-1-38	17	SX012・C3区・包含層2a層中	深糸・VII	縫文 (RL)	75-1-46
								縫合文、時突文	75-1-47

第171図 SX012南側遺物包含層・C3区・包含層2a層中出土土器(2)



番号	出土遺物・地区・部位	形態・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・部位	形態・分類	特徴	可典回数
1	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・E?	縫合文・羽縫文 (RL/LR)	76-1-1	8	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vb?	方型羽縫文・縫文 (RL/R)、縫縫文	76-1-8
2	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Ed	縫文 (ナフカ文)	76-1-2	9	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vb?	波縫文、縫文 (RL)	76-1-9
3a,b	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vb	縫文 (LR) → 縫合文・縫縫文	76-1-3	10	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vc1	縫文 (LR)	76-1-10
4	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vb	縫文 (RL) → 縫合文・縫縫文	76-1-4	11	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vc2	縫文 (LR) (波縫文)	76-1-11
5	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Va	ボタン状粘付文、縫文 (LR)、縫縫文 + 2枚1封の斜目文、波縫文	76-1-5	12	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vc2	縫文 (LR) (波縫文)	76-1-12
6	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Va	縫合文 (RL)、縫縫文+2枚1封の斜目文、波縫文	76-1-6	13	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vb?	縫合文、縫文、縫縫文 (RL)	76-1-13
7	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Va	ボタン状粘付文、縫縫文+斜目文、波縫文	76-1-7	14	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vc2	縫合文、時突文、縫文 (LR)	76-1-14
					15	SX012・C3区・包含層2a層上部	深糸・Vc1	縫文 (RL)、縫文	76-1-15

第172図 SX012南側遺物包含層・C3区・包含層2b層上面出土土器(1)



番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数
1a-c	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・V形	両刃(LR+斜多面)、端縫文+2側刃の斜縫文、沈縫文	76-1-16	5a,b	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・V形	ケズリ→縫文(RL)、内面：ケズリ→V字形	76-1-20
2	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	両刃(LR+斜多面)	76-1-17	6	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	両刃(LR+斜多面)	76-1-21
3a,b	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	両刃(LR+斜多面)	76-1-18	7	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	斜糸文(R)	76-1-22
4	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	両刃(LR)	76-1-19	8	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	斜糸文(R)	76-1-23
		端中			9	SX01②・C3区・包含層2b層上面	深鉗・Vc1	両刃(LR)、沈縫文	76-1-24

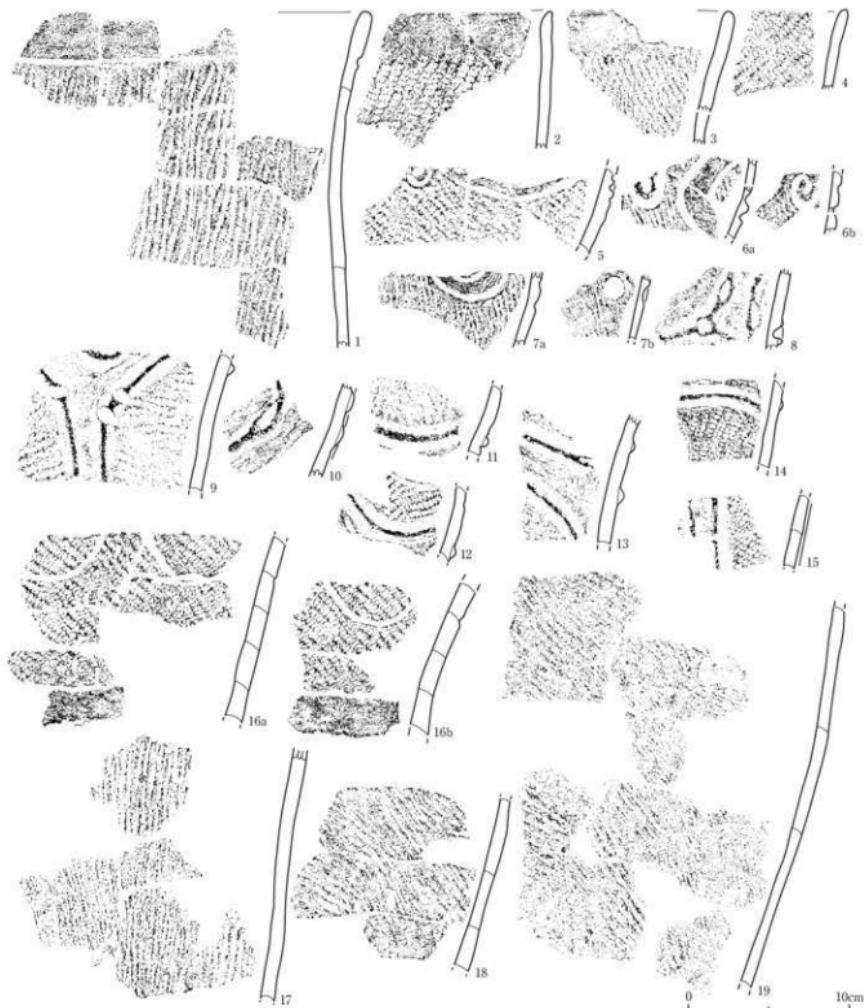
第173図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2b層上面出土土器(2)



0 10cm

番号	出土遺物・部位・層位	断面・分類	特徴	寄主頭骨	番号	出土遺物・地区・層位	断面・分類	特徴	寄主頭骨
1	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I b	圓文 (LR), 正變文	76-2-1	26	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・V b	圓文 (LR), O型多孔, 円形竹管文, 正變文	76-2-26
2	SX01②・C3区・包含層2層中	皿・I d	平行波線文 (義文 (LR)), 口唇部: 斜曲	76-2-2	27	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・V b	円形竹管文, 沈變文	76-2-27
3	SX01②・C3区・包含層2層中	盤・I ?	圓形凹面文 ? (沈變文, 義文 (LR))	76-2-3	28	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・V b	圓底凹面, 月牙形竹管文, 沈變文	76-2-28
4	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・E ?	入字形垂直文 ? (沈變文, 義文 (LR)), 番付, 極細文	76-2-4	29a	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vba	圓文 (RL), 階段文+2倍1対の斜目文, ポチナ状粘付件, 沈變文	76-2-29
5	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	圓文 (LR)	76-2-5	29b	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文 (RL), 階段文+2倍1対の斜目文, ポチナ状粘付件, 沈變文	76-2-29
6	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	圓文 (LR)	76-2-6	30	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	ポチナ状粘付件, 沈變文, 深變文	76-2-30
7	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	圓文 (RL)	76-2-7	31	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	ポチナ状粘付件, 沈變文, 沈變文	76-2-31
8	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	圓文 (LR)	76-2-8	32	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	方形凹面文/深變文 (LR), 沈變文+斜目文, 沈變文	76-2-32
9	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	圓文 (RL)	76-2-9	33	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	ポチナ状粘付件, 沈變文, 沈變文	76-2-33
10	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	圓文 (LR)	76-2-10	34	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・V ?	方形凹面文/義文 (LR), 直凡, 斜變文	76-2-34
11a	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I d	無文 (アヅタ)	76-2-11	35	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	深變文, 沈變文	76-2-35
12	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I b	人面像文/點絞文	76-2-12	36	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	深變文 (LR), 沈變文, 沈變文	76-2-36
13	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I b	圓文 (LR), 沈變文	76-2-13	37	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	深變文, 沈變文	76-2-37
14	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I b	圓文 (RL), 沈變文	76-2-14	38	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	方形凹面文/義文 (LR), 沈變文+2倍1対の斜目文, 沈變文	76-2-38
15	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・I b	斜目文 (RL), 斜平行波線文	76-2-15	39	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	方形凹面文/義文 (LR), 沈變文+2倍1対の斜目文, 沈變文	76-2-39
16	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Nc3	圓文 (LR), 正變文	76-2-16	40	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	方形凹面文/義文 (LR), 沈變文+2倍1対の斜目文	76-2-40
17	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Nc1	直文文釦, 多角波線文	76-2-17	41	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文 (LR), 沈變文, 沈變文	76-2-41
18	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Nc1	圓文 (LR), 多条波線文	76-2-18	42	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文 (LR), 沈變文, 沈變文	76-2-42
19	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb1	口唇: 斜目文波線文	76-2-19	43	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb1	圓文 (LR)	76-2-43
20	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb2	圓文 (RL) → 椭圓文	76-2-20	44	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb2	圓文 (RL), 沈變文+2倍1対の斜目文	76-2-44
21	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文 (RL) → 縱狀帶參文/沈變文	76-2-21					
22	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文 (RL) → 椭圓文	76-2-22					
23	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文文釦 → 態變文	76-2-23					
24	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文文釦	76-2-24					
25	SX01②・C3区・包含層2層中	深鉢・Vb	圓文文釦	76-2-25					

第174図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2層中出土土器 (1)



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文(内), 沈継文	77-1-1	10	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文(内), 沈継文+2倍1対の斜め文, 沈継文	77-1-10
2	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vba	溝文 (SLR)	77-1-2					
3	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vbc	溝文(内), 沈継文	77-1-3	11	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR), 沈継文, 沈継文	77-1-11
4	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vbg2	溝文 (LR)	77-1-4	12	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR), 沈継文, 沈継文	77-1-12
5	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (LR), 内文+円形刻突文, 滲継文	77-1-5	13	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR), 沈継文+刻突文, 沈継文	77-1-13
6	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (内), 小溝參文, 滲継文	77-1-6	14	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR), 沈継文, 沈継文	77-1-14
6ab	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文(内), 滲継文	77-1-6	15	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR), 惣合溝縫文, 沈継文	77-1-15
7ab	SX01②・C3区・包含層2b層中	円筒状骨針	溝文(内), 滲継文	77-1-7	16ab	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR), 沈継文	77-1-16
8	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	2倍1対斜刻文, 溝文 (LR), 滲継文+2倍1対斜刻文	77-1-8	17	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR)	77-1-17
9	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文(内), 溝文 (LR), 滲継文+2倍1対斜刻文, 沈継文	77-1-9	18	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	溝文 (SLR)(多摩)	77-1-18
					19	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vb	ケズリ→溝文 (LR)(既多条)	77-1-19

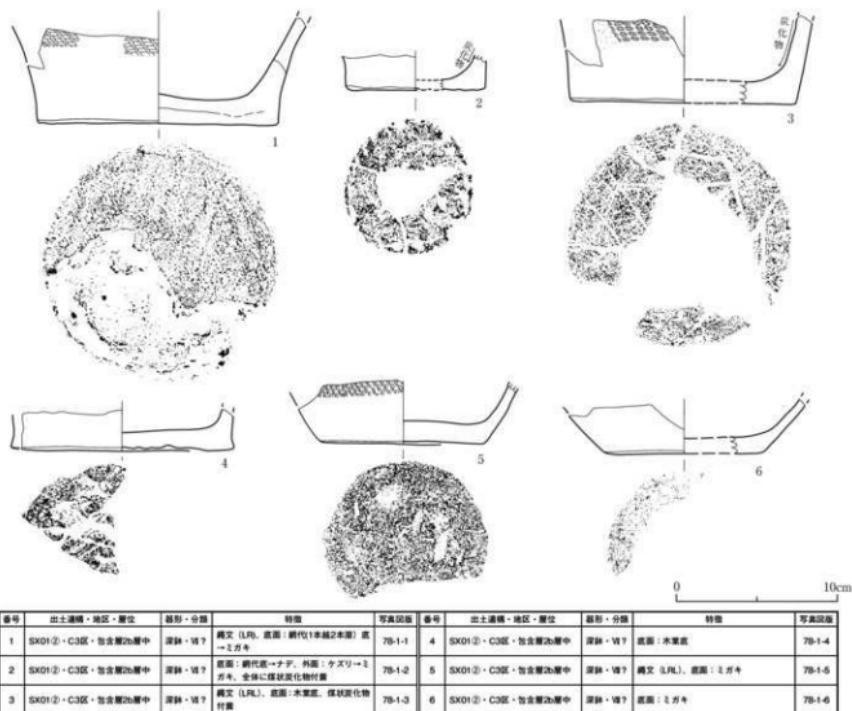
第175図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2b層中出土土器（2）



0 1 10cm

番号	出土遺構・地区・層位	形・分類	特徴	可算回数	番号	出土遺構・地区・層位	形・分類	特徴	可算回数
1	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・分縫	浅文 (Rf), 雕繪文, 刻划文	77-1-20	10	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Ⅱ	雕文 (Rf)-V-2ガキ, 底面: 2ガキ (中央絞込)	77-1-29
2a,b	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・底C?	施鉢文, 刻划文, 雕繪文	77-1-21	11	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Ⅳ?	雕文 (Rf), 底面: 前代 (3本越3本縫?)底	77-1-30
3a~c	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	側内削痕墨文? / 線文 (Lh), 雕繪文, 墨文, 刻划文	77-1-22	12	SX01②・C3区・包含層2b層中-2a	深鉢・Ⅳ?	雕文 (Rf), 底面: 前代 (1本越1本縫)底	77-1-31
4	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・V?	雕文 (Rf), 雕繪文, 刻划文, 墨繪文	77-1-23	13	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Ⅳ?	雕文 (Rf), 底面: 前代 (2本越2本縫)底	77-1-32
5	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・V	ヒレ状墨文, 雕繪文	77-1-24	14	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Ⅳ?	墨面 (Rf), 底面: 前代 (3本越3本縫)底, 内面: 施化物付 墨面 (Rf), 前代底→2ガキ, 内面: 施化物付 墨面, 外面: 墨状に施化物付	77-1-33
6	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	雕文 (Rf), 雕繪文	77-1-25	15	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Ⅳ?	内面: 墨面, 前代底 (3本越3本縫), 底 盤: 墓狀に施化物付, 底部外側C 粘土付	77-1-34
7	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Vc?	側内削痕墨文 (Rf), 雕繪文	77-1-26					
8	SX01②・C3区・包含層2b層中	深鉢・Ⅱ	底面: 無い骨付	77-1-27					
9	SX01②・C3区・包含層2b層中-2a 層中, C4区・包含層2a層中	Ⅲ, Ⅳ?	外側: ケズリ-ミガキ, 内面: 2ガキ, 墨面: 1ガキ	77-1-28					

第176図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2b層中出土土器 (3)



第177図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2b層中出土器（4）



第178図 SX01②南側遺物包含層・C3区・包含層2c層中出土器

### (30) SX01②南側遺物包含層A2～C2北ベルト出土土器（第180～187図）

A2～C2北ベルトでは、西側のA2北ベルトでSX01③北西側遺物包含層、東側のB2～C2北ベルトでSX01②南側遺物包含層が確認され、中央部分で旧河道群が検出（第179図）された。

層位関係は、SX01②南側遺物包含層1a～1b層（旧河道SX03堆積層）→火山灰層→SX01②南側遺物包含層2a①～2a②層→SX01②南側遺物包含層2b①～2b③層→旧河道SX29堆積層→旧河道SX30堆積層→SX01②南側遺物包含層3a層、SX01②南側遺物包含層1a～1b層（旧河道SX03・04・23・24堆積層）→SX01③北西側遺物包含層I a①～I c層→SX01③北西側遺物包含層II a～II b②層の堆積順位となる。このうち、SX01②南側遺物包含層の下部黒色土層（包含層2c・2d層）は、このベルトでは検出されず、代わって2b②層の砂礫層と不整合をなす砂礫層2b③層が確認されており、最初から下部黒色土層がA2～C2北ベルトまでは延びていない可能性と本来あった下部黒色土層が2b③の砂礫層によって浸食されてしまった可能性の双方が考えられた。SX01②南側遺物包含層3a層の下、無遺物層の3b層上面に炭化物が広がっており、略完形の土器が1個体（第187図23）押しつぶされた状態で出土している。

なお、A2北ベルト部分の出土土器はA3区側にまとめて取り上げており、ここでは断面図のみの表示となる。

#### ①旧河道SX03堆積層中出土土器（第180図）

1～4は深鉢形土器である。1・2は口頸部が短く外反する器形である。頸部には1条の沈線文がめぐっている。3は口縁部が外傾する器形、4は底部である。5は頸部がやや内傾して立ち上がる壺形土器である。胴部には幅の広い羽状縄文が施されている。

#### ②包含層2a層上面出土土器（第181図）

1～12はすべて深鉢形土器である。1・3・7は口頸部が短く外反し、2は口頸部が緩やかに外反する。4は口縁部が内湾して立ち上がり、口唇部が帯状に厚くなり、5・8・9は口縁部が内湾する。口頸部には横位沈線文がめぐるものと地文のみのものがある。11・12は底部である。

#### ③包含層2a層中出土土器（第182図）

1～10はすべて深鉢形土器である。1は口頸部が短く外反し、横位平行沈線文と刻目文が施されている。2は口縁部が緩やかに外反する。胴部にはハケメ様の痕跡が残されている。3は口縁部が内湾する器形である。4は口縁部が外傾し、平行沈線文に貼瘤が付されている。5は口縁部が緩やかに内湾する。幅の狭い羽状縄文が施されている。6は格子状沈線文、7は縱位櫛描文、8は口端に刻目列が施されている。9は口縁部が外傾し、横走縄文が施されている。10は方形区画文が隆線と沈線によって描出されている。

#### ④包含層2a層下部出土土器（第183図1・2）

1は頸部が「ハ」字状に内傾する壺形土器である。頸部には平行沈線文がめぐっている。胴部には幅の広い羽状縄文が施されている。頸部は横方向に丁寧にミガキが施されている。肩部内面にはハケメ状の痕跡が残されている。2は深鉢形土器の胴下部である。横方向にケズリ、ナデ調整を行っている。

⑤包含層2b①層上面出土土器（第183図3～7）

3～7はすべて深鉢形土器である。3～5は口縁部が緩やかに内湾する。3は口縁部に文様帯が設けられ、平行沈線文間に2列の小貼瘤が連続して付され、小貼瘤間に一部刻目文が施されている。沈線間は部分的にミガキが施されている。地文には幅の狭い羽状縄文が施されている。4～5の地文のみのものは幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施文されている。7の底面はミガキが施されている。

⑥包含層2b①層中出土土器（第184図）

壺形土器1点（8）以外は、すべて深鉢形土器である。1～3は入組帶状文に小貼瘤を付したものである。4・5は平行沈線間に円形竹管による下からの刺突を密に連続して施している。6・7は羽状縄文が磨り消され、無文部は丁寧な彫去風のミガキが施されている。8は内面上部には指頭によるオサエの痕跡が残されている。9～17は緩やかに口縁部が内湾する器形である。9～14は幅の狭い羽状縄文、15～17は横位斜行縄文が施されている。18～20は底部である。18・19にはごく低い台が付されている。21～29は沈線や隆線によって文様が施される土器、地文のみの土器である。文様には懸垂文や鎖状隆線文などがある。22は2本の平行沈線間に円形竹管文や小渦巻文が施されている。

⑦包含層2b②層上面出土土器（第185図1・2）

1・2は深鉢形土器の底部である。1の胴下部には幅の狭い羽状縄文が施されている。2の底面は丁寧にミガキ調整が施されている。胎土には木炭末が含まれている。

⑧包含層2b②層中出土土器（第185図3～7）

3～7はすべて深鉢形土器である。3～4は0段多条の幅の狭い羽状縄文の磨消によって文様が構成されている。無文部は彫去風のミガキが施されている。4は頸部でくびれ、口縁部は緩やかに内湾する器形である。口縁部には平行沈線文、胴上部には大振りな弧状文が描出されている。5は横位沈線が施され、以下には横位斜行縄文がやや回転方向を変えながら施文されている。6・7は口縁部が緩やかに外反する器形である。6の波頂部下には梢円形区画文が配されている。

⑨包含層2b③層中出土土器（第185図8・9、第186図1～12）

水成堆積の砂礫層から出土した土器で、すべて深鉢形土器である。第185図8は頸部でくびれ、口縁部は緩やかに内湾する器形である。大振りな波状口縁の土器で、反転平行沈線文が施されている。地文の縄文は0段多条横位斜行縄文である。9は底部で、底面には網代の痕跡が磨き残されている。第186図1～12は沈線や隆線の施される土器、地文のみの土器である。懸垂文や鎖状隆線文、ヒレ状隆線文が施されている。

⑩旧河道SX29堆積層中出土土器（第186図13～26）

すべて深鉢形土器である。13は口縁部が緩やかに内湾する。幅の狭い0段多条による羽状縄文が横位に施文されている。14～22は沈線や隆線によって文様が施される土器である。14は0段多条の横位斜行縄文上に、横位平行沈線文が施文されている。沈線文の反転部は同一個体の範囲内では確認されない。15～19は多条沈線によって文様が施されている。18はくびれ部に橋状把手の配される深鉢形土器である。20は波頂部にボタン状貼付文、盲孔、以下に懸垂文を施している。20・21は口縁部に無文帯が設けられ、区画となる隆線文が付されている。23は横位斜行縄文が施されてい

る。24～26は網代の痕跡が残る底部である。

⑪旧河道SX30堆積層中出土土器（第187図1～17）

上層（第179図24）・下層（同図25）に分けて遺物を取り上げている。上層では1～10の深鉢形土器が出土した。1は口縁部が緩やかに外反する器形で、横位櫛描文と1条の沈線文が施されている。2～4は口縁部に無文帯が設けられ、2は沈線文で画され、3・4は沈線文が施されていない。5～8が胴部で、沈線や隆線による文様や櫛描文が施されている。9・10は木葉や網代の痕跡を残す底部である。

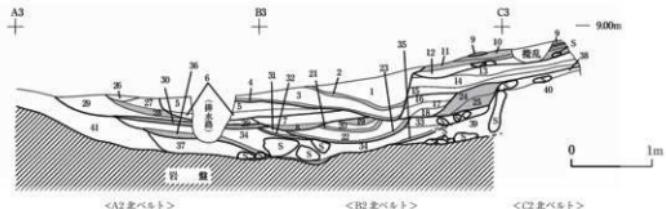
下層では11～17の深鉢形土器が出土した。すべて沈線や隆線によって文様が構成されるものある。11は口縁部が緩やかに外反し、波頂部には盲孔が配されている。弧状に懸垂する平行沈線文間には鎖状刺突文が加えられている。交点部分にはボタン状貼付文が付されている。

⑫SX01②南側遺物包含層3a層上面出土土器（第187図18～22）

すべて深鉢形土器である。18・19は口縁部に無文帯が設けられ、18は以下に隆線と列点状の刺突文が施されている。20・21は胴部で、20はヒレ状隆線文、21は無文帯が隆帯によって作られている。22は底部近くに沈線文が施されている。

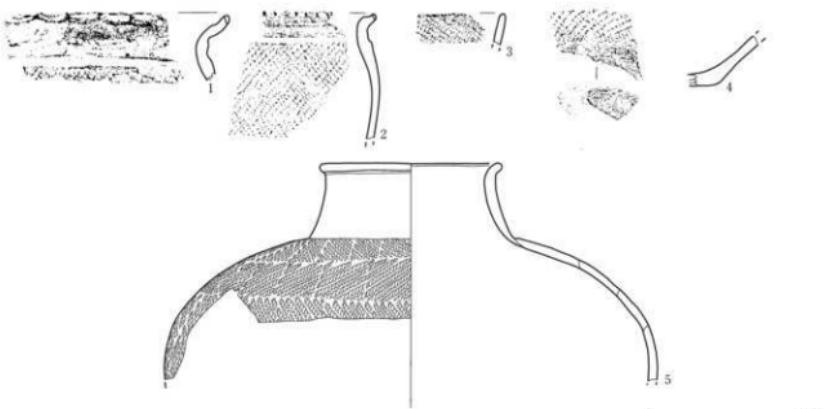
⑬SX01②南側遺物包含層3b層上面出土土器（第187図23）

深鉢形土器が1点単独で出土している。口縁部が緩いS字状を呈する波状口縁土器である。口縁部にはなだらかな凹線状に無文帯が設けられている。胴部には逆U字状の文様が太い沈線文と隆線文で形作られ、全体に配されている。胴下部内面に炭化物が付着しており、年代測定の資料（ISK-7）とした。



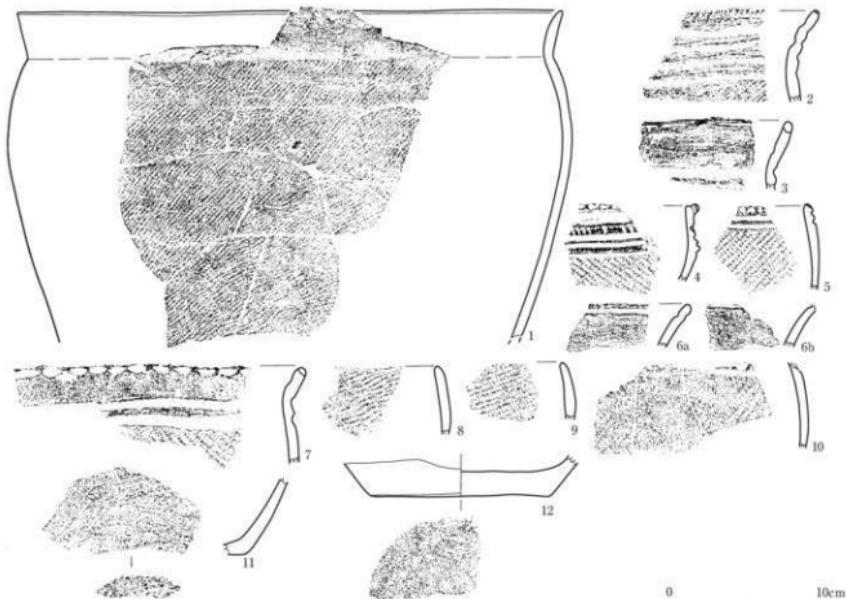
番号	土色	土性	遺物取上げ部位	番号	土色	土性	遺物取上げ部位	番号
1	灰オーリー色(7.5Y4/2)	砂糖	包含層1層	5~10cmの緑を含む。田河通SX03B	22	オーリー色(7.5Y4/4)	砂糖	田河通SX29 緑植物
2	黄褐色(2.5Y3/1)	粘土質シルト	包含層1層	木質を多く含む。田河通SX03B	23	黄褐色(10YR3/1)	粘土質シルト	田河通SX29 緑植物
3	オーリー色(2.5Y4/4)	砂糖	包含層1層	~20cmの緑を含む。田河通SX03C	24	黄褐色(2.5Y2/1)	粘土質シルト	木質を多く含む。田河通SX30
4	黄褐色(2.5Y2/1)	粘土	包含層1層	木質を多く含む。田河通SX03C	25	黄褐色(2.5Y2/1)	粘土	Sec.16層
5	黄褐色(2.5Y5/6)	砂糖	包含層1層	しましまのある砂糖。田河通SX04	26	オーリー質色(7.5Y2/2)	砂糖	包含層1a:層
6	オーリー質色(5Y4/6)	砂糖	包含層1層	木質を含む。田河通SX04	27	オーリー質色(7.5Y4/3)	砂糖	包含層1a:層
7	黄褐色(2.5Y5/6)	砂糖	包含層1層	緑を多く含む。田河通SX1	28	黒色(7.5YR1/1)	粘土質シルト	北西側植物を含む。泥炭地を多く含む。
8	オーリー質色(7.5Y3/2)	粘土質シルト	包含層1層	木質を含む。田河通SX14	29	緑植物質色(7.5YR2/2)	砂糖	北西側植物を含む。泥炭地を多く含む。
9	灰白色(NH3/0)	(粉質)		火山灰層	30	黒色(7.5YR1/1)	粘土質シルト	北西側植物を含む。泥炭地を多く含む。
10	黒色(2.5Y2/1)	粘土	包含層2a:層	火山灰層底下。サンプリング	31	オーリー質色(7.5Y2/2)	砂糖	北側は北西側植物を含む。泥炭下部(?)に層分層。
11	黒色(2.5Y2/1)	粘土質シルト	Sec.10 層	包含層2a:層	32	黒色(10YR3/1)	粘土質シルト	泥炭地。
12	黒色(2.5Y1/7)	シルト	Sec.10 層	緑を含む。炭化物を含む。	33	オーリー質色(7.5Y2/2)	砂糖	Sec.17層
13	暗褐色(2.5Y3/2)	砂糖シルト	Sec.11 層	包含層2b:層。炭化物を含む。	34	オーリー 質 色(7.5Y4/4)	砂糖	西側では北西側植物を含む。泥炭下部(?)に層分層。
14	灰オーリー色(7.5Y4/2)	砂糖	Sec.12 層	包含層2b:層。水成堆積	35	黒色(10YR3/1)	粘土質シルト	水質、有機質を多く含む。水成堆積
15	暗褐色(2.5Y5/2)	砂糖	Sec.12 層	包含層2b:層。水成堆積	36	黒色(7.5YR1/1)	粘土質シルト	北西側植物を含む。
16	黄褐色(2.5Y4/2)	砂糖	Sec.13 層	木質をうなづかに含む。田河通SX26	37	オーリー質色(7.5Y3/1)	砂糖	北西側植物を含む。緑を含む。
17	オーリー質色(2.5Y4/4)	砂糖	Sec.14 層	5cmの緑を含む。田河通SX29	38	暗褐色(10YR4/2)	粘土	北西側植物を含む。泥炭地を含む。
18	黒色(2.5Y2/1)	砂糖	Sec.14 層	木質を含む。田河通SX29	39	オーリー質色(7.5Y3/1)	砂糖	無機物質
19	オーリー質色(7.5Y3/2)	砂糖	田河通SX29 堆積層	3cm程の緑を含む。	40	黒色(10YR4/4)	粘土	グライナした砂糖
20	オーリー質色(2.5Y4/6)	砂糖	田河通SX29 堆積層	小塊を含む。	41	暗褐色(10YR4/4)	シルト	砂糖を含む。
21	黄褐色(10YR3/1)	粘土質シルト	田河通SX29 堆積層	木質、有機質を多く含む。				クリア化した小塊を含む。

第179図 A2~C2北ベルト断面



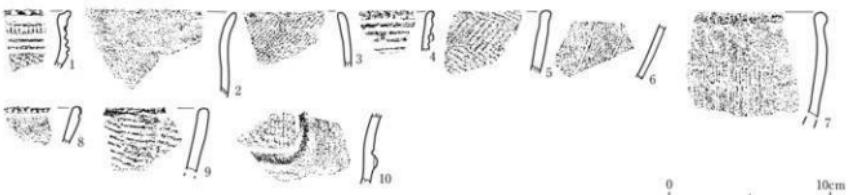
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真回数
1	田河通SX03・B2北ベルト・堆積層1層中	溝跡・I	溝文(LR)、溝跡、外縁：炭化	78-3-1	4	田河通SX03・B2北ベルト・堆積層1層中	溝跡・I	溝文(LR)、裏面：ミガキ	78-3-4
2	田河通SX03・B2北ベルト・堆積層1層中	溝跡・I	溝跡底(LR-VL)、溝底定	78-3-2	5	田河通SX03・B2北ベルト・堆積層1層中	溝跡・I	田河通SX03堆積層	78-3-5
3	田河通SX03・B2北ベルト・堆積層1層中	溝跡・I	溝文(LR)	78-3-3	1	田河通SX03・B2北ベルト・堆積層1層中	溝跡・I	田河通SX03・堆積層	

第180図 田河通SX03A・B2北ベルト・堆積層中出土土器



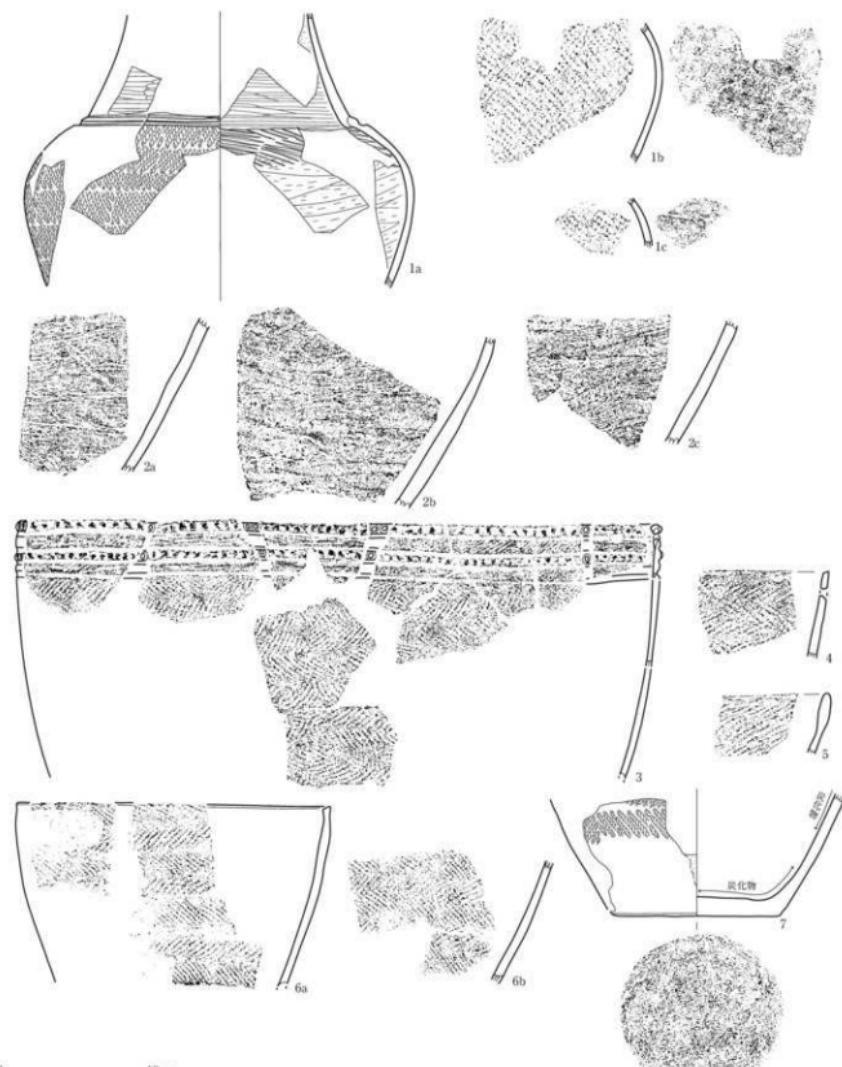
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I	縦文 (LR+RL 脊加条) 縦長い斜目文	79-1-1	7	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I b	縦文 (RL)、平行波綱文	79-1-7
2	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I	平行波綱文、縦文 (LR+RL 脊加条) 縦長い斜目文	79-1-2	8	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I c	縦文 (LR)	79-1-8
3	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I b	平行波綱文	79-1-3	9	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I e	縦文 (LR)	79-1-9
4	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I a	縦文 (RL)、平行波綱文、斜目文	79-1-4	10	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I f	縦文 (LR)、波綱文	79-1-10
5	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I d	縦文 (LR)、平行波綱文	79-1-5	11	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I	縦文 (LR) → ケズリ	79-1-11
6a	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I b	波綱文	79-1-6	12	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層上面	深鉢・I	底面: ケズリ→ミガキ	79-1-12

第181図 SX01②南側遺物包含層・B2～C2北ベルト・包含層2a層上面出土土器



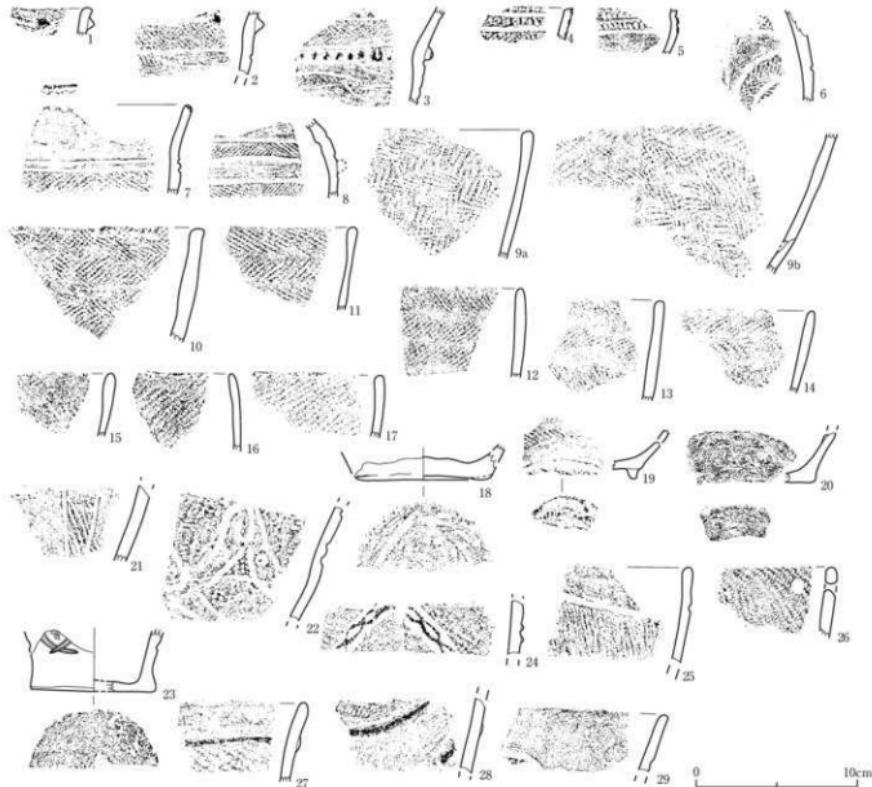
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・I a	縦文 (RL)、平行波綱文、斜目文	79-2-1	6	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・I c	格子状波綱文	79-2-6
2	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・I	網目 (八千目状) 織痕、外層: 原化物 付録	79-2-2	7	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・II b?	横綱文	79-2-7
3	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・I e	縦文 (LR)	79-2-3	8	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・II b	波綱文、斜目文	79-2-8
4	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・I a	縦文、平行波綱文	79-2-4	9	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・Vb1	縦文 (LR)	79-2-9
5	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・I d	縦文 (LR+RL)	79-2-5	10	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2a 層中	深鉢・Vb2	方格状波綱文 (縦文 (LR)、横綱文)	79-2-10

第182図 SX01②南側遺物包含層・B2～C2北ベルト・包含層2a層中出土土器



番号	出土遺構・地区・位置 基軸・分類	特徴 写真図版	番号	出土遺構・地区・位置 基軸・分類	特徴 写真図版	
1a-c	SX01②・B2-C2北ベルト・包含層2b 層下部、C3層ベルト・包含層2a層中	羽状模文 (LR/LR)、平行弦文、内 面: ケズリーハナ骨吸 (ヘラ骨工具)	79-3-1	SX01②・B2-C2北ベルト・包含層2b ①層上面	羽跡・II d 羽状模文 (LR/LR)	79-3-4
2a-c	SX01②・B2-C2北ベルト・包含層2a 層下部、C3層ベルト・包含層2a層中、B3 区・包含層2層上面	無文 (ケズリ・ナナ)	79-3-2	SX01②・B2-C2北ベルト・包含層2b ①層上面	羽跡・II d 萬文 (LR)	79-3-5
6	SX01②・B2-C2北ベルト・包含層2b ①層上面、B2区・包含層2b層上面、C4 区・包含層2a層中、C3区・包含層2a層中、B2区・ 包含層1層下面	平行弦文、縦文、斜文、羽状模文 SL/R/LR)、内面: ケズリーナナ	79-3-3	SX01②・B2-C2北ベルト・包含層2b ①層上面	羽跡・II 羽状模文 (RL/RL)、肚土・繩文又 テ入、内面: 無化物付箇、底面: ケズリ・ミガキ	79-3-7

第183図 SX01②南側遺物包含層・B2-C2北ベルト・包含層2a層下部、2b①層上面出土土器



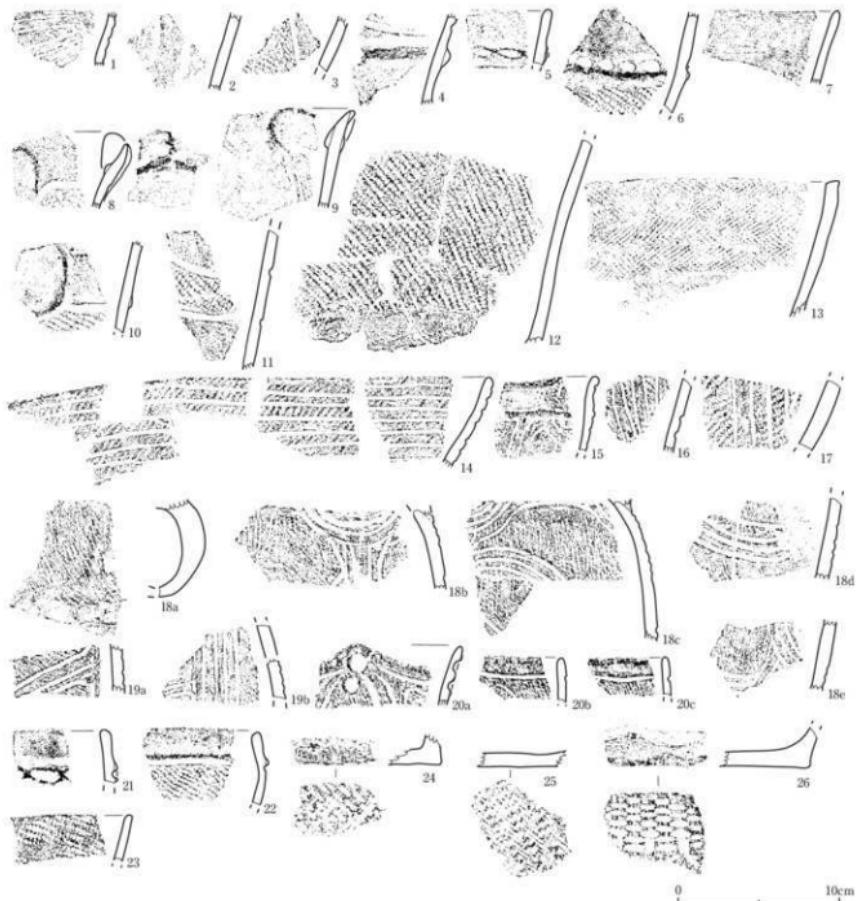
番号	出土遺構・地区・層位	種類・分類	特徴	寄主岩相	番号	出土遺構・地区・層位	種類・分類	特徴	可視認度
1 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲa	入相巻状文(縦文)・縫合・沈縫文	B2-1	16 ②層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅳc	縦文(Ⅳc)	80-1-16
2 ①層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲa	入相巻状文・羽状縫文(Ⅳc/LR)・縫合・沈縫文	B2-2	17 ②層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅳc	縦文(Ⅳc)	80-1-17
3 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲa	入相巻状文・羽状縫文(Ⅳc/LR)・縫合・沈縫文	B2-3	18 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅳc	底面:低い台付、ナデ	80-1-18
4 ①層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲb	横縫文(Ⅳc)・平行波状文・通絶刺突文(円形竹管)・縫合・沈縫文	B2-4	19 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅳc	羽状縫文(Ⅳc/LR/LR)・底面:台付	80-1-19
5 ①層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲb	平行波状文・通絶刺突文(円形竹管)・縫合・沈縫文	B2-5	20 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅳc	外側:ケズリ・ミガキ、裏面:ミガキ	80-1-20
6 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲb	直状・縫合・沈縫文(Ⅳc/LR)・直縫文	B2-6	21 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vb	縦文(Ⅳc)・一種巻文(縦縫文)	80-1-21
7 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲb	口状縫文・斜巻文・縫合・平行波状文・羽状縫文(Ⅳc/LR)	B2-7	22 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vb?	縦文(Ⅳc)・一種巻文・小溝巻文・内削面・剪切面・沈縫文	80-1-22
8 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃・Ⅲa	羽状縫文(Ⅳc)・縫合・沈縫文・内削面	B2-8	23 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vb?	縦文(Ⅳc)・一定縫文・底面:ナデ、底付に化粧土付	80-1-23
9a,b ①層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲd	羽状縫文(Ⅳc/LR)	B2-9	24 ②層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vb?	縦文(Ⅳc)・縫合隕文・沈縫文	80-1-24
10 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲd	羽状縫文(Ⅳc/LR)	B2-10	25 ②層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vb?	縦文(Ⅳc)・沈縫文	80-1-25
11 ①層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲd	羽状縫文(Ⅳc/LR/LR)	B2-11	26 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vcl?	縦文(Ⅳc)・横修孔	80-1-26
12 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲd	羽状縫文(Ⅳc/LR)	B2-12	27 ②層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vba	縦文(Ⅳc)・縫合文	80-1-27
13 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲd	羽状縫文(Ⅳc/LR/LR)	B2-13	28 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vba	縦文(Ⅳc)・縫合文	80-1-28
14 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅲd	羽状縫文(Ⅳc/LR/LR)	B2-14	29 ②層中(5ec.11層)	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Vba?	縦文?・沈縫文	80-1-29
15 ①層中	SX01②-B2-C2北ベルト・包含層2b	刃状・Ⅳc	縦文(Ⅳc)	B2-15					

第184図 SX01②南側遺物包含層・B2～C2北ベルト・包含層2b①層中出土土器



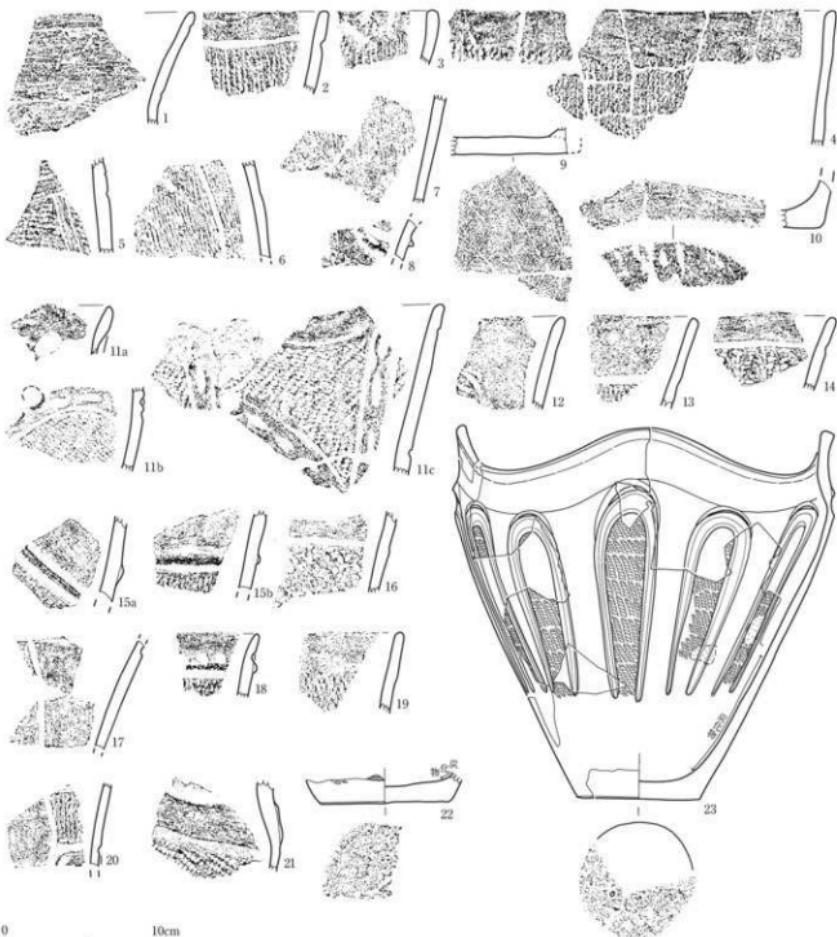
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可収図版
1	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層上面	深鉢・E	羽状織文 (RL/LR), 茶園: ケツリ→三方牛	BO-2-1	6	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層中 (Sec.12層)	深鉢・Wd	網目羽状織文/鷺文 (LPL), 沈線文	BO-2-6
2	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層上面	深鉢・E?	直面: 三方牛、墻土中に木炭束を含む	BO-2-2	7	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層中 (Sec.12層)	深鉢・W	鷺文	BO-2-7
3a-b	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層上面 (Sec.12層)・2b2層上面	深鉢・E b	弦状文/羽状織文 (RL/LR-O段多)	BO-2-3	8	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層中 (Sec.12層) 中, C3層・包含層2b②層 中, C3層ベルト・包含層2b②層中, B3 層・包含層1c層中・包含層1b層中	深鉢・Ba	鷺文 (LR-O段多) → 反転平行弦文	BO-2-8
4a-b	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層中 (Sec.12層)・2b2層上面	深鉢・E b	弦状文/羽状織文 (RL/LR-O段多)	BO-2-4	9	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b② 層 (Sec.12 層) 中・2b2層 (Sec.12 層) 中	深鉢・E→清 内面: 变化地付帯	鷺文 (LR), 直面: 創代表→三方牛, 内面: 变化地付帯	BO-2-9
5	SX01②・B2～C2北ベルト・包含層2b ②層中 (Sec.12層)	深鉢・E?	鷺文 (E), 沈線文	BO-2-5					

第185図 SX01②南側遺物包含層、B2～C2北ベルト・包含層2b②層上面、2b2層中、2b③層中 (1) 出土器



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可変範囲	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可変範囲
1	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Nc1	直角文 (R) → 多条波線文	81-1-1	14	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	直角文 (R) → 多条波線文	直角文 (LR) → 多条波線文	81-1-14
2	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vb	直角文 (R) → 一帯直文・波線文	81-1-2	15	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Nc3	直角文 (LR) → 構状文・横筋文・多条波線文	81-1-15
3	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vb	直角文 (LR) → 一帯直文・波線文	81-1-3	16	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Nc3	直角文 (LR) → 多条波線文・横消	81-1-16
4	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	直角文 (R), 極端文, 波線文	81-1-4	17	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Nc1	直角文 (LR) → 構造文・波線文	81-1-17
5	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	直角羅線文, 波線文	81-1-5	18a	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13・14層) 中	深鉢・Nc7	構造把手, 二つ前直角文 (R) → 構造文・極端文・多条波線文	81-1-18
6	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	直角文 (LR), 極端文, 刺突文	81-1-6	18b	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.14層) 中	深鉢・Nc1	直角文 (R) → 多条波線文・横消	81-1-19
7	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd2	直角文 (LR)	81-1-7	18c	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.14層) 中	深鉢・Vb1	ボタン状點文・円形の目隠, 直角文 (R) → 多条波線文	81-1-20
8	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	極端別区異文・直角文 (R), ヒレ状波線文, 波線文	81-1-8	21	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Vb7	波状模様文	81-1-21
9	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	極端別区異文・直角文 (R), ヒレ状波線文, 波線文	81-1-9	22	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Vba	直角文 (LR), 極端文, 波線文	81-1-22
10	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	直角文 (LR) → 多条波線文, ヒレ状波線文, 波線文	81-1-10	23	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Bc7	直角文 (RL), 外縁: 斜化物	81-1-23
11	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	直角文 (R) → 多条波線文	81-1-11	24	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Vb7	直面: 普段2本越え直面 → 1本越え2本直面	81-1-24
12	3層 (Sec.12 層) 中	深鉢・Vd	直角文 (R)	81-1-12	25	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Vb7	直面: 普段 (2本越え2本直面)	81-1-25
13	堆積層 (Sec.13層) 中	深鉢・Bc	直角文 (R) → 多条波線文 (LR) → 多条波線文	81-1-13	26	SX012-B2-C2北ベルト・旧河道SX29堆積層 (Sec.14 層) 中	深鉢・Vb7	直面: 普段 (2本越え2本直面)	81-1-26

第186図 SX012南側遺物包含層・B2-C2北ベルト・包含層2③層中(2)、旧河道SX29堆積層(Sec.13-14-14'層)中出土土器



番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	可島田版
1	SX01②-C2北ベルト・旧河道SX30 堆積・3a	縦縞文・模様縞文	B1-2-1	SX01②-B2-C2北ベルト・旧河道SX30 堆積・3a	13	SX01②-B2-C2北ベルト・旧河道SX30 堆積・3a	縦縞文 (LR), 縦縞文	B1-2-13	
2	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文 (R)	B1-2-2	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	14	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文 (R), 縦縞文	B1-2-14	
3	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部・Sec12・茎付	縦縞文 (R)	B1-2-3	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部・Sec12・茎付	15a	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部・Sec12・茎付	縦縞文 (R), 縦縞文	B1-2-15	
4	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部・Sec12・茎付	縦縞文 (LR)	B1-2-4	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部・Sec12・茎付	16	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部・Sec12・茎付	縦縞・縦?	B1-2-16	
5	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文 (R)	B1-2-5	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	17	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文の裏面文がフック状、溝參 状ある・縦円文の周縁を切り替へ る	B1-2-17	
6	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文・Vb	B1-2-6	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	18	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文 (R), 縦縞文、斜縞文、 斜縞文	B1-2-18	
7	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文・Vc	B1-2-7	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	19	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 上部	縦縞・Vb2	縦縞文 (R)	B1-2-19
8	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文・Vb	B1-2-8	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	20	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	方角區面文/斜縞文 (LR), ヒレ状 縞文、斜縞文	B1-2-20	
9	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文	B1-2-9	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	21	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞・V?	縦文 (R), 縦縞文	B1-2-21
10	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞文・Vc	B1-2-10	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	22	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec15層) 中	縦縞・Vb	縦文 (R), 斜縞文、内面は「花化 現象」	B1-2-22
11a	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec16層) 中	内形の丸花文、縦文 (R), 縦状文/ 縦状斜縞文、ボタン状貼付文、沈 縞文	B1-2-11	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec16層) 中	23	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec16層) 中	内形の丸花文、C1西ベルト・包 含層3a層上面	両面文 (R), 両縞文、内面は「花化 現象」	B1-2-23
6	SX01②-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec16層) 中	縦縞文	B1-2-12	SX01②-B2-C2モルト・旧河道SX30 堆積層 (Sec16層) 中				両面文 (R), 両縞文、内面は「花化 現象」	

第187図 SX01②南側遺物包含層・B2-C2北ベルト・旧河道SX30堆積層中、包含層3a層上面・3b層上面出土土器

### (31) SX01③北西側遺物包含層A2区出土土器（第188～196図）

A2区では、SX01③北西側遺物包含層が検出され、包含層Ia層、Ic層、IIa層下部②層、IIb②層に分層（第201図参照）された。このうち、I層は旧河道SX08堆積層に相当する。IIa層下部②層から上位の層は、旧河道によって浸食されている。また、IIb①層はこのグリッド区には分布していない。IIb②層上面において、まとまって土器が出土した。

#### ①包含層I層（旧河道SX08堆積層）中出土土器（第188・189図）

包含層Ia～c層に分層して、遺物は取り上げている。同一個体の土器は認められるものの、接合するものはない。包含層Ia層からは第188図の土器が出土した。すべて深鉢形土器で沈線や隆線によって文様が施されている。5・6は底部で網代底となっている。包含層Ic層上面からは第189図1～4の深鉢形土器が出土している。Iは連弧状の凸レンズ状文が施され、貼瘤が付されている。2は多条沈線による懸垂文、3は刻目文の加えられた隆線文が施されている。4は横走縄文が施文されている。包含層Ic層中からは5～11の深鉢形土器が出土した。5～7は口縁部が緩やかに外反する器形である。5は凹線文、6は押圧縄文が口縁に沿って施されている。8は口縁部が外傾し、無文帶部分が薄くなるように作られている。9・10は懸垂文が施されている。11は木葉底である。

#### ②包含層IIa層下部②層中出土土器（第190図）

黒色土のIIa層下部②層中からは、第190図の土器が出土した。遺物包含層の末端部分で、遺物の出土状況もあまり芳しいものではない。1～13はすべて深鉢形土器である。Iは口縁部が外反する器形で細い撲糸文が施されている。2～9はいずれも懸垂文が施される胴部である。10～11は縱位描文が施されている。11の底面には木葉の压痕がミガキ残されている。12は網代底である。13は環状把手の基部である。隆線文には刻目文が施されている。

#### ③包含層IIb②層上面出土土器（第191～195図）

人頭大の礫を含む砂礫層（IIb②層）の上面に張り付くような形で、多量の炭化物とともにまとまって多くの土器が出土（写真図版14-2）した。一括廃棄された单一ブロックとして捉えられた。土器はすべて深鉢形土器である。第191図Iは口縁部が短く内折する器形である。口縁部をめぐる隆線に接して、細い半截竹管状の工具によって列点状に刺突文が施されている。2には橋状部を伴う環状把手が付けられている。把手の下には、大きな渦巻文が隆線で描出されている。隆線上には2個1対の刻目文が施されている。3は口縁部が緩やかに外傾する器形である。隆線によって緩い渦巻文が施されている。4・5は2と同形の土器である。4には緩い渦巻文が施されている。

第192図1・2は口縁部が緩やかに内湾する器形である。1には緩い渦巻文が隆線によって施されている。隆線上には2個1対の刻目文が加えられている。3～5は口縁部が緩やかに外反する器形である。方形区画文が隆線によって施され、隆線上には2個1対の刻目文が加えられている。隆線による区画内には沈線文によって文様が描かれている。6・7は沈線によって方形区画文が描かれている。8～10は口縁部に隆線文がめぐらしい土器である。11・12は沈線文がめぐらしている。13～20は方形区画文が隆線や沈線によって施される土器の胴部である。21は山形状の突起が付され、刻目文が加えられる隆線文がめぐらしている。22は2本の沈線文が斜位に施されている。23・24は弧状文が描かれてい

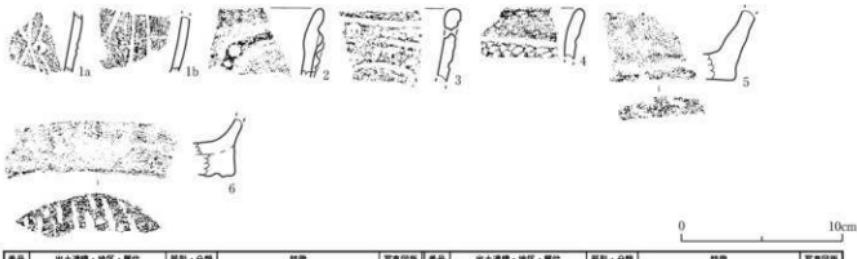
いる。25は山形状の突起の下に縦位2列の刺突文が施されている。26は胴部に刺突文が充填施文されている。27は無文、28~31・第193図1~4は地文のみの土器である。口縁部の形状は緩やかに外反するものと内湾するものがある。地文には繩文が用いられている。

第194図は胴部で懸垂隆線文が施されるもの、地文に撲糸文、繩文が施されるものである。

第195図1~5は底部である。底面には網代の痕跡を残している。

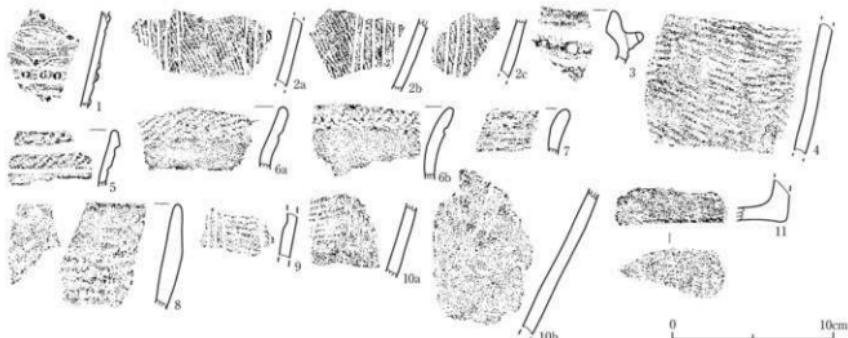
#### ④包含層Ⅱb②層中出土土器（第196図）

1はⅡb②層に食い込んで発見された土器である。Ⅱb②層上面の土器に同一個体がある。隆線上には縦位2列の刺突文が施されている。隆線上には隆線方向の2個1対の刻目文が加えられている。



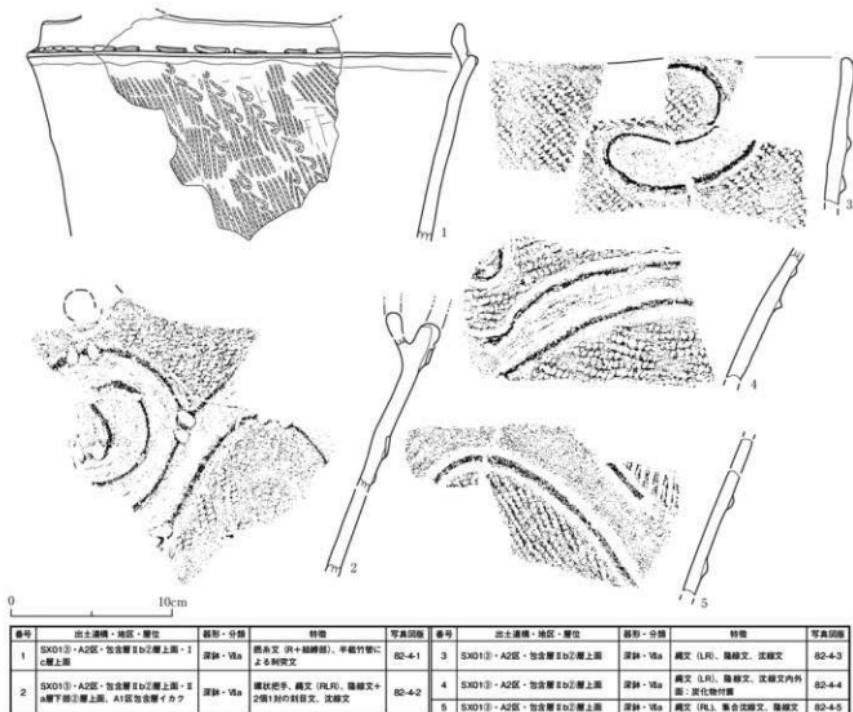
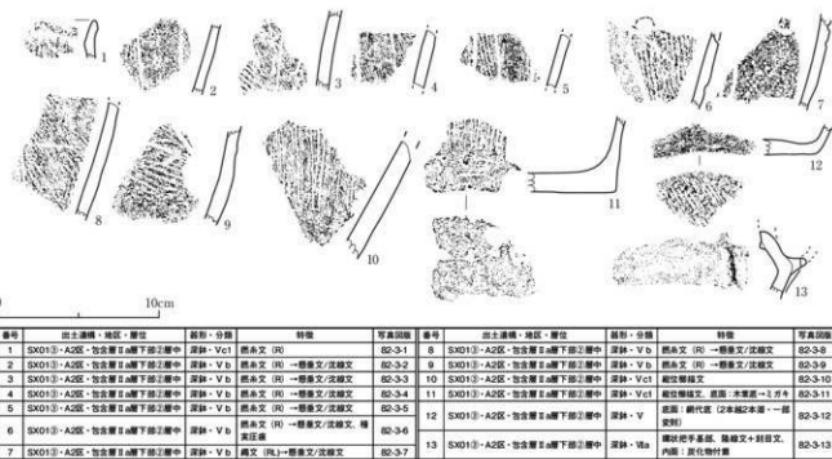
番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真回数
1ab	SX01③・A2区・包含層Ⅰa層中	深鉢・Vb	無文 (R) → 撲糸文・沈縫文	82-1-1	4	SX01③・A2区・包含層Ⅰa層中	深鉢・V?	繩文 (L/R)、沈縫文、外面: 化物付	82-1-4
2	SX01③・A2区・包含層Ⅰa層中	深鉢・Vb	無文 (L/R)、施縫文+斜吹文 (内側斜削突出)	82-1-2	5	SX01③・A2区・包含層Ⅰa層中	深鉢・V?	底面: 網代底	82-1-5
3	SX01③・A2区・包含層Ⅰa層中	深鉢・Vb?	方彌状底文 (繩文 (L/R)、沈縫文、施縫孔)	82-1-3	6	SX01③・A2区・包含層Ⅰa層中	深鉢・V?	底面: 網代 (口縁2本削?) 底	82-1-6

第196図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層Ⅰa層 (旧河道SX08堆積層) 中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真回数
5	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Sa	凸レンズ状文 (繩文 (L/R)、施縫文、沈縫文)	82-2-1	6ab	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・N/C2	繩文 (L/R)、斜吹文 (L/R)	82-2-6
2a-c	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Nc1	無文 (R) → 多条捺文による摺痕文、内面: 化物付	82-2-2	7	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・N/C4	繩文 (L/R)	82-2-7
3	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・Vb	無文 (L/R)、施縫文+斜吹文、沈縫文	82-2-3	8	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・N/D2	繩文 (L/R) (R多)	82-2-8
4	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層上面	深鉢・V?	無文 (L/R) (R多)	82-2-4	9	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・N/C1	繩文 (L/R) → 多条捺文による摺痕文	82-2-9
5	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・Ma	繩文 (L/R)、沈縫文	82-2-5	10ab	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・V?	繩文 (L/R) → 一帯文 (L/R)	82-2-10
					11	SX01③・A2区・包含層Ⅰc層中	深鉢・N	底面: 木質底	82-2-11

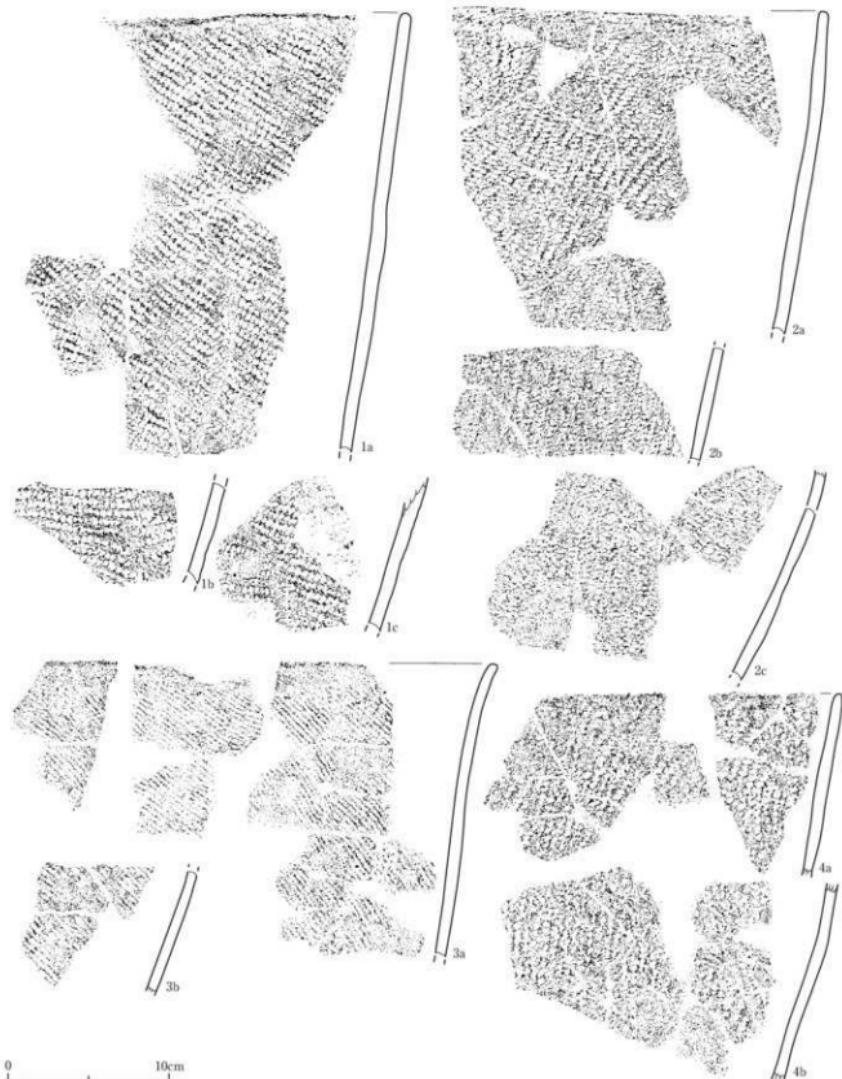
第197図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層Ⅰc層上面・Ⅰc層 (旧河道SX08堆積層) 中出土土器





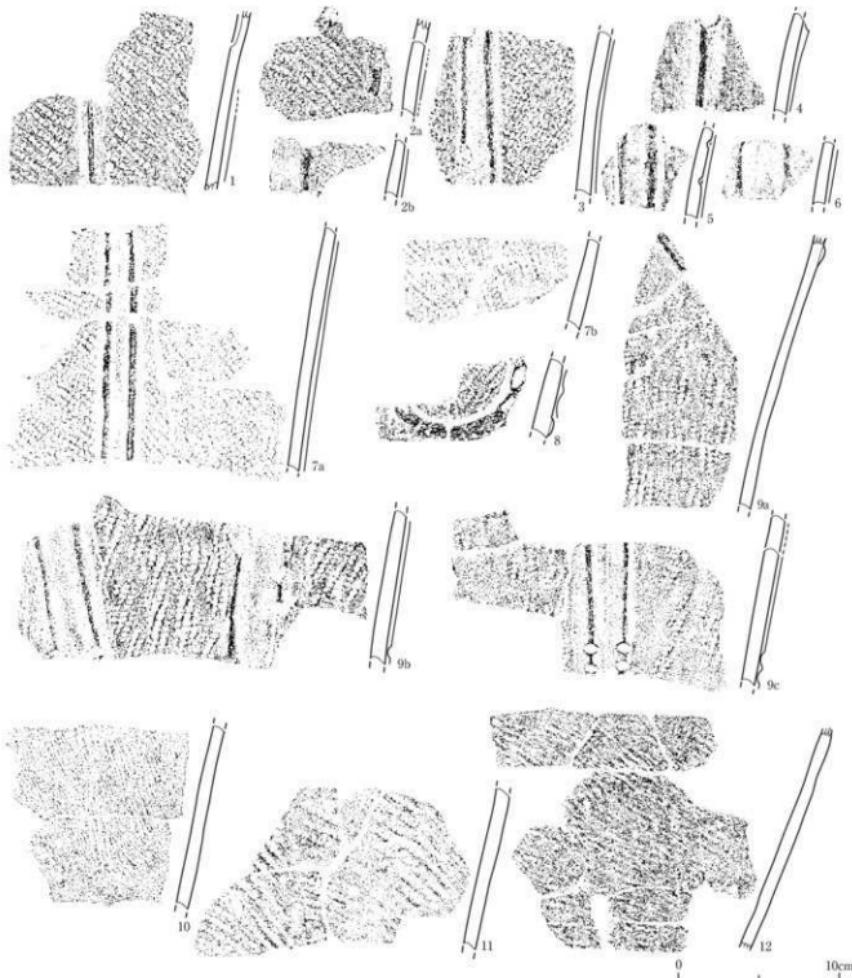
番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	可算個数	番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	可算個数
1	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	環状石手斧。隆起文+2個斜刃の斜日本文。武雄文	83-1-1	15	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文・下斜日本文+一周斜文。武雄文	83-1-15
2	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	環文(FLR)。隆起文+斜目文。武雄文	83-1-2	16	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文+2斜刃の斜日本文	83-1-16
3	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。一端縫合文+2個10字の斜目文。武雄文	83-1-3	17	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文+2斜刃の斜日本文	83-1-17
4	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。一端縫合文+2個10字の斜目文。武雄文	83-1-4	18	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。武雄文	83-1-18
5a,b	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。一端縫合文+2個10字の斜目文。武雄文	83-1-5	19	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。武雄文(FLR)。武雄文	83-1-19
6	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。一端縫合文+2個10字の斜目文。武雄文	83-1-6	20	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。武雄文	83-1-20
7a,b	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。一端縫合文+2個10字の斜目文。武雄文	83-1-7	21	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文+斜目文	83-1-21
8	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。一端縫合文+2個10字の斜目文。武雄文	83-1-8	22	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FLR)。武雄文	83-1-22
9	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	環文(FL?)。隆起文。武雄文	83-1-9	23	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FL?)。斜位鉗底	83-1-23
10	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	環文(FLR)。隆起文。武雄文	83-1-10	24	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FLR?)。浅脊文(?)。武雄文	83-1-24
11	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	環文(FLR)。隆起文。武雄文	83-1-11	25	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	斜位文	83-1-25
12	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	環文(FLR)。隆起文。武雄文	83-1-12	26a,b	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文。斜位文。内面:変化物付裏	83-1-26
13	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。隆起文+2個10字の斜目文	83-1-13	27	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	深脊(スリット)	83-1-27
14	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	方形凹面文(FLR)。隆起文+2個10字の斜目文	83-1-14	28	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FL)	83-1-28
					29	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FL)	83-1-29
					30	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FL)	83-1-30
					31	SX01③-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉗・Vb	隆起文(FL)の既多条。外側:変化物付	83-1-30
								内側:変化物付	83-1-31

第192図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層Ⅱb②層上面出土器（2）



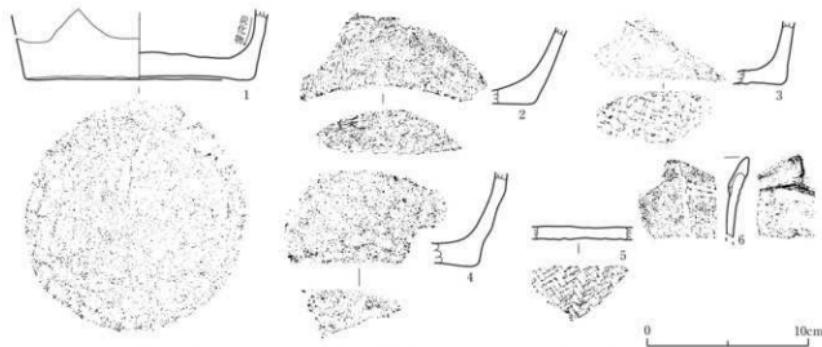
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可島回復	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可島回復
1a~c	SX01③・A2区・包含層IIb②層上面	深鉢・Vb2	縹文(ル)、外面：炭化物付着	83-1-32	3a,b	SX01③・A2区・包含層IIb②層上面	深鉢・Vb2	縹文(ル)	83-1-34
2a~c	SX01③・A2区・包含層IIb②層上面	深鉢・Vb2	縹文(ル)、外面：炭化物付着	83-1-33	4a,b	SX01③・A2区・包含層IIb②層上面	深鉢・Vb2	縹文(ル)、外面：炭化物付着	83-1-35

第193図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層IIb②層上面出土土器（3）

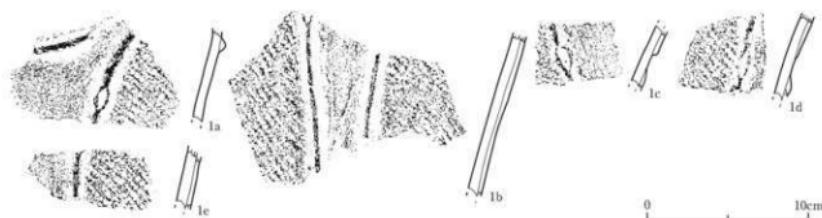


第194図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層Ⅱb②層上面出土土器（4）

番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版
1	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文、内面：炭化物付着	84-1-1	8	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文、内面：炭化物沈着	84-1-8
2ab	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文、内面：炭化物付着	84-1-2	9a-c	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文・一段目彫文・2段目彫文の刻目文、沈殿文、内面：炭化物付着	84-1-9
3	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文、内面：炭化物付着	84-1-3	10	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・内面：炭化物付着	84-1-10
4	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文・2段目彫文	84-1-4	11	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・内面：炭化物付着	84-1-11
5	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文、戈彫文、外面：炭化物付着	84-1-5	12	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・外面：保状斑化物付着、内面：炭化物付着	84-1-12
7ab	SX01-A2区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・鉢	直縁、L型・横縫目彫文、内面：炭化物付着	84-1-7					



第195図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層IIb②層上面出土土器（5）



第196図 SX01③北西側遺物包含層・A2区・包含層IIb②層中出土土器

### (32) SX01③北西側遺物包含層B2西ベルト出土土器 (第198図)

B2西ベルトでは、旧河道SX03・04・23・24堆積層の下から、SX01③北西側遺物包含層が検出され、包含層 I a～c層、II ①層、II ③層、II a層に分層（第197図参照）された。このうち、包含層 I a～c層は旧河道SX08堆積層に相当する。包含層 II ①層以下は砂疊層・砂質シルト層が黒色土の遺物包含層間に介在する。

#### ①旧河道SX23堆積層中出土土器 (第198図1・2)

ともに深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに内湾する器形である。幅の狭い横位羽状繩文が施されている。2は口縁部が緩やかに外反する波状線の土器である。平行する沈線間に刺突文が施されている。

#### ②包含層 I 層（旧河道SX08堆積層）中出土土器 (第198図3～13)

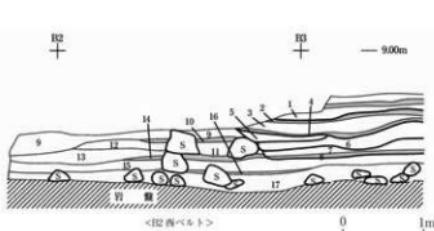
すべて深鉢形土器である。沈線や隆線によって文様が施されている。懸垂文やボタン状貼付文、懸垂隆線文などがある。

#### ③包含層 II ①～③層中出土土器 (第198図14～19)

すべて深鉢形土器である。14～16は口縁部が緩やかに外反する器形である。14は無文、15・17・19は沈線によって文様が施されている。16・18は繩文のみが施されている。

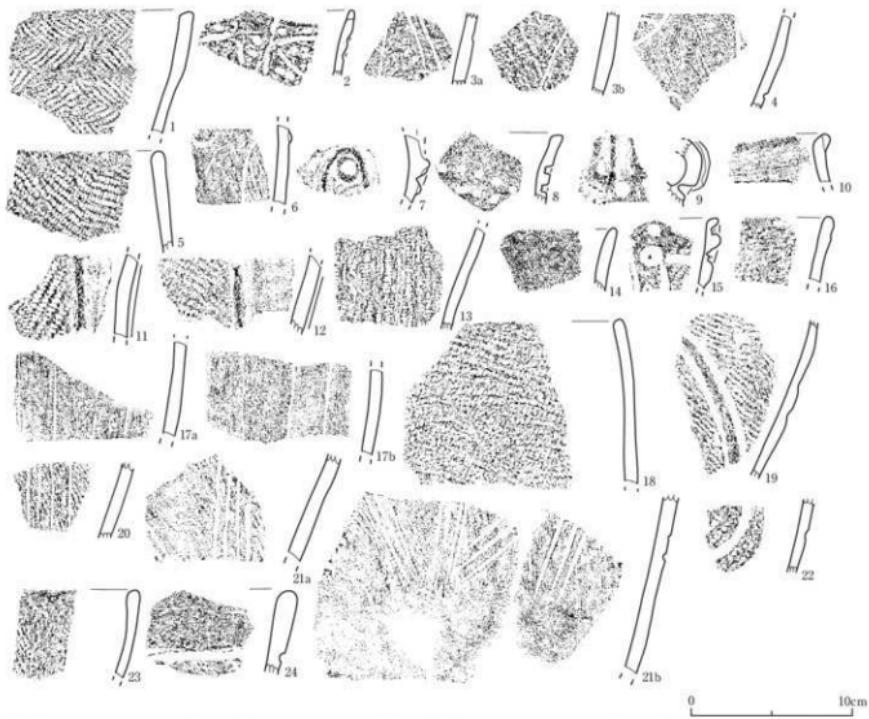
#### ④包含層 II a層中出土土器 (第198図20～24)

黒色土層（第197図14）出土の土器である。すべて深鉢形土器である。20・21は多条沈線によって文様が描かれている。20は懸垂文、21は懸垂文間に斜位の多条沈線文が配されている。内面に炭化物が付着しており、年代測定の資料（ISK-3）とした。22は弧状文が施されている。23は口縁部が緩やかに内湾する器形である。



番号	土色	土性	遺物取上げ層位	備考
1	暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)	砂疊	Sec.4層	旧河道SX03堆積層
2	黒褐色(2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.5層	旧河道SX04堆積層
3	暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)	砂疊	Sec.6層	旧河道SX04堆積層
4	黒褐色(2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.7層	旧河道SX04堆積層
5	オリーブ褐色(2.5Y4/6)	砂疊	Sec.8層	旧河道SX04堆積層
6	青褐色(2.5Y5/6)	砂疊	Sec.9層	旧河道SX03堆積層
7	深オリーブ色(2.5Y4/2)	砂疊	Sec.10層	旧河道SX04堆積層
8	黒褐色(2.5Y3/1)	粘土質シルト	Sec.11層	旧河道SX04堆積層
9	オリーブ褐色(2.5Y4/2)	砂疊		北西側遺物包含層Ia層
10	黒色(2.5YR1.7/1)	粘土質シルト	Sec.11層	北西側遺物包含層Ib層
11	褐色(2.5Y4/6)	砂疊	Sec.12層	北西側遺物包含層Ic層
12	暗褐色(2.5YR2/3)	砂疊	Sec.13層	北西側遺物包含層IIa層
13	暗褐色(2.5YR2/3)	砂疊シルト	Sec.13層	北西側遺物包含層IIb層
14	黒色(2.5YR1.7/1)	粘土質シルト	Sec.19層	北西側遺物包含層IIc層
15	オリーブ褐色(2.5Y4/4)	砂疊		北西側遺物包含層IIIa層下部
16	黒色(2.5YR1.7/1)	粘土質シルト		北西側遺物包含層IIIa層上部
17	オリーブ褐色(2.5Y3/1)	砂疊		北西側遺物包含層IIIb層

第197図 B2西ベルト断面



番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真回数	番号	出土遺物・地区・層位	器形・分類	特徴	写真回数
1	SX013・B2西ベルト・旧河道SX23 堆積層(5ec13) 中	深鉗・Ed	羽状縞文 (RL+LR)	85-1-1	13	SX013・B2西ベルト・包含層 I c層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg	縞文 (RL+LR多条)	85-1-13
2	SX013・B2西ベルト・旧河道SX23 堆積層(5ec13) 中	深鉗・Mc	麻文 (RL) →網状刻突文、波継文	85-1-2	14	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・VC47	麻文	85-1-14
3ab	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.11) 中	深鉗・Mc	麻文 (LR) →多条波継文による縞文 波継文	85-1-3	15	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Mc?	方形凸溝文・麻文 (RL)、乳孔+円形 竹管文、波継文	85-1-15
4	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.11) 中	深鉗・Vb	麻文 (RL) →網状刻突文、波継文	85-1-4	16	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg2	縞文 (RLR)	85-1-16
5	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.11) 中	深鉗・V?	麻文 (LR+LR多条)	85-1-5	17ab	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vb	網状刻突文・波継文 (RL)	85-1-17
6	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.11) 中	深鉗・V?	麻文 (RL) →網状刻突文/波継文、ギザ 波継付文	85-1-6	18	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg2	縞文 (RL)	85-1-18
7	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.11) 中	深鉗・Vb	ギザ状波継付文、麻文 (LR)、海綿 文、波継文	85-1-7	19	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg2	麻文 (LR) →網状刻突文/波継文、内面: 皮化物付文	85-1-19
8	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.11) 中	深鉗・V?	円形管状文による網状刻突文	85-1-8	20	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vc1	網状文(R) →多条波継文による縞文文	85-1-20
9	SX013・B2西ベルト・包含層 I a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vba	橢状把手、円形の穿孔	85-1-9	21ab	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vc1	網状文(R) →多条波継文による縞文文、 外面: 海綿による海化、内面: 皮化 物付文。(RL-2)	85-1-21
10	SX013・B2西ベルト・包含層 I c層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg	麻継文	85-1-10	22	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vb	波状文(Vg)・波継文、麻文 (RL)	85-1-22
11	SX013・B2西ベルト・包含層 I c層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg	麻文 (RL) →網状縞文	85-1-11	23	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg2	網状文(LR)	85-1-23
12	SX013・B2西ベルト・包含層 I c層 (Sec.12) 中	深鉗・Vg	麻文 (LR) →網状縞文	85-1-12	24	SX013・B2西ベルト・包含層 II a層 (Sec.12) 中	深鉗・Vc1	縞文 (LR)、波継文、海綿	85-1-24

第19図 SX013北西側遺物包含層・B2西ベルト・旧河道SX23堆積層・包含層 I b・I c・II ①・II ③・II a層中出土土器

### (33) SX01②南側遺物包含層B2区・C2西ベルト出土土器（第199・200図）

B2区・C2西ベルトは、調査区の関係上わずかな面積しか調査していない。また、検出されたSX01②南側遺物包含層自体も末端部分にあたり、大半が水成堆積による砂礫層になっており、ここでは両者を合わせて、記述する。

#### ①B2区包含層1層（旧河道SX03・04堆積層）中出土土器（第199図1～16）

深鉢形土器のほかに、2の皿形土器、3・7の壺形土器がある。2は内外面黒漆塗りである。3の壺形土器外面には赤漆の上に黒漆が重ね塗りされている。7は大きく折り返す工字文が施されている。1は口頸部に平行沈線文が施される深鉢形土器である。幅の広い羽状縄文が施されている。他の土器は再堆積と見られる。

#### ②B2区包含層2a層中出土土器（第199図17～30）

包含層2a層上面には灰白色粉質の火山灰が斑状にあり、降灰時期を特定するために、火山灰層直下の土壤（包含層2a①層）を採取し、洗浄している。そのサンプル中に含まれていた土器が17～21の5点の土器である。17・18は口頸部が短く外反する器形で、17の頸部には沈線文がめぐっている。19は胴上部で幅の広い羽状縄文が施されている。20は口縁部が緩やかに内湾している。横位斜行縄文が施文されている。5は摩滅しており、再堆積によるものである。

22～26が包含層2a層上面、27～30が包含層2a層中から出土した土器である。

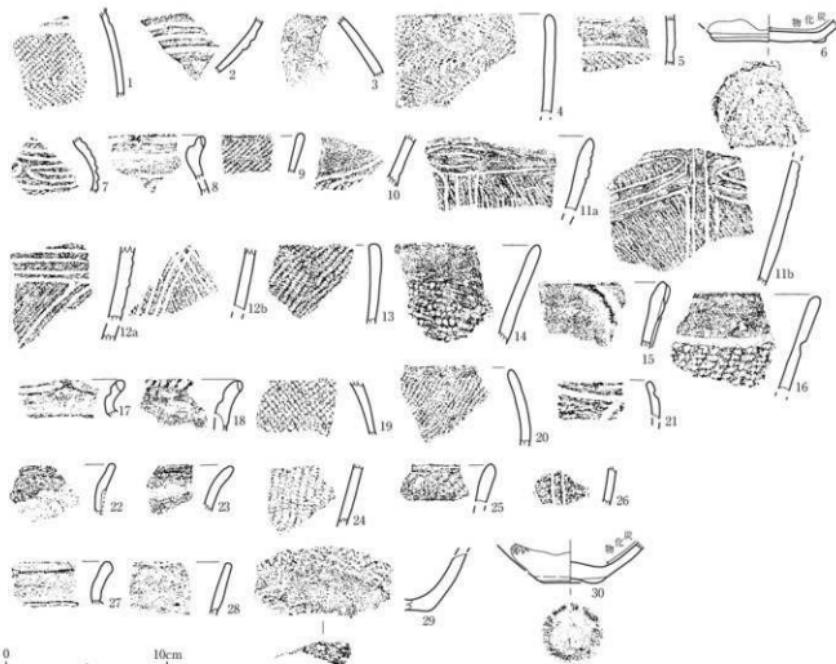
#### ③B2区・C2西ベルト包含層2b層中出土土器（第200図1～32）

包含層2b層は2b①・②・③層に分層された。このうち、2b①層が砂質シルト層、2b②層・2b③層が水成堆積の砂礫層である。

1・4・28は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。幅の狭い横位羽状縄文が施文されている。8は平行沈線文が施され、貼瘤が付されている。

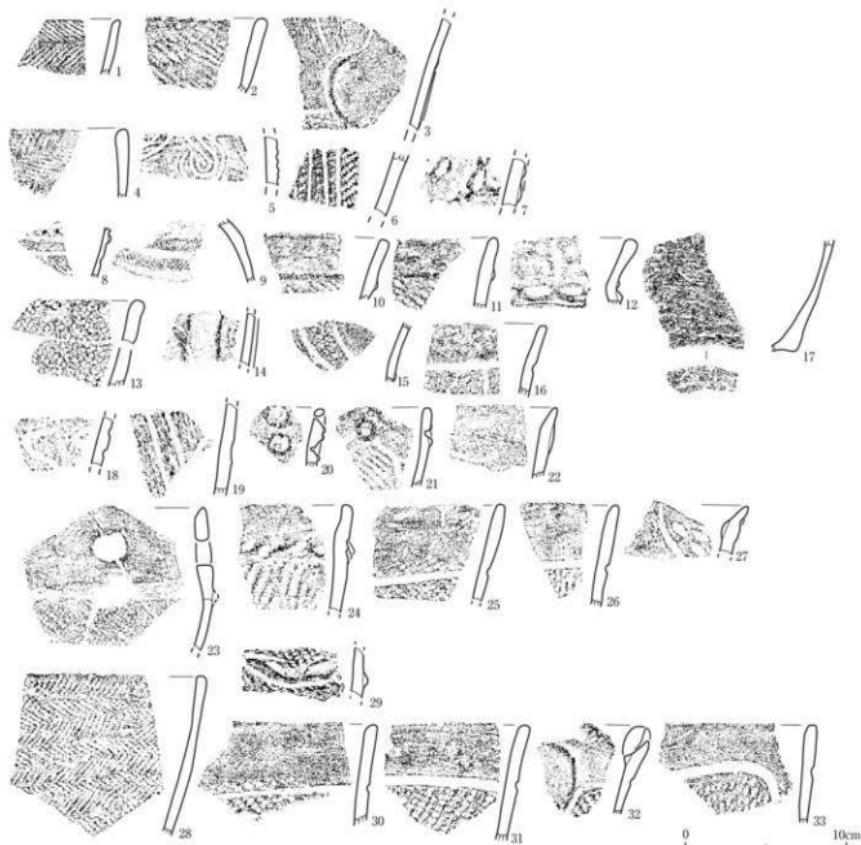
#### ④C2西ベルト包含層2c層中出土土器（第200図33）

口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。隅丸方形状の文様の一部が描かれている。



番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土場所・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②・B2区・包含層1層中	深鉢・1a 平行波曲文鋸歯縁文 (LR/RU)、外 面：やす磨滅	85-2-1	19	SX01②・B2区・包含層2a①層 (次山底 層下サンプル) 中	深鉢・I 洞穿縫文 (LU/RU)、海綿状骨針	85-2-19		
2	SX01②・B2区・包含層1層中	皿・I 平行波曲文、内外面：墨漬けり	85-2-2	20	SX01②・B2区・包含層2a①層 (次山底 層下サンプル) 中	深鉢・Ie 洞穿縫文 (LU/RU)	85-2-20		
3	SX01②・B2区・包含層1層中	甕・I 外面：墨漬けり→墨漬けり	85-2-3	21	SX01②・B2区・包含層2a①層 (次山底 層下サンプル) 中	深鉢・V12 縫文 (LR) →墨文/波曲文、摩滅	85-2-21		
4	SX01②・B2区・包含層1層中	深鉢・2d 羽状縫文 (LR/RU)、外側：煤化的 化合物質	85-2-4	22	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・1b 無文(±ガキ)	85-2-22		
5	SX01②・B2区・包含層1層中	深鉢・3d 縫文 (RU)、波曲文	85-2-5	23	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・1b 無文(±ガキ)	85-2-23		
6	SX01②・B2区・包含層1層中	深鉢・II 直面：木炭痕・斜柱・ナード・縫目縁 文・I?	85-2-6	24	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・I 縫文 (LR)	85-2-24		
7	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 甕・I?	二字文/波曲文、縫文 (LR)	85-2-7	25	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・II? 縫文 (LR) →ナデ	85-2-25		
8	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・1b 縫文 (LR)、波曲文	85-2-8	26	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・IVc 縫文 (LR) →多条波曲文	85-2-26			
9	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・1d 縫文 (LR)	85-2-9	27	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・Ib 波曲文	85-2-27			
10	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Bb 縫文 (LR)、波曲文、複波縫文	85-2-10	28	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 上面	深鉢・Vd 縫文 (LR)	85-2-28			
11ab	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Vg1 縫文 (LR)、多条波曲文	85-2-11	29	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 中	深鉢・II? 縫文 (LR) +縫文、直面:±ガキ	85-2-29			
11ah	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Vg1 縫文 (LR)、多条波曲文	85-2-12	30	SX01②・B2区・包含層2a②層 (次山底 層下サンプル) 中	深鉢・II 縫文 (LR)、直面:含細點状→ナ デ→複波縫文	85-2-30			
13	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Vc2 縫文 (LR)	85-2-13							
14	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Vc2 縫文 (LR)、外面：摩滅	85-2-14							
15	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Ic レーピング縫文	85-2-15							
16	SX01②・B2区・包含層1層下部青砂岩中 深鉢・Ic 縫文 (LR) →波曲文	85-2-16							
17	SX01②・B2区・包含層2a①層 (次山底 層下サンプル) 中	深鉢・Ib 縫文	85-2-17						
18	SX01②・B2区・包含層2a①層 (次山底 層下サンプル) 中	口器：刻目文	85-2-18						

第199図 SX01②南側遺物包含層・B2区・包含層1層中・2a層中出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	範形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	範形・分類	特徴	写真図版
1	SX01②-B2区・包含層2①層上面	深鉗・Ed	波状断面文 (RL/RL)	85-2-31	17	SX01②-B2区・包含層2③層中	深鉗・Ed?	外縁：ケズリ→ミカミ、里面：ミガキ	85-2-47
2	SX01②-B2区・包含層2①層上面	深鉗・Vcl	波文 (RL)	85-2-32	18	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vb	波状文→波状断面文	85-2-48
3	SX01②-B2区・包含層2①層上面	深鉗・Vb	波形区画文 (波文) (R)	85-2-33	19	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vb	波状文 (R) → 横書き文 (波断文)	85-2-49
4	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Ed	波状断面文 (RL/RL)	85-2-34	20	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vt?	ミタリ状断面文	85-2-50
5	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vcl	波文 (RL) → 多条波断文	85-2-35	21	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vt?	ミタリ状断面文、波文 (RL)、波断文	85-2-51
6	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vcl	波文 (RL) → 1条波断文	85-2-36	22	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vt?	幅広の波断文	85-2-52
7	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vba	扁状手 (R) + 1條波断文	85-2-37	23	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba	波状手 (R)、波文 (RL)	85-2-53
8	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Ed	平行波状断面文、斜材	85-2-38	24	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vt?	波状手 (R) (R多条)、斜材文 + 斜材文	85-2-64
9	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vba	波状断面文 (LR/LR)、波文、無字文 波状風の矢ガホ	85-2-39	25	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba?	波文 (RL) → 波文	85-2-55
10	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vb	波文 (RL)、波断文	85-2-40	26	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba?	波文文 (R) → 波文	85-2-56
11	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vb	波文 (RL)、波断文	85-2-41	27	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba	波断文、斜材文	85-2-57
12	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・V?	波状断面文	85-2-42	28	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Ed	波状断面文 (RL/RL)	85-2-58
13	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vcl	波文 (RL)	85-2-43	29	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba	波文 (RL) → 波断文 + 斜材文、波断文	85-2-59
14	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vb	波文 (RL)、下端波断文+波断文	85-2-44	30	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba?	波文 (RL) → 波断文	85-2-60
15	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vb	波文 (RL)、波断文	85-2-45	31	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba?	波文 (RL) → 波文	85-2-61
16	SX01②-B2区・包含層2①層中	深鉗・Vb	波形区画文 (波文) (RL/R)	85-2-46	32	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba	波文 (RL)、波断文、ヒレ状断面文	85-2-62
17					33	SX01②-C2西ベルト・包含層2①層中	深鉗・Vba	波文文 (R)、波断文	85-2-63

第200図 SX01②南側遺物包含層・B2区・包含層2①層上面・2b①層中・C2西ベルト・包含層2b層中・2b③層中・2c層中出土土器

### (34) SX01③北西側遺物包含層Z1北ベルト出土土器（第202～207図）

Z1北ベルトでは、SX01③北西側遺物包含層が検出され、包含層Ⅰ層、Ⅱ①層、Ⅱ③層、Ⅱa層、Ⅱa層下部①層、Ⅱa層下部②層、Ⅱb①層に分層（第201図）された。このうち、包含層Ⅰ層は旧河道SX08堆積層に相当する。包含層Ⅱb①層上面においてまとまって土器が出土した。Ⅱb①層の灰色粘土層はSX01③北西側遺物包含層のZ1区南斜面の落ち際を中心的に広がる層である。

#### ①包含層Ⅰ層（旧河道SX08堆積層）中出土土器（第202図1・2）

第202図1・2はともに深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに外反する。ごく細かい撚糸文が縦走している。2は縦位斜行縄文（LRr）である。

#### ②包含層Ⅱ①～③層中出土土器（第202図3～16）

包含層Ⅱ①層・Ⅱ③層が水成堆積の砂礫層で、包含層Ⅱ②層が黒色土層である。

3・4は包含層Ⅱ①層中から出土した。ともに深鉢形土器である。3は多条沈線による懸垂文が施されている。4の底面には菱形状を呈する模様編みの網代痕跡が残されている。

5～12は包含層Ⅱ②層の黒色土層中から出土したものである。すべて深鉢形土器である。5～7は口縁部が緩やかに外反する器形である。5は口縁部に幅の広い無文帯が設けられ、以下に撚糸文が斜め方向に施文されている。8・9は口縁部がわずかに内湾する土器である。8は口縁部に弧状文と凹線文が施されている。10・11は多条沈線による懸垂文が施されている。地文の縄文は横走している。12は木葉底である。

13～16は包含層Ⅱ③層上面・Ⅱ③層中から出土した土器である。13は口縁部がわずかに内湾し、14は緩やかに外反する。口縁部には幅の狭い無文帯が設けられ、以下を地文としている。15は懸垂文が施されている。16は木葉底である。

#### ③包含層Ⅱa層上面～Ⅱa層下部②層中出土土器（第203図）

包含層Ⅱa層が泥炭質の黒色土層である。Ⅱa層の下に下部①層と下部②層が確認された。下部①層が砂礫層で、下部②層が黒色土層である。

1は包含層Ⅱa層上面から出土した深鉢形土器である。撚糸文が施文されている。2～5は包含層Ⅱa層中から出土した深鉢形土器である。2・3は口縁部に幅の狭い無文帯が設けられている。4は弧状の多条沈線による懸垂文が描かれている。5は懸垂文が垂下し、磨消縄文となっている。6は包含層Ⅱa層下部①層から出土した撚糸文の施された深鉢形土器である。7～21は包含層Ⅱa層下部②層から出土した隆線や沈線によって文様が施された土器である。12は波頂部下に凸レンズ状文が描かれている。1～2本の沈線によって懸垂文が描かれているものが多い。

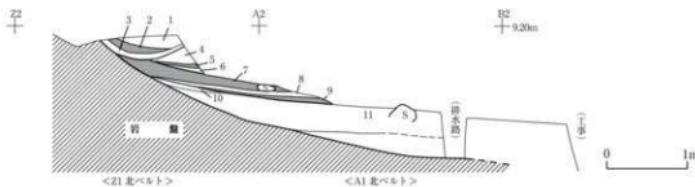
#### ④包含層Ⅱb①層上面出土土器（第204～206図）

多くの土器が南斜面の落ち際でまとまって発見された。すべて深鉢形土器である。第204図1は口縁部が緩やかに内湾する器形である。波頂部下には、凸レンズ状・弧状をなす懸垂文が垂下する。地文の縄文は概ね横走する。第205図1は口縁部が緩やかに外反する器形である。6単位の波頂部から弧状の懸垂文が垂下する。1ヶ所だけが小さなS字状に折り返すいわゆる藤手状となっている。地文は縦位の櫛描文である。底面は木葉痕が残されている。第206図1は緩やかに内湾する器形で、

波頂部から凸レンズ状・弧状をなす懸垂文が垂下する。交差部分には2個1対の小円文が描かれている箇所がある。第204図1に類似するが、器厚が全く異なっている。地文の縄文は概ね横走する。第206図2は緩やかに内湾する器形で、波頂部には「ノ」字状の太書き沈線文が配されている。地文は細い撲糸文である。3は口縁部が内湾する器形である。撲描文が縱・横、あるいは斜めに全体を覆っている。4は口縁部が緩やかに外反する器形である。口縁部には無文帯が設けられ、以下に撲糸文が施されている。5・6は懸垂文が垂下している。7・8は底部で、9の底面には網代の痕跡が残されている。

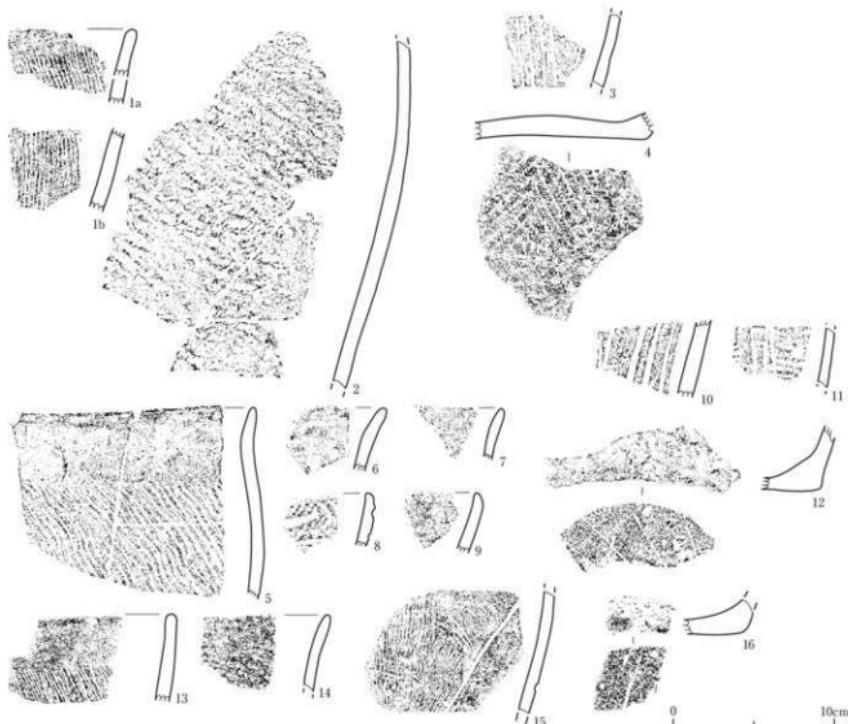
#### ⑤包含層Ⅱb①層中出土土器（第207図）

口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。器外面は粗いケズリ痕が全体を覆い、ごく薄手の器壁に調整されている。その後、器面の一部に撲糸文が施されている。器内面はミガキ調整が施されている。



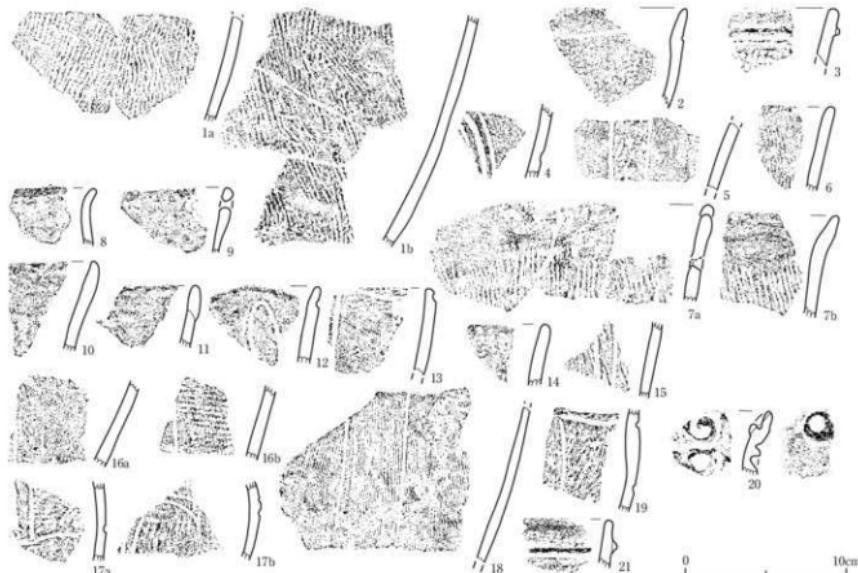
番号	土色	土性	遺物取上げ部位	備考	番号	土色	土性	遺物取上げ部位	備考
1	オリーブ褐色(2.5Y4/3)	砂質シルト	包含層1a層	灰オリーブ小塊を多数含む	7	黒色(7.SYR1.7/1)	シルト	包含層1a層	炭化質、炭化物を含む
2	黒色(2.5Y2/1)	砂質シルト	包含層1a層	灰オリーブ小塊を若干含む	8	オリーブ褐色(2.5Y4/3)	粘土	包含層1a層下部1層	小塊を含む
3	地オリーブ褐色(2.5Y3/3)	砂層	包含層1a層	断続的に含む	9	黒色(7.SYR1.7/1)	粘土質シルト	包含層1a層下部1層	炭化物を含む
4	オリーブ褐色(2.5Y4/3)	砂層	包含層1a層	帶に含む。下部はヤクグライ化	10	黒色(7.SY4/1)	粘土	包含層1b層	Z1区间剖面を中心分佈
5	黒色(2.5Y2/1)	粘土	包含層1a層	炭化物を含む	11	地オリーブ褐色(2.5Y3/3)	砂層	包含層1b層	人頭大の塊を含む
6	オリーブ褐色(2.5Y4/3)	砂質シルト	包含層1a層	小塊を含む					

第201図 SX01③遺物包含層Z1～A1北ベルト断面



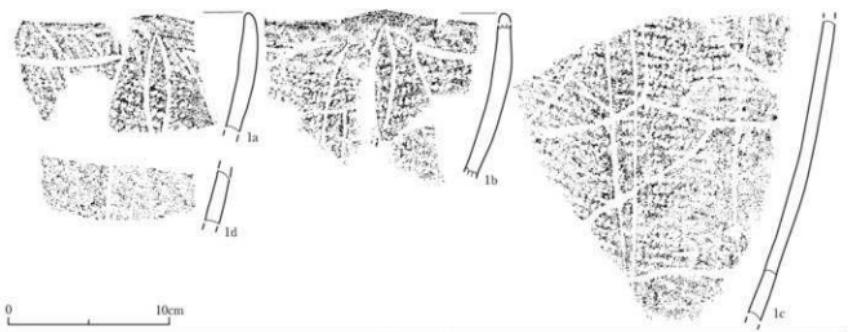
番号	出土場所・地区・層位	形別・分類	特徴	写真回数	番号	出土場所・地区・層位	形別・分類	特徴	可典回数
1ab	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅰ層	深鉢・Vb2	無文(?)	86-1-2	9	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深鉢・M2	無文	86-1-9
2	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅰ層	深鉢・Vd?	無文(LR)	86-1-2	10	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深鉢・M2	無文(LR)→多条沈縫による無文	86-1-10
3	SX01③・Z1-A1北ベルト・包含層Ⅰ層 ①層(Sec.4層) 中	深鉢・M2	無文(?)→多条沈縫による無文	86-1-3	11	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深鉢・M2	無文(LR)→多条沈縫による無文	86-1-11
4	SX01③・A1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.4層) 中	深鉢・M	底面：宋代(椎紐縄・菱形状)直	86-1-4	12	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深鉢・M	底面：木葉底	86-1-12
5	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深鉢・M2	無文(?)	86-1-5	13	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.6層) 上層	深鉢・M2	無文(R)	86-1-13
6	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深・M-N c47	無文	86-1-6	14	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.6層) 上層	深鉢・M2	無文(LR)	86-1-14
7	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深・M-N c47	無文	86-1-7	15	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.6層) 上層	深鉢・Vb7	無文(R)→無文(沈縫文)	86-1-15
8	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.5層) 中	深鉢・M2	無文(LR)→弧状文、凹縫文、沈縫文	86-1-8	16	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱ層 (Sec.6層) 中	深鉢・N	外側：ミカキ、底面：木葉底	86-1-16

第202図 SX01③北西側遺物包含層・Z1北ベルト・包含層Ⅰ層・Ⅱ①層中・Ⅱ②層中・Ⅱ③層上面・Ⅱ④層中出土土器



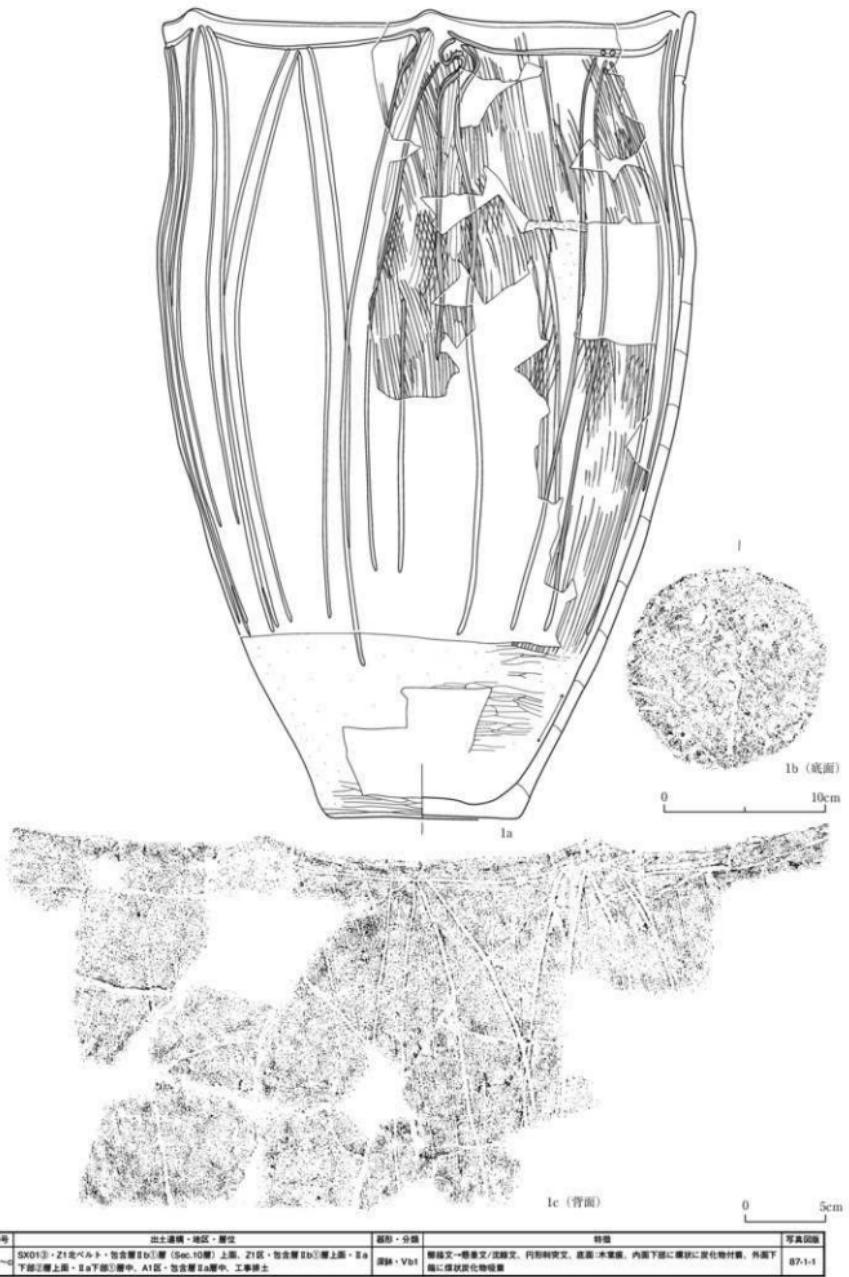
番号	出土遺構・地区・層位	種別・分類	特徴	可変回数	番号	出土遺構・地区・層位	種別・分類	特徴	可変回数
1a①	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層 (Sec.6) 上面・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Ncl2	圓錐文(L)	86-2-1	12	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vbt1	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-12
2	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層 (Sec.7) 中	深鉢・Vbt2	圓錐文 (HLR)、沈錐文	86-2-2	13	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vbt2	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-13
3	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層 (Sec.7) 中	深鉢・Vcl	圓錐文 (LR)、椭錐孔	86-2-3	14	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vbt1	圓文 (HLR-QB多条)	86-2-14
4	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層 (Sec.7) 中	深鉢・Vcl	圓文 (LR)、多条沈錐文による椭錐文	86-2-4	15	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vbt2	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-15
5	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層 (Sec.7) 中	深鉢・Vcl	圓錐文 (HLR)、椭錐文/沈錐文	86-2-5	16	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vb	圓文 (LR) → 楕圓文/沈錐文	86-2-16
6	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vcl	圓錐文(R)	86-2-6	17a	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vbt1	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-17
7a①	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vcl	圓錐文(R)、椭錐孔	86-2-7	18	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vbt2	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-18
8	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vcl	圓文	86-2-8	19	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vb	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-19
9	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vcl	圓文、椭錐孔	86-2-9	20	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vb	圓錐文(R) → 楕圓文/沈錐文	86-2-20
10	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vcl	圓文	86-2-10	21	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vb	圓錐文 (R)、椭錐文、沈錐文	86-2-21
11	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層下部 (Sec.6)	深鉢・Vcl	圓文	86-2-11					

第203図 SX01③北西側遺物包含層・Z1北ベルト・包含層Ⅱa層上面～Ⅱa層下部②層中出土土器



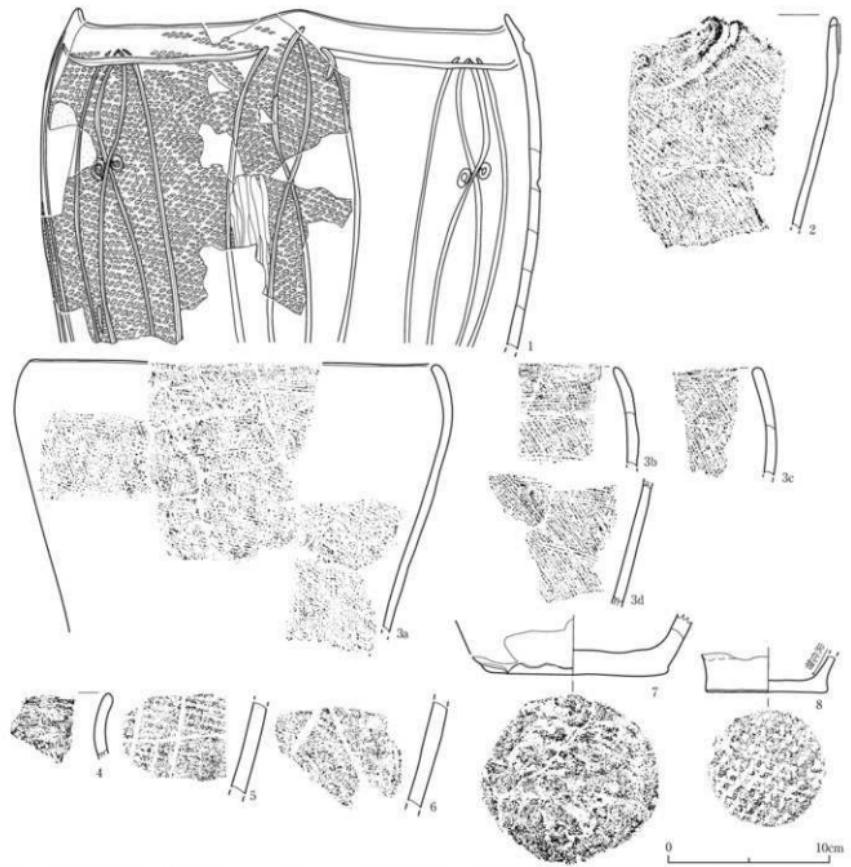
番号	出土遺構・地区・層位	種別・分類	特徴	可変回数
1a-d	SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱb①層 (Sec.9) 上面・Ⅱa層下部正面 (Sec.9)	深鉢・Vbt2	圓文 (HLR) → 楕圓文	86-3-1

第204図 SX01③北西側遺物包含層・Z1北ベルト・包含層Ⅱb①層上面出土土器(1)

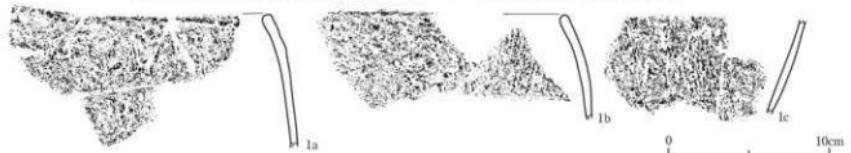


番号	出土遺物・地区・層位	断面・分類	特徴	写真図版
SX01③・Z1北ベルト・包含層Ⅱb①層 (Sec.10層) 上部、Z1区・包含層Ⅱb①層上面・Ⅲa 下部Ⅲ層上面、Ⅲa下部①層中、A1区・包含層Ⅲa層中、工具焼土	断体・Vbt	織目文・櫛目文/沈継文、円刻符文字。底面・木質底。内面下部に複数に複合化物付着。外面部 面に瘤状炭化物瘤	87-1-1	

第205図 SX01③北西側遺物包含層・Z1北ベルト・包含層Ⅱb①層上面出土土器（2）



第206図 SX01③北西側遺物包含層・Z1北ベルト・包含層IIb①層上面出土土器(3)



第207図 SX01③北西側遺物包含層・Z1北ベルト・包含層IIb①層中出土土器

### (35) SX01③北西側遺物包含層Z1区出土土器（第208～224図）

Z1区では、SX01③北西側遺物包含層は包含層I a～c層、II ①層、II ③層、II a層、II a層下部①層、II a層下部②層、II b①層に分層された。このうち、包含層I a～c層は旧河道SX08堆積層に相当する。灰色粘土層のII b①層は南斜面にのみ分布する。

#### ①包含層I層（旧河道SX08堆積層）中出土土器（第208図）

1～8はI層上面、9～14は褐色砂層（I a層）中、15～26は黒色粘質シルト層（I b層）中、27～31はグライ化した小礫層（I c層）中から出土した。ほとんど接合しない小片が多い。1～3は口縁部が緩やかに内湾する深鉢形土器である。1は入組帶状文に貼瘤が付されている。2・3は幅の狭い羽状縄文が施されている。4は口縁部が短くくびれる短頸壺である。胴部には横位斜行縄文が施されている。9・10は口縁部が外傾する器形で、幅の狭い羽状縄文や斜行縄文が施されている。他は沈線文や押圧縄文によって文様が施されるものがある。

#### ②包含層II①層中出土土器（第209図1～8）

1は羽状縄文の施される深鉢形土器の胴部である。2は壺形土器で太い平行沈線文が施されている。3・4は口縁部が緩やかに外反する深鉢形土器である。口縁部は無文である。5～7は懸垂文が施され、8は木葉底である。

#### ③包含層II②層中出土土器（第209図9～38・第210図）

比較的多くの土器が出土した。すべて深鉢形土器である。9は口縁部が短く内湾し、円形の盲孔・弧状文・凹線文が施されてされている。10～18は口縁部が緩やかに外反する器形で幅の広い無文帯が設けられたものである。13は無文帯の下端に押圧縄文を施している。口端に縄文を施すものも見られる。胴部地文は縄文と撚糸文がある。19～26はやや内湾するものである。無文帯を設けるものとないものとがある。26はさらに多条沈線によって文様が描かれている。27は口頸部でくびれる波状縁の深鉢形土器である。口端には縄文を施し、無文帯の下端と上端に押圧縄文を施している。28～38は多条沈線文を施している。

第210図1・2は口線上端に沈線文の施される土器である。4～14は懸垂文が施されている。15・16は隆線によって文様が施されている。底面には網代底と木葉底がある。

#### ④包含層II③層上面出土土器（第211～213図）

包含層II③層上面においても比較的多くの土器が出土した。すべて深鉢形土器である。第211図1は多条沈線による懸垂文が胴部に描かれている。

第212図1は口縁部がわずかに内湾する器形で、多条沈線文が施されている。2・3は口縁部が緩やかに外反し、押圧縄文が施され、さらに沈線文で文様が描かれている。4・5はとともに口縁部の無文帯の下端に押圧縄文の施される土器である。6は摩滅している。7～20が胴部で、懸垂文に渦巻文などが多条沈線によって施されるものである。7・8のような磨消縄文によるものもある。

第213図1は胴部に横走縄文が施される土器である。2～6は縦位～斜位に撚糸文が施される土器である。2・3の口縁部はやや内湾し、幅の狭い無文帯が設けられている。7～11は底部で、7・8・11の底面に木葉の圧痕が残されている。

#### ⑤包含層Ⅱ③層中出土土器（第214図）

すべて深鉢形土器である。1・2は口縁部が緩やかに外反する器形で、幅の広い無文帯が設けられている。ともに緩い波状線を呈している。3は口唇近くがわずかに外反する器形である。縦位斜行繩文が施されている。4・5はわずかに内湾気味に立ち上がり、口縁部には無文帯が設けられ、以下の縱走する撚糸文としている。6は口縁部に多条沈線による弧状文が施されている。7～16は胴部で沈線による文様が施されている。多条沈線によるものや14のように磨消繩文によるものがある。17～19は底部で、底面はすべて木葉底である。

#### ⑥包含層Ⅱa層上面出土土器（第215図1～5）

すべて深鉢形土器である。口縁部には無文帯が設けられ、胴部には懸垂文が施されている。

#### ⑦包含層Ⅱa層中出土土器（第215図6～第217図23）

すべて深鉢形土器である。第215図6・7は口縁部がほぼ直口し幅の狭い無文帯が設けられ、以下には横横円形文と懸垂文が施されている。8は口縁部が緩く内湾し円文が磨消繩文によって施されている。9～11は口縁部がやや受口状を呈し、同心円文や凹線文、沈線文が施されている。12は口縁部が外傾している。懸垂文が施されている。13・14は口縁部緩く外反し無文帯が設けられている。14は下端に押圧繩文が施されている。15～17は沈線文が施されている。

第216図1の口縁部は緩やかに外反する器形である。6単位の波状線で波頂部下には縦位の沈線・短沈線文が配されている。胴部には横渦巻・弧状文と懸垂文が多条沈線によって描かれている。地文は横走繩文である。2・3・9・10も口縁部が緩やかに外反する器形である。2・3は横位平行沈線文が施され、9・10は撚糸文が施文されている。4～8は口縁部が緩やかに内湾する器形である。4には横位沈線文が施されている。地文に撚糸文や櫛描文が施文されている。11はほぼ直口する器形である。口縁部には幅の狭い無文帯が設けられ、以下をやや扇状を呈する横走繩文としている。12は胴部に2段にわたって渦巻文を配し磨消繩文としたものである。13～14は渦巻文、15～17は多条沈線による文様が施されている。

第217図1は口縁部が緩やかに外反するものである。口縁部には幅の広い無文帯が設けられている。胴部は横走～斜走する撚糸文が施されている。2～14は胴部である。多くは多条沈線による懸垂文が施されている。15～19は底部である。すべて木葉底である。

#### ⑧包含層Ⅱa層下部①層中出土土器（第218図）

すべて深鉢形土器である。1は口縁部が内湾する波状縁土器で、波頂部には重弧状文を配している。2は口縁部がやや受口状を呈する器形である。緩やかに外反する頸部は無文帯とし、胴部には弧状文・懸垂文を描出している。3は波状垂文・小渦巻文が2本単位の沈線文で描かれている。4・5は口縁部に幅の広い無文帯が設けられ、横位沈線文が施されている。6は外傾、7は短く外反する口縁部で、幅の狭い無文帯が設けられ、以下を撚糸文としている。8は内湾する器形で口縁部に1条の沈線文がめぐっている。9はやや外反する器形で無文である。10～17は胴部でないしは2条の沈線文によって文様が施されている。18・19はともに網代底である。

#### ⑨包含層Ⅱa層下部②層上面出土土器（第219図）

すべて深鉢形土器である。1は口縁部が内湾する4単位の波状縁土器である。波頂部には環状把手が付され、口縁部全体を凹線文がめぐっている。波頂部と波底部には梢円形状文が配され、以下懸垂文としている。地文は撚糸文、底面は網代底である。2は外傾する口縁部に2孔1対の環状把手をベースにボタン状貼付文・隆線・沈線によって加飾されている。把手下には大きな渦巻文が配されている。3は把手の橋状部である。列点状の刺突文が施されている。4・5・8は2と同様に大きな渦巻文が描かれている。6は緩やかに外反する口縁部が複合口縁状に肥厚し、太描きの弧状文が連続して描かれている。7は口縁部が緩やかに内湾する器形で、波頂部下には懸垂文が配されている。8～11は口縁部がやや内湾する器形である。12は口縁部が外傾している。13～17は胴部である。1ないしは2条単位の沈線による懸垂文が施されているものが多い。18は木葉底、19は網代底である。

#### ⑩包含層Ⅱa層下部②層中出土土器（第220図1～3）

すべて深鉢形土器である。1は口縁部が内湾する器形である。口縁部には環状把手と円孔が配されている。環状把手部分には圓線が施されている。胴部はX字状に2・3条の沈線文が施されている。2は口縁部が外傾する器形である。ごく緩い波状縁をなし、波頂部には円文が描かれている。さらに懸垂隆線文と横位沈線文が施されている。3は頸部でくびれ、口縁部はわずかに外反している。頸部には平行沈線文がめぐり、横梢円形状の文様が配され、底から波状懸垂文と弧状懸垂文が垂下している。

#### ⑪包含層Ⅱb①層上面出土土器（第220図4～第222図）

灰色粘土層上面から出土した土器（写真図版14-1）である。すべて深鉢形土器である。4は頸部でくびれ、口縁部が緩やかに外反する器形である。6単位の波状縁で、波頂部には盲孔が配されている。波頂部下には弧状の懸垂文が配されている。5は緩やかに外反する器形で緩い波状縁となっている。鎖状の懸垂文が垂下し、交点部分には円形竹管文が付されている。6は口縁部が緩やかに外反する。幅の広い無文帯が設けられている。7は胴部に縱走縄文が施されている。

第221図1は頸部がくびれ、口縁部は緩く外反する器形である。波頂部には大小3個の盲孔が配され、内面には梢円形文が描かれている。胴部は懸垂文が施されている。2は懸垂文の施された胴部である。3は口縁部が緩やかに内湾する器形である。波頂部・波底部から懸垂文が垂下している。円形竹管文が沈線の交点部分に加えられている。地文は斜走する撚糸文である。4は倒卵形の弧状文が配されている胴部である。5・6は底部で、6には網代の痕跡が残されている。

第222図1～3は口縁部が内湾する器形である。1の撚糸文は繰り返し重複施文されている。4は口縁部が外傾している。撚糸文が施文されている。底部は8に木葉の痕跡が残り、他はすべて網代底である。

#### ⑫包含層Ⅱb①層中出土土器（第223図）

すべて深鉢形土器である。1・2は口縁部が外反し、2は隆線文が横位に付されている。3は口縁部が内湾し、縱走縄文が施文されている。

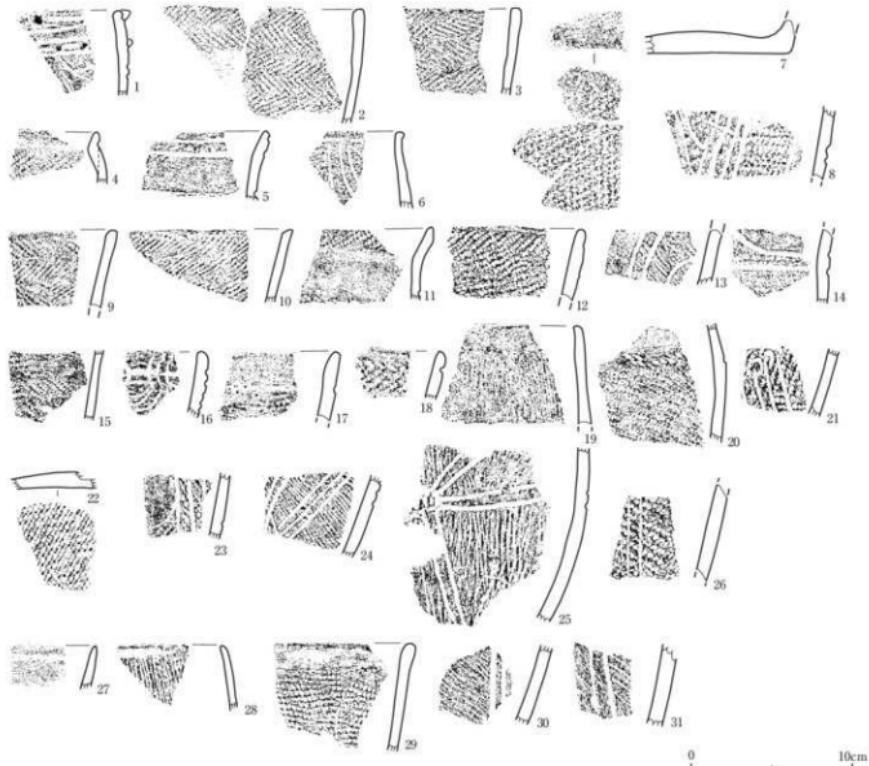
**(13) 包含層Ⅱb②層上面出土土器（第224図1～9）**

包含層の色調はこの面から上層にかけて灰色粘土層～黒色粘土層に変化しており、包含層Ⅱb①層～Ⅱa層下部②層までの一連の廃棄層の起点と見られる面である。この面はA1区においても捉えられている。

すべて深鉢形土器である。1は口縁部が内湾する器形である。隆線と沈線によって文様が施されている。隆線上には隆線方向の刻目文とボタン状貼付文が付されている。2も同様に隆線上には隆線方向の2個1対の刻目文が施されている。2の沈線文は隆線文から離れ、独立した弧状文が描かれ、内部に円形刺突文が加えられている。3・4は弧状ないしは渦巻状に2本の沈線が施された土器である。3の沈線間の幅は狭い。4は2条の沈線間に2列の刺突文が充填されている。5は口縁部が外傾する器形である。口縁部にやや幅の狭い無文帯が設けられている。6は櫛描文が縱走する胴部である。7は胴上部が膨らむ器形で、幅の狭い2本の平行沈線文で大きな渦巻文が描かれ、さらに小渦巻文によって加飾されている。地文の細かい撚糸文が沈線間では、磨り消されている。8はわずかに外反する器形で、幅の狭い2本の隆線が弧状に貼付され、隆線上には隆線方向の2個1対の刻目文が付されている。9は胴部に横位沈線文が施されるものである。

**(14) 包含層Ⅱb②層中出土土器（第224図10）**

砂碟層中から土器が1点出土した。綴い渦巻状の文様が描かれ、縄文が充填されている。



0 10cm

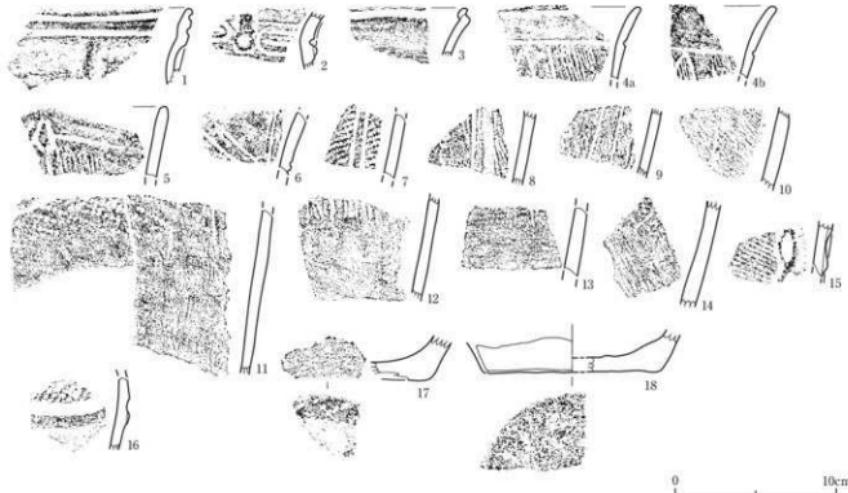
番号	出土遺構・地区・層位	種類・分類	特徴	可算個数
1	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・E.2	人面像模文・羽状模文 (LR/RL) ■	BB-7.1
2	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・E.6	羽状模文 (LR/RL)	BB-7.2
3	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・E.6	羽状模文 (LR/RL)	BB-7.3
4	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・E.7	模文 (LR)・波状文	BB-7.4
5	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・M.1	模文 (LR)・波状文	BB-7.5
6	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・M.1	模文 (LR)・多条波状文	BB-7.6
7	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・M.7	網目 (1本枝2本枝) 網	BB-7.7
8	SX01③・Z1-2段・包含層I層上面	深鉗・M.1	模文 (LR)・多条波状文	BB-7.8
9	SX01③・Z1-2段・包含層I層中	深鉗・E.2	羽状模文 (LR/LR)	BB-7.9
10	SX01③・Z1-2段・包含層I層中	深鉗・E.2	模文 (LR)	BB-7.10
11	SX01③・Z1-2段・包含層I層中	深鉗・M.2	模文 (LR)・網目・押住痕文 (LR)	BB-7.11
12	SX01③・Z1-2段・包含層I層中	深鉗・V.2	模文 (LR)	BB-7.12
13	SX01③・Z1-2段・包含層I層中	深鉗・V.3	模文 (LR)・網目・波状文	BB-7.13
14	SX01③・Z1-2段・包含層I層中	深鉗・V.7	方格状模文? (模文 (LR)・波状文)	BB-7.14
15	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・E	羽状模文 (LR/LR)	BB-7.15
16	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文? 多条波状文	BB-7.16
17	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・波状文・擦滅	BB-7.17
18	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)	BB-7.18
19	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)	BB-7.19
20	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c2	模文 (LR)・押住痕文 (LR)	BB-7.20
21	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・多条波状文	BB-7.21
22	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・網目 (時代: 1本枝2本枝) 網	BB-7.21
23	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・網目・波状文	BB-7.23
24	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・網目・波状文	BB-7.24
25	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・V.3	模文 (LR)・網目・波状文	BB-7.25
26	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・網目・波状文	BB-7.26
27	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)	BB-7.27
28	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c2	模文 (LR)	BB-7.28
29	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)	BB-7.29
30	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)	BB-7.30
31	SX01③・Z1段・包含層I層中	深鉗・N.c1	模文 (LR)・網目・波状文	BB-7.31

第208図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層I層上面～Ic層中出土土器



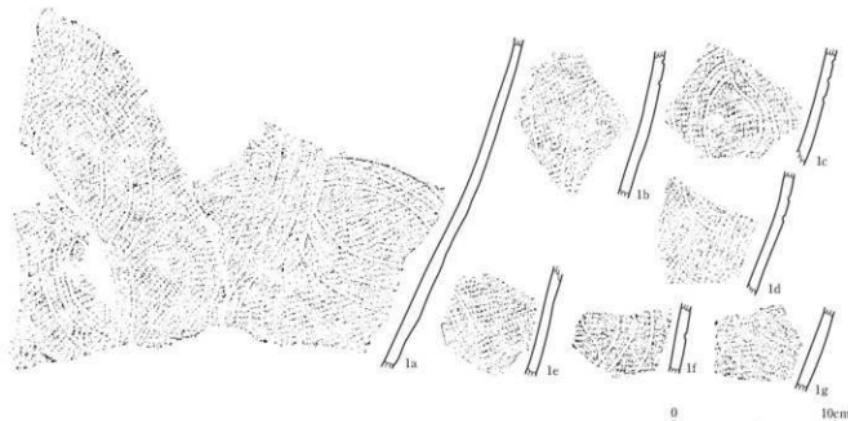
号	出土遺物・地区・層位	形態・分類	特徴	写真回数	号	出土遺物・地区・層位	形態・分類	特徴	写真回数					
1	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・玉	圓錐文 (LR/R)	89-1	2	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・玉	圓錐文 (LR), 平行波綱文	89-1-2	21	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-20
2	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・玉	圓錐文 (LR)	89-1-3	22	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-21					
3	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文	89-1-4	23	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-22					
4	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文	89-1-5	24	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-23					
5	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR) → 圓錐文 (波綱文)	89-1-6	25	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-24					
6	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR)	89-1-7	26	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-25					
7	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR) → 圓錐文 (波綱文)	89-1-8	27	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 圓錐文 (波綱文)	89-1-26					
8	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR) → 圓錐文 (波綱文)	89-1-9	28	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-27					
9	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR)	89-1-10	29	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-28					
10	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-11	31	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-29					
11	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR)	89-1-12	32	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-30					
12	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-13	33	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-31					
13	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR) + 波綱文 (LR)	89-1-14	34	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-32					
14	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-15	35	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-33					
15	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-16	36	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-34					
16	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR)	89-1-17	37	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-35					
17	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (LR)	89-1-18	38	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ②層中	深鉢・M2	圓錐文 (R) → 多条波綱文	89-1-36					
18	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)	89-1-19					89-1-37					
19	SK01③-Z1区・包含層Ⅱ①層中	深鉢・M2	圓錐文 (R)						89-1-38					

第209図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅱ①層中・Ⅱ②層中 (1) 出土器



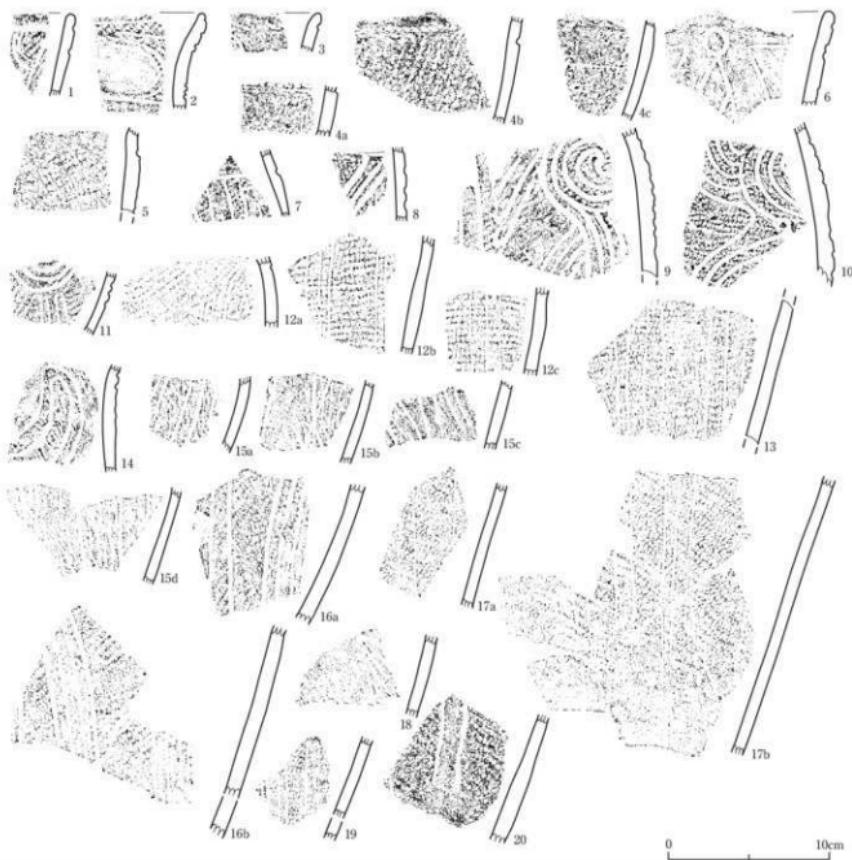
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb1	點状文、波線文	89-1-39	10	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	波点文 (R)、横縞文	89-1-48
2	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb1	横文 (LR)、横縞文、ボタン状點付文、波線文	89-1-40	11	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横文 (LR) → 一横縞文/波線文	89-1-49
3	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb1	波線文	89-1-41	12	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	波点文 (R) → 一横縞文/波線文	89-1-50
4,a,b	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb1	横文 (R) → 一横縞文/波線文	89-1-42	13	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横文 (LR) → 一横縞文/波線文	89-1-51
5	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb1	横文 (R) → 一横縞文/波線文	89-1-43	14	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横文 (LR) → 一横縞文/波線文	89-1-52
6	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	波線文	89-1-44	15	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb1a	横文 (LR) → 一横縞文+2横1対の刻目文	89-1-53
7	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横文 (R) → 橫縞文/波線文	89-1-45	16	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横文 (R), 波線文、波縞文	89-1-54
8	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横文 (R) → 橫縞文/波線文	89-1-46	17	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・N	直面：網狀 (1本綱) 異	89-1-55
9	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・Vb	横点文 (R) → 一横縞文/波線文	89-1-47	18	SXO1③・Z1区・包含層II②層中	深鉗・N	直面：木葉面 → ヒガキ、煤状化物組合	89-1-56

第210図 SXO1③北西側遺物包含層・Z1区・包含層II②層中出土土器(2)



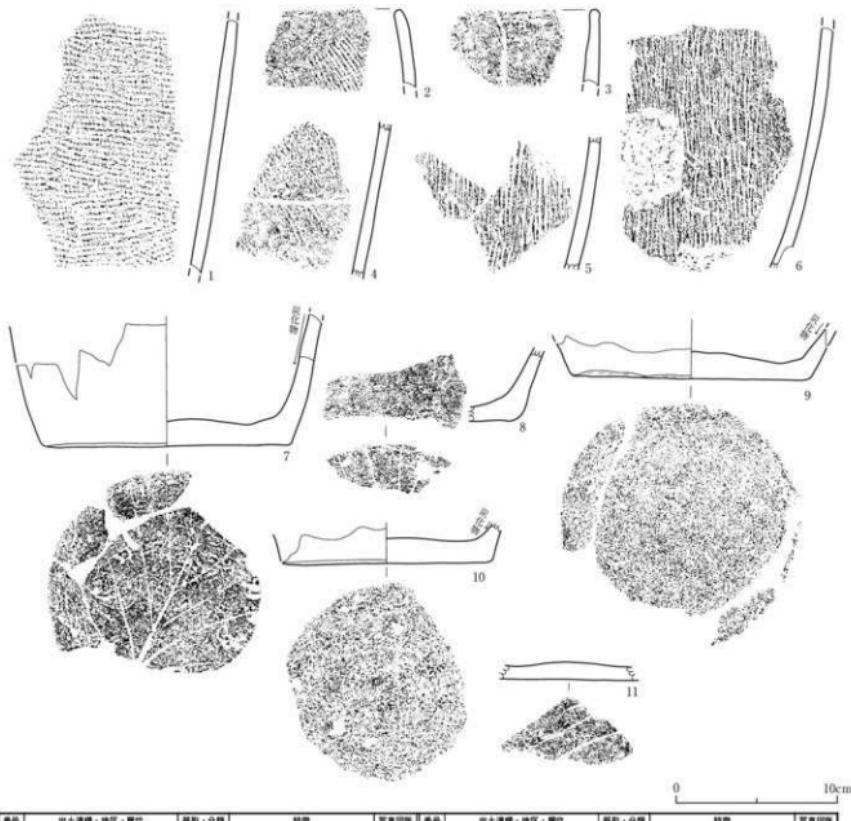
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1a-g	SXO1③・Z1区・包含層II③層上面・2.2層中・A18ペルトEa上面	深鉗・N/g1	横文 (LR/W/R)、多条波縞文、内面：炭化物組合	89-2-1

第211図 SXO1③北西側遺物包含層・Z1区・包含層II③層上面出土土器(1)



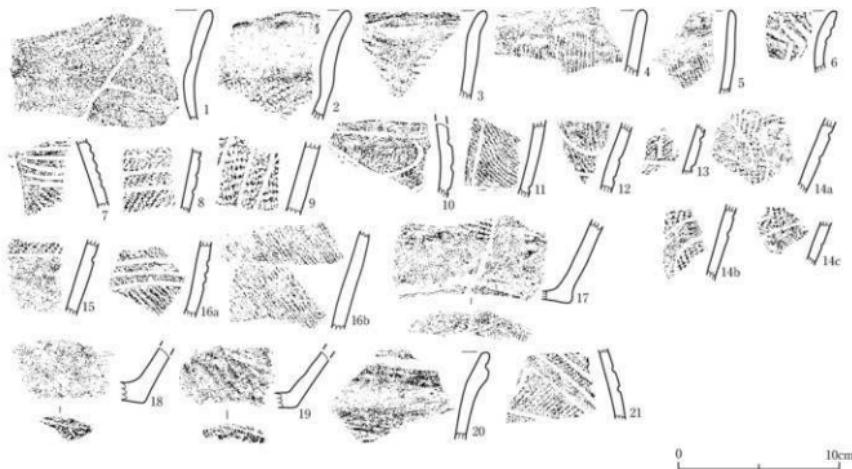
番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可典図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	可典図版
1	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M1	網文 (LR) → 多条波線文	90-1-1	12a-c	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M1c	網文 (LR) → 多条波線による網目文	90-1-12
2	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M2	網文 (LR) + 斜正網文 (LR), 波浪文	90-1-2	13	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M1c	網文 (LR) → 多条波線による網目文	90-1-13
3	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'2	斜正網文 (LR), 波紋文	90-1-3	14	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'2	網文 (R) → 斜正文 / 波紋文, 波浪	90-1-14
4a-c	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面 EII層中	深鉗・M2	網文 (LR) + 斜正網文 (LR)	90-1-4	15a-d	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面 EII層中	深鉗・M'2	網文 (R) → 多条波線による網目文	90-1-15
5	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M2	網文 (LR) + 斜正網文 (LR)	90-1-5	16a,b	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'2	網文 (R) → 多条波線による網目文	90-1-16
6	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・Vb1	網文 (LR) ? → 一種垂直文 / 波浪文, 波紋	90-1-6	17a,b	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面 EII層中	深鉗・M'2	網文 (R) → 多条波線による網目文	90-1-17
7	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M3	方格状文 (網文 (LR), 波浪文, 波紋)	90-1-7	18	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'2	網文 (LR) → 一種垂直文 / 波紋文	90-1-18
8	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'1	網文 (LR) → 多条波線文	90-1-8	19	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'2	網文 (R) → 一種垂直文 / 波紋文	90-1-19
9	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M1	網文 (LR) → 多条波線文	90-1-9	20	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M'2	網文 (LR) → 一種垂直文 / 波紋文, 波滅	90-1-20
10	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M1	網文 (LR) → 多条波線による網目文	90-1-10					
11	SX01③・Z1区・包含層Ⅱ③層上面	深鉗・M1	網文 (LR) → 多条波線による網目文	90-1-11					

第212図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅱ③層上面出土土器（2）



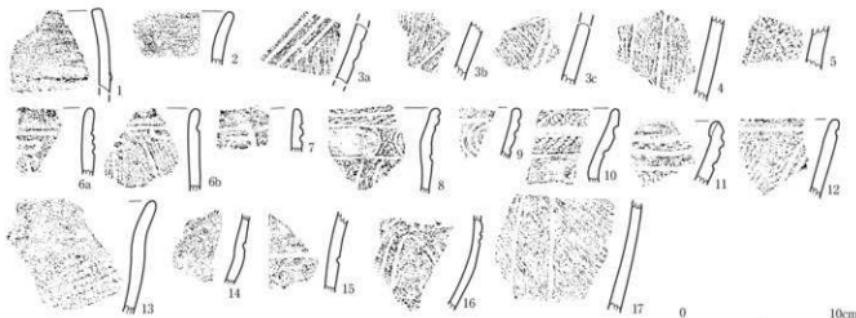
番号	出土場所・地区・層位	種別・分類	特徴	参考図版	番号	出土場所・地区・層位	種別・分類	特徴	参考図版
1	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	模文 (LR)	90-1-21	7	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	底面:木葉模、保状皮化物吸着、内面:皮化物吸着	90-1-27
2	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M&2	模文 (LR)、内面:皮化物吸着	90-1-22	8	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	底面:木葉底	90-1-28
3	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M&2	模文 (R)	90-1-23	9	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	底面:スレ、内面:皮化物吸着、底面:漆狀化物吸着	90-1-29
4	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	模文 (LR)	90-1-24	10	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	底面:ケツリヘキモキ、内面:皮化物吸着、底面:漆狀化物吸着	90-1-30
5	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	模文 (R)	90-1-25	11	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	底面:木葉底	90-1-31
6	SX01③・Z1区・包含層Ⅲ②層上面	漆跡・M	模文 (R)、外側:皮化物吸着	90-1-26					

第213図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅲ②層上面出土器 (3)



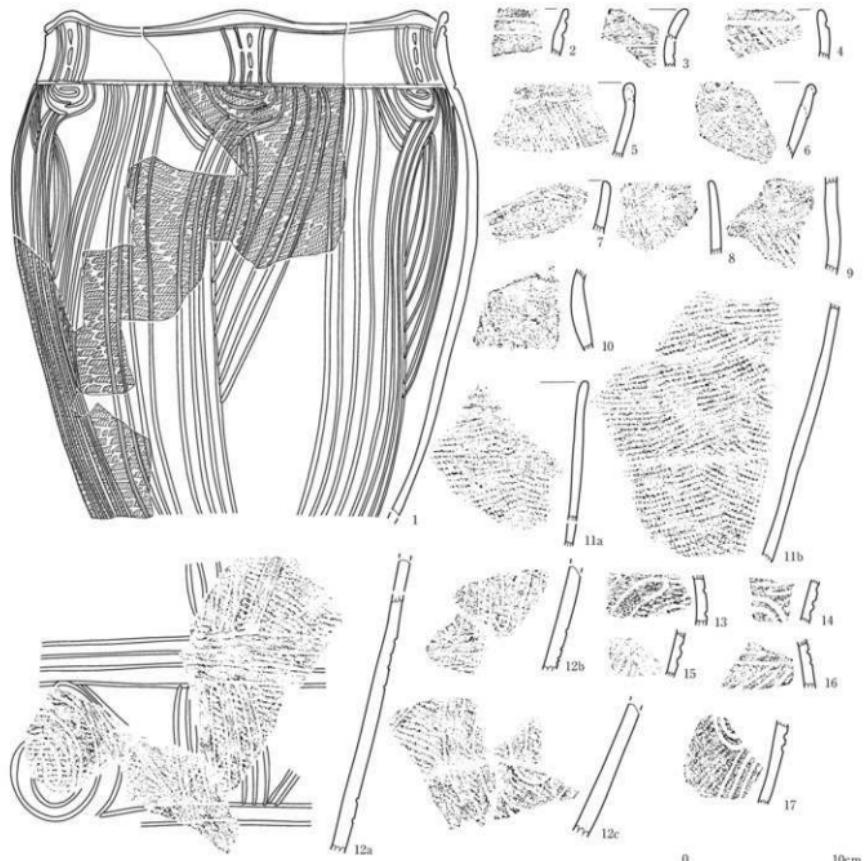
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数
1	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層下部	深鉢文 (R)	直筒文	91-1-1	13	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'	深鉢文 (R) → 深鉢文	91-1-13
2	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc4	直筒文 (LR), 面面: 変化物語文	91-1-2	14	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中・II	深鉢・M'	直筒文 (LR), 深鉢文	91-1-14
3	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc4	直筒文 (LRw)	91-1-3					
4	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc4	直筒文 (L)	91-1-4	15	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'c7	直筒文 (LR), 深鉢文	91-1-15
5	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc2	直筒文 (R)	91-1-5					
6	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc1	直筒文・多条波紋文	91-1-6	16a,b	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'c1	直筒文・多条波紋文, 内面: 变化物語文	91-1-16
7	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc1	直筒文 (LR) → 多条波紋文	91-1-7					
8	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc1	直筒文・化文波紋	91-1-8	17	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'	直筒文, 直面波紋に化文波紋	91-1-17
9	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Nc1	直筒文 (R) → 多条波紋文による直筒文	91-1-9	18	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'	直筒文・直面波紋, 変化物語文	91-1-18
10	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層上部	深鉢・M'	直筒文 (R) → 波紋文	91-1-10	19	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'	直筒文・直面波紋	91-1-19
11	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・M'	直筒文 (R) → 波紋文	91-1-11	20	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Vc1	直筒文, 波紋	91-1-20
12	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・N	直筒文 (R) → 波紋文, 内面: 变化物語文	91-1-12	21	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱ③層中	深鉢・Vc1?	直筒文 (LR), 深鉢文, 波紋	91-1-21

第214図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅱ③層中出土土器



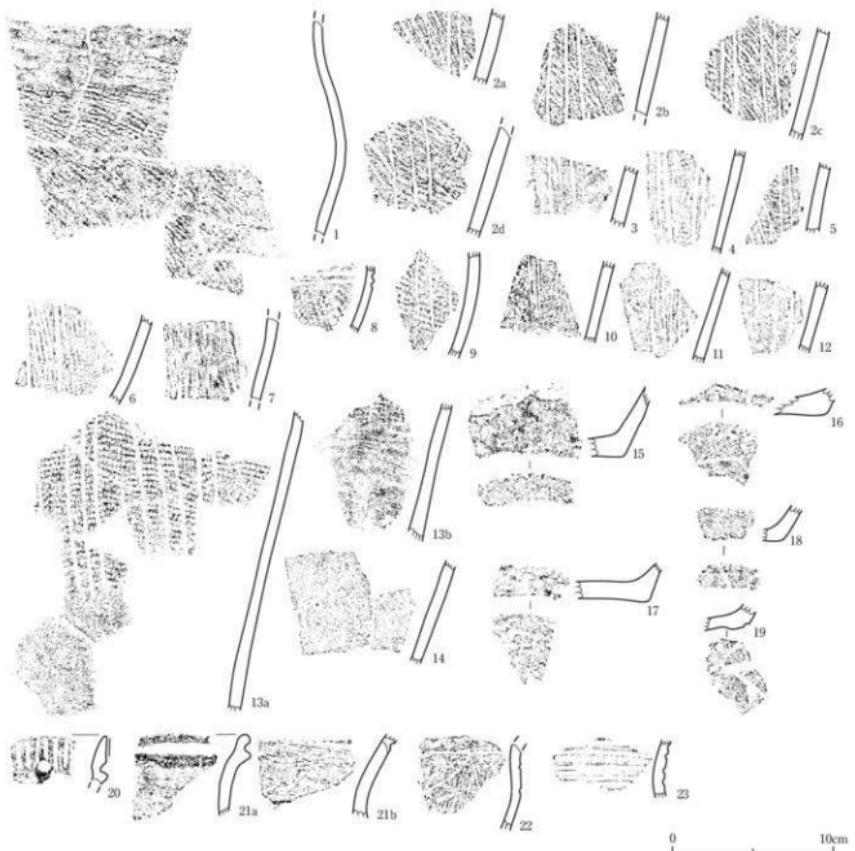
番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数	番号	出土遺構・地区・層位	形状・分類	特徴	可変因数
1	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層上面	深鉢・M'c1?	直線文・直面三角形の低い陰窓・やや厚壁	91-2-1	9	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c4	直線文	91-2-9
2	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層上面	深鉢・M'c1?	直線文 (ミカギ), 内面: 変化物語文	91-2-2	10	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'	直線文 (LR), 直線文	91-2-10
3c	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層上面	深鉢・M'	直筒文 (R) → 多条波紋文	91-2-3	11	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'	直線文 (LR), 深鉢文	91-2-11
4	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層上面	深鉢・M'	直筒文 (R) → 直筒文・波紋文	91-2-4	12	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c4	直筒文 (LR), 波紋文	91-2-12
5	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層上面	深鉢・M'c1	直筒文 (R) → 多条波紋文	91-2-5	14	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c2	直筒文 (LR) → 深鉢文 (LR)	91-2-14
6ab	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c1?	直筒文 (R) → 一種直円形文・直筒文・波紋文	91-2-6	15	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c2?	直筒文 (R), 直線文	91-2-15
7	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c1?	直筒文 (R) → 一種直円形文・直筒文	91-2-7	16	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・M'c1	直筒文 (R) → 一種直円形文・直筒文	91-2-16
8	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Nc3	直筒文 (LR) → 波紋文	91-2-8	17	SX01③ - Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vc1?	直筒文 (R) → 多条波紋文	91-2-17

第215図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅱa層上面・Ⅱa層中 (1) 出土土器



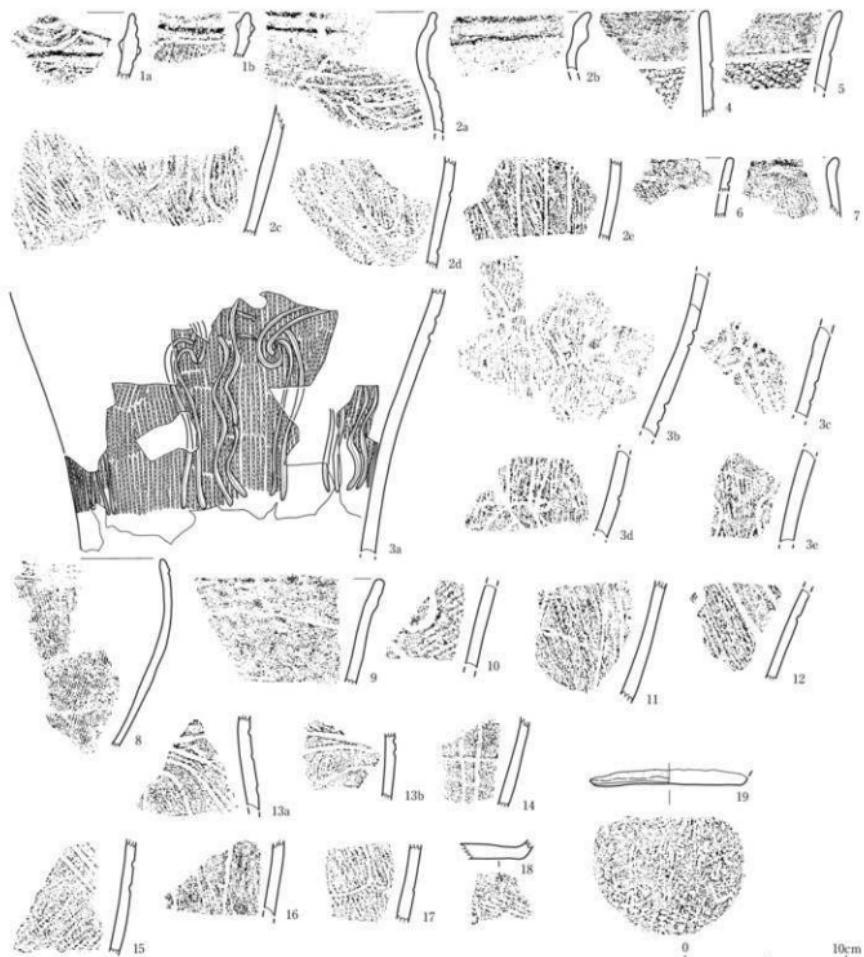
番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中・Ⅲ(上)層・Ⅲ(上)面・Ⅲ(左側)・Ⅰc層中・1m幅・1m幅・A級包含層Ⅱa層上部	縦文・L凹・多条沈線による横文・縦文・Ncl	縦文 (L凹)、多条沈線による横文・縦文 (L凹)、縦文	91-2-18	10	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中・Ⅲ(左側)	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、内面・変化物沈文	91-2-27
				11a	11	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中・Ⅲ(左側)	深鉢・Ncl	縦文 (L凹) を縦目で施文	91-2-28
2	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	楕円平行沈文、外面・変化物沈文	91-2-19	12	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中・Ⅲ(左側)	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、満巻文・沈線文・縦溝	92-1-1	
3	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	縦文 (L凹)、横目平行沈文	91-2-20	12a	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中・Ⅲ(左側)	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、満巻文・沈線文・縦溝	92-1-2	
4	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	縦文 (L凹)、沈線文	91-2-21	12b	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、満巻文・沈線文・縦溝	92-1-3	
5	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	縦文 (L凹)	91-2-22	12c	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、満巻文・沈線文	92-1-4	
6	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	土の様子上げ面、跡らを帶び文	91-2-23	13	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、満巻文・沈線文	92-1-5	
7	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	縦文 (カズリ模)	91-2-24	14	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、満巻文・沈線文	92-1-6	
8	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	縦文 (L凹)	91-2-25	15	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、多条沈線文	92-1-7	
9	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	縦文 (L凹)、内面・変化物沈文	91-2-26	16	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層中	深鉢・Ncl	縦文 (L凹)、多条沈線文	92-1-8	

第216図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅱa層中出土土器 (2)



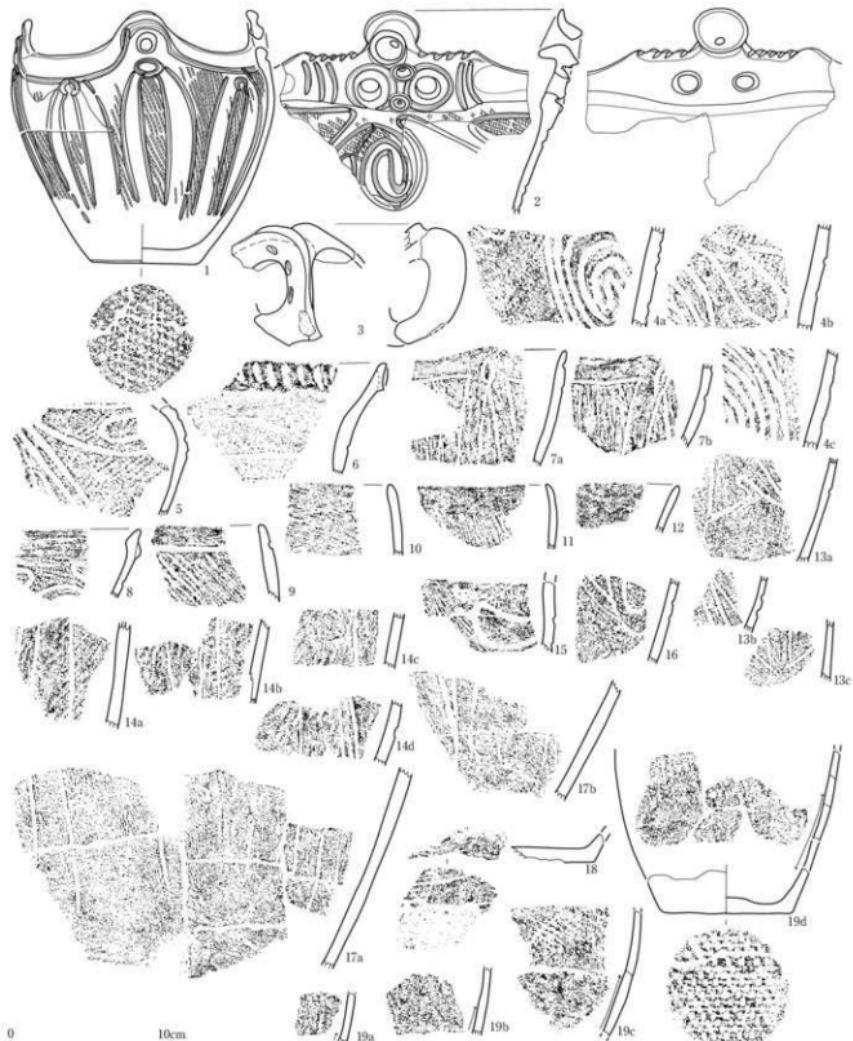
番号	出土遺構・地区・層位	剖面・分類	特徴	可変回路	番号	出土遺構・地区・層位	剖面・分類	特徴	可変回路
1	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R)、内面：炭化物付箇文	92-1-7	12	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文	92-1-18
2a-d	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 多条沈縫による繊維文	92-1-8	13a,b	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文	92-1-19
3	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 多条沈縫による繊維文	92-1-9	14	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R)	92-1-20
4	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文	92-1-10	15	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 多条沈縫による繊維文	92-1-21
5	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文	92-1-11	16	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R)	92-1-22
6	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 繊維文	92-1-12	17	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 繊維文	92-1-23
7	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・M?	両刃文 (R) → 繊維文	92-1-13	18	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 繊維文	92-1-24
8	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・M?	両刃文 (LR) → 繊維文、外面：炭化物付箇文	92-1-14	19	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (R) → 繊維文	92-1-25
9	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文、内面：炭化物付箇文	92-1-15	20	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Vbt	集合沈縫文、円形斜面文	92-1-26
			内面：炭化物付箇文		21a,b	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Vbt	凹面文、外面：炭化物付箇文	92-1-27
10	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文	92-1-16	22	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Vb	両刃文 (R) → 繊維文	92-1-28
11	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Mcl	両刃文 (LR) → 多条沈縫による繊維文	92-1-17	23	SX01③・Z1区・包含層 IIa層中	深鉢・Vb	梯状平行沈縫文	92-1-29

第217図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層 IIa層中出土器 (3)



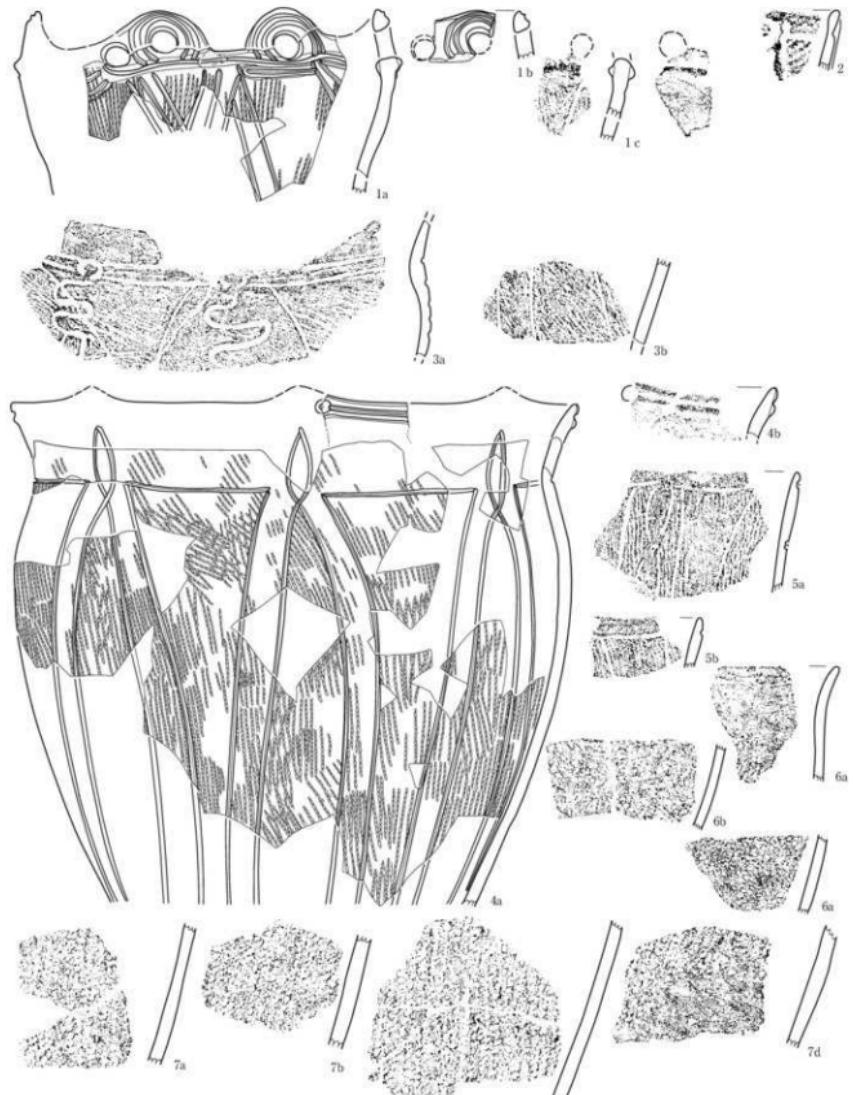
番号	出土遺物・地区・部位	形状・分類	特徴	可算回数	番号	出土遺物・地区・部位	形状・分類	特徴	可算回数
1a,b	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb2	圓角文 (R)、施錫文、垂保状文、 北錫文	92-2-1	9	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vct	施文 (ケズリ文)	92-2-9
2a～e	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb1	圓角文 (R)、一小弧状文、垂保文、 北錫文	92-2-2	10	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vd	施文 (R)、北錫文	92-2-10
3a～e	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中、 Ⅱa層中、A1～Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb	圓角文 (R)、一小渦卷文、波状文、 北錫文	92-2-3	11	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vb	施文 (R)、垂保文、外 縁・波状模様	92-2-11
4	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱa層下部 ①層中	深鉢・Vb1	圓角文 (R)、施錫文、内面・裏 化錫模様	92-2-4	12	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vb	施文 (R)、一懸垂文・北錫文	92-2-12
5	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb2	圓角文 (R)、施錫文	92-2-5	13a,b	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb	施文 (R)、一懸垂文・北錫文	92-2-13
6	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vct	圓角文 (R)	92-2-6	14	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vb	施文 (R)、垂保文、外縁・ 波状模様	92-2-14
7	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb2	圓角文 (R)、施錫文	92-2-7	15	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vb	施文 (R)、一懸垂文・北錫文	92-2-15
8	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb2	圓角文 (R)、施錫文	92-2-8	16	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・Vb	施文 (R)、垂保文、外縁・ 波状模様	92-2-16
15					17	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・Vb	圓角文 (R)、施錫文	92-2-17
					18	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部②層中	深鉢・V	網目 (4本組2本組) 文	92-2-18
					19	SX01③・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中	深鉢・V	網目 (1組、菱形形の模様) 文	92-2-19

第218図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層Ⅱa層下部①層中出土土器



编号	出土遗物·地区·层位	图形·分组	特征		出土地点	层位	特征	可看图组
			可看图组	番号				
1	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面 包含层Ⅱa下部②层中	深钟·Vc2	磨状把手·圆条文 (R) → 漆绘文 (浅绿文、底面) / 铜代 (1本越2层) 文。底部内圈面: 黑化 物化纹	93-1-1	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vc2	漆文 (R)	93-1-10
2	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vc2	弦纹把手·带文字 (R) → 漆绘文 (浅绿文、底面)	93-1-2	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vc2	漆文 (R)	93-1-11
4a-	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	椭状把手·带文字 (R) → 漆绘文 (浅绿文)	93-1-4	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	漆文 (R) → 漆绘文	93-1-12
5	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	椭文 (浅绿文) → 漆绘文 (浅绿文)	93-1-5	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	漆文 (R) → 漆绘文	93-1-13
6	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	浅绿文 (R)	93-1-6	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	漆文 (R) → 木塞	93-1-14
7ab	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb2	椭文 (R) → 漆绘文 (浅绿文)	93-1-7	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb2	漆文 (R) → 漆绘文	93-1-15
8	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	椭文 (R) → 漆绘文 (浅绿文)	93-1-8	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb	漆文 (R) → 漆绘文	93-1-16
9	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·Vb2	椭文 (R) → 漆绘文	93-1-9	SX01③-Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面	深钟·V	漆文 (R) → 漆绘文 (1本越2层) 文。底部内圈面: 黑化物化纹	93-1-17

第219图 SX01③北西侧遗物包含层·Z1区·包含层Ⅲa下部②层上面出土土器

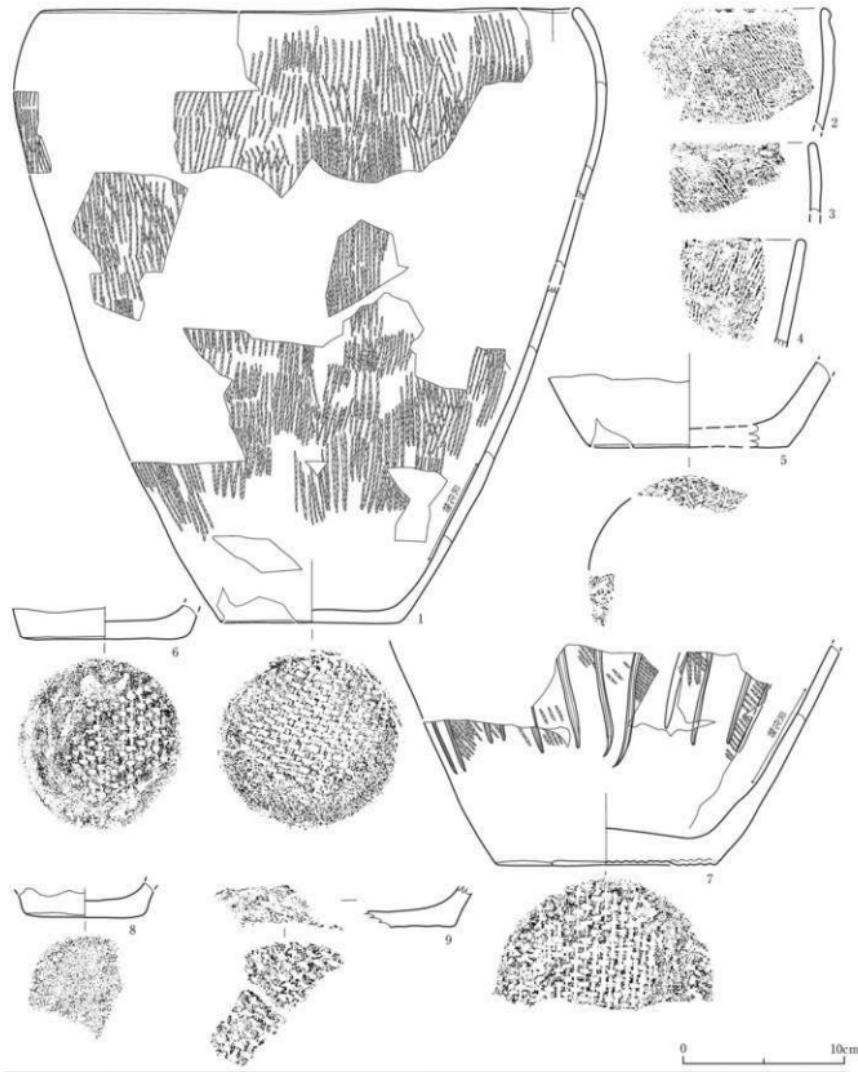


第220図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層IIa層下部②層中・IIb①層上面(1)出土土器



第2221図 SX01③-北西側遺物包含層・Z1区・包含層IIb①層上面出土土器（2）

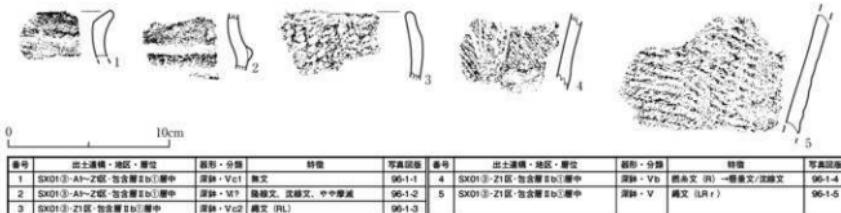
番号	出土遺物・地区・層位	图形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	图形・分類	特徴	写真図版
1a-c	SX01③-Z1区・包含層IIb①層上面・IIa層 下部2層上面	深鉢・Vb1	円形の素面、直腹文、圓朱文(円) 一括墨文・支離文	94-1-5	4	SX01③-Z1区・包含層IIb①層上面・Z1北 ベルト・包含層IIa層下部2層中、A1区・包含 層IIb①層上面、A1-Z1区・包含層IIb層 中、A1区・包含層IIa層中	深鉢・Vb	柄朱文(内)・一括状文・流離文	94-1-10
2	SX01③-Z1区・包含層IIb①層上面	深鉢・Vb	圓文(丸)・一括墨文・支離文	94-1-6	5	SX01③-Z1区・包含層IIb①層上面	深鉢・V	底面:ミガキ	94-1-8
3a-d	SX01③-Z1区・包含層IIb①層上面、Z1北ベル ト・包含層IIb①層上面、A1-Z1区・包含層 IIb①層上面	深鉢・Vb2	圓朱文(内)・一括墨文・支離文、 円形竹管文	94-1-7	6	SX01③-Z1区・包含層IIb①層上面	深鉢・V	底面:網目(2本絞2本縫)底	94-1-9



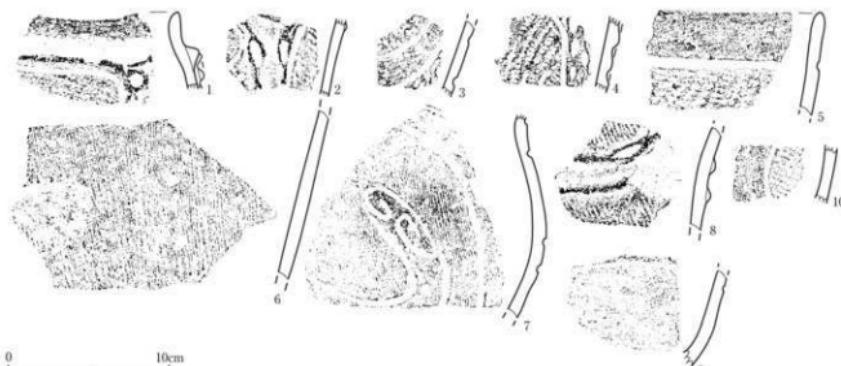
0 10cm

出土遗物·地区·部位		器物·分组		特征		写真图版		出土遗物·地区·部位		器物·分组		特征		写真图版	
号		号		号		号		号		号		号		号	
1	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面·2a ①层中·E面下部的2层中·E面下部·2 层上面	深钵·Vc2	柄余文 (R)·底面: 纹代: 纹代 (1本细2 本粗) 底、内面: 钻孔物浅表	95-1-1	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面	深钵·V	柄余文 (R)·底面: 纹代 (1本细2本粗) 底→2.5cm 高: 1.5cm (R)·外壁素面/尖底文, 底面: 纹代 (1本细2本粗) 底、内面:	95-1-6							
2	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面	深钵·Vc2	柄余文 (R)	95-1-2	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面·1a 层下部2层上面	深钵·Vb	钻孔物浅表, 外面侧壁下部: 低状深 化锥行带	95-1-7							
3	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面	深钵·Vc2	柄余文 (R)	95-1-3	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面	深钵·V	木茎迹→2.5cm 高: 1.5cm (R)·外壁素面/尖底文, 底面: 纹代 (1本细2本粗) 底	95-1-8							
4	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面	深钵·Vc2	柄余文 (LR- 一部分残片 L)	95-1-4	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面	深钵·V	底面: 纹代 (1本细2本粗) 底	95-1-9							
5	SX01③- Z1区·包含层IIb①层上面·3a 层下部2层上面	深钵·V	底面: 纹代 (1本细1本粗1层, 4本粗2层, 1本粗4本粗混合) 底	95-1-5											

第2222图 SX01③北西侧遗物包含层·Z1区·包含层IIb①层上面出土器 (3)



第223図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層IIb①層中出土土器



第224図 SX01③北西側遺物包含層・Z1区・包含層IIb②層上面・IIb②層中出土土器

### (36) SX01③北西側遺物包含層A1西ベルト出土土器（第226～229図）

A1西ベルトでは、SX01③北西側遺物包含層は包含層Ⅱ①層、Ⅱ③層、Ⅱa層、Ⅱa層下部①層、Ⅱb①層に分層された。このうち、Ⅱa層下部①層（砂礫層）の下には、暗褐色粘土層が1枚しか確認できず、Ⅱb①層として取り上げた。

#### ①包含層Ⅱ①層中出土土器（第226図）

すべて深鉢形土器である。1・2は口縁部が緩やかに内湾する器形をしている。幅の狭い羽状縄文が施されている。3は口縁部が緩やかに外反する器形である。4は口縁部が外傾している。ともに横位斜行縄文が施されている。5～12は口頸部に縦位の凸レンズ状文、胴部に懸垂文が施された土器である。14・15は底部で底面には木葉や網代の圧痕が残されている。

#### ②包含層Ⅱa層上面出土土器（第227図）

ともに深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに外反する器形である。緩い波状縁で、口縁部分は複合口縁状に肥厚している。波頂部に盲孔と弧状文を配し、全体に凹線文をめぐらせている。頸胴部には平行沈線の弧状文が縦位に展開し、充填縄文や沈線文が施されている。2は懸垂文が施されている。

#### ③包含層Ⅱa層中出土土器（第228図）

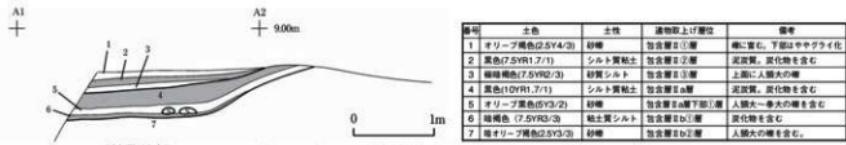
すべて深鉢形土器である。1・2は口縁部が緩やかに外反する器形である。ともに6単位の緩い波状縁を呈している。1は波頂部から、多条沈線による懸垂文が垂下し、懸垂文間には弧状・対角線上の多条沈線文が施され、さらに渦巻文や重弧状文で埋められている。地文は縱走するLR撲糸文である。2は口頸部に無文帯が設けられ、無文帯の上縁と下端には押圧縄文が施されている。地文は斜行～縱走する縄文である。3～5は口縁部が外傾～外反する土器である。口縁部は無文となっている。6～13は沈線文が施される土器である。横楕円形文、集合沈線文、懸垂文などが施されている。14は口縁部がわずかに内湾する6単位の波状縁土器である。縦位斜行縄文を基調とする地文が施されている。15・16は底部である。15は菱形状の模様編みの網代が用いられている。16は木葉底である。

#### ④包含層Ⅱa層下部①層中出土土器（第229図1～3）

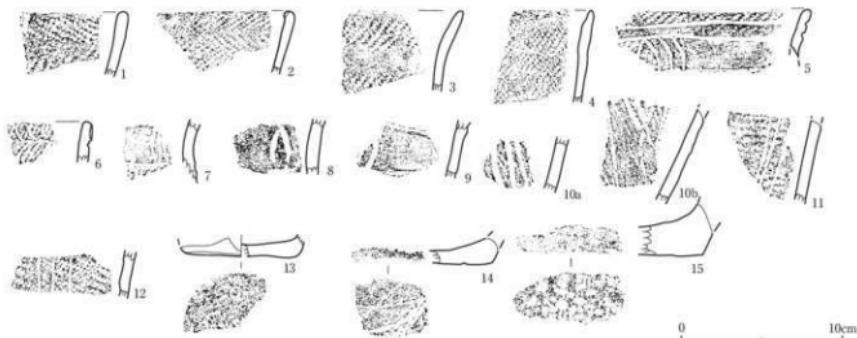
すべて深鉢形土器である。1～3は口縁部が緩やかに外反する器形である。1は複合口縁状に肥厚し、凹線文が施されている。2は無文帯の下端に沈線文が施されている。3は無文である。

#### ⑤包含層Ⅱb①層中出土土器（第229図4～23）

すべて深鉢形土器である。4は口縁部がわずかに外反する器形である。口唇部には斜位の短沈線文が連続して施されている。無文帯の上縁と下端には横位沈線文が配されている。胴部は横走縄文が施されている。5～12は口縁部で、緩やかに外反するもの、やや内湾するものがある。5は凹線文が施されている。13～19は胴部で懸垂文などが施されている。20～23は底部で、網代底と木葉底の両者がある。

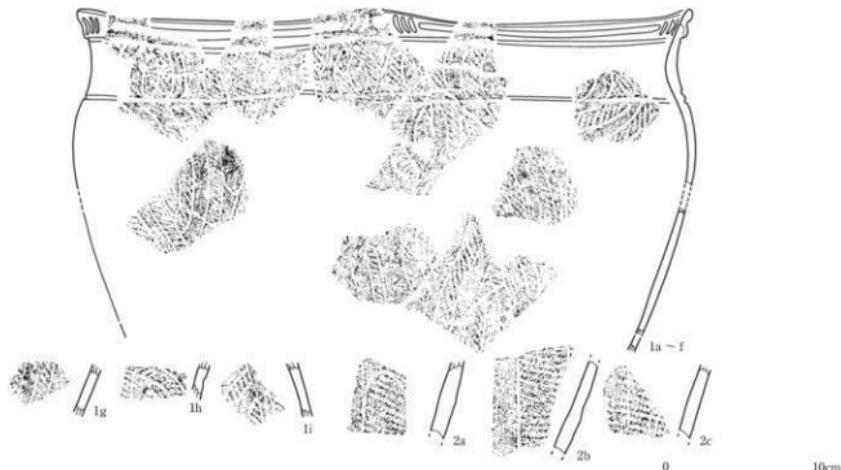


第225図 SX01③遺物包含層A1～A2西ベルト断面



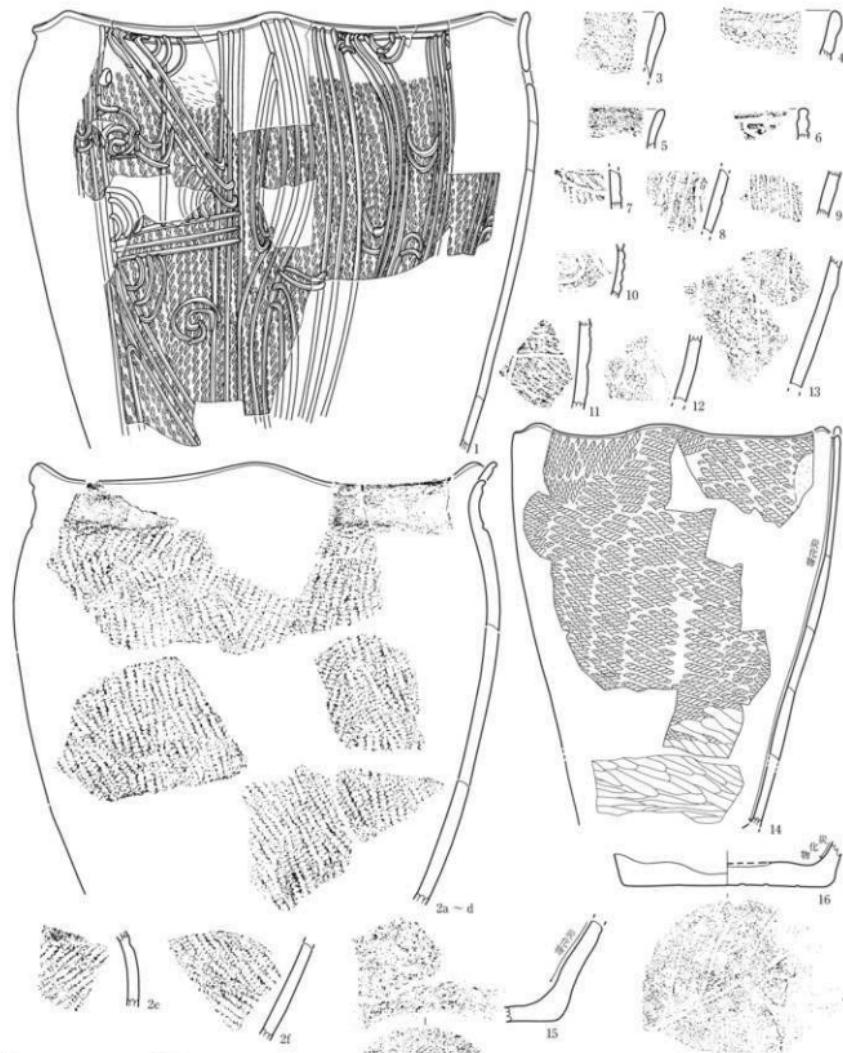
番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版
1	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ上層	深鉢状文 (HL/LR)		96-3-1	8	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ上層	深鉢・Mct	鏡文 (HL)	鏡文 (HL)
2	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ中層	深鉢状文 (LR-LR)		96-3-2	9	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ中層	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 鏡消し鏡レンズ状文	96-3-9
3	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢 (HL/LR)		96-3-3	10a,b	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 多条波線による繊細文	96-3-10
4	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct (2)	鏡文 (LR)	96-3-4	11	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (LR) → 多条波線による繊細文	96-3-11
5ab	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 鏡レンズ状文/多条波線文	96-3-5	12	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (LR) → 多条波線による繊細文	96-3-12
6	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 鏡レンズ状文/多条波線文	96-3-6	13	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 波状底面	96-3-13
7	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 横性平行波線文、鏡レンズ状文	96-3-7	14	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文・波状底面	96-3-14
1a-f					15	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲ下層	深鉢・Mct	鏡文 (日本鏡1本鏡) 裏	96-3-15

第226図 SX01③北西側遺物包含層・A1西ベルト・包含層Ⅲ①層中出土土器



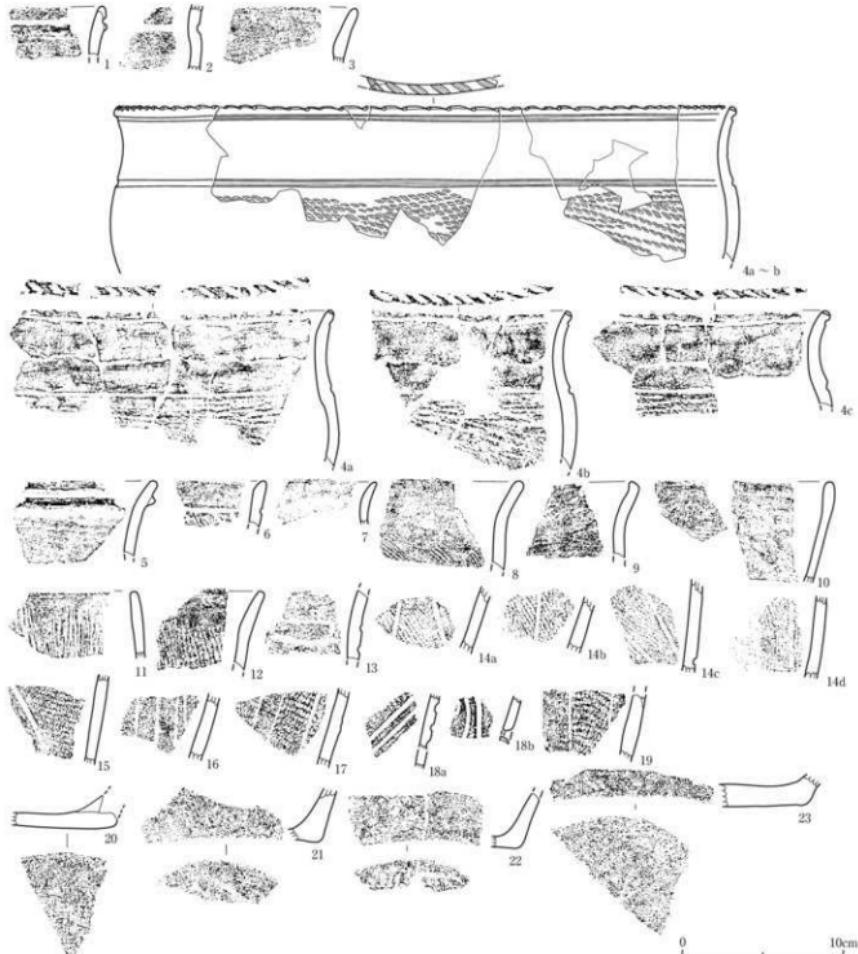
番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	基形・分類	特徴	写真図版
1a-f	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲa上層, Z1区・包含層Ⅲ①層中, A1区・包含層Ⅲ①層中	深鉢・Mct	円形の穿孔、波線文、鏡状文 (HL)	96-4-1	2a-c	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅲa上層・II区層中	深鉢・Mct	鏡文 (HL) → 鏡裏文/波線文	96-4-2

第227図 SX01③北西側遺物包含層・A1西ベルト・包含層Ⅲa層上面出土土器



番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中・E面土上部、Z1区・包含層Ⅱa層中、Z1北ベルト・西文、漢文、植物孔	深鉢・Mc1	周赤文(R)・多条沈痕による8唇	9	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc1	周赤文(R)・多条沈痕による8唇文	97-1-8	
2a-f	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中・E面土上部、Z1区・包含層Ⅱa層中、Z1北ベルト・西文、漢文、植物孔	深鉢・Mc2	周赤文(R)・周径弦文(R)	10	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc1	周赤文(R)・周径弦文(R)	97-1-10	
3	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc4	無文	11	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc1	周赤文(R)・周径弦文(R)	97-1-11	
4	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc2	無文	12	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc17	周赤文(R)・周径弦文(R)	97-1-12	
5	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc4	無文	13	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc17	周赤文(R)・周径弦文(R)	97-1-13	
6	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc1	周横円形文	14	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc2	周赤文(R)→ミガキ(下部)、6枚位	97-1-14	
7	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc1	周赤文	15	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・M	周赤文(R)?・底面・網代(菱形状の模様)底	97-1-15	
8	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Mc1	周赤文	16	SX01③・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・M	底面・木葉文→ミガキ	97-1-16	

第228図 SX01③北西側遺物包含層・A1西ベルト・包含層Ⅱa層中出土土器



番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	形状・分類	特徴	写真図版
1	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	深鉢・Vgt	胡蝶文	97-2-1	10	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	深鉢・Vgt2	無文（ケズリーナ）	97-2-10
2	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ②縦中	深鉢・Vgt	無文（R?）、深鉢文	97-2-2	11	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	深鉢・Vgt2	無文（R?）	97-2-11
3	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	深鉢・Vgt?	無文	97-2-3	12	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	深鉢・Vgt	無文（R?）	97-2-12
4a-b	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	口唇：斜往復浅鉢文、無文（R?） 深鉢・Vgt	包含層Ⅱa層上部、Z1区北ベルト・包含層Ⅱa層上部	97-2-4	13	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部 ①縦中	深鉢・Vgt	波状往復帶文/浅鉢文	97-2-13
5	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	胡蝶文	97-2-5	14a-d	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・一帶垂直文/浅鉢文	97-2-14
6	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・一帶垂直文/浅鉢文	97-2-6	15	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・一帶垂直文/浅鉢文	97-2-15
7	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文	97-2-7	16	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・一帶垂直文/浅鉢文	97-2-16
8	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文	97-2-8	17	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・一帶垂直文/浅鉢文	97-2-17
9	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文	97-2-9	18a-b	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・無文/浅鉢文・修飾孔	97-2-18
					19	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・一帶垂直文/浅鉢文	97-2-19
					20	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・二本筋2面削底	97-2-20
					21	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・Vgt	無文（R?）・無文	97-2-21
					22	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・V	無文（R?）	97-2-22
					23	SX01③-A1西ベルト・包含層Ⅱa層中	深鉢・V	無文（R?）	97-2-23

第229図 SX01③北西側遺物包含層・A1西ベルト・包含層Ⅱa層下部①層中・Ⅱb①層中出土土器

### (37) SX01③北西側遺物包含層A1区出土土器（第230～237図）

A1区では、SX01③北西側遺物包含層は包含層Ⅱ①層、Ⅱa層、Ⅱa層下部①層、Ⅱb①層、Ⅱb②層に分層された。このうち、Ⅱb①層上面にややまとまって土器を検出している。

#### ①包含層Ⅱ①層中出土土器（第230図）

1は口縁部がやや内湾する深鉢形土器である。幅の短い羽状繩文が施文されている。2は壺形土器である。刻目文の施される隆線文がめぐり、貼瘤が付されている。3は3つの円窓が配される異形土器である。細かい繩文が施されている。以下、すべて深鉢形土器である。4・5は平行沈線文が施されている。6～8は押圧繩文が施されている。8は押圧繩文施文後に、さらに弧状文が描かれている。9は口縁部に1条の沈線文がめぐっている。10～12は口縁部に幅の狭い無文帯が設けられている。13・14は懸垂文の施された胴部である。15・16は底部とともに木葉底である。

#### ②包含層Ⅱa層上面出土土器（第231図）

1は口縁部がやや内湾する深鉢形土器である。口縁部には幅の狭い無文帯が設けられ、以下にやや斜走する撚糸文が施されている。2～4はほぼ1と同様の土器である。5は口縁部が外傾する器形である。口縁部には無文帯は設けられず、全体に横走～斜走する撚糸文が施されている。6は口縁部がやや内湾する無文土器である。7は口径約3cm程の袖珍土器である。8は懸垂文が施された胴部である。10～12は底部で、網代底と木葉底とがある。

#### ③包含層Ⅱa層中出土土器（第232図1～25）

すべて深鉢形土器である。1・2は口頸部に重弧状文や横横円形文の施される土器である。以下には懸垂文が描かれている。3には多条沈線による懸垂文が施されている。4～8は口縁部が緩やかに外反する器形である。胴部には撚糸文が施されるものがある。9～13は口縁部が緩やかに内湾する土器である。口縁部には幅の狭い無文帯が設けられ、以下に撚糸文を施している。14は横走繩文、15は斜走する撚糸文が胴部に施されている。15は木葉底である。16は環状把手である。環状部には圓線が施されている。17～20はやや太い沈線によって縱位の凸レンズ状文、懸垂文などが描かれている。21～23は口唇部に斜位の短沈線文が施されている。24・25は懸垂文が施された胴部である。

#### ④包含層Ⅱa層下部①層中出土土器（第232図26～30）

すべて深鉢形土器である。26は多条沈線による懸垂文が施されている。27は緩やかに外反する器形である。外削ぎ状の口端部には連続して縱位短沈線文が施されている。28・29は口縁部が緩やかに内湾する器形である。撚糸文がほぼ横走する。28は沈線文が1条めぐっている。30は木葉底である。

#### ⑤包含層Ⅱb①層上面出土土器（第233～235図）

すべて深鉢形土器である。第233図1は口縁部が緩やかに外反する器形である。口縁部は肥厚し、大型の環状把手が付されている。環状把手は3個の環状部を中心に隆線、ボタン状貼付文、沈線によって装飾されている。把手の両脇には弧状文・ボタン状貼付文が付され、さらに凹線文が施されている。外反する頸部には、波頂部と波底部の位置に縱位の沈線文が3条施されている。ごく細い

半截竹管によって描かれており、胴部の太い沈線文施文具の截断面側を使用したものと考えられる。把手下の胴上部には鎖状をなす短沈線文が垂下し、全体を3条1単位とする太描き沈線による弧状文と斜位文で埋めている。地文の縄文は横走～斜行縄文である。底面はミガキ調整が施されている。

第234図1は頭部が緩やかにくびれる6単位の波状縁土器である。波頂部下には縦位の沈線文が施され、口唇にも縦位の短沈線文が施されている。波頂部の下には3条1単位の弧状をなす懸垂文が施され、交点のある頭部には円形竹管文が付されている。波状懸垂文が中央に配されている箇所もある。地文はごく細い糸を軸に密に巻きつけたものを縦位回転施文した撚糸文である。2は口縁部が緩やかに外反する器形である。頭部に1条の沈線文がめぐり、懸垂文が施されている。3は口縁部が外傾する波状縁の土器である。4は口縁部が緩やかに外反する器形である。ともに口縁部には無文帯が設けられ、以下を撚糸文としている。5・6は懸垂文が施された胴部である。7・8は弧状文が施されている。9は鎖状隆線文、10は無文帯縁辺に隆線を施したものである。11は網代底である。

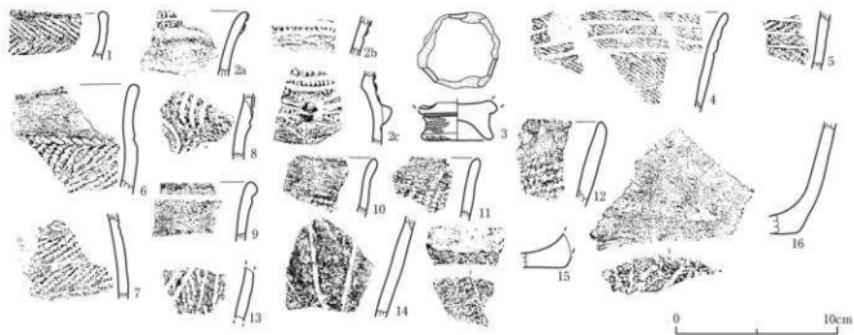
第235図1は頭部が緩やかにくびれ、口縁部がやや内湾気味に立ち上がる器形である。口縁部には2個1対の丸山状をした突起が付されている。口唇部には斜位の短沈線文が施されている。口縁上部には、太描き沈線による渦巻状文様が全体を取り巻いている。波頂部と波底部の位置には、懸垂文が配されている。沈線と沈線の交点部分の要所には、円形竹管文が施文されている。地文は縦走撚糸文である。2は口縁部が緩やかに外反する器形である。一部波状をなす懸垂文が施されている。3は弧状文が施された胴部である。

#### ⑥包含層Ⅱb①層中出土土器（第236図）

すべて深鉢形土器である。1は口縁部が緩やかに内湾するものである。口縁部に幅の狭い無文帯を設け、斜走する撚糸文を施文している。2～6は懸垂文が施された胴部である。9・10は底部で、網代底と木葉底がある。

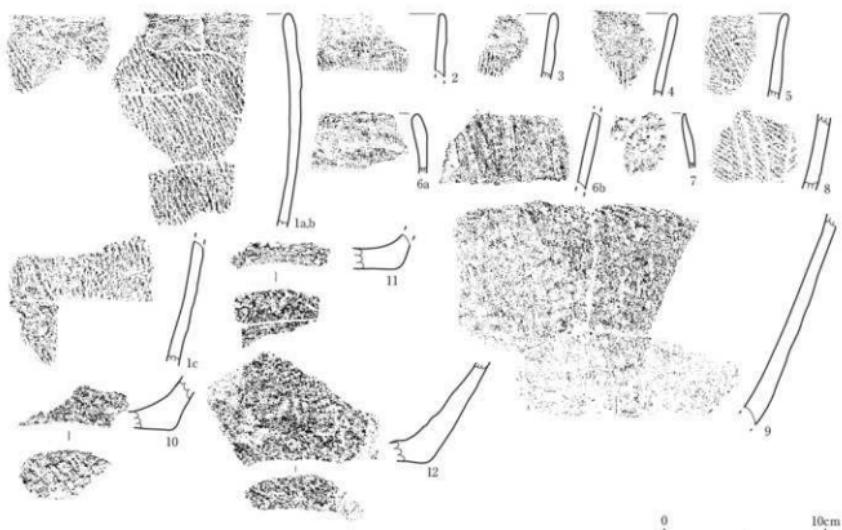
#### ⑦包含層Ⅱb②層上面出土土器（第237図）

すべて深鉢形土器である。この面はZ1区のⅡb②層上面から続く面で、より上位の遺物包含層の廃棄の起点となる面である。1は口縁部が内湾する波状縁の土器である。幅の狭い無文帯の下にはやや斜走する細かい撚糸文が施されている。2は口縁部が緩やかに内湾する平縁の土器である。縦位撚描文が施されている。3も縦位撚描文が施文された胴部である。4は口縁部が外傾する波状縁の土器である。縦走撚糸文が施されている。5は鎖状隆線文に円形文、円形竹管文が施されている。6は隆線上及び隆線に沿って、刻目文や刺突文を施した土器である。7は弧状の平行する沈線文内に鎖状刺突文が施されている。8は細い撚糸文を地に弧状文が描かれ、磨り消されている。



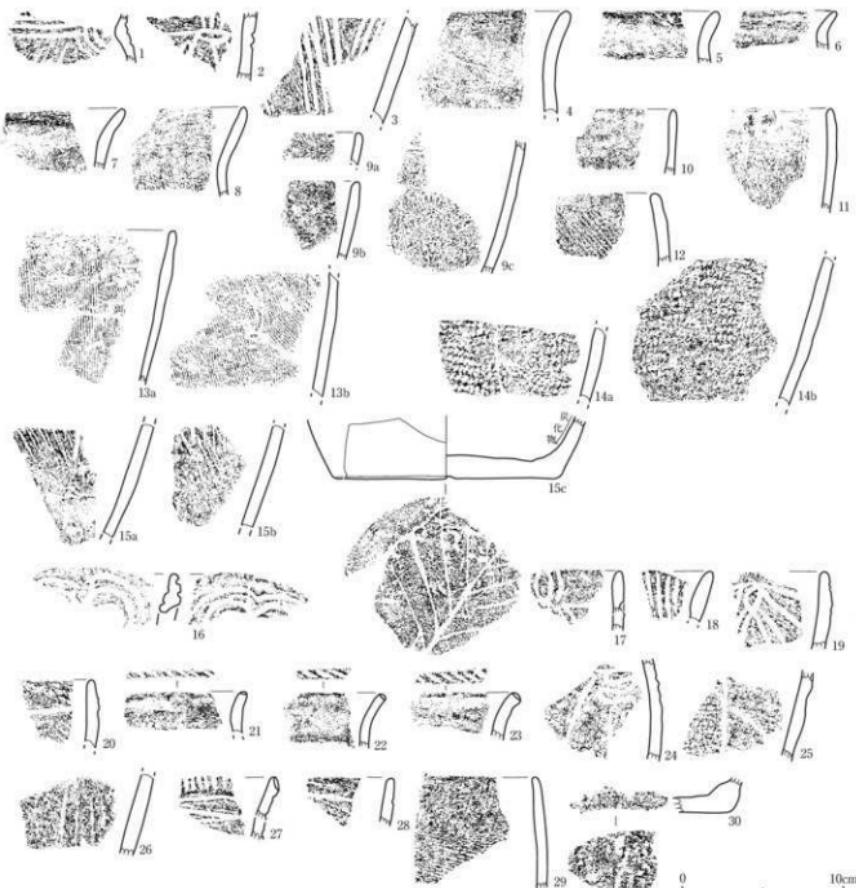
番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	写真図版
1	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部・2d 羽状葉文 (LR/RL)	98-1-1	9	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-Nc17 北極文	98-1-2
2a-c	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中 壁・底	平行羽状葉文、葉狀文+刺突列、葉片	98-1-2	10	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-Nc4 葉文 (LR)	98-1-10
3	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	葉狀・2d 葉文 (LR)、葉狀文、円窓 (LR)	98-1-3	11	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-Nc4 葉文 (LR)	98-1-11
4	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部 羽狀葉文 (LR/RL多見) →平行葉狀文	98-1-4	12	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-1-12
5	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部 羽狀葉文 (LR) →平行葉狀文	98-1-5	13	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-1-13
6	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部 葉文 (LR)、所持葉文 (LR)	98-1-6	14	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-Nc17 葉狀文、葉狀文	98-1-14
7	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部・Nc2 葉文 (LR)、葉狀葉文 (LR) →葉狀葉文/葉文	98-1-7	15	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-N 底面:木葉底	98-1-15
8	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部 葉狀葉文 (LR)	98-1-8	16	SX01③-A1区・包含層Ⅱ層中	深部-N 底面:木葉底	98-1-16

第230図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層Ⅱ①層中出土土器



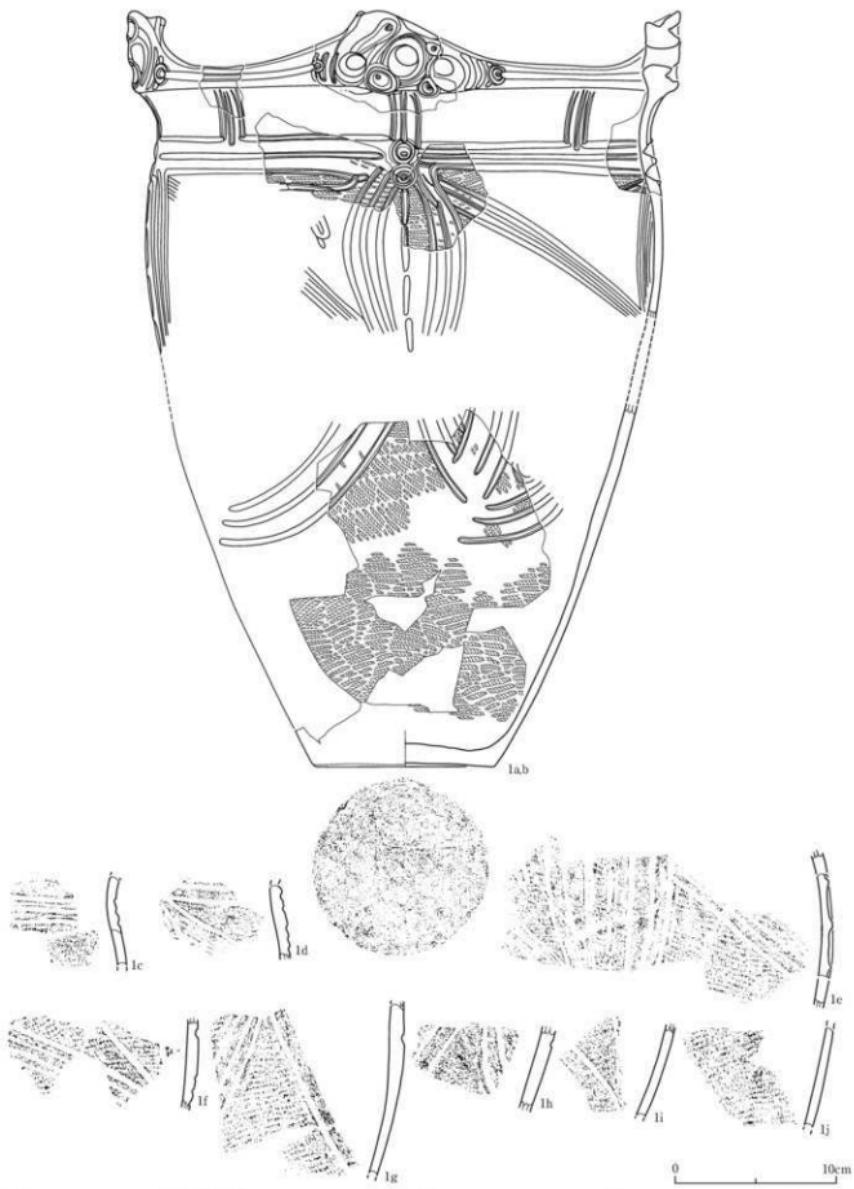
番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	形態・分類	特徴	写真図版
1a-c	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面・ Ⅱ層中	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-2-1	7	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Na 手のひら、口幅約3cm	98-2-7		
2	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-2-2	8	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Nc1 葉文 (LR) →多様な葉文	98-2-8		
3	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-2-3	9	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面・ Ⅱa層中・Ⅱ層中	深部-N 葉文 (LR)	98-2-9		
4	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-2-4	10	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-N 底面:葉代 (2枚重ね2本層) 葉	98-2-10		
5	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Nc2 葉文 (LR)	98-2-5	11	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-N 葉面:木葉底	98-2-11		
6ab	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-Nc2 葉文	98-2-6	12	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層上面	深部-N 葉面:葉代底	98-2-12		

第231図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層Ⅱa層上面出土土器



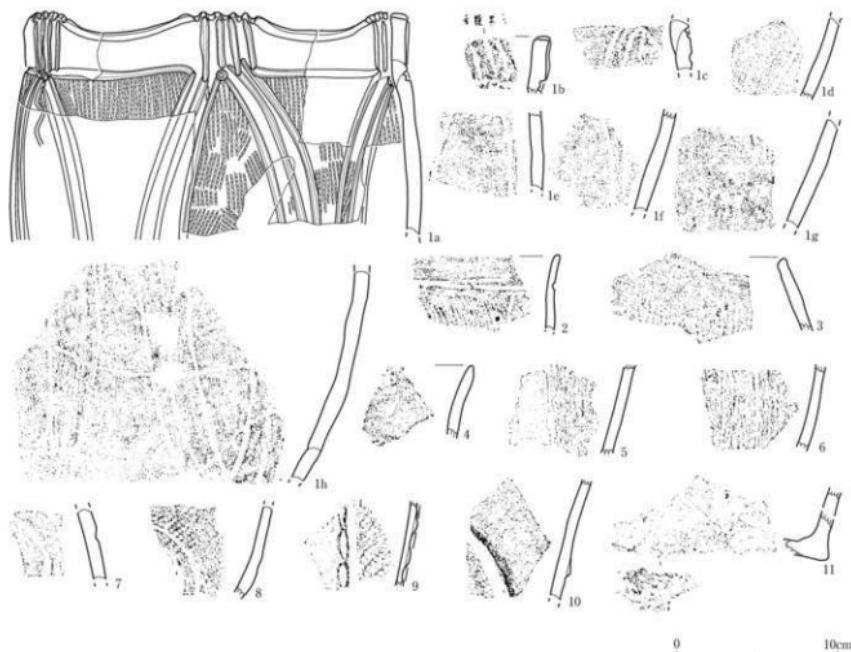
番号	出土遺物・地区・層位	類別・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺物・地区・層位	類別・分類	特徴	写真図版
1	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G1	垂直状文/多面比較文	98-3-1	16	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中・A1	深鉗・Va	深鉗把手、縦線文/沈線文	98-3-16
2	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G1	横円形文、垂直文/沈線文	98-3-2	17	-B1北ベルト-Sec.4層中	深鉗・Vb	円形文/垂直文、細レンズ状文、懸垂文	98-3-17
3	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G1	垂直文 (R) 一多面比較文による懸垂文	98-3-3	18	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Va	集合文様文	98-3-18
4	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G4	無文	98-3-4	19	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb	無文 (R) →一レンズ状文、懸垂文	98-3-19
5	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G4	無文	98-3-5	20	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb	無文 (R), 沈線文	98-3-20
6	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G4	無文 (R)	98-3-6	22	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb1	口縁、斜位懸垂文	98-3-21
7	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G4	無文 (R)	98-3-7	23	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb1	口縁、斜位沈線文	98-3-22
8	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G4	無文 (R)	98-3-8	24	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb1	口縁、斜位沈線文	98-3-23
9	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中・E8 上部	深鉗・N/G2	無文 (カスリ)	98-3-9	25	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb	無文 (LR) →一懸垂文/沈線文	98-3-24
10	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G2	無文 (R)	98-3-10	26	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb	無文 (LR) →一懸垂文/沈線文	98-3-25
11	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G2	無文 (R)	98-3-11	27	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb1	複数無文、沈線文	98-3-26
12	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・N/G2	無文 (R)	98-3-12	28	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vb2	無文 (LR), 沈線文	98-3-27
13a	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中・E8 上部	深鉗・N/G2	無文 (R)	98-3-13	29	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・Vc2	無文 (R)	98-3-28
14a	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中・E8 上部	深鉗・N/G2	無文 (LR)	98-3-14	30	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中	深鉗・V	無文 (木葉)	98-3-29
15a	SX01③-A1区・包含層Ⅱa層中・E8 上部	深鉗・N	無文 (LR), 直面 (木葉裏, 内面) 突出物付	98-3-15					98-3-30

第232図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層Ⅱa層中・IIa層下部①層中出土土器



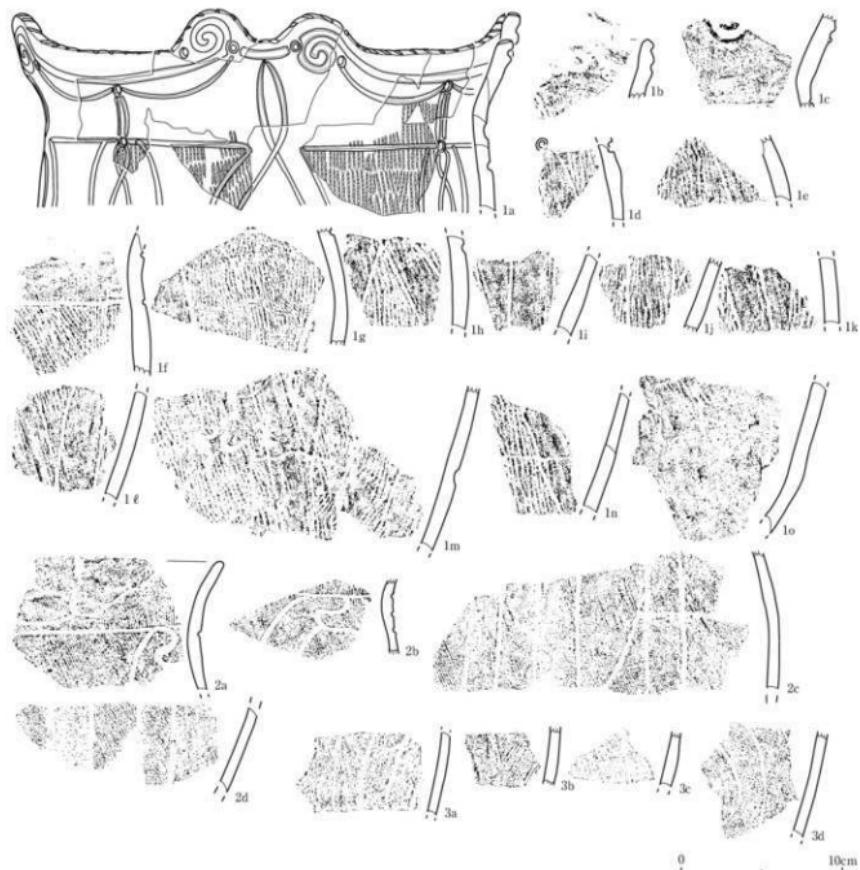
番号	出土遺構・地区・層位	断面・分類	特徴	写真図版
1a~ i	SX01③・A1～B1区・包含層IIb①層上面、A1～Z1区・包含層IIb①層上面、A1区・包含層 IIa層上面、A1～Z1西ベルト・包含層IIa層下部①層中、Z1北ベルト・包含層IIIa層下部② 層中、Z1区・包含層IIIa層下部②層中、IIa層中、IIc層中	断面・V型 深鉢・Vat	縦状把手、円形の茎部、ボタン状軸付材、凹縫文、直文 (LR)、斜状把手沈文、弧状・沈縫 文、直縫・ケズリ・ミガキ	99-1-1

第233図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層IIb①層上面出土器（1）



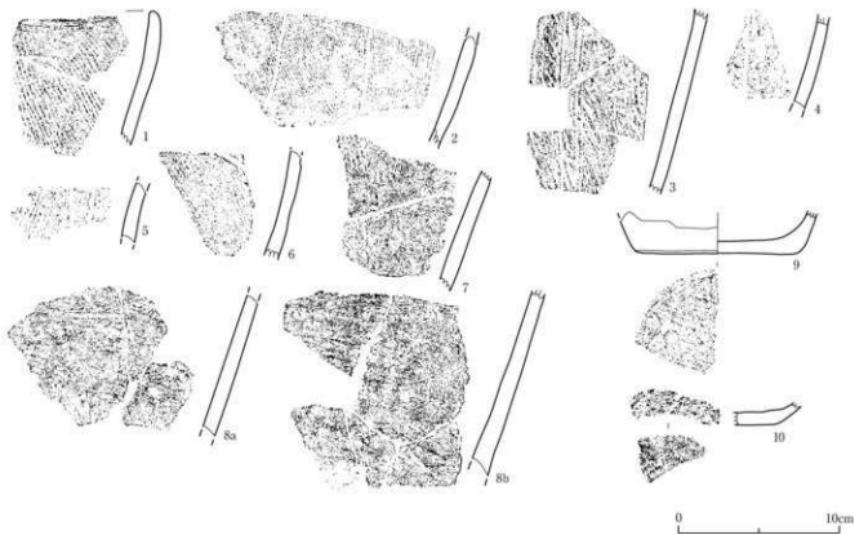
编号	出土遗物·地区·部位	器形·分组	特征	采集层位	层号	出土遗物·地区·部位	器形·分组	特征	采集层位					
1a-h	SX01③-A1区·包含层Bb①层上面·Z1→A1带·包含层Bb①层下面·Z1带中·Z1带·包含层Bb①层下面·Z1带中·Z1带·包含层Bb①层上面·B②带中	深钵·Vb1	燕乐纹(R)→梯状锯齿文·波状锯齿文(沈)文·円形竹管文	99-1-2	5 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb 燕乐纹(R)→梯状锯齿文·波状锯齿文 99-1-6	5 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb 燕乐纹(R)→梯状锯齿文·波状锯齿文 99-1-6	6 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb 燕乐纹(R)→梯状锯齿文·波状锯齿文 99-1-7	7 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb 燕乐纹(R)·波状文 99-1-8	6 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb7 燕乐(R)·波状文 99-1-9	8 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb2 燕乐文(R)·波状锯齿文·沈锯齿文 99-1-10	9 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb7 燕乐文(R)·波状锯齿文·沈锯齿文 99-1-10	10 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·Vb8 燕乐文(R)·波状文·沈锯齿文 99-1-11	11 SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面 深钵·V7 波状文(R)·波状文 99-1-12	99-1-12
2	SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面	深钵·Vb1	燕乐文(R)→梯状锯齿文·沈锯齿文	99-1-3										
3	SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面	深钵·Vb2	燕乐文(R)	99-1-4										
4	SX01③-A1~Z1带·包含层Bb①层上面	深钵·Vc1	燕乐文(R)	99-1-5										

第234図 SX01③北西側遺物包含層·A1区·包含層Bb①層上面出土器（2）



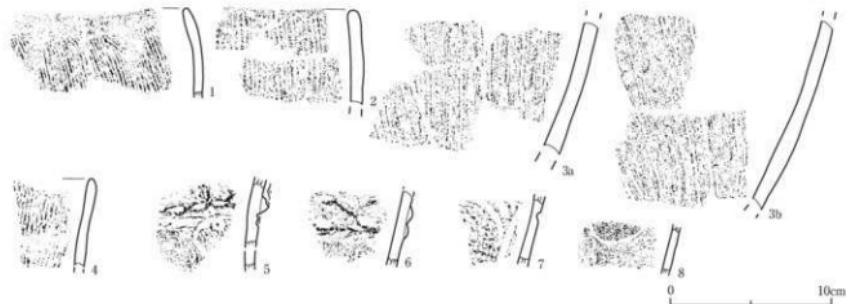
番号	出土遺構・地区・層位	絵形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	絵形・分類	特徴	写真図版
SX01③-A1区・包含層IIb①層上面・包含層IIb②層中・A1区ベルト・包含層IIb③層中・Z1-A1区・包含層IIa層下部・A1区ベルト・包含層IIa層中	深鉢・Vb1	口縁：斜状の粗底縦文、渦巻文/波線文、然木文 (R) → 穗垂文/波線文、円形竹管文	100-1-1 3a-d	SX01③-A1区・包含層IIb②層上面・包含層IIb③層中・A2区・包含層IIa層中	深鉢・Vb	然木文 (R) → 穗垂文/波線文	100-1-3		
SX01③-A1-Z1区・包含層IIb①層上面・A1区・包含層IIb②層上面・IIa層中・Z1区・包含層IIb③層中・A1区ベルト・包含層IIa層下部・A1区ベルト・包含層IIa層上面	深鉢・Vb1	然木文 (R) → 穗垂文・波状底縦文/波線文	100-1-2						

第235図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層IIb①層上面出土土器 (3)



第236図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層Ⅱb①層中出土土器  
Table 1: Inventory of pottery from SX01③ North-West Side Relic Layer - A1 Area - Layer IIb①.

	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01③・A1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・Vc2	直角文 (R)	100-2-1	7	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・V	直角文 (L) → L方寸	100-2-7
2	SX01③・A1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・Vb	直角文 (R) → 楕円文 / 楕円文	100-2-2	8a	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・V	直角文 (L) → L方寸	100-2-8
3	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・Vb	直角文 (R) → 楕円文 / 楕円文	100-2-3	8b	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・V	直角文 (R) → L方寸	100-2-9
4	SX01③・A1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・Vb	直角文 (LRL) → 楕円文 / 楕円文	100-2-4	9	SX01③・A1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・V	直角文 (R) (1本縁2本縁) 直 → L方寸	100-2-10
5	SX01③・A1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・Vb	直角文 (R) → 楕円文 / 楕円文	100-2-5	10	SX01③・A1～Z1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・V	直角文 (R) (1本縁2本縁) 直 → L方寸	100-2-10
6	SX01③・A1区・包含層Ⅱb①層中	深鉢・Vb	直角文 (R) → 楕円文 / 楕円文	100-2-6					

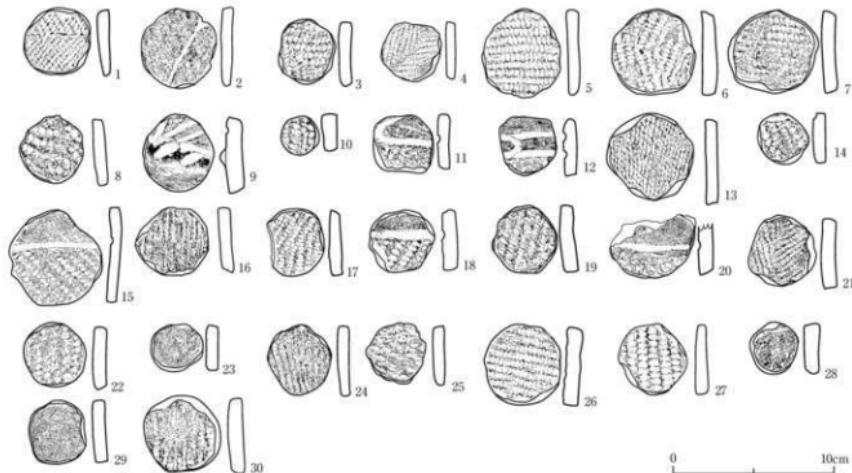


第237図 SX01③北西側遺物包含層・A1区・包含層Ⅱb②層上面出土土器  
Table 2: Inventory of pottery from SX01③ North-West Side Relic Layer - A1 Area - Layer IIb②.

	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版	番号	出土遺構・地区・層位	器形・分類	特徴	写真図版
1	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・Me	直角文 (R)	100-3-1	4	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・Me	直角文 (R)	100-3-4
2	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面 - II b②層上面	深鉢・Me	直角繩目文	100-3-2	5	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・Me	直角文 (R)、繩状隆起文、円形文 / 汎文 (R)、円形竹管文	100-3-5
3a	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面 - A1区・包含層Ⅱb①層上面、A1～Z1区・包含層Ⅱb①層上面、Z1区・ペルト・包含層Ⅱa①層下の層中	深鉢・Me	直角繩目文	100-3-3	6	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・Me	直角文 (R)、繩目文 + 斜口文、斜口文	100-3-6
3b	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面 - A2区・包含層Ⅱa①層中	深鉢・Me	直角繩目文		7	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・Mc	直角文 (R)、模状文、繩状斜突文	100-3-7
					8	SX01③・A1区・包含層Ⅱb②層上面	深鉢・Md	直角文 (R)、模状文	100-3-8

## B. 土製品

出土土製品には、円盤状土製品が30点ある。その出土状況は旧河道堆積層出土が5点、SX01①北東側遺物包含層出土が1点、SX01②南側遺物包含層出土が23点、SX01③北西側遺物包含層出土が1点である。前掲の出土土器同様に、遺物包含層の下層部に関しては概ね混入の問題はないものの、遺物包含層の上層部や旧河道堆積層あるいは水の影響を受けた遺物包含層では、再堆積による混入と見られるものも少なからず含まれている。ここでは、円盤状土製品の出土地区・層位における再堆積による混入器の状況、摩滅の状態、土器の胎土を始め、伴出土器との比較も含めて時期を推定した。その結果、概ね第I群（晩期中葉）3点、第II群（後期後葉）2点、第III群（後期中葉）1点、第V～VII群（後期前葉～初頭）17点、第VIII群（中期末葉）7点となり、大半は縄文時代中期末葉～後期前葉にかけたものと考えられる。



番号	出土遺跡・地区・層位	特徴	大きさ 重さ (g) 高さ (mm) 幅 (mm)			写真記録			
			Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅲ群				
1	旧河道	旧河道堆積層	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)、海綿状骨針	1群	15	30	101-1-1		
2	SX01②南側	旧河道堆積層	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	10	30	101-1-2		
3	SX01②南側	旧河道堆積層	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)、外表面化物付箇	1群	12	30	30	101-1-3	
4	SX01②南側	A4区	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群	11	34	35	101-1-4	
5	旧河道	SX20・AS北ベルト	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)、内面化物付箇	1群	21	53	48	101-1-5	
6	旧河道	SX23・CS北ベルト	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	30	50	52	101-1-6	
7	SX01②南側	CB	包含層2cmイカク	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	31	51	51	101-1-7
8	SX01②南側	C3北ベルト	包含層2cmイカク	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	13	40	36	101-1-8
9	SX01②南側	C4北ベルト	包含層2cmイカク	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)、中央摩滅	Ⅱ群?	20	47	43	101-1-9
10	SX01②南側	C5北	包含層2cmイカク	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)、中央摩滅	Ⅱ群?	6	25	26	101-1-10
11	SX01②南側	C5H	包含層2cmイカク	中央摩滅・平行溝、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	13	35	34	101-1-12
12	SX01②南側	C5K	包含層2cmイカク	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	19	30	30	101-1-11
13	SX01②南側	B4区	包含層2cmイカク	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	13	35	30	101-1-13
14	SX01②南側	C3K	包含層2cmイカク	周縁敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	11	30	30	101-1-14
15	SX01②南側	C3西ベルト	包含層2cmイカク	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	24	56	55	101-1-15
16	SX01②南側	Z1区	包含層2cmイカク上部	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	17	39	39	101-1-16
17	SX01②南側	Z1区	包含層2cmイカク上部	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	13	41	41	101-1-17
18	SX01②南側	B5区	包含層2cm以下	破損、周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	16	35	37	101-1-18
19	SX01②南側	C4西ベルト	包含層2cm以下	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)多量	Ⅱ群?	18	41	39	101-1-19
20	SX01②南側	C5K	包含層2cm以下	破損、周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)、浅縫文	Ⅱ群?	23	52	52	101-1-20
21	SX01②南側	BC3北ベルト	包含層2cm以上	周縁敲打・若干の研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	21	43	39	101-1-21
22	SX01②南側	C4西ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	16	36	36	101-1-22
23	SX01②南側	C5西ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	8	26	30	101-1-23
24	SX01②南側	C4西ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・ケズリ～研磨 (LR-Q段多量)	Ⅱ群?	15	44	40	101-1-24
25	SX01②南側	C5西ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	13	35	35	101-1-25
26	SX01②南側	C5K	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR, RL)	Ⅱ群?	24	49	47	101-1-26
27	SX01②南側	C3北ベルト	包含層2cm以上	中央摩滅・平行溝、周縊敲打・研磨 (LR)	Ⅱ群?	17	49	36	101-1-27
28	SX01②南側	C4西ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨 (LR)	Ⅱ群?	12	32	28	101-1-28
29	SX01②南側	C4西ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨 (LR)	Ⅱ群?	18	33	32	101-1-29
30	SX01②南側	C3北ベルト	包含層2cm以上	周縊敲打・研磨、底の広い斜面構造 (LR)	Ⅱ群?	29	47	47	101-1-30

第238図 円盤状土製品

特徴としては、周縁部に敲打痕や研磨痕が残されるのみで、とりわけ組掛けの作られたものやアスファルトの付着するものは認められなかった。また、第Ⅰ群（晩期中葉）3点中2点までが、炭化物の付着したまま製作～廃棄されている。

### C. 石器

出土石器には、剥片石器が12点、礫石器が11点ある。

#### (1) 剥片石器

剥片石器は12点のみの出土である。調査中に、剥片石器が通常の遺跡の調査に比べて極端に少ないと感じた。微小遺物採取を目的に土糞袋約200袋分の2mmメッシュによる土壤洗浄も合わせて行っている。その結果は微小剥片2点（第239図10・12）が得られたのみであった。

#### ①旧河道SX03・04堆積層・SX01①北東側遺物包含層ⅰa②層中出土石器（第239図1～4）

4点の石器が出土している。1は自然面を多く残す鉄石英の剥片である。2は凹基式の石鏃である。先端と脚部の片側が破損している。側片がややえぐれ、脚部外縁が内湾する形状をしている。黒色頁岩製である。3は珪質頁岩の石核である。4は剥片剥離の同時割れによって生じた珪質頁岩の剥片である。旧河道堆積層については再堆積の可能性もあるものの、出土層位から概ね第Ⅰ群土器期（晩期中葉）に属するものである。

#### ②SX01②南側遺物包含層ⅲa層中出土石器（第239図5～7）

5は横長剥片を素材とした珪質頁岩製の石匙である。つまみ部は素材の打面側に作出されている。剥片縁辺に湾曲した刃部が作られている。他の剥離面に比べて、刃部の2次加工面の風化の度合いには差があり、新しい。6は幅の広い剥片を素材とした珪質頁岩製の石匙である。打面残置で自然面素材の左側縁をつまみ部に加工している。剥片背面側に2次加工を施し、湾曲した刃部を形成している。7は自然面を残す幅広の鉄石英製剥片である。

SX01②南側遺物包含層ⅲa層は包含層ⅰ層（旧河道SX03堆積層）によって浸食されており、上流側と下流側とではやや様相が異なる。上流側ではⅲa層1枚のみであったが、下流側ではⅲa層は分層され、包含層ⅲa①層中までは第Ⅰ群土器期、ⅲa②層上面から下が第Ⅱ群土器期に相当する。

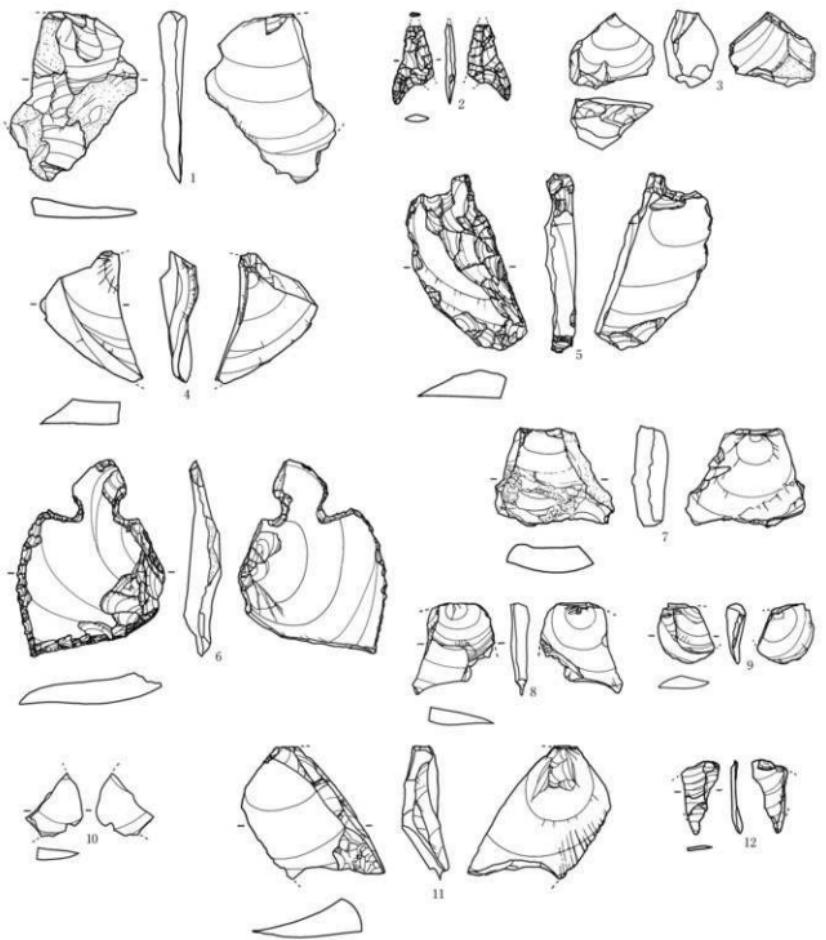
5・6の珪質頁岩製石匙は上流側のB4区・C4区の包含層ⅲa層出土であり、概ね第Ⅱ群土器期（後期後葉）に相当する。7の鉄石英製剥片はB～C2北ベルトの包含層ⅲa層の細別は行わずに取り上げており、ここでは第Ⅰ～Ⅱ群土器期（後期後葉～晩期中葉）相当とせざるを得ない。

#### ③SX01②南側遺物包含層ⅲb①層上面出土石器（第239図8）

8は末端破損・被熱によるハジケを作った黑色頁岩製剥片である。C3北ベルト包含層ⅲb①層上面出土であり、この面はC4西ベルト包含層ⅲb①層上面に続く安定した層理面であることが確認されており、第Ⅱ群土器期（後期後葉）に属するものと考えられる。

#### ④SX01③北西側遺物包含層ⅱa層下部②層中・ⅱb①層中出土石器（第239図9・10）

9は一部破損した黒曜石製剥片である。黒曜石は透明度が低く、縞模様を残すものであり、湯の倉産の可能性が考えられる。10は破損した石英製剥片である。これらは出土層位から第Ⅴ群土器



0 5cm

番号	出土遺構・地区・層位	基種・特徴	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	写真回数
1	田戸塚SX03C B3北ベルト	複種類中 石片・鉄石尖・自然面面有	5.28	4.06	0.45	10.5	101-2-1
2	田戸塚SX03 A4北ベルト	複種類 (Sec.1層) 中 石片・黒色頁岩・鉄基無蓋・先端基部被磨	2.41	1.3	0.28	0.7	101-2-2
3	SX01①北西側 A6区	包含物1±2層中 石片・旋質頁岩	2.33	26.3	1.66	7.4	101-2-3
4	SX01②南側 B4区	包含物1±2層 (田河道SX03堆積層) 上層 石片・旋質頁岩・熱ハジケ	4.50	3.98	0.82	7.3	101-2-4
5	SX01③南側 B4区	包含物2±2層中 石片・旋質頁岩	5.50	3.71	0.78	1.3	101-2-5
6	SX01③南側 C4区	包含物2±2層中 石片・旋質頁岩	6.70	4.64	0.90	2.6	101-2-6
7	SX01③南側 B-C2北ベルト	包含物2±2層中 石片・鉄石尖・底形	3.60	3.79	0.79	11.2	101-2-7
8	SX01④南側 C3北ベルト	包含物2±1層上層 石片・黒色頁岩・熱ハジケ・朱海被磨	2.85	2.57	0.47	3.0	101-2-8
9	SX01⑤北西側 A9区	包含物3±3層下部上層中 石片・黒輝石・鉄ハジケ	1.84	1.9	0.45	1.4	101-2-9
10	SX01⑤北西側 A15ベルト	包含物3±3層中 石片・石英・打削破壊	2.10	1.79	0.42	1.0	101-2-10
11	SX01⑥南側 B4区	包含物3±3層上層 石片・旋質頁岩・熱海被磨・熱ハジケ	4.10	4.95	1.60	13.8	101-2-11
12	SX01⑦南側 C4-ベルト	包含物3±3層中 石片・旋質頁岩・熱海被磨	2.31	1.14	0.19	0.2	101-2-12

第239図 剣石石器

期（後期前葉）に属するものと考えられる。

⑤SX01②南側遺物包含層3層上面出土石器（第239図11・12）

11は末端破損・被熱によるハジケを伴う珪質頁岩製剥片である。12は一部破損した珪質頁岩製剥片である。これらは出土層位から第Ⅶ群土器期（中期末葉）に属するものと考えられる。

（2）砾石器

砾石器は11点の出土である。被熱の痕跡のある砾や炭化物の付着する砾も認められたが、これらは遺物として取り上げなかった。

①旧河道SX03堆積層中・SX06壠状遺構底面出土石器（第240図1～3）

1は砂岩製磨石である。背面に自然面のくぼみが残されている。2は粘板岩製の石棒破片である。割れ口がやや摩滅している。3は壠状遺構の一部に使用されていた砂岩製擦石破片である。被熱による赤変と炭化物の付着が認められる。これらは出土層位から第Ⅰ群土器期（晚期中葉）に属するものである。

②SX01②南側遺物包含層2b①層上面出土石器（第240図4）

4は砂岩製磨面を伴う凹石である。C4西ベルト包含層2b①層上面からの出土であり、第Ⅱ群土器期（後期後葉）のものである。

③SX01②南側遺物包含層2b②層中、2b層中出土石器（第240図5・6）

5は砂岩製凹石である。全体に被熱の痕跡が残る破損品である。6は磨石である。これらは水成堆積の砂砾層中からの出土であり、再堆積の可能性なども考えられ、概ね第Ⅷ～Ⅹ群土器期（後期初頭～中葉）に属するものと考えられる。

④SX01③北側遺物包含層Ⅱa層中出土石器（第240図7）

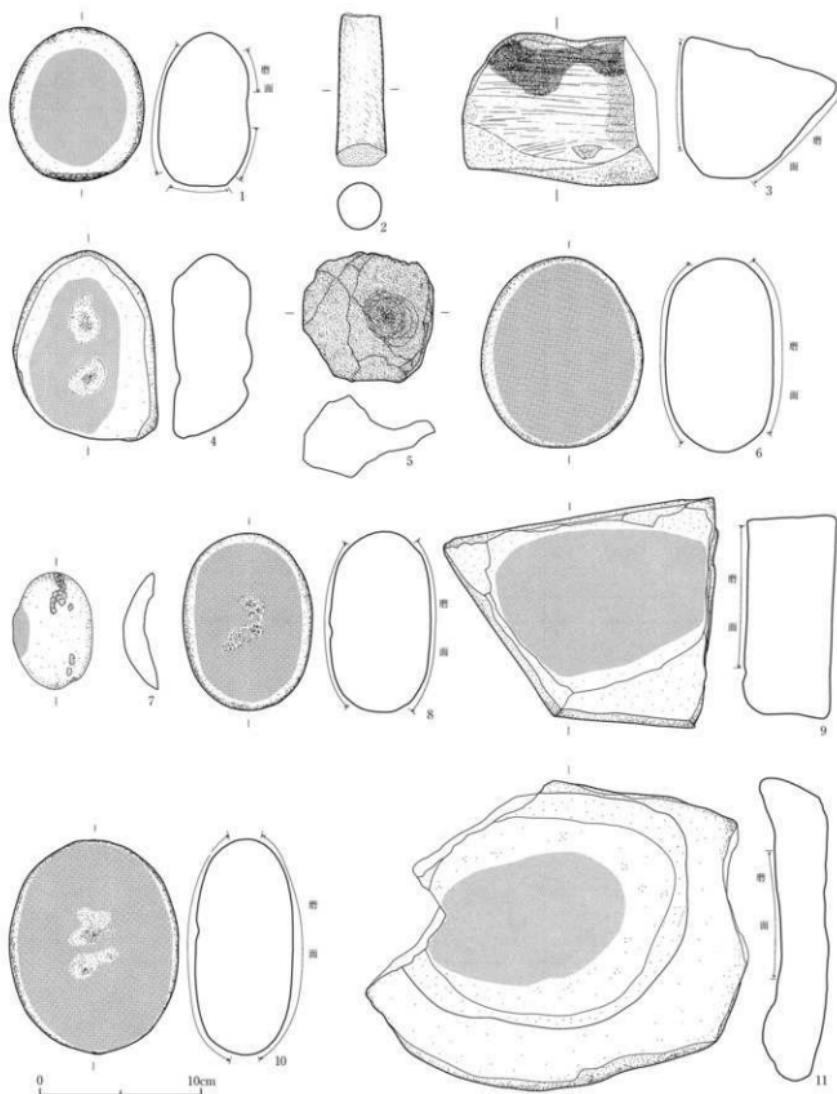
7は砂岩製磨石の破片である。側面に若干の敲打痕を伴っている。出土層位から第Ⅳ群土器期（後期前葉）に属するものである。

⑤SX01②南側遺物包含層2c層上面出土石器（第240図8・9）

8は砂岩製磨石である。片面に若干の敲打痕を伴っている。9は砂岩製の台石である。磨面を伴っている。これらは出土層位から第Ⅸ群土器期（後期初頭）に属するものである。

⑥SX01②南側遺物包含層2d層中・3層上面出土石器（第240図10・11）

10は砂岩製磨石である。片面に若干の敲打痕を伴っている。11は砂岩製の石皿である。磨面を伴い、破損している。これらは出土層位から第Ⅸ群土器期（中期末葉）に属するものである。



番号	出土遺跡・地区・層位	基材・特徴	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	写真図版	
1	田河遺跡SX03A B6E	泥灰岩層中	磨石・砂岩	9.4	8.2	5.5	636	101-3-1
2	SXD12-南側 B3E	含金層1d層(田河遺跡SX03複合層)上部	石棒・粘土岩・破壊品、含金層滅	7.9	2.9	2.9	141	101-3-2
3	SXD12-南側 B6E	底面	石棒・砂岩・被膜による赤変、炭化物付着、破壊品	11.7	9.2	9.6	1342	101-3-3
4	SXD12-南側 C4Bベルト	含金層2a1層上部	砂石・砂岩・鐵錆を伴う	11.3	8.5	4.8	639	101-3-4
5	SXD12-南側 C3Bベルト	含金層2a1層中	砂石・砂岩・鉄錆による赤み、全面に被膜、破壊品	7.8	8	5	239	101-3-5
6	SXD12-南側 C4E	含金層2a1層中	砂石・砂岩	11.7	9.9	6.7	1148	101-3-6
7	SXD12-北側 B2Bベルト See 19号(含金層2a層中)	砂石・砂岩・被膜による赤変、破壊品	7.1	4.8	1.3	59	101-3-7	
8	SXD12-南側 B3E	含金層2a1層上部	砂石・砂岩・鉄錆を伴う	11	8	6.1	819	101-3-8
9	SXD12-南側 B4E	含金層2a1層上部	台石・砂岩・鉄錆を伴う	16.3	11.7	5.3	2160	101-3-9
10	SXD12-南側 B3Dベルト	含金層2a1層中	砂石・砂岩・被膜による赤打痕を伴う	13	10.4	5.9	1184	101-3-10
11	SXD12-南側 B4E	含金層2a1層上部	石臼・砂岩・破壊品	22.9	18.6	3.7	2380	101-3-11

第240図 磚石器

## D. 木製品

出土木製品には、カゴ1点、杭1点、截断面のある材1点がある。

### (1) カゴ (巻頭写真1-2・写真図版102-1-1)

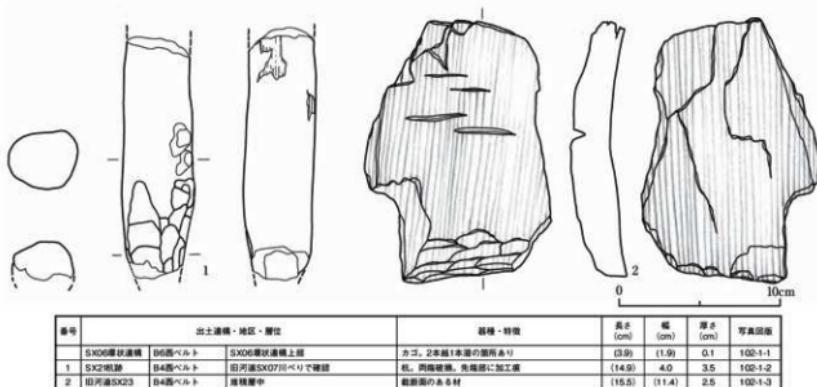
SX06壇状遺構の上部堆積層の掘り下げ中に、多くのトチノキ種子とともに出土した。確認時点からすでにカゴの編みは一部解けた断片の状態であった。東北歴史博物館との協議の結果、土ごと固定することになり、バイナー濃度を少しづつ高めながら取り上げた。結局、かろうじて取り上げることができたのは3.9×1.9cm、2.2×1.5cmのふたつの部分のみであった。2本単位で1本越2本潜の編み方になっている。SX06壇状遺構は旧河道SX03A底面において検出されており、第Ⅰ群土器期（晚期中葉）のものである。

### (2) 杭 (第241図1)

旧河道SX07の川べりで確認されたSX21杭跡である。現存長で14.9cmある。径4.0×3.5cmの丸材の先端部分に加工を施して杭としたものである。両端部分ともに欠損している。旧河道SX07は第Ⅱ群土器期（後期後葉）に相当しており、概ねこの時期に属するものと考えられる。

### (3) 截断面のある材 (第241図2)

旧河道SX23堆積層から出土した柵目取りされた材である。現存長15.5cm、現存幅11.4cm、厚さ2.5cmである。柵目の方向で材が割られ、さらに長軸方向の一端を截断したものである。旧河道SX23は第Ⅱ群土器期（後期後葉）に相当しており、概ねこの時期に属するものと考えられる。



第241図 木製品

## E. 自然遺物

自然遺物には動物遺存体と植物遺体がある。

### (1) 動物遺存体

動物遺存体には、動物の骨類があり、旧河道堆積層及び遺物包含層から出土した。旧河道堆積層出土のものは多くは被熱の痕跡のないもので、種別や部位の特定可能なものが含まれていた。遺物包含層出土の骨類の多くは炭化や白色化など被熱の痕跡のある小片がほとんどを占め、種別や部位の特

定は若干を除いてほぼできなかった。焼骨は獸骨・鳥骨からなり、魚骨は確認できなかった。

①旧河道SX03堆積層中・SX06壙状遺構堆積層中出土動物遺存体（写真図版102-2-1~9）

旧河道SX03堆積層とその底面で確認されたSX06壙状遺構の堆積層中から確認された動物遺存体である。すべてシカ（ニホンジカ）である。カットマークの残された資料もある。全体にスパイク割れしたものが多い。第Ⅰ群土器期（晩期中葉）に相当する。

②旧河道SX04堆積層中・SX05壙状遺構堆積層中出土動物遺存体（写真図版102-2-10~12）

旧河道SX04堆積層とその底面で確認されたSX05壙状遺構の堆積層中から確認された動物遺存体である。すべてシカ（ニホンジカ）である。第Ⅰ群土器期（晩期中葉）に相当する。

③SX01②南側遺物包含層2a層中出土動物遺存体（写真図版102-2-13~15）

13は包含層2a①層中出土のイノシシである。14・15は被熱の痕跡があるイノシシ・シカの上顎骨である。包含層2a①層は第Ⅰ群土器期（晩期中葉）、包含層2a層は第Ⅰ～Ⅱ類土器期（後期末葉～晩期中葉）に相当する。

④旧河道SX26堆積層中出土動物遺存体（写真図版102-2-16）

16はシカの中足骨である。旧河道SX26堆積層は概ね第Ⅱ群土器期（後期末葉）に相当する。

⑤SX01②南側遺物包含層2b①層中出土動物遺存体（写真図版102-2-17・18）

SX01②南側遺物包含層2b①層は砂質シルト層である。シカとイノシシの骨が出土している。うち、イノシシの末節骨は被熱により白色化・一部炭化している。水の影響を受けた層であり、概ね第Ⅵ～Ⅲ群土器期（後期初頭～中葉）に相当する。

⑥SX01②南側遺物包含層2b<sup>’</sup>層中出土動物遺存体（写真図版102-2-19）

SX01②南側遺物包含層2b<sup>’</sup>層中から任意で採取した獸骨・鳥骨である。概ね2cm以下の焼骨片である。骨は被熱により白色化・炭化し、細かな亀裂が走っている。いずれも種別や部位の特定はできなかった。第Ⅶ群土器（後期初頭）に相当する。

⑦SX01②南側遺物包含層2b<sup>’</sup>層中出土鳥骨（写真図版102-2-20）

SX01②南側遺物包含層2b<sup>’</sup>層中出土の焼けた鳥骨である。第Ⅶ群土器（後期初頭）に相当する。

番号	出土場所・地区・層位	特徴	写真図版
1	旧河道SX03 A4B6	堆積層中 シカ、角、最大長12.9cm、幅4.8cm	102-3-1
2	旧河道SX03 A4B6	堆積層中 シカ、中足骨、脊骨、スパイク割れ、細胞（カットマーク？）、最大長9.3cm、最大幅3.9cm、厚さ5mm	102-3-2
3	旧河道SX03 B3-C2ベルト	堆積層中 シカ、腰骨、左、遠位端、脊椎部、最大長6.3cm、幅5.2cm	102-3-3
4	旧河道SX03 B3B5-B6	堆積層中 シカ、下顎骨右2、左、遠位端、脊椎部、最大長1.9cm、幅0.8cm、やや變滅	102-3-4
5	旧河道SX03 A4B6	堆積層中 シカ、椎骨下骨2、左、最大長2.4cm、幅1.9cm、やや變滅	102-3-5
6	旧河道SX03	堆積層中 シカ、上顎骨、左、遠位端、スパイク割れ、カットマーク、最大長8.1cm、幅4.3cm	102-3-6
7	旧河道SX03 B3B5	堆積層中 シカ、腰骨、左、遠位端、最大長3.2cm、幅2.8cm	102-3-7
8	旧河道SX03 B4B5	堆積層中 シカ、中足骨、右、遠位端、最大長5.0cm、幅3.1cm	102-3-8
9	SX06量比較標 D4B6	堆積層中 シカ、椎骨下骨2、遠位端、最大長7.3cm、最大幅4.3cm、やや變滅	102-3-9
10	旧河道SX04 B3-C2ベルト	堆積層下部 シカ、中手骨、左、遠位端、スパイク割れ、最大長7cm、幅3.4cm	102-3-10
11	SX05量比較標 A4B5	堆積層中 シカ、中手骨、右、遠位端、スパイク割れ、最大長7cm、幅2.9cm、やや變滅	102-3-11
12	SX06量比較標 A4B5	堆積層中 シカ、基節骨、左2枚、遠位端斜め斜め、最大長4.8cm、幅2.1cm、やや變滅	102-3-12
13	SX01-2-南 B2-C2北ベルト	苔含層2a <sup>’</sup> 層中 イノシシ、尺骨、右、遠位切歯部附近、最大長3.5cm、最大幅2.8cm、やや變滅	102-3-13
14	SX01-2-南 C3B5	苔含層2a <sup>’</sup> 層中 イノシシ、上顎骨M1、左、右、最大長1.8cm、最大幅1.5cm、骨質のひびき、骨骼による変化	102-3-14
15	SX01-2-南 C4B5	苔含層2a <sup>’</sup> 層中 シカ、上顎骨M3、左、右、最大長2.0cm、最大幅1.8cm、骨質のひびきによる変化	102-3-15
16	旧河道SX26 B4B6ベルト	堆積層（Sec.層）中 シカ、中足骨、右、近位端、最大長6.6cm、幅2.2cm	102-3-16
17	SX01-2-南 C3B5	苔含層2a <sup>’</sup> 層中 シカ、腰骨、右、左、最大長1.8cm、幅1.5cm、厚さ5mm	102-3-17
18	SX01-2-南 C3B5	苔含層2b <sup>’</sup> 層中 イノシシ、股骨、右、最大長2.5cm、幅1.4cm、被熱による白色化・一箇所変化	102-3-18

第1表 山居遺跡旧河道堆積層・遺物包含層出土動物遺存体

## (2) 植物遺体

吉川昌信・吉川純子(古代の森研究会)

相原淳一(宮城県教育委員会)

出土した植物遺体には、大型植物化石群と花粉化石群、土器胎土中に含まれる種子・種実痕、土器に付着する炭化物がある。化石としての種や部位の自然科学的な同定とともに、出土状況の検討をはじめ種実の敲打痕の検討など、遺跡や遺構、遺物としての検討もまた欠かせない。ここでは、古代の森研究会の自然科学的な分析をベースに、共同で報告する。

### I. 土器付着炭化物の放射性炭素年代測定

放射性炭素年代測定は、ISK-1、ISK-3~7の6試料について行った。試料は、縄文時代中期後葉から晩期の土器に付着した炭化物である。このうちISK-6が土器外側、それ以外の試料は土器内付着炭化物である(第242図)。試料の前処理は、酸-アルカリ-酸洗浄を行い、加速器質量分析法(AMS法)により測定した。

放射性炭素年代測定結果を第2表に、炭素年代から歴年への較正図を第243図に示す。縄文中期後葉から晩期の土器に付着した炭化物試料の放射性炭素年代測定を行った結果、ISK-7(SX01②包3b層上面土器)  $4180 \pm 40$  y BP (4820, 4750, 4720 cal BP)、ISK-1(SX01②包3a層上面土器)  $4050 \pm 40$  y BP (4520 cal BP)、ISK-4(SX01②包2c層中土器)  $3820 \pm 40$  y BP (4230 cal BP)、ISK-3(SX01③包IIa層中土器)  $3660 \pm 40$  y BP (3980 cal BP)、ISK-5(SX06A底面土器)  $2510 \pm 40$  y BP (2720 cal BP)、ISK-6(SX05底面土器)  $2480 \pm 40$  y BP (2710, 2630, 2500 cal BP)であった。

発掘調査で確認された層序との関係においては、SX01②南側遺物包含層3b層上面 (ISK-7) → SX01②南側遺物包含層3a層上面 (ISK-1) → SX01②南側遺物包含層2c層中 (ISK-4) → SX01③北西側遺物包含層IIa層中 (ISK-3) → SX05壇状遺構(旧河道SX04内)底面 (ISK-6) → SX06壇状遺構(旧河道SX03内)底面 (ISK-5)となり、未補正<sup>14</sup>C年代では全く矛盾がないが、補正年代ではISK-6とISK-5との新旧関係が誤差の範囲内ながら逆転している。

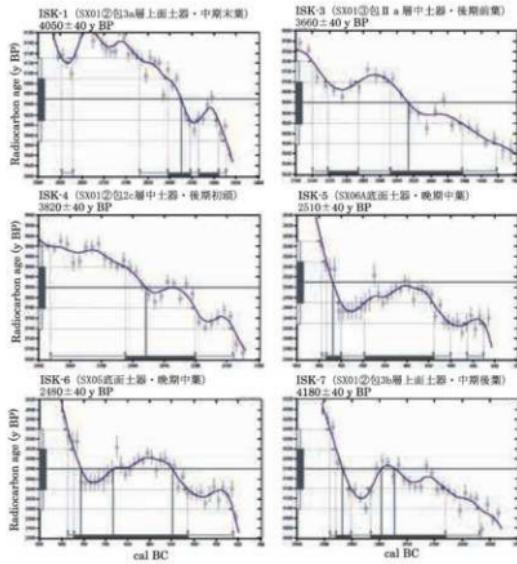
第2表 山居遺跡試料の加速器質量分析法による放射性炭素年代測定結果

No.	試料	未補正 <sup>14</sup> C年代 <sup>a</sup> y BP	<sup>14</sup> C permil	<sup>14</sup> C年代 <sup>b</sup> y BP	想定年代 <sup>c</sup> ( <sup>d</sup> ± <sup>e</sup> ) y BP	測定年 (-) ± % 偏差	測定番号
ISK-4	土器内付着炭化物 (第2群IIa層・縄文中期後葉)	$4180 \pm 40$	-38.2	$4050 \pm 40$	cal BC 2580 ± 40 BP	4330	Beta-219640
	SX01②南側遺物包含層 C(内)→B(外)→A(含3a層上面)				cal BC 2850 - 3630 (2 σ, 95%)		
					cal BC 2670 - 3470 (2 σ, 95%)		
					cal BC 2700 - 3500 (1 σ, 68%)		
					cal BC 2540 - 3300 (1 σ, 68%)		
ISK-3	土器内付着炭化物 (第2群IIa層・縄文中期後葉)	$3650 \pm 40$	-34.5	$3660 \pm 40$	cal BC 2030 ± 40 BP	2980	Beta-219642
	SX01③北西側遺物包含層 B(内)→C(外)→A(含IIa層中 (Sec.19解中))				cal BC 2140 - 3030 (2 σ, 95%)		
					cal BC 2120 - 2990 (1 σ, 68%)		
					cal BC 2050 - 2960 (1 σ, 68%)		
ISK-4	土器内付着炭化物 (第2群IIa層・縄文中期後葉)	$3870 \pm 40$	-37.8	$3820 \pm 40$	cal BC 2280 ± 40 BP	4230	Beta-219643
	SX01②南側遺物包含層 C(内)→B(外)→A(含3b層上面)				cal BC 2430 - 3180 (2 σ, 95%)		
					cal BC 2310 - 3080 (1 σ, 68%)		
ISK-5	土器内付着炭化物 (第1群IIa層・縄文中期中葉) 旧河道SX03内 SX06CSX06A壇状遺構底面	$2470 \pm 40$	-22.6	$2539 \pm 40$	cal BC 770 ± 40 BP	2739	Beta-219644
					cal BC 790 - 500 (2 σ, 95%)		
					cal BC 460 - 430 (1 σ, 68%)		
					cal BC 780 - 750 (1 σ, 68%)		
					cal BC 700 - 540 (1 σ, 68%)		
ISK-6	土器外側付着炭化物 (第1群IIa層・縄文中期中葉) 旧河道SX03内 A(含CSX06A壇状遺構底面)	$2480 \pm 40$	-35.3	$2480 \pm 40$	cal BC 2870 ± 40 BP	4680	Beta-219645
					cal BC 2710 ± 40 BP	4550	
					cal BC 2770 - 450 (2 σ, 95%)		
					cal BC 2790 - 520 (1 σ, 68%)		
ISK-7	土器内付着炭化物 (第3群IIa層・縄文中期中葉) SX01③北側遺物包含層 B(内)→C(外)→A(含3a層上面)	$4200 \pm 40$	-36.1	$4180 \pm 40$	cal BC 2870 ± 40 BP	2800	Beta-220719
					cal BC 4520 ± 40 BP	4730	
					cal BC 2860 - 3630 (2 σ, 95%)		
					cal BC 2880 - 3590 (1 σ, 68%)		

近年、AMS法による土器付着炭化物の年代測定データが充実する中で、小林ほか（2003）が縄文時代中期と後期の境を2470calBCとした見解とも矛盾しない。一方、晩期中葉では岩手県の資料が検討され、大洞C2式が較正年代で900calBC～780calBC（小林 2006）とされ、今回のISK-5、-6の770calBC、760calBCは、測定誤差の範囲を考えると、ちょうど大洞C2式と大洞A式の境界域の年代と考えられよう。



第242図 年代測定を行った土器付着炭化物の状況（スケール=1cm）



第243図 放射性炭素年代から暦年代への較正

- \* 1 未補正  $^{14}\text{C}$ 年代 (yBP)。（同位体分別未補正）：試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在（西暦1950年）から何年前 (BP) かを計算した年代。半減期としてはLibbyの5568年を用いた。
  - \* 2  $\delta^{14}\text{C}$  (permil)：試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比。この安定同位体比は、下式のように標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差（‰）で表現する。
- $$\delta^{14}\text{C} \text{ } (\text{\%}) = \frac{(^{14}\text{C}/^{12}\text{C}) \text{ [試料]} - (^{14}\text{C}/^{12}\text{C}) \text{ [標準]}}{(^{14}\text{C}/^{12}\text{C}) \text{ [標準]}} \times 1000$$
- (ここで $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$  [標準] = 0.0112372)
- \* 3  $^{14}\text{C}$ 年代 (yBP)。（同位体分別補正）：試料の炭素安定同位体比 ( $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ ) を測定して、試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。試料の $^{14}\text{C}$ 値を-25 (‰) に基準化することによって得られる年代値で、暦年代を得る際にはこの年代をもついている。
  - \* 4 暦年代：過去の宇宙線強度の変動による大気中 $^{14}\text{C}$ 濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。それは年代既知の樹木年輪の $^{14}\text{C}$ の測定、サンゴのU-Th年代と $^{14}\text{C}$ 年代の比較により補正曲線を作成し、暦年代を算出する。

## II. 花粉化石群と大型植物化石群

### 1. はじめに

本遺跡では縄文時代中期後葉から晩期中葉の土器とともに、植物遺体を多く含む遺物包含層や旧河道堆積層が確認された。この付近では、この時期の発掘調査が少ないため当時の植生や生業に関する資料は乏しい。こうしたことから、山居遺跡周辺の植生と生業を明らかにすることを目的に、花粉化石群と大型植物化石群の調査を行った。

分析試料（第3表・写真図版103）は、山居沢の出口部分のI区から採取されたSX01②南側遺物包含層3a層上部（No. 2）と同3層中（No. 1）、同2c層中（No. 3）、同2a層（C3西ベルト）（No. 5）、SX01③北西側遺物包含層Ⅱa層中（No. 4）、旧河道内堆積物の砂層（No. 6）・15①層（No. 8）・15②層（No. 7）とSX06堰状遺構内堆積物（No. 9）、及び現地で取り上げた種実である。

採取試料の年代に関しては、同層中に含まれる土器によって決定される。遺物包含層・旧河道堆積層ともにその出土土器から、各層の形成時期は概ね明らかになってはいるものの、より確度の高い年代決定するために、植物遺体分析試料とともに採取した土壤中に含まれる土器小片に関する調査も合わせて行っている。

試料	採取日	採取地区	遺構・層名	採取量(1)	備考
No.1	20050725	B2～C2北ベルト	SX01②南側遺物包含層3a層中	約20	黒褐色△砂質粘土質シルト、土器小片23点を含む
No.2	20050725	B2～C2北ベルト	SX01②南側遺物包含層3a層上部	約20	褐灰色シルト質粗一綾紋砂、土器小片15点を含む
No.3	20050711	C5西ベルト	SX01②南側遺物包含層2c層中	約5	黒色有機質砂質シルト、土器小片44点を含む
No.4	20050706	A1区	SX01③北西側遺物包含層Ⅱa層中	約20	黒色有機質粘土質シルト、土器小片47点を含む
No.5	20050711	C3西ベルト	SX01②南側遺物包含層2a層中	約10	黒色有機質砂質粘土質シルト、土器小片27点を含む
No.6	20050720	B5西ベルト	旧河道SX03砂質堆積層	約5	灰色シルト質中～粗粒砂、土器小片3点を含む
No.7	20050802	B4～5西ベルト	旧河道SX07堆積層(Sec.15②層) 中	約10	黒褐色有機質シルト質細粒砂、土器小片2点を含む
No.8	20050720	B4西ベルト	旧河道SX07堆積層(Sec.15①層) 中	約3	黒褐色シルト質細粒砂、土器小片1点を含む
No.9	20050729	B6区	SX06堰状遺構内堆積層中	約3	灰色中粒砂質シルト

(\*土色は採取後約1年経過時点の色調。調査時の色調は各土層断面図参照。以下、同じ)

第3表 山居遺跡植物遺存試料採取データ

①試料No.1 土壌洗浄により、23点の土器小片が得られた。1は縦走燃系文、2は縦位斜行縄文、3は無文帯の両側に2本の沈線文が施されている。他の調査地点同様、第IX群土器期の縄文時代中期末葉である。

②試料No.2 土壌洗浄により、土器小片15点が得られた。4は口縁部に幅の広い無文帯を設けたものである。他の調査地点同様、第VII群土器期の縄文時代中期末葉である。

③試料No.3 土壌洗浄により、土器小片44点が得られた。5は後期初頭に特徴的なLRr縄文である。7は第70図1の包含層3a層上面土器と同一個体であり、一部再堆積によると見られるものが含まれている。他の調査地点同様、第VII群土器期の縄文時代後期初頭である。

④試料No.4 土壌洗浄により、土器小片47点が得られた。11は口縁部に連続して斜位の短沈線文が施され、12～14は懸垂文が施されている。13は第229図14と同一個体であり、第V群土器の再堆積

と見られる土器が含まれているが、概ね他の調査地点同様、第Ⅳ群土器期の縄文時代後期前葉である。

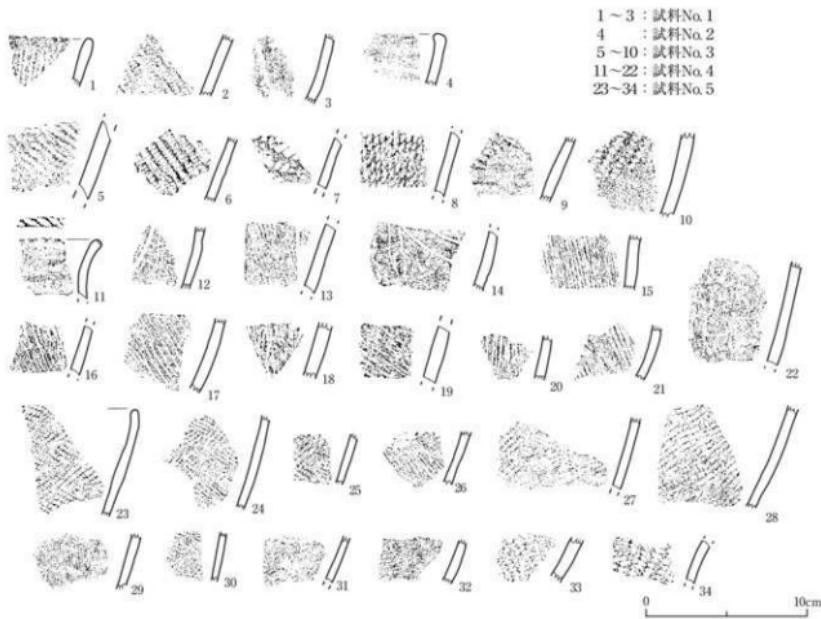
⑤試料No. 5 土壌洗浄により、土器小片27点が得られた。23~25は幅の短い羽状縄文が施されている。26はやや幅狭い羽状縄文ながら、胎土には海绵状骨針が含まれている。29は擬縄文が施されている。試料No. 5の年代は第Ⅰ~Ⅱ群土器期（縄文時代後期後葉～晩期中葉）と考えられる。

⑥試料No. 6 土壌洗浄により、土器小片3点が得られた。図化できるものはない。他の発掘調査所見から、第Ⅰ群土器期の縄文時代晚期中葉のものである。

⑦試料No. 7 土壌洗浄により、土器小片2点が得られた。図化できるものはない。他の発掘調査所見から、第Ⅱ群土器期の縄文時代後期後葉のものである。

⑧試料No. 8 土壌洗浄により、土器小片1点が得られた。図化できるものはない。他の発掘調査所見から、第Ⅱ群土器期の縄文時代後期後葉のものである。

⑨試料No. 9 土壌洗浄により得られた土器片はない。他の発掘調査所見から第Ⅰ群土器期の縄文時代晚期中葉のものである。



第244図 採取試料中の土器小片

## 2. 試料と分析方法

### 1) 花粉化石群

花粉化石群の調査は、下位よりSX01②南側遺物包含層3a層中（No. 1）、2c層（No. 3）、旧河道SX07堆積層15②層（No. 7）・15①層（No. 8）、SX01②南側遺物包含層C3西ベルト2a層（No. 5）の5層準で行った。花粉化石の抽出は、試料約2gを秤量し体積を測定後、10%KOH（湯煎約15分）処理後に、傾斜法により粗粒砂を取り除き、48%HF（約15分）、重液分離（比重2.15の臭化亜鉛）、アセトリシス処理（濃硫酸1：無水酢酸9の混液で湯煎5分）の順に処理を行った。15②層については植物遺体が多いため、傾斜法の後に250μmの篩で篩分を行った。プレバラート作製は、残渣を適量に希釈しタッヂミキサーで十分搅拌後、マイクロビペットで取りグリセリンで封入した。また、堆積物の性質を調べるために、花粉分析層準において有機物量、泥分（シルト以下の細粒成分）、砂分量、及び生業の指標となる微粒炭量について調査した。有機物量については強熱減量を測定した。強熱減量は、電気マッフル炉により750°Cで3時間強熱し、強熱による減量を乾燥重量百分率で算出した。微粒炭量は、デジタルカメラでプレバラートの顕微鏡画像を取り込み、画像解析ソフトのImageJで微粒炭の水平投影面の積算面積を測定した。

### 2) 大型植物化石群

分析試料は、縄文時代中期末葉のSX01②遺物包含層3a層中（No. 1）と3a層上部（No. 2）、後期初頭のSX01②遺物包含層2c層中（No. 3）、後期後葉の旧河道SX07堆積層15②層中（No. 7）・15①層中（No. 8）、晚期中葉の旧河道SX03堆積層（砂層）（No. 6）、旧河道SX03流路内に位置しカゴを出土したSX06堰状遺構内堆積層（No. 9）、及び発掘調査担当者によりあらかじめ水洗選別されたSX01②遺物包含層2a層（C3西ベルト）と現地取り上げ資料（試料）である。

堆積物試料は0.5mm目の篩で水洗後、残渣から肉眼および実体顕微鏡で同定可能な植物部位を選別し同定した。利用された痕跡のある果実種子については、破片の大きさがまちまちであるため、個数以外に目安として乾重を表中に示した。同定計数の終了した炭化種子は乾燥させ、炭化していない種子は60%アルコールで液浸標本とし、宮城県教育庁文化財保護課で保管している。

## 3. 結 果

### 1) 花粉化石群（写真図版104）

分析試料の堆積物の全体的な特徴は、主に中粒～細粒砂が26～49%と多く占め（第4表）、何らかの形で水の影響を受けた環境で形成されたことがわかる。特に旧河道SX07堆積層15①層・15②層では中粒～細粒砂が50%近くを占めている。一方、SX01②遺物包含層2a層・2c層は中粒～細粒砂が26%台に留まっており、旧河道堆積層の約半分と明らかな違いが認められる。また発掘調査では、水の影響を受けた遺物包含層として認識していたSX01②遺物包含層3a層はSX01②遺物包含層2a層・2c層と異なり、中粒～細粒砂が33%とやや砂質になっていることが数字の上でも明らかとなった。

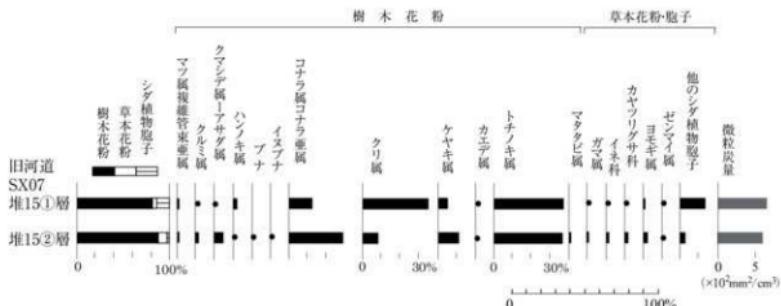
有機物量ではSX01②南側遺物包含層2c層36.9%、旧河道SX07堆積層15②層32.3%、包含層2a層

27.3%、包含層3a層15.7%、堆積層15①層12.2%の順となった。旧河道堆積層はほとんどの場合、砂層と未分解植物質を含む有機質層の互層状となっており、旧河道SX07堆積層15①層が砂層、15②層が有機質層に相当する。旧河道SX07堆積層15②層は河道内堆積物で有機物量も多いことから、植物遺体が掃き溜めた後に集積したことが考えられる。旧河道の有機質層以上に有機物が含まれるSX01②南側遺物包含層2c層でトチノキ種子の破片が多く含まれることからも明らかのように、有機物の人为的な廃棄などに起因する可能性が高い。SX01②南側遺物包含層3a層では、水の影響を受けた粘土質層となっており、出土土器の器面も全般に荒れたものとなっている。有機物量が旧河道の砂質層並みの15.7%にまで低下しているのは、有機物が水の影響によりほとんど流出してしまった結果と考えられる。

第4表 山居遺跡の花粉分析試料の堆積物の特性

No.	層位	時期	堆積物の特徴	堆積物の性質(重量%)		
				砂	泥	強熱減量 (有機物量)
5	包2a層中(C3西ベルト)	繩文後期後葉～晩期中葉	黒色有機質砂質粘土質シルト、10-20mmの混じる	26.1	46.6	27.3
8	堆15①層(SX07)	繩文後期後葉	黒褐色シルト質細粒砂	48.0	39.8	12.2
7	堆15②層(SX07)	繩文後期後葉	黒褐色有機質シルト質細粒砂、5mm前後の混じる トチノキ種子破片など植物遺体多く含む	49.2	18.5	32.3
3	包2c層中	繩文後期初頭	黒色有機質砂質シルト、植物遺体多く含む	26.9	36.2	36.9
1	包3a層中	繩文中期末葉	黒褐色砂質粘土質シルト、10mm前後の混じる	33.4	50.9	15.7

出現した分類群のリストとその個数を第5表に、主要花粉分布図を第245図に示す。出現率は、樹木は樹木花粉、草本・胞子は花粉胞子数を基数として百分率で算出した。なお、図版に示したAFR、MY番号は単体標本の番号を示し、これら標本は古代の森研究室に保管している。



(出現率は、樹木は樹木花粉数、草本・胞子は花粉胞子数を基数として百分率で算出した)  
第245図 山居遺跡の繩文時代晩期層の花粉分布図

SX01②南側遺物包含層では花粉は稀であったが、旧河道SX07堆積層からは樹木花粉が普通に産出した。すなわち、樹木花粉は繩文中期末葉のSX01②南側遺物包含層3a層と繩文後期初頭のSX01②南側遺物包含層2c層では2-4個と稀である。繩文後期末葉～晩期中葉のSX01②南側遺物包含層2a層では樹木花粉が20個と少ないが、コナラ亞属、クリ属、トチノキ属などが産出し、1個体ではあるがウ

ルシが検出された。これらのSX01②南側遺物包含層に関わる試料では、概して花粉の保存状態も悪い。

一方、縄文時代後期後葉の旧河道SX07堆積層15①層・15②層では、花粉の保存状態は良好で、トチノキ属が37-38%と高率に占め、クリ属、コナラ亜属を比較的高率に、ケヤキ属、クマシデ属-アサダ属、クルミ属、カエデ属などの落葉広葉樹を伴う。クリ属は堆積層15②層(有機質層)では8.3%であるが、堆積層15①層(砂層)で35.6%と高率に占める。草本花粉は稀であるが、堆積層15①層でシダ植物胞子が比較的多く産出する。

第5表 山居遺跡の花粉分析結果一覧表

和名	学名	旧河道SX07 堆積層15①層15②層				SX01②南側遺物包含層 15a 15c 15d
		堆積層15①層15②層	15a	15c	15d	
<b>樹木</b>						
マツ属	<i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxylon</i>	3	3	-	-	-
マツ属(不明)	<i>Pinus</i> (Unknown)	1	1	-	-	-
スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.fili) D.Don	-	1	-	-	-
ヒノキ型	<i>Chamaecyparis</i> type	2	-	-	-	-
ヤナギ属	<i>Salix</i>	1	-	-	-	-
クルミ属	<i>Juglans</i>	2	4	-	-	-
クマシデ属-アサダ属	<i>Carpinus</i> · <i>Ostrya</i>	1	10	1	-	-
カバノキ属	<i>Betula</i>	1	1	-	-	-
ハンノキ属	<i>Alnus</i>	5	1	4	1	-
ブナ	<i>Fagus crenata</i> Blume	-	1	-	-	-
イスズキ	<i>Fagus japonica</i> Maxim.	-	1	-	-	-
コナラ属コナラ亜属	<i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i>	28	60	3	-	-
クリ属	<i>Castanea</i>	80	17	2	2	2
シノノキ属	<i>Castanopsis</i>	1	-	-	-	-
ニレ属	<i>Ulmus</i>	-	1	-	-	-
ケヤキ属	<i>Zelkova</i>	12	22	3	-	-
ウルシ	<i>Rhus verniciflua</i> Stokes	-	-	1	-	-
ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>roxburghii</i> (D.C.)	-	1	-	-	-
カエデ属	<i>Acer</i>	2	1	-	-	-
トチノキ属	<i>Aesculus</i>	84	76	6	1	-
マタタビ属	<i>Actinidia</i>	-	2	-	-	-
ウコギ科	Araliaceae	1	1	-	-	-
ミズキ属	<i>Cornus</i>	1	-	-	-	-
トネリコ属	<i>Prunus</i>	-	2	-	-	-
<b>草本</b>						
ガマ属	<i>Typha</i>	1	3	-	-	-
イネ科	Gramineae	2	4	1	-	-
カヤツリグサ科	Cyperaceae	1	5	-	-	-
クワ科	Moraceae	-	2	-	-	-
アカザ科-ヒユ科	Chenopodiacee-Amaranthaceae	1	-	-	-	-
カラマツソウ属	<i>Thalictrum</i>	-	1	-	-	-
バラ科	Rosaceae	-	1	-	-	-
セリ科	Umbelliferae	-	-	2	-	-
ヨモギ属	<i>Artemisia</i>	3	5	1	-	-
タンボポ科	Liguliflorae	-	-	3	-	-
<b>シダ植物</b>						
ゼンマイ属	<i>Osmunda</i>	2	1	-	-	-
他のシダ植物胞子	other Pteridophyta	37	6	7	-	10
他のパリノモルフ						
鞭虫卵	<i>Trichuris</i>	1	-	-	-	-
樹木花粉数	Arboreal pollen	225	206	20	4	2
草本花粉数	Nonarboreal pollen	8	21	7	0	0
シダ植物胞子数	Fern spores	39	7	7	0	10
花粉-胞子数	Pollen and Spores	272	234	34	4	12
不明花粉	Unknown pollen	9	9	7	0	0
樹木花粉量(粒数/cm <sup>3</sup> )		2600	3973	279	169	42
微粒炭量(mm <sup>2</sup> /cm <sup>3</sup> )		670	608	1585	3147	1054

微粒炭は木炭片と炭化した種実や葉からなり、その量では遺物包含層と旧河道堆積層とでは明確な違いが認められた。すなわち、SX01②南側遺物包含層2a層（縄文後期後葉～晩期中葉）・2c層（縄文後期初頭）・3a層（縄文中期末葉）では1054～3147mm<sup>3</sup>/cm<sup>3</sup>と多く含まれ、特に包含層2c層には3147mm<sup>3</sup>/cm<sup>3</sup>と夥しい量が含まれている。後期後葉の旧河道SX07堆積層15①層・15②層では、608～670mm<sup>3</sup>/cm<sup>3</sup>と多く含まれてはいるものの、遺物包含層よりはるかに少ない微粒炭量となっている。特には同時期と見られるSX01②南側遺物包含層2a層（縄文後期後葉～晩期中葉）と比較した場合でも、約60%少ない微粒炭量となっている。こうした微粒炭量における遺物包含層と旧河道堆積層との違いは、遺物包含層には人為的に廢棄された豊富な炭化物が含まれているためと考えられる。

## 2) 大型植物化石群

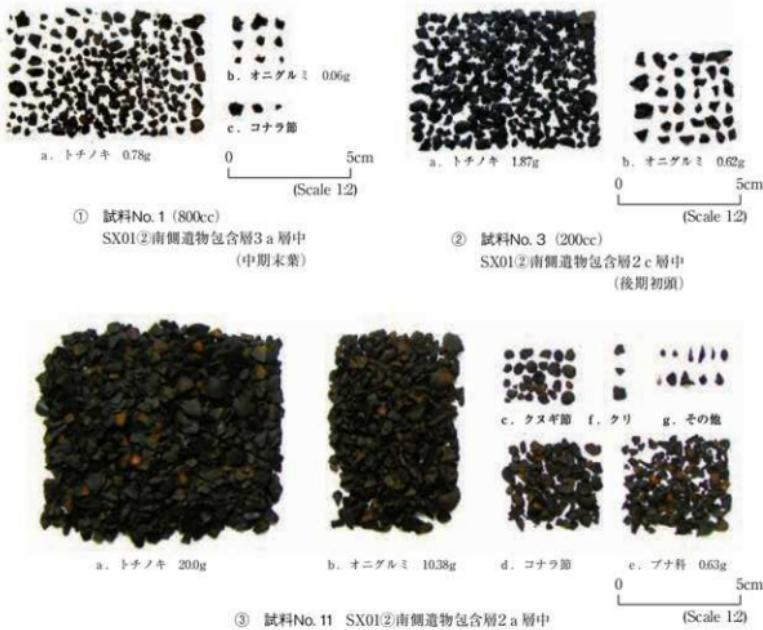
a. SX01②南側遺物包含層、旧河道SX07·03堆積層、SX06壠狀遺構堆積層試料

(第6表・写真図版105)

SX01②南側遺物包含層3a層中・3a層上部（縄文中期末葉）、2c層中（縄文後期初頭）からは、炭化した種実のみが出土した。炭化物の多くは最大でも10mmに満たない細かな碎片となっている。包含層3a層中では、トチノキ炭化種皮破片158個・オニグルミ炭化破片8個・コナラ節の炭化果実基部1個を確認（第246図①）した。包含層3a層上部ではトチノキ炭化種皮破片46個・オニグルミ炭化破片10個、包含層2c層中ではトチノキ炭化種皮破片362個・オニグルミ炭化破片34個が検出（第246図②）された。

分類群名	学名	種名	計測部位		時期	中胚葉		後期初期		後期後葉		後期中期		後期後葉		後期中期	
			部位	処理		全葉	上部	全葉	上部	全葉	上部	全葉	上部	全葉	上部	全葉	上部
オニグルミ	<i>Inglesia islandifolia</i> Carr.		内果皮	外分													1
			内果皮膜	破片													1
			炭化内果皮膜	破片	8	10	34					1					5
				(0.09)	(0.07)	(0.62)						0.2					(0.39)
アサギ	<i>Ostrya japonica</i> Sarg.		葉裏								2						1
アマ	<i>Fagus crenata</i> Blume		葉裏														2
クヌギ節	<i>Quercus sect. Cerris</i>		葉裏														5
			炭化葉裏基部														1
コナラ節	<i>Quercus sect. Prinos</i>		葉裏														1
ナラ科	<i>Fagaceae</i>		炭化葉裏破片														2
																15	15
																(0.18)	(0.14)
セキナ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino		葉裏								5						1
セキナワ	<i>Magnolia obovata</i> Koidz.		葉子								3						1
ヤクシラ節	<i>Prunus sect. Pseudocerasus</i>		核								2						1
ワジ属	<i>Wistaria</i>		核								2						1
イロハモジ近似種	<i>Acer of palmatum</i> Thunb.		葉裏								1						1
イタカラエビデ	<i>A. monos. Maxim.</i>		葉裏								2						1
			葉子								2						1
ツブダエビデ	<i>A. cissifolium</i> (Sieb. et Zucc.) K. Koch		葉裏								3						1
トチノキ	<i>Ascallops turbinata</i> Blume		葉裏破片								12						3
																1	3
			核														224
			核破片														(0.48)
			炭化葉裏破片		158	46	362		13	1	1	28					1
				(0.79)	(0.84)	(0.87)		(0.12)	(0.03)			(2.39)	(0.03)				
			幼種子					4									1
テンボナシ属	<i>Heronia</i>		花被子														1
ツバキ属	<i>Actinidia polygama</i> (Sieb. et Zucc.) Planch. et Maxim.		被子														1
ウラカキ属	<i>Cathaya</i>		葉裏度								1	6					1
ヤツリガラ属	<i>Cathaya</i>		葉子								1						1
ウラジロヤクザク属	<i>Amelanchier</i>	<i>sieboldiana</i> Makino	葉裏度														1
タラノキ	<i>Atlasia dista</i> (Miq.) Seemans		葉裏度														1
1キズ	<i>Cornus controversa</i> Hemslay		葉裏度								1	3					1
タマノ1キズ	<i>C. brachycarpa</i> C. A. Mey.		葉裏度								1	6					1
ハラウカボク	<i>Symplocos</i>	<i>oblonga</i> Sieb. et Zucc.	葉裏度								2						1
ニワトコ	<i>Symplocos</i>	<i>revoluta</i> (Miq.) Blume ex Griseb.	葉裏度								1	2					1
ムクニ	<i>Mussaenda</i>		葉子								2	2					1
ヒメウツギ科	<i>Cytinus</i>		葉裏度														1
1ソバ	<i>Polygonum thunbergii</i> Sieb. et Zucc.		葉裏度														1
1ノゾムスズ	<i>Stellaria alpina</i> Grimm var. <i>undulata</i> (Thunb.) Ohwi		葉子								1	2					1
キンボウゲ属	<i>Ranunculus</i>		葉裏度														1
ミミレ	<i>Viola</i>		葉子									1					1

第6表 山居遺跡縄文時代堆積物より出土した大型植物化石 (内は重量(g))



第246図 SX01②南側遺物包含層から検出された植物種子

一方、自然流路である旧河道SX07（縄文後期後葉）や旧河道SX03（縄文晩期中葉）では、炭化種子の出土はごく少量であり、人為的な遺物包含層とは明らかに異なる様相を呈している。特にトチノキは食用にはならない果皮や幼果、幼種子などが出土している。このほか、旧河道SX07・03堆積層からはオニグルミ、アサダ、ブナ、コナラ節、クスギ節、ケヤキ、ヤマグワ、サクラ節、イタヤカエデ、マタタビ、タラノキ、ハクウンボク、ニワトコなどが出土している。

旧河道SX03流域内のSX06堰状遺構の堆積物からは炭化していないトチノキ・オニグルミと炭化したコナラ節がカゴ断片とともに出土している。トチノキは割れた約1個の種子や接合可能と思われる比較的大きな破片が多い。出土状況（巻頭写真1-2）から、トチノキの種子は本来完形の状態であったものが、後に土圧によって亀裂が入り大きな破片になったものと考えられた。トチノキ約1個の乾燥重量は3.3gであった。これら以外にはイタヤカエデとミズキが1個ずつ含まれていた。SX06堰状遺構内の堆積層の大型植物化石の組成は自然流路の旧河道SX03堆積層の組成と明らかに異なるものであることが確認された。

### b. 水洗選別試料（第7表）

発掘調査担当者があらかじめ水洗選別したSX01②南側遺物包含層C3西ベルト包含層2a層（縄文時代後期後葉～晩期中葉）中からは、トチノキ炭化種皮破片1235個、オニグルミ炭化破片318個のほか、ブナ科炭化果皮破片178個、クヌギ節炭化果実基部83個、コナラ節炭化果実基部26個、ヒシ属炭化果実破片7個、クリ果実基部破片3個、ブドウ属炭化種子1個を検出した。ほかの炭化していない種子・果実ではイタヤカエデ種子1個、ケヤキ2個、アサダ2個を検出した（第246図③）。

SX01②南側遺物包含層2a層に廃棄された植物種子・果実は、縄文時代中期末葉から後期初頭の2c層・3a層同様のトチノキ・オニグルミを中心としながらも、ブナやクヌギ、コナラ、ヒシ属、クリ、ブドウ属と食用植物の種類が多いことがわかる。

### c. 現地取り上げ試料（第8表・写真図版106）

発掘調査では、土壤のブロックサンプリングのほかにも、任意で植物種子・果実（写真図版106）を取り上げた。

#### ①旧河道SX03堆積層中

縄文時代晩期中葉に相当する旧河道SX03堆積層中からは、1~30の植物種子・果実が採取された。最も多かったのがトチノキ34個、次いでオニグルミ31個、ハクウンボク2個、クリ1個、カヤ1個である。トチノキは種皮破片が25個、種子完形6個、幼果3個である。オニグルミは半分割の痕跡を残すものが31個中19個を占めている。

#### ②旧河道SX04堆積層中

旧河道SX04は旧河道SX03より古い旧河道である。時期的には同じく縄文時代晩期中葉である。トチノキ6個、オニグルミ5個が採取された。トチノキは種皮破片が5個、幼果1個である。オニグルミは5個中3個までが半分割の痕跡を残している。

#### ③SX05堰状遺構堆積層中

旧河道SX04に付属する堰状遺構である。堆積層中からはトチノキ種皮破片6個、幼果1個が採取されている。

#### ④旧河道堆積層中

36~40は縄文時代晩期中葉に属すると見られる上部旧河道群堆積層中の試料である。オニグルミ8個、トチノキ6個が採取された。オニグルミ8個中6個までが半分割の痕跡を残している。トチノキは種子完形3個、幼果2個、種皮破片1個である。

第7表 山鹿遺跡縄文時代の水洗選別試料より出土した大型植物化石 (内は重量(g))

分類群名	学名	試料番号	No.11
オニグルミ	<i>Juglans ailanthifolia</i> Carr.	炭化内果皮破片	318 (10.38)
アサダ	<i>Ostrya japonica</i> Sieg.	果実	2
クヌギ節	<i>Quercus sect. Cerris</i>	炭化果実基部	83 (1.04)
コナラ節	<i>Quercus sect. Prunus</i>	炭化果実基部	26
クリ	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	果実基部破片	3
ブナ科	<i>Fagaceae</i>	炭化果皮破片	178 (0.63)
ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	果実	2
イタヤカエデ	<i>A. mono</i> Maxim.	種子	1
トチノキ	<i>Quercus turbinella</i> Blume	炭化種皮破片	1235 (29)
ブドウ属	<i>Vitis</i>	炭化種子	1
ヒシ属	<i>Tephritis</i>	炭化果実破片	7

⑤ SX012 南側遺物包含層C4西ベルト包含層2a層中

41はトチノキ種皮破片である。縄文時代後期後葉～晩期中葉に相当する。

⑥ SX013 北東側遺物包含層A6北ベルト包含層 ii b層中

42はオニグルミの内果皮半分である。特に敲打痕などは残されていない。

⑦ 旧河道SX07・23・24・26堆積層中

これらは縄文時代後期後葉に属する下部旧河道群である。トチノキ13個が採取された。オニグルミは採取されていない。

⑧ SX012 南側遺物包含層C3区包含層2b層上面

トチノキ幼果1点が採取された。後期後葉である。

⑨ SX012 南側遺物包含層C4区包含層3a層中

トチノキ種皮破片1点が採取された。中期末葉である。

番号	遺物	地区・部位	分類部位 地土層位	カサ 種子 破片	オニグルミ			タリ 種皮 破片	トチノキ			ハラウンガ 試料 番号
					内 果 皮	半 分	半分倒卵 形		果皮 破片	種子 破片	内 果 皮	
1	旧河道SX0303A堆積層	A5北ベルト・Se7層中	地表中葉			1						55
2	旧河道SX0303A堆積層	E01ベルト・2層	地表中葉	1								35
3	旧河道SX0303A堆積層	E01ベルト・2層上葉	地表中葉	1								56
4	旧河道SX0303B堆積層	E05C・根鉢層中	地表中葉	1								21
5	旧河道SX0303B堆積層	A5Eベルト・1層	地表中葉									16
6	旧河道SX0303B堆積層	A4Eベルト・Se2層中	地表中葉									2
7	旧河道SX0303B堆積層	E03ベルト・第1層中	地表中葉	5								41
8	旧河道SX0303C堆積層	E03ベルト・1層中	地表中葉	1								28
9	旧河道SX0303C堆積層	B4-E5ベルト・1層中	地表中葉									23
10	旧河道SX0303C堆積層	H4-E5ベルト・3層中	地表中葉	1	1	1	1	1		1		18
11	旧河道SX0303C堆積層	A3Eベルト・根鉢層中	地表中葉	2						1		40
12	旧河道SX0303C堆積層	A5E-C・上層中	地表中葉	1								51
13	旧河道SX0303C堆積層	B4-E5ベルト・Se2層中	地表中葉									52
14	旧河道SX0303C堆積層	H4-E5ベルト・2層中	地表中葉									12
15	旧河道SX0303C堆積層	E04ベルト・Se2層中	地表中葉	1	1	1	1	1	1	1		24
16	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1層中	地表中葉						3	4		43
17	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1層中	地表中葉	2					3			8
18	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1層中	地表中葉									27
19	旧河道SX0303C堆積層	D4-E5ベルト・根鉢層中	地表中葉	1								48
20	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・根鉢層	地表中葉									49
21	旧河道SX0303C堆積層	A3E-C・2・セカ	地表中葉	1	2	1						4
22	旧河道SX0303C堆積層	A3E-C・2・セカ・根鉢層中	地表中葉									13
23	旧河道SX0303C堆積層	AG5-C・セカ下部・土上葉	地表中葉	1								2
24	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1M上葉	地表中葉	1								37
25	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1M中	地表中葉	1								26
26	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1M下部・1層中	地表中葉	1								30
27	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1M下部・1層中	地表中葉									7
28	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1M下部・1層中	地表中葉	2	1							34
29	旧河道SX0303C堆積層	B4E-C・1M下部・1層中	地表中葉	1								44
30	旧河道SX0303C堆積層	E05-C・1M下部・1層中	地表中葉									47
31	旧河道SX0303D堆積層	B4E-B5ベルト・Se4層中	地表中葉									6
32	旧河道SX0303D堆積層	A4E-B5ベルト・Se2-4層中	地表中葉	1	1	2						15
33	旧河道SX0303D堆積層	AG5-C・根鉢層中	地表中葉	1								1
34	SX03堆積層	堆積層中	地表中葉									5
35	SX03堆積層	堆積層中	地表中葉									50
36	旧河道堆積層	AS5-C・圓錐イカク	地表中葉									53
37	旧河道堆積層	E05-C・セカ(根鉢)	地表中葉									11
38	旧河道堆積層	A-C-C・セカ(根鉢)	地表中葉	1	1							9
39	旧河道堆積層	E05-C・イカク	地表中葉	5	1							39
40	旧河道堆積層	E05-C・イカク	地表中葉									46
41	SX03左側遺物包含層	C4西ベルト・包含層2a層中	地表中葉									22
42	SX03①北東側遺物包含層 (包含層上部) 中	地表後葉	1									38
43	旧河道SX0307堆積層	B4-E5ベルト・Se15層中	地表後葉									27
44	旧河道SX0307堆積層	B4-E5西ベルト・Se15層中	地表後葉									42
45	旧河道SX0322堆積層	E05C-B・Se2-3層中	地表後葉									10
46	旧河道SX0322堆積層	B4-E5西ベルト・Se15層中	地表後葉									36
47	旧河道SX0322堆積層	B2-E2(2)ベルト・Se3-14層中	地表後葉									54
48	旧河道SX0322堆積層	B4E-C・包含層3層中	地表後葉									31
49	SX03 2・南側遺物包含層	C3E-C・包含層2層上葉	地表後葉									33
50	SX03 2・南側遺物包含層	C4E-C・包含層3層中	地表後葉									3
51	SX03 2・南側遺物包含層	(不明)	地表後葉									14
52	SX03 遺物合層	(不明)	地表後葉									19
53	SX03 遺物合層	(不明)	地表後葉									25
54	SX03 遺物合層	(不明)	地表後葉									32
55	SX03 遺物合層	(不明)	地表後葉									45
合計				1	1	0	5	30	0	3	1	24
											9	42
											2	

第8表 山居道路現地取り上げ試料

旧河道堆積層から採取されたオニグルミは、ブロックサンプリングされた試料（No. 6～8）では2個のみで全体の様相は不明であったが、現地取り上げ資料では旧河道堆積層中試料27個中19個（70%）までが半分割の敲打痕のあるものであった。このことからオニグルミは採取の後、敲打により半割され、その殻の多くは河道に投棄されていた可能性が考えられよう。時期的な問題としては、後期後葉以前の下部旧河道群からはオニグルミは現地取り上げ試料では1個もなかったが、ブロックサンプリング試料No. 8では旧河道SX07堆15②層中から1個の内果皮破片が出土しており、たまたま採取されなかつたに過ぎないものと考えられる。旧河道堆積層中のトチノキには食用にはならない幼果が含まれるのはブロックサンプリング試料も現地取り上げ試料も同じである。

人為的な遺物包含層からは、トチノキ種皮破片2個、同幼果1個、オニグルミ半分1個しか採取されていない。ブロックサンプリングされた試料（No. 1～3）においては、オニグルミは炭化内果皮破片、トチノキは炭化種皮破片としてのみ、その存在が確認されており、形のわかるような大破片や完形種子は確認されていない。任意の取り上げではあるが、遺物包含層中から採取された資料が極めて少ない点は、遺物包含層における種実のあり方と大きく関連しているものと考えられる。

#### d. 特筆すべき出土分類群の形態記載

カヤ：種子破片を出土した。完形であればラグビーボール形で種皮はやや薄く堅く黄褐色から赤褐色で縦にややねじれた浅い溝状の筋が全面に分布する。

オニグルミ：内果皮を出土した。完形は球形で上下端が尖り、縦方向の縫合線をもって2つに分割される。内果皮壁は厚く緻密で堅く、壁には空隙がある。内室は大きく4室に分かれ壁内面は複雑な曲面で構成される。

アサダ：果実は縦に長い水滴型で縦方向に3～4本筋があり、表面は平滑で光沢がある褐色である。上端は尖り、返しのついた突起がある。

ブナ：果実は3面の三角で面の中央がややへこむ。果皮は薄くやや軟らかい。本遺跡出土の果実はやや小さい。

クヌギ節：幼果は殻斗がとれた状態であり、扁平な円盤状で基部中央が丸く突出し、反対側には突出した柱頭がある。果実基部は円形で中心がへこみ、その外側が隆起していて、紡錘形の隆起が密に分布する。

コナラ節：果実基部は円形で中心に向かって膨らみ、クヌギ節より表面が平滑で、同心円上中心方向に並んだ1～2mmの細い溝が一列ある。

ブナ科：ブナ科果皮は破片となると属の区別がつかない。薄くやや軟らかく、縦方向に筋が並ぶ。果皮は約3層の構造があるが、いずれの細胞も縦に並んでいる。

ケヤキ：果実は厚い円盤の中心をへこましたような形で、全体に不規則なしわが入る。

ヤマグワ：種子は三角形で黄褐色、種皮は薄く堅い。

サクラ節：核は丸い紡錘形で方向線で2つに分かれ、表面には上下端に向かってしわが入り、種類によっては全面にややはっきりしたしわがあるものもある。

イロハモジ近似種：果実はほぼ球形で下端が扁平な着点になっており、全体に荒いしわがはいる。化石では翼はほとんどとれている。

イタヤカエデ：果実は扁平な長三角形で翼はとれ、全体にやや細かいしわがある。種子は楕円形扁平で黒色で細長い楕円形の隆起が全体に密に分布し、光沢がある。

ミツデカエデ：果実は長い楕円形で縦方向に3本の隆起が走る。

トチノキ：果実はほぼ球形で縦の縫合線で3つに割れる。表面はざらついて円形の斑点があり褐色で壁は構造構造で厚いがもろい。種子は楕円形で下半はおおきなへそで褐色扁平で光沢がなく、上半は黒色で光沢があり、微細な指紋状または流理状の模様がある。種子壁は薄く不規則に割れる。

ウコギ近似種：内果皮は扁平な楕円形で一辺はほぼまっすぐ反対側は曲線で褐色、縦に薄く筋が入る。

クマノミズキ：内果皮は球形で上下に均等に8本の筋が走る。

ヒシ属：完形であれば大きな突起が4つ突出する菱形の果実であるが、本遺跡では突起の破片のみ出土した。果皮は厚いが比較的軟らかい。緩やかな流速もしくは停滞水の水域に生育し、中の種子を食用とする。

#### 4. 小 結

遺跡周辺の古環境を反映する旧河道堆積層と人為的な廃棄物を含む遺物包含層とに分けて、述べていきたい。

旧河道堆積層の調査は、後期後葉の旧河道SX07及び晩期中葉のSX03、及びその人為施設SX06堰状構造堆積層を主な対象として行われた。ここではまず、SX06堰状構造は除き、自然流路の旧河道SX07とSX03について若干のまとめと考察を施す。

旧河道堆積層は砂質層と未分解植物質を含む有機質層の互層からなっている。ともに中粒～細粒砂が約50%を占め、有機質層では有機物量が約32%を占めるのに対して、砂層では約12%を占めるに過ぎない。旧河道中に含まれる土器の量も少なく、試料においてはわずか数片にも満たないものであった。ほとんどの場合、接合もしない。動物遺存体では被熱の痕跡のないスパイラル割れの特徴を残すシカの各部位が散発的ながら採取されている。

縄文時代後期後葉の旧河道SX07の花粉及び大型植物化石群の調査では、流域の植生は沢沿いにトチノキ林が優勢でオニグルミやハンノキ属を伴い、その後背地の丘陵にはクリやコナラ節、クヌギ節、ケヤキ、アサダなどを主要な森林構成要素とし、イタヤカエデやブナ、イスブナ、ムラサキシキブ、ミズキ、クマノミズキ、ニワトコ、ヤマグワ、つる性植物のマタタビ、フジ属などを伴う落葉広葉樹林が形成されていたと推定される。わずかながらマツ属複雜管束亞属も混交する。晩期中葉の旧河道SX03砂層の大型植物化石の調査では、トチノキ林優勢は変わらないものの、ブナ及びブナ科の果実、果皮破片が比較的多く見つかっており、やや異なる林相となっていたものと考えられる。このほか、イタヤカエデ、ニワトコ、オニグルミ、アサダ、マタタビ、ウコギ近似種、クマノミズキなどが確認された。

縄文時代中期後葉から晩期中葉に及ぶ遺物包含層（SX01②南側遺物包含層3a層・2c層・2a層）の調査では充分な花粉を得ることはできなかった。包含層3a層は水の影響を受けたものと考えられた粘土層であるが、他の2層は人為的な廃棄物を主とする陸成の黒色土層である。このため、多くの有機質（特に包含層2c層は36.9%が有機質からなる）を含みながらも、ほとんどの花粉は分解されてしまい、残っていない。また、大型植物化石についても炭化したものだけが残存し、炭化していないものはすべて腐植・分解してしまったものと考えられる。同様のことは動物遺存体に関しても言うことができ、遺物包含層中には被熱の痕跡を残す種別同定不能の多くの焼骨片が含まれていたことと符合する。

わずかながらも遺物包含層から検出された花粉・胞子には以下のものがある。SX01②南側遺物包含層3a層（縄文時代中期末葉）ではクリ属2個体・シダ植物胞子10個体、包含層2c層（後期初頭）ではクリ属2個体・トチノキ属1個体・ハンノキ属1個体、包含層2a層（後期後葉～晩期中葉）ではシダ植物胞子7個体・トチノキ属6個体・ハンノキ属4個体・コナラ亜属3個体・ケヤキ属3個体・クリ属2個体・アサダ属1個体・ウルシ属1個体と草本類のタンボボ亜科3個体・セリ科2個体・イネ科1個体・ヨモギ科1個体がある。

縄文時代中期末葉にはクリ属花粉が検出されており、周辺にクリの木が分布していたことは間違いない。ただし、他の花粉はすべて分解しており、このデータからではその林相の具体像は不明である。後期後葉から晩期中葉にかけての花粉・胞子は旧河道堆積層の組成や大型植物化石のデータと概ね一致しており、トチノキ優勢の林相を読み取ることができる。参考までに、宮戸島の里浜貝塚では縄文前期にはコナラ亜属・クマシデ属・アサダ属・クリ属・クルミ属などからなり、縄文後期初頭ごろにはクリ属とニレ属・ケヤキ属が高率を占め、トチノキ属やマツ属複数管束亜属・コナラ亜属を伴い、縄文後期には入り江の淡水化とともにトチノキ林が拡大したことが明らかにされている（吉川ほか2005）。

また、ウルシ花粉1個体が遺物包含層2a層から検出されており、縄文後期後葉から晩期中葉にかけて周辺に生育していた可能性が考えられる。山居遺跡では晩期中葉に、数は少ないながら赤漆や黒漆の塗られた皿形土器や壺形土器が出土しており、関連する可能性が考えられる。

人為的な廃棄層からなるSX01②南側遺物包含層の調査では、自然流路の数倍に達する微粒炭量が得られた。包含層3a層中・上部（縄文時代中期末葉）の種実はトチノキ・オニグルミを主にコナラ節1個、包含層2c層（後期初頭）ではトチノキ・オニグルミのみ、包含層2a層（後期後葉～晩期中葉）ではトチノキ・オニグルミを主体にブナ・クヌギ節・コナラ節・ヒシ・クリ・ブドウ他が得られている。縄文時代中期末葉から晩期中葉まで、山居遺跡の遺物包含層はその豊富な土器とともに、多くのトチノキ・オニグルミの碎片に、若干の獸骨・鳥骨を交えながら、人為的な廃棄層として形成されてきた。今回発見された大きさ10mmに満たない大量のトチノキ炭化種皮破片は灰汁を用いず、トチの実を種皮つきのまま粉碎してアケを抜く「発酵系あく抜き」や「水晒し系あく抜き」、「はな（澱粉）取り系あく抜き」（名久井 2006）のいずれか、ないしは複合的な関連が考えられよう。オニグルミは遺物包含層では破碎小片のみの出土となっており、旧河道における敲打痕を残す半分割された内果

皮が大方を占める様相とは著しく異なっている。クリは花粉の検出自体は中期まで遡るもの、遺物包含層に廃棄された果実片が実際に確認されるのは後期後葉～晚期中葉になってからである。

また、旧河道SX03流域内のSX06堰状遺構の堆積物からは、カゴの断片とともに炭化していないトチノキの果皮を含む比較的大きな種皮破片が出土した。出土状況からこれらは土圧によって壊れたもので、本来は完形種子の状態を保っていたものと考えられた。類似の遺構にSX22堰状遺構があり、こちらでもトチノキの完形種子を確認することはできたが、カゴに類するものを確認することはできなかった。民俗例では、採集した生トチを水に漬けて虫出しそうする方法や、生トチを10日間ほど流水に晒しその後に平らな石の上に載せて叩いて皮をとる方法（名久井 2006）があるとされており、生トチを水に漬けるか晒すかするための施設であったと考えられる。

山居遺跡では縄文時代中期末葉のSX01②南側遺物包含層3a層中及び3a層上部からも炭化トチノキの種皮破片が出土しており、少なくとも中期末葉以降、トチノキは重要な食糧資源のひとつとなっている。宮城県内におけるトチノキ種子の出土で最も古い例として、縄文時代早期末葉～前期初頭の宮城県七ヶ宿町小梁川遺跡第52号住居跡（宮城県教育委員会 1987b）がある。同住居跡のピット及び床面から、木炭片・石器碎片とともに炭化トチノキ（注1）種子破片（星川・庄司 1987）が出土している。このほかに小梁川遺跡では、中期前葉から中葉にかけての炭化トチノキ種子破片や完形のものが木炭片等とともに、フラスコ状土壤の底面などから出土しており、トチノキの植物資源としての利用は、少なくとも縄文時代早期末葉～前期初頭以降、断続的ながらも行われてきたことを確かめることができる。

(注1) 炭化トチノキは被熱によって炭化し、多孔質の消炭状となったものである。被熱の痕跡がない生のトチノキ種子についても、一見炭化のように見える黒色状を呈するものがあるが、トチノキ種子表面は緻密な状態のままであり、区別される。小梁川遺跡から出土したトチノキ種子はすべて「焼けているらしいこと」が指摘された。山居遺跡では遺物包含層から出土した炭化トチノキ種子破片についても、被熱の痕跡が残されており、この点においても旧河道堆積層から出土するトチノキ種子とは異なる。

### III. 土器圧痕について

#### 1. はじめに

山居遺跡の出土土器接合時に、比較的多くの土器に植物種実ほかの様々な圧痕が残されていることに気付き、ほぼ土器全点に及ぶスクリーニング的な肉眼による種実圧痕に関する観察を行った。その結果、炭化物の詰まった比較的良好と思われる種実圧痕も見出され、同定可能と思われるものを選択して、古代の森研究室に調査を依頼した。

#### 2. 試料と方法

調査方法は、樹脂によるレプリカ法で、圧痕に水性のシリコン樹脂をペースト状に練ったものを埋め込み、1時間程度乾燥させてゼリー状に固まった頃に剥がし取り、レプリカを作成した。

#### 3. 結果

13個体の土器から作成した圧痕のレプリカ試料（写真図版107・108）は30点で、実体顕微鏡で観察・同定し同定結果を第9表に示した。

第9表 山居遺跡土器圧痕

番号	遺構	地区・層位	図版	圧痕の種類	試料番号	
1a	SX01①北東側遺物包含層	A6K・包含層1a上層上面・同層中	第1群土器	第14図4	オニグルミ近似種 不明果実 木片	17 15 16
1b						
1c						
2	旧河道SX03A	A・B6K・底面	第1群土器	第21図1～14の土器と共伴	エゴマ近似種	2
3	旧河道SX03C	A6K・堆积層中	第1群土器	第17図1・2の土器と共伴	石	3
4	SX05堰状遺構	A4K・底面	第1群土器	第65図8	石	4
5	SX01①北東側遺物包含層	A6北ベルト・包含層1b層（See.7層）中	第1群土器	第13図13	木片	1
6a	SX01②西側遺物包含層	C4西ベルト・包含層2b1層上面・2a層中、B4K・包含層2b2層上面、C3K・包含層2b3層中	第2群土器	第99図1	ムラサキシキブ近似種 石	9 8
6b						
7	SX01③南側遺物包含層	C3西ベルト・包含層2a層中、C4K・包含層2b1層中、C4K・包含層2a層中、C3K・包含層2b2層中	第2群土器	第130図3	石	11
8	SX01④南側遺物包含層	C3西ベルト・包含層2a層中、C3K・包含層2b1層中	第2群土器	第155図1	石	10
9	SX01⑤南側遺物包含層	Z3K・包含層B1層上面	第3群土器	第222図1	木片	7
10	SX01⑥南側遺物包含層	C4西ベルト・包含層2b3層中	第3群土器	第102図1	石	12
11a	SX01⑦西側遺物包含層	C4K・包含層2b1層下部・2b・層中、C4北ベルト・包含層2b1層中	第3群土器	第56図1	オニグルミ近似種 木片	13 14
11b						
12a	SX01⑧南側遺物包含層	C4西ベルト・包含層2b・層中・2b2層上面・2a層中、C4K・包含層2a層中	第3群土器	第105図3	ハリギリまたはコシアブラ マメ科 マメ科 マメ科 マメ科 マメ科 木片 木片 マメ科 草 マメ科 マメ科 マメ科 マメ科 木片	6 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
12b						
12c						
12d						
12e						
12f						
12g						
12h						
12i						
12k						
12l						
12m						
12n						
13	SX01⑨南側遺物包含層	B4K・包含層3層上面	第3群土器	第95図9	オニグルミ近似種	5

#### ①第I群土器（1～4）

SX01①北東側遺物包含層、旧河道SX03堆積層、SX05堰状遺構堆積層から出土した晩期中葉の第I群土器では、4個体6試料を検討した。エゴマ近似種、オニグルミ近似種、不明果実、石が認められた。

#### ②第Ⅱ群土器（5～8）

SX01①北東側遺物包含層、SX02②南側遺物包含層から出土した後期後葉の第Ⅱ群土器では、4個体5試料を検討した。ムラサキシキブ属近似種、木片、石が認められた。

#### ③第V群土器（9）

SX01③北西側遺物包含層から出土した後期前葉の第V群土器では、1個体1試料を検討した。木片が認められた。

#### ④第VI群土器（10～12）

SX01②南側遺物包含層から出土した後期初頭の第VI群土器では、3個体17試料を検討した。特にSX01②南側遺物包含層C4西ベルト包含層2b層中出土の土器（第9表12・第247図）には、28ヶ所の圧痕が認められ、土器残存率から推して、100粒前後の種実が土器に混和されたものと見られる。種実圧痕箇所からのハジケや、土器の割口にかかる圧痕も認められる。また、土器の破片1点1点で被熱による赤変や黒斑など色調に全く統一性がなく、モザイク状に接合している。底部近くの破片では、二次加熱の痕跡や炭化物の付着は認められず、この土器は多量の種実を混和したために土器焼成途中で破損（破裂）したか、あるいは使用開始後間もない時期に破損し、その破片が集められ再び火にくべられて廃棄されたものと考えられる。種実の痕跡の多くはマメ科と同定された。他にハリギリまたはコシアブラ、草？、木片を含んでいる。

このほかの個体では、オニグルミ近似種、木片が認められた。

#### ⑤第VII群土器（13）

SX01②南側遺物包含層から出土した中期末葉の第VII群土器では、1個体1試料を検討した。オニグルミ近似種が認められた。



1a. 器外面



1b. 器内面

第247図 マメ科種子の混和された土器

#### 4. 同定の根拠

同定できた圧痕にはエゴマ近似種、オニグルミ近似種、ムラサキシキブ属近似種、マメ科があり、マメ科が最も多かった。同定できなかった圧痕は木片、草のような繊維、不明果実、石があった。以下に同定の根拠を示す。

エゴマ近似種：上部が大きい楕円形で炭化果皮が付着し、不明瞭ながら果皮に円形のへこみがある。

オニグルミ近似種：曲面のある長方形で壁状である。

ムラサキシキブ属近似種：楕円形で周囲に縁どりがあり、中央部分がへこんでいる。

マメ科：整った楕円形で皮状の炭化種皮が付着してきた。No.19は楕円形で種子長の3分の1程度のへその痕跡が確認された。No.27はほぼ球形で種子長の3分の1程度のへそが確認された。No.18～No.22とNo.25、No.28はやや長い楕円形で、No.27は球に近いが、いずれもへそが短く、現在のダイズ属に似る。ダイズの原種とされるツルマメはだいたい長さ5.5mm～3.5mm程度でへそが種子長の3分の1程度である。いずれも大きさや形状は近似するが、No.29は小さくややいびつで扁平のため、未熟な種子ないしは野生種子と考えられる。

ハリギリまたはコシアブラ：丸みをおびた三角柱で側面中央部分がへこんでおり、上面もややへこんでいる。

不明果実：付着してきた炭化物に若干柵状組織のようなものが見られるため、果皮と考えられるが、形が不明で同定できなかった。

木片：付着した炭化物に細胞が縦横に規則的に並んでいるものや道管組織などが見られる。

草？：繊維状の細い炭化物が付着あるいはその痕跡が見られた。

#### 5. 小結

今回の分析では、オニグルミ近似種の痕跡が縄文時代中期末葉から晩期中葉までの土器に確認された。また、栽培種の可能性がある植物（山崎 2005）としてエゴマ近似種、マメ科があった。特に原種ダイズのツルマメに類似するマメ科種子はほぼ大きさも揃っており、莢からはずれた状態で1個体の土器に多量に混和されており、注目されよう。このようなマメ科種子の混和例は現状では見出しがたいが、ドングリ圧痕の残る土器は縄文時代早期～中期の岡山県高島黒土遺跡（山内 1969）から北海道札幌市S239遺跡（札幌市教育委員会 1975）に至るまで、広く類例が認められる。東北地方関係では、秋田県上ノ山Ⅱ遺跡（秋田県教育委員会 1989）において縄文時代前期後葉のドングリの混和された土器120点が遺跡の2ヶ所に集中して発見された。その中にはドングリが器壁を突き破って貫通しているものも39点含まれていることから、実用性に乏しい祭祀用具と考えられ、何らかの祝祭の行われた可能性が指摘されている。山居遺跡の多量にマメ科種子の混和された土器も、こうした生産や収穫といった祭祀と関連する可能性も考えられよう。

ムラサキシキブの果実には、魚類にだけ毒性を示す成分が含まれ、民族例ではムラサキシキブを用いた漁が知られるなど、有用植物のひとつに数えられている。

以上、土器圧痕の分析では、土器製作者に身近な植物種子・種実の混入ないしは混和が認められた。

## 第IV章 総 括

### 1. はじめに

前章において、今回の調査によって出土した遺物に関して、その出土状況の詳細について述べた。ここでは各グリッド区・ベルトにおいて認められた層位に関して遺跡全体の中で再構成し、その分層成果に基き、遺物と遺跡の年代的な変遷に関して総括する。

### 2. 遺物包含層出土の縄文土器について

今回の調査で最も多く出土した縄文土器は、人為的な廃棄層である遺物包含層から出土したものと、遺構や旧河道堆積層から出土したものがある。この両者の土器の出土状況については、事実記載の中で詳細に述べてきたとおりである。ここではまず最初に、層位学的な検討に堪える遺物包含層出土土器を中心に総括し、遺構や旧河道堆積層出土土器に関しては後述する。

#### (1) 遺物包含層出土土器の大別について

山居遺跡I区の遺物包含層と遺構、旧河道堆積層ほかすべての層の堆積関係と出土土器との関係を示したのが、第248図である。炭化物や焼けた動物の骨とともに多くの土器が廃棄された人為的な層を中心に、その上下関係から遺物包含層出土土器は第I～X群土器に大別される。

#### A. 第I群土器

SX01①北東側遺物包含層i a層～i c層中から出土した土器を基準とする。包含層i c層は包含層i d層を浸食する旧河道SX03堆積層上に形成された黒色粘土層で焼けた動物の骨等も含む廃棄物層である。i c層上面では土器が面をなして検出されている。包含層i a層～i b層もやや粘質を帯びる黒色土層となっており、これらは一連の廃棄行為の下に形成された層と考えることができる。

#### B. 第II群土器

SX01②南側遺物包含層2a②層上面～2b①層上面から出土した土器を基準とする。包含層2a②層上面と2b①層上面は不整合によってつながる安定面となっており、夥しい土器が面をなして廃棄されていた。第I群土器との関係はSX01①北東側遺物包含層i c層下で検出された旧河道SX03堆積層が火山灰層・SX01②南側遺物包含層2a①層を介してほぼ全体を覆っており、第I群土器より古い。

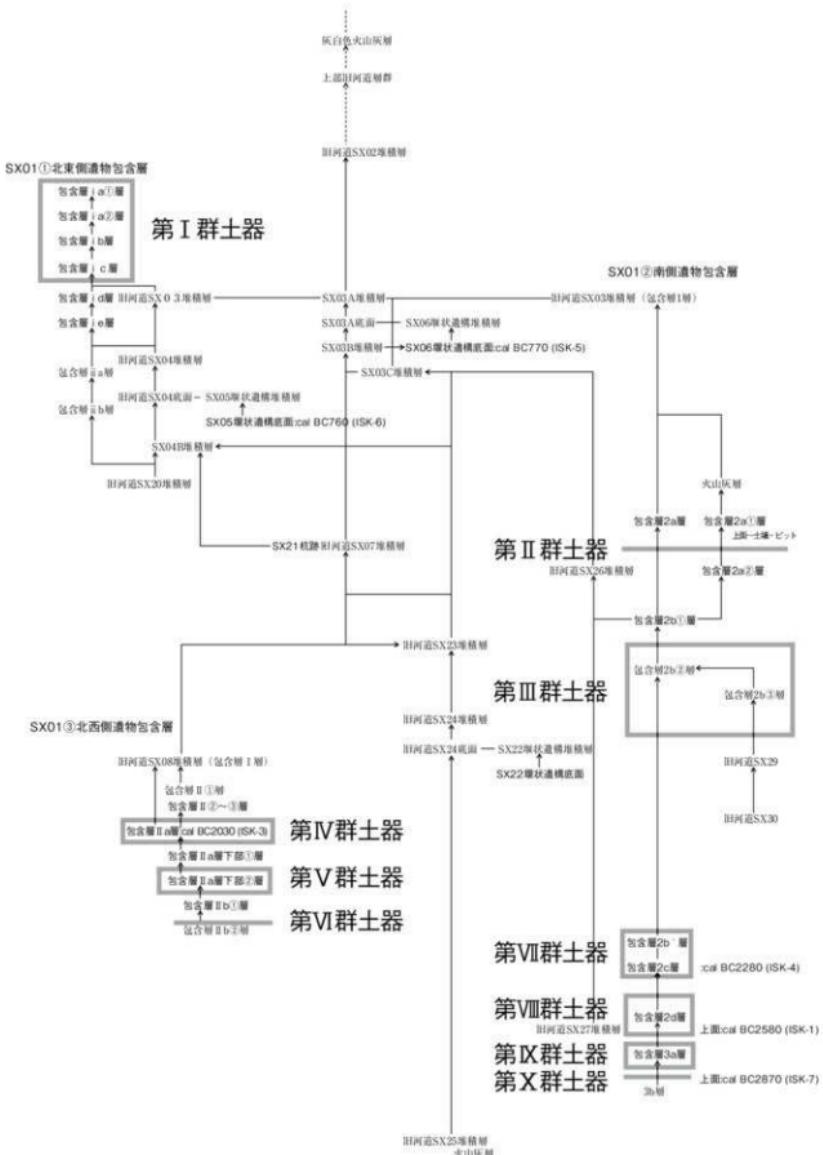
#### C. 第III群土器

SX01②南側遺物包含層2b②層上面～2b③層中から出土した土器を基準とする。第III群土器のみは他群土器と異なり、廃棄層間の水成堆積の砂礫層からの出土で、遺物の出土状況は良好ではない。

第II群土器との関係では、SX01②南側遺物包含層2a②層上面～2b①層上面の下層に位置しており層位的に古い。

#### D. 第IV群土器

SX01③北西側遺物包含層II a層上面～II a層中から出土した土器を基準とする。SX01③北西側遺物包含層では、包含層I層（旧河道SX08堆積層）が水成堆積の砂礫層、包含層II a層上部の包含層II



第248図 遺物包含層出土土器の大別

①層～Ⅱ③層が水の影響を受けた遺物包含層で、必ずしも良好な出土状態ではない。包含層Ⅱa層はやや泥炭質を帯びる黒色土層で炭化物等を含む廃棄層である。第Ⅲ群土器の基準としたSX01②南側遺物包含層Ⅱb①層～Ⅱb③層と直接新旧を示す層位関係は得られていないが、間接的ながら、SX01③北西側遺物包含層Ⅱ①層から上位に第Ⅲ群土器は含まれており、Ⅱa層上面～Ⅱa層中から出土する第Ⅳ群土器は第Ⅲ群土器より古いものと考えられる。

#### E. 第Ⅴ群土器

SX01③北西側遺物包含層Ⅱa層下部②層上面～包含層Ⅱb①層上面出土土器を基準とする。第Ⅳ群土器との関係では、SX01③北西側遺物包含層Ⅱa層下部①層を介して下位に位置しており、層位的に第Ⅳ群土器よりも古い。Ⅱa層下部①層はオリーブ褐色～オリーブ黒色の砂礫層で、遺物の出土状態は良好ではない。Ⅱa層下部②層は粘土質を帯びる黒色土層で炭化物等を含む廃棄層である。

#### F. 第Ⅵ群土器

SX01③北西側遺物包含層Ⅱb①層の下のⅡb②層上面から出土した土器を基準とする。Ⅱa層下部②層の黒色土層下には、暗褐色～灰色粘土層のⅡb①層が南側斜面を中心に分布しており、その下の暗オリーブ褐色砂礫層のⅡb②層上面が一連の廃棄層の起点と考えられた。第V群土器との関係では、SX01③北西側遺物包含層Ⅱb①層を介して下に位置しており、層位的に古い。

#### G. 第Ⅶ群土器

SX01②南側遺物包含層Ⅱb'層中～包含層Ⅱc層中出土土器を基準とする。包含層Ⅱb'層はこぶし大の角礫を多く含む黒褐色土層で沢筋より山側のやや高い位置に広がり、包含層Ⅱc層は礫をあまり含まない黒色土層で沢寄りのやや低い位置を中心に広がっている。層相の違いはあるものの、包含層Ⅱb'層と包含層Ⅱc層は本来同一の層である可能性が強い。ともに多くの炭化物等を含む廃棄層である。第VI群土器との直接的な新旧関係を示す層位はないが、間接的ながら、第VI群土器はSX01②南側遺物包含層Ⅱb'層上面から上位を中心に散見され、第VI群土器より古いものと考えられる。

#### H. 第Ⅷ群土器

SX01②南側遺物包含層Ⅱd層上面～包含層Ⅱe層上面出土土器を基準とする。包含層Ⅱd層は包含層Ⅱb'層～包含層Ⅱc層と比べより黒色でやや粘土質を帯び、多くの炭化物等を含む廃棄層である。第VII群土器との関係では、SX01②南側遺物包含層Ⅱb'層～Ⅱc層の下層に位置しており、層位的に第VII群土器よりも古い。

#### I. 第Ⅸ群土器

SX01②南側遺物包含層Ⅱf層中出土土器を基準とする。包含層Ⅱf層は水の影響を受けた灰黄褐色粘土層で遺物の出土状況は必ずしも良好ではない。粘土層中には炭化物や焼けた動物の骨が量的には少ないもの含まれている。第VIII群土器との関係では、SX01②南側遺物包含層Ⅱf層上面の下に位置しており、層位的に第VIII群土器よりも古い。

#### J. 第Ⅹ群土器

SX01②南側遺物包含層Ⅱg層上面から出土した1個体の土器を基準とする。暗灰黄色粘土層のⅡg層上面に炭化物が広がり、1個体の土器が検出された。函渠工事で壊された箇所に隣接して発見されて

おり、本来は南側に廃棄ブロックは延びていたものと考えられる。第IX群土器との関係では、SX01②南側遺物包含層3a層中の下位に位置しており、層位的に第IX群土器よりも古く、SX01②南側遺物包含層の一連の廃棄層の起点と考えられた。

## (2) 第I群土器 (第249図)

### ①土器の分類

山居遺跡第I群土器では深鉢形土器を主体とし、若干の鉢形土器・皿形土器を伴う。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。

**深鉢a類**：頸部が緩やかにくびれ、口縁部が短く外反し、口頸部に文様帶が設けられる。文様帶には数条の平行沈線文が施され、口唇部とくびれ部付近に刻目文がめぐる。器内面上部には沈線文が1条めぐっている。すべて平縁の深鉢形土器である。



第249図 第I群土器の構成 (SX01「東北撫育物包含層」)

**深鉢b類**：頸部が緩やかにくびれ、口縁部が外傾する。頸部には1条ないし2条の横位沈線文がめぐる。a類に比べ、やや幅のある口縁部は無文部として残される。口唇部に刻目文、器内上面部には沈線文がめぐらされている。すべて平縁である。

**深鉢c類**：口縁部は緩やかに内湾し、上端外側にごく短い粘土帯が継ぎ足される。口縁上部には文様帶が設けられ、上端の継ぎ足し部分に刻目文、直下に1ないし2条の横位沈線文がめぐる。口唇部には沈線文が1条めぐっている。すべて平縁である。

**深鉢d類**：口縁部は緩やかに内湾する。すべて平縁である。口縁上部に文様帶が設けられ、1ないし2条の横位沈線文がめぐっている。口唇部外側に刺突文が連続して施されている。すべて平縁である。

**深鉢e類**：口縁部は緩やかに内湾する。すべて平縁の地文のみの深鉢である。

深鉢a～e類では、口径20～30cmの中型～小型品が多い。そのほかの器種では、鉢・皿がある。

**鉢a類**：口頸部が短く外反している。突起が付され、突起には2本の沈線文が施されている。

**皿a類**：口縁部が緩やかに内湾する。口唇部には小突起が付され渦巻状や三角形状の彫去が施される。胴部全体に雲形文が施されている。

#### ②第I群土器のSX01①北東側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

第I群土器のSX01①北東側遺物包含層における取上げ層位と土器分類をまとめたのが、第10表である。

包含層 i a層上面～i c層中まで、特に大きな変化は見えず、ひとつの土器群と考えることができる。

	深鉢					鉢	皿
	a類	b類	c類	d類	e類	a類	a類
包 i a層上面							
i a層中	3	1		4	2		1
i b層中	1	3	1	1	1		
i c層上面	3	1		2	2	1	1
i c層中	8			1	5		

第10表 第I群土器のSX01①北東側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

#### ③第I群土器の類例

山居遺跡第I群土器は、宮城県栗原市山王町遺跡（伊東・須藤 1985）、東松島市里浜貝塚西畠地点（東北歴史資料館 1983）、大和町摺薪遺跡（宮城県教育委員会 1990）に類例を見出すことができる。ここでは、連続的な分層成果が明らかにされている東松島市里浜貝塚西畠地点と大和町摺薪遺跡第1遺物包含層の調査に基いて検討する。

里浜貝塚西畠地点では微細分層発掘により225層に細別された（第11表）。上位の層では、大洞C2式後半期と見られる形態の土器も出土しているが、全体としては大洞C2式前半期の範疇で捉えられるものと解されている。

	山居遺跡第I群土器					鉢	皿
	a類	b類	c類	d類	e類	a類	a類
里浜貝塚 西畠地点	○(II <sub>2</sub> (2)a i類) 1～219層	○(II <sub>2</sub> (1)a i類) 3～223層	○(I <sub>4</sub> (2)類) 5～218層	○(I <sub>1</sub> (1)類) 1～223層			

第11表 里浜貝塚西畠地点との比較

山居遺跡第I群土器の深鉢a・b類は里浜貝塚西畠地点では、上層から下層まで出土している。山居遺跡深鉢b類とc類は区別されていないが、図示されたものではb類は6~202層、c類は13~155層でc類は中位の層群よりは上層の出土となっている。鉢a類と同様の突起の付されるものは見られない。皿a類の特に口唇部には小突起が付され渦巻状や三角形状の彫去が施されるものも見られない。逆に、里浜貝塚西畠地点の深鉢・鉢形土器 I<sub>5</sub>(1)類・I<sub>4</sub>(2)類・I<sub>4</sub>(2)類・I<sub>5</sub>(1)類・I<sub>5</sub>(2)類・II<sub>1</sub>(1)類・II<sub>1</sub>(2)類・II<sub>1</sub>(3)類ほか多くの類型が山居遺跡第I群土器では欠落している。

摺萩遺跡第I遺物包含層では、山居遺跡第I群土器に類する土器は、包1~6f層のⅧ期と包7~15層のⅥ期中に見出すことができる（第12表）。山居遺跡深鉢c類は、摺萩遺跡では7層以下のⅥ期においては全く見出すことができず、山居遺跡第I群土器は摺萩遺跡第I遺物包含層1~6f層の第Ⅷ期の範疇において概ね把握されよう。ただし、口唇部に渦巻状・三角形状の彫去を施す皿a類のみは摺萩遺跡ではⅥ期の包含層9a層から下の出土で上層では出土していない。また、鉢a類と同様の突起の付されるものは見られない。

#### ④第I群土器の年代

以上の比較検討により、山居遺跡第I群土器は、里浜貝塚西畠地点より摺萩遺跡第I遺物包含層の「摺萩Ⅷ期土器群」に類似したものとして捉えられよう。皿a類の口唇部の渦巻状・三角形状

の彫去は、山居遺跡の層位を見る限り残存するものと考えられる。これらは、縄文時代晩期中葉の「大洞C2式」（山内 1930）の後半期（藤沼 1989・須藤 1998）の土器と理解されている。

#### ⑤第I群土器の特徴

第I群土器の特徴として、次のものがある。

##### A. 胎土の特徴

第I群土器の胎土には、白色針状の海綿状骨針の含有するものが認められる。土器胎土中に見られる海綿状骨針は、海綿化石を含む粘土層から採取された粘土で作られたことを示しており、土器の原産地や土器の移動を考える上で一つの指標（西田 1994）にされているものである。山居遺跡では、海綿状骨針の含まれる土器は第I群土器にのみ認められ、他群土器には全く認められない。また、第

	山居遺跡第I群土器					鉢 a類	皿 a類		
	深鉢								
	a類	b類	c類	d類	e類				
包1層	○	○	○	○	○	○			
包2層	○	○	○	○	○	○			
包3層			○			○			
包4層	○	○	○	○	○	○			
包4b層		○				○			
包5層	○	○	○	○	○	○			
包6a層	○	○	○			○			
包6b層	○	○	○	○	○	○			
包6c層	○	○	○	○	○	○			
包6e層			○			○			
包6f層	○	○	○	○	○	○			
包7層	○					○			
包7b層	○			○	○	○			
包8層			○	○	○	○			
包8a層			○	○	○	○			
包8b層	○			○	○	○			
包9a層			○	○	○		○		
包9b層	○			○	○	○			
包9c層	○					○			
包9e層						○			
包10層	○	○		○	○	○			
包11a層				○	○	○	○		
包11b層						○			
包12a層						○			
包12b層	○				○	○			
包12c層	○				○	○			
包13層						○			
包14層	○				○	○			
包15層	○	○	○		○	○	○		
包16層	○					○	○		

第12表 摺萩遺跡第I遺物包含層との比較

I群土器のすべてに認められるものではなく、SX01①北東側遺物包含層の約3分の1の土器にその含有が認められる。含有の認められる土器に精粗の区別は認められない。東北地方北部3県の晩期前葉の分析（西田 1994）によれば、「傾向としては岩手県ではごく少量しか含まない」とされ、南三陸の寺前I遺跡・上鷹生遺跡では10%にも満たないものであった。その点、山居遺跡の第I群土器の約3分の1の土器に海綿状骨針が認められるのは、地域的な特色のひとつとして数えられよう。山居遺跡の場合、精粗の別なく用いられており、搬出・搬入の関係というよりは粘土採取に適した海成粘土層が近くにあり、隨時採取して利用されていたものと考えられよう。

#### B. 土器製作上の特徴

第I群土器の土器製作上の特徴としては、擬口縁をなす粘土積み上げを示すものが少なく、剥落箇所の観察によれば、多くはごく薄い板状にした粘土を重ね合わせるようにして積み上げ、最後に薄い器壁に仕上げている。底部は丁寧なミガキが施されている。ミガキの掛けられた底部の粘土剥落下から、網代の痕跡が現れているもの（第249図21）もある。

#### C. 地文の特徴

第I群土器の地文には、縄文が用いられている。深鉢形土器に用いられる縄文は概して1単位の幅が広いものが用いられ、縄文原体末端が整然と横走するものが多い。縄文の構成には、横位回転によって非結束の羽状縄文とするものと単純に帶を重ねる斜行縄文とするものがある。縄文の種類には通常の2本撚り合わせの單節縄文（LR, RL）のほかに、附加条としたものがある。皿形土器に用いられる縄文は概して細かいものが選択的に用いられている。

#### D. 器種組成の特徴

第I群土器の器種組成は、深鉢形土器が約9割以上を占め、若干の皿形土器や鉢形土器を伴うものである。参考までに、摺薪遺跡第VII期土器では約75%を深鉢・鉢形土器が占め、残りの約25%を皿形土器、注口土器が占めている。里浜貝塚西畑地区では約73%を深鉢・鉢形土器が占め、残りの約27%を浅鉢・皿形土器、注口土器、小形土器が占めており、ほぼ同様の傾向性を示している。器種組成における深鉢形土器の卓越が山居遺跡第I群土器の特色のひとつと考えられる。

#### E. 土器の使用痕跡

深鉢形土器の内外面に、炭化物の付着するものが他類土器と比べて、顕著である。土器に付着する炭化物は、内面に付着するものは「おこげ」、外面に付着するものは「煤よごれ」に相当するもの（小林 2003）である。内面に付着する炭化物では発泡状を呈するものがある。鉢形土器にも炭化物は付着しており、深鉢形土器と同様に煮沸に用いられたものである。皿形土器には炭化物の付着するものはない。

### （3）第II群土器（第250図）

#### ①土器の分類

山居遺跡第II群土器では、深鉢形土器を主体に浅鉢形土器を伴う。器形と文様のあり方から、次の類型がある。

**深鉢a類**：小さな貼瘤の付されるいわゆる「瘤付土器」である。器形は頸部で緩やかにくびれるものとくびれ部を持たずに、口縁部が緩やかに内湾するものがある。文様意匠は入組帶状、凸レンズ状、鍵の手状としたものがある。連続した小瘤の脇に刻目文を施したもの（3）、沈線間に交互ミガキを施したもの（2）がある。

**深鉢b類**：櫛描による文様が施されるものである。器形の全体は明らかではないが、口縁部が緩やかに内湾する単純な器形と考えられる。櫛描文は横位ないしは入組帶状に施されている。

**深鉢c類**：胴下部に格子状沈線文が施されるものである。

**深鉢d類**：口縁部が緩やかに内湾し、縄文または無文のものである。縄文は指幅1、2本分の幅の狭いものである。非結束の横位羽状縄文と横帶を重ねる斜行縄文がある。

**浅鉢a類**：小型無文の浅鉢である。口縁部は外傾している。底面はやや揚底風に調整されている。

## ②第Ⅱ群土器の類例

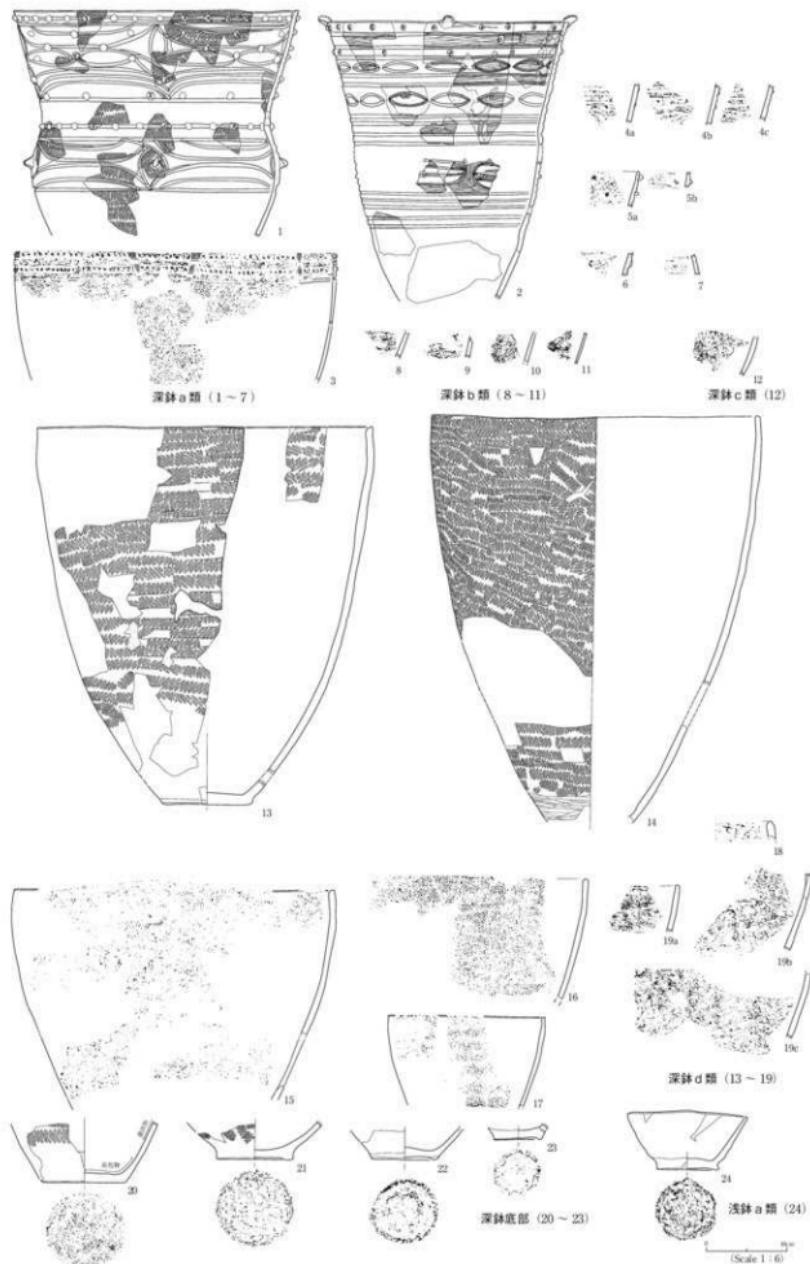
山居遺跡第Ⅱ群土器に類する土器は、宮城県丸森町岩ノ入遺跡（志間 1956）・清水遺跡（志間 1960）、名取市金剛寺貝塚（後藤 1960）、東松島市里浜貝塚台廻地区（齋藤 1960・1968、樺 1968、小井川 1980）・風越地点（東北歴史資料館 1997、小井川 2004）、七ヶ浜町二月田貝塚（宮城県塩釜女子高等学校社会部 1970・1971）、亘理町畠中貝塚（宮城県教育委員会 1986）、田柄貝塚（宮城県教育委員会 1986）、大崎市中沢貝塚（須藤編 1995）、涌谷町ツナギの沢貝塚（涌谷町教育委員会 2004）において見出すことができる。特に、近年の田柄貝塚・中沢貝塚・里浜貝塚風越地点の調査では、精緻な分層発掘調査が行われ、土器型式の連続的な変化が把握されている。ここでは、1991年に発掘調査が行われ、1997年に報告書が刊行され、改めて土器の接合状況による帰属層位の検討結果が公表された里浜貝塚風越地点（小井川 2004）に基いて検討する。

山居遺跡第Ⅱ群土器に類する土器は、里浜貝塚風越地区M区d（80・81層）及びN区d（193～214層）から出土した「瘤状小突起施文の土器群」（風越Ⅱ群土器）に相当する。風越地区ではN区197層の「刺突刻目」が施された1小片以外はすべて瘤状小突起施文の土器群から成り立っている。少なくとも山居遺跡第Ⅱ群土器の中には「刺突刻目文」のみによって構成される土器ではなく、風越Ⅱ群土器と同様のものと考えられる。「刺突刻目文」に関しては、山居遺跡第Ⅱ群土器深鉢a類の第250図3では連続する小貼瘤間に部分的にではあるが、連続刺突の施された箇所がある。

## ③第Ⅱ群土器の年代

以上の比較検討により、山居遺跡第Ⅱ群土器は風越Ⅱ群土器に相当する。

これらの土器は縄文時代後期後葉の「金剛寺式」（伊東 1957）と呼ばれる土器型式にあたり、近年の研究成果によるのであれば「宮戸Ⅲa式」（後藤 1957・小井川 2004）に相当する。「宮戸Ⅲa式」は宮戸島里浜台廻貝塚第一層土器を標準とし、「瘤状小突起を有するもの、入組文・列点刺突・刷毛目を有するものと細別されたが、これらも同層位中より出土せるもので、時間的な差がなく、同時期のもの」（後藤 1956）とされていたのが、後に「宮戸Ⅲa式」「宮戸Ⅲb式」に細分された。その後の分層発掘成果によるのであれば、この区分は有効なものであった。山居遺跡の調査もこの区分の有効性を支持するものであり、山居遺跡第Ⅱ群土器はすべて「宮戸Ⅲa式」の範疇で捉えられるものである。



第250図 第II群土器の構成 (SX01土中遺物包含層  
(2a)土母上面・2b)土母出土)

#### ④ 第Ⅱ群土器の特徴

##### A. 胎土の特徴

第Ⅱ群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。胎土には砂粒をやや多く含む粗粒のものがほとんどで、なかには3~5mm程の炭末を若干含む土器も見られる。土器圧痕の分析では道管組織が確認され、木の小片と同定された。これは第Ⅱ群土器の大型品胎土にやや目立つ特徴であるが、他の土器にも少なからず認められる。こうした砂粒の目立つ胎土のほかに、胎土精良のもの（第250図2）がわずかに認められる。胎土精良の土器では外面の火ハジケが顕著となっている。

##### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものが多い。参考までに大型品では外面に幅1~1.5cmの粘土帯の積み上げ痕を残すもの（13）がある。器外面の積み上げ痕は縄文の施文幅にはほぼ一致している。粘土の積み上げ方は粘土帯ないしは粘土紐の上部に単純に積み上げていくもののはかに、断面内削ぎ状をなす上部に積み上げていくものが認められる。

底部には深鉢・浅鉢ともにごく低い台が付されるものがある。この台部は粘土紐の貼り付けによるもののはかに、削り出しによるものも見られる。台の付されないものでも底面はケズリ調整の後にミガキが施されており、木葉や網代の痕跡は認められない。

##### C. 地文の特徴

指幅1本分の幅の狭い羽状縄文・斜行縄文を基本としている。附加条の施されるものではなく、2本撚り合わせの単節縄文である。斜行縄文の中には、まれにLR/LLといった撚り戻し原体（15）も見られる。撚糸文は認められない。少数の櫛描文が認められる。

##### D. 器種組成の特徴

深鉢形土器が95%以上を占める。深鉢形土器の中には、口径40cm前後の大型品（1・3・13・14・15）と中小型品がある。他に浅鉢を若干伴う。

##### E. 土器の使用痕跡

大型の深鉢形土器では外面に被熱の痕跡や煤汚れの見られる土器でも、内面に炭化物が付着するものは認められなかった。中小型品でも内面に炭化物の付着するものは認められず、炭化物が土器胎土に沈着したものが認められた。

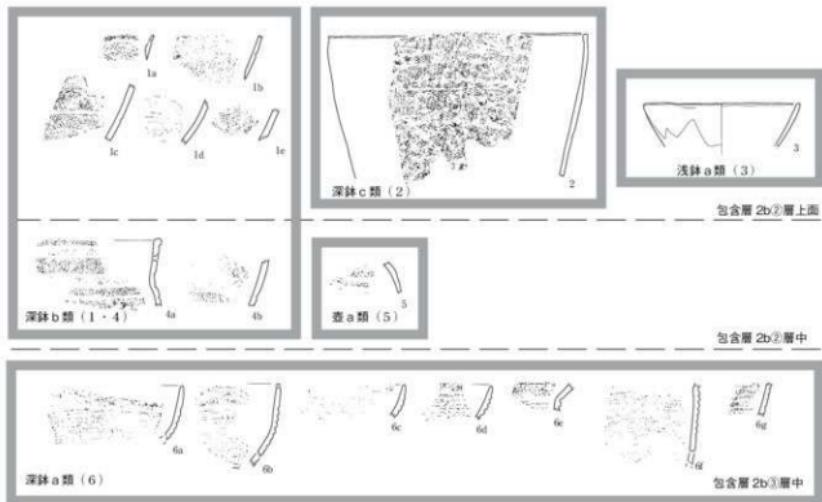
#### （4）第Ⅲ群土器（第251図）

##### ① 土器の分類

山居遺跡第Ⅲ群土器は深鉢形土器を主体とし、若干の浅鉢・壺形土器を伴う。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。

**深鉢a類**：頭部にくびれがあり、口縁部が緩やかに内湾する器形である。縄文地に横位の反転平行沈線文が施されている。

**深鉢b類**：頭部にくびれがあり、口縁部が緩やかに内湾する器形である。弧状ないしは直線状の文様意匠が磨消縄文によって構成されている。磨消は丁寧なミガキによって施され、磨消部がやや低くな



第251図 第III群土器の取上げ層位と土器分類（SX01②南側遺物包含層  
2b②層上面～2b③層中出土）

るものもある。

**深鉢c類**：口縁部は緩やかに内湾する。地文には斜行～横走する縄文が施されている。

**浅鉢a類**：口縁部が緩やかに内湾する無文の浅鉢である。

**壺a類**：胴部にやや幅の広い平行沈線文が配されるものである。無文部は彫去風のミガキが施されている。

#### ②第III群土器のSX01②南側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

第III群土器はB2～C2北ベルトの調査において最も多く出土した。B2～C2北ベルトでは、砂礫層包含層2b②層の上面において安定面が検出され、B2～C2北ベルトでは深鉢b類が出土した。C3西ベルトでは、深鉢c類・浅鉢a類が同一面から発見されている。砂礫層の包含層2b②層中からは深鉢b類と壺a類が出土している。同じく砂礫層の包含層2b③層からは深鉢a類が出土している。

#### ③第III群土器の類例

山居遺跡第III群土器は、宮城県石巻市宝ヶ峯遺跡（伊東 1957、志間・桑月 1991）、東松島市里貝塚台開地区（後藤 1956・1957）、美里町青島貝塚（加藤・後藤 1975）、気仙沼市田柄貝塚（宮城県教育委員会 1986a）、仙台市伊古田遺跡（仙台市教育委員会 1995）、王ノ塙遺跡（仙台市教育委員会 2000）、涌谷町ツナギの沢貝塚（涌谷町教育委員会 2004）、登米市坂戸遺跡（迫町教育委員会 2005）において見出すことができる。ここでは、1989～1992年にかけて調査された仙台市王ノ塙遺跡の分層成果に基いて検討する。

王ノ塙遺跡ではⅦ～X層の調査でI段階→II段階→(Ⅷ層：黄褐色砂層／洪水平積層)→Ⅲ・Ⅳ段階の層位別・地点別の資料が得られている。I段階は平行沈線文を多用した土器で、反転平行沈線文の施されるものはない。II・III段階が反転平行沈線文が特徴的に認められる土器で、山居遺跡第Ⅲ群土器深鉢a類に相当する。IV段階がS字状・クランク状の文様意匠に充填繩文を施し、口縁部や文様帶の上下には刻目文による刺突列を施すものである。これらの土器は山居遺跡第Ⅲ群土器深鉢b類・c類土器に相当するものと考えられる。

#### ④第Ⅲ群土器の年代

以上の検討により、第Ⅲ群土器深鉢a類を中心とする土器は王ノ塙遺跡II・III段階、第Ⅲ群土器深鉢b類・c類を中心とする土器は王ノ塙遺跡IV段階に相当し、これらは繩文時代後期中葉の「宝ヶ峯式」(伊東 1957、志間・桑月 1991) や「宮戸Ⅱa式・Ⅱb式」(後藤 1957) と呼ばれる土器型式に相当する。

#### ⑤第Ⅲ群土器の特徴

第Ⅲ群土器の特徴として、次のものがある。

##### A. 胎土の特徴

第Ⅲ群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。砂粒のほかに、特に顕著な胎土の特徴は認められない。

##### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものが多い。積み上げ幅は概ね2～2.5cmほどである。壺などを除いて、粘土帯は下位の粘土帯の上部ないしはやや外側に積み上げている。

##### C. 地文の特徴

繩文では0段多条の単節繩文が多用され、附加条の施されるものはない。横位斜行繩文、横走繩文、羽状繩文が施される。羽状繩文では、同一原体の縱回転・横回転によるものと、RL／LRの異種原体によるものがある。文様意匠を持つものでは、充填繩文が施され、その後丁寧なミガキが施され、繩文施文部よりもミガキ部が1段下がるものが多い。撫糸文は確認されなかった。少数の櫛描文が認められる。

##### D. 器種組成の特徴

深鉢形土器が約9割を占める。このほか、浅鉢・壺形土器がある。

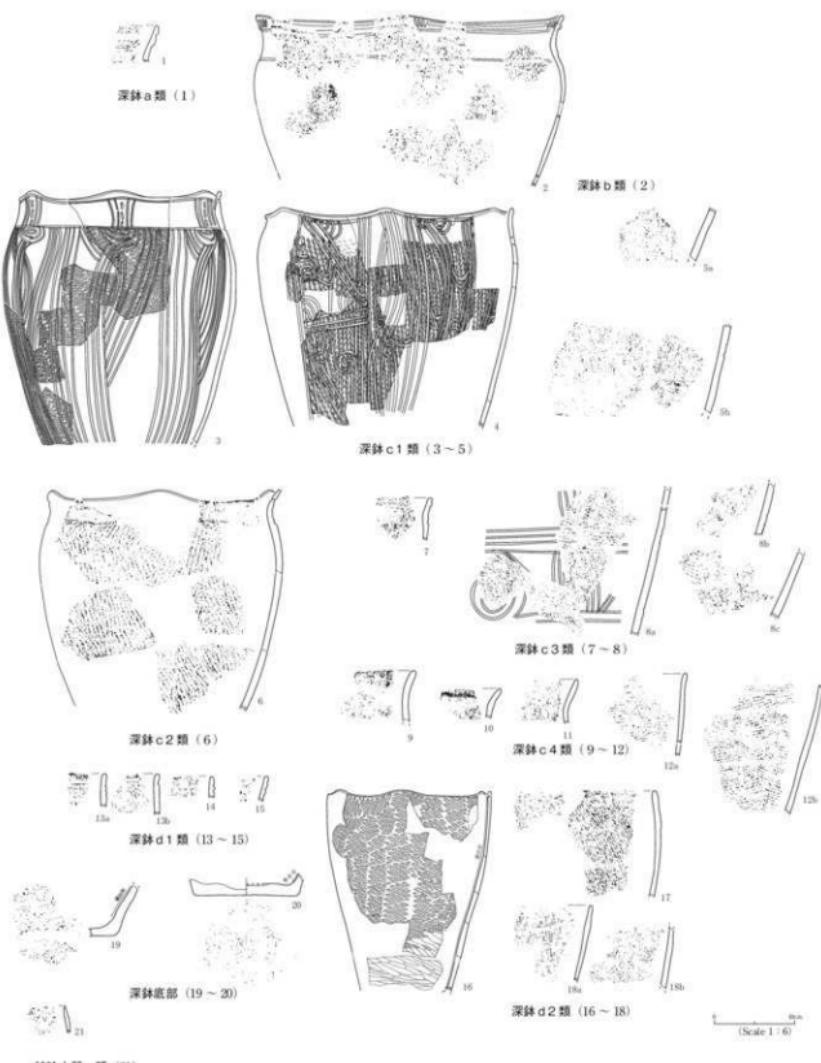
##### E. 土器の使用痕跡

炭化物の付着するものが認められる。浅鉢a類の内面下部には炭化物の沈着が認められ、煮沸に用いられたものである。

#### (5) 第Ⅳ群土器 (第252図)

##### ①土器の分類

山居遺跡第Ⅳ群土器では深鉢形土器を主体とし、袖珍土器を伴う。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。



第252図 第IV群土器の構成 (SN01(3)北西側遺物混合層  
Ⅱa層上面—Ⅱa層中出土土器)

**深鉢a類**：頸部で緩やかにくびれ、口縁部は短くやや内湾する。口縁部には凹線文が施されている。

**深鉢b類**：頸部が緩やかに外反し、口縁部は外傾する。口縁部分は複合口縁状に肥厚する。口縁部には円形の盲孔・弧状文・凹線文が施されている。

**深鉢c類**：口縁部は緩やかに外反する。施される文様の種類によって次の4類に分けられる。

- ・1類：3~4本を単位とする多条沈線文によって文様が施される土器である。文様は懸垂文を基調とし、横渦巻文（3）、渦巻文（4）、対角線上の斜行文（4・5）がある。多条沈線の交点部分は小フック状をなすもの（4）がある。
- ・2類：押圧縄文を用いた装飾が施される土器である。押圧縄文は口唇直下や口縁部の無文帶直下をめぐる。
- ・3類：磨消や充填縄文によって文様が施される土器である。
- ・4類：口縁部を無文帶とし、地文のみの施されるものである。

**深鉢d類**：口縁部はわずかに内湾する。施される文様の種類によって次の2類に分けられる。

- ・1類：文様の施されるものである。横格円形文（13・14）や円文（15）が施されている。
- ・2類：地文のみの土器である。口縁部に無文帶が設けられるものと設けられないものがある。

**袖珍土器a類**：積み上げ痕を残す口径約3cmほどの袖珍土器である。

## ②第IV群土器のSX01③北西側遺物包含層における分層成果

第IV群土器が出土したSX01③北西側遺物包含層Ⅱa層上面～Ⅱa層中における一括遺物をまとめたのが、第13表である。包含層Ⅱa層上面からⅡa層中まで、特に大きな変化は窺えず、ひとつの土器群と考えることができる。多条沈線文の施される深鉢c1類と地文のみのc4類を主体に、他の類型の土器を若干伴っている。

	深鉢								袖珍		底部	
	a類	b類	c1類	c2類	c3類	c4類	d1類	d2類	a類	網代底	木葉底	
Ⅱa層上面			1	3			1			1		
Ⅱa層中	2		28	2	3	7	5	6		2	1	

第13表 第IV群土器のSX01③北西側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

## ③第IV群土器の類例

山居遺跡第IV群土器は、宮城県内では、石巻市南境貝塚（宮城県教育委員会 1969b、後藤勝彦 1974・2004・2005）、川崎町湯坪遺跡（宮城県教育委員会 1978）、大和町金取遺跡（宮城県教育委員会 1980b）、仙台市山口遺跡（仙台市教育委員会 1981・1984）、蔵王町二屋敷遺跡（宮城県教育委員会 1984a）、川崎町前田遺跡（宮城県教育委員会 1987a）・西林山遺跡（宮城県教育委員会 1987a）、仙台市下ノ内浦遺跡（仙台市教育委員会 1996）、登米市坂戸遺跡（追町教育委員会 2005）ほかにおいて類例を見出すことができる。特に石巻市南境貝塚では良好な層位関係のもとに本群土器が発見されており、ここで若干の比較検討を行う。

### 石巻市南境貝塚（第253・254図）

遺跡は同じ石巻市の旧北上川の下流部に位置し、山居遺跡とは13.5km離れているに過ぎない。調査は1967・68年に行われ、その概報が1969年に刊行されている。その時の調査担当者の一人によっ

て、分層成果の概要が取りまとめられている（後藤 1974・2004・2005）。特に隣接する7・8トレンチは良好な層位を示しており、7トレンチ第6中層（貝層）と8トレンチ第4層（第1貝層）、7トレンチ第8層（混貝土層）と8トレンチ第6層（第2貝層）が同一層と捉えられている（後藤 2005）。

山居遺跡第IV群土器は、7トレンチでは第4層～第8層、8トレンチでは第2層～第6層において出土している。南境貝塚では、十腰内第I群土器（今井・磯崎 1968）と見られる土器が7トレンチでは第3層～第7層（第253図22～23、42～62、92、107）、8トレンチにおいては第3層～第4層（第254図27～44、68）において出土しており、山居遺跡では工事排土（第9図11～17）内で確認することはできたが、SX01③北西側遺物包含層では全く確認することができなかった。特に南境貝塚7トレンチ第4層（獸魚骨層）と8トレンチ第3層（褐色土層）においては、図示された土器の約半数がこうした十腰内I群土器で占められており、少なくともSX01③北西側遺物包含層を基準とする山居遺跡第IV群土器がこうした段階に相当するものではない。

一方、十腰内第I群土器の伴出状況を基準に南境貝塚7・8トレンチの分層成果を再検討すると、①十腰内第I群土器を伴出しない段階：7トレンチ第8層・8トレンチ第5～6層、②十腰内第I群土器をごく少数伴出する段階：7トレンチ第5～7層・8トレンチ第4層、③十腰内第I群土器がある一定量占める段階：7トレンチ第4層・8トレンチ第3層、④十腰内第I群土器が再びごく少数伴出するに過ぎない段階：7トレンチ第3層の一部・8トレンチ第2層下層（注1）の四つの段階に分けることができる。7トレンチ第4層・8トレンチ第3層で約半数を占めた十腰内第I群土器は、その上層（黒色土層）では再び少数例に戻っており、一時的に増加したに過ぎないことがわかる。

（注1）8トレンチQ-R区第2層（黒色土層）下層において「タテ沈線・帯繩文系」土器が出土した旨の記述はあるが、第2層下層出土の帶繩文系土器（十腰内第I群土器）は図示されなかった。隣接する7トレンチ第3層（黒土層）では、逆に十腰内第I群土器2点のみが図示されている。

#### ④第IV群土器の年代

山居遺跡第IV群土器は後期前葉の南境式（伊東 1957）の一部に相当する。南境貝塚7・8トレンチの分層成果によって土器の分析を行った後藤勝彦は、後期初頭から前葉の土器編年は、8トレンチでは第9層土器：門前式周辺→第7・8層土器：宮戸I b式→第4～6層：宮戸I b式より新しい土器群→第3層土器：東北北半の影響の強い土器群とし（後藤 2005）、第7・8層土器の「宮戸I b式」（注2後藤 2004・2005）以外は、型式未命名の土器群とした。山居遺跡第IV群土器は南境貝塚8トレンチ第4～6層の「宮戸I b式より新しい土器群」に相当する。

名取川水系を断続的に調査する仙台市教育委員会では、後期初頭～前葉の土器編年を次の4段階に細分（仙台市教育委員会 1996）する。六反田I群→六反田II群→下ノ内浦第III群→山口遺跡8・10層とされ、六反田I・II群土器は多条沈線文土器を欠く段階とされ、山口遺跡8・10層は「多条沈線文を主体とし、十腰内I式の新しい部分や堀ノ内2式、加曾利B1式土器が混じてくる段階」と理解されている。下ノ内浦第III群土器は多条沈線文を含む土器群で、第11層～第13層までの分層発掘によって、層位的な土器の変遷が明らかにされている。その分析によると、第1グループから第2グルー

ブへの変遷が認められ、第2グループにおいて異系統土器がわずかに混在するとされており、下ノ内浦第Ⅲ群から山口遺跡8・10層土器への変遷を通して、南境貝塚における異系統土器のあり方がこの地域においても概ね成立する可能性が高い。しかしながら、異系統土器の出現時期は地域によって異なる可能性も一方では否定できず、ここでは細分せずに山居遺跡第Ⅳ群土器は下ノ内浦第Ⅲ群土器に概ね相当するとだけ捉えておく。

参考までにSX01③北西側遺物包含層Ⅱa層出土の第Ⅳ群土器のAMSによる較正年代はcal BC2030年(ISK-3)であった。

(注2)「宮戸Ⅰb式」に関しては、後藤の最新の見解(後藤 2004・2005)に従う。「宮戸Ⅰb式」(後藤 1957)は当初、里浜貝塚台地の第三層(第3貝層-土層)出土の「第1類: 隆線・後縫文土器」・「第2類: 滴巻線刻施文土器」の第2類土器を意味した。調査時の所見(後藤 1956)では、第1類・第2類ともに共伴し、同一時期のものとされ、「第三層土器」は関東地方の堀之内式に相当すると位置づけられた。論文(後藤 1957)では、第三層土器は「宮戸Ⅰa式」・「宮戸Ⅰb式」に細分され、堀之内Ⅰ・Ⅱ式に相当する編年序列が考案された。

1966年の松島町西ノ浜貝塚Aトレンチの調査で「宮戸Ⅰ式の細分は確定になった」(宮城県教育委員会 1967)とされ、下部貝層からは宮戸Ⅰ式第1類土器、上部貝層からは宮戸Ⅰ式第2類土器が出土したとされる。報告中、「宮戸Ⅰa式」・「宮戸Ⅰb式」は用いられず、下部貝層土器は「大木10式でも新しいもの」、上部貝層土器は宮戸Ⅰ式(2)とされた。こうした考え方には1967・68年の南境貝塚の調査にも継承され、概報(宮城県教育委員会 1969b)では7トレンチの第4層(獸魚骨層)～第11層上層(カキ純貝層)までの十段内系を示す「××」も含めたすべてが「宮戸Ⅰb式」とされ、「宮戸Ⅰb式」は「大木10式」に後続する後期初頭～前業部分すべてを包括する型式名称として用いられた。

1974年に後藤は南境貝塚7トレンチと5・6トレンチの分層成果に基づき、「宮戸Ⅰ式周辺」の再検討(後藤 1974)を行った。この中で後藤は「宮戸Ⅰb式」の範囲を7トレンチの第6層上層～第11層上層までとし、十段内系を示す「××」を含む第4・5層を「宮戸Ⅰb式」から除外した。また「宮戸Ⅰa式」も大木10式の新しい部分ではなく、後期初頭に位置づけられるとされ、本文中では型式名は明示されなかったが、7トレンチの第11層中層～第12層の「△△」に「宮戸Ⅰb式」は後続するとした。その上で、後藤は「宮戸Ⅰb式」を第1～16類に分類し、さらにA・B・Cの3群に分けられたとした。このうち、層位的に「A群土器」は7トレンチ第9・10層出土土器に、「B群土器」は同じく第6・7層出土土器に相当するとし、このうち上層の多条沈線文土器を含むB群土器を「堀之内Ⅰ式に併行することは確実」であり、「宮戸Ⅰb式」はこのB群土器を指すと改めて定義した。C群土器は7トレンチ第4・5層において出土する宮戸Ⅰb式に後続する「東北北半十腹内Ⅰ式、大湯式の影響」が強い土器とし、層位的には「B群土器と混在している」とした。A群土器は「今までの宮戸Ⅰb式から細分分離することが妥当」とした。

2004・2005年には後藤は改めて南境貝塚7・8トレンチの再検討を行った。両トレンチの層位相間を明らかにした上で、7トレンチ第9～11層(8トレンチ第7・8層)が「宮戸Ⅰb式」、7トレンチ第6～8層(8トレンチ第4～6層)が「宮戸Ⅰb式より新しい一群」とした。1974年の群設定に従うのであれば、一転して下層のA群土器を「宮戸Ⅰb式」にしたことになるが、こうした所見はすでに発掘調査日誌にも記されていたことが明かされており(後藤 2005)、元の「宮戸Ⅰb式」に戻ったとも言えよう。

## ⑤第Ⅳ群土器の特徴

第Ⅳ群土器の特徴として、次のものがある。

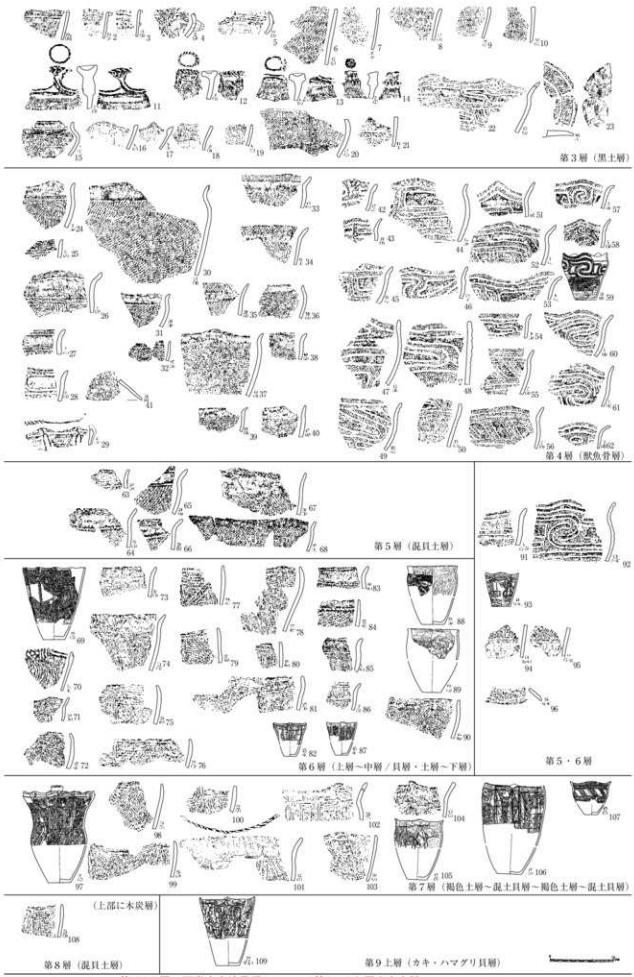
### A. 胎土の特徴

第Ⅳ群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。砂粒のほかに、特に顕著な胎土の特徴は認められない。

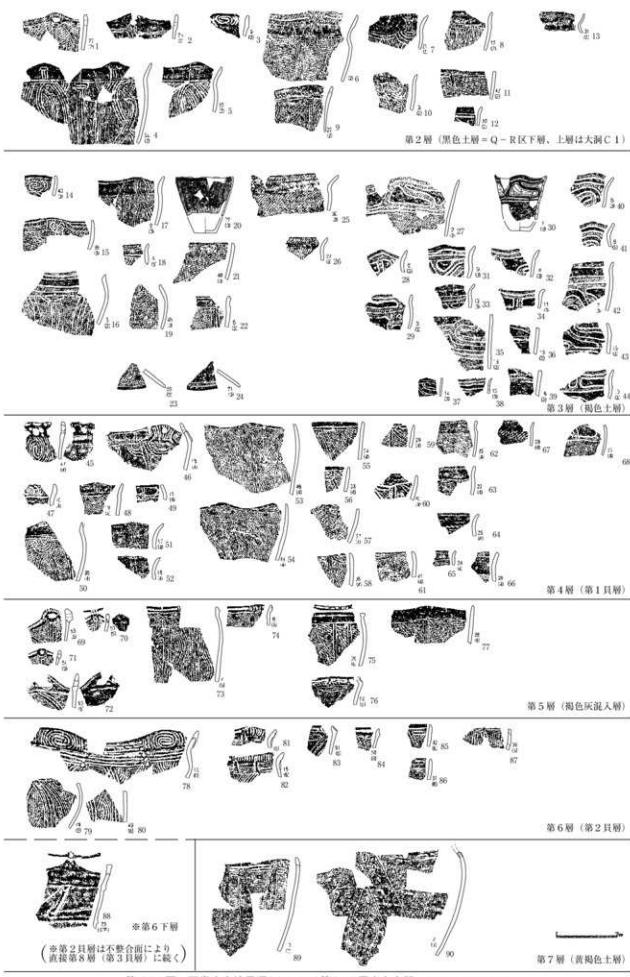
### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものが多い。積み上げ幅は概ね3cmほどである。粘土帯は下位の粘土帯のやや外側に積み上げている。

底面には網代底・木葉底・無文の3種があり、木葉底が74%を占める。網代底には、1本越1本潜・



第253図 石巻市南境貝塚7トレンチ第3~9上層出土土器 (後藤 2004を改変)



第254図 石巻市南境貝塚8トレンチ第2~7層出土土器 (後藤 2005を改変)

2本越2本潜のほかに、菱形状の模様編みとしたものがある。

#### C. 地文の特徴

地文には縄文と撚糸文、櫛描文がある。縄文が約半分を占め、ほかに撚糸文、櫛描文がある。このうち縄文は2本撚り合わせの単節縄文（LR）がほとんどを占め、附加条の施されるものはない。若干のRL単節縄文、RLR複節縄文、稀少例としてLRR縄文・RR縄文を伴う。口縁部は横位斜行縄文、胴部は縦位斜行縄文、横走縄文、縱走縄文が施されるものが多い。胴部には比較的高い頻度で横走縄文が見られ、中には扇状に施文されたもの（第252図12）もある。意匠文との関係では磨消縄文となるものと、充填縄文になるものの双方が認められる。

撚糸文は細いR撚糸文がほとんどを占める。わずかに細いL撚糸文とやや太目のLR撚糸文が施されている。多くは縱走～斜走する撚糸文で走行方向に齊一性の見られるものほかに、ローラー状に乱雑に折り返して施文されたものもある。櫛描文はわずかに認められるに過ぎない。まれに器面調整の縦ケズリの痕跡をそのまま残したものも見られる。

#### D. 器種組成の特徴

1点の袖珍土器以外は、すべて深鉢形土器である。

#### E. 土器の使用痕跡

深鉢形土器の内面下部に環状に炭化物が付着するものが多く見られる。外面では底面全体に煤状炭化物が付着するもの、底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するもの、全体に被熱による赤化・脆弱化したものがある。底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するもの（注3）は何らかの支脚が用いられたものと考えられる。

（注3）最も典型的な例は写真図版28-3-1、60-2-4参照。底面外縁に煤状炭化物が付着し、底面中央には炭化物はほとんど付着していない。

### （6）第V群土器（第255図）

①土器の分類 山居遺跡第V群土器は深鉢形土器から構成される。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。

深鉢a類：口縁部に環状把手が設けられ、口縁部・胴部ともに文様が施されるものである。胴部には懸垂文を基調とする文様が施される。器形により2種に細分される。

- ・1類：口頭部が緩やかに外反するものである。
- ・2類：口縁部が緩やかに内湾するものである。

深鉢b類：環状把手の設けられないものである。胴部には懸垂文を基調とする文様が施される。円形の盲孔・円形竹管文の施されるものがある。器形により2種に細分される。

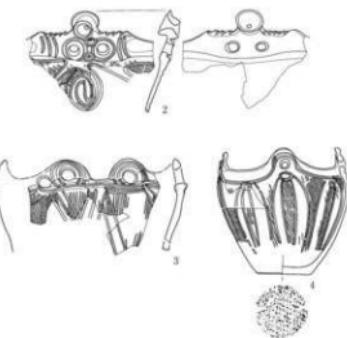
- ・1類：口頭部が緩やかに外反するものである。
- ・2類：口縁部が緩やかに内湾するものである。

深鉢c類：地文のみのものである。無文帯の設けられるものがある。器形により2種に細分される。

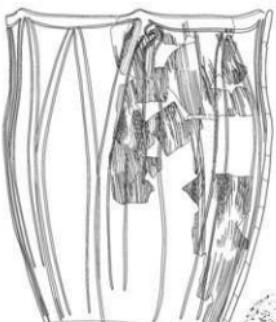
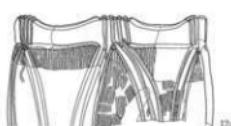
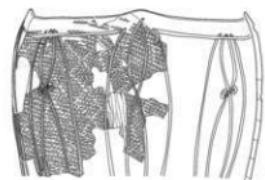
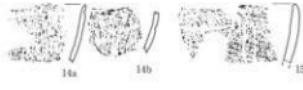
- ・1類：口頭部が緩やかに外反するものである。



深鉢 a1型 (1)



深鉢 a2型 (2-4)



深鉢 b2型 (14-19)

Scale 1:60

深鉢 b1型 (5-13)

第255-1図 第V群土器の構成 (1) ( SX031 大西町遺跡各層別 )  
- II b1型上面飾土器



第255-2図 第V群土器の構成(2) (SX01③北西遺物包含層)  
— IIa層下部②層上面  
— IIb①層上面出土土器

・2類：口縁部が緩やかに内湾するものである。

### ②第V群土器のSX01③北西側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

ここでは、第V群土器が最も良好な状態で出土した包含層IIa層下部②層上面～IIb①層上面の一括遺物をまとめたのが、第14表である。包含層IIa層下部②層上面からIIb①層上面まで、特に大きな変化は窺えず、ひとつの土器群と考えることができる。深鉢b類・c類の外反形・内湾形深鉢を主体に、装飾性に富んだ環状把手が設けられた深鉢a類が若干伴う。

	深鉢						底部		
	a1類	a2類	b1類	b2類	c1類	2類	綱代底	木葉底	無文
IIa層下部②層上面		2	3	2	1	2	1	1	
IIa層下部②中			1	4	1	5			
IIb①層上面	1		5	5	3	6	8	2	2

第14表 第V群土器のSX01③北西遺物包含層における取上げ層位と土器分類

### ③第V群土器の類例

宮城県内では東松島市里浜貝塚台地地区（後藤 1956）、石巻市南境貝塚（伊東 1957、宮城県教育委員会 1969b、後藤 1974・2004・2005）、松島町西ノ浜貝塚（宮城県教育委員会 1967）、美里町青島貝塚（加藤・後藤 1975）、大和町金取遺跡（宮城県教育委員会 1980b、大和町教育委員会 2004）、仙台市六反田遺跡（仙台市教育委員会 1981b・1987）、白石市菅生田遺跡（宮城県教育委員会 1982b）、蔵王町二屋敷遺跡（宮城県教育委員会 1984a）、色麻町大谷地遺跡（宮城県教育委員会 1984b）、気仙沼市田柄貝塚（宮城県教育委員会 1986a）、登米市坂戸遺跡（追町教育委員会 2005）ほかにおいて見出すことができる。また、北上川中流域の岩手県一関市貝鳥貝塚（岩手県花泉町教育委員会 1971）・清水遺跡（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2002）においても貝層や遺物包含層の分層発掘が行われている。ここでは、北上川中下流域の石巻市南境貝塚・一関市貝鳥貝塚、名取川水系の仙台市六反田遺跡との若干の比較検討を行う。

#### A. 石巻市南境貝塚

遺跡の位置や調査の概要は第IV群土器の項で述べたとおりである。ここでも7・8トレンチ（宮城県

教育委員会 1969b、後藤 2004・2005) の分層成果に基いて、概観する。

・7トレンチ第8層・8トレンチ第5~6層土器：多条沈線文を含み、十腰内第I群土器を含まない（第253・254図参照）。

・7トレンチ第9~11層・8トレンチ第7~8層土器：特に7トレンチでは純貝層と混貝土層が互層状（カキ・ハマグリ貝層、混貝土層、褐色混貝土層、カキ純貝層、混貝土層、ハマグリ純貝層）となり、良好な層位のものに、まとまった一群の土器が検出されている。器形は山居第V群土器同様、外反形深鉢と内湾形深鉢の2種からなる。口縁部には環状把手が付されるものもあり、胴部は1・2本単位の各種懸垂文が主体をなし、3本単位のものも見られる。懸垂文は弧状・波状・鎖状のものがある。こうした点も山居遺跡第V群土器と共通したあり方と考えることができる。

#### B. 一関市貝鳥貝塚

遺跡は旧花泉町にあり、山居遺跡の約24km北北西、北上川の支流追川水系の夏川流域の広義の仙台平野最北部に位置している。調査は1956年以降断続的に行われ、1971年に報告書が刊行されている。ここでは、1969年の第4次調査に基く。

関東地方の称名寺式・堀之内I・II式と並行関係にあるものとして、貝鳥貝塚第II群土器が設定されている。分層成果のすべてが明らかにされたものではないが、実測の行われた主な土器はすべて地区・層位が明らかにされており、これを手がかりに概観する。

・18~29層土器：3~4本の多条沈線文を主体とする土器である。山居遺跡第IV群土器に相当する。

・30~33層土器：1~2本の沈線文によって懸垂文が施される土器である。波頂部には円形の盲孔や凸レンズ状文が施されるものがある。山居遺跡第V群土器に相当するものである。

#### C. 仙台市六反田遺跡

遺跡は仙台市でも南部の太白区に所在する。山居遺跡の約56km南西、名取川水系の荒川右岸に位置している。調査は1976年以降度々行われ、1987年にこれまでの調査成果が総括（仙台市教育委員会 1987b）されている。後期初頭～前葉の土器群は第I群土器（I区第9b層出土）、第II群土器旧相（II区第9b層出土）、第II群土器新相（II区第9a層出土）と一応地区と層位によって分けられている。

II区第9a層は暗褐色シルト層で上面には埋設土器などが認められ、第9b層は黒褐色シルト層で人為的な遺物包含層となっている。第9a層出土土器には少量ながら多条沈線文土器が含まれており、画然と下ノ内浦第III群土器と分離されているわけではない。「II区第9a層出土土器は、基本的にはII区第9b層のものと共通するが、文様に変化がみられる。胴部に単位文としての蕨手文のみを配すると考えられるものが出現している。」とされ、第9a層出土土器には第9b層出土土器と同様のものが多く、南境貝塚のような良好な層位は得られていないものの、蕨手文出現の画期とされている。

#### ④第V群土器の年代

山居遺跡第V群土器は後期前葉の南境式（伊東 1957）の一部に相当する。南境貝塚の分層成果によつて土器の編年研究を行つた後藤勝彦は7トレンチ第9~11層・8トレンチ第7・8層土器（後藤 2004・2005）を縄文時代後期前葉の「宮戸Ib式」（後藤 2004・2005）に位置づけており、山居遺跡第V群土器は「宮戸Ib式」に相当する。

名取川水系を調査する仙台市教育委員会の調査成果によるのであれば、六反田Ⅱ群土器新相とされた段階に概ね相当する。前述のとおり、六反田遺跡においては必ずしも良好な層位は得られてはいなないながらも、多条沈線文以前の典型的な巻手状態垂文の盛行期（仙台市教育委員会 1987b・1996）と解されている。

#### ⑤第V群土器の特徴

第V群土器の特徴として、次のものがある。

##### A. 胎土の特徴

第V群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。砂粒のほかに、特に顕著な胎土の特徴は認められない。

##### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものが多い。積み上げ幅は概ね3cmほどである。壺を除いて、粘土帯は下位の粘土帯のやや外側に積み上げている。

底面には網代底・木葉底・無文の3種があり、網代底約6割・木葉底約3割で、大略2:1の比率で網代底が過半を占める。網代底では、1本越2本潜が多く、1本越1本潜・2本越2本潜・4本越2本潜などがあり、途中で編み方を変えたものや菱形状の模様編みとしたものなど種類は多様である。

##### C. 地文の特徴

地文には撚糸文と縄文、櫛描文がある。このうち撚糸文が約6割を占め、縄文と若干の櫛描文を伴う。撚糸文は細いR撚糸文が多用され、わずかにL撚糸文とLR撚糸文が伴う。多くは縱走～斜走する撚糸文で走行方向に齊一性の見られるものほかに、ローラー状に乱雑に折り返して施文されたもの（第255図21）もある。

縄文は2本撚り合わせの単節縄文（LR・RL）が多用され、附加条の施されるものはない。複節縄文（RLR・LRL）の施されるものもある。比率的には、LRとRLRが用いられるものが多い。稀少例としてLRR縄文の施されたものがある。縱位斜行縄文を基調とし、横走縄文、縱走縄文が施されるものがある。意匠文との関係では、沈線文施文後にミガキが施される磨消縄文が見られる。ミガキ残しの箇所も多い。

櫛描文は若干認められるに過ぎない（22）。まれに器面調整の縱ケズリの痕跡をそのまま残したものも見られる。

##### D. 器種組成の特徴

すべて深鉢形土器である。

##### E. 土器の使用痕跡

深鉢形土器の内面下部に環状に炭化物が付着するものが多く見られる。外面では底面全体に煤状炭化物が付着するもの、底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するもの、全体に被熱による赤化・脆弱化したものがある。底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するものは何らかの支脚状のものが用いられたと考えられる。

## (7) 第VI群土器 (第256図)

### ①土器の分類

すべて深鉢形土器である。器形は内湾形深鉢 (1・13・15) と外反形深鉢 (11・14) の2種が存在する。文様のあり方から次の類型がある。

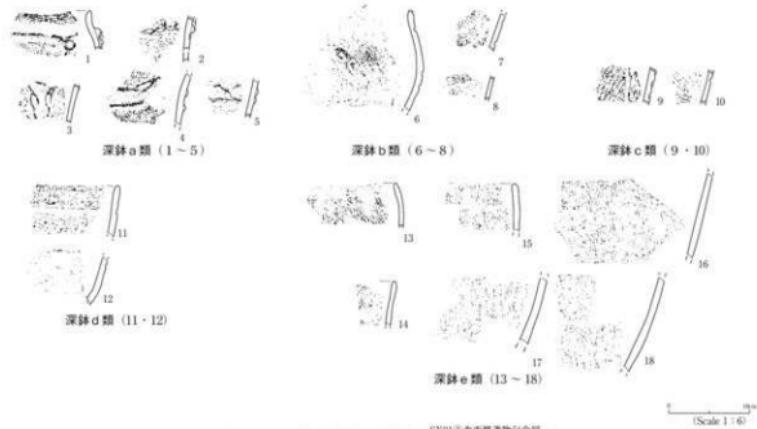
**深鉢a類**: 隆線文による装飾を伴うものである。隆線上に連続して刺突が施され、鎖状隆線文となるものの(2)、断続して刺突の施されるもの(5)、2個1対の刻目文(隆線に平行する方向の刺突)の施されるもの(3・4)がある。2本の平行する隆線文が施されるものは、間隔が狭い(3・4)。隆線に沿う沈線文が施されるもの(1)、隆線とは独立に円文や弧状文が施されるもの(2・3)、沈線文を伴わないもの(4・5)がある。さらにボタン状貼付文(1)や円形竹管文(2)が施されるものがある。

**深鉢b類**: 弧状の沈線文が施されるものである。2本の平行沈線文の場合、幅は概して狭い(6・7)。大きな渦巻文が描かれ、さらに小渦巻文で加飾されるもの(6)がある。

**深鉢c類**: 弧状の平行沈線間に1列の連続刺突が施され、鎖状刺突文が施されるもの(10)である。2本の平行沈線文の幅は概して狭く、やや広目のものは2列の連続刺突文が充填(9)されている。

**深鉢d類**: 直線状の沈線文が施されるものである。

**深鉢e類**: 地文のみのものである。



第256図 第VI群土器の構成  
(宮城県考古叢書第10号  
21-A1K)

### ②第VI群土器の類例

第IV群土器は宮城県内では、東松島市里浜貝塚複合地区(林 1965、小笠原 1993)、石巻市南境貝塚(宮城県教育委員会 1969b、後藤 1974・2004・2005)、柴田町向畑遺跡(芳賀 1974)、美里町青島貝塚(加藤、後藤 1975)、仙台市六反田遺跡(仙台市教育委員会 1981b・1987b)、栗原市青木畑遺跡(宮城県教育委員会 1982a)、白石市首生田遺跡(宮城県教育委員会 1982b)、蔵王町二屋敷

遺跡（宮城県教育委員会 1984a）、色麻町大谷地遺跡（宮城県教育委員会 1984b）、七ヶ宿町小梁川東遺跡（宮城県教育委員会 1985）、気仙沼市田柄貝塚（宮城県教育委員会 1986a）、大和町金取遺跡（大和町教育委員会 2004）、涌谷町ツナギの沢貝塚（涌谷町教育委員会 2004）、登米市坂戸遺跡（追町教育委員会 2005）、栗原市鰯沢遺跡（築館町教育委員会 2005）など、広く県内全域において見出しができる。

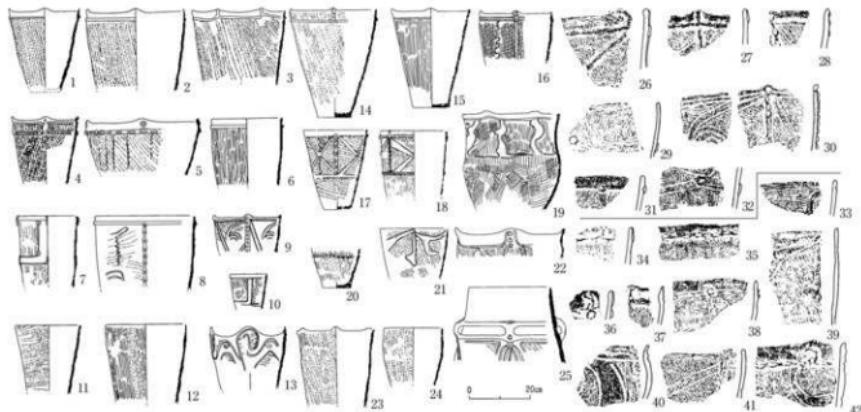
ここでは、東松島市里浜貝塚袖窪地区・北上川中下流域の一関市清水遺跡、名取川水系の仙台市六反田遺跡との若干の比較検討を行う。

#### A. 東松島市里浜貝塚袖窪地区

遺跡は宮戸島里浜貝塚の一部で、山居遺跡の約30km南南西に位置している。調査は1962年に東北大学教育学部歴史学研究室と宮戸島遺跡調査会によって発掘調査が行われた。1965年に「宮戸Ⅰ式（南境式）」に先行する型式として「袖窪式」（林 1965）が設定された。その後、小笠原好彦によって調査の概要と「袖窪Ⅰ式・Ⅱ式」の提唱（小笠原 1993）が行われている。出土地区・層位の詳細は必ずしも明らかとはなっておらず、ここでは概略的な比較に留めておく。

里浜貝塚袖窪地区的深鉢形土器の器形は緩い内湾形のものと外反形のもの2種が存在する。文様意匠は隆線と沈線によって構成される。隆線上には刺突文が施されるものがあり、連続して施され鎖状隆線文となるものがある。沈線文はやや幅の狭い平行沈線文によって、大きな渦巻文をはじめとする弧状文やX字状文をはじめとする直線的な文様が施されるものがある。平行沈線間に刺突文が加えられ、鎖状刺突文を構成するものもある。単独沈線文によって懸垂文が描かれるものもある。文様意匠の起点や交点などの要所にはボタン状貼付文が施されるものがある。こうした特徴は山居遺跡第V群土器に共通する特徴となっている。

一方、山居遺跡第V群土器では隆線的な表現はほぼ把手のみに限定され、胴部に隆線を用いた装飾を施すものはほとんどなく、里浜貝塚袖窪地区的土器群とは異なる様相を呈している。



第257図 里浜貝塚袖窪地区出土土器（小笠原1993を改変）

## B. 一関市清水遺跡（第258図）

遺跡は北上川左岸の磐井川合流点付近、山居遺跡の約41km北北西に位置している。調査は1998年～99年にかけて行われ、2002年に報告書が刊行されている。縄文時代中期後葉～後期前葉に及ぶ土器が遺物包含層から出土している。山居遺跡第VI群土器に関しては、5ベルトートレンチが最も良好な層位を示している。ここでは、山居遺跡第VI群土器～第VII群土器に相当する1～8層土器について検討する。

5ベルトートレンチの取上げ層位の1～2層から4～6層出土土器（1～32）は、鎖状隆線文や幅の狭い平行沈線間の鎖状刺突文が特徴的に見られ、文様意匠の交点等にはボタン状貼付文が付され、器面全体に展開している。隆線上に2個1対の刻目文が施されるものでは、文様の交点部分にボタン状貼付文が付され、それに近接して刻目文が施されている（3・26）。幅の狭い無文帯は大小の渦巻文（13・14・16）や直線状の文様（21・31）が施されるものがあり、全体として山居遺跡第VI群土器や里浜貝塚袖窪地区出土土器とほぼ同じ内容の土器と考えることができる。

取上げ層位6層から8層出土土器（33～45）は、文様意匠の交点等には2個1対の刻目文が付され、器面全体に展開している。ボタン状貼付文は把手や突起の一部に限定的に用いられる（33）に過ぎず、上層土器とは異なっている。こうした特徴は山居遺跡第VII群土器と同じである。

## C. 仙台市六反田遺跡

遺跡の概要是前項において述べたとおりである。山居遺跡第VI群土器に類する土器は、I区第9b～9a層をはじめ、II区第9c～9a層まで広汎に含まれており、層位的には明確に分離されない。比較的多くの山居遺跡第VI群相当土器が出土するII区第9b層についても、前述のとおり第9a層の土器と混在している。

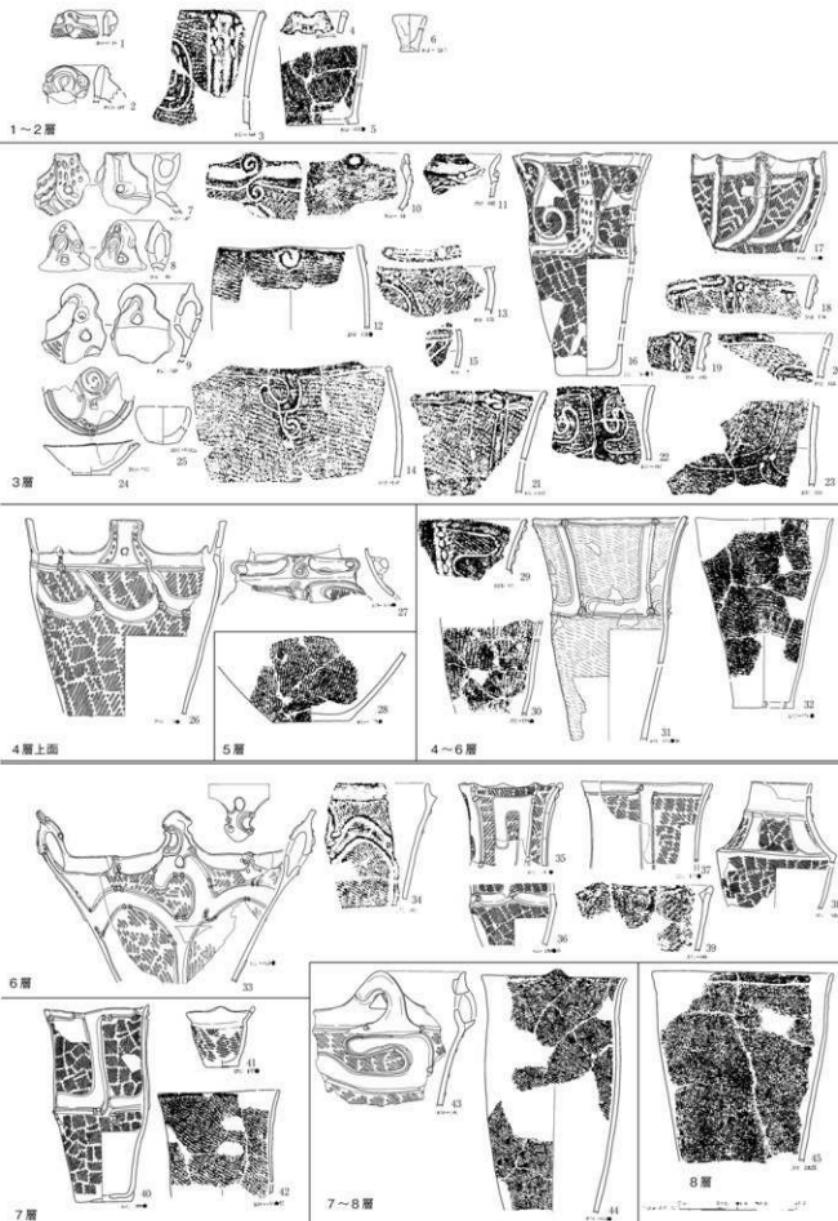
### ③第VI群土器の年代と地域性について

山居遺跡第VI群土器は後期前葉の南境式の一部に相当する。その後の細別研究によれば、「袖窪式」（林 1965、小笠原 1993）の範疇において捉えられる土器である。

これまで袖窪式に関しては、その存否も含め、種々の検討が行われてきた。里浜貝塚袖窪地区においては袖窪式土器の貝層を含む遺物包含層が数枚にわたって形成されていることが明らかとされ、第258図に示した岩手県清水遺跡5ベルトートレンチほか、6～9ベルトートレンチにおいてようやく層位的にも袖窪式とその前後の土器型式が捉えられた。山居遺跡においても、袖窪式相当の第VI群土器が第V群土器の下位から出土することを確かめることができた。

袖窪式は類例として掲げたように県内全域に分布し、また岩手県においても一関市清水遺跡のほかに、滝沢村けや木の平団地遺跡（滝沢村教育委員会 1995）をはじめとする北上川中流域まで、その分布をたどることができる。また、宮城県南部の柴田町向畑遺跡（芳賀 1974）、蔵王町二屋敷遺跡（宮城県教育委員会 1984a）においては、鎖状刺突文を神奈川県称名寺B貝塚出土の称名寺第2群土器（吉田 1960）と同様の文様意匠の中に充填したものがあり、鎖状刺突文は関東・東北地方に及ぶ広汎な特徴のひとつとして捉えられよう。

以上の検討により、袖窪式の編年的な位置づけとその空間的な広がりが、概ね明らかとなった。



第258図 岩手県清水遺跡5ベルトートレンチ1~8層出土土器 (日本文化振興  
事業団文化振興)

#### ④第VI群土器の特徴

第VI群土器の特徴として、次のものがある。

##### A. 胎土の特徴

第VI群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。砂粒のほかに、特に顕著な胎土の特徴は認められない。

##### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものがある。積み上げ幅は概ね2~3cmほどである。粘土帯は下位の粘土帯のやや外側に積み上げている。

##### C. 地文の特徴

点数は少ないものの、一応傾向性のみは把握しておく。地文には縄文・撚糸文・櫛描文があり、それぞれ5:4:1程の割合で、比較的の撚糸文が目立つ。縄文には單節・複節・LRR縄文があり、LR縄文とRLR縄文の比率が高い。撚糸文は細いR撚糸文がほとんどを占める。ごく細い撚糸文も見られる。櫛描文は縦位である。地文の様相は第V群土器に近い内容となっている。

##### D. 器種組成の特徴・土器の使用痕跡

すべて深鉢形土器である。外面に炭化物の付着するものがある。

#### (8) 第VII群土器（第259図）

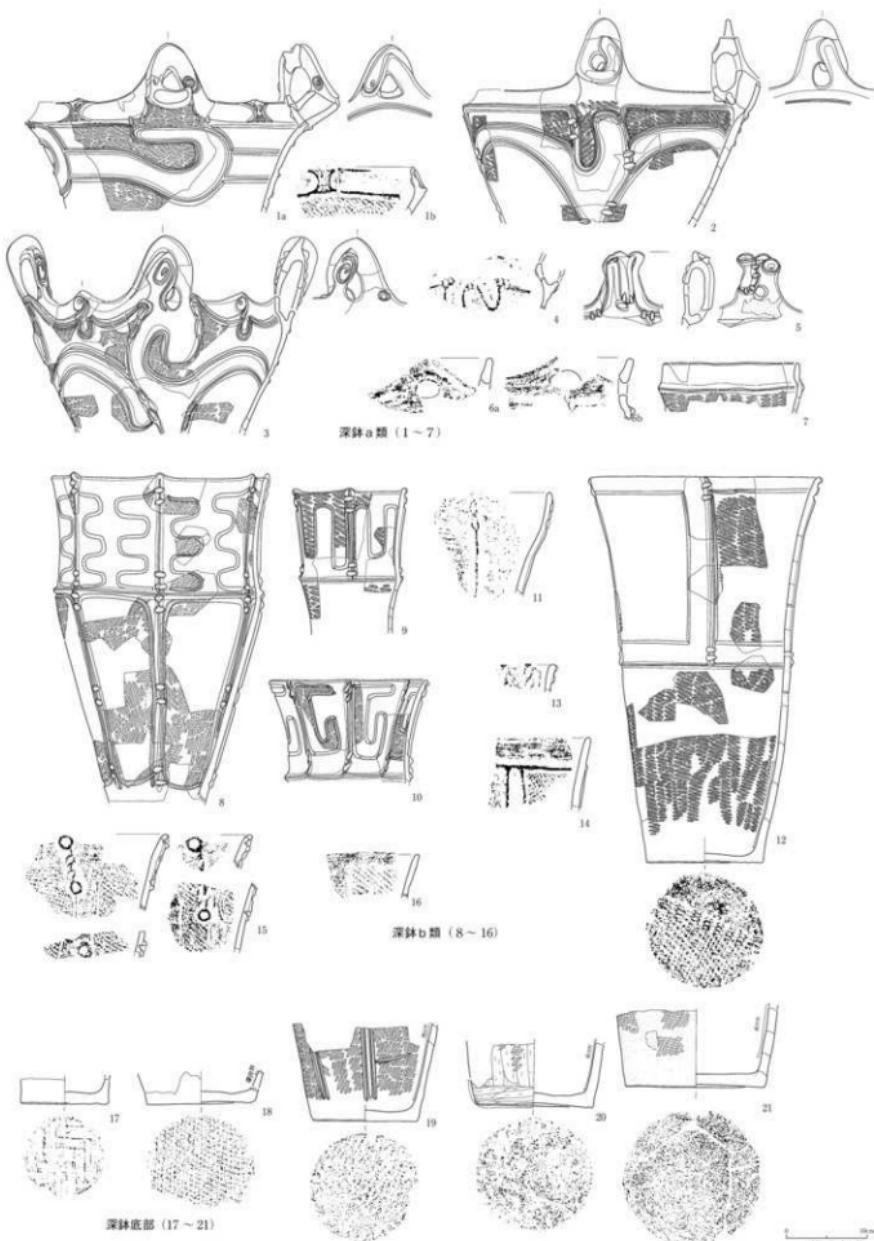
##### ①土器の分類

山居遺跡第VII群土器は深鉢形土器からなる。注口部の付く深鉢形土器や小型品がわずかながら認められた。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。

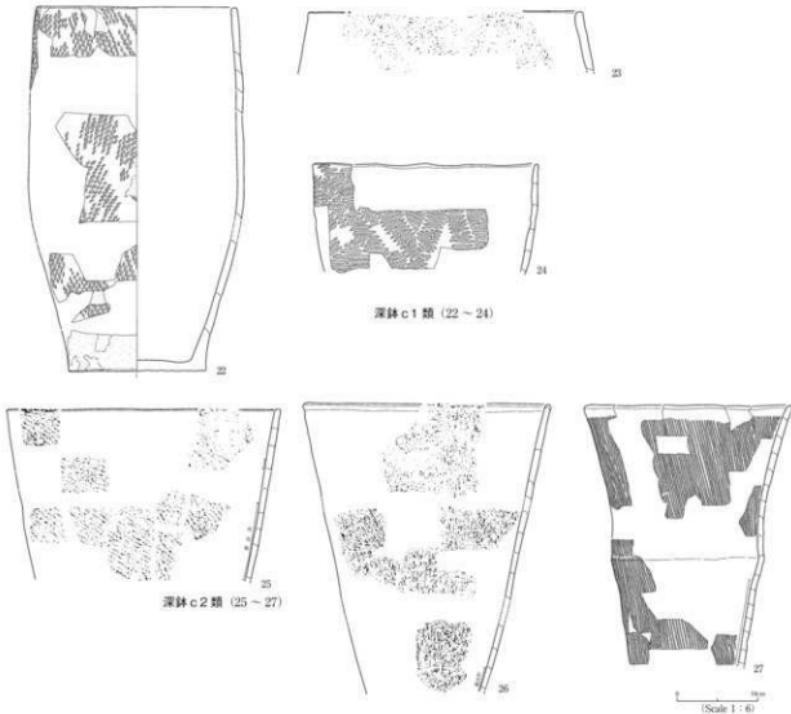
**深鉢a類**：口縁部が胴上部で内湾する器形で、文様が隆線文や沈線文、刺突文で施される土器である。大型の橋状部のある環状把手が付され、注口部を持つ土器は、口縁部が注口の位置で屈曲して内傾する。胴上部には巻き込みの浅い緩やかな4単位の渦巻文が主文様として配される。渦巻文は隆線文・沈線文によって構成され、通常、縄文部とミガキの施された無文部の幅は概ね1:1で入組むように配されている。隆線上の交点などには2個1対の刻目文が施されるものが多い。2個1対の刻目文は隆線に対して直交方向の刻目文や隆線方向の刻目文がある。把手や突起にはボタン状貼付文が付されるもの（1・3・5）がある。胴下部には懸垂文を伴うものと伴わないものとがある。

**深鉢b類**：口縁部が緩やかに外反ないしは外傾する器形である。やや内湾しながら外傾するもの（11）も本類に含める。胴中位に隆線がめぐり、4ないしは6単位の方形区画文が施されるものが多い。2本の隆線で方形区画文が構成されるもの（13・14）もある。方形区画の中には、縄文部と無文部の面積比が概ね1:1となるように、鍵形状の文様が沈線文によって描かれるもの（8~11）がある。単に方形状の沈線文を配したもの（12）もある。隆線上には横位・縦位・斜位の2個1対の刻目文が施されるものが多い。部分的に隆線を配し2個1対の刻目文、ボタン状貼付文を施したもの（15）もある。胴下部には懸垂文を伴うものと伴わないものとがある。

**深鉢c類**：地文のみの土器である。器形により2種に細分される。



第259-1図 第VII群土器の構成 (1) (SX01-2南側遺物包含層  
2b' 犀上面-2c 犀中面土器)



第259-2図 第VII群土器の構成(2) (SX01②南側遺物包含層  
2b層上面～2c層中出土土器)

- ・1類：口縁部が緩やかに内湾ないしは内傾するものである。
- ・2類：口縁部が緩やかに外反ないしは外傾するものである。胴中位に稜線を伴うものがある。

### ②第VII群土器のSX01②南側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

ここでは第VII群土器がSX01②南側遺物包含層における一括遺物をまとめたのが、第15表である。

	深鉢				底部		
	a類	b類	c1類	c2類	網代底	木葉底	無文
包2b層上面～上部	6	10	6	7	3	4	1
2b層中	18	24	8	8	7		
2c層上面	6	9	8	11	4		
2c層中	3	26	4	19	3	1	

第15表 第VII群土器のSX01②南側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

前述のように、包含層2b層と包含層2c層は、層相の違いがあるものの、本来同一の層である可能性が強い。第VII群土器は、概ね深鉢a類・b類・c1類・c2類とともに安定的な土器組成として遺物包含層を形成していることが確かめられる。

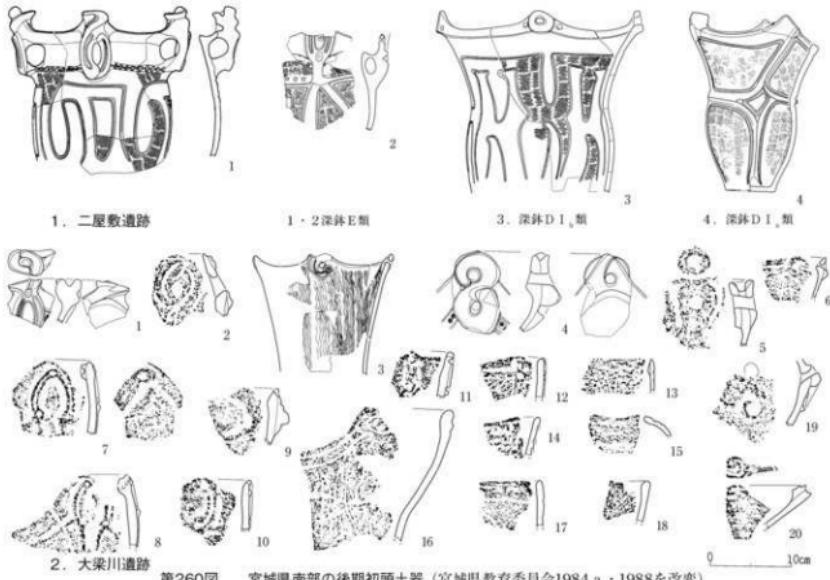
### ③第VII群土器の類例

第VII群土器は宮城県内では、東松島市里浜貝塚(後藤 1956)、石巻市南境貝塚(宮城県教育委員会 1969b、後藤 1974・2004・2005)、七ヶ浜町大木貝塚(原・馬目 1968)、石巻市沼津

貝塚（藤沼 1968、石巻市教育委員会 1976）、美里町青島貝塚（加藤・後藤 1975）、石巻市天雄寺貝塚（邊見 1976）、栗原市青木畠遺跡（宮城県教育委員会 1982a）、色麻町大谷地遺跡（宮城県教育委員会 1984b）、気仙沼市田柄貝塚（宮城県教育委員会 1986a）、涌谷町ツナギの沢貝塚（涌谷町教育委員会 2004）、登米市坂戸遺跡（追町教育委員会 2005）、栗原市鰐沢遺跡（築館町教育委員会 2005）などの県北部を中心に見出すことができる。

一方、県南部の柴田町向畑遺跡（芳賀 1974）、仙台市六反田遺跡（仙台市教育委員会 1987）、蔵王町二屋敷遺跡（宮城県教育委員会 1984a）では、山居遺跡第Ⅶ群土器において顯著な2個1対の刻目文を持つ土器は搬入品と見られるものが稀に出土しているだけに過ぎない。七ヶ宿町大梁川遺跡（宮城県教育委員会 1988）においては、後期初頭の住居跡2軒・石敷造構1基と遺物包含層起源の堆積層1箇所が検出され、第260図2に示す土器が出土した。遺跡の西側に形成された遺物包含層起源の堆積層には、他群土器は含まれておらず、概ねこの時期の様相を知ることができる。隆線文で加飾された大型把手（1～5）を伴い、把手や突起にはボタン状貼付文や円形の盲孔が付されるものがある。胴部文様も隆線によって構成されるもの（7・8・19）が少からず、存在する。カエリのつく連続刺突文の施されるもの（14）もある。二屋敷遺跡では南側遺物包含層から後期初頭～前葉の他群土器とともに第260図1に示した土器が出土している。大梁川遺跡とほぼ同じ深鉢形土器で、胴部文様は縄文部と無文部の比率が1:1になるように構成されたもの（1・3）等がある。

こうした特徴を持つ土器は、福島県いわき市愛谷遺跡（福島県いわき市教育委員会 1985）や田村市越田と遺跡（福島県教育委員会 1996）等においても検出されており、関東地方の称名寺A貝塚出土の称名寺第1群土器（吉田 1960）とも共通した特徴となっている。



第260図

宮城県南部の後期初頭土器（宮城県教育委員会1984a・1988を改変）

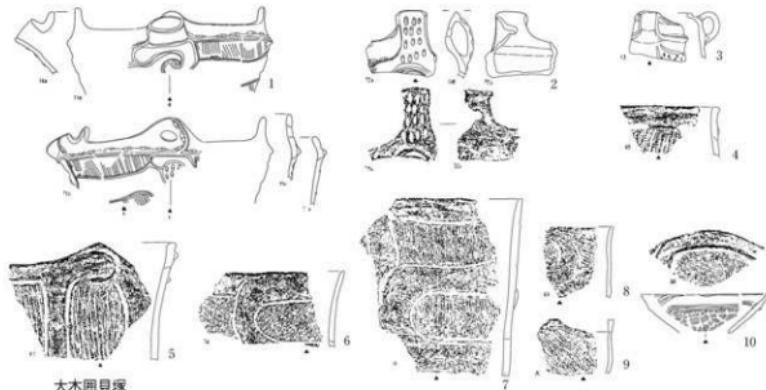
#### ④第VII群土器の年代

山居遺跡第VII群土器に類する土器の編年的な位置付けをめぐって、縄文時代中期末葉から後期初頭の間を揺れ動いてきた。從来「門前式（小友式）」（江坂 1956・江坂ほか1959、吉田 1960）や「宮戸Ia式」（隆線・稜線文土器）（後藤 1957）、「観音堂式」（大迫町教育委員会 1986、本間 1994）、あるいは大木10式の一部（藤沼 1968、原・馬目 1968、宮城県教育委員会 1969b、宮城県 1981、須藤 1985）などとさまざまな型式名で呼ばれて来た土器ではある。

宮城県七ヶ浜町大木開貝塚の「大木10式」（山内 1937）の標式資料（早瀬ほか 2006）中には、2個1対の刻目文が施される土器が確かに存在（第261図）する。

第261図1の注口部のつく深鉢形土器の注口下の大きな渦巻文の中心部の隆線上に2個1対の刺突が施されている。他の部位の隆線上にはこうした刺突は加えられていない。同図2の橋状部のつく環状把手の橋状部から伸びる隆線上には、やや間延びした2個1対と見られる小刻目文が施されている。これらの2個1対の刻目文は山居遺跡第VII群土器のように、隆線に対して直交方向・隆線方向・斜方向と定型化し、文様意匠の交点を中心に器面全体に及ぶといったものではない。大木10式においては装飾性の高い土器の一部位に、ごくまれに2個1対の刻目文が見られるに過ぎず、またその刻目文の刺突のあり方なども大きく異なる。山居遺跡第VII群土器の把手や突起に散見されるボタン状貼付文に関しては、大木10式では全く見ることはできず、山居遺跡第VII群土器を中期末葉の「大木10式」の範疇で捉えることはできないであろう。むしろ山居遺跡第VII群土器は後期初頭の「門前式」や「称名寺第1群土器」との共通性の方が高いと考えられる。

参考までにSX01②南側遺物包含層2c層中の第VII群土器のAMSによる較正年代はcalBC2280年（ISK-4）であった。中期と後期の画期はcalBC2470（小林ほか 2003）とされており、矛盾しない。



第261図 大木10式土器における2個1対の刻目文（早瀬ほか 2006を改変）

## ⑤第VII群土器の特徴

第VII群土器の特徴として、次のものがある。

### A. 胎土の特徴

第VII群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。砂粒のはかに、特に顕著な胎土の特徴は認められない。

### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものがある。積み上げ幅は概ね2~3cmほどである。粘土帯は下位の粘土帯のやや外側に積み上げている。マメ科種子が多量に混和された深鉢形土器が1個体（第247図参照）ある。

底面には網代底・木葉底・無文の3種があり、網代底約8割・木葉底約2割弱で、網代底が圧倒的に多い。網代底では、1本越2本潜が最も多く、2本越2本潜・3本越3本潜などがあり、途中で変則的に編み方を変えたものなどがある。菱形状の模様編みとしたものはなかった。

### C. 地文の特徴

第VII群土器の地文には縄文と撚糸文、櫛描文がある。縄文が約8割を占め、撚糸文が約2割弱、櫛描文がわずかに伴う。

縄文は2本撚りの単節縄文が約8割、複節縄文が約2割弱、LRr縄文も散見される。単節縄文ではLR縄文が約6割、RL縄文が約4割で、双方とともに0段多条のものが若干伴う。複節縄文ではRLR縄文が約9割、LRL縄文が約1割で、若干の1段多条・0段多条のものもある。また、縄文末端に結節を施し、回転したものが少数例ある。縄文の回転方向は縦位斜行を基調とし、横走・縦走気味のものや回転方向に統一性の見られないものがある。口縁部に横位斜行、胴部に縦位斜行縄文を施したものや、方形区画文などでは縦位斜行の後に部分的に横位斜行縄文が加えられ、同一原体による一部羽状としたものもある。文様との関係では、磨消縄文と充填縄文の両者がある。隆線文の施される土器では、下描沈線文が施されるものが少なからず観察され、この時点で縄文が施文され、後に磨り消されるものと、隆線貼付後さらに縄文が施文し直されるものがある。

撚糸文は1段撚りが約2割、2段撚りが約8割を占める。1段撚りではR撚糸文が約8割、L撚糸文が約2割である。2段撚りではLR撚糸文がほとんどを占めている。稀少例では撚糸の結縛部を回転施したものも見られる。施文ではほとんどが縦走撚糸文で斜走するものがわずかにある。縄文と同様に、口縁部に横回転、胴部に縦回転としたものも見られる。櫛描文はすべて縦位のもののみである。

### D. 器種組成の特徴

すべて深鉢形土器である。なかには深鉢形土器で注口部のつくものや小型品がある。

### E. 土器の使用痕跡

深鉢形土器の内面下部に環状に炭化物が付着するものが多く見られる。外面では底面全体に煤状炭化物が付着するもの、底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するもの、全体に被熱による赤化・脆弱化したものがある。底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するものは何らかの支脚状のものが用いられたと考えられる。

## (9) 第VII群土器 (第262図)

### ①土器の分類

すべて深鉢形土器である。器形は大きく口縁部が内湾するものと緩やかに外反するものに分けられる。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。

**深鉢a類**: 口縁部が内湾する器形である。環状把手が付されるものが多い。胴上部には大きな楕円形区画文（1・2）や緩い渦巻文（3）が施される。意匠文はミガキの施された無文部が展開して構成され、末端部分や交点部分にはヒレ状隆線文が配される。

**深鉢b類**: 口縁部が緩やかに外反するものである。山形状の波状縁で波頂部下には楕円形区画文が施される。意匠文はミガキの施された無文部が展開して構成され、末端部分や交点部分にはヒレ状隆線文が配される。口縁部の無文帯が弧状ないしは連弧状に分割されるもの（8～10）、その弧状部が連続刺突文によって充填されたもの（10）がある。

**深鉢c類**: 口縁部が緩やかに外反するものである。胴上部には方形区画文ないしは方形区画文を基調とする文様が施されている。文様意匠には以下の3類がある。

- ・1類：方形区画文が展開するものである。無文部の末端や交点部分にはヒレ状隆線文が施されるものが多い。埋め文様として抱球文が施されるもの（14）がある。5単位となるもの（11）もある。

- ・2類：横位波濤文が配されるものである。ミガキ残しの部位や縄文部に方形区画の下描沈線文が残されているもの（15）がある。横位波濤文を作る無文部はややフック状に巻き上がり、無文部と無文部の交接する部分にはヒレ状隆線文が付されるものが多い。

- ・3類：連鎖状隆線文が施されるものである。16は内面にヒレ状隆線文が施され、胴上部には方形区画文が配されている。17は無文部の交点部分にやや長大なヒレ状隆線文が付され、連続刺突文が施されている。山居遺跡第VI群土器の領状隆線文とは施文具の形状が異なっている。

**深鉢d類**: 口縁部が緩やかに外反するものである。ほぼ同一幅の無文部がフック状、渦巻状あるいは円文の周囲を取り巻くものである。

**深鉢e類**: 意匠文を持たないものである。大型品が多く、器形は口縁部が緩やかに外反するものとやや内湾もしくは内傾するものがある。次の3類がある。

- ・1類：口縁部にやや幅の広い無文帯がめぐるもので、沈線文を伴うものである。埋め文様の抱球文の一種と見られる半円形文が施されるもの（24）がある。

- ・2類：口縁部に無文帯がめぐり、沈線文を伴わないものである。

- ・3類：口縁部に無文帯がないものである。

深鉢形土器の把手はすべて環状把手で橋状部と組み合うものはない。次の3種類がある。

**把手①類**: 環状把手の環状部がメビウスの環のようにひねりがはいり、外面と内面がつながっているものである。さらにヒレ状隆線文による装飾の加えられるものがある。

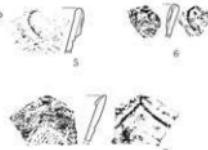
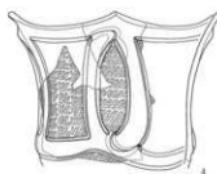
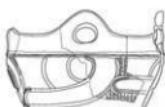
**把手②類**: 単純な環状把手である。

**把手③類**: 環状部に連続刺突文の装飾の施されるものである。

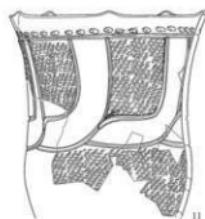
深鉢形土器の底面は木葉底・網代底・無文がある。



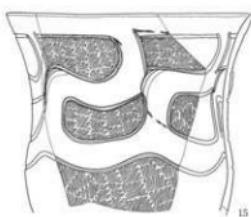
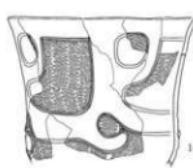
深鉢 a 型 (1~3)



深鉢 b 型 (4~10)



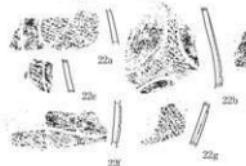
深鉢 c1 型 (11~14)



深鉢 c2 型 (15)



深鉢 c3 型 (16~17)

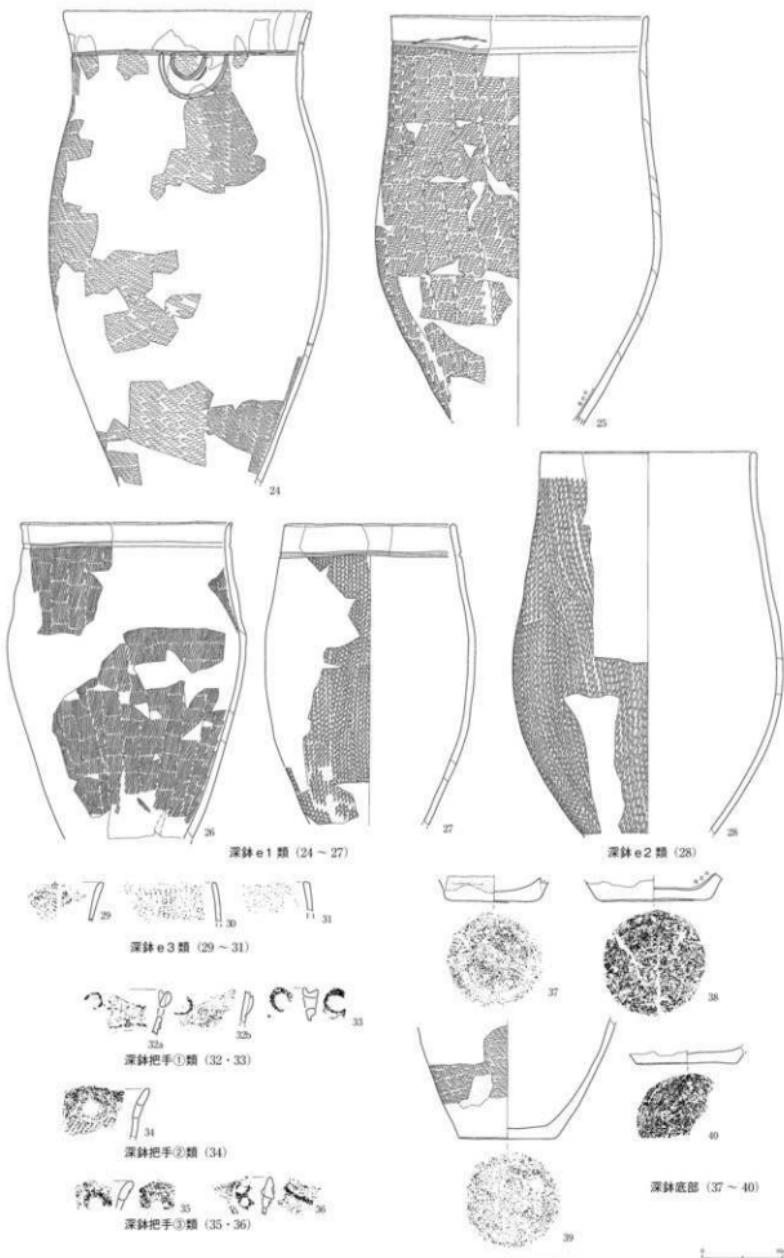


深鉢 d 型 (18~24)



$\frac{1}{10}$   
(Scale 1 : 10)  
mm

第262-1図 第V群土器の構成 (1) (SX012市原遺跡名古屋  
20層上面-3a層上面出土土器)



第262-2図 第Ⅱ群土器の構成 (2) (SN01-2 湿潤遺物含む  
2d層上面-3a層上面土器)

## ②第VII群土器のSX01②南側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

第VII群土器のSX01②南側遺物包含層における一括遺物をまとめたのが、第16表である。

	深鉢								環状把手			底部		
	a類	b類	c1類	c2類	c3類	d類	e1類	e2類	e3類	①類	②類	③類	網代底木葉底	無文
包2d層上面	2	4	2	1		3	1	1	4				4	1
2d層中	8	9	5			2	17	2	4	2	1		1	3
3a層上面	12	17	8	18	2	10	43	8	1	1		2	2	9

第16表 第VII群土器のSX01②南側遺物包含層における取上げ層位と土器分類

基本組成は楕円形区画文の施されるa類・b類と、方形区画文の施されるc1類、意匠文の無文部がフック状、渦巻状あるいは円文の周縁を取り巻くd類に意匠文を持たないe類となっている。

## ③第VII群土器の類例

第VII群土器は宮城県内でも数多くの類例が知られ、県北部だけでも七ヶ浜町大木開貝塚（第261図・山内 1929・1937・1961、山内先生没後25年記念論集刊行会 1996、早瀬ほか 2006）はじめ、松島町西ノ浜貝塚（宮城県教育委員会 1967、松島町史編纂委員会 1989）、東松島市里浜梨木開貝塚（芳賀 1968）、石巻市沼津貝塚（藤沼 1968、石巻市教育委員会 1976）、涌谷町長根貝塚（宮城県教育委員会 1969a）、石巻市南境貝塚（宮城県教育委員会 1969b、後藤 1974・2004・2005）、美里町青島貝塚（加藤・後藤 1975）、石巻市天雄寺貝塚（邊見 1976）、大崎市玉造遺跡（宮城県教育委員会 1980a）、登米市坂戸遺跡（迫町教育委員会 2005）、栗原市鶴沢遺跡（築館町教育委員会 2005）、石巻市細谷B遺跡（宮城県教育委員会 2006）などにおいて見出すことができる。

特に山居遺跡第VII群土器の基本組成は、西ノ浜貝塚Aトレンチ第4層や梨木開貝塚上部貝層（灰層・キサゴ層・アサリ層・純貝層）、長根貝塚第1号住居跡埋設土器群の組成や、細谷B遺跡遺物包含層から出土した土器とほぼ同一である。

一方、大木開貝塚の「大木10式」土器の標式資料ともほぼ同類型と考えられるが、前述した大木10式における2個1対の刻目文は、山居遺跡第VII群土器及び他の遺跡においても確認することができない。

県南部では、白石市菅生田遺跡（宮城県教育委員会 1982b）、蔵王町二屋敷遺跡（宮城県教育委員会 1984a）、仙台市山田上ノ台遺跡（仙台市教育委員会 1987a）、七ヶ宿町大梁川遺跡（宮城県教育委員会 1988）、仙台市下ノ内遺跡（仙台市教育委員会 1990）において同時期の遺跡が調査され、基本的に山居遺跡第VII群土器と同様に楕円形区画文と方形区画文の深鉢形土器を主体とすることが明らかにされている。また、口縁部の連続刺突文や深鉢d類は県南部には見られず、逆にフック状に巻き上がり横波説文は県北部では明確ではなく、地域性のひとつと考えられる。

## ④第VII群土器の年代

第VII群土器は縄文時代中期末葉の「大木10式」（山内 1937）に相当し、近年の検討では「大木10式」は前半期と後半期に2分され、さらに前半期がふたつに分かれることが指摘（宮城県教育委員会 1988、迫町教育委員会 2005、築館町教育委員会 2005）されている。このうち、山居遺跡第VII群土器は、大木10式の後半期に相当する。

参考までに、SX01②南側遺物包含層3a層上面の第Ⅷ群土器のAMSによる較正年代はcalBC2580年(ISK-1)であった。中期と後期の画期はcalBC2470(小林ほか 2003)とされており、矛盾しない。

#### ⑤第Ⅷ群土器の特徴

第Ⅷ群土器の特徴として、次のものがある。

##### A. 胎土の特徴

第Ⅷ群土器の胎土には、海綿状骨針の含有は認められなかった。砂粒のほかに、特に顕著な胎土の特徴は認められない。

##### B. 土器製作上の特徴

粘土の積み上げ痕を残すものが多い。積み上げ幅は概ね2~3cmほどである。粘土帯は下位の粘土帯のやや外側に積み上げている。

底面には網代底・木葉底・無文の3種があり、網代底2割・木葉底3割強・無文4割強である。ミガキやケズリ調整が入りほとんど無文に等しい底部でも、網代や木葉の痕跡を残す底面は、網代底や木葉底として計数しており、実際は調整の入った無文底はもっと多い。こうした調整は胴最下部一底面にかけて、地文施文後にミガキ調整として施されるものが最も多い。網代底では、1本越1本潜1点・1本越2本潜4点が認められた。他は調整によって磨り消されており、編み方は不明である。

##### C. 地文の特徴

地文には縄文と撚糸文がある。縄文が約9割強を占め、撚糸文が約1割弱、櫛描文は確認できなかつた。

縄文は2本撚りの単節縄文が約6割、複節縄文が約4割である。単節縄文ではLR縄文が約7割強、RL縄文が約3割弱で、双方ともに0段多条のものが若干伴う。複節縄文ではRLR縄文が約7割強、LRL縄文が約2割強で、若干の0段多条のものがある。太細の同一原体2種使用とRLRとLRLの異種原体使用のものが1点ずつある。また、織維束による他条結縛の認められるものが1点あった。通常の結節回転によるものは確認されなかった。縄文は縦位斜行縄文によるものである。文様との関係では、下描沈線文の痕跡を残すものが認められ、下描沈線文→充填縄文→沈線文の引き直しの手順によっており、縄文の全面施文→沈線文→磨消の手順によるいわゆる磨消縄文の存在は確認されなかつた。

撚糸文は1段撚りが約2割、2段撚りが約8割を占める。1段撚りではR撚糸文が約7割弱、L撚糸文が約3割強である。細い撚糸文はない。2段撚りではLR撚糸文のみが認められた。いずれもすべて縱走撚糸文である。

##### D. 器種組成の特徴

すべて深鉢形土器である。注口部の付くものは認められなかつた。

##### E. 土器の使用痕跡

深鉢形土器の中小型品では内面下部に環状に炭化物が付着するものが多く見られる。外面では底面全体に煤状炭化物が付着するもの、底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するもの、全体に被熱による赤化・脆弱化したものがある。底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するものは何らかの支脚状のものが用いられたと考えられる。

深鉢e類の大型品には内面に炭化物が付着しないものが認められた。また、喫水線（小林 2003）の認められる土器があり、24の大型の深鉢では口縁下22cmに喫水線が残されている。

#### (10) 第Ⅹ群土器（第263図）

##### ①土器の分類

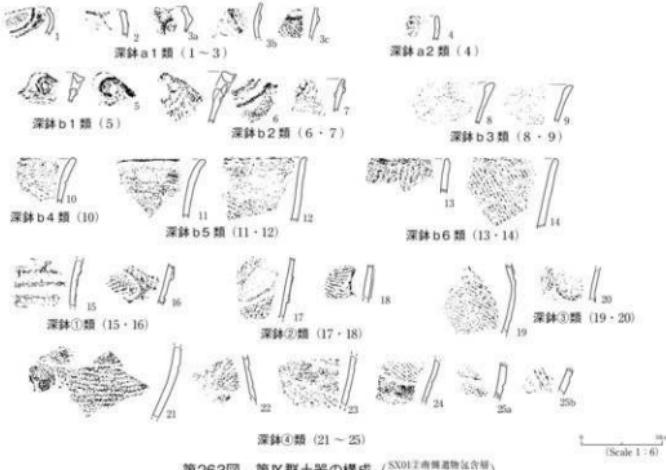
すべて深鉢形土器である。器形は大きく口縁部が内湾するものと緩やかに外反するものに分けられる。口縁部の形状と文様のあり方から、次の類型がある。

深鉢a類：口縁部が内湾する器形である。次の2類がある。

- ・1類：隆線による弧状文が口縁部に展開する。波状線（1）、平縁（2・3）がある。
- ・2類：沈線による弧状文が施されている。

深鉢b類：口縁部が緩やかに外反ないしは外傾する器形である。

- ・1類：環状把手の環状部がメビウスの環のようにひねりがはいり、外面と内面がつながっているものである。
  - ・2類：環状把手に連続刺突文が施されるものである。
  - ・3類：梢円形区画文が施されるものである。
  - ・4類：口縁部に無文帯がめぐり、頸部に沈線文を伴うものである。
  - ・5類：口縁部に無文帯がめぐり、沈線文を伴わないものである。
  - ・6類：口縁部に無文帯がなく、地文の施されるものである。
- このほか、胴部の文様には次の種類がある。
- ・①類：隆線によって無文帯が作られ、2列の刺突文を伴うものである。



- ・②類：隆線によって無文帯が作られるものである。
- ・③類：ヒレ状隆線文を伴うものである。
- ・④類：沈線によって無文帯が構成されるものである。21は抱球文を伴っている。21～24は横位に文様が展開している。

## ②第Ⅹ群土器の年代

第Ⅹ群土器深鉢b1～b3類・③類は第Ⅸ群土器に類似した土器であり、大木10式後半期に相当する。深鉢a1類や深鉢①・②類に見られる隆線文や、2列の刺突文を伴うものは大崎市玉造遺跡第7号住居跡（宮城県教育委員会 1980a）や登米市丸森山遺跡遺物包含層（宮城県教育委員会 2007）において良好な資料が得られており、大木10式前半期後半に相当するものである。遺物包含層3a層は水の影響を受けた粘土層であり、大木10式前半期～後半期相当の土器を含んでいるものと考えられる。

### (11) 第Ⅹ群土器（第264図）

SX01②南側遺物包含層3b層上面に炭化物の広がりがあり、1個体の土器が出土している。工事箇所隣接地点からの出土であり、本来この廃棄面はもっと広がっていたものと考えられる。

3b層以下は無遺物層となっている。

#### ①土器の分類

深鉢形土器が1個体ある。

深鉢a類：口縁部が緩いS字状をなす波状口縁土器である。口縁部にはしなだらかな凹線状に無文帯が設けられている。胴部には逆U字状の文様が太い沈線文と隆線文で形作られ、全体に配されている。

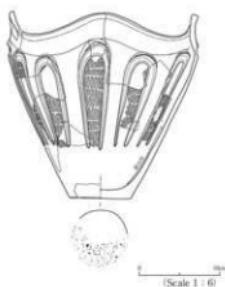
#### ②土器の年代

第Ⅹ群土器は宮城県内では、七ヶ浜町大木圓貝塚（山内 1929・1937・1961、山内先生没後25年記念論集刊行会 1996・早瀬ほか 2006）をはじめ、県北部だけでも東松島市里浜梨木圓貝塚（芳賀 1968）、涌谷町長根貝塚（宮城県教育委員会 1969a）、石巻市南境貝塚（宮城県教育委員会 1969b、後藤 1974・2004・2005）などにおいて見出すことができ、縄文時代中期後葉の「大木9式」（山内 1937）に相当する。参考までにこの土器のAMSによる較正年代はcalBC2870年(ISK-7)であった。

### 3. そのほかの土器について（第265図）

遺物包含層出土の第I～X群土器以外の土器が、わずかながら旧河道堆積層や遺物包含層への流れ込みとして出土している。

第265図1は広口壺形土器である。口縁部下端には細い円形竹管状工具による2方向からの密な刺突が加えられている。口縁部には丸棒状工具による眼鏡状文が描かれている。類例は宮城県加美町道下遺跡遺物包含層（宮崎町教育委員会 2001）にあり、弥生時代後期天王山式土器の初期段階とされている。



第264図 第Ⅹ群土器  
( SX01②南側遺物包含層  
3b層上面出土土器 )



第265図 そのほかの土器

同図2は深鉢形土器である。胴上部には工字文と連続刺突文が施されている。類例は登米市山王廻遺跡（伊東・須藤 1985）Vc-7・m・n層中に見られ、縄文時代晩期後葉大洞A式中段階とされている。

同図3～5は深鉢形土器である。縦位の連続する刺突刻目文が施されている。類例は東松島市里浜貝塚風越地点（東北歴史資料館 1997）の風越Ⅲ群土器（小井川 2004）にあり、縄文時代後期後葉宮戸Ⅲb式（後藤 1960・小井川 2004）に相当する。

同図6は深鉢形土器である。やや幅の狭い横位平行沈線文が多段にわたって施されている。出土したのはB2～C2北ベルト第179図16層で、上層の同図15層（SX01②南側遺物包含層2b③層）中からは山居遺跡第Ⅲ群土器、下層の同図17層（旧河道SX29堆積層）中からは山居遺跡第Ⅳ群土器が出土している。類例は宮城県仙台市王ノ壇遺跡（仙台市教育委員会 2000）X層中～X層上面の土器があり、縄文時代後期前葉末～中葉初頭に位置づけられている。

#### 4. 遺構・旧河道の形成時期について

SX01①～③の遺物包含層の形成時期は、縄文時代晩期中葉の第Ⅰ群土器期から縄文時代中期後葉の第Ⅲ群土器期に及ぶことが明らかになった。第248図に掲げた新旧関係と堆積層中に含まれる土器の特徴から、その他の遺構・旧河道の形成時期は以下のように捉えられる。

- ・ 旧河道SX02堆積層：第Ⅰ群土器期
- ・ 旧河道SX03堆積層：第Ⅰ群土器期
- ・ SX06壠状遺構：第Ⅰ群土器期
- ・ 旧河道SX04堆積層：第Ⅰ群土器期
- ・ SX05壠状遺構：第Ⅰ群土器期
- ・ 旧河道SX20堆積層：第Ⅰ群土器期
- ・ SX21杭跡・旧河道SX07堆積層：第Ⅱ群土器期
- ・ 土壙SK4・ピットPit3（SX01②遺物包含層・C3西ベルト包含層2b①層上面検出）：第Ⅱ群土器期
- ・ 旧河道SX08堆積層：第Ⅱ群土器期
- ・ 旧河道SX23・26堆積層：第Ⅱ群土器期
- ・ 旧河道SX24堆積層：第Ⅲ群土器期

- SX22堰状遺構：第Ⅲ群土器期
- 旧河道SX29・SX30堆積層：第Ⅲ群土器期～第Ⅳ群土器期
- 旧河道SX27堆積層：第Ⅶ群土器期

## 5. 山居遺跡における土器組成と用途

以上、山居遺跡では第Ⅰ群土器と第Ⅱ群土器の間には空白期があり、第Ⅱ～第X群土器までは波はあるものの大きな間隔なく、ほぼ継続的に使用されている。山居遺跡の土器組成と用途に関する通時的な変化は第17表のようにまとめられる。

		主な出土層	器種	特徴
第Ⅰ群土器	晚期中葉	遺物包含層・ 旧河道堆積層	深鉢（9割以上）、鉢・皿 (若干)	海綿状骨針含有土器約1/3、深鉢・鉢に炭化物付着著しく内面に発泡状炭化物、皿・壺に漆塗土器
		遺物包含層・ 旧河道堆積層	深鉢（9割以上）、浅鉢（若干）	口径40cm前後の大型深鉢を伴う。大型品胎土に炭末（木小片）を含むものがある。炭化物は付着するものなく、沈着するものがある
第Ⅱ群土器	後期後葉	遺物包含層・ 旧河道堆積層	深鉢（約9割）、浅鉢・壺 (若干)	深鉢・浅鉢ともに炭化物の付着や沈着があり、煮沸用。
		遺物包含層・ 旧河道堆積層	深鉢のほかに、袖珍土器 1点	
第Ⅴ群土器	後期前葉	遺物包含層	深鉢	
		遺物包含層	深鉢	
第VI群土器		遺物包含層	深鉢	
第VII群土器	後期初頭	遺物包含層	深鉢のうち、4点に注口部付き	深鉢には大小の別がある。通常、大型品内面には炭化物は付着しない。中小型品では、内面下部に環状に炭化物が付着するものが多い。底面外縁～胴部下端にかけて環状に煤状炭化物の付着するものがある
第VIII群土器	中期末葉	遺物包含層	深鉢	
第IX群土器		遺物包含層	深鉢	
第X群土器	中期後葉	遺物包含層	深鉢1個体単独出土	深鉢内面下部に環状に炭化物付着する。

第17表 山居遺跡の土器組成と用途の通時的な変化

第Ⅰ群土器においては、9割以上をしめる深鉢・鉢の炭化物の付着が著しい。内面の炭化物では発泡状を呈するものがある。また、漆塗を含む皿を若干伴っている。同時期の大和町摺薪遺跡第Ⅷ期土器では、約75%を深鉢・鉢が占め、約25%を皿・壺・注口土器が占めている。ほぼ同時期の東松島市里浜貝塚西畑地点の土器組成も、約73%を深鉢・鉢、残りを浅鉢・壺・注口土器が占めており、摺薪遺跡とほとんど変わらず、山居遺跡遺物包含層の著しく煮沸に偏る土器組成とは対照的である。

第Ⅱ～X群土器においても深鉢が主体で、特に第V～X群土器においては深鉢のみの土器組成となっている。第Ⅱ～Ⅳ群土器において、煮沸以外の土器をわずかに伴っている。大型の深鉢内面には炭化物の付着は認められない。中小型深鉢の内面下部には、環状に炭化物が付着するものが多く、いわゆる「おこげ」に相当するものと考えられる。また底面外縁から胴部下端にかけて環状に煤状炭化物が付着するものがあり、これらは何らかの支脚状のものが用いられたと考えられた。山居遺跡第Ⅶ群土器と同じ中期末葉の七ヶ宿町大梁川遺跡第Ⅰ層土器においては、深鉢86%、浅鉢10%ほか、鉢、台付鉢、器台、袖珍土器の組成から成り立っている。浅鉢の中には、炭化物の付着する注口付のものや小皿状のものがあり単純な計数はできないものの、90%以上は煮沸用と見られる。宮城県北部では統計処理に適する調査例はないものの、大木開貝塚・坂戸遺跡・般沢遺跡・細谷B遺跡・丸森山遺跡等において、浅鉢や袖珍土器などがわずかずつではあるが出土しており、基本的には大梁川遺跡の土

器組成と変わらないものと推測される。山居遺跡遺物包含層における煮沸に供する深鉢のみの構成は、土器組成におけるひとつの特色と言えよう。

## 6. その他の人工遺物について

縄文土器以外の人工遺物では、円盤状土製品が30点、剥片石器12点、礫石器11点、木製品3点がある。円盤状土製品の多くは遺物包含層に廃棄された縄文時代中期前葉～後期前葉のものであった。晚期中葉第I群土器では炭化物の付着した土器をそのまま円盤状土製品に加工しているものがあった。

剥片石器では後期後葉以降、石匙2点・石鎌1点が出土したのみで、後期中葉以前のトゥールは出土していない。石核や剥片は各期に1、2点ずつが出土している。石材では中期後葉～晚期中葉まで珪質頁岩を素材とするものがある。後期前葉に黒曜石（湯の倉産？）、後期後葉～晚期中葉に鉄石英・在地産と見られる黒色頁岩が用いられたものがある。

礫石器では磨石・凹石・石皿・台石類が中期前葉～晚期中葉にかけて出土している。各期1、2点ずつの出土で他の遺跡の遺物包含層と比較すると、極めて少ない量といえる。そのほか、被熱の痕跡や炭化物が付着しただけの礫が出土したが、これらは一部取り上げただけであった。また、晚期中葉の旧河道では、石棒破片1点が出土している。石材は磨石・凹石・石皿・台石類が砂岩、石棒が粘板岩でいずれも在地産のものである。

群土器	層	主な出土遺構・層		器種	材質
		遺物包含層	旧河道堆積層		
(第I～II群土器)	後期中葉	遺物包含層	石核1点	珪質頁岩1点	
		旧河道堆積層	石核1点、剥片2点、磨石1点、石棒1点	円盤状土製品3点	珪質頁岩1点、鉄石英1点、黒色頁岩1点、粘板岩1点、砂岩1点
		塊状遺構	カコ1点、礫石1点(被熱)		竹1点、砂岩1点
(第III～VI群土器)	後期後葉	遺物包含層	剥片1点		鉄石英1点
		遺物包含層	石核2点・剥片1点(熱ハジケ)	円盤状土製品2点	珪質頁岩2点、黒色頁岩1点
		旧河道川べり	机1点		木1点
(第VII～VIII群土器)	後期中葉	旧河道堆積層	軋断面のある材1点		木1点
		旧河道堆積層	凹石1点(被熱)、磨石1点		砂岩2点
		遺物包含層		円盤状土製品1点	
第IV群土器	後期前葉	遺物包含層	磨石1点		砂岩1点
		遺物包含層	剥片2点		黒曜石(湯の倉産?) 1点、石英1点
第VI群土器	後期初頭	遺物包含層		円盤状土製品17点	
		遺物包含層	磨石1点・台石1点		砂岩2点
第VII群土器	中期末葉	遺物包含層	剥片1点(熱ハジケ)、磨石1点・石皿1点	円盤状土製品7点	珪質頁岩1点、砂岩2点
		遺物包含層	剥片1点		珪質頁岩1点
第VIII群土器	中期後葉	遺物包含層			

第18表 山居遺跡におけるその他の人工遺物の過時的な変化

## 7. 自然遺物について

自然遺物は動物遺存体・植物遺体がある。人為的な廃棄層からなる遺物包含層と旧河道堆積層とでは内容に違いが認められた。

遺物包含層では、動物遺存体は鳥骨を含む獸骨類の白色化・炭化した焼骨が主に出土した。焼骨は概ね2cm以下の大きさで、細かな亀裂が走っており、軟部が付着した状態で焼かれたものと考えられる(茂原ほか 1986)。いずれも種別や部位の特定にはいたらなかった。遺物包含層にこうした獸骨類

の焼骨が廃棄された例は宮城県内では、中期初頭の栗原市嘉倉貝塚（宮城県教育委員会 2003）、中期初頭～前葉の七ヶ宿町小梁川遺跡（宮城県教育委員会 1986c）などが知られている。

植物遺体ではおびただしい微粒炭が遺物包含層から得られ、それらは最大でも10mmに満たない碎片となっており、その多くはトチノキ炭化種皮破片と若干のオニグルミ炭化種皮破片であった。後期後葉～晩期中葉にかけては、これらを主体にブナ・クヌギ節・コナラ節・ヒシ・クリ・ブドウ等と種類が豊富になっている。今回発見された大きさ10mmに満たない大量のトチノキ炭化種皮破片は、東北地方だけでも、縄文時代前期中葉の秋田県池内遺跡（名久井 2006）、縄文時代中期の青森県近野遺跡（青森県教育委員会 2006）、縄文時代後期の秋田県上谷地遺跡（秋田県教育委員会 2005）・柏子所Ⅱ遺跡（秋田県教育委員会 2005）、縄文時代後期～晩期の山形県高瀬山遺跡（山形県埋蔵文化財センター 2005）、縄文時代晩期の青森県是川中居遺跡（八戸市教育委員会 2002）での出土が知られている。これらの遺跡は大掛かりな木組や木枠を用いた水さらし場を伴っており、山居遺跡例と必ずしも同一視できるとは限らない。この中で2002年に調査された秋田県能代市柏子所Ⅱ遺跡では、沢べりの捨て場（遺物包含層）IV層が、水さらし場遺構（SX42）によって切られ、さらに全体が捨て場（遺物

区分	主な出土遺構・層	動物遺存体	植物遺体		
			種子・種実ほか	花粉	
第Ⅰ群土器	後期中葉	遺物包含層	イノシシ1点	オニグルミ内果皮破片1採取	
		田河遺跡堆積層	シカ9点	SX03・ブナ炭化種皮破片30・トチノキ炭化種皮破片28・イタヤカエデ炭化種皮破片2・広葉樹2・オニグルミ内果皮破片1・アザダ葉実1・トチノキ炭化種皮破片1・シノノミ葉実1・マタタビ種子1・ウコモ近細胞1・クマノミズキ1・カラツリグサ1・ミズソバ1・キンポウゲ1・スミレ葉1)ほか、トチノキ34・オニグルミ31・ハクワウボク2・クリ1・カヤ1(SX03)、トチノキモ1・オニグルミ5 (SX04)を採取	
(第Ⅰ～Ⅱ群土器)	後期後葉～晩期中葉	遺物包含層	シカ3点	SX06・トチノキ種皮破片224・ブナ炭化種皮破片15・オニグルミ炭化種皮破片1・トチノキ葉実破片3・コナラ炭化種皮破片2・オニグルミ内果皮破片半分1・イタヤカエデ葉実1・トチノキ炭化種皮破片1・ズキ内果皮1)、SX05(トチノキ種皮破片6・殆ど)	
		田河遺跡堆積層	イノシシ1点 (被熱)・シカ1点(被熱)	樹皮炭量多いV1585mmf (2a層)・トチノキ炭化種皮破片1235・オニグルミ炭化種皮破片318・ブナ炭化種皮破片176・ウコモ近細胞1・アザダ葉実63・コラマ炭化種皮破片1基265・ヒシ炭化種皮破片7・シノノミ炭化種皮破片3・アツダ2・ケヤク2・ブドウ属炭化種1・イタヤカエデ1)ほかトチノキ種皮破片1を採取	少ない(樹木20個体/トチノキ葉6・ハノンキ葉4・コナラ葉3・ケヤキ葉3・クリ葉2・クマシデ葉アーザダ葉1・ウルシ1・草本7個体/イヌ科1・セリ科2・ヨモギ科1・ラン科ボウヅキ1・シダ植物孢子7)
第Ⅱ群土器	後期後葉	遺物包含層	シカ1点	樹皮炭量多いV670・608mmf (2a層)・トチノキ炭化種皮破片15・マタタビ11・ラサキ葉2・ウコモミズキ6・ヤマガラ3・タラノミ3・ミズキ3・コトコ2・広葉樹2・ノミノフスマ2・オニグルミ炭化種皮破片1・トチノキ炭化種皮破片1・シノノミ炭化種皮破片1・シナガラ1・マタタビ1・マツ葉(不明)1・ヤナギ葉1・クマシデアサダ葉1・カバノキ葉1・シノノキ葉1・ウコモギ葉1・ミズキ葉1・草本8個体/ヨモギ葉3・イヌ科2・ガマ葉1・カヤツリグサ1・アカザ科1ヒユ科1・シダ植物孢子37・難生1	多い(SX07・15・1層・樹木225個体/トチノキ葉64・クリ葉60・コラマ葉28・ケヤキ葉12・ハノンキ葉5・マツ葉26・シノノミ葉23・ヒシ葉2・ウルシ葉2・カラム葉2・マツ葉(不明)1・ヤナギ葉1・クマシデアサダ葉1・カバノキ葉1・シノノキ葉1・ウコモギ葉1・ミズキ葉1・草本8個体/ヨモギ葉3・イヌ科2・ガマ葉1・カヤツリグサ1・アカザ科1ヒユ科1・シダ植物孢子37・難生1)
		田河遺跡堆積層	シカ1点、イノシシ1点 (被熱)	トチノキ幼苗1採取	
第Ⅲ群～第Ⅴ群土器	後期中葉	田河遺跡堆積層	シカ1点、イノシシ1点 (被熱)		
第Ⅲ群土器	後期中葉	田河遺跡堆積層			
第Ⅳ群土器	遺物包含層				
第Ⅴ群土器	後期の葉	遺物包含層			
第Ⅵ群土器	後期初期	遺物包含層	熊糞(歯骨含糞)	樹皮炭量多いV3147mmf -2c層=トチノキ炭化種皮破片362・オニグルミ炭化種皮34	まれ(樹木4個体/クリ葉2・トチノキ葉1・ハノンキ葉1)
第Ⅶ群土器	後期初期	遺物包含層			
第Ⅷ群土器	中期末葉	遺物包含層		樹皮炭量多いV1054mmf -3a層=トチノキ炭化種皮破片46・オニグルミ炭化種皮10	まれ(樹木2個体/クリ葉2・シダ植物孢子10)
第Ⅸ群土器	中期後葉	遺物包含層			

第19表 山居遺跡における自然遺物の時的な変化

包含層) IIa層によって覆われている状況が確認された。IV層が縄文時代後期前葉～末葉、SX42が後期末葉、IIa層が後期末葉～晩期の遺物包含層である。出土遺物のほとんどがこの遺物包含層から出土しており、IV層では土器・石器とともに動物・魚類の焼骨、トチの種皮碎片が大量に検出されている。II層の遺物包含層では、こうした動植物遺体はほとんど出土していない。柏子所Ⅱ遺跡が沢の出口付近に立地する点や、遺物包含層の形成箇所、出土遺物の組成、トチノキ種皮破片の出土状況などにおいて、山居遺跡に極めて類似した様相となっている。山形県寒河江市高瀬山遺跡の中では、晩期石組遺構の北東に形成された炭化種子集中部のトチノキ種皮破片が最も類似する。高瀬山遺跡の石組遺構は5~25cmの約1,500個を超える疎が隙間なく敷き詰められた「足場的な施設」で、木組遺構と同時期に存在した一連の施設と考えられている。この石組遺構で加工された残滓が廃棄されたのが炭化種子集中部と捉えられている。作業場的なスペースと認識された石組遺構内からは、磨石1点・凹石1点の出土が見られたのみである点も、山居遺跡の遺物包含層に類似している。

山居遺跡遺物包含層から出土した多量のトチノキ種皮碎片は、トチの実を種皮つきのまま粉砕してアカを抜く方法による廃棄残滓と考えられた。こうしたトチの実の搗き砕きには、民俗例では「木槌」が報告(名久井 2006)されており、必ずしも敲石や磨石・石皿といった石製の道具が使用されるとは限らない。山居遺跡における礫石器の稀少性を考えると、むしろ何らかの木製敲打具によってこうした作業が行われた可能性も考慮しなければならないだろう。

遺物包含層中の花粉や胞子はほとんど分解しており、残っていないものの、中期後葉ではクリ、後期初頭ではクリ・トチノキ・ハンノキ、後期後葉～晩期中葉では明らかにトチノキ優勢の林相となっている。この中にはウルシ花粉1個体が含まれており、晩期中葉の漆塗土器との関連が考えられた。

砂疊層と植物遺体を多量に含む有機質層の互層からなる旧河道堆積層では、被熱の痕跡のないスパイラル削れの特徴を示すシカの各部位が散発的ながら採取されている。これらは解体作業後、そのまま河道に投棄されたものと考えられた。旧河道の種皮や種実の調査においては、炭化種子・種実の出土はごく少量であり、遺物包含層とは明らかに異なる様相を呈している。特にトチノキでは食用にならない果皮や幼果、幼種子などが一緒に出土している。このほか、調査時に旧河道から取り上げたオニグルミの中には敲打痕を残すものが70%を占めていた。このことから、オニグルミは敲打によって半割され、その殻の多くは河道に投棄された可能性が考えられた。

山居遺跡の旧河道堆積層における遺物の出土状況は、1997年に調査された東松島市里浜貝塚西畠地区J43地点(鳴瀬町教育委員会 1998)に類似している。J43地点は、ちょうど現海岸線の浜堤の後背湿地にあたる標高2.7mの場所にあたり、海拔0m付近まで調査が行われた。このうち6層が有機質層、7層が無遺物の純粹な砂層、8・9層(南境式～大木10式期)

分類群名	産出部位	8a層上部	8a層下部	8b層	9層
オニグルミ	内果皮完形		1		1
	完形食糞	1		2	3
	半分	1	1		1
	半分食糞	1			1
	半分割跡	19	21	20	23
	破片	18	33	56	34
トチノキ	種子完形		3	3	1
	種子破片	6	13	47	7
	果実完形				1
	果実破片	14	19	26	3
クロマツ	果実	3	4		
	球果	14	1	1	
	葉先端		多		

第20表 里浜貝塚西畠地区J43～14におけるオニグルミ・トチノキ・クロマツの現地取り上げ状況 (吉川 1999) を改変

が大量の植物遺体を含む粘土層となっている。出土土器は少なく、6層中の1個体が5片接合したのみで、他は全く接合していない。発掘調査における植物遺体现地取り上げ資料（第20表）では、トチノキは食用にならない効果や果実破片を多く含んでおり、やはり食用にはならないクロマツ球果も比較的多く含んでいる。オニグルミは山居遺跡の旧河道堆積層と同様に半分割の痕跡を残すものや破片が多く確認されている。また、山居遺跡遺物包含層で確認された多量のトチノキ種皮碎片は、J43地点の試料100ccあたりの分析では、9層上部からわずか1点が確認されたに過ぎず、人為的な遺物包含層とは著しく異なる様相を呈している。

後期後葉の山居遺跡旧河道堆積層では、トチノキ・オニグルミの他にマタタビ・ムラサキシキブ属・クマノミズキ・ヤマグワ等、晩期中葉ではブナ科・イタヤカエデ・ニワトコ等の炭化種子・種実が検出された。旧河道堆積層には花粉や胞子が多く含まれ、後期後葉の旧河道の花粉分析では、トチノキ属・クリ属・コナラ亜属・ケヤキ属・ハンノキ属・マツ属などが見つかっており、旧河道堆積層の花粉の調査においてもトチノキ林優勢の林相が明らかになった。

## 8. 遺構の性格について

山居遺跡I区においては、遺物包含層に掘り込まれた土壙1基とビット1個、旧河道においては壠状遺構3基と杭跡1箇所が検出された。

土壙とビットはSX01②遺物包含層・C3西ベルトの包含層2b①層上面において検出された。ともに堆積土は黒褐色～黒色シルトの自然堆積層であった。土壙の堆積層中には第Ⅱ群土器が含まれており、概ね縄文時代後期後葉の第Ⅱ群土器期に相当するものと考えられる。周囲には安定した層理面の包含層2a②層上面～2b①層上面が広がっており、この面が掘り込み面と考えられた。

旧河道からは、壠状遺構SX05・06・22と杭跡SX21が検出された。SX05・06は旧河道SX04・SX03内で確認され、出土土器から縄文時代晩期中葉の第Ⅰ群土器期に属するものである。このうち、SX05では、下流側に深鉢形土器の大破片や被熱による赤変の認められる礫などが立てられたように並んで検出された。堆積層上部は浮遊物と見られる木の枝やトチの実、クルミを含む有機質層となっていた。遺構の東側は旧河道SX03によって壊されていた。SX06では、上流側に裁断面のある材が旧河道を横切るように並び、下流側には被熱による赤変の認められる礫を含む拳大の礫が集中して確認された。その間の黒褐色粘土層から炭化していない生トチとカゴ断片が発見され、下流側の礫は本来壠状を成していたものと考えられた。植物遺体の分析からも、SX06堆積層中から出土した生トチは他の旧河道堆積層中から出土したものとは異なる様態であることが指摘されており、果皮を外した状態で人為的に持ち込まれたものと考えられた。SX22は旧河道SX24内で確認され、SX22堆積層中からは第Ⅳ群土器の小片が1点発見されたが、SX24堆積層中には第Ⅲ群土器が含まれており、縄文時代後期中葉に属するものと考えられた。SX06と同様に下流側に被熱による赤変の認められる礫を含む拳大の礫が集中して確認され、上流側の黒色土層中に完形を含むトチノキ種子が確認され、これらについても果皮を外した状態で人為的に持ち込まれたものと考えられた。民俗例では、採集した生トチを水に漬けて虫出しする方法や生トチを10日間ほど流水に晒しその後に平らな石に載せて叩いて皮

をとる方法（名久井 2006）が知られており、生トチを水に漬けるか晒すかするための施設であったと考えられる。1本だけ確認された木杭跡SX21も流路にこうした生トチが流出してしまわないようにするための施設の一部であった可能性も考えられよう。

## 9. 遺跡の性格について

以上、山居遺跡における個々の人工・自然遺物、遺構などの分析を通じて、その時期や用途などについて明らかにすることができた。おわりに山居遺跡全体の性格に関して総括し、むすびとしたい。

剥片石器では遺物包含層から、後期後葉の石匙が2点出土しているのみである。全時代を通じてごく少數の石核や剥片が出土しているに過ぎず、この遺跡が本格的な石器製作の場であったとは考えにくい。剥片類では他の遺物包含層出土遺物同様、被燃の痕跡を残すものがあるのも特色のひとつであろう。磨石・凹石類や石皿・台石類も遺物量に比べて、ほとんどまれにしか出土していないと言え、この場において、本格的な製粉作業が行われたとも考えにくい。旧河道堆積層からは石錆1点・石棒1点が出土しているものの、特に石棒は削口まで摩滅したものであり、これらはさらに上流部から流されて来た可能性があろう。こうした点から、狩猟や石棒祭祀の場であったとも考えられない。また、土偶や土版・岩版、裝身具の類は全く出土しておらず、そうした呪術ないしは葬送とも、山居遺跡は関わりがないものと考えられる。

山居遺跡遺物包含層の炭化物碎片の多くはトチノキ炭化種皮破片であった。また旧河道中の堰状遺構からは出土状況から本来完形であったと考えられる生トチとカゴ断片が出土している。これらのことから、山居遺跡はトチの実の採集～水漬けないしは水晒し～搗き碎きによるアグロバーグ～加工及び残滓の廃棄が主として行われた遺跡と考えられた。土器の使用の痕跡では、深鉢の多くはいわゆるおこげの跡と考えられる炭化物～特に晩期中葉では発泡状～が残っており、調理具と考えられる。焼けた獸骨・鳥骨も出土しており、何らかの調理や食事もこの場で行われたものと考えられる。炭化物の痕跡が見られない大型の深鉢は湯沸しに使われたと見られ、トチの加工のどこかの工程で用いられた可能性があろう。

以上、山居遺跡は縄文集落という観点からは、余りにも欠落しているものや、極端に偏っている部分があり、この遺跡だけをもって当時の生活が完結していたとは考えにくい。また、谷底の沢べりには小平地が認められるものの、集落を構成するには狭過ぎ、恒常に集落を営むには物理的にほとんど不可能なものと考えられる。現在、山居沢は近世絵図にも描かれている昆布沼に注いでおり、その沼のほとりの独立丘陵には山居遺跡とほぼ同時代の大木10式～大洞A'式に及ぶ深山貝塚が知られている（加藤 1961）。桃生町教育委員会による桃生小学校保管の伝深山貝塚出土土器の調査では大木8b式土器も確認（桃生町史編纂委員会 1996）されており、遺跡の開始時期は中期中葉まで遡る可能性もある。深山貝塚では後期各期、大洞B旧式、大洞C2式、大洞A式の土器も発見されており、深山貝塚と山居遺跡の継続期間は概ね重複している。また、深山貝塚には土偶や石器などの多様な出土遺物（桃生町史編纂委員会 1988・1996）があり、縄文集落としての要件はほぼ満たしていると言える。この深山貝塚を拠点集落とする季節的な労働が、山居遺跡では行われていたものと考えられよう。

## 第V章　まとめ

1. 山居遺跡（1区）は主として縄文時代中期後葉から晩期中葉に関わる遺跡である。
2. 発見された遺構には土壙1基、ピット1個、堰状遺構3基、杭跡1ヶ所、遺物包含層3ヶ所があり、旧河道堆積層も検出された。
3. 遺物包含層からは大量の土器とともに、主としてトチノキ炭化種皮破片が多量に出土した。旧河道中の堰状遺構SX06からは生トチとカゴ断片が出土している。
4. 土器組成や石器組成をはじめとし、縄文時代の遺物組成から見て、大きな偏りがあり、近接する深山貝塚との関連が考えられた。

## 引用文献

- 青森県教育委員会 2006 「近野遺跡Ⅱ」青森県埋蔵文化財調査報告書第418集
- 秋田県教育委員会 1989 「東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅱ(補遺) -上ノ山Ⅱ遺跡-」秋田県文化財調査報告書第186集
- 秋田県教育委員会 1997 「池内遺跡 遺構編」秋田県埋蔵文化財調査報告書第268集
- 秋田県教育委員会 1999 「池内遺跡 遺物・資料編」秋田県埋蔵文化財調査報告書第282集
- 秋田県教育委員会 2005a 「上谷地遺跡・新谷地遺跡」秋田県埋蔵文化財調査報告書第395集
- 秋田県教育委員会 2005b 「柏子所Ⅱ遺跡」秋田県埋蔵文化財調査報告書第398集
- 石巻市教育委員会 1976 「沼津貝塚保存管理計画策定事業報告書」
- 伊東信雄 1957 「古代史」「宮城県史」宮城県史刊行会
- 伊東信雄・須藤 隆 1985 「山王圓遺跡調査図録」宮城県一迫町教育委員会
- 今井富士雄・磯崎正彦 1968 「十勝内遺跡」「岩木山」pp. 316~388
- 岩手県花泉町教育委員会 1971 「貝島貝塚」
- 岩手県文化振興事業団 2002 「清水遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第382集
- 植田房雄 1954 「宮城県裡崎貝塚の地質学的研究先史日本人類の時代について(予報)」「桃生町史」第2巻資料編pp. 654~665に再録)
- 江坂輝彌 1956 「各地域の縄文式土器 東北」「日本考古学講座」3 pp. 91~124 河出書房
- 江坂輝彌ほか 1959 「日本各地の縄文式土器形式編年と推定文化編」「世界考古学大系1 日本I」巻末折込 平凡社
- 大迫町教育委員会 1986 「観音堂遺跡 -第1次~6次発掘調査報告書-」大迫町埋蔵文化財報告II
- 小笠原好彦 1993 「袖ヶ浦貝塚出土の縄文後期初頭土器」「宮城史学」特別号(第14・15・16号)宮城歴史教育研究会 pp. 4~22
- 加藤 孝 1961 「考古学上よりみた桃生村内の古代遺跡」「桃生村誌」附録pp. 1~18
- 加藤 孝・後藤勝彦 1975 「登米郡南方町青島貝塚発掘調査報告」「南方町史」資料編2巻 宮城県南方町
- 小井川和夫 2004 「里浜貝塚風越地点出土土器の検討」「東北歴史博物館研究紀要」5 pp. 17~51 東北歴史博物館
- 後藤勝彦 1956 「宮城県宮戸島里浜台圓貝塚の研究」「宮城県の地理と歴史」1
- 後藤勝彦 1957 「陸前宮戸島里浜台圓貝塚出土の土器編年について」「塩竈市教育論文」2
- 後藤勝彦 1960 「宮城県名取市高金剛寺貝塚出土縄文式土器の研究」「宮城県の地理と歴史」2 pp. 109~122 地域社会研究会
- 後藤勝彦 1962 「陸前宮戸島里浜台圓貝塚出土の土器について -陸前地方後期縄文式文化の編年の研究-」「考古学雑誌」48-1 日本考古学会
- 後藤勝彦 1974 「縄文後期宮戸I b式周辺の吟味 -南境貝塚出土の土器をもととして-」「東北の考古・歴史論集」 pp. 79~110 平重道先生還暦記念会
- 後藤勝彦 2004 「南境貝塚調査の層位の成果 I 7トレンチの場合 -陸前地方縄文中期から後期の編年学的研究-」「宮城考古学」6 pp. 63~110 宮城県考古学会
- 後藤勝彦 2005 「南境貝塚調査の層位の成果 II 8トレンチの場合 -陸前地方縄文中期から後期の編年学的研究-」「宮城史学」24 pp. 1~29 宮城教育大学歴史研究会
- 小林謙一ほか 2003 「AMS14C年代による縄文土器型式の変化の時間幅」「日本考古学協会第69回大会総合研究発表要旨」
- 小林謙一 2006 「東日本の縄文晩期の年代」「弥生農耕の起源と東アジア」News Letter No. 4 国立歴史民俗博物館
- 小林正史 2003 「使用痕跡からみた縄文・弥生土器による調理方法」「石川県考古学研究会会誌」46 pp. 67~96
- 齋藤良治 1960 「宮城県鳴瀬町宮戸台圓貝塚の研究 -昭和30年度Cトレンチ-」「宮城県の地理と歴史」2
- 齋藤良治 1968 「陸前地方縄文文化後期後半の土器編年について -宮戸台圓貝塚及び西ノ浜貝塚出土の土器を中心として」「宮城県の地理と歴史」3
- 札幌市教育委員会 1975 「S239遺跡」札幌市文化財調査報告書IX
- 茂原信生・桜井秀雄・小野寺 覚 1986 「小栗川遺跡出土の人骨および獸骨」「小栗川遺跡 遺物包含層土器編」pp. 643~646 宮城県文化財調査報告書第117集
- 志間泰治 1956 「宮城県伊具郡岩ノ入遺跡」「日本考古学年報」9 日本考古学協会
- 志間泰治 1960 「丸森町清水遺跡の調査」「宮城県の地理と歴史」2 pp. 98~108 地域社会研究会
- 志間泰治・桑月 鮑 1991 「宝ヶ峯」財團法人齋藤報恩会編

- 須藤 隆 1985 「東北地方における縄文集落の研究」『東北大考古学研究報告』1 pp.1~36 東北大考古学研究室
- 須藤 隆 1992 「東北地方における晩期縄文土器の成立過程」『東北文化論のための先史学歴史学論集』pp.655~708 加藤稔先生還暦記念会編
- 須藤 隆編 1995 「縄文時代晩期貝塚の研究2 中沢貝塚Ⅱ」東北大考古学研究室
- 須藤 隆 1998 「東北日本先史時代文化変化・社会変動の研究 縄文から弥生へ」
- 仙台市教育委員会 1981a 「山口遺跡発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第33集
- 仙台市教育委員会 1981b 「六反田遺跡発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第34集
- 仙台市文化財調査報告書 1984 「山口遺跡Ⅱ」仙台市文化財調査報告書第61集
- 仙台市教育委員会 1987a 「山田上ノ台遺跡」仙台市文化財調査報告書第100集
- 仙台市教育委員会 1987b 「六反田遺跡Ⅲ」仙台市文化財調査報告書第102集
- 仙台市教育委員会 1990 「下ノ内浦遺跡・仙台市高速鉄道関係遺跡調査報告書Ⅱ」仙台市文化財調査報告書第136集
- 仙台市教育委員会 1995 「伊古田遺跡・仙台市高速鉄道関係遺跡調査報告書Ⅲ」仙台市文化財調査報告書第193集
- 仙台市教育委員会 1996 「下ノ内浦遺跡・山口遺跡」仙台市文化財調査報告書第207集
- 仙台市教育委員会 2000 「王ノ壇遺跡」仙台市文化財調査報告書第249集
- 大和町教育委員会 2004 「金取遺跡ほか」大和町文化財調査報告書第14集
- 滝沢村教育委員会 1995 「けや木の平切地遺跡」岩手県滝沢村文化財調査報告書第30集
- 築館町教育委員会 2005 「磐沢遺跡」築館町文化財調査報告書第18集
- 東北歴史資料館 1983 「里浜貝塚Ⅱ」東北歴史資料館資料集7
- 東北歴史資料館 1997 「里浜貝塚X」東北歴史資料館資料集43
- 名久井文明 2006 「トチ食料化の起源－民俗例からの淵源的考察－」『日本考古学』第22号 pp.71~93 日本考古学会
- 鳴瀬町教育委員会 1998 「里浜貝塚 平成9年度発掘調査概報」鳴瀬町文化財調査報告書第3集
- 鳴瀬町教育委員会 1999 「里浜貝塚 平成10年度発掘調査概報」鳴瀬町文化財調査報告書第5集
- 西田泰民 1994 「東北北部における海綿骨針含有土器」「平成4年度科学研究費補助（総合A）研究成果報告書（課題番号：04301049）」縄紋晚期前業－中葉の広域編年』pp.22~24 北海道大学文学部
- 芳賀寿幸 1974 「向畠遺跡調査概報」『柴田町博士研究会会報』7（柴田町 1983 「柴田町史」資料篇1に再掲）
- 芳賀良光 1968 「宮城県宮戸島貝塚梨木園遺跡の研究」『仙台湾周辺の考古学的研究』pp.45~53
- 追町教育委員会 2005 「坂戸遺跡」追町文化財調査報告書第4集
- 八戸市教育委員会 2002 「是川中居遺跡Ⅰ」八戸市埋蔵文化財調査報告書第91集
- 林 謙作 1965 「縄文文化の発展と地域性 東北」「日本の考古学」II 河出書房新社
- 早瀬亮介・菅野智則・須藤隆 2006 「東北大考古学研究科考古学陣列館所蔵大木園貝塚出土基準資料」『東北大総合学術博物館研究紀要』5 pp.1~40
- 原 信行・馬日順一 1968 「宮城県大木園貝塚発見の遺物について」「古代」51 pp.31~42
- 福島県いわき市教育委員会 1985 「愛谷遺跡」いわき市埋蔵文化財調査報告書第12冊
- 福島県教育委員会 1996 「三春ダム関連遺跡調査報告書」福島県文化財調査報告書第322集
- 藤沼邦彦 1968 「石巻市沼田貝塚調査概報」
- 藤沼邦彦 1989 「亀ヶ岡式土器様式」「縄文土器大観」4 pp.318~324
- 邊見範高 1976 「天雄寺貝塚」1 南三陸先史文化研究会
- 星川清親・庄司胸男 1987 「小梁川遺跡より出土の植物遺体の鑑定」「七ヶ宿ダム関連遺跡調査報告書Ⅲ 小梁川遺跡」宮城県文化財調査報告書第122集 pp.471~476
- 横 要照 1968 「陸前地方縄文文化後期末遺物に研究－台開出土の土器についての一考察」「宮城県の地理と歴史」3
- 松島町史編纂委員会 1989 「松島町史（資料編1）」松島町
- 宮城県 1981 「宮城県史」34（資料編11）宮城県史刊行会
- 宮城県塙釜女子高等学校社会部 1970 「宮城県七ヶ浜町二月田貝塚発掘調査報告」「貝輪」6
- 宮城県塙釜女子高等学校社会部 1971 「宮城県七ヶ浜町二月田貝塚第二次発掘調査報告」「貝輪」7
- 宮城県教育委員会 1967 「西ノ浜貝塚緊急発掘調査概報」「新産業都市指定地区埋蔵文化財緊急発掘調査等報告書」宮城県文化財調査報告書第13集
- 宮城県教育委員会 1969a 「埋蔵文化財緊急発掘調査概報－長根貝塚－」宮城県文化財調査報告書第19集

- 宮城県教育委員会 1969b 「彌麗文化財第4次緊急調査概報－南境貝塚』宮城県文化財調査報告書第20集
- 宮城県教育委員会 1978 「湯坪遺跡発掘調査概報』宮城県文化財調査報告書第54集
- 宮城県教育委員会 1980a 「玉造遺跡』宮城県文化財調査報告書第68集
- 宮城県教育委員会 1980b 「金取遺跡』宮城県文化財調査報告書第70集
- 宮城県教育委員会 1982a 「青木畠遺跡』宮城県文化財調査報告書第85集
- 宮城県教育委員会 1982b 「東北自動車道遺跡調査報告書Ⅷ』宮城県文化財調査報告書第92集
- 宮城県教育委員会 1984a 「東北自動車道遺跡調査報告書Ⅸ』宮城県文化財調査報告書第99集
- 宮城県教育委員会 1984b 「大谷地遺跡』『宮城県菅德園場整備等関連遺跡詳細分類分布調査報告書（昭和58年度）』宮城県文化財調査報告書第100集
- 宮城県教育委員会 1985 「小梁川東遺跡」「七ヶ宿ダム関連遺跡発掘調査報告書Ⅰ』宮城県文化財調査報告書第107集
- 宮城県教育委員会 1986a 「田柄貝塚』宮城県文化財調査報告書第111集
- 宮城県教育委員会 1986b 「亘理町畠中貝塚－黒森沢砂防流路工事関連調査報告書－』宮城県文化財調査報告書第115集
- 宮城県教育委員会 1986c 「小梁川遺跡遺物包含層土器編』宮城県教育委員会第117集
- 宮城県教育委員会 1987a 「中ノ内A遺跡・本屋敷遺跡他－東北横断自動車道遺跡調査報告書Ⅱ－』宮城県文化財調査報告書第121集
- 宮城県教育委員会 1987b 「七ヶ宿ダム関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ 小梁川遺跡』宮城県文化財調査報告書第122集
- 宮城県教育委員会 1988 「大梁川遺跡・小梁川遺跡』宮城県文化財調査報告書第126集
- 宮城県教育委員会 1990 「摺蒼遺跡』宮城県文化財調査報告書第132集
- 宮城県教育委員会 2003 「嘉麻貝塚』宮城県文化財調査報告書第192集
- 宮城県教育委員会 2006 「桃生城跡・細谷B遺跡』宮城県文化財調査報告書第205集
- 宮城県教育委員会 2007 「早風遺跡ほか』宮城県文化財調査報告書第213集
- 宮崎町教育委員会 2001 「君ヶ袋遺跡 道下遺跡』宮崎町文化財調査報告書第12集
- 桃生町史編纂委員会 1988 「桃生町史』第2巻 資料編
- 桃生町史編纂委員会 1996 「桃生町史』第5巻 通史編
- 山形県埋蔵文化財センター 2005 「高瀬山（HO地区）発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財調査センター調査報告書第145集
- 山崎純男 2005 「土器圧痕から見た食と生業」『土器研究の新視点』pp. 79～93
- 山内清男 1929 「関東北に於ける繩維土器』『史前学雑誌』1～2, pp. 117～146
- 山内清男 1930 「所謂亀ヶ岡式土器の分布と繩紋式土器の終末』『考古学』1～3 pp. 139～157
- 山内清男 1937 「繩紋土器型式の細別と大別』『先史考古学』1～1
- 山内清男 1964 「繩文式土器・總論』『日本原始美術』1 pp. 148～158 講談社
- 山内清男 1969 「繩紋時代研究の現段階』『日本と世界の歴史』第1巻 pp. 86～97 学習研究社
- 山内先生没後25年記念論集刊行会 1996 「西龍点睛」
- 吉川純子 1999 「里浜貝塚より産出した大型植物化石』『里浜貝塚 平成10年度発掘調査概報』鳴瀬町文化財調査報告書第5集
- 吉川昌信・吉川純子 2005 「縄文時代中・後期の環境変化』『日本考古学協会2005年度福島大会シンポジウム資料集』pp. 13～22
- 吉田 格 1960 「東京都武藏野郷土館調査報告書 第一冊－横浜市称名寺貝塚－』武藏野文化協会
- 吉田義昭 1960 「門前貝塚』盛岡市公民館
- 涌谷町教育委員会 2004 「ツナギの沢貝塚』涌谷町文化財調査報告書第6集

## 参考文献

- 相原淳一 2005 「宮城県における複式炉と集落の様相」『日本考古学協会2005年度福島大会シンポジウム資料集』pp. 97~116
- 青森県考古学会・弘前大学人文学部日本考古学教室 2006 「亀ヶ岡文化の諸問題」
- 安達尊伸・中村 直 2007 「門前式の周辺～地域性認識の試論～」『岩手県における縄文文化の諸相 資料集』pp. 17 ~22 2007年岩手考古学会第38回研究大会
- 飯野町教育委員会 2003 「和台遺跡」飯野町埋蔵文化財報告書第5号
- 今村啓爾 1977 「称名寺式土器の研究」『考古学雑誌』63~1, -2 日本考古学会
- 岩手県文化振興事業団 1999 「下館銅屋遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第297集
- 岩手県文化振興事業団 2007 「里古屋遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第499集
- 押山雄三 2002 「東北地方南部における縄文後期前葉の土器」『後期前半の再検討』 pp. 69~128 第15回縄文セミナー
- 海峽土器編年研究会 2004 「第2回 東北・北海道の縄文時代中期後葉の諸問題—資料集—」
- 北上市教育委員会 1988 「九年橋遺跡第11次調査報告書」北上市文化財調査報告書第47集
- 北上市教育委員会 1995・1997 「横久遺跡(国版編)」「横久遺跡(本文編)」北上市埋蔵文化財調査報告第20・30集
- 熊谷常正 1968 「門前式土器の検討」『岩手県立博物館研究報告』第4号 pp. 39~61
- 後藤勝彦 1981 「東北地方」「縄文土器大成」3 pp. 139~143 講談社
- 小林謙一 2006 「縄文時代研究における炭素14年代測定」『国立歴史民俗博物館研究報告』133 pp. 51~69 国立歴史民俗博物館
- 小林正史 2006 「土器文様はなぜかわるか」「心と形の考古学」 pp. 161~190 同成社
- 七ヶ浜町教育委員会 1979 「太木圓貝塚-52年度環境整備調査報告書」七ヶ浜町文化財調査報告書第4集
- 縄文時代研究プロジェクトチーム 2006 「神奈川における縄文時代文化の変遷Ⅱ」「かながわの考古学」研究紀要11
- 縄文セミナーの会2007a・b 「中期終末から後期初頭の再検討」「中期終末から後期初頭の再検討-記録集-」第20回 縄文セミナー
- 市立市川考古博物館 1982・1983 「シンボジウム堀之内式土器資料集」「シンボジウム堀之内式土器記録集」
- 市立市川考古博物館 1992 「堀之内貝塚資料図譜」市立市川考古博物館研究調査報告第5冊
- 鈴木克彦 2001 「北日本の縄文後期土器編年の研究」雄山閣出版
- 鈴木克彦 2004 「門前式土器様式の編年学的研究-門前式の再構築と細分指標-」『考古学雑誌』第88巻第4号 pp. 28~59日本考古学会
- 間根達人 2007 「宮城県内の層位的資料による後期末から晩期初頭の縄文土器編年」『第5回 縄文時代後期末葉~晩期初頭土器群の諸問題-資料集-』海峽土器編年研究会
- 高木 晃 1994 「土器の移動と交流II-東北地方出土の三十稲葉式系土器について-」『第13回岩手考古学会研究大会発表資料』
- 千葉 稔 2007 「縄文時代後期前葉土器編年研究の現状と課題」慶應義塾大学文学部HP
- 丹羽 茂 1971 「縄文時代における中期社会の崩壊と後期社会の成立に関する試論-東日本、特に東北南部を中心として」『研究紀要』第1冊 福島大学考古学研究会
- 丹羽 茂 1981 「大木式土器」「縄文文化の研究」4 pp. 43~60 雄山閣出版
- 丹羽 茂 1989 「中期大木式土器様式」「縄文土器大観」1 pp. 346~350 小学館
- 橋口尚武 2006 「食の民俗考古学」同成社
- 藤根 久・佐々木由香・日本考古学協会2005年度福島大会実行委員会 2005 「複式炉の年代」「日本考古学協会2005年度福島大会シンポジウム資料集」pp. 23~34
- 本間 宏 1994 「大木10式土器の考え方」「しおぶ考古」10 pp. 3~24
- 山内清男 1961 「日本先史土器の縄紋」(没後、1979年に先史考古学会から刊行)

## 附編 繩文時代晚期の火山灰層

吉川昌伸（古代の森研究会）

相原淳一（宮城県教育委員会）

### 1. はじめに

山居遺跡の調査では、火山灰層が3層確認された。一番上位で検出された火山灰層は十和田aテフラ (To-a) で、山居遺跡Ⅱ区では、To-aが堆積する古代の遺構が確認されている。最下層で確認された縄文時代後期以前の火山灰層は、岩手県一関市清水遺跡（岩手県文化振興事業団 2002）の層序を参考にすると、同じく十和田カルデラを噴源とする十和田中撫テフラ (To-Cu 約5, 400年前) に相当するものと考えられる。宮城県内では、仙台市富沢遺跡第104次調査（仙台市教育委員会 1999）の24層の黒褐色～黒色シルト質粘土層中にブロック状に含まれていた火山灰が、火山ガラスの屈折率測定から十和田中撫テフラ (To-Cu) の可能性が非常に高い点が指摘されている。

旧河道SX03堆積層（砂礫層）とSX01②南側遺物包含層2a①層（黒色粘土層）の間で斑状に確認された中位の火山灰（検出状況：図版1-3参照）はその堆積層準から縄文時代晚期大洞C2式期のものである。ところで、大洞C2式期のテフラは現在宮城県内では知られておらず、未知のテフラの可能性とともに、宮城県里浜貝塚では廃棄された貝灰ブロックが知られており、貝灰ブロックの可能性も考えられた。

### 2. 試料・方法・結果

試料は、主に灰白色のシルトサイズの粒子からなる。試料中には礫や砂も含まれるため、篩で礫、砂、シルト以下の細粒成分に分け、礫サイズは肉眼観察、砂とシルト以下の細粒粒子は実体顕微鏡と偏向顕微鏡による観察を行った。

試料の粒度組成は、礫14.5%、砂27.4%、シルト以下58.1%からなる。礫は2~13mmの扁平な亜円礫からなり、砂は中～細粒砂を主とする。また、3φ (0.25-0.125mm) の粒子は白色軽石を主とし火山ガラスを伴い、4φ (0.125-0.063mm) は軽石と火山ガラスを多く含む（図1）。火山ガラスは、バブル型（平板状、Y字型）と軽石型（纖維状）からなる。さらに、シルト以下には光学的等方体鉱物が多く含まれる。一方で、貝の破片は確認されず、僅かに骨片が含まれていた。

### 3. 考察

試料のシルト以下の粒子には、光学的等方体鉱物（非結晶の火山ガラスや植物珪酸体、等軸晶系の結晶（萤石など））が多く含まれ、平板状の火山ガラスを示すものが目立つ。貝殻は方解石 ( $\text{CaCO}_3$ ) とアラレ石（アラゴナイト： $\text{CaCO}_3$ ）の炭酸カルシウムを主体とした結晶からなり、リン酸塩であるリン灰石 ( $3\text{Ca}_3(\text{PO}_4)_2 \cdot \text{CaF}_2$ )などを含む貝殻もある（富岡1999）。つまり、結晶質の粒子が稀で光学的等方体鉱物を主とし、さらに非結晶の火山ガラスが多く含まれることから、試料は軽石質テフラを主とするとみられる。参考までに、試料をフッ化水素酸処理したときの減量は72.6%（重量%）、塩酸処理の減量は14.6%であったことからも、試料が珪酸塩鉱物を主とする物質であることは明らか

である。

縄文時代晩期の火山灰としては、東北地方北部では十和田bテフラ（To-b）が知られている（町田・新井 2003）が、東北中部では明確には把握されていない。全く未知の火山灰である可能性も含めて、今後の類例の増加を待ちたい。なお、ブロックサンプリングした試料は最下層テフラ、中位テフラとともに宮城県教育委員会において保管する。

#### 参考文献

- 岩手県文化振興事業団 2002『清水遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第382集  
仙台市教育委員会 1999『富沢遺跡 第104次発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第235集  
富岡直人 1999「貝類」『考古学と自然科学② 考古学と動物学』pp. 89-118. 同成社  
星 雅之 2007「十和田中瀬テフラの考古学的年代について—課題などを中心にして—」『岩手県における縄文文化の諸相 資料集』pp. 27-36 2007年岩手考古学会第38回研究大会  
町田 洋・新井房夫 2003『新編 火山灰アトラス』東京大学出版会

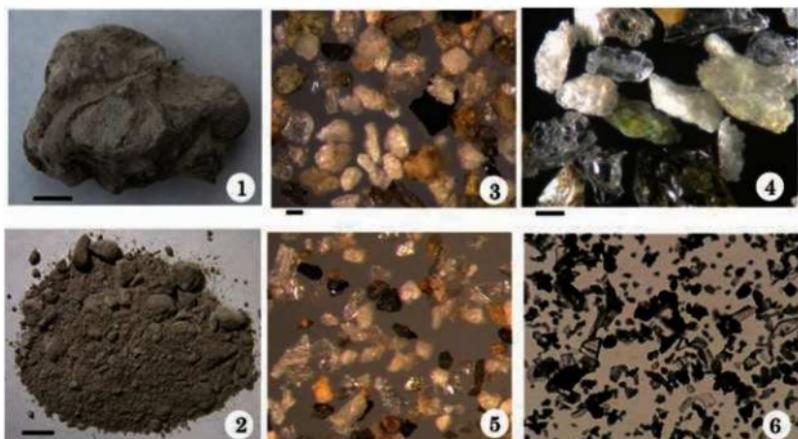


図1 試料の状態と3φ以下の粒子の状況

1. 塊状の試料 2. 塊状試料を崩した状況 3-4. 細粒砂（0.25-0.125mm）粒子の状況  
5. 極細粒砂（0.125-0.063mm）粒子の状況 6. シルト以下の粒子の状況

No.1-2スケール10mm, No.3-6スケール=0.1mm

写 真 図 版

図版1



1. 山居沢（西から）  
沢幅約1mの水流がある  
調査期間中、洗い場として利用



2. 遺跡発見時の状況  
中央白色帯が古代の灰白色火山灰



3. 黒色土層上面の火山灰  
(縄文晩期)  
現状に砂礫層下に認められた



1. SX01 ①北東側遺物包含層  
A7 区包含層 i c 層上面  
(東から)



2. SX01 ①北東側遺物包含層  
A6 区包含層 i c 層上面  
(東から)



3. SX01 ①北東側遺物包含層  
A6 北ベルト断面 (南から)

図版3



1. SX01 ②南側遺物包含層  
B3区包含層1～2a層確認状況  
(西から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B3区包含層1b層(東から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
C3 北ベルト包含層2a層上面  
(南から)



1. SX01 ②南側遺物包含層  
C3西ベルト包含層2a①層上面  
(東から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B3区包含層2a②層上面  
(西から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
C4西ベルト包含層2b①層上面  
(西から)

図版5

1. SX01 ②南側遺物包含層  
B3 区包含層 2b ①層上面  
(西から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B2 区包含層 2b ②層上面  
(東から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
C4 西ペルト包含層 2b ③層上面  
( 南から )





1. SX01 ②南側遺物包含層  
C4西ベルト包含層2b'層上面～  
2b'層上面(西から)  
左側黒色土層が2b'層



2. SX01 ②南側遺物包含層  
C4区包含層2b'層上面～  
2b'層中(写真右側・南から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
C5区包含層2b'層上面～  
2b'層中(西から)

図版7

1. SX01 ②南側遺物包含層  
C4 区包含層 2c 層上面  
(西から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B4 区包含層 2c 層上面  
(東から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
B3 ~ C3 北ベルト  
包含層 2c 層上面 (南から)





1. SX01 ②南側遺物包含層  
C4 区包含層 2d 層上面 (西から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B4 区包含層 2d 層上面 (南から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
B4 ~ C4 北ベルト  
包含層 2d 層上面 (東から)

図版9



1. SX01 ②南側遺物包含層  
B5 区包含層 2 層下部  
(西から)



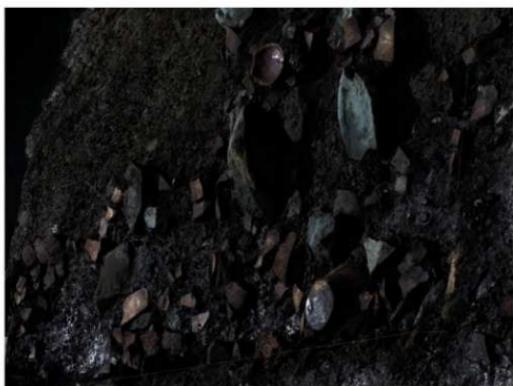
2. SX01 ②南側遺物包含層  
B4 ~ C4 北ベルト  
包含層 2d 層上面 (南から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
B3 北ベルト  
包含層 2d 層上面 (南から)



1. SX01 ②南側遺物包含層  
B3 区包含層 3 層上面 (西から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B4 区包含層 3 層上面 (北から)



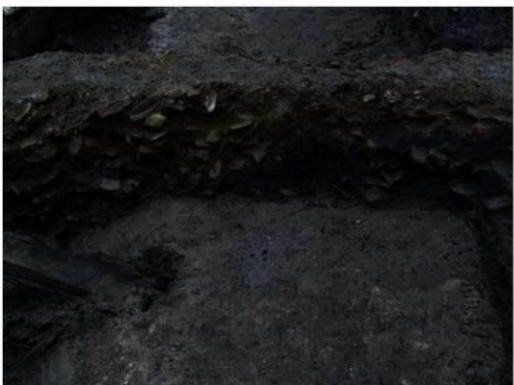
3. SX01 ②南側遺物包含層  
C4 西ベルト  
包含層 3a 層上面 (南から)

図版 11

1. SX01 ②南側遺物包含層  
C4 西ベルト断面 (東から)



2. SX01 ②南側遺物包含層  
B3 北ベルト (南から)



3. SX01 ②南側遺物包含層  
B2 ~ C2 北ベルト (南から)





1. SX01 ③北西側遺物包含層  
A1 西ベルト  
包含層Ⅱ③層上面（南から）  
写真右下隅の黒土層がⅡa層



2. SX01 ③北西側遺物包含層  
Z1 区  
包含層Ⅱ③層上面（南から）



3. SX01 ③北西側遺物包含層  
A2 区包含層Ⅱa層上面  
(南から)

図版 13

1. SX01 ③北西側遺物包含層  
Z1 区包含層 II a 層下部②層上面  
(南東から)



2. SX01 ③北西側遺物包含層  
Z1 区包含層 II a 層下部②層上面  
(南東から)



3. SX01 ③北西側遺物包含層  
Z1 区包含層 II b ①層上面  
(南から)





1. SX01 ③北西側遺物包含層  
Z1 北ベルト包含層 II b ①層上面  
(東南から)



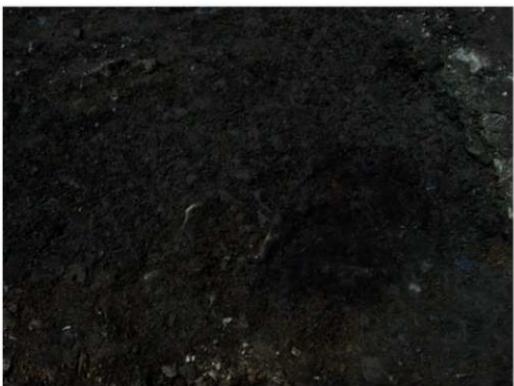
2. SX01 ③北西側遺物包含層  
A2 区包含層 II b ②層上面  
(東から)



3. SX01 ③北西側遺物包含層  
Z1 区北ベルト断面  
(南から)

図版 15

1. SX05 堆状遺構確認  
（東から）  
A4 区旧河道 SX04 中



2. SX05 堆状遺構上部堆積層  
（東から）  
木の枝などの浮遊物を検出



3. SX05 堆状遺構底面  
（北東から）  
被熱痕のある礫や土器を検出





1. SX06 壩状遺構確認(西から)  
B6 区旧河道 SX03 中



2. SX06A 壩状遺構上部堆積層  
(西から)  
カゴとトノキ種子を検出



3. SX06A 壩状遺構底面  
(西から)

図版 17

1. SX06B 煙状遺構完掘 (東から)



2. SX22 煙状遺構上部堆積層  
(東から)  
A5 区旧河道 SX24 中



3. SX22 煙状遺構底面 (東から)  
トチノキ種子が出土

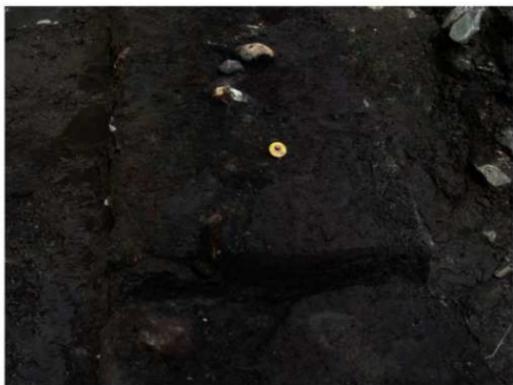




1. Pit3・土壤4平面形確認  
(東から)  
C3西ベルト包含層2b①層上面



2. Pit3・土壤4完掘(東から)  
C3西ベルト包含層2b①層上面



3. SX21 桟路(南から)  
B5西ベルト旧河道 SX07

図版 19



1. 旧河道 SX07 上面(東から)  
木の枝等を含む有機質層



2. 旧河道群 (SX03・26・27)  
B4 北ベルト断面 (南から)

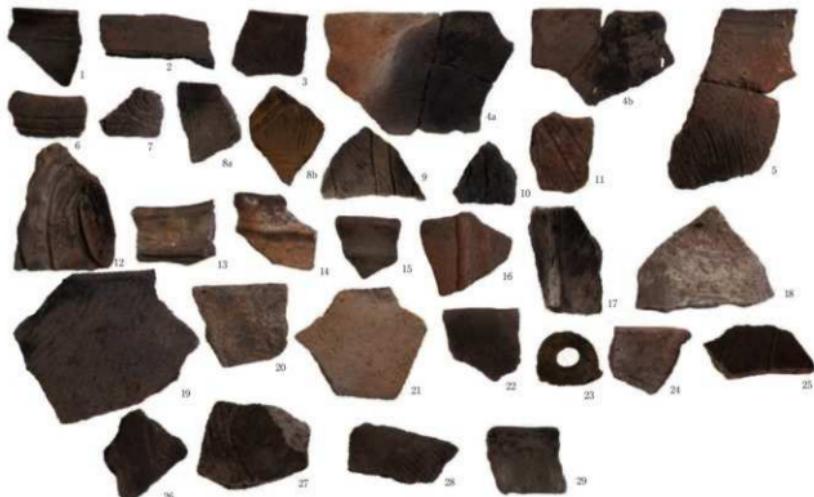


3. 旧河道 SX25 堆積層 (東から)  
火山灰(縄文後期以前)が堆積する



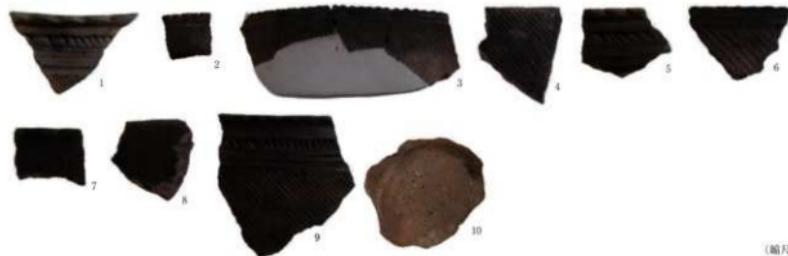
1. 工事排土回収土器

(縮尺 1 : 3)



2. 造構確認時出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

1. SX01①北東側遺物包含層・A 7区・包含層 i b層中～i d層上面出土土器



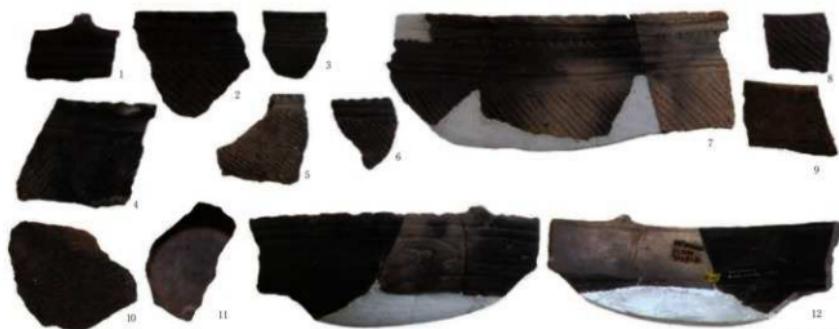
(縮尺 1 : 3)

2. SX01①北東側遺物包含層・A 6 北ベルト・包含層 i a 層中～i i b 層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

3. SX01①北東側遺物包含層・A 6区・包含層確認～i b層中出土土器



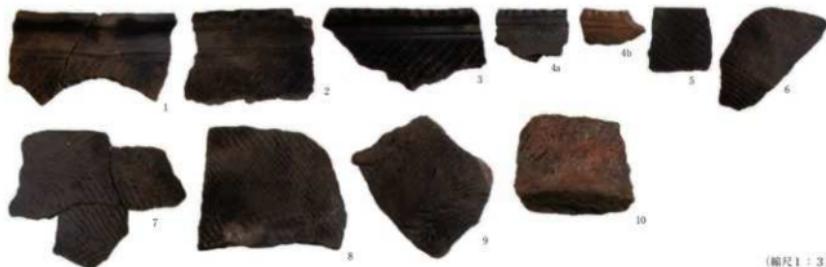
1. SX01①北東側遺物包含層・A6 区・包含層 ic 層上面出土土器



2. SX01①北東側遺物包含層・A6 区・包含層 ic 層中出土土器

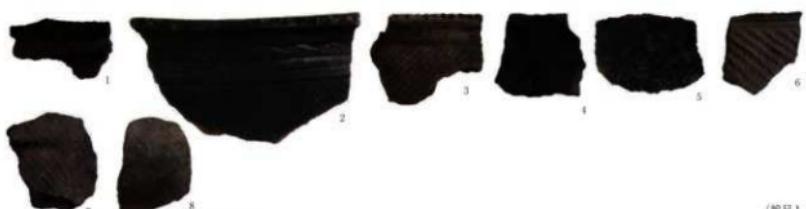


3. SX01①北東側遺物包含層・A6 区・包含層 ic 層下旧河道～ie 層中出土土器



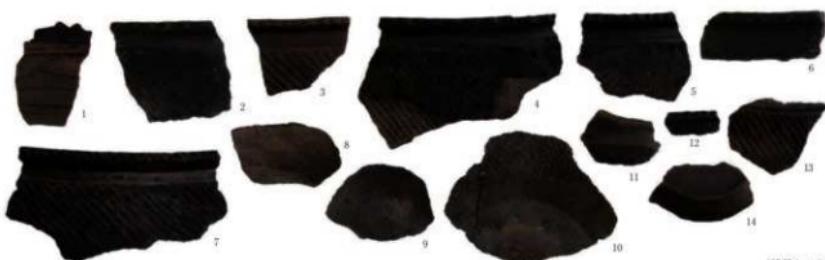
1. SX01①北東側遺物包含層・A6区・包含層下旧河道 SX04 堆積層中出土土器

(縮尺1:3)



2. 旧河道・B6区・堆積層中出土土器

(縮尺1:3)



3. 旧河道 SX03A・B6区・堆積層中出土土器

(縮尺1:3)



4. 旧河道 SX03A・A-B6区・底面出土土器

(縮尺1:3)



1. SX06 塘状遗构·B6 区·堆积层中~底面出土土器



2. 旧河道 SX03B · B6 区 · 堆积层中出土土器



3. 旧河道 SX24 · B6 区 · 堆积层中出土土器



1. 旧河道 SX02・03・04・20・A5 北ベルト・堆積層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. 旧河道 SX03B・B5 北ベルト・堆積層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



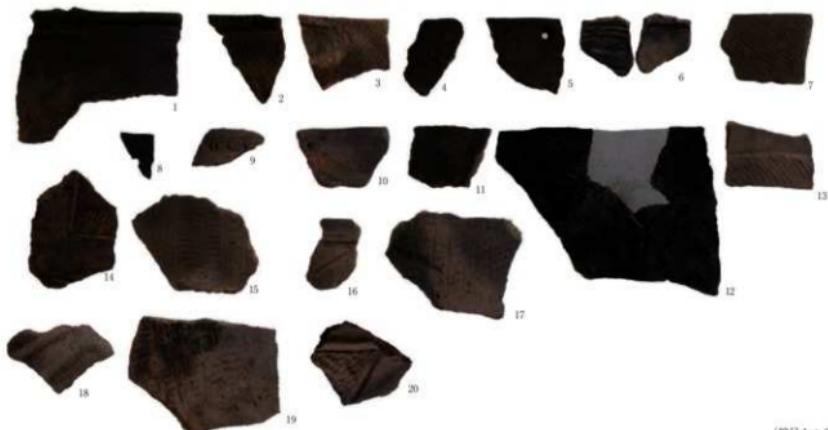
3. 旧河道 SX02・03・23・24・SX22 塚状遺構・A5 区・堆積層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



4. 旧河道 SX02・03B・B5 西ベルト・堆積層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺1:3)

1. 旧河道 SX04A・07・23・B5 西ベルト・堆積層中出土土器



(縮尺1:3)

2. SX01②南側遺物包含層・B5 区・包含層1層 (旧河道 SX03 堆積層)・2 層上面出土土器



(縮尺1:3)

3. SX01②南側遺物包含層・B5 区・包含層2層中出土土器



1. SX01②南侧遗物包含层·B5区·包含层2层下部出土器 (1)

(比例 1:3)



1. SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2層下部出土土器（2）

(縮尺1:3)



2. SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2③層～2④層上面出土土器

(縮尺1:3)



(縮尺1:3)

3. SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層2c層上面・埋もれ木ピット出土土器



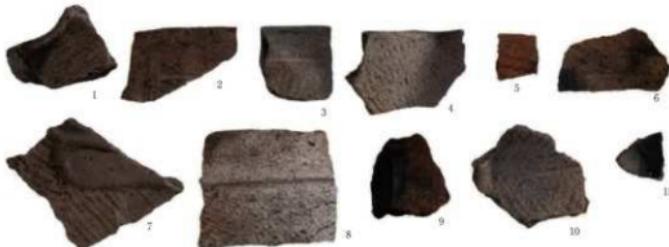
(縮尺1:3)

1. SX01②南側遺物包含層・B5区・包含層3層上面出土土器



(縮尺1:3)

2. SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2a層中出土土器



(縮尺1:3)

3. SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2b'層中出土土器

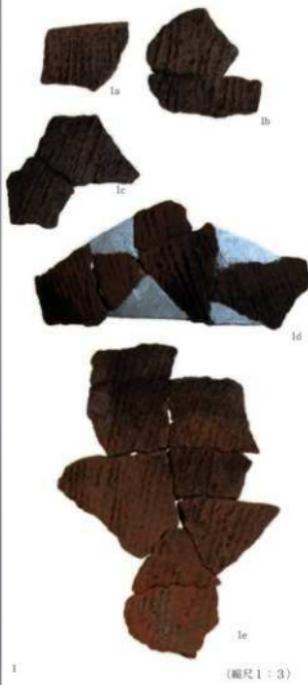


(縮尺1:3)

4. SX01②南側遺物包含層・C5西ベルト・包含層2c層上面出土土器 (1)



1. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層 2c 層上面出土土器（2）



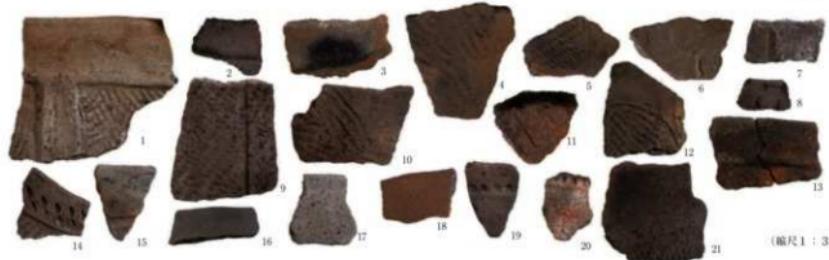
2. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・  
包含層 2c 層中出土土器（1）  
(縮尺 1 : 3)



3. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層 2c 層中出土土器（2）



1k  
(縮尺 1 : 3)



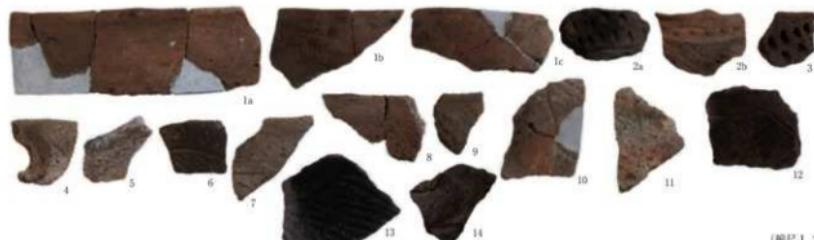
1. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層 2c 層中出土土器 (3)



2. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層 2c ~ d 層（黒色土層）中出土土器



3. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層 2d 層上面出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層2 d層中出土土器



1 ~ 23: 包含層3a層上面、24 ~ 27: 包含層3a層中

2. SX01②南側遺物包含層・C5 西ベルト・包含層3a層上面・3a層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

1 ~ 4: 包含層2a層中、23: 包含層2b層上面、24 ~ 33: 包含層2b層中

3. SX01②南側遺物包含層・C5 区・包含層2a層中・2b層上面・2b層中出土土器



1. SX01②南侧遗物包含层·C 5区·包含层2b~c层上面出土土器



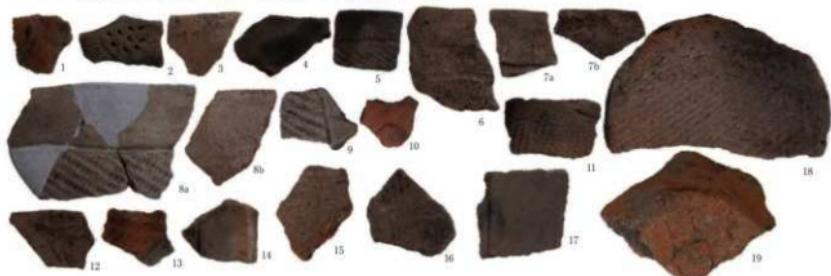
2. SX01②南侧遗物包含层·C 5区·包含层2b'层上面·2b'层中出土土器(1)



1. SX01②南侧遗物包含层·C 5区·包含层2b' 层中出土土器 (2)



2. SX01②南侧遗物包含层·C 5区·包含层2b' 层下部出土土器



3. SX01②南侧遗物包含层·C 5区·包含层2c~d层(黑色土层) 中出土土器



4. SX01②南侧遗物包含层·C5 区·包含层3a层上面·3a 层中出土土器



(縮尺1:3)

1. 旧河道 SX03B・SX04・A4 北ベルト・堆積層中出土土器



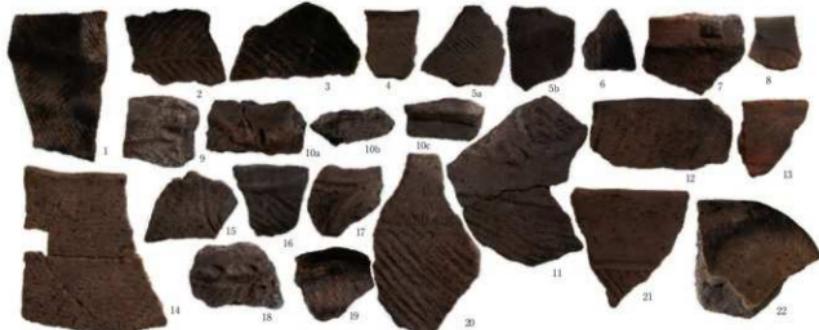
(縮尺1:3)

2. SX05 塚状遺構・旧河道 SX03B・SX04・A4 区・堆積層中～底面出土土器



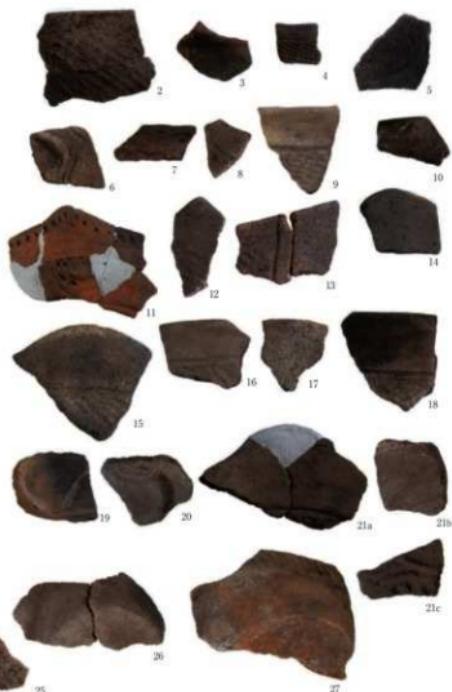
(縮尺1:3)

3. 旧河道 SX03C・26・27・B4 北ベルト・堆積層中出土土器



(縮尺1:3)

4. SX01②南側遺物包含層・B4 北ベルト・包含層 1 層～2b' 層中出土土器



1. SX01②南側遺物包含層・B4 北ベルト・包含層2c層上面～2d層中出土土器

(縮尺1:3)



2. SX01②南側遺物包含層・B4 北ベルト・包含層3a層上面出土土器 (1)

(縮尺1:3)



1. SX01②南側遺物包含層・B4 北ベルト・包含層 3a 層上面出土土器 (2)

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C4 北ベルト・包含層2a層中～2b層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

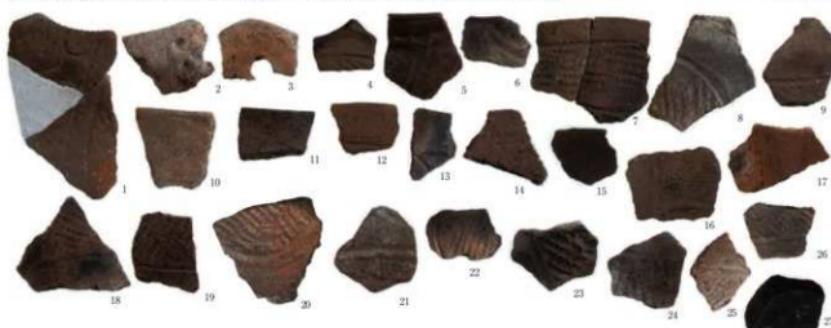
2. SX01②南側遺物包含層・C4 北ベルト・包含層2b' 層中・2c層上面出土土器



1. SX01②南側遺物包含層・C4 北ベルト・包含層 2c 層中出土土器

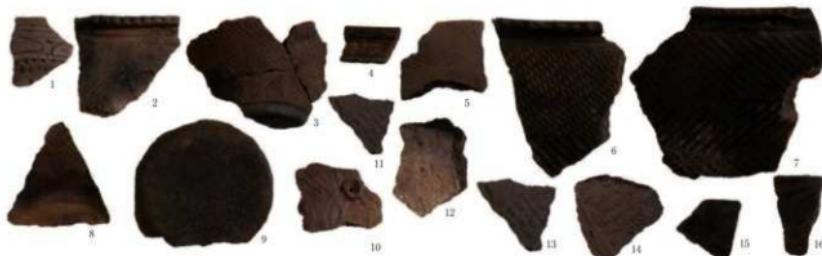


2. SX01②南側遺物包含層・C4 北ベルト・包含層 2c ~ d 層中・2d 層中出土土器



3. SX01②南側遺物包含層・C4 北ベルト・包含層 3a 層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



1. 旧河道 SX02・03・04・07・B4 西ベルト・堆積層中・SX21 桁跡断面確認時出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. 旧河道 02・03・B 3～5 区・包含層 1 層（上部砂礫層）中出土土器

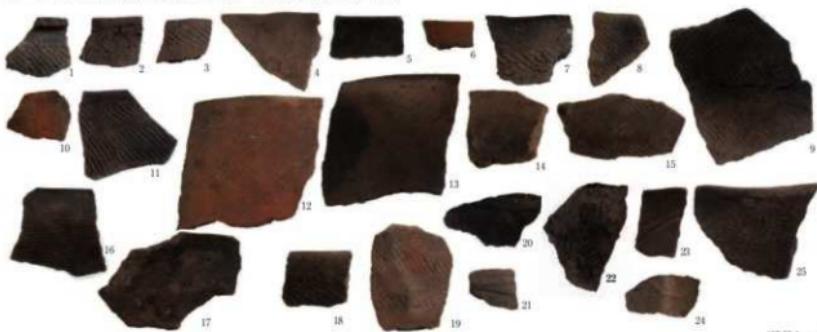
(縮尺 1 : 3)



1. SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層1層中～2層上面出土土器



2. SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2層中出土土器



3. SX01②南側遺物包含層・B4区・包含層2a層中出土土器



(缩尺1:3)

1. SX01②南侧遗物包含层·B4区·包含层2青砖层(旧河道SX26堆积层)上面~包含层2③层中出土土器



(缩尺1:3)

2. SX01②南侧遗物包含层·B4区·包含层2 b 层上面出土土器



1. SX01②南侧遗物包含层·B4区·包含层2b层中出土土器

(缩尺1:3)



1. SX01②南侧遗物包含层·B4区·包含层2c层上面出土土器

(缩尺1:3)



2. SX01②南侧遗物包含层·B4区·包含层2c层中·2c~d层(黑色土层)中出土土器

(缩尺1:3)



(缩尺 1 : 3)

1. SX01②南侧遗物包含层·B 4区·包含层2d层上面出土土器



(缩尺 1 : 3)

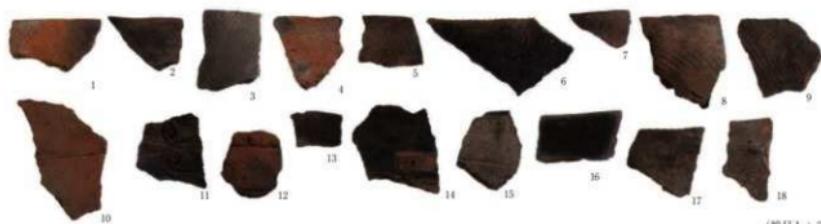
2. SX01②南侧遗物包含层·B 4区·包含层2d层中出土土器

图版 46



(比例尺 1 : 3)

1. SX01②南侧遗物包含层·B4区·包含层3层上面出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層2a層上面出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層2b①層上面出土土器（1）

図版 48



1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層2b①層上面出土土器（2）

(縮尺 1 : 3)



2. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層2b①層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2b②層上面出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2b②層中出土土器

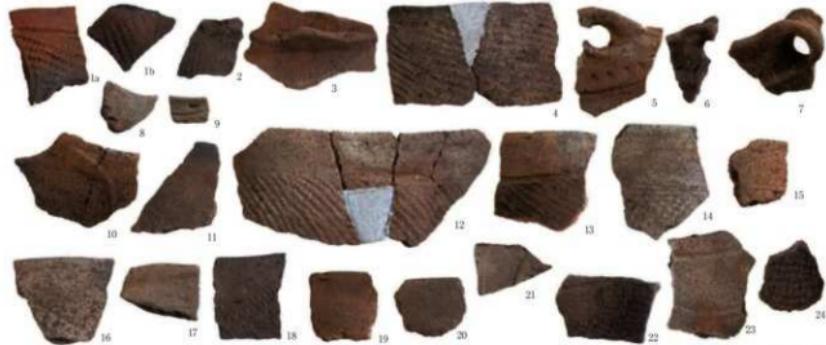


(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2b' 層中出土土器 (1)



1. SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2b' 層中出土土器 (2)



2. SX01②南側遺物包含層・C4西ベルト・包含層2c 層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



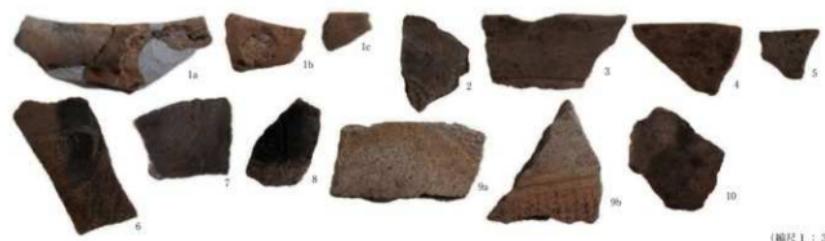
1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2c 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2d 層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



3. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2d 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



4. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 2d 層中～3a 層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 3a 層上面出土土器 (1)



1. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 3a 層上面出土土器 (2)

(縮尺 1 : 3)



2. SX01②南側遺物包含層・C4 西ベルト・包含層 3a 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



(缩尺 1 : 3)

1. SX01②南侧遗物包含层·C4区·包含层1层中~2a层中出土土器



(缩尺 1 : 3)

2. SX01②南侧遗物包含层·C4区·包含层2b层上面·2b层中出土土器



1. SX01②南侧遗物包含层·C4区·包含层2b' 层上面~上部出土土器 (1)

(插图 1 : 3)



(缩尺 1 : 3)

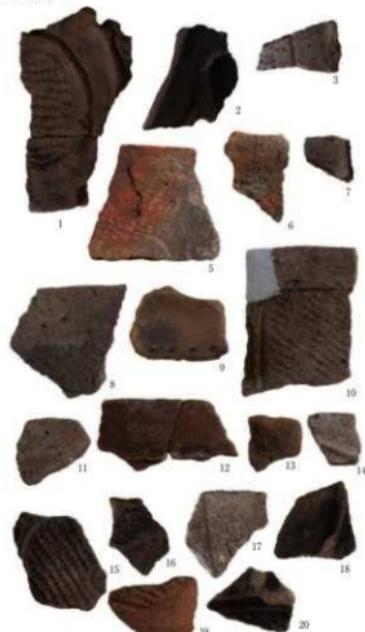
1. SX01②南侧置物包含层·C4区·包含层2b' 层上面~上部出土土器 (2)



(缩尺 1 : 3)

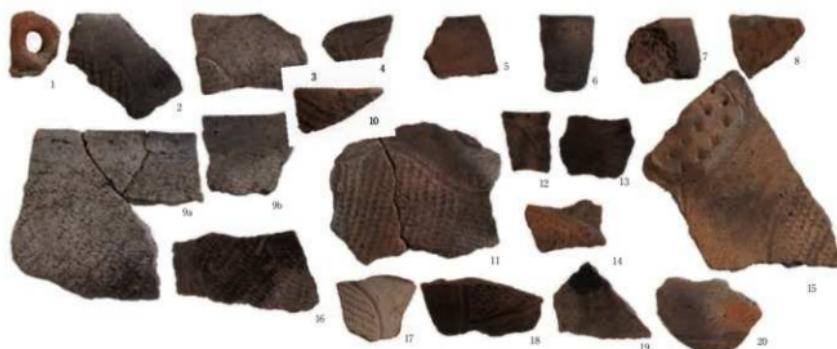
2. SX01②南侧遗物包含层·C4区·包含层2b' 层下部出土土器

图版 58



(缩尺 1 : 3)

1. SX01②南侧遗物包含层·C4区包含层2c层上面~2d层上面出土土器



(缩尺 1 : 3)

2. SX01②南侧置物包含层·C4区·包含层2d层中出土土器



(缩尺 1 : 3)

3. SX01②南侧置物包含层·C4区·包含层3a层上面出土土器 (1)



(幅尺1:3)

1. SX01②南側遺物包含層・C4区・包含層3a層上面(2)・3a層中出土土器



(幅尺1:3)

2. 旧河道SX03・04・23・24・A3～B3北ベルト・堆積層中出土土器



1. SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層1層中～2b②層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2b②層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

3. SX01②南側遺物包含層・B3北ベルト・包含層2c層上面出土土器

20b



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・B3 北ベルト・包含層 2c 層中出土土器



4



5

(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・B3 北ベルト・包含層 2d 層上面出土土器



12



13

(縮尺 1 : 3)

3. SX01②南側遺物包含層・B3 北ベルト・包含層 2d 層中出土土器



1



2

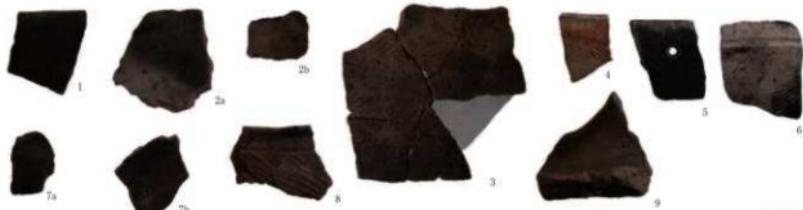
1. SX01②南側遺物包含層・B3 北ベルト・包含層3a層上面出土土器

(縮尺1:3)



1. SX01②南側遺物包含層・B3 北ベルト・包含層3a層上面・3a層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. SX01②南側遺物包含層・C3 北ベルト・包含層2a層上面・2a層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



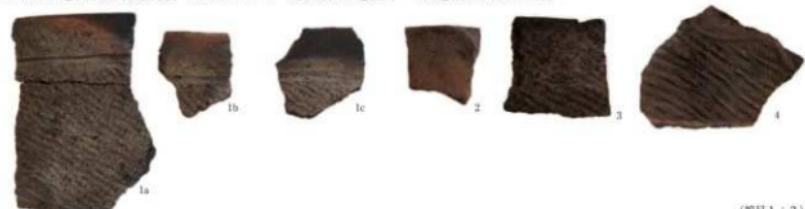
1. SX01②南側遺物包含層・C3 北ベルト・包含層 2b①層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. SX01②南側遺物包含層・C3 北ベルト・包含層 2b①層中・2b②層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



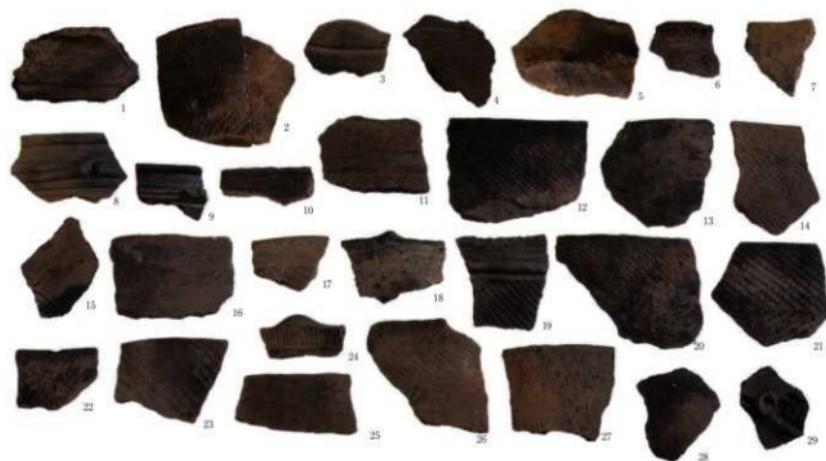
3. SX01②南側遺物包含層・C3 北ベルト・包含層 2c～d 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



4. SX01②南側遺物包含層・C3 北ベルト・包含層 3a 層上面・3a 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)





(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・B3 区・包含層 1 d 層上面～1 e 層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・B3 区・木の根擾乱ピット堆積層中・包含層 2 a 層中出土土器



1. SX01②南侧物置包含层·B3区·包含层2 a①层中~3 a层中出土土器

(比例尺1:3)



1. SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・土壤4堆積層中出土土器

(縮尺1:3)



2. SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2a層上面・2a層中出土土器（1）

(縮尺1:3)



1



2a

2b

(缩尺1:3)

1. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2 b ①層上面出土土器 (1)



1. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2 b ①層上面出土土器（2）

(縮尺1:3)



2. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2 b ①層中出土土器

(縮尺1:3)



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2 b②層上面出土土器



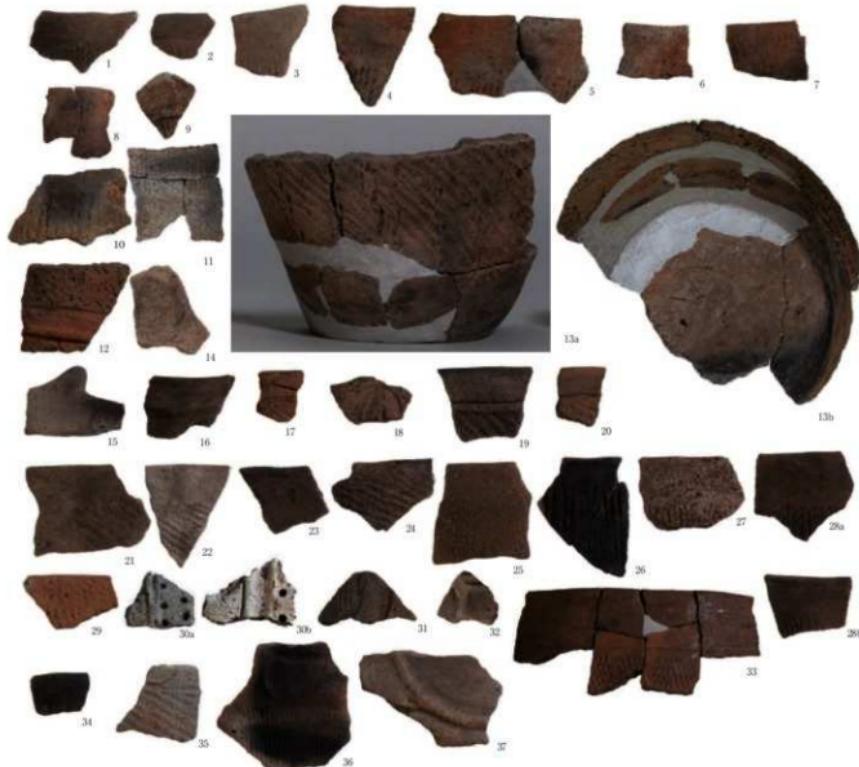
(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2 b②層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2c層上面出土土器



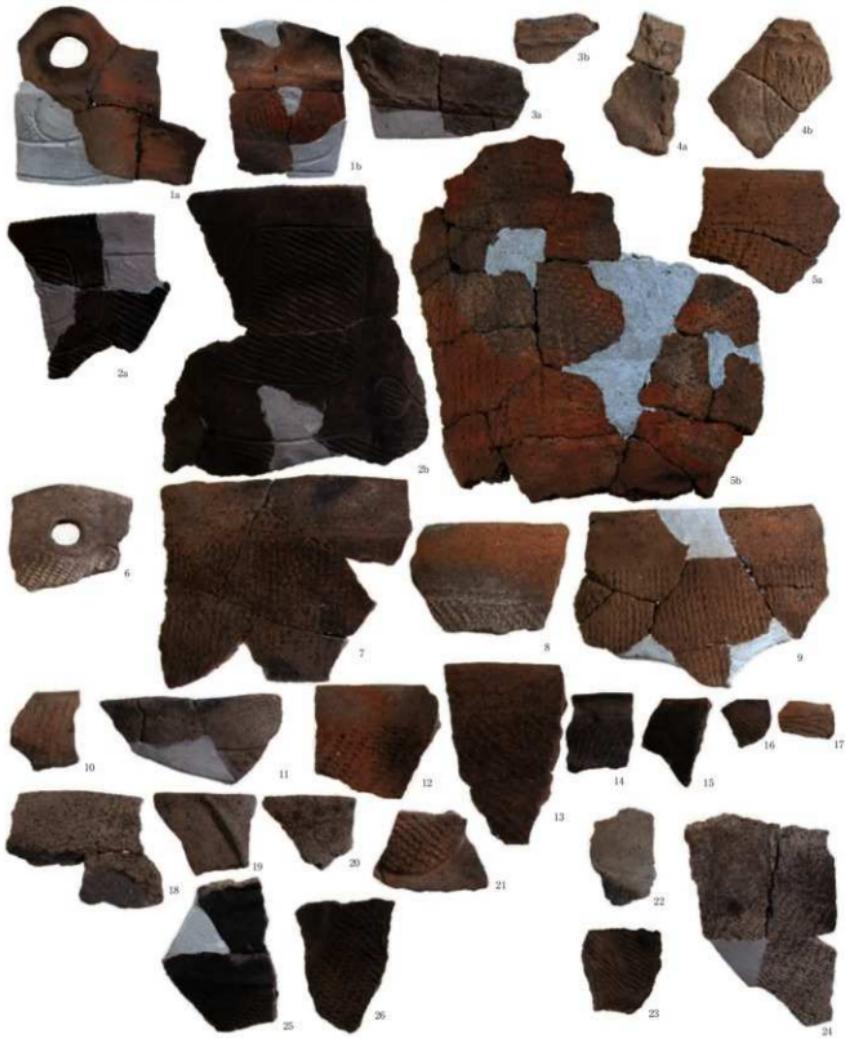
(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層2c層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層2d層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・C3西ベルト・包含層3a層上面出土土器（1）



1. SX01 南側遺物包含層・C3 西ベルト・包含層 3a 層上面（2）・3a 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



2. SX01(2) 南側遺物包含層・C3 区・包含層 2a 層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



1. SX01②南侧遗物包含层·C3区，包含层2a层中出土土器

(缩尺 1 : 3)

图版 76



(比例尺 1 : 3)

1. SX01②南侧遗物包含层·C3区·包含层2 b 层上面出土土器



(比例尺 1 : 3)

2. SX01②南侧遗物包含层·C3区·包含层2 b 层中出土土器 (1)



(缩尺 1 : 3)

1. SX01②南侧遗物包含层·C3区·包含层2b层中出土土器(2)



1a



2a



3a



1b



2b



5a



3b



4



5b



6

1. SX01②南側遺物包含層・C3 区・包含層 2 b 層中出土土器 (3)

(縮尺 1 : 3)



1



2



3

(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・C3 区・包含層 2 c 層中出土土器



1



2



3



(縮尺 1 : 3)



5

(縮尺 1 : 3)

3. 旧河道 SX03A・B2 北ベルト・堆積層中出土土器



1. SX01②南側遺物包含層・B 2～C 2北ベルト・包含層 2a 層上面出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・B 2～C 2北ベルト・包含層 2a 層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

3. SX01②南側遺物包含層・B 2～C 2北ベルト・包含層 2a 層下部・2b①層上面出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・B2～C2 北ベルト・包含層 2 b ①層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・B2～C2 北ベルト・包含層 2 b ②層上面、2 b ②層中、2 b ③層中 (1) 出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01②南側遺物包含層・B2～C2 北ベルト・包含層 2b③層中 (2)、旧河道 SX29 堆積層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

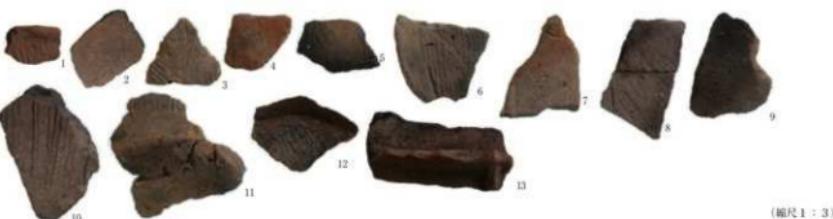
2. SX01②南側遺物包含層・B2～C2 北ベルト・旧河道 SX30 堆積層中、包含層 3a 層上面・3b 層上面出土土器



1. SX01③北西侧遗物包含层·A2区·包含层I a层(旧河道SX08堆积层)中出土土器



2. SX01③北西侧遗物包含层·A2区·包含层I c层上面·I c层(旧河道SX08堆积层)中出土土器



3. SX01③北西侧遗物包含层·A2区·包含层II a层下部②层中出土土器



4. SX01③北西侧遗物包含层·A2区·包含层II b②层上面出土土器(1)

(缩尺1:3)



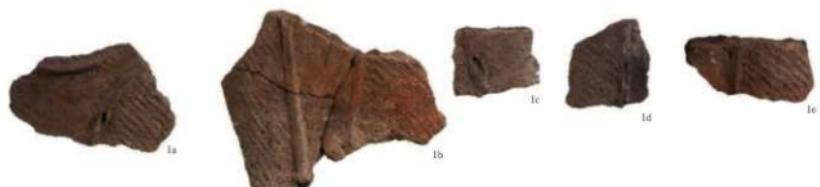
1. SXO 1③北西侧遗物包含层·A 2区·包含层 II b②层上面出土土器 (2)

(缩尺 1:3)



(缩尺 1 : 3)

1. SX01③北西侧遗物包含层·A2区·包含层Ⅱb②层上面出土土器(3)



(缩尺 1 : 3)

2. SX01③北西侧遗物包含层·A2区·包含层Ⅱb②层中出土土器



(縮尺 1 : 3)

1. SX01③北西側遺物包含層・B2 西ベルト・旧河道 SX23 堆積層・包含層 I b ~ II a 層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01②南側遺物包含層・B2 区・包含層 1 層 ~ 2c 層中出土土器



1. SX01③北西側遺物包含層・Z1 北ベルト・包含層Ⅰ層～Ⅱ③層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



(縮尺 1 : 3)

2. SX01③北西側遺物包含層・Z1 北ベルト・包含層Ⅱa 層上面～Ⅱa 層下部②層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

3. SX01③北西側遺物包含層・Z1 北ベルト・包含層Ⅱb ①層上面出土土器 (1)



(缩尺 1 : 3)

1. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 北ベルト・包含層 IIb①層上面出土土器 (2)



1. SX01③北西側遺物包含層・Z1 北ベルト・包含層 II b①層上面出土土器 (3)

(縮尺 1 : 3)



2. SX01③北西側遺物包含層・Z1 北ベルト・包含層 II b①層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



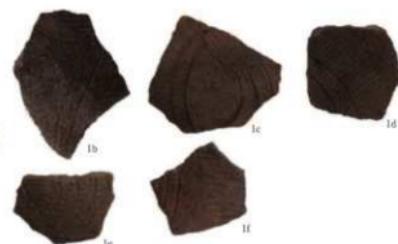
3. SX01 北西側遺物包含層・Z1 区・包含層 I 層上面～I c 層中出土土器

(縮尺 1 : 3)



1. SX01③北西侧遗物包含层·Z1区·包含层II①层中·II②层中出土土器

(图尺1:3)



2. SX01③北西侧遗物包含层·Z1区·包含层II③层上面出土土器(1)

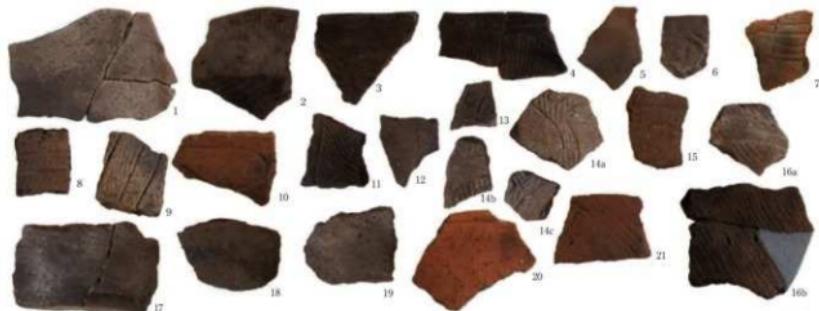
(图尺1:3)

图版 90



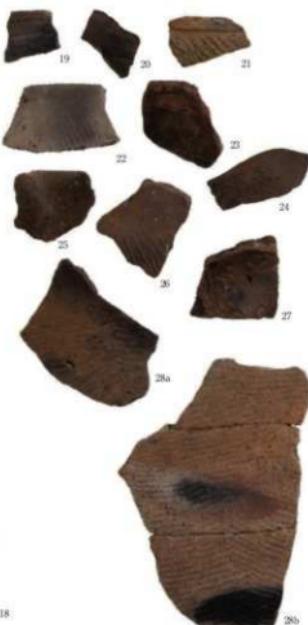
1. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 区・包含層 II ③層上面出土土器 (2)

(縮尺1:3)



(縮尺 1 : 3)

1. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 区・包含層II③層中出土土器



(縮尺 1 : 3)

2. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 区・包含層IIa層上面・IIa層中出土土器 (1)



1. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 区・包含層 IIa 層中出土土器 (2)



2. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 区・包含層 IIa 層下部①層中出土土器



(图尺 1 : 3)

1. SX01③北西侧遗物包含层 · Z1 区 · 包含层 IIa 层下部②层出土土器



(图尺 1 : 3)

2. SX01③北西侧遗物包含层 · Z1 区 · 包含层 IIa 层下部②层中出土土器



1. SX01③北西侧遺物包含層・Z1区・包含層II b ①層上面出土土器 (1)

(縮尺1:3)



1



2



3



4



5



7



6



8



9

1. SX01③北西侧遺物包含層・Z1 区・包含層 II b ①層上面出土土器 (2)

(縮尺1:3)



1. SX01③北西側遺物包含層・Z1 区・包含層 II b ①層中出土土器

(縮尺1:3)



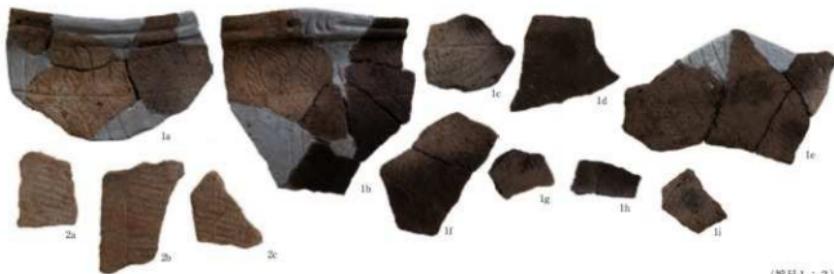
2. SX01③北西側遺物包含層・Z1 区・包含層 II b ②層上面・II b ②層中出土土器

(縮尺1:3)



(縮尺1:3)

3. SX01③北西側遺物包含層・A1 西ベルト・包含層 II ①層中出土土器



(縮尺1:3)

4. SX01③北西側遺物包含層・A1 西ベルト・包含層 II a 層上面出土土器



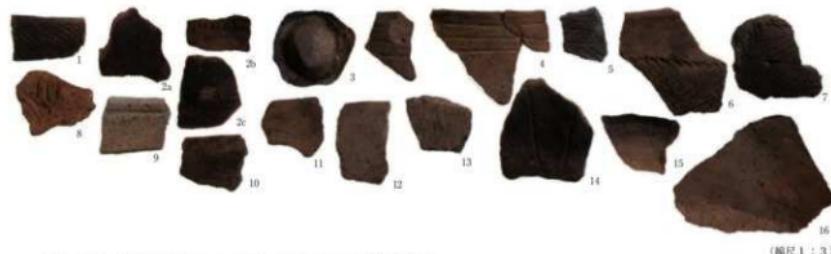
1. SX01③北西側遺物包含層・A1 西ベルト・包含層II a層中出土土器

(縮尺1:3)



2. SX01③北側遺物包含層・A1 西ベルト・包含層II a層下部①層・II b①層中出土土器

(縮尺1:3)



1. SX01③北西侧遗物包含层·A1区·包含层II①层中出土土器



2. SX01③北西侧遗物包含层·A1区·包含层II a层上面出土土器



3. SX01③北西侧遗物包含层·A1区·包含层II a层中·II a层下部①层中出土土器



1a



1c

1d



1b



1e



1f



1g



2a



2b



2c



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

(比例尺 1 : 3)

1. SX01③北西侧遗物包含层·A1区·包含层IIb①层上面出土土器(1)



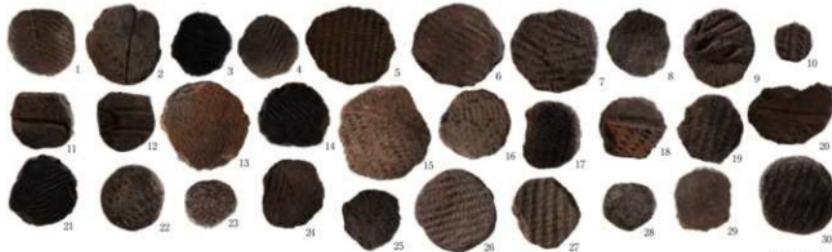
1. SX01③北西侧遺物包含層・A1 区・包含層 II b①層上面出土土器 (2)



2. SX01③北西侧遺物包含層・A1 区・包含層 II b①層中出土土器



3. SX01③北西侧遺物包含層・A1 区・包含層 II b②層上面出土土器



(缩尺 1 : 3)

1. 土制円盤



(缩尺 1 : 2)

2. 剥片石器



(缩尺 1 : 3)

3. 碾石器



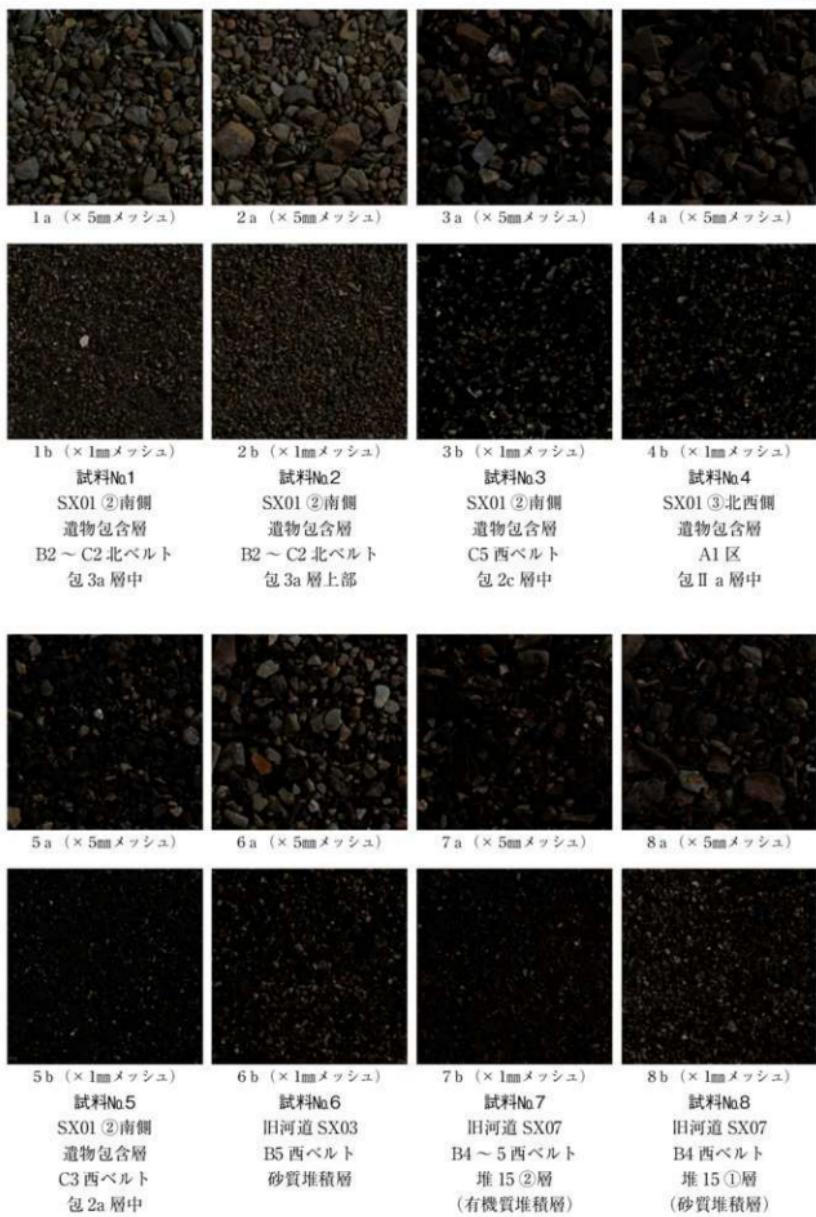
1. カゴ断片（縮尺1：1） 2. 杖（縮尺1：3） 3. 截断面のある材（縮尺1：3）

1. 木製品

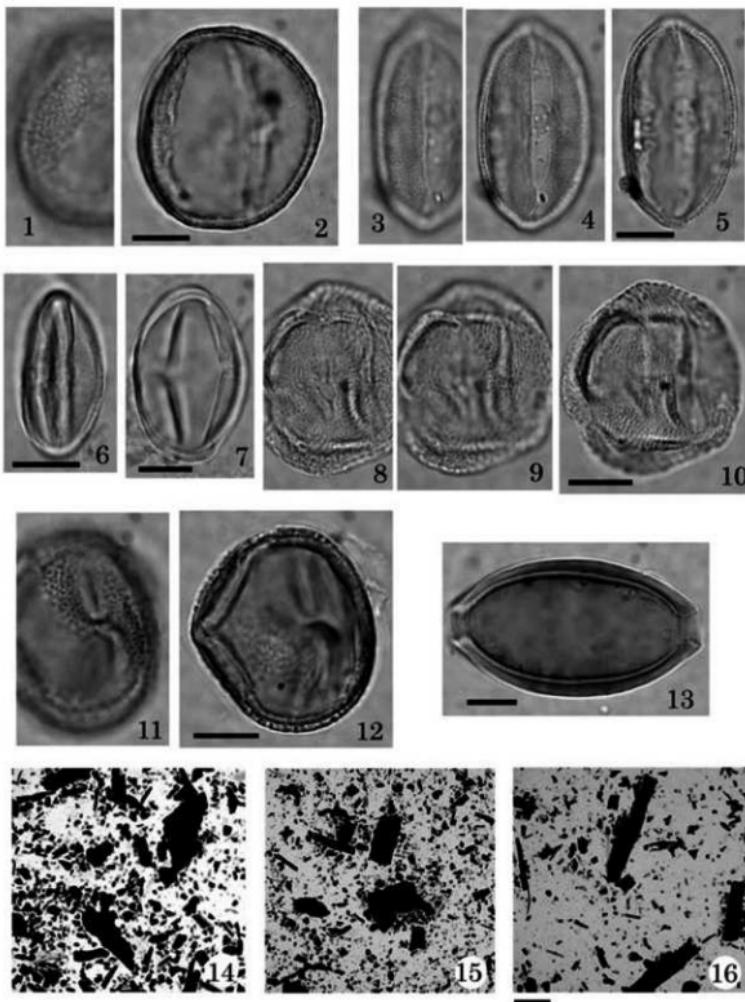


1～19（縮尺1：2） 20（縮尺1：1）

2. 動物遺存体



土壤分析試料No.1~No.8 水洗選別状態 (scale 1:1)

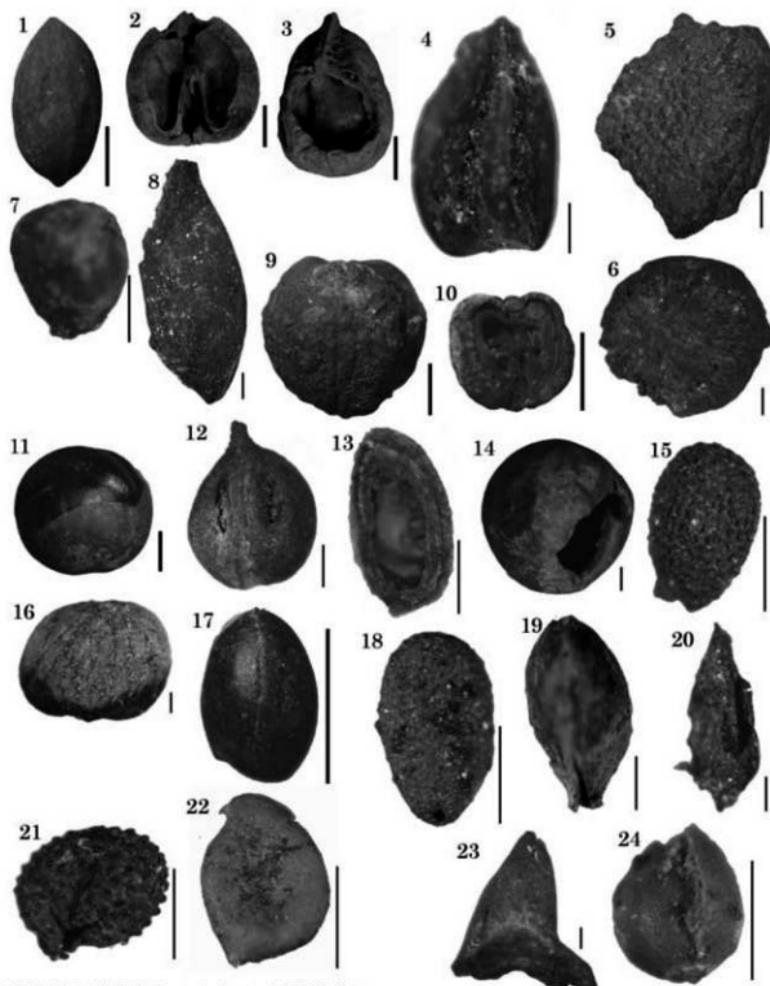


山居遺跡 SX01②南側遺物包含層・旧河道 SX07 堆積層から産出したバリノモルフ

(包=遺物包含層、堆=旧河道堆積層)

1-2:コナラ亜属(*Quercus* subgen.*Lepidobal*). SX07 堆 15②層、AFR.MY 1669. 3-5:トチノキ属(*Aesculus*). SX07 堆 15②層、AFR.MY 1664. 6:クリ属(*Castanea*). SX07 堆 15②層、AFR.MY 1669. 7:マタタビ属(*Actinidia*). SX07 堆 15②層、AFR.MY 1662. 8-10:ウルシ(*Rhus verniciflua*). SX01②C3 西包 2a 層、AFR.MY 1667. 11-12:ウコギ科(Araliaceae). SX07 堆 15②層、AFR.MY 1665. 13:鞭虫卵(*Trichuris*). SX07 堆 15①層、AFR.MY 1666. 14-16:プレバラートの状況。14 (SX01②C3 西包 2a 層). 15(包 2c 層). 16(包 3a 層中)。

バリノモルフスケール 10 μm. 状況スケール = 100 μm.

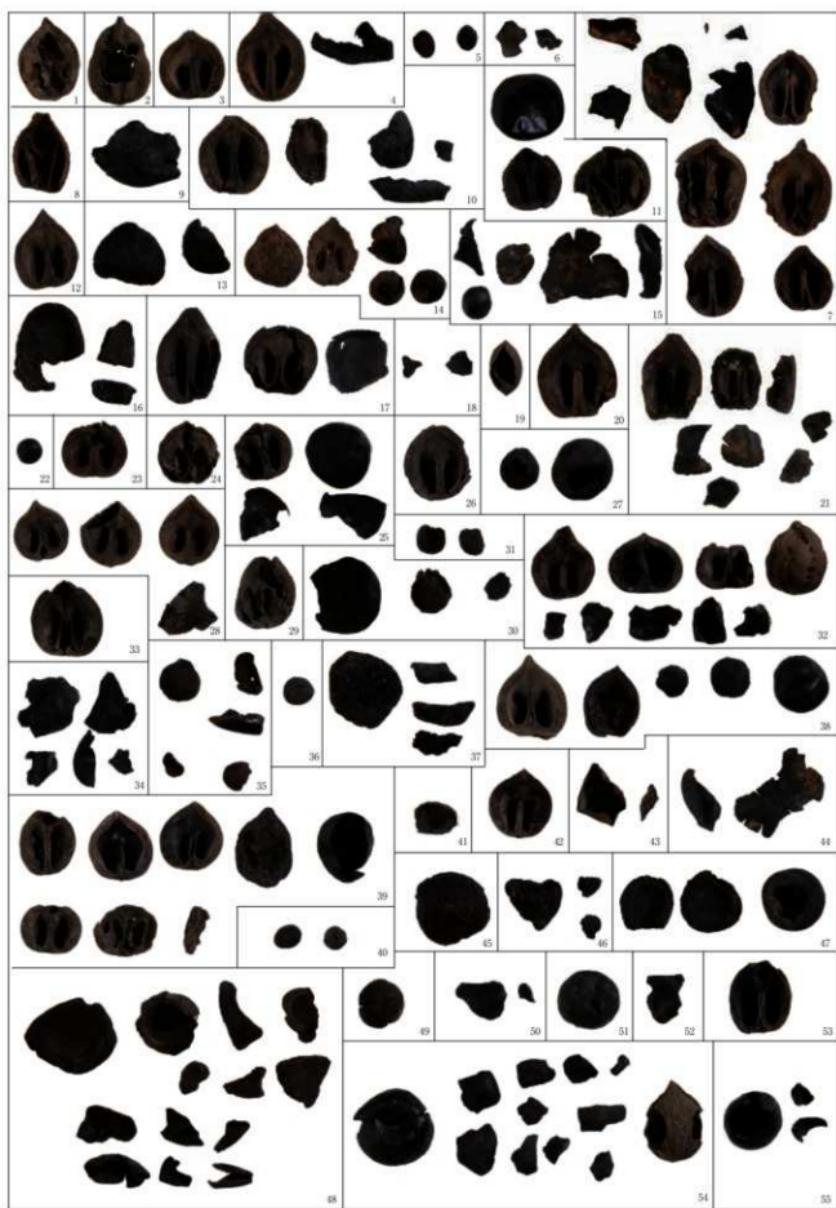


## 山居遺跡旧河道堆積層から出土した大型植物化石

(堆 = 旧河道堆積層資料、堆取 = 旧河道堆積層現地取り上げ資料)

1. カヤ、種子(堆取 48)
2. オニグルミ、内果皮半剖面(堆取I)
3. オニグルミ、内果皮食痕(堆取 35)
4. ブナ、果実(堆6)
5. クスギまたはアベマキ、炭化果実基部(堆11)
6. コナラ節、炭化果実基部(堆11)
7. ヤマグワ、種子(堆8)
8. イタヤカエデ、果実(堆6)
9. トチノキ、果実(堆10)
10. トチノキ、果実断面(堆取 40)
11. トチノキ、種子(堆7)
12. ブドウ属、炭化種子(堆11)
13. ムラサキシキブ属、内果皮(堆8)
14. ヤツツバキ、種子(堆7)
15. マタタビ、種子(堆6)
16. ミズキ、内果皮(堆9)
17. ハクウンボク、内果皮(堆取 16)
18. ニワトコ、内果皮(堆6)
19. カヤツリグサ科、果実(堆6)
20. ミゾソバ、果実(堆6)
21. ノミノフスマ、種子(堆8)
22. キンボウゲ属、果実(堆6)
23. ヒシ属、果実断片(堆11)
24. スミレ属、種子(堆6)

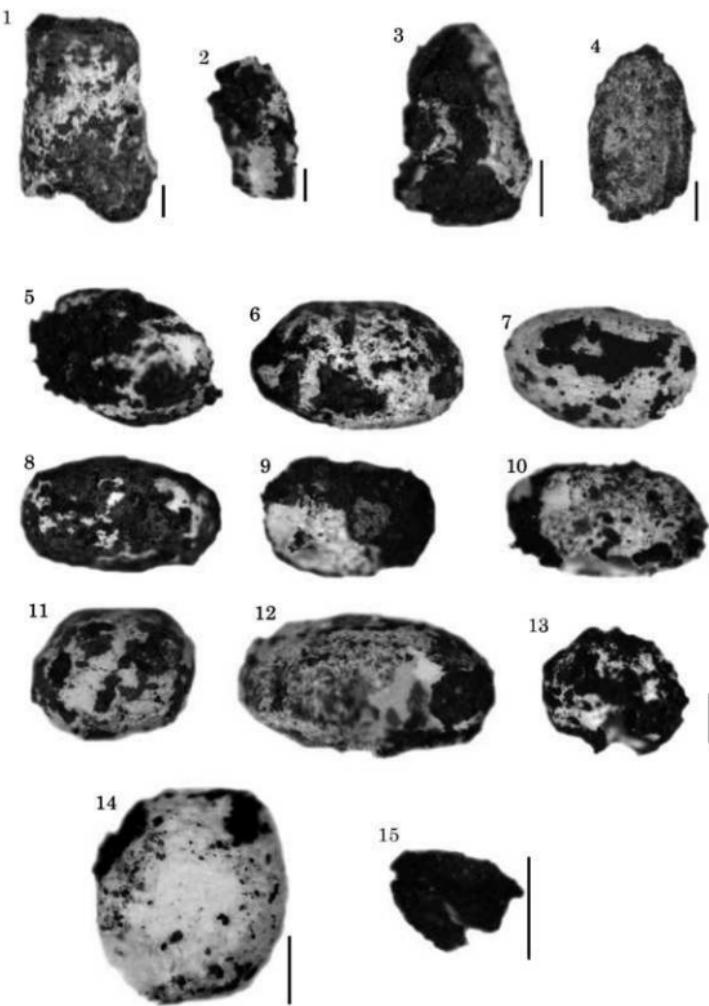
(スケールは1mmただし1, 2, 3, 9, 10, 11, 14, 17は1cm)



発掘調査による現地取り上げ試料 (scale 1:2)



### 山居遺跡土器圧痕分析試料（田形シールは直径9mm）



山居遺跡より出土した土器付着痕のレプリカ写真

- 1, 2. オニグルミ近似種(1:No 5, 2:No 13)
3. ハリギリまたはコシアブラ(No 6)
4. ムラサキシキブ属近似種(No 9) 5~13. マメ科(5~9:No 18~No 22, 10:No 25, 11~13:No 27~No 29)
14. エゴマ近似種(No 2) 15. 不明果実(No 15)

スケールは1mm、5~13は共通

## 小山遺跡

### 調査要項

遺跡名：小山遺跡（宮城県遺跡登載番号53036）

所在地：宮城県登米市東和町字小山地内

調査原因：三陸縦貫自動車道（一般国道登米志津川道路）建設工事

調査主体：宮城県教育委員会

調査担当：宮城県教育庁文化財保護課

調査期間：平成19年4月23・24・25日、7月9日

対象面積：約4,000m<sup>2</sup>

調査面積：約2,950m<sup>2</sup>

調査員：佐藤則之、柳澤和明、須田良平、尾形祐之、生田和宏、初鹿野博之

## 調査に至る経緯と概要

本遺跡は登米市東和町米谷の中心街から南東約1km、登米市東和町字小山に所在し、北上川中流域左岸の独立丘陵上に立地する。三陸縦貫自動車道（一般国道登米志津川道路）建設に伴い、平成15年3月11日に実施した分布調査で発見された。古代の土師器破片が表面採集され、古代の遺跡として宮城県遺跡地図・遺跡登録台帳に登録された（第1図）。周辺には中世の城館跡が多く分布するが、古代の遺跡はきわめて希薄である。調査前、本遺跡の遺物の分布は稀少であり、小規模な古代の遺跡とみられた。

遺跡は北上山地の東縁部から西に延びる丘陵端部の独立丘陵上の東側斜面に立地している。この独立丘陵は東西約100m、南北約60mの広がりをもち、最高点が標高16.2m、周囲の水田面の標高が10m前後で、その比高差6m前後となっている。

平成14年度の分布調査では、この小山の南東側の鞍部状の畑地とその斜面で土師器破片が採集された。今回の確認調査前にも同じ地点より9世紀代とみられるロクロ調整の土師器甕口縁部破片1点が表面採集された（第3図）。

事業者の国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所との協議の結果、工事に先立って平成19年度当初に確認調査を実施することになり、平成19年4月23・24・25日、7月9日に工事施工区域にかかる範囲を対象に確認調査を実施した（第2図）。

確認調査の結果、遺構・遺物はまったく検出されなかった。地山は中生代ペルム系の米谷層群に属する粘板岩岩盤やその風化層であった（宮城県企画部土地対策課編集・発行、1995、『土地分類基本調査 志津川』）。小山の上部での表土は5~10cmと薄く、周囲の斜面下方に向かって厚くなり、北東トレンドを設定した北側斜面では湿地に移行していた。また、南西トレンドでは宅地造成前の盛土が1~2m程厚く堆積し、さらにその下層は自然堆積層となって、斜面上方の地山の傾斜がそのまま続いている。

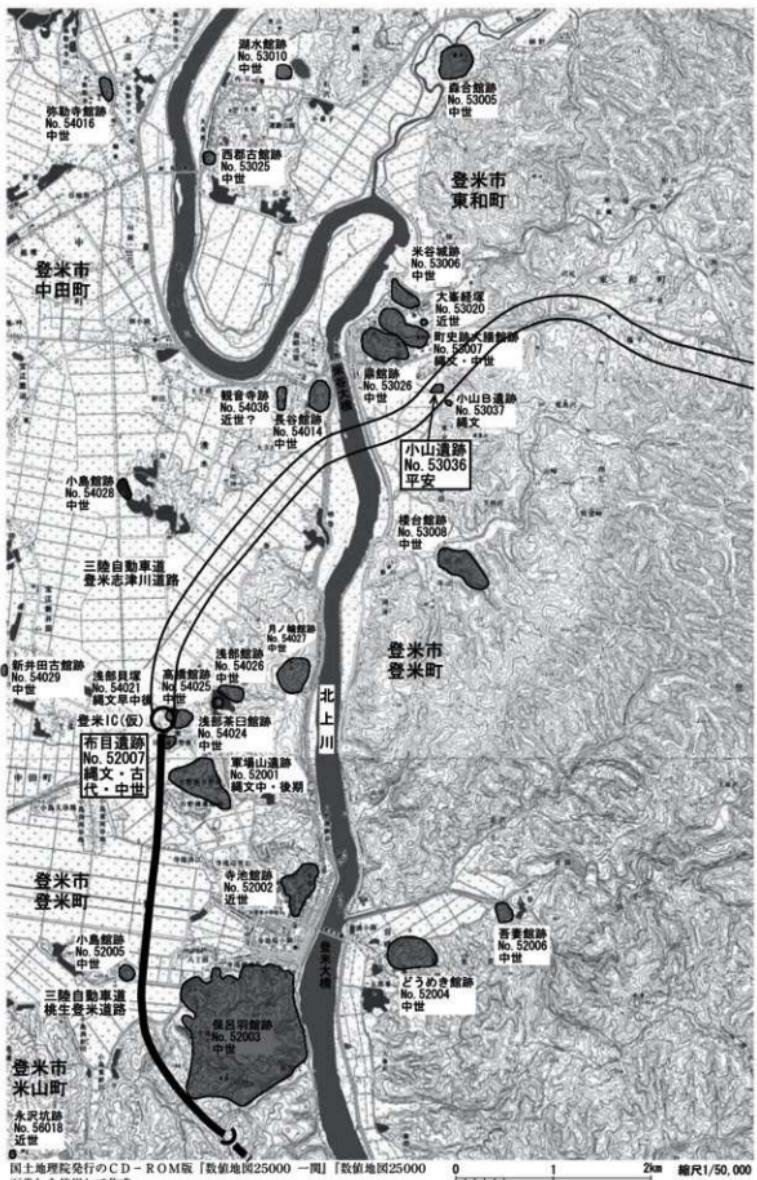
南東部の畑地のある地点は、北西部の小山から続く南西向き斜面がそのまま続き、空き缶を含む新しい盛り土がこの上に分厚くなっていたことが判明し、これまで発見されていた土器片はこの盛り土かその上の表土に含まれていたと推定された。

確認調査区の北東部は畑地造成とみられる過去の開発で、地山面下1~2m程掘削されていた。また、確認調査区の南隣接地には宅地があってやはり地山面下1~2m程掘削されていた。南東部は平成18年度当初に事業者が錯誤して、確認調査前に地山面を大きく掘削して工事用仮設道路を敷設してしまっていた（第3図）。

本遺跡は南東部の畑地を中心に古代の土器片が表面採集されたことから、古代の遺跡として登録されたが、今回の確認調査の結果、調査対象地区内では遺跡がほぼ壊滅していたことが判明した。

壊滅の原因是不明確だが、南東部・北東部の畑地造成、南西部の宅地造成、工事用仮設道路による掘削などが原因となったものと考えられる。

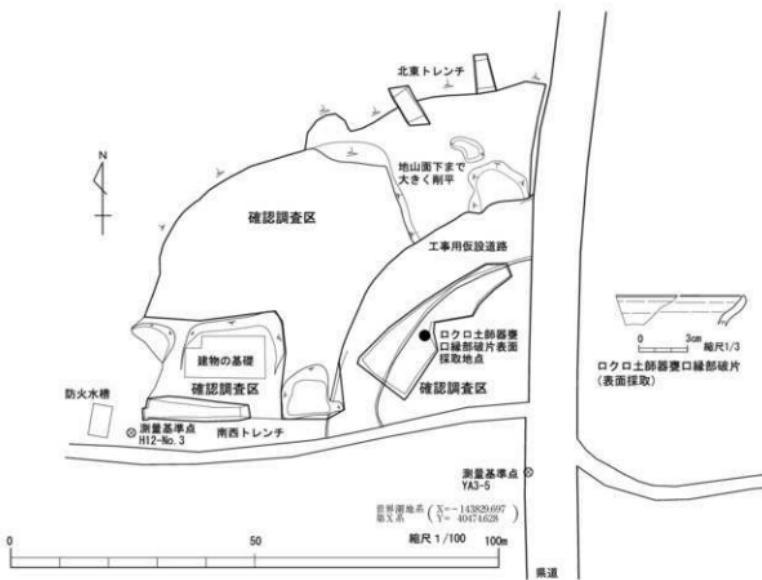
なお、確認調査の期間中に周辺の分布調査を併せて実施し、新たに本遺跡南東約200mの地点で绳文時代の散布地1箇所を発見した。地形的にみて本遺跡とは別の遺跡とみられたことから、この遺跡を小山B遺跡（宮城県遺跡登載番号53037）として宮城県遺跡地図・遺跡登録台帳に登録した。



第1図 小山遺跡と周辺の遺跡及び三陸自動車道計画路線



## 第2図 確認調査区



第3図 小山遺跡の確認調査区と表面採取された土器片



確認調査区と登米志津川道路建設工事の状況（北東から）



確認調査区と登米志津川道路建設工事の状況（北東から）



確認調査区南東部（北東から）

小山遺跡の確認調査

## 報告書抄録

ふりがな	さんきよいせき（じょうもんじだいへん）ほか						
書名	山居遺跡（縄文時代編）ほか						
副書名	三陸縱貫自動車道建設関連遺跡調査報告書						
巻次	IX						
シリーズ名	宮城県文化財調査報告書						
シリーズ番号	第214集						
編著者名	相原淳一・柳澤和明						
編集機関	宮城県教育委員会						
所在地	〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1 TEL 022-211-3682						
発行年月日	西暦 2007年12月20日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積	調査原因
山居遺跡 (I区)	宮城県石巻市 桃生町倉坪字山居	042021	70033	38° 35' 23" 14° 41'	2005.06.07 ~2005.08.05	約200m <sup>2</sup>	三陸縱貫自動車 道建設に伴う 事前調査
				世界測地系			
小山遺跡	宮城県登米市 東和町字小山	042129	53036	38° 42' 14" 17° 54'	2007.04.23 ~2007.04.25 2007.07.09	2,950m <sup>2</sup>	三陸縱貫自動車 道建設に伴う 確認調査
				世界測地系			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
山居遺跡 (I区)	低湿地遺跡	縄文時代	環状遺構3基、土壙1基、 ビット1個、杭跡1ヶ所、 遺物包含層3ヶ所、ほか に旧河遺跡	縄文土器（中期・後期・晚期）、 円盤状土製品・石器（石錐・ 石匙・石核・剥片・石棒・磨 石・擦石・凹石・石皿・台石）、 木製品（カゴ・杭・截断面の ある材）、動物遺存体（シカ・ イノシシ・鳥骨ほか）、植物遺 存体（トチノキ・オニグルミほ か）	縄文時代中期後 葉から晚期中葉 の水辺に関わる 作業場とその廃 棄層が検出され た。		
	散布地	弥生時代 古代		弥生土器（後期） 土師器・須恵器			
小山遺跡	散布地	古代	なし	なし			

---

---

宮城県文化財調査報告書第214集

**山居遺跡（縄文時代編）ほか**  
－三陸縦貫自動車道建設関連遺跡調査報告書Ⅸ－

平成19年12月14日印刷

平成19年12月20日発行

発行 宮城県教育委員会

仙台市青葉区本町三丁目8番1号

印刷 有限会社ワードシステム

仙台市青葉区上杉二丁目1-14

---

---